ADOBE®

Photoshop® Elements 6

ユーザガイド

WINDOWS® XP

WINDOWS VISTA™

Adobe

© 2007 Adobe Systems Incorporated.All rights reserved.

Adobe® Photoshop® Elements® 6.0 ユーザガイド（Windows® 版）

本マニュアルがエンドユーザ使用許諾契約を含むソフトウェアと共に提供される場合、本マニュアルおよびその中に記載されているソフトウェアは、エンドユーザ使用許諾契約にもとづいて提供されるものであり、当該エンドユーザ使用許諾契約の契約条件に従ってのみ使用または複製することが可能となるものです。当該エンドユーザ使用許諾契約により許可されている場合を除き、本マニュアルのいかなる部分といえども、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の書面による事前の許可なしに、電子的、機械的、録音、その他いかなる形式・手段であれ、複製、検索システムへの保存、または伝送を行うことはできません。本マニュアルの内容は、エンドユーザ使用許諾契約を含むソフトウェアと共に提供されていない場合であっても、著作権法により保護されていることにご留意ください。

本マニュアルに記載される内容は、あくまでも参照用としてのみ使用されること、また、なんら予告なしに変更されることを条件として、提供されるものであり、従って、当該情報が、アドビ システムズ社による確約として解釈されてはなりません。アドビ システムズ社は、本マニュアルにおけるいかなる誤りまたは不正確な記述に対しても、いかなる義務や責任を負うものではありません。

新しいアートワークを創作するためにテンプレートとして取り込もうとする既存のアートワークまたは画像は、著作権法により保護されている可能性のあるものであることをご留意ください。保護されているアートワークまたは画像を新しいアートワークに許可なく取り込んだ場合、著作権者の権利を侵害することがあります。従って、著作権者から必要なすべての許可を必ず取得してください。

例として使用されている会社名は、実在の会社・組織を示すものではありません。

Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、Adobe Premiere、Flash、GoLive、Illustrator、InDesign、Photoshop、PostScript および Reader は、アドビ システムズ社の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

Windows and Windows Vista are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.Macintosh and Mac OS are trademarks of Apple Inc., registered in the United States and other countries.Dolby is a trademark of Dolby Laboratories.Intel is a registered trademark of Intel Corporation in the U.S. and other countries.UNIX is a registerd trademark of The Open Group in the US and other countries.SGI is a trademark of Silicon Graphics, Inc. All other trademarks are the property of their respective owners.

This product includes software developed by the Apache Software Foundation (www.apache.org).© 1998-2000 Apache Software Foundation.All rights reserved.

This program was written with MacApp®, © 1985-1988 Apple Computer, Inc.

Certain contributions made under license by Focoltone Colour System.

MPEG Layer-3 audio compression technology is licensed by Fraunhofer IIS and Thomson Multimedia.

The Proximity/Merriam-Webster Inc./Franklin Electronic Publishers Inc. Database © 1990/1994 Merriam-Webster Inc./Franklin Electronic Publishers Inc., © 1994.All Rights Reserved.Proximity Technology Inc. The Proximity/Merriam-Webster Inc./Franklin Electronic Publishers Inc. © 1990 Williams Collins Sons & Co. Ltd. © 1997 - All rights reserved Proximity Technology Inc. © 1990 Williams Collins Sons & Co. Ltd. © 1990 - All rights reserved Proximity Technology Inc. © Oxford University Press © 2000.All rights reserved Proximity Technology Inc. © 1990 IDE a.s. © 1990 - All rights reserved Proximity Technology Inc.

This product contains either BISAFE and/or TIPEM software by RSA Data Security, Inc.

e_Db is a licensed product from Simple Software Solutions, Inc.

Portions include technology used under license from Autonomy, and are copyrighted Portions Copyright © 1998 Gilles Vollant.

This product includes software developed by the OpenSymphony Group (http://www.opensymphony.com/).

Portions of this code are licensed from Nellymoser (www.nellymoser.com).

Sorenson Spark™ video compression and decompression technology licensed from Sorenson Media, Inc.

Adobe Systems Incorporated, 345 Park Avenue, San Jose, California 95110, USA.

Notice to U.S. Government End Users. The Software and Documentation are “Commercial Items,” as that term is defined at 48 C.F.R. §2.101, consisting of “Commercial Computer Software” and “Commercial Computer Software Documentation,” as such terms are used in 48 C.F.R. §12.212 or 48 C.F.R. §227.7202, as applicable.Consistent with 48 C.F.R. §12.212 or 48 C.F.R. §§227.7202-1 through 227.7202-4, as applicable, the Commercial Computer Software and Commercial Computer Software Documentation are being licensed to U.S. Government end users (a) only as Commercial Items and (b) with only those rights as are granted to all other end users pursuant to the terms and conditions herein.Unpublished-rights reserved under the copyright laws of the United States.Adobe Systems Incorporated, 345 Park Avenue, San Jose, CA 95110-2704, USA.For U.S. Government End Users, Adobe agrees to comply with all applicable equal opportunity laws including, if appropriate, the provisions of Executive Order 11246, as amended, Section 402 of the Vietnam Era Veterans Readjustment Assistance Act of 1974 (38 USC 4212), and Section 503 of the Rehabilitation Act of 1973, as amended, and the regulations at 41 CFR Parts 60-1 through 60-60, 60-250, and 60-741.The affirmative action clause and regulations contained in the preceding sentence shall be incorporated by reference.

目次

第 1 章：はじめに

Photoshop Elements のインストール 1
ヘルプの使用とサポートの利用 1
新機能と拡張機能 3
Photoshop Elements での操作 4

第 2 章：Photoshop Elements ワークスペース

ワークスペース 11
コンテクストメニュー 14
ツール 15
パレットとエリア 18
取り消し、やり直し、キャンセル 23
仮想記憶ディスクとプラグイン 25
2 つのアプリケーションの使用 26

第 3 章：写真とビデオの読み込み

写真とビデオの取り込み 28
カメラおよびカードリーダ 31
スキャナ 36
ローカルファイル、CD、DVD、およびビデオ 38
カメラ内蔵携帯電話 43

第 4 章：写真整理モードでの写真の表示と補正

フォトブラウザでの写真の表示（写真整理モード） 45
ビデオと全画面画像の表示 51
日付表示での写真の表示 56
写真整理モードでの写真の補正 60

第 5 章：写真の名札付けと整理

写真の名札付け 63
キーワード名札、カテゴリーおよびサブカテゴリーの編集 71
アルバムの作成 75
スマートアルバムの作成と編集 79
アルバムおよびアルバムグループの編集 80

第 6 章：写真整理モードでの写真の検索

写真整理モードでの写真の検索 85
キーワード名札による写真の検索 88
内容、種類およびメタデータによる写真の検索 91

第 7 章：ファイルとカタログの管理

カタログの管理 96
ファイルの移動、コピー、および名前の変更 102

スタック内の写真のグループ化 105
バージョンセット内の写真のグループ化 109
ファイル名とバージョン 113
キャプションとメモの追加 116
ファイル情報 119
QR コードの使用 122
ファイルの再リンク 123

第 8 章：写真編集モードでの作業

写真編集モードでファイルを開く 126
画像の表示 131
定規とグリッド 134
画像の保存と書き出し 135
ガイド付き編集 141

第 9 章：レイヤーの使用

レイヤーの作成 144
レイヤーの編集 148
レイヤーのコピーおよび配置 151
不透明度と描画モード 156
調整レイヤーと塗りつぶしレイヤー 158
レイヤーグループ 161
レイヤースタイル 163

第 10 章：Camera Raw ファイル

Camera Raw 画像ファイルの処理 166
設定とコントロール 169
カラーと Camera Raw 170

第 11 章：画像の一部の選択

選択範囲の作成 174
選択範囲の修正 183
アンチエイリアスおよびぼかしにより選択範囲のエッジを滑らかにする 186
選択範囲の移動とコピー 187
選択範囲の保存 190

第 12 章：カラーおよび色調補正

カラーおよび色調補正の基本 193
シャドウとライトの補正 200
カラーバランスの補正 204
カラーの彩度と色相の補正 208
色調補正フィルタ 213
商業印刷用画像のターゲット値の設定 218

第 13 章：写真の切り抜き、サイズ変更、レタッチ、変形

切り抜き 220
画像サイズと解像度 225

レタッチ 228
シャープ 237
変形 240

第 14 章：カラーについて
カラーについて 247
画像モードとカラーテーブルの使用 248
カラーマネジメントの設定 253

第 15 章： フィルタ、エフェクト、スタイル、アートワーク
エフェクト 256
フィルタ 261
アーティスティックフィルタ 266
ぼかしフィルタ 267
ブラシストロークフィルタ 269
変形フィルタ 269
ノイズフィルタ 274
ピクセレートフィルタ 275
描画フィルタ 276
スケッチフィルタ 278
表現手法フィルタ 280
テクスチャフィルタ 281
ビデオフィルタ 282
その他のフィルタ 282

第 16 章：ペイント
ペイントの概要 285
カラーの選択 289
ペイントツール 292
ブラシの設定 298
塗りつぶしおよびストローク 302
パターン 303
グラデーション 305
プリセットとライブラリ 309

第 17 章：テキストとシェイプの追加
テキストの追加と編集 313
日本語テキストの操作 318
シェイプの作成 320
シェイプの編集 323

第 18 章：プロジェクトの作成
プロジェクトの概要 325
フォトプロジェクトの作成 326
フォトコラージュ、ラベル、グリーティングカード、または他のプロジェクトの作成 331
フォトプロジェクトの編集 332
デジタルプロジェクトの作成 335

スライドショーの作成 340
パノラマの合成 353

第 19 章：Web 用に最適化
画像の最適化 357
透明ピクセルとマットの使用 364
Web 画像のディザ 366
Web 画像のプレビュー 368

第 20 章：写真のプリントと配信
写真のプリント 370
プリントオプション 380
オンラインサービスを利用した写真の配信 381
電子メールによる写真の配信 384
携帯電話への写真の配信 390
Media Center コンピュータでの写真の表示と配信 391
写真の書き出し 392

第 21 章：ショートカットキー
写真整理モードのショートカット 394
写真編集モードのショートカット 396

第 22 章：用語集
用語の定義の検索 405
デジタル画像用語 405

索引 420

第 1 章：はじめに

使いやすさと強力な機能を兼ね備えた Adobe® Photoshop® Elements® では、写真を使って洗練された作品を作り上げたり、独創的な方法で写真を共有するなどの作業を簡単に行えます。すべての写真とビデオクリップを簡単に検索して表示することもできます。

Photoshop Elements ヘルプのすべての内容を参照するには、「Web 上のページ」をクリックして LiveDocs にアクセスしてください。

Photoshop Elements のインストール

要件

Adobe® ソフトウェアのすべてのシステム要件と推奨事項を確認するには、ソフトウェアに付属するお読みくださいファイルを参照してください。

ソフトウェアのインストール

1 コンピュータで開いている他の Adobe アプリケーションをすべて閉じます。

2 DVD ドライブにインストールディスクを挿入して、画面の指示に従います。

注意：詳しくは、ソフトウェアに付属するお読みくださいファイルを参照してください。

登録

製品を登録すると、無料のインストールサポート、アップデート通知、その他のサービスを受けることができます。

❖ 登録するには、登録ダイアログボックスに表示される指示に従います。このダイアログボックスはインストール後に表示されます。


登録を延期した場合でも、ヘルプ／ユーザ登録を選択すればいつでも登録できます。

お読みくださいファイル

インストール DVD には、ソフトウェアに対応したお読みくださいファイルが収録されています（このファイルは、製品のインストール時にアプリケーションフォルダにもコピーされます）。ファイルを開いて、重要な情報をお読みください。

ヘルプの使用とサポートの利用

Photoshop Elements ヘルプの使用

Photoshop Elements のヘルプはいくつかの形式で用意されており、環境に応じて便利に使い分けることができます。

- LiveDocs オンラインヘルプ
- アプリケーション内のヘルプ
- PDF 形式のヘルプ
- アプリケーション内のリンク

最も便利なのは、LiveDocs オンラインヘルプとアプリケーション内のヘルプの 2 つの形式のヘルプです。アプリケーション内のヘルプは、アプリケーションに組み込まれており、インターネット接続が不要なので、ヘルプを参照する場合に最初に手軽に使用できる形式です。大半の概念や多くのタスクを簡潔に説明しています。LiveDocs オンラインヘルプはすべての概念とタスクをより詳しく説明しており、利用にはインターネット接続が必要です。アプリケーション内のヘルプのトピックについて詳しく知りたい場合は、トピックの下部にある「Web 上のページ」をクリックするだけで、LiveDocs オンラインヘルプに簡単に移動できます。

検索のヒント

ヘルプの検索機能によって、「検索」ボックスに入力された単語のいずれかを含むトピックがヘルプテキスト全体から検索されます。次のヒントを参考にすると、ヘルプの検索時により適切な結果を得られるようになります。

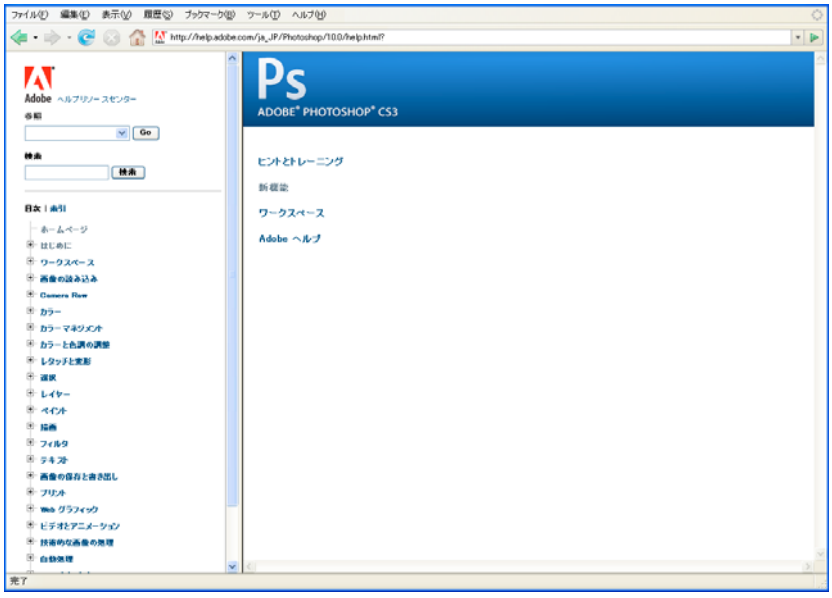
- 語句（" シェイプ ツール " など）を使用して検索する場合は、語句を引用符で囲んでください。語句内のすべての単語を含むトピックのみが検索結果に表示されます。
- 検索対象の単語が正しく入力されていることを確認してください。
- 適切な検索結果が表示されない場合は、類義語（「インターネット」の代わりに「Web」など）を使用してみてください。
- 見つけたトピックを再度参照する可能性がある場合は、ブックマークしておくと後で簡単にアクセスできます。

トピックの印刷

ヘルプのトピックを印刷するには、ブラウザの印刷コマンドを使用します。

LiveDocs オンラインヘルプ

LiveDocs オンラインヘルプは、Photoshop Elements ヘルプのすべての内容の最新版です。インターネット接続を利用できる場合は、このヘルプを使用することをお勧めします。



Photoshop Elements の LiveDocs では、サイドパネルで次のように操作することによって、別のコンテンツにアクセスできます。

- ポップアップメニューから別の製品を選択します。
- 「検索」フィールドを使用して、Photoshop Elements ヘルプ内を検索します。
- 目次または索引を使用して、Photoshop Elements ヘルプのすべてのトピックを参照します。

アプリケーション内のヘルプ

アプリケーション内のヘルプでは、一般的なタスクや概念に関して簡潔にまとめられた情報に簡単にアクセスできます。アプリケーション内のヘルプは、Photoshop Elements を使い始めたばかりのユーザまたはインターネットに接続していないユーザに特に役立ちます。

アプリケーション内の Photoshop Elements ヘルプにアクセスするには、キーボードの F1 キーを使用するか、ヘルプメニューから Photoshop Elements ヘルプを選択します。

インターネットに接続している場合は、アプリケーション内のヘルプのページにある「Web 上のページ」をクリックすると、LiveDocs の対応するページにアクセスすることができます。

注意：インターネットに接続していない場合に「Web 上のページ」をクリックすると、ブラウザのエラーメッセージが表示されます。

PDF 形式のヘルプ

印刷に適した PDF 形式のヘルプも入手できます。入手するには、PDF 形式の Photoshop Elements ヘルプに移動してください。インターネット接続を利用できない場合に、全内容を網羅したヘルプにアクセスするには、この形式が最適です。

アプリケーション内のリンク

Photoshop Elements 内にはいくつかのリンクがあります（例えば、「ガイド付き編集」セクションには、ガイド対象のタスクごとに「詳細 ...」リンクがあります）。こうしたリンクをクリックすると、LiveDocs オンラインヘルプまたはアプリケーション内のヘルプの対応したトピックに移動します。

注意：アプリケーション内のリンクが LiveDocs のページをポイントしている場合にインターネットに接続していないと、ブラウザエラーが表示されます。

Adobe Photoshop Elements の Web サイト

Adobe Photoshop Elements トレーニングリソースページにアクセスしてください。このページには、チュートリアル、オンラインリソースやサービスへのリンク、製品学習用の教本や参考書に関する情報などが用意されています。

カスタマーサポート

Adobe のサポート Web サイト（www.adobe.com/jp/support）にアクセスすると、ご使用の製品のトラブルシューティング情報や、有償または無償のテクニカルサポートオプションに関する情報をご覧いただけます。

新機能と拡張機能

新機能

写真を最高の作品に仕上げる

高度な合成機能 使いやすい編集ツールを使用して、完璧な集合写真や継ぎ目のないパノラマ写真などを簡単に作成できます。

優れたサポート機能 傷を修正したりスクラップブックページを作成する必要がある場合に、それらの操作方法を熟知している必要はありません。Photoshop Elements のガイド付き編集モードでは、編集手順が 1 つ 1 つ案内されるので、今まで以上に簡単に優れた写真に仕上げることができます。

傷の修復 簡単に使えるスポット修復ブラシツールと、詳細に制御可能な修復ブラシを使用して、しわや不要なオブジェクトを簡単に修復できます。最高の結果を得るには、修復ブラシを使った変更を実行する前に、変更後の画像をプレビューします。

瞬時に範囲を選択 画像の範囲を瞬時に選択して、写真の特定の領域を簡単に調整できます。選択ブラシを選択範囲に置くだけで、後はスライダを使用して調整部分を完全に背景に馴染ませることができます。

露出の微調整 明るさ・コントラストのコントロール機能が拡張され、元の写真の情報を失うことなく鮮やかさを向上させることが可能になりました。このコントロールを使用して、色、明るさ、およびコントラストを簡単に調整できます。また、カラーカーブの補正を使用して完璧に露出を調整することができます。

写真の活用範囲が広がる

高度な作品も簡単に加工 カード、および CD/DVD ラベルなどのフォトプロジェクトの作成手順が 1 つ 1 つ案内されます。作成するプロジェクトの種類を選択するだけで、適切なツールと説明が表示されます。

インタラクティブな配信が可能 アニメーション Web ギャラリーで写真を配信すれば、スライドショーの楽しみ方が大きく広がります。Adobe® Flash® CS3 Professional テクノロジによって、家族や友達同士で写真を操作して楽しむことができます。

1 つのパネルから、様々な方法で配信 新しい配信センターから、電子メール、オンラインギャラリー、CD/DVD への書き込みなどの様々な方法ですばやく簡単に写真を配信できます。お気に入りの電子メール配信オプションを既定の設定として保存すれば、数回クリックするだけで写真やスライドショーを送ることができます。

生き生きとしたフォトプロジェクトを作成 洗練された新しいテーマとアートワークを使用して、プロフェッショナルな仕上がりのフォトプロジェクトを作成できます。

独自のフォト電子メールを送信 テーマ別の電子メールの写真にキャプションと背景を追加して送信できます。Photoshop Elements では、電子メールテンプレートに楽しい新機能が追加されています。また、写真は自動的に最適化されるので、すばやくダウンロードでき、見た目がよくなるうえに、友人のメールボックスの容量を使いすぎることはありません。

写真やビデオクリップを簡単に見つけて表示できる

パフォーマンスの向上 Photoshop Elements の起動時間が短縮され、これまでよりも早く、写真の表示や整理を始められるようになりました。ライブラリ内の写真の数が莫大になった場合でも、すばやく写真をスクロールしたり、名札を適用したり、写真を表示および取得することができます。

表示したい写真を的確に表示 写真整理モードでは表示したい写真のみを表示できます。手動で名札を付ける必要はありません。新しいスマートアルバムでは、特定のカメラで撮影したすべての写真、今年撮影したすべての写真、重要度が 5 つ星のすべての写真など、様々なグループの写真を表示できます。

プロジェクトをより迅速に作成 特定のプロジェクトに必要な写真を一箇所に集めることで、時間を節約できます。専用のプロジェクトエリアを使用すると、開いている写真、フォトブックのページ、および保存したアルバムすべてに簡単にアクセスできます。

Photoshop Elements での操作

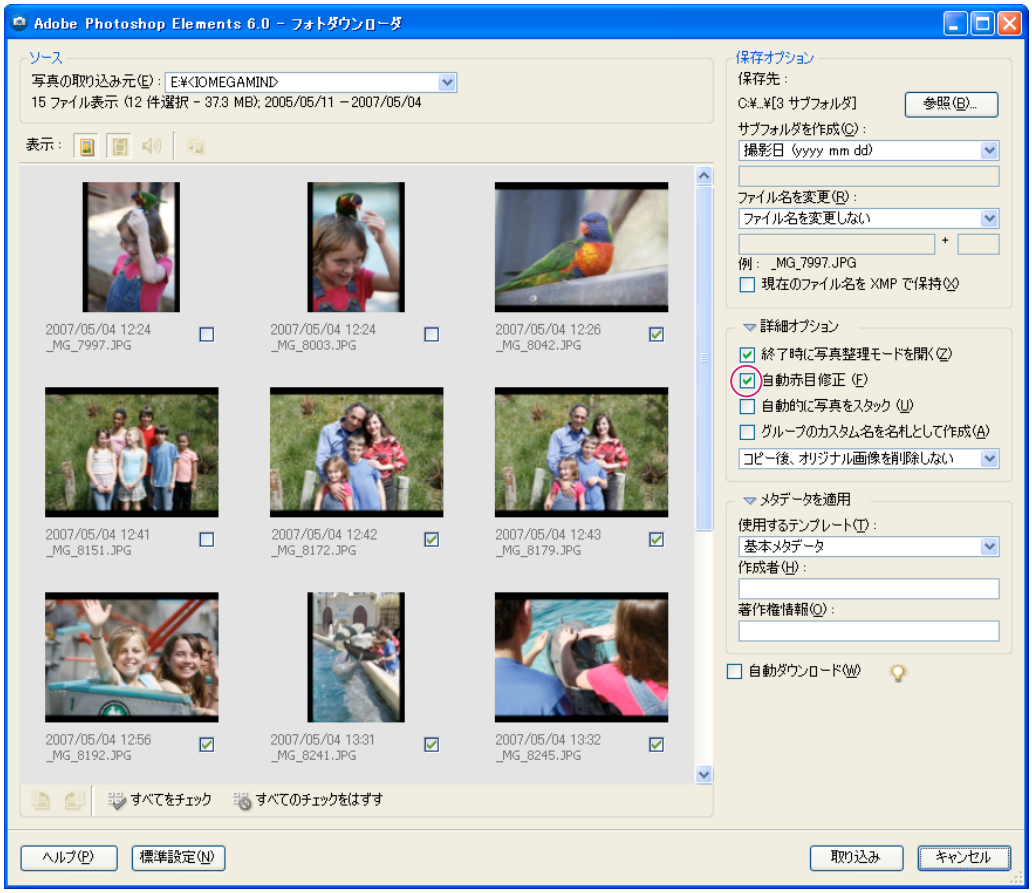
Photoshop Elements の概要

使いやすさと強力な機能を兼ね備えた Photoshop Elements ソフトウェアにより、写真を使って創造性豊かな作品を簡単に制作することができます。まず、写真を写真整理モードに取り込みます。ここでは、すべての写真とビデオクリップを検索したり表示したりできるだけでなく、簡単な編集も行えます。写真編集モードで写真の詳細な加工を行います。ここでは、クイック補正を実行したり、ガイド付き編集で作業したり、高度な編集ツールを使用したりできます。加工が終わったら、スライドショー、フォトブック、オンラインギャラリーなどの、印刷用フォトプロジェクトまたは電子フォトプロジェクトを作成して、家族や友人と簡単に写真を共有することができます。

写真の取り込みと整理

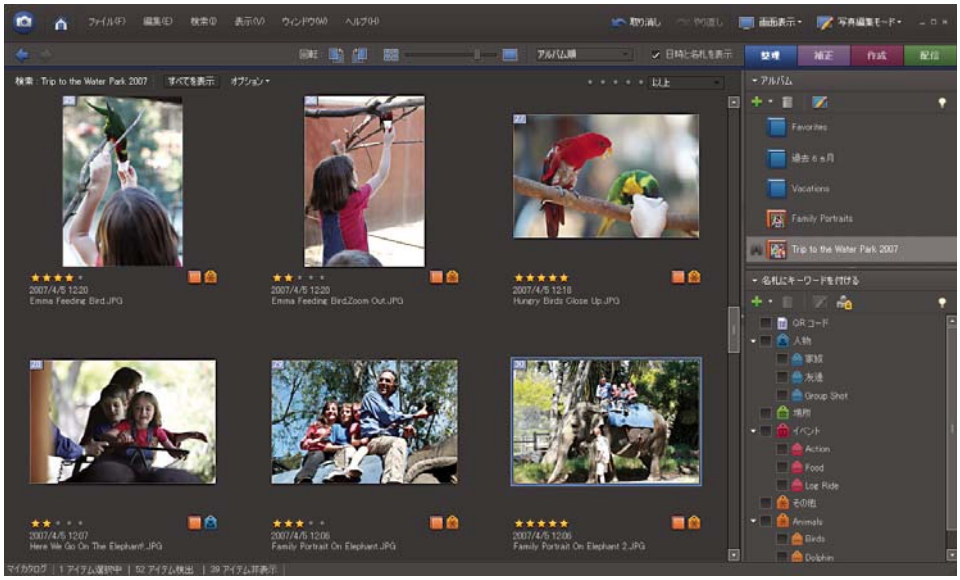
Photoshop Elements を起動すると、スタートアップスクリーンが表示されます。この画面から、実行するタスクの画面にアクセスできます。このプログラムでは、写真整理モードと写真編集モードの 2 つの基本的なワークスペースを使用します。2 つのワークスペースは、実行するタスクに応じて切り替えることができます。まず、「整理」をクリックして写真を取り込みます（スタートアップスクリーンを省略して、常に写真整理モードまたは写真編集モードから開始されるようにするには、スタートアップスクリーンの下部にあるスタートアップスクリーンから開始ポップアップメニューから目的のワークスペースを選択します）。

Photoshop Elements では、カメラ、カードリーダ、スキャナ、ハードディスク上のフォルダ、または携帯電話から写真を取り込むことができます。カメラをコンピュータに接続したときに Photoshop Elements が自動的に起動されるように設定して、さらにすばやく取り込めるようにしたり、取り込み時に自動的に赤目が修正されるように設定することもできます。



フォトダウンローダのダイアログボックスで、写真をプレビューしたり、自動的に赤目を修正することができます。

取り込んだ後、写真、ビデオファイル、オーディオクリップ、および Adobe PDF ドキュメントを、写真整理モードを使用して検索したり管理することができます。これらが異なる場所に保存されている場合でも可能です。Photoshop Elements は、写真をダウンロードするときに写真を日付順に自動的に整理します。また、重要度を追加したり、写真をスタックしたり、キーワード名札を割り当てたりすることによって、写真を並べ替えたり分類し直すことができるので、人、場所、イベントを簡単に特定することができます。愛犬の名札をクリックするだけで、今までに撮影した愛犬のすべての写真を瞬時に表示できます。Photoshop Elements は、顔が含まれているすべての写真を検索できるため、友人や家族の写真に容易に名札を付けて並べ替えることができます。また、日付範囲、キャプション、ファイル名、メディアの種類などに基づいて画像を検索することもできます。



写真整理モードでは、キーワード名札、アルバム、重要度を使用して、写真を整理および管理することができます。

写真を管理するもう 1 つの方法として、アルバムを使用する方法があります。これにより、特別なプロジェクト用の関連する写真を一緒に保存することができます。例えば、アルバムを使用して、家族の思い出のスライドショーで使用するすべての写真を集めておくことができます。アルバムに写真を追加または削除するには、写真をドラッグします。検索条件に基づいたスマートアルバムを作成することもできます。春休みに何度か浜辺に行って撮影した写真を検索し、その結果をスマートアルバムとして保存することも簡単です。新たに読み込んだ写真がスマートアルバムの条件に一致すると、その写真は自動的にスマートアルバムに追加されます。

写真整理モードでは、以前に保存したバージョンの写真を表示したり、サムネールのサイズを調整したり、写真をフルスクリーンモードで表示したり、写真を並べて比較することができます。

写真の編集

Photoshop Elements では、簡単なワンクリック修正機能から高度なカラー補正および合成に至る、いくつかの編集レベルを利用できます。写真整理モードでは、いくつかの基本的な補正機能を利用できますが、写真を詳細に編集するには、写真編集モードワークスペースに切り替える必要があります。

写真整理モードでは、自動スマート補正、自動カラー補正、自動コントラストおよび自動シャープなど、様々なワンクリック修正を行って基本的な画像調整を行うことができます。「自動赤目修正」を選択すると、写真をクリックすることなく、選択した写真の赤目を修正することができます。

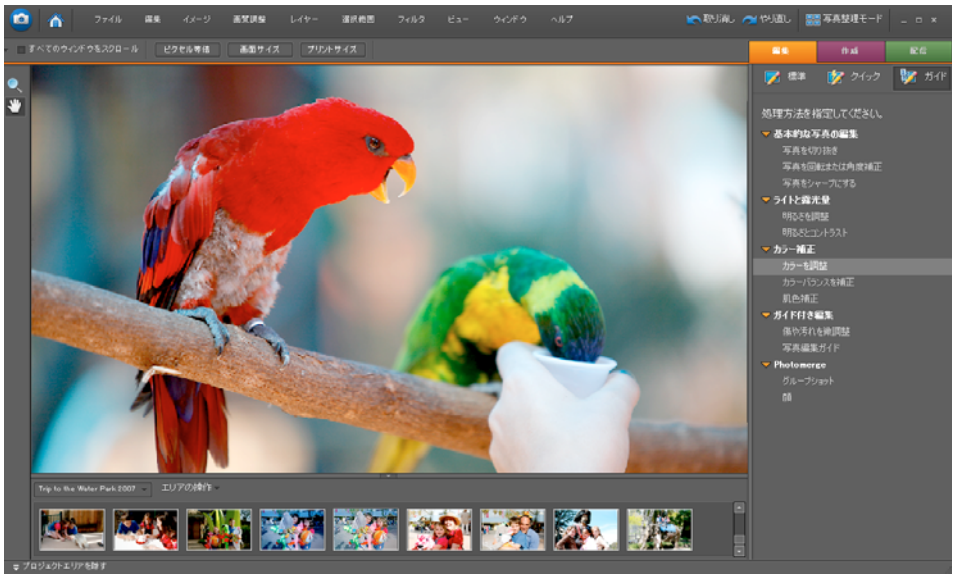
写真編集モードワークスペースには、クイック補正、ガイド付き編集、およびスタンダード編集の 3 つの編集モードがあります。クイック補正では、写真全体または選択範囲のライティング、カラー、およびシャープを調整するためのスライダコントロールが表示されます。スタンダード編集モードでは、すべての編集用ツールセットとコントロールが表示されます。ここでは、覆い焼き、焼き込み、スポンジなどの高度な暗室ツールを使用して写真の特定の領域の露出を調整したり、機能強化された明るさ・コントラストコントロールを使用して露出を微調整したり、カラーカーブを使用して完璧に露出を調整することができます。



写真編集モードワークスペースのクイック補正モードのスライダコントロールを使用すると、写真のカラーとライティングを簡単に補正できます。

スタンダード編集モードでは、しみや汚れを除去したり、しわや傷を除去したり、アーティスティックフィルタやエフェクトを適用することもできます。

手順がわからない場合は、ガイド付き編集モードに切り替えます。これにより、写真の回転や角度補正、肌色補正、およびカラー補正など、一般的なタスクの実行方法の詳細なヘルプが示されます。



ガイド付き編集モードでは、編集手順が 1 つ 1 つ案内されるので、今まで以上に簡単に優れた写真に仕上げることができます。

1 回クリックするだけで複数の手順を取り消したりやり直すことができるため、気軽に試してみることができます。

合成写真の作成

使いやすいツールを使用して、完璧な集合写真や継ぎ目のないパノラマ写真など、優れた合成写真を作成することもできます。*Photomerge* という新しい写真合成技術により、一連の集合写真から好ましい表情としぐさを組み合わせて、全員が最高の状態で写っている 1 枚の合成写真を容易に作成することができます。または、顔の様々な部分を合成して楽しむこともできます。例えば、自分と配偶者の顔を組み合わせて、子供の顔を予想することができます。Photomerge では、一連の風景写真を自動的に貼り合わせて継ぎ目のないパノラマ画像を作成することもできます。

写真編集モードワークスペースの 3 つのモードのいずれを使用しても、Photomerge による合成写真を作成できます。ファイル／新規を選択し、Photomerge の 3 つのコマンドの 1 つを選択します。または、「ガイド付き編集」タブで Photomerge のコマンドの 1 つを選択します。

注意：スクラップブックページは日本では利用できません。



1 つのツールを使用して、一連の集合写真から好ましい表情としぐさを組み合わせて、全員が最高の状態で写っている 1 枚の合成写真を簡単に作成することができます。

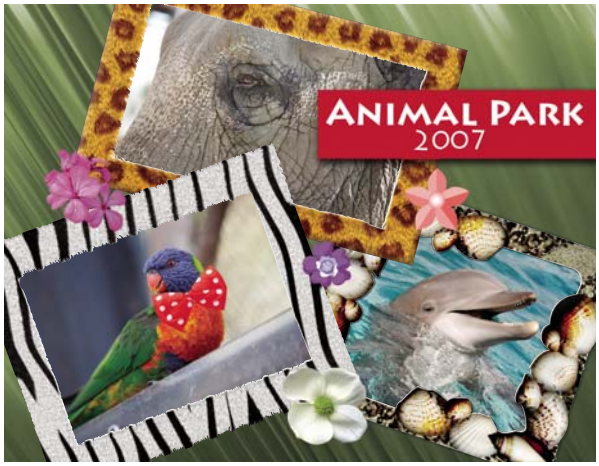
フォトプロジェクトの作成と共有

Photoshop Elements で写真を完成させたら、それらを様々なプロジェクトで使用して、家族や友人と共有することができます。例えば、アルバム、グリーティングカード、CD/DVD ラベルおよびジャケット、フォトコラージュなどのプリント目的のフォトプロジェクトを作成して、ご家庭でプリントしたり、オンラインプリントサービスにアップロードすることができます（米国以外の地域ではサービスを利用できない場合があります）。高度なデザインと配色のテンプレートには、グリーティングカードで使用可能なテーマ別のレイアウトが用意されています。「作成」タブや「配信」タブで、作成するプロジェクトのタイプを選択するだけで、Photoshop Elements が適切なツールと手順を案内します。



CD/DVD ラベルおよびジャケットの作成

テンプレートに独自の変更を加えることによって、プロジェクトをカスタマイズすることができます。レイアウトカラーを調整して、写真を引き立てたり、新しいグラフィック要素、テキスト、およびドロップシャドウや光彩などのエフェクトを追加することができます。また、アートワークパレットを使用して、豊富に用意されたフレーム、テーマ、背景、クリップアート、およびエフェクトをすばやく参照し、写真やフォトプロジェクトに適用できます。

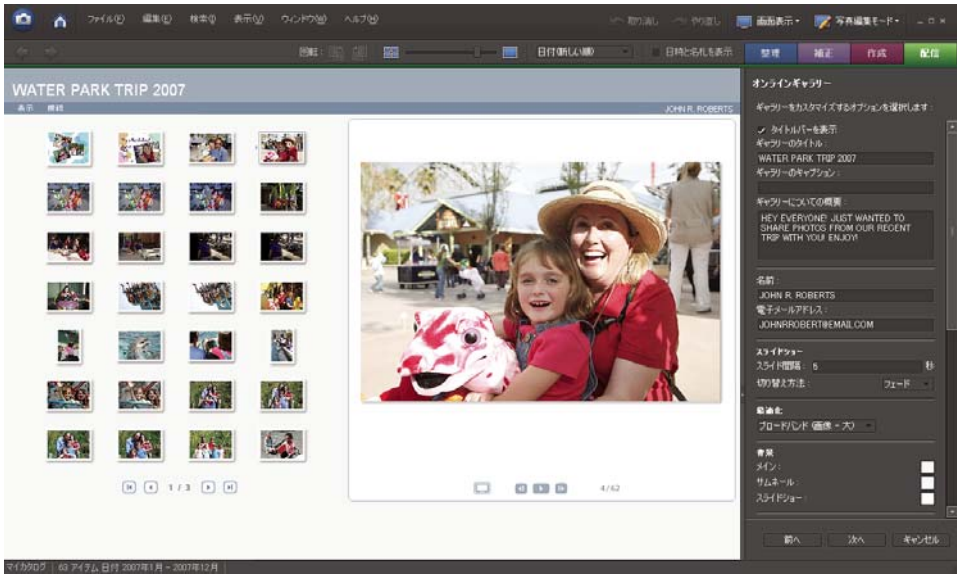


フレーム、ドロップシャドウ、背景、およびテキストなどのグラフィック要素を使用してカスタマイズされたフォトコラージュを作成します。

写真を、オンラインフォトギャラリー、フォトスライドショー、およびフリップブックなどのデジタルプロジェクトで使用することもできます。写真をプリントするプロジェクトの場合と同様、Photoshop Elements ではデジタルプロジェクトを作成するための手順も示されます。これにより、ページのデザイン、写真の配置、レイアウトのカスタマイズ、プロジェクトのディスクへの書き込みや FTP サーバーへのアップロードなどの作業が簡単に行えます。



キャプション、パン・ズーム効果、切り替え、ナレーション、音楽を付加して、見栄えのするスライドショーを作成します。



新たに追加された配信センターから、フォト電子メールを送信したり、オンラインギャラリーに写真を配信できます。

第 2 章：Photoshop Elements ワークスペース

Photoshop Elements には、写真整理モードと写真編集モードという 2 つのメインワークスペースがあります。写真整理モードは、写真やメディアファイルの検索、整理、配信に使用します。写真編集モードは、画像の作成、編集、補正に使用します。プラグインモジュールをインストールして機能を追加したり、仮想記憶ディスクを使用してシステムメモリを拡張することもできます。

写真整理モードで写真を選択し、写真編集モードポップアップメニュー をクリックし、「クイック補正」、「スタンダード編集」、「ガイド付き編集」のいずれかを選択すると、選択した写真が写真編集モードで開かれます。写真編集モードで作業している場合は、「写真整理モード」ボタン をクリックすると、写真整理モードのワークスペースが表示されます。

写真整理モードと写真編集モードの両方を開いている場合は、Windows® のタスクバーでそれぞれのボタンをクリックして画面を切り替えることができます。

Photoshop Elements ヘルプのすべての内容を参照するには、「Web 上のページ」をクリックして LiveDocs にアクセスしてください。

ワークスペース

スタートアップスクリーン

Photoshop Elements を起動すると、初期設定でスタートアップスクリーンが開きます。スタートアップスクリーンは、主な各種作業にアクセスするための出発点となる、便利なスクリーンです。アプリケーションを起動したときに写真編集モードまたは写真整理モードワークスペースが開くようにしたい場合は、スタートアップスクリーンの下部にあるスタートアップスクリーンから開始ポップアップメニューから目的のワークスペースを選択します。

ボタンをクリックして、目的のワークスペースを開きます。例えば、写真整理モードを起動して、写真の読み込み、タグの追加、整理を行うには「整理」をクリックします。また、写真編集モードを起動して、画像の加工や、特殊効果の適用を行うには「編集」をクリックします。

いったんスタートアップスクリーンを閉じても、ウィンドウ／スタートアップスクリーンを選択していつでも開くことができます。スタートアップスクリーンに戻らなくても、ワークスペースから別のワークスペースを開くことができます。

写真整理モードワークスペース

写真整理モードは、写真やメディアファイルを検索、整理および配信するのに使用します。Photoshop Elements に取り込んだあらゆる写真のサムネールを表示するには、写真整理モードのフォトブラウザを使用します。サムネールスライダを使ってサムネールのサイズを指定して、1 つの写真を大きなサムネールで表示したり、複数の写真を小さなサムネールで表示できます。写真を日付順に表示するには、写真整理モードの日付表示を使用します。日付表示では、カレンダー形式でファイルを操作することができます。

フォトブラウザには、取り込んだすべての写真、ビデオおよび PDF ファイルが 1 つの包括的なウィンドウに表示され、それらを簡単に参照したり、フィルタを適用することができます。CD など、コンピュータの外部に保存したファイルのサムネールを表示することもできます。

タスクエリアの「補正」タブのツールを使用して、赤目や不自然な色など、写真の一般的な問題を補正することができます。より複雑な編集を行うには、写真整理モードで写真を選択して、「補正」タブで「スタンダード編集」ボタン をクリックします。写真が写真編集モードワークスペースに表示されます。

タスクエリアの「作成」タブでは、プリントするフォトブックやコンピュータで表示するスライドショーなど、様々なプロジェクトを作成できます。

また、タスクエリアの「配信」タブのツールを使用して、写真やプロジェクトを他のユーザと共有することもできます。



写真整理モードのボタンとメニューバー
A. スタートアップスクリーンボタン **B.** メニューバーの左側と右側 **C.**「取り消し」ボタンと「やり直し」ボタン **D.** 前の表示に戻るボタンと次の表示に進むボタン **E.** 検索バー **F.** フォトブラウザエリアでのアイテムの並べ方メニュー **G.** 重要度フィルタ **H.** タスクエリアの 4 つのタブ **I.** 表示メニュー **J.** スタンダード編集、クイック補正、ガイド付き編集メニュー **K.** 左に回転ボタンと右に回転ボタン **L.** サムネールのサイズ調整スライダ

写真整理モードワークスペースには、次のコンポーネントがあります。

スタートアップスクリーンボタン スタートアップスクリーンが表示されます。ここでは、Web サービスにサインインしたり、整理、編集、作成または配信作業用のツールを選択できます。

メニューバー 作業を実行するためのメニューが含まれています。メニューは、「ファイル」、「編集」、「検索」、「表示」、「ウィンドウ」および「ヘルプ」に分類されています。

「画面表示」ボタン フォトブラウザの表示方法のメニューが表示されます。

「写真編集モード」ボタン「クイック補正」、「スタンダード編集」、「ガイド付き編集」のいずれかを選択できるメニューが表示されます。

ナビゲーションボタン フォトブラウザの前の表示に戻ったり、次の表示に進むことができます。

検索バー 写真、アルバムアイコンまたはキーワード名札アイコンをここにドラッグして、写真を検索します。

フォトブラウザ 写真整理モードの写真、ビデオクリップ、オーディオファイルおよびプロジェクトを単独で、またはサムネールで表示します。

タスクエリア「整理」、「補正」、「作成」および「配信」タブと、それぞれのタブのパレットやボタンが含まれています。

ステータスバー フォトブラウザのステータスバーには、選択しているしたアイテムの数と、フォトブラウザに含まれている全アイテム数が表示されます。

注意：写真整理モードを起動した状態で Windows の画面のテーマを変更すると、写真整理モードのワークスペースがゆがんで表示されます。表示を元に戻すには、写真整理モードの画面を一旦閉じ、再起動します。

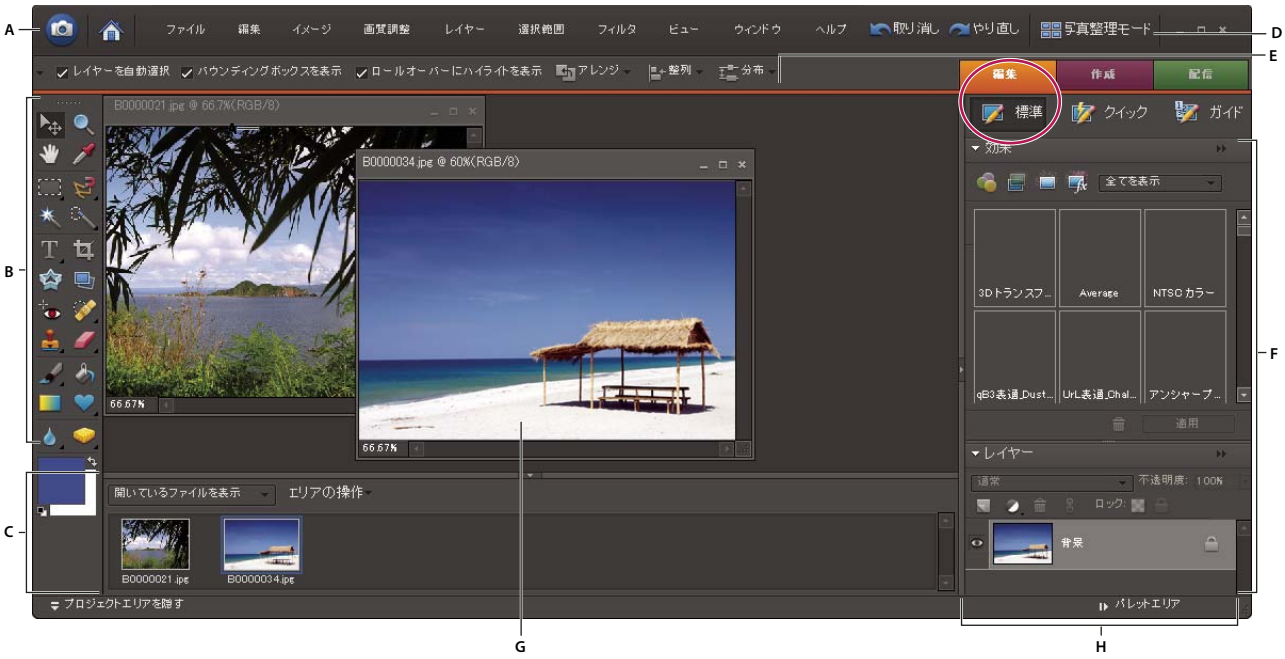
関連項目

56 ページの「日付表示での写真を表示および検索」

写真編集モードワークスペース

写真編集モードワークスペースには、スタンダード編集、クイック補正、およびガイド付き編集の 3 つの画像作成／編集モードがあります。スタンダード編集ワークスペース には、色の問題を補正したり、特殊効果を作成したり、写真を加工するためのツールがあります。クイック補正ワークスペース には、カラーやライティングを補正したり、赤目などの一般的な問題をすばやく補正するためのコマンドがあります。デジタル画像処理に初めて取り組む場合は、クイック補正またはガイド付き編集を使用して写真の補正を開始することをお勧めします。

既に画像編集アプリケーションを使用した経験がある場合は、スタンダード編集ワークスペースでより柔軟で強力な画像補正を行うことができます。スタンダード編集ワークスペースには、画像のしみや斑点の補正、選択範囲の指定、テキストの追加、画像のペイントに必要なツールに加え、カラーおよび照明を補正するためのコマンドもあります。パレットを移動したり、パレットの表示／非表示を切り替えて、スタンダード編集ワークスペースを使いやすいように整理したり、パレットエリアにパレットを配置することができます。また、写真をズームイン／ズームアウトしたり、ドキュメントウィンドウの別の領域にスクロールしたり、複数のウィンドウとビューを作成することができます。



スタンダード編集ワークスペース
A. メニューバー **B.** ツールボックス **C.** プロジェクトエリア **D.**「写真整理モード」ボタン **E.** オプションバー **F.** パレット **G.** 作業中の画像 **H.** パレットエリア

メニューバー 作業を実行するためのメニューが含まれています。メニューは、トピック別に分類されています。例えば、画像調整メニューには、画像を補正するためのコマンドが含まれています。

ワークスペースボタン クイック補正ワークスペース とスタンダード編集ワークスペース を切り替えることができます。これらのボタンは、ワークエリアの下部にあり、現在のワークスペースに応じて切り替わります。

ツールボックス 画像を編集するためのツールが含まれています。

オプションバー 選択したツールのオプションが表示されます。

プロジェクトエリア 開いている画像のサムネールが表示され、それらを容易に管理することができます。

パレット 画像の状態を確認したり変更することができます。

パレットエリア ワークエリアのパレットを整理することができます。

関連項目

193 ページの「クイック補正でのカラーの補正」

121 ページの「情報パレットまたはステータスバーへのファイル情報の表示」

Photoshop Elements の終了

Photoshop Elements を終了するには、写真編集モードと写真整理モードのワークスペースの両方を閉じる必要があります。一方を閉じても、もう一方が自動的に閉じられることはありません。

1 写真編集モードと写真整理モードのいずれか、または両方のワークスペースで、次のいずれかの操作を行います。

- ファイル／終了を選択します。
- ワークスペースの右上にある閉じるボタン（X）をクリックします。

2 Photoshop Elements を閉じるときに、開いているファイルを保存するかどうかを選択します。

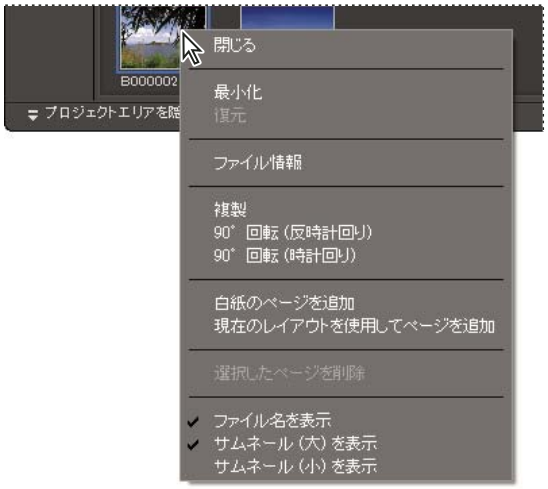
関連項目

137 ページの「別のファイル形式での変更内容の保存」

コンテクストメニュー

コンテクストメニューの使用

写真編集モードワークスペースと写真整理モードワークスペースでは、どちらでもコンテクストメニューを使用できます。コンテクストメニューを使用して、使用中のツール、選択範囲、パレットなどに関連するコマンドを表示できます。多くの場合、これらのメニューではウィンドウメニューにあるコマンドに簡単にアクセスすることができます。



コンテクストメニューは右クリックで開きます。このメニューは、スタンダード編集のプロジェクトエリアに表示されます。

1 画像またはパレット項目の上にポインタを置きます。

注意：一部のパレットにはコンテクストメニューがありません。

2 右クリックして、メニューからコマンドを選択します。

ショートカットキーと修飾キーの使用

写真編集モードワークスペースと写真整理モードワークスペースでは、どちらでもショートカットキーを使用できます。スタンダード編集で、ショートカットキーを使用すると、メニューを使用せずにコマンドをすばやく実行できます。修飾キーを使用すると、ツールの動作を変えることができます。ショートカットキーが使用可能な場合は、メニューのコマンド名の右側にショートカットキーが表示されます。

関連項目

394 ページの「ナビゲーション時に使用するキー」

396 ページの「ツールの選択時に使用するキー」

ツール

ツールボックス

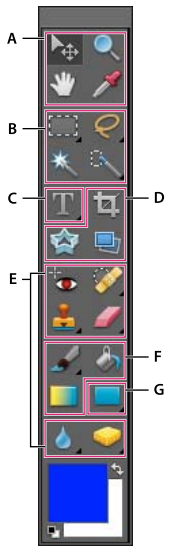
写真編集モードワークスペースでは画像編集を目的としたツールにアクセスできます。ツールボックスには、画像の選択、編集、表示に関するツールがあります。一部のツールでは、ペイント、描画、入力を行うことができます。ツールボックスは、スタンダード編集ワークスペースとクイック補正ワークスペースの左側に表示されます。スタンダード編集ワークスペースでは、ボックスの上部にあるグリッパーバーをドラッグすることでツールボックスを移動できます。

ツールボックスのツールを使用するには、そのツールを選択する必要があります。選択したツールはツールボックスでハイライト表示され、ツールのオプション設定がオプションバーに表示されます。オプションバーは、写真編集モードワークスペースの上部にあるツールバーの下に表示されます。ツールボックスの一部のツールには、その下に別のツールが含まれています。これを「非表示のツール」と呼びます。ツールアイコンの右下に小さな三角形が表示されている場合は、そのツールの中に非表示のツールがあることを示しています。ツールを選択したときに、非表示のツールが存在する場合は、オプションバーに表示されます。

注意：ツールの選択を解除することはできません。ツールを選択すると、別のツールを選択するまでそのツールが選択された状態になります。例えば、なげなわツールを選択していた場合に、何も選択せずに画像内をクリックしたい場合は、手のひらツールを選択します。

ツールボックス内のツールの上にポインタを置くと、そのツールに関する情報が表示されます。ポインタの下には、ツールの名前が表示されます。この表示を「ツールヒント」と呼びます。一部のツールヒントでは、その中のリンクをクリックすることによりツールに関する追加情報を表示できます。

ツールボックスの概要



A ナビゲーションツールおよび測定ツール

- **移動ツール (V)**
- **ズームツール (Z)**
- **手のひらツール (H)**
- **スポイトツール (I)**

B 選択ツール

- **正方形選択ツール (M)**
  楕円形選択ツール (M)
- **なげなわツール (L)**
  マグネット選択ツール (L)
  多角形選択ツール (L)
- **自動選択ツール (W)**
- **クイック選択ツール (A)**
  選択ブラシツール (A)

C 文字ツール

- **横書き文字ツール (T)**
  縦書き文字ツール (T)
  横書き文字マスクツール (T)
  縦書き文字マスクツール (T)

D 切り抜きツール

- **切り抜きツール (C)**
- **型抜きツール (Q)**
- **角度補正ツール (P)**

E レタッチツール

- **赤目修正ツール (Y)**
- **スポット修復ブラシツール (J)**
  修復ブラシツール (J)
- **コピースタンプツール (S)**
  パターンスタンプツール (S)
- **消しゴムツール (E)**
  背景消しゴムツール (E)
  マジック消しゴムツール (E)
- **ぼかしツール (R)**
  シャープツール (R)
  指先ツール (R)
- **スポンジツール (O)**
  覆い焼きツール (O)
  焼き込みツール (O)

F ペイントツールおよび描画ツール

- **ブラシツール (B)**
  鉛筆ツール (N)
  印象派ブラシツール (B)
  色の置き換えツール (B)
- **塗りつぶしツール (K)**
- **グラデーションツール (G)**

G シェイプツール

- **長方形ツール (U)**
  角丸長方形ツール (U)
  楕円ツール (U)
  多角形ツール (U)
  ラインツール (U)
  カスタムシェイプツール (U)
  シェイプ選択ツール (U)

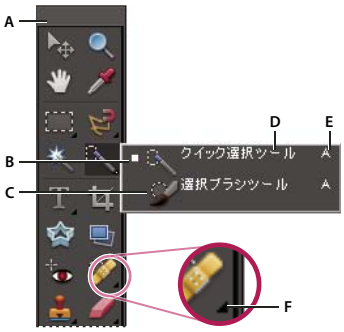
■ は初期設定のツールを示します。 * カッコ内の文字はキーボードショートカットを表します。

ツールボックスの概要

ツールの選択

❖ 次のいずれかの操作を行います。

- ツールボックス内のツールをクリックします。ツールの右下に小さな三角形が付いている場合は、マウスボタンを押したままにすると、非表示のツールが表示されます。非表示のツールが表示されたら、必要なツールをクリックします。
- ツールに対応したショートカットキーを押します。ショートカットキーは、ツールヒントに表示されます。例えば、移動ツールを選択する場合は V キーを押します。



ツールの使用
A. ツールボックス **B.** アクティブなツール **C.** 非表示のツール **D.** ツール名 **E.** ツールのショートカット **F.** 非表示のツールを表示するための三角形

関連項目

396 ページの「ツールの選択時に使用するキー」

ツールの環境設定

1 写真編集モードで、編集／環境設定／一般を選択します。

2 次のオプションのうち 1 つまたは複数を設定し、「OK」をクリックします。

- 「ツールヒントを表示」を選択すると、ツールヒントの表示／非表示を切り替えることができます。
- 「ツールの変更に Shift キーを使用」を選択した場合は、Shift キーとショートカットキーを両方押すことで、非表示のツールを順番に切り替えることができます。このオプションを選択していない場合は、（Shift キーを押さずに）ショートカットキーを押して、非表示のツールを切り替えます。

ツールポインタの表示の設定

1 写真編集モードで、編集／環境設定／画面表示・カーソルを選択します。

2「ペイントカーソル」の設定を選択します。

標準 ポインタをツールアイコンで表示します。

精細 ポインタをクロスヘアカーソルで表示します。

ブラシ先端（標準サイズ）ポインタを、指定したブラシのサイズの 50 %の大きさの円で表示します。

ブラシ先端（フルサイズ）ポインタを、指定したブラシのサイズの 100 %の大きさの円で表示します。

ブラシ先端に十字を表示「ブラシ先端（標準サイズ）」または「ブラシ先端（フルサイズ）」を選択したときに、円の中に十字を表示します。

3「その他カーソル」の設定を選択します。

標準 ポインタをツールアイコンで表示します。

精細 ポインタをクロスヘアカーソルで表示します。

ツールオプションの設定

オプションバーは、写真編集モードワークスペースの上部にあるツールバーの下に表示されます。オプションバーには、現在選択されているツールに応じた設定項目が表示されます。つまり、別のツールを選択すると、オプションバーに表示される設定項目も変化します。オプションバーに表示される設定項目には、いくつかのツールに共通するものと特定のツールに固有のものがあります。



なげなわツールのオプションバー
A. ツールアイコン **B.** アクティブなツール **C.** 非表示のツール **D.** ツールオプション

1 ツールを選択します。

2 オプションバーの内容を見て、設定可能なオプションを確認します。各ツールのオプション設定について詳しくは、ツールの名前で Photoshop Elements のアプリケーションヘルプを検索してください。

注意：特定のツールまたはすべてのツールを初期設定に戻すには、オプションバーでツールアイコンをクリックし、コンテクストメニューから「ツールを初期化」または「すべてのツールを初期化」を選択します。

関連項目

396 ページの「ツールの選択時に使用するキー」

完了した操作の警告の設定

1 写真編集モードで、編集／環境設定／一般を選択します。

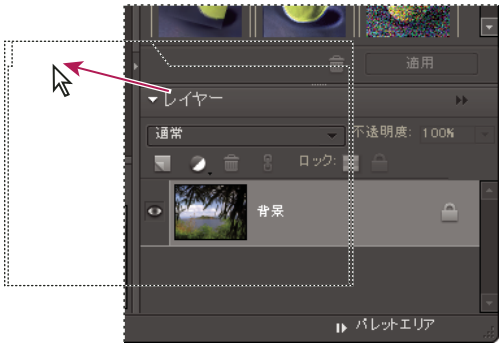
2「終了をビープ音で知らせる」を選択し、「OK」をクリックします。

パレットとエリア

パレット

パレットは、写真編集モードワークスペースと写真整理モードワークスペースの両方で利用可能です。ただし、それぞれの動作はいくらか異なります。パレットでは、画像の状態の管理、確認、編集ができます。一部のパレットには、追加のコマンドとオプションを提供するメニューがあります。ワークスペース内のパレットは様々な方法で整理できます。パレットエリアにパレットを収納しておくと、ワークスペースを十分に活用しながら必要なときにパレットを利用できます。よく使用するパレットはワークスペース内で開いたままにしておくと便利です。複数のパレットをグループ化したり、あるパレットを別のパレットの下にドッキングしたりすることもできます。

注意：パレットを開いたままにしたい場合は、そのパレットをパレットエリアの外側にドラッグします。



パレットのドラッグ

パレットメニュー

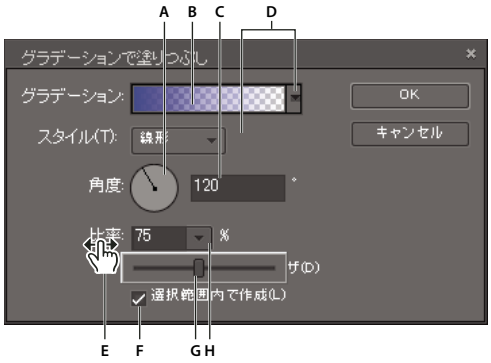
一部のコマンドは、パレットメニューとメニューバーの両方に表示されます。その他のコマンドはパレットメニューにだけ表示されます。

パレットの上部に詳細ボタンがある場合にだけ、メニューが表示されます。詳細ボタンをクリックし、パレットメニューからコマンドを選択します。詳細ボタンの位置と表示は、パレットがパレットエリア内にあるかパレットグループ内にあるかで異なります。

パレット内のポップアップスライダ

一部のパレットとダイアログボックスでは、ポップアップスライダを使用できます（例えば、レイヤーパレットの「不透明度」オプションなど）。設定ボックスの横に三角形がある場合は、その三角形をクリックすると、ポップアップスライダがアクティブになります。設定ボックスの横にある三角形の上にポインタを移動し、マウスボタンを押しながらスライダをドラッグして数値を調節します。ポップアップスライダの外をクリックするか、Enter キーを押すと、ポップアップスライダが閉じます。変更をキャンセルするには、Esc キーを押します。

ポップアップスライダが開いているときに 10 %ずつ値を増減するには、Shift キーを押しながら上向きまたは下向きの矢印キーを押します。



数値を入力する他の方法
A. ダイアル **B.** クリックしてウィンドウを開く **C.** テキストボックス **D.** ポップアップメニュー **E.** スクラブスライダ **F.** チェックボックス **G.** スライダ **H.** ポップアップスライダの三角形

写真編集モードでのパレットの利用

写真編集モードのパレットエリアでは、一箇所に複数のパレットを格納し、パレットを簡単にすばやく使用できるように設定したり、閉じたり、開いたままにしたりすることができます。初期設定では、パレットエリアはワークスペースの右側に表示されます。パレットを調整すると、初期化または設定を変更するまで、調整された状態のままになります。



パレットエリア
A. パレットの展開／折りたたみ **B.** パレットの高さを調整 **C.** 詳細メニュー **D.** スクロールして他のパレットを表示 **E.** パレットツールを変更 **F.** パレットの幅を調整 **G.** パレットエリアの表示／非表示を切り替え

1 パレットエリアを調整するには、次のいずれかの操作を行います。

- 幅と高さを調整するには、左側の濃いグレーのバーをドラッグするか、下の点線のバーをドラッグします。
- エリアの表示と非表示を切り替えるには、ウィンドウ／パレットエリアを選択します。または、パレットエリアの左端の濃いグレーのバーをクリックして非表示にしたり、写真編集モードウィンドウの右端をクリックして表示することができます。

2 パレットエリアのパレットを使用するには、次のいずれかの操作を行います。

- パレットエリアからパレットを取り出すには、パレットのタイトルバーをパレットエリアの外側にドラッグします。
- パレットエリアにパレットを追加するには、パレットエリアのタイトルバーをパレットエリアの中にドラッグします。または、パレットの詳細ボタンをクリックして、「閉じた時パレットエリアに格納」を選択してから、パレットを閉じます。
- パレットエリアのパレットを並べ替えるには、パレットのタイトルバーを移動先にドラッグします。
- パレットエリアのパレットを展開するまたは折りたたむには、パレット名の横の三角形をクリックします。

3 パレットエリアの外にあるパレットを使用するには、次のいずれかの操作を行います。

- パレットを開くには、ウィンドウメニューでパレットの名前を選択します。
- パレットを閉じるには、ウィンドウメニューでパレットの名前を選択します。または、パレットのタイトルバーにある閉じるボタン をクリックします（このオプションは、メニューから開いたパレットで機能します。パレットエリアからパレットをドラッグしてエリアの外に出した場合は、閉じるボタンをクリックすると、パレットはエリアに戻ります）。
- パレットの大きさを変更するには、パレットのコーナーをドラッグします。
- 複数のパレットをグループ化する（複数のタブを持つ 1 つのパレットにする）には、あるパレットのタブをグループ化するパレットの上にドラッグします。正しい位置にポインタを移動させると、グループ化するパレットの回りに太い線が表示されてパレットをグループ化できることを示します。パレットを別のグループに移動したい場合は、パレットのタブを対象のグループにドラッグします。パレットをグループから取り除くには、パレットのタブをグループの外にドラッグします。
- パレットグループを移動するには、タイトルバーをドラッグします。

- パレットまたはパレットグループを展開するまたは折りたたむには、パレットのタブまたはタイトルバーをダブルクリックします。
- 複数のパレットをドッキングする（複数のパレットを積み重ねる）には、パレットのタブ（タイトルバーではない）を他のパレットの下にドラッグします。正しい位置にポインタを移動させると、ドラッグ先のパレットの下部に二重線が表示されてパレットをドッキングできることを示します。パレットグループ同士はドッキングできません。
- パレットを初期化して元の位置に戻すには、ウィンドウ／パレット位置を初期化を選択します。

注意：パレットが常に写真編集モード内の初期設定の位置で開くようにするに場合は、編集／環境設定／一般を選択し、「パレット位置を保存」の選択を解除します。次にアプリケーションを起動したときに、変更が適用されます。

写真整理モードでのタスクエリアの利用

写真整理モードでは、フォトブラウザの右側にタスクエリアが表示されます。タスクエリアには、写真編集の基本ステップに対応したタブ（「整理」、「補正」、「作成」、「配信」）があります。タブにアクセスするにはタスクエリアを表示します。タスクエリアを非表示にすると、フォトブラウザが大きく表示されます。



タスクエリアのタブ（「整理」タブを選択した状態）

タスクエリアの表示と非表示

❖ ウィンドウ／タスクエリアを表示（またはタスクエリアを非表示）を選択します。

「整理」タブでのパレットの使用

「整理」タブには、複数のパレットが格納されています。アルバムパレットとキーワード名札パレットは、このタブから削除できません。クイック配信またはプロパティパレットは非表示に設定することができます。また、プロパティパレットは「整理」タブから分離して表示することができます。



「整理」タブ
A. タスクエリアの表示または非表示 **B.** パレットの展開または折りたたみ **C.** パレットの高さを調整

❖ 次のいずれかの操作を行います。

- パレットを折りたたみまたは展開するには、「整理」タブのパレット名の横にある三角形をクリックします。
- ワンクリック配信パレットまたはプロパティパレット、あるいはその両方を表示または非表示にするには、ウィンドウ／[パレット名] を選択します。
- プロパティパレットをタスクエリアから分離したり、タスクエリア内に表示するには、パレットのタイトルバーをダブルクリックします。

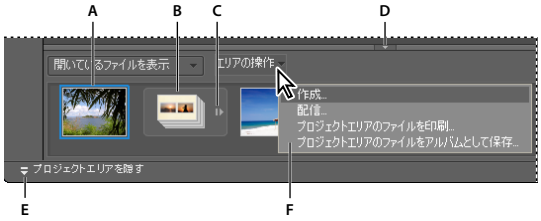
「補正」、「作成」および「配信」タブのツールの使用

1 タスクエリアで、「補正」、「作成」または「配信」タブをクリックします。

2 タブに表示されるいずれかのツールのボタンをクリックします。

写真編集モードでのプロジェクトエリアの使用

プロジェクトエリアはスタンダード編集ワークスペースとクイック補正ワークスペースの下部にあり、開いている写真のサムネールが表示されます。ワークスペースに複数の写真を開いている場合に、それらを容易に切り替えることができます。プロジェクトエリアには、画像を開くまたは閉じる、画像を非表示にする、開いている画像間を移動する、特定の画像を最前面に表示する、画像を複製する、画像を回転する、およびファイル情報を表示するためのコントロールがあります。プロジェクトエリアはスタンダード編集とクイック補正の両方に表示されるため、開いている画像を容易にクイック補正で編集することができます。複数ページで構成されるプロジェクトは、ページのサムネールの枠が灰色で強調表示されます。個別のページを表示または非表示にするには、右枠をクリックします。



プロジェクトエリア
A. 選択されている写真 **B.** 折りたたまれた作品 **C.** クリックして作品を展開 **D.** 上または下にドラッグして、プロジェクトエリアの高さを調整 **E.** プロジェクトエリアの表示／非表示を切り替え **F.** プロジェクトエリアのドロップダウンメニュー

❖ 次のいずれかの操作を行います。

- 画像を開くには、コンピュータまたはコンピュータに接続されているあらゆる記憶装置の任意の場所（フォトブラウザを含む）からプロジェクトエリアにファイルをドラッグします。
- 開いている画像を最前面に移動するには、サムネールをダブルクリックします。
- 写真を並べ替えるには、プロジェクトエリアでサムネールをドラッグします。ここで順序を変更しても、写真整理モードでの写真の順序は変更されません。
- 画像を閉じるには、プロジェクトエリアでサムネールを右クリックして、「閉じる」を選択します。
- 画像を非表示にするには、サムネールを右クリックして、コンテクストメニューから「最小化」を選択します。

注意：非表示になっている画像を表示するには、プロジェクトエリアでサムネールをダブルクリックするか、サムネールを右クリックしてコンテクストメニューから「復元」を選択します。

- 写真のファイル情報を表示するには、サムネールを右クリックして、コンテクストメニューから「ファイル情報」を選択します。
- 画像を複製するには、サムネールを右クリックして、コンテクストメニューから「複製」を選択し、ファイル名を指定します。
- 画像を回転するには、サムネールを右クリックして、コンテクストメニューから「90° 回転（反時計回り）」または「90° 回転（時計回り）」を選択します。
- ファイル名を表示するには、プロジェクトエリアを右クリックして、コンテクストメニューから「ファイル名を表示」を選択します。
- プロジェクトエリアを開くまたは閉じるには、ウィンドウ／プロジェクトエリアを選択します。
- プロジェクトエリアの表示／非表示を手動で切り替えるには、プロジェクトエリアボタンをクリックします。プロジェクトエリアの表示／非表示を自動的に切り替えるには、編集／環境設定／一般を選択し、「プロジェクトエリアを自動的に隠す」を選択するか、プロジェクトエリアを右クリックして、コンテクストメニューから「自動的に隠す」を選択します。

取り消し、やり直し、キャンセル

操作の取り消し、やり直しまたはキャンセル

写真整理モードおよび写真編集モードで行う操作の多くは、取り消したり、やり直すことができます。例えば、画像の全部または一部を、最後に保存した状態に戻すことができます。この機能は、使用可能なメモリ容量によって制限される場合があります。

1 操作の取り消しまたはやり直しを行うには、編集／取り消し、または編集／やり直しを選択します。

2 操作をキャンセルするには、実行中の操作が中断されるまで Esc キーを押し続けます。

ヒストリーパレットの使用（写真編集モード）

ヒストリーパレット（ウィンドウ／ヒストリー）を使用すると、現在編集中の画像の任意の編集段階のヒストリー画像に移動できます。画像のピクセルに変更を加えるたびに、その画像の新規のヒストリー画像がヒストリーパレットに追加されます。変更をヒストリーに表示するために、変更内容を保存する必要はありません。

例えば、画像の一部を選択して塗りつぶしや回転などを行った場合、それぞれの処理後の状態が別々のヒストリー画像としてパレットに表示されます。パレットからいずれかのヒストリー画像を選択すると、選択内容に応じて画像が選択、塗りつぶし、回転のいずれかを適用した時点の状態に復帰するので、その状態から作業をやり直すことができます。

ズームやスクロールのように画像内のピクセルに影響を与えない操作は、ヒストリーパレットに表示されません。また、パレット、カラー設定、環境設定への変更などのプログラム全体に関する変更も表示されません。



ヒストリーパレット
A. 元の画像 **B.** ヒストリー画像 **C.** 選択したヒストリー画像とヒストリー画像スライダ

ヒストリーパレットの使用にあたっては、次の点を参考にしてください。

- 初期設定では、ヒストリーパレットに最近の 50 個のヒストリー画像が一覧表示されます。古くなったヒストリーは Photoshop Elements のメモリを確保するために自動的に削除されます。ヒストリーパレットに表示されるヒストリーの数は、パフォーマンス環境設定（編集／環境設定／パフォーマンス）で変更できます。保持できるヒストリー画像の最大数は 1000 です。
- 写真の元の画像は、常にヒストリーパレットの一番上に表示されます。この一番上の画像をクリックすると、いつでも元の画像に復帰することができます。元の画像をクリックして編集前と編集後の画像を簡単に比較できます。
- ドキュメントを閉じると、編集作業のヒストリー画像はすべてパレットから消去され、再びドキュメントを開いても表示されません。
- ヒストリー画像は、リストの一番下に追加されます。つまり、最も古いヒストリー画像がリストの一番上に表示され、最新のヒストリー画像が一番下に表示されます。
- 各ヒストリー画像には、使用したツールやコマンド名が表示されます。
- あるヒストリー画像を選択するとそれ以降のヒストリー画像がグレー表示されます。このため、選択したヒストリー画像から作業を続ける場合に破棄される編集内容が一目でわかります。
- ある時点のヒストリー画像を選択し、その画像を変更すると、その時点以降のヒストリー画像がすべて削除されます。同様に、1 つのヒストリー画像を削除すると、そのヒストリー画像自体とそれ以降のヒストリー画像がすべて削除されます。

最後に保存した状態への復帰

スタンダード編集またはクイック補正で写真を編集しているときに、最後に保存した状態に復帰することができます。

❖ 編集／復帰を選択します。

注意：復帰は、ヒストリー画像としてヒストリーパレットに追加され、取り消すことができます。

以前のヒストリー画像への復帰

❖ スタンダード編集またはクイック補正で、次のいずれかの操作を行います。

- ヒストリーパレットでヒストリー画像の名前をクリックします。
- ヒストリーパレットで、ヒストリー画像の左にあるスライダを、目的のヒストリー画像まで上下にドラッグします。
- ツールバーの「取り消し」ボタン または「やり直し」ボタン をクリックします。
- ヒストリーパレットメニューまたは編集メニューから「取り消し」または「やり直し」を選択します。

ショートカットキーを「1 段階進む」または「1 段階戻る」に設定するには、編集／環境設定／一般を選択し、1 段階戻る／ 1 段階進むに使用するキーメニューから選択します。

ヒストリーパレットからのヒストリー画像の削除

❖ 次のいずれかの操作を行います。

- ヒストリー画像を削除するには、ヒストリー画像の名前をクリックし、ヒストリーパレットメニューから「削除」を選択します。選択したヒストリー以降のヒストリー画像も削除されます。
- 画像を変更せずにヒストリーパレットからヒストリー画像のリストを削除するには、ヒストリーパレットメニューの「ヒストリーを消去」を選択するか、編集／メモリをクリア／ヒストリーを選択します。ヒストリーの消去によってメモリが解放されるので、特に Photoshop Elements のメモリが不足しているという警告が表示された場合は、この操作が役立ちます。

注意：消去したヒストリーパレットを元に戻すことはできません。

クリップボードとヒストリーパレットで使用しているメモリの解放

クリップボードにコピーされたアイテムやヒストリーパレット内のヒストリー画像を削除して、メモリを解放することができます。

❖ スタンダード編集で、次のいずれかの操作を行います。

- クリップボードで使用しているメモリを解放するには、編集／メモリをクリア／クリップボードの内容を選択します。
- ヒストリーパレットで使用しているメモリを解放するには、編集／メモリをクリア／ヒストリーを選択するか、ヒストリーパレットメニューの「ヒストリーを消去」を選択します。
- クリップボードとヒストリーパレットの両方で使用しているメモリを同時に解放するには、編集／メモリをクリア／すべてを選択します。

注意：消去したヒストリーパレットまたはクリップボードを元に戻すことはできません。

初期の環境設定の復元

環境設定を設定することにより、画像、カーソルおよび透明部分の表示、ファイルの保存、プラグインや仮想記憶ディスクの扱いなど、Photoshop Elements の動作を制御できます。予期したとおりの動作にならない場合は、環境設定ファイルが破損している可能性があります。すべての環境設定を初期設定に戻すことができます。

❖ Photoshop Elements が起動し始めたら、Alt+Ctrl+Shift キーを押したままにします。メッセージが表示されたら、「はい」をクリックして Adobe Photoshop Elements 設定ファイルを削除します。

次に Photoshop Elements を起動したときに、新しく環境設定ファイルが作成されます。特定の環境設定オプションについて詳しくは、アプリケーションヘルプで環境設定の名前を検索してください。

非表示にした警告メッセージの再表示

警告や指示を含むメッセージが表示される場合があります。これらのメッセージの表示は、メッセージで「再表示しない」オプションを選択して無効にできます。無効にしたメッセージを後で初期化することもできます。

1 写真編集モードで、編集／環境設定／一般を選択します。

2「すべての警告ダイアログボックスを初期化」ボタンをクリックし、「OK」をクリックします。

仮想記憶ディスクとプラグイン

仮想記憶ディスク

操作を実行するのに十分なメモリがシステムにない場合、Photoshop Elements は仮想記憶ディスクを使用します。仮想記憶ディスクとは、メモリの代わりに使用されるドライブまたはパーティションのことです。Photoshop Elements の初期設定では、オペレーティングシステムがインストールされているハードディスクドライブを一次仮想記憶ディスクとして使用するように設定されています。

一次仮想記憶ディスクは変更できます。さらに、第 2、第 3 または第 4 を指定して第 1 がいっぱいになったときに使用することもできます。一次仮想記憶ディスクには、最も処理速度が速く、断片化の少ない、十分な容量があるハードディスクを指定してください。

パフォーマンスの低下を防ぐため、仮想記憶ディスクを割り当てるときには次のガイドラインを参考にしてください。

- 大きな編集ファイルや Photoshop Elements と同じドライブには仮想記憶ディスクを割り当てないでください。
- オペレーティングシステムの仮想メモリとして使用されている物理ドライブには仮想記憶ドライブを割り当てないでください。
- 仮想記憶ディスクはローカルドライブに割り当ててください。ネットワーク経由で仮想記憶ディスクを使用することは避けてください。
- 仮想記憶ディスクには、リムーバブルディスクではなく通常のハードディスクを使用してください。
- RAID ディスクやディスクアレイを仮想記憶ディスク専用のボリュームとして使用すると効果的です。
- 仮想記憶ディスクに使用しているドライブには、定期的に断片化をなくす作業を行ってください。また、可能なかぎり、空のドライブや未使用の容量が十分あるドライブを使用して、断片化を回避してください。

仮想記憶ディスクの変更

Photoshop Elements は、ハードディスク上の連続した領域に仮想記憶ディスクを作成します。このため、ディスクツールユーティリティを使用して、ハードディスクの断片化をなくす作業を定期的に行うことをお勧めします。ディスクの最適化を行うユーティリティについては、Windows のマニュアルを参照してください。

1 写真編集モードで、編集／環境設定／パフォーマンスを選択します。

2 割り当てるディスクを仮想記憶ディスクメニューから選択し（最大 4 個の仮想記憶ディスクを割り当てることができます）、「OK」をクリックします。

3 設定を有効にするには、Photoshop Elements を再起動します。

プラグイン

プラグインとは、Photoshop Elements に機能を追加するために、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）や他のソフトウェア会社が開発したソフトウェアプログラムです。Photoshop Elements には、読み込み、書き出し、特殊効果の処理などを行うプラグインが多数組み込まれており、これらのプラグインは Photoshop Elements の Plug-ins フォルダに格納されています。他のアプリケーションに付属する互換プラグインを読み込むための追加のプラグインフォルダを選択することができます。システムの別のフォルダに保存されているプラグインのショートカットを作成することもできます。作成したショートカット（Windows）やエイリアス（Macintosh）を Plug-ins フォルダに追加すると、それらのプラグインを Photoshop Elements で使用できるようになります。インストールしたプラグインは、フィルタメ

ニューに追加されたフィルタのように、読み込みメニューや書き出しメニューに追加されたオプションとして表示されるか、開くダイアログボックスや別名で保存ダイアログボックスにファイル形式として表示されます。インストールしたプラグインの数が多すぎると、一部のプラグインが Photoshop Elements で適切なメニューに表示されない場合があります。このような場合、最近インストールしたプラグインは、フィルタ／その他サブメニューに表示されます。プラグインまたはプラグインフォルダを読み込まないようにするには、チルダ記号「~」をプラグインファイル名またはフォルダ名の先頭に付けます。アプリケーションを再起動すると、この記号の付いたファイル（およびこの記号の付いたフォルダのすべてのファイル）は読み込まれなくなります。インストールしたプラグインの情報を表示するには、ヘルプ／プラグインについてを選択し、サブメニューからプラグインを選択します。

関連項目

283 ページの「プラグインフィルタ」

プラグインモジュールのインストール

❖ 次のいずれかの操作を行います。

- プラグイン用のインストーラがある場合はそれを使用します。
- プラグインに添付されたインストールの手順に従います。
- プラグインファイルが圧縮されていないことを確認してから、Photoshop Elements フォルダ内の適切な Plug-ins フォルダにファイルをコピーします。

追加のプラグインフォルダの選択

他のアプリケーションに付属する互換プラグインを読み込むための追加のプラグインフォルダを選択することができます。

1 写真編集モードで、編集／環境設定／プラグインを選択します。

2 環境設定ダイアログボックスで、「追加のプラグインフォルダ」を選択し、リストからフォルダを選択して「選択」をクリックします。

3 フォルダの内容を表示するには、フォルダをダブルクリックします。フォルダのパスが、環境設定ダイアログボックスに表示されます。

注意：Photoshop Elements の Plug-ins フォルダ内の場所を指定しないでください。

4 プラグインを読み込むには、Photoshop Elements を再起動します。

2 つのアプリケーションの使用

2 つのアプリケーション

次の方法で、Photoshop Elements と Adobe® Premiere® Elements® でファイルを共有することができます。

- Photoshop Elements で整理した写真、ビデオクリップ、オーディオクリップを、Adobe Premiere Elements のメディアパネルにドラッグできます。
- Photoshop Elements でキャプション、切り替え、エフェクト、BGM、ナレーション、グラフィック、タイトル付きのスライドショーを作成し、Adobe Premiere Elements に取り込んでさらに編集することができます。または、個別の写真を Adobe Premiere Elements に取り込んで、スライドショーを作成することもできます。
- DVD メニューテンプレートを Photoshop Elements でカスタマイズし、Adobe Premiere Elements のプロジェクトで使用することができます（DVD テンプレートとは、Adobe Premiere Elements のアプリケーションフォルダに格納されている PSD ファイルです）。
- 独自のビデオプロジェクト設定で Photoshop Elements ファイルを作成し、Photoshop Elements で画質を修正してから、Adobe Premiere Elements で使用します。

ワークエリアの配置

Photoshop Elements と Adobe Premiere Elements でファイルを共有する場合、両方のアプリケーションを開いてアクセスできるようにしておくと便利です。

1 Photoshop Elements と Adobe Premiere Elements を起動します。

2 画面が最大化されている場合は、各アプリイケーションのウィンドウの右上にある、元のサイズに戻すボタン をクリックします。

3 2 つのアプリケーションのウィンドウを、少しだけ重なるようにして、横に並べて配置します。

サポートされるファイルの種類の違い

Photoshop Elements と Adobe Premiere Elements でサポートされるファイル形式の多くは共通しているため、2 つのアプリケーション間で簡単かつ効率的にファイルを交換することができます。例えば、Photoshop（PSD）ファイルを写真整理モードで作成し、そのファイルを Adobe Premiere Elements で静止画としてプロジェクトに追加できます。

ただし、次のファイル形式はいずれかのアプリケーションでサポートされません。

Photoshop Elements 写真整理モード	Photoshop Elements 写真編集モード	Adobe Premiere Elements
		MOD（.mod、JVC Everio）
Adobe PDF（.pdf）	Adobe PDF（.pdf）	
LZW 圧縮した TIFF（.tif）	LZW 圧縮した TIFF（.tif）	
	Illustrator（.ai）	Illustrator（.ai）
AIFF（.aiff）		AIFF（.aiff）
ASF（.asf）		ASF（.asf）
AVI ムービー（.avi、一部サポート）		AVI（.avi、一部サポート）
Dolby オーディオ（.ac3）		Dolby オーディオ（.ac3）
DVD（.vob）		DVD（.vob）
Flash ビデオ（.flv）		Flash ビデオ（.flv）
MPEG（.mpg、.mp3、.mp4）		MPEG（.mpg、.mp3、.mp4）
QuickTime（.mov）		QuickTime（.mov）
WAV（.wav）		WAV（.wav）
Windows Media（.wmv、.wma）		Windows Media（.wmv、.wma）

注意：写真整理モードでは、ビデオ AVI ファイルを正しくカタログに取り込めますが、オーディオ AVI ファイルのサムネールアイコンは壊れて表示されます。ファイルの再生には問題はありません。また、Photoshop のファイルのスポットカラーチャンネルで作成されたカラーは、Photoshop Elements にファイルを読み込んだときに表示されません。

写真編集モードでは、ASF、AVI、MPEG および Windows Media ファイルの個別のビデオフレームを読み込むことができます（ファイル／読み込み／ビデオフレームを選択します）。

第 3 章：写真とビデオの読み込み

Photoshop Elements を使用するための最初の手順は、すべてのメディアファイルを 1 つまたは複数のカタログに取り込むことです。カタログについて詳しくは、96 ページの「カタログ」を参照してください。

写真整理モードを使用して、カメラ、スキャナ、CD、ハードディスク上のフォルダ、携帯電話など、任意のソースからメディアファイルをカタログに取り込みます。ファイル名と保存先がわかっているハードディスク上の写真を編集する場合は、写真編集モードの「開く」または「配置」コマンドを使用してファイルを参照することもできます。

Photoshop Elements ヘルプのすべての内容を参照するには、「Web 上のページ」をクリックして LiveDocs にアクセスしてください。

写真とビデオの取り込み

写真整理モードへの写真やビデオの取り込み

写真やビデオを Photoshop Elements のカタログに追加するには、写真整理モードを使用します。写真編集モードでファイル／読み込みまたはファイル／開くコマンドを使用する場合、ファイルを保存するときに「写真整理モードに含める」オプションを選択すると、ファイルがカタログに追加されます

コンピュータ上のフォルダ構造をそのまま使用してファイルを整理したい場合は、写真整理モードのフォルダ毎表示を使用して、ハードディスク上のフォルダ構造と同じようにファイルを表示できます。フォルダ毎表示から、フォルダ名を使用して画像に瞬時にキーワード名札を付けることもできます。

写真整理モードでファイル／ 写真とビデオの取り込みコマンドを使用してハードディスクからカタログに写真を読み込むと、Photoshop Elements によって写真へのリンクが作成されます。元の画像がコピーまたは移動されることはありません。CD や DVD またはスキャナ、カメラ、カードリーダ、携帯電話などの周辺機器から写真を取り込む場合、Photoshop Elements によって写真がハードディスク上のフォルダにコピーされた後で、このコピーされた画像へのリンクが作成されます。

重要： オリジナルファイルをハードディスクから削除すると、カタログにサムネールが残っていても、Photoshop Elements で画像を編集できなくなります。

関連項目

126 ページの「ファイルを開く」

48 ページの「フォルダ毎のファイルの表示と管理」

69 ページの「フォルダ名に基づいたキーワード名札の作成と適用」

102 ページの「カタログ内でのファイルの移動」

137 ページの「別のファイル形式での変更内容の保存」

周辺機器からの写真の取り込みに関するガイドライン

カメラ、カードリーダーまたは携帯電話から画像ファイルをダウンロードするときは、次のガイドラインに従ってください。

1. Adobe フォトダウンローダの使用

周辺機器の中には、ファイルをダウンロードする前に、デバイスソフトウェアをコンピュータにインストールする必要があるものがあります。インストール中に、画像ファイルの編集に特定のプログラムを使用するかどうかを確認するメッセージが表示される場合があります。このメッセージが表示された場合は、Photoshop Elements を指定します。

周辺機器のデバイスソフトウェアによっては、接続して電源を入れると自動的に起動されるものもありますが、Adobe フォトダウンローダを使用して画像を取り込むと、デバイスソフトウェアでは実行できないような様々な機能を使用することができます。Adobe フォトダウンローダを使用して画像ファイルを読み込む場合は、自動的に起動するデバイスソフトウェアをすべて閉じます。

2. 取り込み処理時の写真の整理

Adobe フォトダウンローダの詳細設定ダイアログボックスを使用すると、コンピュータに取り込む際に写真を修正し整理することができます。取り込み時に適切に写真を整理できると、取り込んだ後で写真の検索や編集がより簡単にすばやく行えます。

例えば、デジタルカメラの中に休暇中に撮影した写真がたくさん入っているとします。家族との写真もあれば、旅のツアーで訪れた場所の写真もあります。取り込み処理時に、これらの写真を場所フォルダや家族フォルダに分け、それに応じて写真に名前を付けることができます。

関連項目

31 ページの「カメラおよびカードリーダ」

36 ページの「スキャン」

96 ページの「カタログ」

63 ページの「キーワード名札」

ファイル取り込みの環境設定

ファイル取り込みの環境設定を行うことで、任意の元画像から写真整理モードに取り込まれたファイルの Photoshop Elements での管理方法を指定します。

1 写真整理モードで、編集／環境設定／ファイルを選択します。

2 次のいずれかのオプションを選択し、「OK」をクリックします。

EXIF に日付がない場合はファイルの日付を使用 修正日を使用して EXIF データを含まない写真を保存および整理します。このオプションを選択しない場合、ファイルは日時が不明なファイルとして保存されます。

EXIF キャプションを取り込む デジタルカメラで写真に付けられていたキャプションを取り込みます。この情報を削除し、各写真にキャプションを入力するには、このオプションの選択を解除します（キャプションデータはファイル内の複数の場所に保存されている場合があります。このオプションの選択を解除したときにブロックされるのは、EXIF キャプションデータだけです）。

見つからないファイルを自動的に検索して再リンク 見つからず、再リンクできなかったファイルを検索します。再リンクできないファイルに関するメッセージを表示しないようにする場合は、このオプションを選択します。

ファイルとカタログのバックアップ作成時に自動的にメッセージを表示 取り込んだ写真や編集した写真などのアイテムが 500 以上あるカタログを開くときに、ファイルをバックアップするよう指示するメッセージを表示します。

CD ／ DVD へのマルチセッションの書き込みを有効にする ディスクに複数回の追加のファイルを書き込みをできるようにして、ディスクスペースを最大限使用することができます。通常、CD または DVD には一度だけ書き込みすることができ、未使用領域はそのままになります。

メタデータの情報を使用して JPEG ファイルを回転 このオプションでは、低い解像度のサムネールを使用することにより、フォトブラウザの写真の回転速度を上げます。JPEG 画像を定期的に回転する場合は、このオプションを選択します。高解像度のサムネールを表示する場合は、このオプションの選択を解除します。

メタデータの情報を使用して TIFF ファイルを回転 このオプションでは、低い解像度のサムネールを使用することにより、フォトブラウザの写真の回転速度を上げます。TIFF 画像を定期的に回転する場合は、このオプションを選択します。高解像度のサムネールを表示する場合は、このオプションの選択を解除します。

ファイル保存先 プロジェクトやその他のファイルの初期設定の保存先フォルダを指定します。この場所を変更するには、「参照」をクリックして新しい場所に移動します。

プレビューファイルのサイズ 写真をオフラインで保存するときに写真整理モードが使用するプレビューファイルのサイズを指定します。

環境設定を変更した後で、写真の取り込みに問題が起きた場合には、環境設定ダイアログボックスの「初期設定値に戻す」ボタンをクリックして初期設定に戻してください。

関連項目

41 ページの「プレビューファイルのサイズの設定」

123 ページの「写真整理モードでの見つからないファイルの再リンク」

写真に添付されているキーワードの取り込み

キーワード名札またはメタデータの「キーワード」が添付されている写真を取り込むとき、写真とともにキーワード名札または「キーワード」も取り込むことができます。添付されているキーワード名札は、そのまま保持するか、名前を変更したり別の名札に付け替えることができます。新しいキーワード名札を取り込むと、その名札はキーワード名札パレットに表示されます。この新しい名札を使用して他の写真に名札を付けることができます。



取り込んだ名札はキーワード名札パレットに表示されます

1 写真整理モードで、ファイル／ 写真とビデオの取り込みを選択し、写真やビデオの取り込み方法を選択します。

注意：取り込む写真にキーワード名札または「キーワード」メタデータが含まれている場合、写真に添付されている名札の取り込みダイアログボックスが表示されます。

2 次のいずれかの操作を行います。

- 取り込むキーワード名札を選択します。選択したキーワード名札は、写真を取り込むときにキーワード名札パレットに追加されます。名札にアスタリスク（*）が付いている場合、既に同じ名前のキーワード名札がカタログ内にあることを示します。この場合、既存のキーワード名札が写真に添付されます。
- 追加オプションを設定するには、「詳細設定」をクリックします。

3「詳細設定」を選択した場合は、次のいずれかの操作を行い、「OK」をクリックします。

- 「キーワード名札」セクションの名前の左横にあるチェックボックスをクリックして、取り込むキーワード名札を選択します。キーワード名札を選択すると、キーワード名札の右側にあるオプションが使用可能になります。
- 取り込むキーワード名札の名前を変更するには、「新規キーワード名札として取り込み」セクションの左側にあるラジオボタンをクリックし、テキストボックスに名前を入力します。Photoshop Elements により新しい名前のキーワード名札がカタログに追加され、そのキーワード名札が取り込んだ写真に適用されます。
- 取り込んだキーワード名札をカタログ内の既存の名札に付け替えるには、「既存の名札を使用」セクションの左側にあるラジオボタンをクリックし、ポップアップメニューから名札を選択します。元のキーワード名札の名前の代わりに、選択した名札の名前が取り込んだ写真に適用されます。
- 「基本設定」をクリックすると、変更内容をクリアして、写真に添付されているキーワード名札を取り込みダイアログボックスに戻ることができます。

注意：取り込む写真に多数のキーワード名札が添付されている場合、ダイアログボックスが表示されます。すべてのキーワード名札を取り込むことも、キーワード名札を 1 つも取り込まないこともできます。キーワード名札を個別に取り込む場合は、ダイアログボックスを閉じ、編集／取り消し／アイテムを取り込むを選択して取り込みを取り消すか、取り込んだ写真をまとめて選択して、カタログから削除します。次に、写真を数枚ずつに分けて選択し、再度取り込みます。

関連項目

63 ページの「キーワード名札」

カメラおよびカードリーダ

カメラおよびカードリーダ

デジタルカメラやカードリーダから写真をダウンロード（コピー）するには、いくつかの方法があります。

- Adobe フォトダウンローダを使用して、デジタルカメラまたはカードリーダから直接 Photoshop Elements の写真整理モードに写真をコピーして取り込みます。この方法は、迅速かつ簡単で、取り込み時に写真を修正して整理することができるのでお勧めします。

注意：周辺機器を接続したときに Adobe フォトダウンローダを開きたくない場合は、カメラまたはカードリーダの環境設定にあるダウンロードオプションでこの機能を無効にします。

- デジタルカメラに付属のソフトウェアを使用して写真をコンピュータにダウンロードしたら、写真整理モードのファイル／ 写真とビデオの取り込み／ ファイルやフォルダからコマンドを使用して Photoshop Elements に取り込みます。
- カメラやカードリーダーがマイコンピュータでドライブとして表示される場合は、ファイルをマイコンピュータから写真整理モードに直接ドラッグできます。または、ハードディスク上の任意のフォルダにファイルをドラッグし、写真整理モードのファイル／ 写真とビデオの取り込み／ ファイルやフォルダからコマンドを使用して Photoshop Elements に取り込みます。

場合によっては、写真をデジタルカメラからコンピュータにダウンロードする前に、デジタルカメラ付属のソフトウェアドライバをインストールする必要があります。また、必要に応じて、Photoshop Elements でデジタルカメラとカードリーダの環境設定を行う必要もあります。

関連項目

28 ページの「写真整理モードへの写真やビデオの取り込み」

38 ページの「ファイルおよびフォルダからの写真の取り込み」

35 ページの「カメラおよびカードリーダの環境設定」

デジタルカメラまたはカードリーダーからの写真の取り込み

1 カメラまたはカードリーダをコンピュータに接続します（必要に応じて、デバイスに付属の説明書を参照してください）。

2 次のいずれかの操作を行います。

- Adobe フォトダウンローダが表示されたら、「写真を取り込む」メニューからカメラまたはカードリーダの名前を選択します。通常は、接続されているデバイスの名前が自動的に表示され、Photoshop Elements によって自動的にカメラが検出されます。

注意：カメラやカードリーダの電源が入っていないと、そのデバイスは写真の取り込み元リストに表示されません。メニューに特定のデバイス名が表示されない場合は、< ドライブ >:/< カメラまたはカードリーダ > を選択します。デバイスのオプションが表示されない場合は、「リストを更新」を選択します。

- ダウンローダが表示されない場合は、画面の右下隅にあるシステムトレイの Adobe フォトダウンローダアイコン をダブルクリックします。または、写真整理モードで、ファイル／ 写真とビデオの取り込み／ カメラまたはカードリーダからを選択します。

3「取り込み設定」エリアで、次のオプションを設定します。

保存先 画像をダウンロードするフォルダを指定します。初期設定の場所を変更するには、「参照」をクリックして新しい場所を指定します。

サブフォルダを作成 ポップアップメニューから選択した形式の名前を持つサブフォルダを作成します。「カスタム名」を選択した場合は、ボックスにサブフォルダ名を入力します。

キーボードショートカットを使用してサブフォルダを作成（Alt+C）またはファイル名を変更（Alt+R）する場合は、矢印キーでオプションを選択する前に、スペースバーを押してメニューを展開します。

ファイル名を変更 ポップアップメニューから選択した形式を使用して、ファイル名を変更します。「カスタム名」を選択した場合は、ボックスにファイル名を入力します。

注意：入力した名前が既に存在している場合は、コピーした画像のファイル名の末尾に「-1」または該当するその他の番号が末尾に付けられます。

「ファイル名を変更」の補足フィールド 基本ファイル名と開始番号をそれぞれのフィールドに入力して、ファイル名とその末尾に付ける連続番号を割り当てます。

現在のファイル名を XMP で保持 このオプションを選択すると、写真のメタデータに保存するファイル名として、現在のファイル名が使用されます。

終了時に写真整理モードを開く ダウンロードした写真をすぐに写真整理モードに読み込んで表示します。このオプションを選択しない場合は、次に写真整理モードを起動したときに画像が読み込まれます。

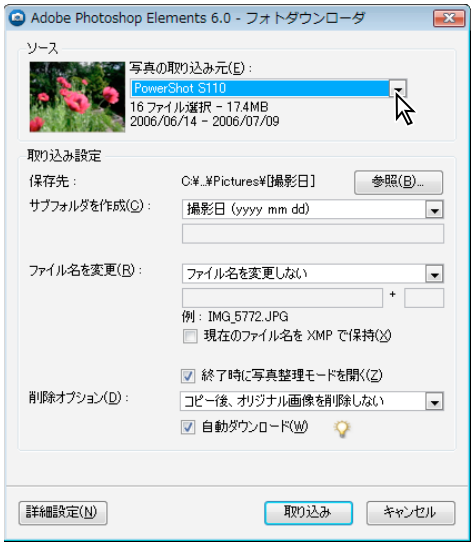
注意：写真整理モードが既に開いている場合、このオプションは無効になります。

削除オプション コピー完了後にカメラ内の写真ファイルをそのまま保持するか、確認してから削除するか、コピーしたら直ちに削除するかを選択します。ファイルを自動的に削除すると、カメラで写真を削除する手間を省くことができます。Photoshop Elements に読み込まれていない写真はデバイスから削除されません。

注意：Windows Vista マシンにカメラが PTP モードで接続されている場合、Adobe フォトダウンローダで Camera RAW ファイルまたはビデオファイルを表示することはできません。Camera RAW ファイルまたはビデオファイルを表示するには、USB マスストレージモードでカメラを接続するか、カメラからカードを取り外し、カードリーダを使用してコンピュータに接続します。

4「取り込み」ボタンをクリックします。

写真がハードディスクにコピーされます。コピーした写真にキーワードメタデータが含まれている場合は、写真に添付されているキーワード名札を取り込みダイアログボックスが表示され、名札をコピーするかどうかを指定できます。

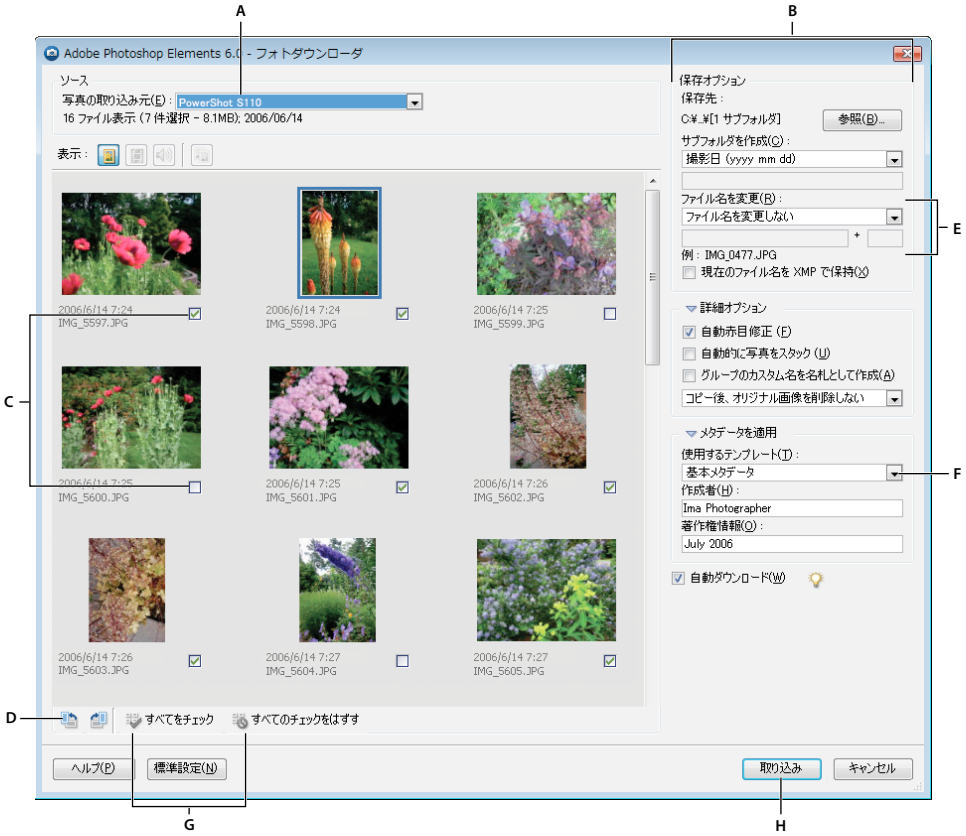


Photoshop Elements フォトダウンローダでのデバイスの選択

この設定はいつでも変更できます。写真整理モードで、編集／環境設定／カメラまたはカードリーダを選択します。

詳細設定の写真ダウンロードオプションの指定

Adobe フォトダウンローダの詳細設定ダイアログボックスには、標準設定ダイアログボックスにはないオプションがあります。例えば、デバイスに保存されている写真をすべて表示、ビデオをインポートする前にプレビュー、および著作権情報のメタデータを追加などのオプションがあります。このダイアログボックスで指定した設定は、初期化しない限り、保持されます。



Adobe Photoshop Elements フォトダウンローダの詳細設定ダイアログボックス
A. 接続されたデバイスの名前 **B.** ファイル保存のオプション **C.** ボックスをクリックして、写真をダウンロード **D.** 回転ボタン **E.** すべてのファイルの名前 **F.** メタデータのテンプレートを選択 **G.**「すべてチェック」または「すべてのチェックをはずす」**H.** 写真の取り込み

1 標準の Adobe フォトダウンローダのダイアログボックスで、「詳細設定」ボタンをクリックします。

デバイスに格納されたファイルのサムネール画像が表示されます。

2 種類の異なるファイルを表示／非表示するには、画像ボタン、ビデオボタン、またはオーディオボタン をクリックします。デバイス内に重複ファイルが存在する場合は、複製ボタン も使用可能になります。

注意：重複ファイルとは、写真整理モード内に既に存在するファイル、またはハードディスクに既にコピーされたファイルです。重複ファイルをダウンロードすると、それらのファイルはハードドライブにコピーされますが、写真整理モードには追加されません。

3 ダウンロードする写真を選択するには、次のいずれかの操作を行います。

- 写真を個別に選択するには、各サムネールの下にあるボックスをクリックします。
- 複数の写真を選択するには、対象のサムネールの周囲に長方形をドラッグし、右クリックして「選択した写真をチェック」を選択するか、または選択したいずれかの画像の下にあるボックスをクリックして範囲内のすべてをチェックします。
- すべての写真を選択するには、「すべてをチェック」をクリックします。すべての画像の選択を解除するには、「すべてのチェックをはずす」をクリックします。

4 複数の写真を回転するには、チェックボックスをオンにするのではなく、画像をクリックして写真を選択し、左に回転ボタン または右に回転ボタン をクリックします。

5「保存オプション」セクションにおいて、サブフォルダを作成メニューから、サブフォルダの命名に関するオプションを選択します。「カスタムグループ（詳細設定）」オプションを指定すると、グループ名ボックスで選択したグループ名の形式で、サブフォルダ名が作成されます。グループ名をキーワード名札として使用すると、カテゴリー内で写真を検索および区別するのに役立ちます。

注意：標準設定ダイアログボックスに切り替えると、カスタムグループ設定は失われます。

6「詳細オプション」セクションで、次のいずれかを選択します。

自動赤目修正 選択したすべての写真に、自動赤目修正コマンドが適用されます。

注意：多数の画像ファイルから自動的に赤目を除去すると、写真の読み込みにかかる時間が増加します。

自動的に写真をスタック 選択した写真が、見た目の類似性に基づいて類推される写真スタックに配置されます。

グループのカスタム名をキーワード名札として作成 指定したグループのカスタム名が、選択した写真にキーワード名札として適用されます。このオプションは、カスタムグループを割り当てた場合のみ使用します。ダウンロードする際にキーワード名札を割り当てておくと、写真整理モードで簡単に写真を検索することができます。

7 メタデータを追加するには、使用するテンプレートを選択し、次のフィールドに値を入力します。

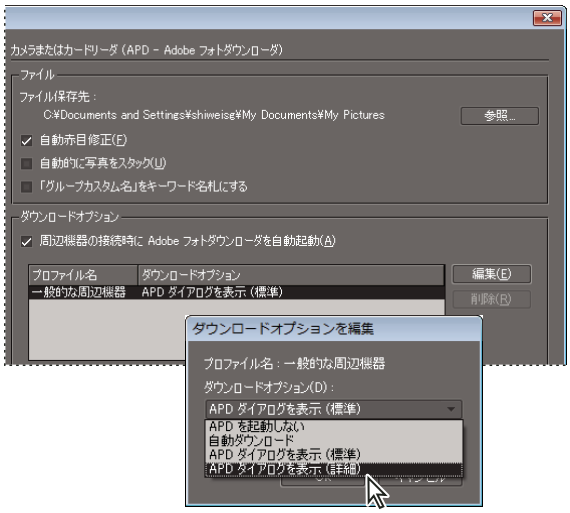
作成者 ファイルの作成者を指定します。このフィールドに入力された情報は、ファイルに含まれる作成者メタデータに追加されます。

著作権情報 日付、および写真を保護するための情報を指定します。このフィールドに入力された情報は、ファイルに含まれる著作権情報のメタデータ内に既に存在するデータをすべて上書きします。

8「取り込み」ボタンをクリックします。

カメラおよびカードリーダの環境設定

周辺機器の環境設定を行うと、変更するまで同じ設定が使用されます。別のデジタルカメラやカードリーダを使用する場合は、使用する周辺機器に適した環境設定を行っていることを確認してください。



デジタルカメラおよびカードリーダから写真を取り込むための環境設定

1 写真整理モードで、編集／環境設定／カメラまたはカードリーダを選択します。

2 ファイル固有の取り込みオプションを設定します。

ファイル保存先 ファイルをハードディスクにコピーするかどうかを指定します。別の保存先を指定するには、「参照」ボタンをクリックします。

自動赤目修正 ファイルをダウンロードしながら赤目修正を行います。

自動的に写真をスタック 類似性と日付に応じて、写真スタックを提示させます。

3 ダウンロードオプションを指定するには、「周辺機器の接続時に Adobe フォトダウンローダを自動起動」を選択します。このオプションを指定すると、カメラやカードリーダがコンピュータに接続されたときに Adobe フォトダウンローダが自動的に開きます。カメラからコンピュータに手動で写真を移動する場合は、このオプションの選択を解除します。

4 特定の周辺機器のオプションを設定するには、「プロファイル名」でデバイスを選択し、「編集」をクリックします。表示されるメニューからダウンロードオプションを選択し、「OK」をクリックします。このリストからデバイスを削除するには、そのデバイスを選択し、「削除」をクリックします。

5 自動ダウンロードの初期設定値を指定するには、次のいずれかのオプションを設定します。

ダウンロードを開始 周辺機器を接続したらすぐにダウンロードを開始するように指定します。

サブフォルダを作成 異なる日付に撮影された写真を含むフォルダを分離するかどうか、またその分離および名前付けの方法を指定します。

削除オプション 写真をハードディスクにコピーした後、カメラから元の写真を削除するかどうか、またどのように削除するかを指定します。

新しいファイルのみコピー（読み込み済みのファイルを無視）既にハードディスクにあるファイルを無視します。

設定を変更する場合や写真の取り込みに問題がある場合には、「初期設定値に戻す」をクリックしてオリジナルの環境設定を復元することができます。

スキャナ

スキャン

Photoshop Elements では、スキャナから写真、ネガ、スライドに映っている画像を取り込むことができます。次のいずれかの方法で、スキャナから画像を取り込みます。

- スキャナ付属のスキャナドライバプラグインを使用します。このソフトウェアは、Photoshop Elements と連動するか、TWAIN® インターフェイスを使用して画像をスキャンし、直接 Photoshop Elements で開きます。
- スキャナ付属のスタンドアロンのスキャンソフトウェアを使用して画像をスキャンし、保存します。その後、ファイル／ 写真とビデオの取り込み／ ファイルやフォルダからコマンドを使用して、Photoshop Elements に画像を取り込むことができます。

Windows® XP および Windows Vista™ で作業をしている場合、スキャナが接続されたことをコンピュータが検出するとすぐに Photoshop Elements が起動するように設定できます。Windows のヘルプを参照してください。

写真をスキャンして Photoshop Elements に取り込む前に、スキャナに付属している必要なソフトウェアがすべてインストールされていることを確認してください。スキャナの説明書をよく読んで、コンピュータに正しく接続してください。Windows の場合、「取り込み」ボタンをクリックした後に環境設定ダイアログボックスが画面に表示された場合は、スキャナの環境設定を行ってください。

スキャナからの写真の取り込み

1 スキャナが接続され、電源が入っていることを確認します。

2 写真整理モードで、ポップアップメニューからファイル／ 写真とビデオの取り込み／ スキャナからを選択します。

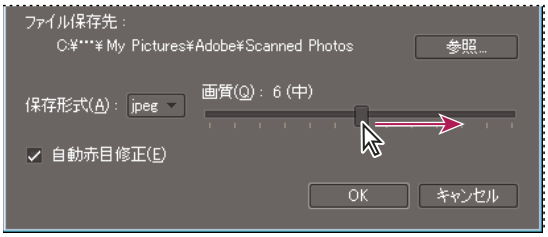
注意：ベンダー特有のダイアログボックスが表示されます。写真編集モードワークスペースのスタンダード編集中に、スキャナから写真を取り込むこともできます。

3 スキャナから写真を取り込むダイアログボックスが表示されたら、スキャナポップアップメニューからスキャナの名前を選択します。

注意：スキャナポップアップメニューに「有効な周辺機器なし」というメッセージが表示された場合は、スキャナの電源が入っていること、コンピュータに正しく接続されていることを確認してください。

4「参照」ボタンをクリックして、写真の保存先を選択します。

5 保存形式ポップアップメニューからファイル形式を選択します。通常は、初期設定の形式である JPEG を選択します。JPEG を選択した場合は、画質スライダを適切な設定にドラッグします。画質を高くするほど、ファイルサイズも大きくなります。



画質スライダをドラッグして、ファイルサイズと画質を調整

6「OK」をクリックします。TWAIN ドライバが付属しているスキャナを使用している場合は、Photoshop Elements によって TWAIN ドライバが起動されます。ドライバソフトウェアの説明書に従って、写真をスキャンしてください。通常は、スキャンする領域を選択したり、カラー補正したりする機能が付属しています。

注意：Windows XP 上で WIA（Windows Imaging Architecture）対応のスキャナを使用すると、Photoshop Elements は Windows XP に標準装備されているスキャン用の画面を起動します。Windows XP のマニュアルを参照してください。TWAIN をサポートしているスキャナでは、各メーカー独自のユーザインターフェイスが起動します。

写真をスキャンすると、写真の取り込みダイアログボックスにスキャンした写真のプレビューが表示されます。Photoshop Elements は取り込んだ日付を写真に割り当てます。

関連項目

135 ページの「保存用ファイル形式」

115 ページの「ファイルの日時の変更」

225 ページの「画像サイズと解像度」

スキャナの環境設定

1 写真整理モードで、編集／環境設定／スキャナを選択します。

2 スキャナポップアップメニューからスキャナの名前を選択します。

注意：別のスキャナを接続するたびに、リストからスキャナを選択する必要があります。このポップアップメニューは、前回接続したスキャナの名前が選択された状態で表示されます。

3 保存形式ポップアップメニューからファイル形式を選択します。通常は、初期設定の形式である JPEG を選択します。JPEG を選択した場合は、画質スライダを適切な設定にドラッグします。画質を高くするほど、ファイルサイズも大きくなります。

4 スキャンした写真を保存する場所を選択し、「OK」をクリックします。

TWAIN ドライバを使用した写真のスキャンと写真編集モードへの取り込み

TWAIN は、特定のスキャナ、デジタルカメラ、および画像入力ボードなどによる画像の取り込みに使用されるソフトウェアドライバです。TWAIN デバイスを Photoshop Elements で使用する場合は、デバイスのメーカーがソースマネージャおよび TWAIN データソースを提供する必要があります。

スキャナを使用して画像を Photoshop Elements に取り込む前に、TWAIN デバイスとそのソフトウェアをインストールし、コンピュータを再起動する必要があります（インストールについて詳しくは、デバイスのメーカーから提供されているマニュアルを参照してください）。

❖ 写真整理モードで、ファイル／ 写真とビデオの取り込みを選択し、使用するデバイスをサブメニューから選択します。

画像をスキャンすると、名称未設定の Photoshop Elements ウィンドウにスキャン画像が表示されます。

注意：Canon MP960 などの一部のスキャナで初めてスキャンボタンを押したときに、プログレスバーが Photoshop Elements の背面に表示されることがあります。Photoshop Elements ウィンドウのサイズを小さくすると、スキャンプログレスバーが前面に表示されます。

関連項目

135 ページの「保存用ファイル形式」

225 ページの「画像サイズと解像度」

ローカルファイル、CD、DVD、およびビデオ

チェックフォルダの使用

写真整理モードは、任意のチェックフォルダに追加された写真を自動的に検出します。初期設定では、マイピクチャフォルダがチェックされますが、他のフォルダも写真整理モードのチェック対象リストに追加できます。

チェックフォルダに追加された写真を自動的にカタログに追加するように選択できます。また、新しい写真をカタログに追加する前に確認メッセージを表示するように選択することもできます。メッセージが表示されたときに、「はい」をクリックするとカタログに写真が追加されます。「いいえ」をクリックすると写真は追加されません。写真ファイルは、削除されない限り、写真整理モードに取り込むかどうかにかかわらず保存されたフォルダにそのまま保持されます。

チェックフォルダリストへのフォルダの追加

1 ファイル／チェックフォルダを選択します。

2「追加」をクリックし、フォルダを参照します。

3 フォルダを選択して「OK」をクリックします。チェック対象のフォルダのリストにフォルダ名が表示されます。

写真整理モードがフォルダ毎表示のときにチェックフォルダをすばやく追加するには、フォルダを右クリックし、「チェックフォルダとして追加」を選択します。

チェックフォルダの設定の変更

1 ファイル／チェックフォルダを選択します。

2 次のいずれかのオプションを選択します。

- ファイルをカタログに追加するかどうかを選択する場合は、「通知する」を選択します。
- 写真が検出されたら自動的にカタログに追加するには、「写真整理モードにファイルを自動的に追加」を選択します。

ファイルおよびフォルダからの写真の取り込み

コンピュータ上のハードディスクまたは CD、DVD ドライブから写真整理モードに写真を移動するには、Windows Explorer から写真整理モードのフォトブラウザに写真をドラッグするか、ファイル／ 写真とビデオの取り込み／ ファイルやフォルダからを選択して検索するか、ファイル／ 写真とビデオの取り込み／ 検索結果からを使用してコンピュータを検索するか、またはフォトブラウザのフォルダ毎表示で「管理されていないファイルをカタログに追加」オプションを選択します。

注意：Windows エクスプローラからフォトブラウザに写真をドラッグすると、写真の取り込みが完了するまで、Windows エクスプローラが応答しなくなる場合があります。ただし、Alt キーを押しながら Tab キーを押したり、Windows タスクバーの写真整理モードアイコンをクリックすると、取り込み中でも、開いている Photoshop Elements の任意のダイアログボックスに切り替えることができます。

関連項目

102 ページの「カタログ内でのファイルの移動」

30 ページの「写真に添付されているキーワードの取り込み」

123 ページの「写真整理モードでの見つからないファイルの再リンク」

69 ページの「フォルダ名に基づいたキーワード名札の作成と適用」

30 ページの「写真に添付されているキーワードの取り込み」

コンピュータ上のファイルの参照

1 写真整理モードで、ファイル／ 写真とビデオの取り込みを選択し、メニューから ファイルやフォルダからを選択します。

2 ダイアログボックスで、写真整理モードに取り込むファイルが格納されているフォルダに移動します。ファイルの場所メニューや、画面の上部と左側にあるナビゲーションコントロールを使用します。

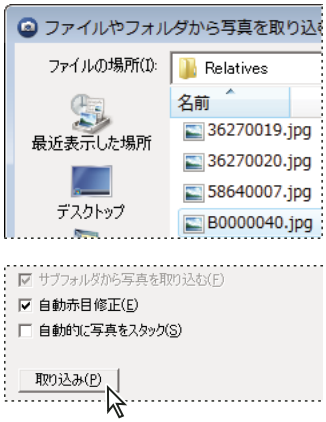
3 ファイルの上にポインタを置いて写真に関する情報（大きさ、種類、サイズ）を表示するか、ファイルを選択してプレビューを表示します。

4 次のいずれかの方法で写真を選択します。

- 1 枚の写真を取り込むには、直接取り込むファイルを選択します。
- 複数の写真を取り込むには、Ctrl キーを押しながら取り込む写真を 1 枚ずつクリックして選択するか、取り込む写真が連続していれば、最初の写真をクリックし、Shift キーを押しながら最後の写真をクリックしてまとめて選択します。
- フォルダ内のすべての写真を取り込むには、ファイルやフォルダから写真を取り込むダイアログボックスで、現在のフォルダから 1 つ上のフォルダに移動して目的のフォルダを選択します。フォルダ内のサブフォルダから写真を取り込むには、「サブフォルダから写真を取り込む」を選択します。

PDF ファイルまたは Photoshop Elements で作成された PDF 形式のプロジェクトを取り込むことができます。PDF ファイル内のテキストは画像として取り込まれます（テキストを編集できません）。

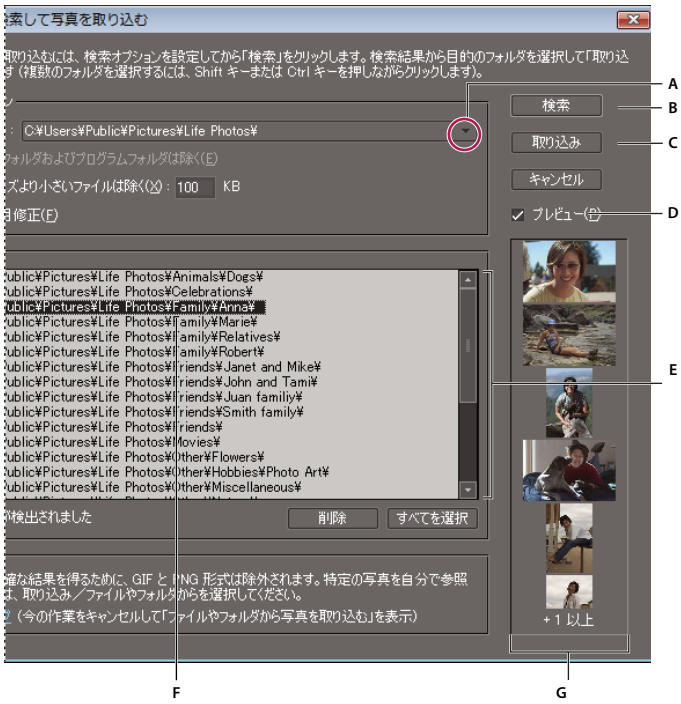
5「取り込み」ボタンをクリックします。写真が写真整理モードに表示されます。



ファイルの場所メニュー、または「取り込み」のクリックによる写真の取り込み

コンピュータ上のファイルの検索

1 ファイル／ 写真とビデオの取り込み／ 検索結果からを選択します。



コンピュータでの写真の検索
A. 検索場所 **B.**「検索」ボタン **C.** 検索結果ウィンドウから選択したフォルダを取り込む **D.** プレビューに写真のサムネールを表示できる **E.** 検索結果ウィンドウ **F.** 読み込み対象として選択されたフォルダ **G.** 選択したフォルダに含まれる写真のサムネール

2 検索対象ポップアップメニューから検索オプションを選択します。

3 検索対象を限定するオプションを選択します。

システムフォルダおよびプログラムフォルダは除く 写真が保存されている可能性の低いシステムフォルダや、プログラムフォルダを検索対象から除外します。

指定サイズより小さいファイルは除く 指定したサイズより小さいファイルサイズの写真を検索対象から除外します。「KB」テキストボックスに最小ファイルサイズをキロバイト数で入力します。

注意：デフォルトではリムーバブルメディア（CD や DVD など）とネットワークドライブは検索されません。

4「検索」をクリックします。検索には時間がかかる場合があります。途中で検索を中止する場合は、「キャンセル」をクリックします。

写真およびビデオクリップが格納されているすべてのフォルダが検索されます。

5 検索結果に表示されるリストから、取り込む写真を含んでいるフォルダをクリックして選択します。複数のフォルダを選択するには、Ctrl キーを押しながら、選択するフォルダ名を順番にクリックします。リスト内のフォルダ名をクリックすると、そのフォルダ内にあるアイテムのプレビューが表示されます。

6（オプション）写真整理モードに取り込んだときに赤目が発生している写真を自動的に修正するには、「自動赤目修正」を選択します。

7「取り込み」ボタンをクリックします。フォトブラウザに写真が表示されます。

注意：取り込む写真にキーワード名札が付いている場合は、写真に添付されているキーワード名札を取り込みダイアログボックスが表示されます。

特定のフォルダからのファイルの追加

1 写真整理モードで、 画面表示メニューから「フォルダ毎」を選択します。

フォルダ階層パネルがフォトブラウザの左側に開きます。

2 フォルダ階層パネルで、取り込むファイルを含むフォルダを参照します。

3 フォルダを右クリックし、「管理されていないファイルをカタログに追加」を選択します。

写真の取り込みダイアログボックスに、ファイルのインポート状況が表示されます。

4「OK」をクリックします。

ファイルがインポートされると、フォルダのアイコンが管理対象外フォルダアイコン から管理対象フォルダアイコン に変更します。

プレビューファイル

写真を取り込む場合、マスター写真のフル解像度のコピーを取り込むか（初期設定）、解像度を低下させたコピー（プレビューファイル）を取り込むかを選択することができます。プレビューファイルは、オリジナルの高解像度ファイルの小容量コピーとしてカタログに表示されます。オリジナルの写真を必要とする操作を行うときは、CD または DVD を挿入するように指示するメッセージが表示されます。その後、写真のプレビューファイルを使用するか、フル解像度のコピーを取り込むかを選択できます。

プレビューファイルを使用することを選択した場合は、マスターファイルを含む CD や DVD にオフラインボリューム名を割り当てることをお勧めします。Photoshop Elements がマスターディスクを必要とするときに正しい CD または DVD を挿入できるように、オフラインボリューム名が表示されます。適切なディスクを挿入できるように、CD や DVD にオフラインボリューム名を記入しておいてください。

プレビューファイルのサイズの設定

1 写真整理モードで、編集／環境設定／ファイルを選択します。

2「オフラインボリューム」セクションで、プレビューファイルの画像サイズを選択します。初期設定では、640 x 480 の大きさに設定されています。ハードディスクの空き容量をできるだけ確保したいときは、画像サイズにこれより小さい値を指定し、より高画質で表示させるには大きい値を指定します。

CD または DVD からの写真の取り込み

写真を CD または DVD からハードディスクや写真整理モードに取り込むことができます。編集用にフル解像度のコピーを作成するか、ディスク容量を節約するために低解像度のオフラインコピー（プレビューファイル）を作成するかを選択できます。

1 写真整理モードで、ファイル／ 写真とビデオの取り込み／ ファイルやフォルダからを選択します。

2 CD または DVD ドライブに移動し、コピーする写真を選択します。

3（オプション）次のいずれかを選択します。

取り込み時にファイルをコピー ファイルのフル解像度コピーをハードディスク上に作成します。

プレビューを生成 ファイルの低解像度コピーをハードディスク上に作成して、ディスク容量を節約します。

4（オプション）マスター写真をオフラインで保持している場合は、その写真が収録されている CD または DVD のボリューム名を入力し、ディスクにその名前を記入しておいてください。こうしておくことで、必要なときに簡単にマスターを探してダウンロードできます。

5 写真を Photoshop Elements の写真整理モードに取り込んだときに自動的に赤目を修正するには、「自動赤目修正」オプションを選択します。

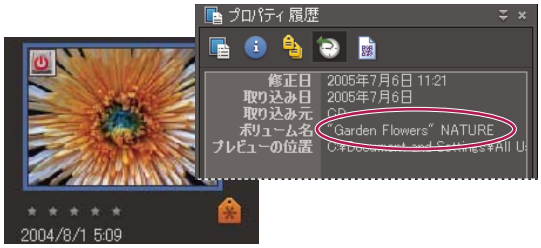
注意：このオプションは、オフラインファイルでは選択できません。

6（オプション）Photoshop Elements で類似した写真をグループとしてまとめる場合は、「自動的に写真をスタック」を選択することで、写真グループをスタックに配置するかどうかを指定できます。

7「取り込み」をクリックして、写真を写真整理モードに取り込みます。

写真にメタデータの「キーワード」が含まれている場合は、写真に添付されているキーワード名札を取り込みダイアログボックスが表示されます。

注意：プレビューファイルのサムネールには CD アイコン がついています。取り込まれたファイルの保存先は、マスターファイルが収録されている CD を挿入したドライブになります。



写真編集モードに、履歴情報としてオフライン写真に割り当てられているオフラインボリューム名が表示される

関連項目

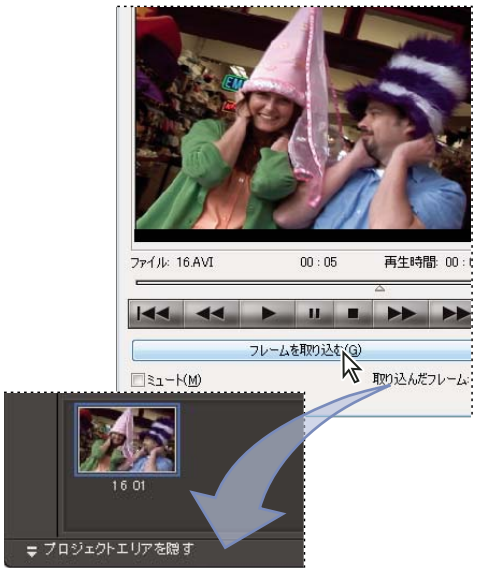
69 ページの「フォルダ名に基づいたキーワード名札の作成と適用」

30 ページの「写真に添付されているキーワードの取り込み」

ビデオからの写真の取り込み

デジタルビデオが Photoshop Elements で開くことのできるファイル形式（ASF、AVI、MPEG、MPG、M1V、WMV）で保存されている場合は、デジタルビデオからフレームを取り込むことができます。取り込まれた写真は、ビデオファイル名と半角スペースと数字を組み合わせた名前（videoclip 01、videoclip 02 など）で保存されます。

注意：幅広いビデオ形式から写真を作成できるようにするには、QuickTime や Windows Media Player などの標準ビデオソフトウェアの最新バージョンをインストールします。



ビデオクリップからの静止画の取り込み

1 写真編集モードで、ファイル／読み込み／ビデオフレームを選択します。

2 ビデオフレームダイアログボックスで、「参照」ボタンをクリックし、静止画像フレームの取り込み元とするビデオを選択して、「開く」ボタンをクリックします。

3 再生ボタン をクリックして、ビデオの再生を開始します。

4 ビデオフレームを静止画像として取り込むには、そのフレームが画面に表示されたときに、「フレームを取り込む」ボタンをクリックするか、スペースバーを押します。ビデオを進めたり巻き戻したりして、フレームの取り込みを続けることができます。

注意：ビデオの形式によっては、巻き戻しや早送りをサポートしていない場合があります。その場合は、巻き戻しボタン や早送りボタン を選択できなくなります。

5 必要なフレームをすべて取り込んだら、「完了」ボタンをクリックします。

6 ファイル／保存を選択し、コンピュータの任意のフォルダに静止画像ファイルを保存します。

カメラ内蔵携帯電話

カメラ内蔵携帯電話

カメラが内蔵されている携帯電話を使用している場合、機種によっては写真をカタログに取り込むことができます。携帯電話で写真を保存するときは、カタログに取り込むことができるファイル形式で保存する必要があります。携帯電話で使用されているファイル形式を正確に確認するには、携帯電話付属の説明書を参照してください。

携帯電話からカタログに写真を取り込むには、次のいずれかの方法を使用します。

ダイレクト転送 NOKIA® PC Suite 6.5 以降と互換性のある携帯電話や、リムーバブルフラッシュメモリやメモリカードに写真を保存する携帯電話を使用している場合は、Adobe フォトダウンローダを使用して携帯電話から Photoshop Elements に写真を直接取り込むことができます。携帯電話での写真の保存方法については、携帯電話付属の説明書を参照してください。

ケーブル転送またはワイヤレス転送 ケーブル転送またはワイヤレス転送を使用して画像をコンピュータのハードディスクに転送します。詳しくは、携帯電話メーカーに問い合わせるか、携帯電話に付属の説明書を参照してください。コンピュータに写真を転送したら、写真整理モードで、ファイル／ 写真とビデオの取り込みを選択して、カタログに写真を取り込みます。一部のカメラ付き携帯電話では、ケーブルまたはワイヤレスで接続すると Adobe フォトダウンローダが自動的に表示されるため、ファイル／ 写真とビデオの取り込みを選択する必要はありません。

注意：上記に説明されている方法は、携帯電話の機種によっては使用できない場合もあります。使用できるオプションについては、携帯電話メーカーに問い合わせるか、携帯電話に付属の説明書を参照してください。また、最新情報については、Adobe の Web サイトを参照してください。

携帯電話から写真の取り込み

Nokia の携帯電話の場合、携帯電話をコンピュータに接続すると、Adobe フォトダウンローダが自動的に表示されます。

注意：以降の指示に従う代わりに、デジタルカメラから写真を取り込むための指示に従うことができます。

1 ファイル／ 写真とビデオの取り込み／ 指定フォルダからを選択します。

2 初めて携帯電話からフォトブラウザのカタログにファイルを取り込むときには、指定フォルダから写真を取り込むダイアログボックスが表示されます。「参照」ボタンをクリックしてフォルダを選択します。

注意：携帯電話から取り込んだファイルを保存するフォルダをチェックフォルダに指定すると、さらに簡単にカタログに写真を取り込むことができます（38 ページの「チェックフォルダの使用」を参照してください）。

3「OK」をクリックします。写真が写真整理モードに表示されます。



携帯電話用のフォルダをチェックフォルダとして設定し、「写真整理モードに自動的にファイルを追加」オプションを選択

携帯電話からの取り込みの環境設定

カメラまたはカードリーダ環境設定のオプションは、携帯電話からの写真の取り込みにも影響を与えることがあります。

1 写真整理モードで、編集／環境設定／指定フォルダからを選択します。

2「参照」をクリックして、携帯電話から取り込んだ写真が格納されているフォルダを指定します。

3 取り込み中にダンローダに赤目を修正させる場合は、「自動赤目修正」を選択します。このオプションを選択すると、取り込み処理速度が低下することがあります。

第 4 章：写真整理モードでの写真の表示と補正

写真整理モードを使用して、メディアクリップを様々な方法で表示して並べ替えたり、一般的な写真の問題を補正することができます。フォトブラウザでは、作成日、キーワード名札、キャプション、クリップに関するその他の情報を表示するサムネールアイコンによって、写真、ビデオクリップおよびオーディオファイルの記録を管理することができます。例えば、表示を切り替えることで、ビデオクリップのみを表示したり、写真を並べて表示したり、地域別に表示したり、地図上に表示することができます。

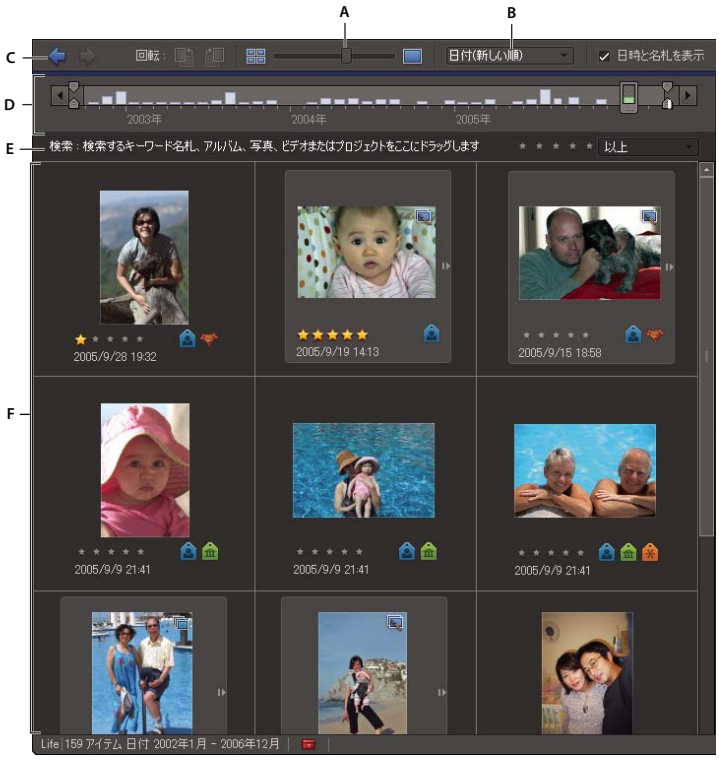
写真整理モードの補正パネルのツールを使用すると、写真の一般的な問題をすばやく補正することができます。例えば、ボタンをクリックするだけで、グリーンの色合いを除去したり、コントラストを強調したり、被写体の赤目を修正することができます。

Photoshop Elements ヘルプのすべての内容を参照するには、「Web 上のページ」をクリックして LiveDocs にアクセスしてください。

フォトブラウザでの写真の表示（写真整理モード）

フォトブラウザ

フォトブラウザでは、写真整理モードの中央に写真のサムネールを表示します（日付表示からフォトブラウザに戻るには、 画面表示／フォトブラウザを選択します。）フォトブラウザを使用すると、任意のカタログ内の写真のサムネール、ビデオクリップ、オーディオファイルを表示して見つけることができます。フォトブラウザでアイテムを選択して、名札を適用したり、プロジェクトに追加したり、編集することができます。



フォトブラウザには、いつでも利用できるように取り込んだ写真が表示されています。
A. サムネールサイズスライダ **B.** アイテムの並べ方メニュー **C.** ツールバー **D.** タイムグラフ **E.** 検索バー **F.** メインウィンドウ

関連項目

12 ページの「写真編集モードワークスペース」

63 ページの「キーワード名札」

86 ページの「タイムグラフ」

87 ページの「検索バーを使用した検索」

52 ページの「写真をフルスクリーン表示または並べて比較する」

フォトブラウザの表示

❖ 写真整理モードの日付表示からフォトブラウザを開くには、次のいずれかの操作を行います。

- 画面表示／フォトブラウザを選択します。
- 写真整理モードの下部にある「フォトブラウザ」をクリックします。

フォトブラウザの表示の環境設定

1 フォトブラウザで、編集／環境設定／一般を選択します。

2 必要に応じて次のようなオプションを指定します。

- 同じ日付の写真を新しい写真から順に表示するには、「同じ日付のアイテムは時刻の新しい順に表示」を選択します。
- フォトブラウザのスペースが許す限り、写真を実際のサイズの 100 %以上に拡大するには、「写真のサイズ変更を許可」を選択します。このオプションを選択解除すると、利用可能なスペースが残っている場合でも、写真が実際のサイズで表示されます。
- 以後、表示しないことにしたダイアログボックスを再度有効にするには、「すべての警告ダイアログボックスを初期化」をクリックします。

フォトブラウザアイコン

「日時と名札を表示」チェックボックスを選択した場合にだけ、次のアイコンのうち該当するものが表示されます。他のアイコンは常に表示されます。

スタックアイコン スタックされている写真のサムネールであることを示します。

バージョンセットアイコン スタックされている編集されたバージョンの写真のサムネールであることを示します。

ビデオアイコン ビデオクリップのサムネールであることを示します。

ディスクアイコン オフライン写真のサムネールであることを示します。

オーディオアイコン サムネールにオーディオキャプションがあることを示します。

キーワード名札アイコン 、、、 写真にキーワード名札が適用されていることを示します。ポインタをタグアイコンに重ねると、名札名が表示されます。これらは名札の初期設定のアイコンです。初期設定の名札アイコンを変更するには、71 ページの「キーワード名札、カテゴリーおよびサブカテゴリーの編集」を参照してください。サムネールが小さなサイズで表示されている場合、複数の名札のアイコンを 1 つのアイコンにまとめることができます。

アルバムアイコン 写真がアルバムに含まれていることを示します。ポインタをアイコンに重ねると、アルバム名が表示されます。

プロジェクトアイコン 写真がプロジェクトに使用されていることを示します。

フォトプロジェクトアイコン 写真が複数ページのプロジェクトに含まれていることを示します。

重要度 写真の重要度を 5 つ星評価で表します。

フォトブラウザでの表示の選択

❖ 画面表示／ [表示オプション] を選択します。

次の表示オプションから選択します。

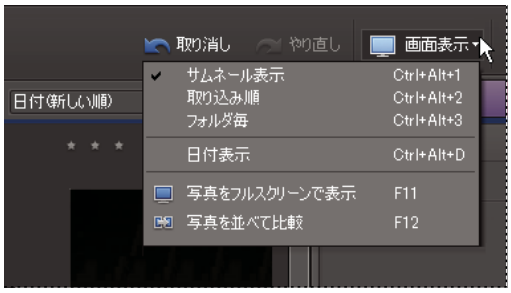
サムネール表示 指定した順序でファイルのサムネイルを表示します。

取り込み順 写真を取り込んだ日時ごとに表示し、取り込み方法も表示します。

フォルダ毎 保存先のフォルダごとに写真を表示します。

日付表示 フォトブラウザの任意のビューから日付表示を開きます。写真を撮影した日付に写真のサムネールが配置されたカレンダーが表示されます。

フォトブラウザ 日付表示からフォトブラウザのサムネールビューを開きます。



フォトブラウザ表示メニューから選択すると、タイムラインとフォトブラウザで異なるビューが表示されます。

フォトブラウザでの写真の表示と非表示

ハードディスクから写真を削除しなくても、フォトブラウザ内のビューで非表示にするよう、写真にマークを付けることができます。逆に、非表示のファイルを一時的に表示したり、ファイルが常に表示されるよう、マークを削除したりすることもできます。

非表示にする写真の指定

1 非表示にする写真を選択します。隣接する複数の写真を選択する場合は、Shift キーを押しながら最初の写真と最後の写真をクリックして、グループ全体を選択します。隣接していない複数の写真を選択する場合は、Ctrl キーを押しながら、写真を 1 つずつ選択します。

2 編集／ 表示 / 非表示／表示しないを選択し、非表示にする写真にマークを付けます。

選択した写真の左下に、非表示アイコン が表示されます。

3 選択された写真をフォトブラウザ内で非表示にするには、次のいずれかの操作を行います。

- 編集／ 表示 / 非表示／非表示を表示を選択します。
- 表示／非表示のファイルを選択します。

非表示にした写真の表示

❖ 次のいずれかの操作を行います。

- 編集／ 表示 / 非表示／非表示を表示を選択します。
- 表示／非表示のファイルを選択します。

写真の非表示指定の解除

1 フォトブラウザで、非表示に指定された写真を表示します。

2 非表示マーク を削除する写真を選択します。隣接する複数の写真を選択する場合は、Shift キーを押しながら最初の写真と最後の写真をクリックして、グループ全体を選択します。隣接していない複数の写真を選択する場合は、Ctrl キーを押しながら、写真を 1 つずつ選択します。

3 編集／ 表示 / 非表示／表示するを選択します。

フォルダ毎のファイルの表示と管理

写真整理モードのフォルダ毎表示を選択すると、フォトブラウザに、フォルダ階層と画像のサムネールの 2 つのパネルが表示されます。フォルダ毎表示では、フォルダの管理や、カタログへのファイルの追加を行ったり、フォルダ名をキーワード名札としてファイルに自動的に名札を付けたりできます。また、フォルダをチェックフォルダとして指定したり、指定を解除することもできます。

初期設定では、ハードディスク上にあるすべてのフォルダがフォルダ階層パネルに表示されます。管理対象ファイルを含むフォルダには、管理対象フォルダアイコン が付いています。管理対象ファイルとは、手動または自動でカタログに取り込まれたファイルを指します。チェックフォルダには、チェックフォルダアイコン が付いています。チェックフォルダに保存されたファイルは、互換性のないものを除き、Photoshop Elements に自動的に取り込まれます。管理対象フォルダとチェックフォルダの両方に指定されている場合は、これらの対象であることを表すアイコン が付いています。初期設定では、ハードディスク上にあるすべてのファイルが、選択されたフォルダ内にあるファイルから順番に、サムネールパネルに表示されます。選択されたフォルダ内にあるファイルのサムネールのみを表示するように変更することができます。

注意：各パネルの初期設定の表示を変更するには、編集／環境設定／フォルダ毎表示を選択し、目的のオプションを選択します。

1 フォトブラウザで、写真整理モードの右上にある画面表示メニュー から、「フォルダ毎」を選択します。

フォルダ階層は写真整理モードの左側に表示され、画像のサムネールは中央に表示されます。

2 サムネールパネルに表示するファイルを指定するには、次のいずれかの操作を行います。

- 選択されたフォルダのみをサムネールパネルに表示するには、フォルダ階層パネルを右クリックし、「すべてのファイルを表示」を選択解除します（隣にチェックマークが表示されていなければ、選択解除されています）。
- すべての管理対象ファイルをサムネールパネルに表示するには、フォルダ階層パネルを右クリックし、「すべてのファイルを表示」を選択します（隣にチェックマークが表示されていれば、選択されています。）

フォルダ毎表示で、すべての管理対象ファイルを検索するには、「すべてのファイルを表示」を選択する必要があります。

3 ファイルの保存先フォルダを検索するには、サムネールパネルで、ファイルのサムネールをクリックします。ファイルの保存先フォルダが左のパネルでハイライトされます。

4 特定のフォルダ内でファイルを検索するには、フォルダ階層パネル内でそのフォルダをクリックします。そのフォルダ内にあるファイルのサムネールが、フォルダ名の下にグループ化されてサムネールパネルに表示されます。

5 フォルダ毎にファイルに自動的に名札を付けるには、サムネールパネルの、名札を付けたいフォルダの右上にあるインスタントキーワード名札アイコン をクリックします（69 ページの「フォルダ名に基づいたキーワード名札の作成と適用」を参照してください）。

6 ファイルとフォルダを管理するには、フォルダを選択し、次のいずれかを操作を行います。

- ファイルを別のフォルダに移動するには、サムネールパネルのファイルのサムネールを、フォルダ階層パネルのフォルダにドラッグします。
- エクスプローラでフォルダを表示するには、フォルダ階層パネルでフォルダを右クリックして、「ファイルの保存場所を表示します」を選択します。
- フォルダをチェックフォルダとして設定したり、設定を解除するには、フォルダ階層パネルでフォルダを右クリックし、「チェックフォルダとして追加」または「チェックフォルダから削除」を選択します。
- フォルダ内のファイルをカタログに追加するには、フォルダ階層パネルを右クリックし、「管理されていないファイルをカタログに追加」を選択します。
- フォルダの名前を変更するには、フォルダ階層パネルでフォルダを右クリックし、「フォルダ名の変更」を選択します。次に、新しい名前を入力します。
- フォルダを削除するには、フォルダ階層パネルでフォルダを右クリックし、「フォルダの削除」を選択します。

7 新しいフォルダを作成するには、フォルダ階層パネルでフォルダを作成する場所を右クリックし、「新規フォルダの作成」を選択します。

関連項目

38 ページの「チェックフォルダの使用」

38 ページの「ファイルおよびフォルダからの写真の取り込み」

63 ページの「キーワード名札」

表示するアイテムの種類の指定

❖ フォトブラウザで、表示／メディアの種類／ [ファイルの種類] を選択します。

注意：アイテムの取り込み後、アイテムの種類がすべてフォトブラウザに一時的に表示されます。

フォトブラウザのアイテムの並べ替え

❖ フォトブラウザの右上にあるアイテムの並べ方メニューで、並べ替えオプションを選択します。次の並べ替えオプションを選択できます。

日付（新しい順）撮影日時や読み込み日時が新しい順に写真を表示します（写真の日付が同じ場合は、一般環境設定ダイアログボックスで指定しない限り、先に撮影された写真から表示されます）。新しい順で表示すると、新しく取り込んだ写真に名札を付ける場合に便利です。

日付（古い順）すべての写真を日付が古い順に表示します。

アルバム順 アルバムに配置されている順序で写真を表示します（アルバムを選択した場合のみ）。

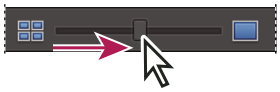


フォトブラウザのアイテムの並べ方メニューでは、サムネールを古い順、新しい順またはアルバム内の順序で並べ替えることができます。

サムネールのサイズ変更、更新、非表示

サムネールのサイズを変更したり、別のアプリケーションで画像を編集した後でサムネールを更新したりすることができます。さらに、サムネールをすばやく回転して、ウィンドウに正しく表示されるようにできます。

- サムネールのサイズを徐々に変更するには、ツールバーのサムネールスライダをドラッグします。



サムネールスライダを右にドラッグすると、サムネールのサイズが大きくなります。

- 最小サイズのサムネールを表示するには、サムネールスライダの左側にあるボタンをクリックします。
- 写真を 1 枚だけ表示するには、サムネールスライダの右側にあるボタンをクリックします。
- サムネール画像を更新するには、表示／表示の更新を選択します。
- 画像を反時計回りに回転するにはフォトブラウザの上部にある左に回転 を、画像を時計回りに回転するには右に回転 をクリックします。

関連項目

116 ページの「アイテムのサムネールの更新」

フォトブラウザでのアイテムの選択

フォトブラウザで写真やその他のアイテムを処理するには、最初にそのアイテムを選択する必要があります。選択した写真のサムネールの枠が暗いブルーでハイライト表示されます。

❖ 次のいずれかの操作を行います。

- アイテムを 1 つ選択するには、そのサムネールをクリックします。
- 連続した複数のアイテムを選択するには、Shift キーを押しながら選択する範囲の最初のアイテムと最後のアイテムをクリックします。
- 連続していない複数のアイテムを選択するには、Ctrl キーを押しながらアイテムを 1 つずつクリックします。
- フォトブラウザのすべてのアイテムを選択または選択解除するには、編集／すべてを選択、または編集／選択を解除を選択します。

写真の詳細情報の表示と編集

フォトブラウザに各サムネールの詳細情報を表示するかどうかを選択できます。また、特定の詳細情報をどのように表示するか選択することもできます。また、オーディオキャプションなどのキャプションや日時に関する情報を追加および編集することができます。

関連項目

119 ページの「ファイル情報（メタデータ）」

115 ページの「ファイルの日時の変更」

日付と詳細情報のフォント形式の指定

1 編集／環境設定／一般を選択します。

2「表示オプション」で、次のいずれかを選択することにより、日付の形式、および詳細情報の表示に使用するフォントを指定できます。

日付の形式（このオプションは、日本語版では使用できません）この MM/DD/YY または DD/MM/YY の形式を選択します。

システムフォントを使用 詳細情報をシステムフォントで表示するには、このオプションを選択します。

サムネールの日付をクリックして日時を変更 このオプションを選択すると、写真をクリックすれば、写真の日時に関する詳細情報を編集できるようになります。

写真の詳細情報の表示と非表示

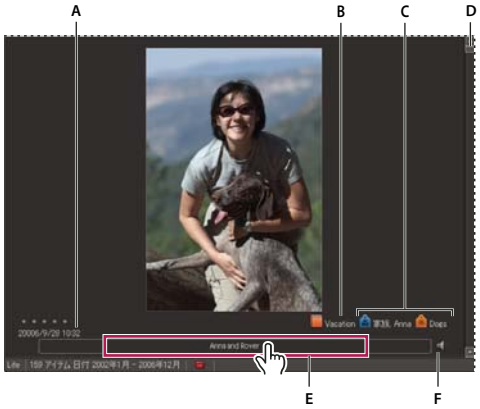
❖ フォトブラウザの右上にある「日時と名札を表示」ボックスをオンまたはオフにします。

写真の詳細情報の編集

日付、適用されているキーワード名札、ファイル名、キャプション、オーディオキャプションなどの写真の情報を編集できます。

❖ フォトブラウザで、次のいずれかの操作を行います。

- テキストキャプションを追加または編集するには、「日時と名札を表示」チェックボックスを選択し、サムネール単一表示ボタン をクリックします。次に、既存のキャプションをクリックするか、「ここをクリックするとキャプションを追加できます」をクリックします。
- オーディオキャプションを追加、再生または編集するには、「日時と名札を表示」チェックボックスを選択し、サムネール単一表示ボタンをクリックします。次に、オーディオキャプションを設定ボタン をクリックします。



写真の詳細情報
A. 日時 **B.** この写真が登録されているアルバム **C.** 写真に適用されているキーワード名札 **D.** 前または次の写真にスクロール **E.** クリックしてキャプションを追加または変更 **F.** クリックしてオーディオキャプションを追加または再生

- 写真に割り当てられた日付を変更するには、サムネールを選択し、編集／日時を変更を選択します。次に、表示されるダイアログボックスでオプションを指定します。

日付をクリックするだけで変更できるようにするには、編集／環境設定／一般を選択し、「サムネールの日付をクリックして日時を変更」を選択します。

ビデオと全画面画像の表示

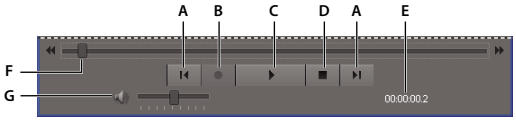
ビデオクリップの表示

フォトブラウザでは、ビデオクリップの最初のフレームがクリップのサムネールとして表示されます。フォトブラウザでフィルムストリップアイコン が付いているアイテムはビデオクリップです。

1 フォトブラウザで、ビデオクリップをダブルクリックします。

注意：Photoshop Elements で QuickTime ムービーを表示するには、コンピュータに Quicktime プレーヤーをインストールする必要があります。まだインストールされていない場合は、www.apple.co.jp/quicktime/download から QuickTime インストーラをダウンロードし、実行してください。

2 Photoshop Elements ビデオウィンドウが表示されたら、再生ボタンをクリックしてビデオを再生します。再生箇所をフレーム単位で選択するには、ビデオクリップのスライダをドラッグします。ビデオクリップが長い場合は、数フレーム先に移動する場合もあります。



Photoshop Elements ビデオウィンドウ
A. 開始点ボタンと終了点ボタン **B.** 録音ボタン **C.** 再生ボタン **D.** 停止ボタン **E.** ビデオクリップの再生経過時間 **F.** スライダをドラッグしてビデオクリップの再生箇所を指定 **G.** 音量調節

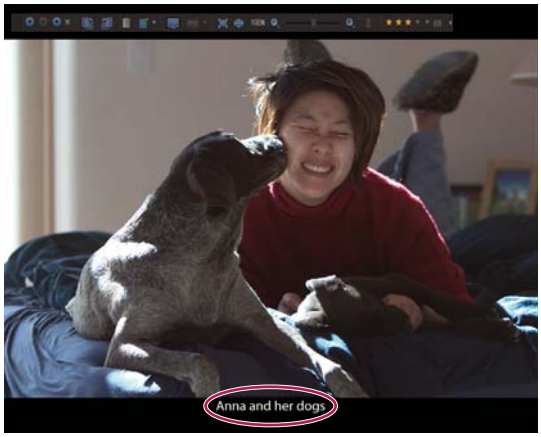
3 ビデオの再生が終了したら、閉じるボタン をクリックして Photoshop Elements ビデオウィンドウを閉じます。

ビデオクリップのフレームから静止画像を取り込むには、写真編集モードでファイル／読み込み／ビデオフレームを選択します。

写真をフルスクリーン表示または並べて比較する

フルスクリーン表示機能および並べて比較機能によって、ウィンドウ、メニュー、パレットなどのインターフェイスアイテムにわずらわされずに画像を表示できます。マウスを数秒間動かさないでいると、再生、回転、ズームなどのボタンを含むコントロールバーが非表示になります（再表示するには、マウスを動かします）。

「写真をフルスクリーンで表示」コマンドを使用すると、複数の写真がフルスクリーンのスライドショーとして表示され、楽しく効率的に写真を閲覧することができます。このスライドショーはカスタマイズすることができます。例えば、画像の表示中にオーディオファイルを再生したり、画面の右側に選択したファイルのサムネールをフィルムストリップとして表示したり、写真と写真の間にフェードを追加したりできます。スライドショーで使用する写真を決定し、写真に必要な編集作業を行ったら、「スライドショーを作成」ボタンをクリックして、この表示から直接スライドショーエディタに写真を送ることができます。



キャプションの付いたフルスクリーン表示

「写真を並べて比較」コマンドは、2 つの写真を同時に表示します。並べて比較表示は、写真の細部と相違点に注目したいときに便利です。複数の写真を選択して比較できます。並べて比較表示では、現在選択している写真が青色の境界線で囲まれます。次の写真を表示ボタン をクリックすると、現在表示されている画像が、次に選択した画像に変わります。フィルムストリップを有効にしている場合は、フィルムストリップの画像をクリックして、選択した画像（青い境界線で囲まれている画像）の代わりに表示できます。



構図や細部を分析するには並べて比較表示を使用します。画像 1 にはプリント用のマークが付けられています。

フルスクリーン表示ボタン または写真を並べて比較ボタン をクリックして、表示を交互に切り替えることができます。どちらの表示でも、プリント用のお気に入りの作成、赤目の修正、写真をアルバムに追加、写真の拡大、回転、削除、写真へのキーワード名札の適用を行うことができます。

関連項目

340 ページの「スライドショー」

フルスクリーン表示または並べて比較表示の使用

1 次のいずれかの操作を行って、表示する写真を選択します。

- フォトブラウザで、キーワード名札または個別の写真を選択します。
- 日付表示で、写真が含まれている日付をクリックします。

注意：写真を 1 枚だけ選択した場合、選択した写真がフルスクリーン表示または並べて比較表示で最初に表示され、フォトエリアの他のすべての写真はサムネールのフィルムストリップとして表示されます。

2 次のいずれかの操作を行います。

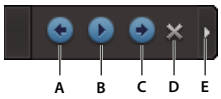
- （このオプションは、日本語版では使用できません）表示／写真を並べて比較を選択します。
- 写真整理モードの右上で 画面表示／写真をフルスクリーンで表示を選択するか、表示／写真をフルスクリーンで表示を選択します。

いずれかの表示が開いたら、コントロールバーのフルスクリーン表示ボタン または写真を並べて比較ボタン をクリックして表示を切り替えることができます。

3（フルスクリーン表示のみ）表示されるフルスクリーン表示のオプションダイアログボックスで、次のいずれかのスライドショーオプションを指定し、「OK」をクリックします。55 ページの「フルスクリーン表示のオプション」を参照してください。逆に、これらのオプションをどれも適用しない場合は、「キャンセル」をクリックします。

4 次のいずれかの操作を行って写真を表示します。

- （フルスクリーン表示のみ）スライドショーを開始するには、再生ボタン をクリックするか、スペースバーを押します。
- 前の写真または次の写真に移動するには、左矢印キーと右矢印キーを使用するか、前の写真を表示 または次の写真を表示 をクリックします。



スライドショーのナビゲーションコントロール
A. 前の写真を表示 **B.** 再生／一時停止 **C.** 次の写真を表示 **D.** 終了 **E.** すべてのコントロールを表示

注意：マウスを数秒間動かさないと、コントロールバーがフェードしてなくなります。再表示するには、マウスを動かします。

- （フルスクリーン表示のみ）写真に直接移動するには、画面の右側にあるフィルムストリップでサムネールをクリックします。サムネールのフィルムストリップを表示するには、フルスクリーン表示のオプションダイアログボックスで「フィルムストリップを表示」を選択します。
- （並べて比較表示のみ）選択した写真を変更するには、画面の右側にあるフィルムストリップでサムネールをクリックします。
- （並べて比較表示のみ）2 枚の写真を左右でなく上下に並べて表示するには、写真を並べて比較アイコンの横にある三角形をクリックして、「上下に並べる」を選択します。
- 画像を回転させるには、90˚ 回転（反時計回り） または 90˚ 回転（時計回り） をクリックします。画像の回転は、フォトブラウザに戻ると適用されます。



回転、アクション、および表示のコントロール
A. 左に 90 ˚ 回転 **B.** 右に 90 ˚ 回転 **C.** アクションメニュー **D.** フルスクリーン表示 **E.** 写真を並べて比較 **F.** クリックして「左右に並べる」「上下に並べる」オプションを表示

「90˚ 回転（反時計回り）」など、一部のコントロールが表示されていない場合は、コントロールバーの右側にある三角形をクリックします。

5 カタログから画像を削除するには、削除 をクリックします。

注意：「ハードディスクからも選択したアイテムを削除」は、画像が不要であることが確実な場合にだけ選択します。

6 画像を拡大または縮小するには、ズームインまたはズームアウトのアイコンをクリックするか、2 つのズームアイコン間のスライダをドラッグします。ウィンドウに合わせるアイコンまたはピクセル等倍アイコンをクリックしても、画像を該当する寸法で表示できます。

注意：並べて比較で両方の画像に倍率値を割り当てるには、パンとズームを同期アイコンをクリックします。



ズームのコントロール
A. ウィンドウに合わせる **B.** ピクセル等倍 **C.** ズームアウト **D.** ズームスライダ **E.** ズームイン **F.** パンとズームを同期 **G.** 重要度 **H.** 非表示ボタン

7 キーワード名札の適用、写真を自動スマート補正、自動赤目修正、プロパティの表示、アルバムに対する追加または削除などを行うには、アクションメニュー からコマンドを選択します。

8 写真をプリントするには、アクションメニューで「プリントマークを追加」を選択します。プリントマークを追加した写真のサムネールには、プリンタアイコン が表示されます。フルスクリーン表示や並べて比較表示を終了したときに、プリント、またはオンラインでプリント注文するためのプリントダイアログボックスが表示されます。

9 画像を直接スライドショーエディタに送って、切り替え方法の追加、パンやズーム、テキストやグラフィックの追加によってスライドショーを充実させるには、「スライドショーを作成」をクリックします。

スライドショーエディタに画像を送ると、BGM、スライドの間隔、追加したテキストまたはオーディオキャプションなど、フルスクリーン表示で設定した内容がスライドショーエディタで使用されます。

10 どちらの表示を閉じる場合も、Esc キーを押すか、終了 をクリックします。

関連項目

340 ページの「スライドショーの作成」

340 ページの「スライドショー」

フルスクリーン表示のオプション

フルスクリーン表示のオプションダイアログボックス内のオプション

BGM スライドショーの実行中に再生するオーディオファイルを指定します。別のファイルを選択するには、「参照」をクリックし、目的のファイルを検索して選択します。

オーディオキャプションを再生 スライドショーの実行中に再生する、選択したファイルのオーディオキャプションを指定します。オーディオキャプションとして、MP3、WAV および WMA ファイルを使用できます。

スライド間隔 画面上での各画像の表示時間を指定します。この時間が過ぎると、次の画像が表示されるか、フェードインします。

キャプションを含める キャプションを画面の下部に表示します。

写真のサイズ変更を許可 / ビデオのサイズ変更を許可 写真またはビデオのサイズを画面に合うように変更します。

フィルムストリップ を表示 選択したすべての画像を細長いサムネールにして画面の右側に表示します。フルスクリーン表示する画像を選択するには、サムネールをクリックします。

写真のフェード スライドショーの実行中に各画像をフェードで切り替えます。

自動的に再生を開始 画像が全画面表示されたらすぐにスライドショーを開始します。このオプションを選択すると、スライドショーを開始する際、再生ボタンをクリックする必要はありません。

スライドショーを繰り返し再生 停止されるまでスライドショーを繰り返し再生します。

フルスクリーンモードでの重要度の適用と削除

1 フォトブラウザで、写真を右クリックし、「写真をフルスクリーンで表示」 を選択します。

2 フルスクリーン表示のオプションダイアログボックスで、フルスクリーン表示のオプションを選択して「OK」をクリックします。写真をフルスクリーンで表示するだけの場合は、「キャンセル」をクリックします。55 ページの「フルスクリーン表示のオプション」を参照してください。

写真がフルスクリーンで表示され、重ねてコントロールバーが表示されます。

3 コントロールバーで、次のいずれかの操作を行います。

- 写真の重要度を設定するには、星を選択します。
- 写真の重要度を消去したい場合は、一番右にあるゴールドの星をクリックして、重要度をクリアします。



写真の重要度には、5 つ星まで選択できます。

フルスクリーンモードでの補正、名札付け、アルバムへの追加、プリント、その他

1 フォトブラウザで、写真を右クリックし、「写真をフルスクリーンで表示」 を選択します。

2 フルスクリーン表示のオプションダイアログボックスで、フルスクリーン表示のオプションを選択して「OK」をクリックします。写真をフルスクリーンで表示するだけの場合は、「キャンセル」をクリックします。

写真がフルスクリーンで表示され、重ねてコントロールバーが表示されます。

3 コントロールバーで、アクションメニューボタン をクリックすると、オプションのメニューが開きます。

4 メニューから、いずれかのオプションを選択します。

フルスクリーンモードでの写真の削除

1 フォトブラウザで、写真を右クリックし、「写真をフルスクリーンで表示」 を選択します。

2 フルスクリーン表示のオプションダイアログボックスで、フルスクリーン表示のオプションを選択して「OK」をクリックします。写真をフルスクリーンで表示するだけの場合は、「キャンセル」をクリックします。

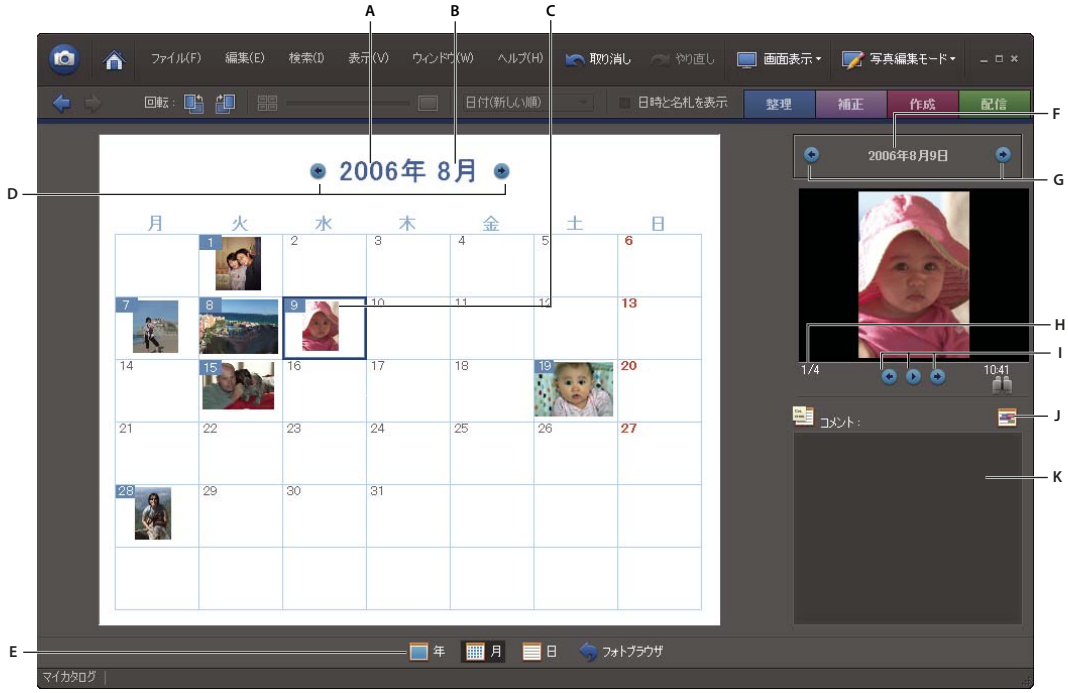
写真がフルスクリーンで表示され、重ねてコントロールバーが表示されます。

3 コントロールバーで、削除ボタン をクリックします。

日付表示での写真の表示

日付表示での写真を表示および検索

Photoshop Elements の写真整理モードの日付表示を使用すれば、写真を日付順に表示したり、特定の年、月または日の写真を検索できます。検索する日を指定して、その日の写真をミニスライドショーで表示することができます。休日や誕生日などの繰り返し発生するイベントを管理し、任意の日にコメントを追加することもできます。フォトブラウザで行う写真操作の多くは、日付表示でも行えます。



日付表示
A. クリックして年を選択します。 **B.** クリックして月を選択します。 **C.** 現在選択されている日付です。**D.** 前月または翌月を表示するときにクリックします。**E.** クリックして、年、月または日付表示を選択します。**F.** 日付を設定するときにクリックします。**G.** 前日または翌日を表示するときにクリックします。 **H.** 選択した日付の写真の枚数を示します。 **I.** スライドショー表示用のコントロールです。 **J.** イベントを追加します。**K.** その日のメモを入力します。

1 写真整理モードの右上にある 画面表示／日付表示をクリックします。日付表示が開き、フォトブラウザで現在選択している写真の月と日が表示されます。

2 日付表示の下部にある年ボタン 、月ボタン 、または日ボタン をクリックします。

3 次のいずれかの操作を行って、目的の月および日に移動します。

- 年、月表示で、カレンダー上部の前へボタン および次へボタン を使用して、前後の年、月に移動します。ボタンを押したままにすると、すばやく目的の年、月へ移動できます。
- カレンダーの年をクリックすると、年のリストが表示され、表示する年を選択できます。年の横の写真アイコン は、その年に写真が登録されていることを示します。
- 月表示で、カレンダーの月の名前をクリックすると、1 月から 12 月までのリストが表示され、表示する月を選択できます。月の横の写真アイコン は、その年月に写真が登録されていることを示します。
- 右上の日付表示をクリックし、日付を設定ダイアログボックスで検索する日付を選択します。
- 年または月表示で、日付をダブルクリックします。カレンダーが日表示に切り替わり、選択した日の最初の写真が表示されます。

4 同じ日付に写真が複数ある場合は、次のいずれかの操作を行うと、その日の写真を表示できます。

- 日表示で写真を表示するには、カレンダー右部に表示されるサムネールをクリックします。
- 日表示で選択した日付の写真をフルスクリーンで表示するには、 画面表示／ 写真をフルスクリーンで表示を選択します。
- 年または月表示で選択した日付のすべての写真をスライドショーとして表示するには、画面の右側に表示された画像の下にある再生ボタン をクリックします。

5 日表示で、写真をフォトブラウザで表示するには、写真の右下に表示される「この写真をフォトブラウザで見つけます」ボタン をクリックします。

フォトブラウザで使用できるコマンドの多くは、日付表示でも使用できます。写真を右クリックすると、利用可能なコマンドのメニューが表示されます。

関連項目

383 ページの「オンラインプリントサービスへの写真の送信」

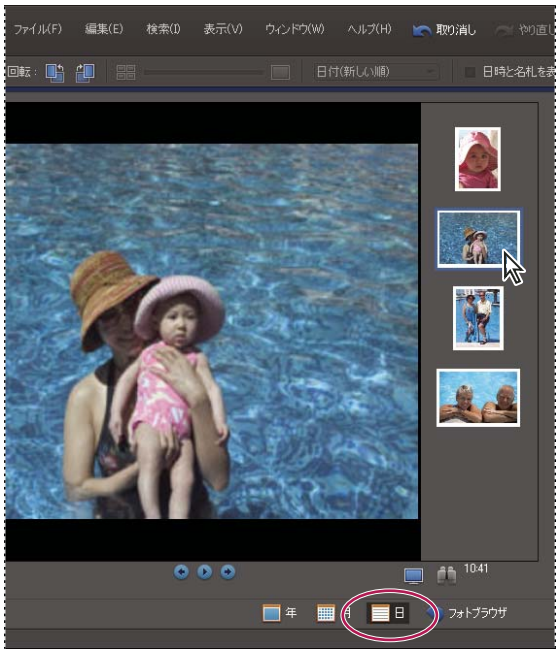
53 ページの「フルスクリーン表示または並べて比較表示の使用」

カレンダーの日付に表示されている写真の変更

初期設定では、日付表示の各日付に、その日に最初にスキャンまたは撮影した写真が表示されています。初期設定で表示される写真が、その日に撮影されたすべての写真を代表する写真でない場合は、別の写真に変更することができます。

❖ 日付表示で、次のいずれかの操作を行います。

- 月表示または年表示の場合は、目的の写真をカレンダー右部に表示されるスライドショーウィンドウを使用して検索します。次に、写真をスライドショーウィンドウ上で右クリックし、「一日の先頭の写真として設定」を選択します。
- 日表示の場合は、カレンダー右部に表示されるサムネールのリストから写真を選択し、大きく表示された写真またはサムネールを右クリックして「一日の先頭の写真として設定」を選択します。



日表示での画像の選択

日付が不明な写真の表示

選択された写真の日付に年が含まれている場合、日表示で写真を表示できます。年が不明な場合、日表示に写真は表示されません。

❖ 日付表示で、次のいずれかの操作を行います。

- 写真の日付に年と月が含まれているが、日は含まれていない場合は、月表示における月、または年表示における年の右上に表示される日付不明アイコン ? をクリックします。
- 写真の日付に年が含まれているが、月と日は含まれていない場合は、年表示における年の右上に表示される日付不明アイコンをクリックします。
- 不明な写真が複数ある場合は、アイコンをクリックすると、写真がスライドショーで表示されます。

関連項目

115 ページの「ファイルの日時の変更」

日付表示へのコメントの追加

日付表示では、コメントを追加して日単位のイベントを記録することができます。コメントには、その日に撮影した写真の説明などを入力します。コメントは、特定の写真ではなく、カレンダーの日付に関連付けられるため、キャプションとは異なります。コメントは日付表示でだけ表示、編集が可能です。

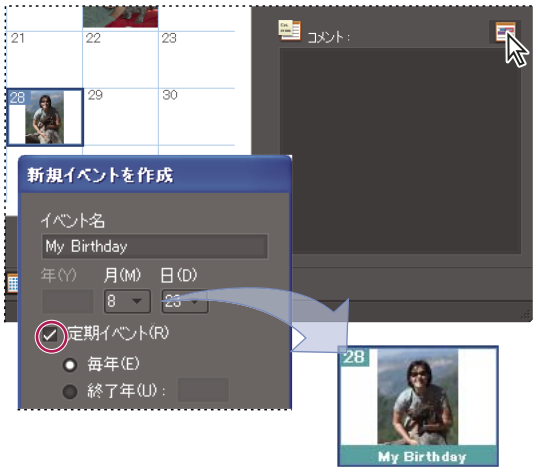
1 日付表示で、日付を選択します。

2「コメント」ボックスにコメントを入力します。

コメントは、写真のない日付も含め、日付表示内の任意の日付に追加できます。月表示では、コメントがある日付にコメントアイコン が表示されます。

日付表示でのイベントの追加

日付表示では、日次イベントだけではなく、誕生日などの年次イベントも記録することができます。



カレンダーへのイベントの追加

1 日付表示で、日付を選択します。

2 次のいずれかの操作を行います。

- イベントアイコン をクリックします。
- 年または月表示で、日付を右クリックし、コンテクストメニューから「ユーザ定義イベントを追加」を選択します。

3 イベントの名前を「イベント名」テキストボックスに入力します。

4 必要に応じて、ポップアップメニューに表示される日付を変更します。

5 毎年繰り返されるイベントの場合、「定期イベント」チェックボックスを選択します。必要に応じて、定期イベントの終了年を入力します。「OK」をクリックします。

カレンダーの年および月表示で、休日やイベントが特別な色で表示されます。

日付表示環境設定ダイアログボックスの「イベント」オプションで、イベントの追加、削除および編集を行うことができます。

日付表示でのキャプションの追加または変更

1 日付表示で、キャプションを追加または変更する写真を表示します。

2 日ボタン をクリックして日表示を開きます。

3 右下にある「キャプション」ボックスにキャプションを入力します。

日付表示の環境設定

1 編集／環境設定／日付表示を選択します。

2 各週を月曜日から開始するには、「週の開始を月曜日にする」を選択します。選択しない場合、各週は日曜日から開始します。

3 休日リストで、カレンダーに赤文字で表示する休日を選択します。

4 イベントを追加、削除または編集するには、次のいずれかの操作を行います。

- イベントを追加するには、「イベント」セクションで「新規」をクリックし、新規イベントを作成ダイアログボックスに情報を入力します。
- イベントを編集するには、リスト内のイベントを選択して「編集」をクリックします。イベントを編集ダイアログボックスで情報を変更します。
- イベントを削除するには、リスト内のイベントを選択して「削除」をクリックします。

5「OK」をクリックして、環境設定ダイアログボックスを閉じます。

写真整理モードでの写真の補正

写真整理モードの「補正」タブのツールを使用すると、写真の一般的な問題をすばやく補正することができます。

注意：Photoshop Elements の写真編集モードを使用すると、より複雑な変更や細かい調整を行うことができます。「補正」タブで「スタンダード編集」ボタン をクリックすると、写真編集モードが開きます。

「補正」タブのツール

「補正」タブのツールボタンを使用すると、一般的な写真の問題を補正することができます。ツールの一部は、写真編集モードでカスタマイズすることもできますが、「補正」タブでそのままの設定ですばやく簡単に補正できるように設定されています。

関連項目

220 ページの「画像の切り抜き」

自動スマート補正を使用したクイック補正

自動スマート補正では、写真を分析して、露出不足による一般的な問題を補正します。例えば、コントラスト、カラーバランス、カラー彩度などの問題を補正できます。

1「補正」タブをクリックして補正パネルを表示します。

2 フォトブラウザで写真を選択します（複数の写真を選択するには、Ctrl キーを押しながら写真をクリックします）。

3「補正」タブで「自動スマート補正」ボタン をクリックします。

自動スマート補正を使用すると、選択した写真のコピーが作成され、そのコピーで調整が行われ、元の写真のバージョンセットとしてそのコピーが保存されます。

自動カラー補正でのカラーの補正

自動カラーでは、写真を分析して、カラーバランスにおける一般的な問題を補正します。例えば、蛍光灯の光で写真を撮影したときに全体が緑がかったり、室内光のカメラ設定のまま屋外で写真を撮影したときに青っぽくなる現象などを補正できます。

1「補正」タブをクリックして補正パネルを表示します。

2 フォトブラウザで写真を選択します（複数の写真を選択するには、Ctrl キーを押しながら写真をクリックします）。

3「補正」タブで「自動カラー」ボタン をクリックします。

自動カラー補正を使用すると、選択した写真のコピーが作成され、そのコピーでカラーが補正され、元の写真のバージョンセットとしてそのコピーが保存されます。

自動レベル補正でのレベルの設定

自動レベル補正では、写真を分析して、輝度における一般的な問題を補正します。例えば、露出アンダーまたは露出オーバーで撮影したときのディテールの低下などを補正できます。

1「補正」タブをクリックして補正パネルを表示します。

2 フォトブラウザで写真を選択します（複数の写真を選択するには、Ctrl キーを押しながら写真をクリックします）。

3「補正」タブで「自動レベル補正」ボタン をクリックします。

自動レベル補正を使用すると、選択した写真のコピーが作成され、そのコピーで輝度レベルが調整され、元の写真のバージョンセットとしてそのコピーが保存されます。

自動コントラストでのコントラストの補正

自動コントラストでは、写真を分析して、一般的なコントラストの問題を補正します。例えば、暗い領域と明るい領域の区別がはっきりしない問題を補正できます。

1「補正」タブをクリックして補正パネルを表示します。

2 フォトブラウザで写真を選択します（複数の写真を選択するには、Ctrl キーを押しながら写真をクリックします）。

3「補正」タブで「自動コントラスト」ボタン をクリックします。

自動コントラストを使用すると、選択した写真のコピーが作成され、そのコピーでコントラストが調整され、元の写真のバージョンセットとしてそのコピーが保存されます。

自動シャープでの写真のシャープ補正

自動シャープでは、写真を分析して、一般的な焦点の問題を補正します。例えば、カメラ焦点のずれによるぼけを補正できます。

1「補正」タブをクリックして補正パネルを表示します。

2 フォトブラウザで写真を選択します（複数の写真を選択するには、Ctrl キーを押しながら写真をクリックします）。

3「補正」タブで「自動シャープ」ボタン をクリックします。

自動シャープを使用すると、選択した写真のコピーが作成され、そのコピーで焦点が補正され、元の写真のバージョンセットとしてそのコピーが保存されます。

自動赤目修正での赤目の除去

自動赤目修正では、被写体の赤目を検出して、自然な黒目に変更します。

1「補正」タブをクリックして補正パネルを表示します。

2 フォトブラウザで、被写体の目が赤くなっている写真を選択します（複数の写真を選択するには、Ctrl キーを押しながら写真をクリックします）。

3「補正」タブで「自動赤目修正」ボタン をクリックします。

自動赤目修正を使用すると、選択した写真のコピーが作成され、そのコピーで赤目が黒目に変更され、元の写真のバージョンセットとしてそのコピーが保存されます。

写真の回転

1 フォトブラウザで、1 つ以上の写真を選択します。隣接する写真を選択する場合は Shift キーを押しながらクリックし、隣接していない写真を選択する場合は Ctrl キーを押しながらクリックします。

2 ツールバーで、次のいずれかの操作を行います。

- 反時計回りに写真を 90 ˚ 回転するには、「左に回転」ボタン  をクリックします。
- 時計回りに写真を 90 ˚ 回転するには、「右に回転」ボタン  をクリックします。

第 5 章：写真の名札付けと整理

キーワードで写真やクリップを識別して、写真や写真のアルバムを取得するために、キーワード名札を使用できます。Adobe® Photoshop® Elements アルバムでは、実際のアルバムのように、写真やその他のメディアファイルをカテゴリーごとにグループ化したり、任意の順序で配置することができます。

Photoshop Elements ヘルプのすべての内容を参照するには、「Web 上のページ」をクリックして LiveDocs にアクセスしてください。

写真の名札付け

キーワード名札

キーワード名札は、「父」、「フロリダ」などの個別のキーワードで、フォトブラウザ内の写真、ビデオクリップ、オーディオクリップ、PDF およびフォトプロジェクトに適用すると、それらを簡単に整理し検索できるようになります。キーワード名札を使用すると、カテゴリー固有のフォルダに写真を手動で整理したり、ファイルの名前を内容固有の名前に変更したりする必要がなくなります。代わりに、各写真に 1 つまたは複数のキーワード名札を適用してから、キーワード名札パレット内のキーワード名札をクリックすることで、写真を取得します。

例えば、「Anna」というキーワード名札を作成し、妹の Anna が写っているすべての写真に適用します。こうすると、どこに保存していても、キーワード名札パレット内の「Anna」という名札をクリックすれば、Anna の写真をすぐに見つけることができます。

任意のキーワードを使用してキーワード名札を作成することができます。例えば、個人、場所、行事のキーワード名札を作成できます。写真に複数のキーワード名札が付いている場合、キーワード名札の組み合わせを検索して、特定の場所や特定の行事に関与していた特定の個人の写真を検索することができます。例えば、「Anna」というキーワード名札と「Marie」というキーワード名札をすべて検索することによって、Anna とその娘の Marie が一緒に写っている写真をすべて見つけることができます。また、「Anna」というキーワード名札と「Cabo」（岬）というキーワード名札をすべて検索することによって、サンルカス岬で休暇中の Anna の写真をすべて見つけることができます。



キーワード名札を使用して、内容により写真を整理し検索します。名札にキーワードを指定し、各名札を表す写真アイコンを選択します。

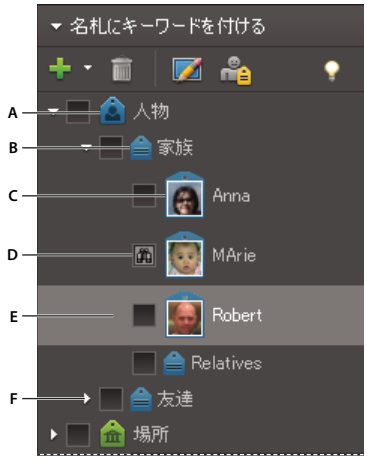
関連項目

68 ページの「キーワード名札を使用した写真の検索」

65 ページの「写真へのキーワード名札の適用」

キーワード名札パレットの使用

キーワード名札は、タスクエリアのキーワード名札パレットで作成および操作します。



キーワード名札パレット
A. カテゴリー **B.** サブカテゴリー **C.** キーワード名札 **D.** 検索ボックス **E.** 選択したキーワード名札 **F.** 三角形をクリックすると、そのカテゴリーまたはサブカテゴリーに含まれるキーワード名札の展開と折りたたみが切り替わります。

Photoshop Elements のキーワード名札パレットでは、初期設定の 4 つのカテゴリー（人物、場所、イベント、その他）と QR コードの名札が表示されます。さらに、キーワード名札が付いている画像を取り込むと、それらの名札は取り込んだキーワード名札カテゴリーの下に表示されます。これらのカテゴリーでキーワード名札を整理する以外に、独自のカテゴリーやサブカテゴリーを作成することもできます。

キーワード名札パレットでは、次のすべての操作を行うことができます。

- すべてのキーワード名札、名札のカテゴリーおよび名札のサブカテゴリーを表示します。カテゴリーまたはサブカテゴリーの横にある三角形 をクリックして、キーワード名札を展開するか折りたたみます。
- キーワード名札の作成、編集および削除を行います。
- カテゴリーとサブカテゴリー内のキーワード名札を整理します。
- キーワード名札のリストを上下にスクロールします。
- キーワード名札の横にある三角形 をクリックして、すべてのキーワード名札を非表示にします。

関連項目

75 ページの「キーワード名札パレットとアルバムパレットの環境設定」

68 ページの「キーワード名札を使用した写真の検索」

キーワード名札の作成

任意のカテゴリーまたはサブカテゴリーの下に新しいキーワード名札を作成して、カタログに新たに追加した写真を整理できます。新しいキーワード名札には、疑問符のアイコン が付いています。



キーワード名札を作成ダイアログボックスで、キーワード名札を作成できます。

1 タスクエリアのキーワード名札パレットにある新規ボタン をクリックし、「新規キーワード名札」を選択します。

2 キーワード名札を作成ダイアログボックスで、カテゴリーポップアップメニューからキーワード名札の配置先のカテゴリーまたはサブカテゴリーを選択します。

3「名前」ボックスに、キーワード名札の名前を入力します。

注意：キーワード名札の名前のふりがなを変更するには、「名前（ふりがな）」ボックスに新しいふりがなを入力します。

4「メモ」ボックスにキーワード名札に関する情報を入力します（例えば、「休暇の写真」などの説明を記述しておきます）。

5「OK」をクリックします。

選択したカテゴリーまたはサブカテゴリーに属した形でキーワード名札がキーワード名札パレットに追加されます。

注意：キーワード名札を最初に適用した写真が、キーワード名札のアイコンとして使用されます。アイコンを変更するには、71 ページの「キーワード名札のアイコンの変更」を参照してください。

写真へのキーワード名札の適用

作成したキーワード名札は、名札に関連する写真に適用できます。1 枚の写真に複数のキーワード名札を適用することもできます。キーワード名札を初めて写真に適用したときの写真がキーワード名札のアイコンとして使用されます。複数の写真をキーワード名札へドラッグした場合は、先頭にある写真がキーワード名札のアイコンとして使用されます

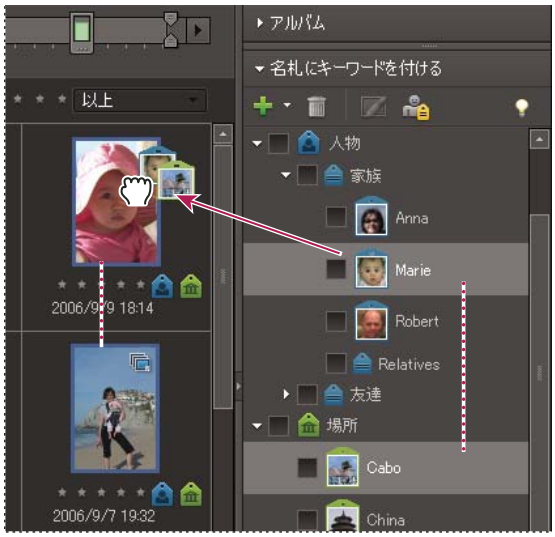
1 フォトブラウザで、キーワード名札を適用する写真を選択します（複数の写真を選択するには、Ctrl キーを押しながら写真をクリックします）。

2 1 つのキーワード名札を 1 枚の写真に適用するには、次のいずれかの操作を行います。

- キーワード名札パレットで 1 つのキーワード名札を選択し、選択した写真に重なるようにドラッグします。
- 写真をキーワード名札パレットのキーワード名札に重なるようにドラッグします。

3 キーワード名札を複数の写真に適用するには、次のいずれかの操作を行います。

- キーワード名札パレットで 1 つのキーワード名札を選択し、選択した写真のいずれかに重なるようにドラッグします。
- キーワード名札を選択し、選択した写真のいずれかに重なるようにドラッグします。



複数のキーワード名札を複数の写真にドラッグ

- キーワード名札を選択してから、キーワード名札パレットで選択した写真のいずれかに重なるようにドラッグします。

キーワード名札をアルバム内の写真に適用するには、アルバムパレットでアルバムをダブルクリックします。次に、「キーワード名札」タブをクリックし、フォトブラウザのすべての写真を選択してキーワード名札を適用します。

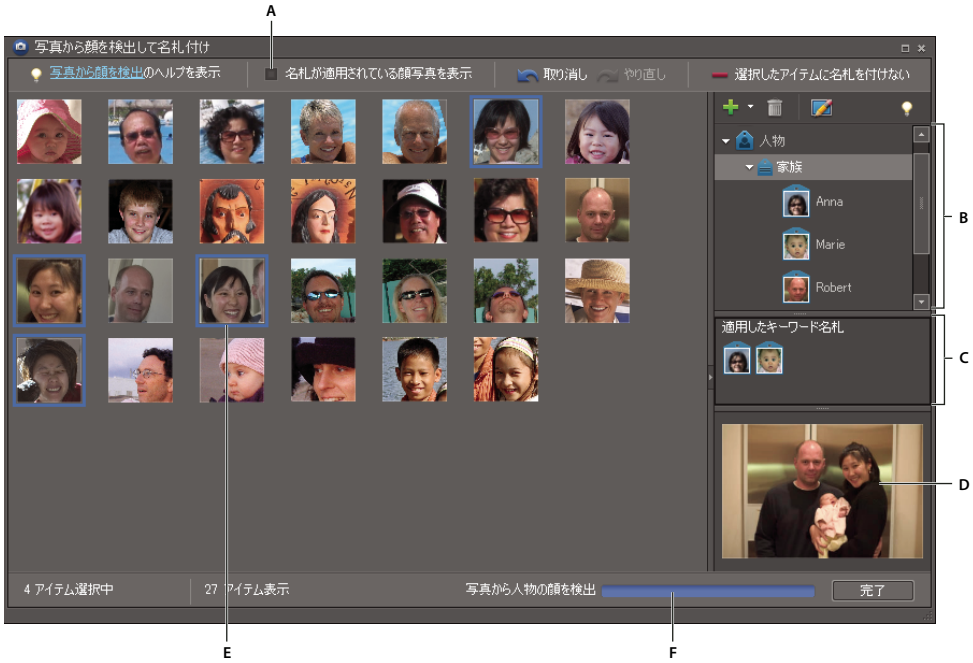
関連項目

73 ページの「写真からのキーワード名札の削除」

71 ページの「キーワード名札のアイコンの変更」

顔の自動検索および名札付け

「写真から顔を検出して名札付け」コマンドを使用すると、Photoshop Elements は写真に簡単に名札を付けることができるように、写真に含まれる顔を識別して表示します。写真から顔を検出して名札付けダイアログボックスに個々の顔写真が表示され、このダイアログボックスで既存のキーワード名札を適用するか、新しい名札を作成して適用することができます。写真から顔を検出して名札付けダイアログボックスで名札を適用すると、名札を適用した顔写真は Photoshop Elements から削除されるので、残りの顔写真に名札を適用するのが簡単になります。名札を適用した後も顔写真を表示させたい場合は、「名札が適用されている顔写真を表示」を選択します。



写真から顔を検出して名札付けダイアログボックス
A. 選択すると既に名札を適用した顔写真も表示され、解除すると名札を適用した顔写真は非表示になります **B.** キーワード名札と名札オプション **C.** 適用したキーワード名札 **D.** 選択した顔を含む全体画像 **E.** 選択した顔のサムネール **F.** 検索ステータスバー

1 フォトブラウザで、名札を付ける人の写真を選択します。

2 検索／写真から顔を検出を選択するか、キーワード名札パレットの、写真から顔を検出して名札を付けるアイコン をクリックします。

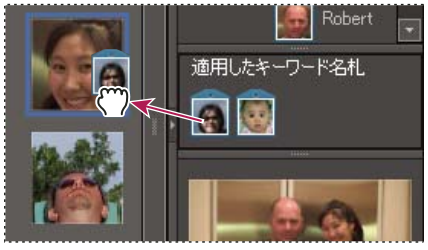
Photoshop Elements では、Ctrl キーを押しながら検索／写真から顔を検出を選択すると、より正確な結果が得られます（例えば、雑然とした写真の背景からより多くの顔が見つかります）が、顔が表示されるまでの時間が長くなります。

Photoshop Elements は写真を処理し、人の顔を検索します。写真から顔を検出して名札付けダイアログボックスに顔写真が表示されます。

3 ダイアログボックスで、次のいずれかの操作を行います。

- 名札を適用するには、名札を顔写真の上にドラッグするか、顔写真を名札の上にドラッグします。複数の写真に一度に名札を付けることもできます。

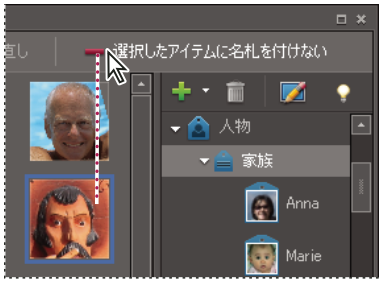
写真から顔を検出している最中でも、ダイアログボックス上に表示している顔写真にはキーワード名札を適用することができます。



顔の検索中に選択した顔に名札を適用

- 新しい名札を作成するには、右上にある新規ボタンをクリックします。名札のカテゴリーを選択し、名前を入力します。
- 顔の写真サムネール全体を表示するには、顔を選択してウィンドウの右下隅に写真のサムネールを表示します。

- 写真に関連付けられたすべての顔を選択するには、ウィンドウの右下隅にある写真のサムネールを選択します。
- 写真から顔を検出して名札付けダイアログボックスから顔を削除するには、顔を選択し、「選択したアイテムに名札を付けない」をクリックします（後で写真に名札を付けることにした場合は、写真整理モードで写真を選択し、検索／写真から顔を検出をもう一度選択します）。



実際には顔ではない画像のサムネールの削除

- 名札を付けたすべての顔を表示するには、「名札が適用されている顔写真を表示」チェックボックスを選択します。既に名札を適用している顔写真を自動的に非表示にする場合は、このオプションの選択を解除します。

顔に適用した名札を変更する場合は、「名札が適用されている顔写真を表示」チェックボックスを選択します。

4 顔に名札を付け終えたら、「完了」をクリックします。

関連項目

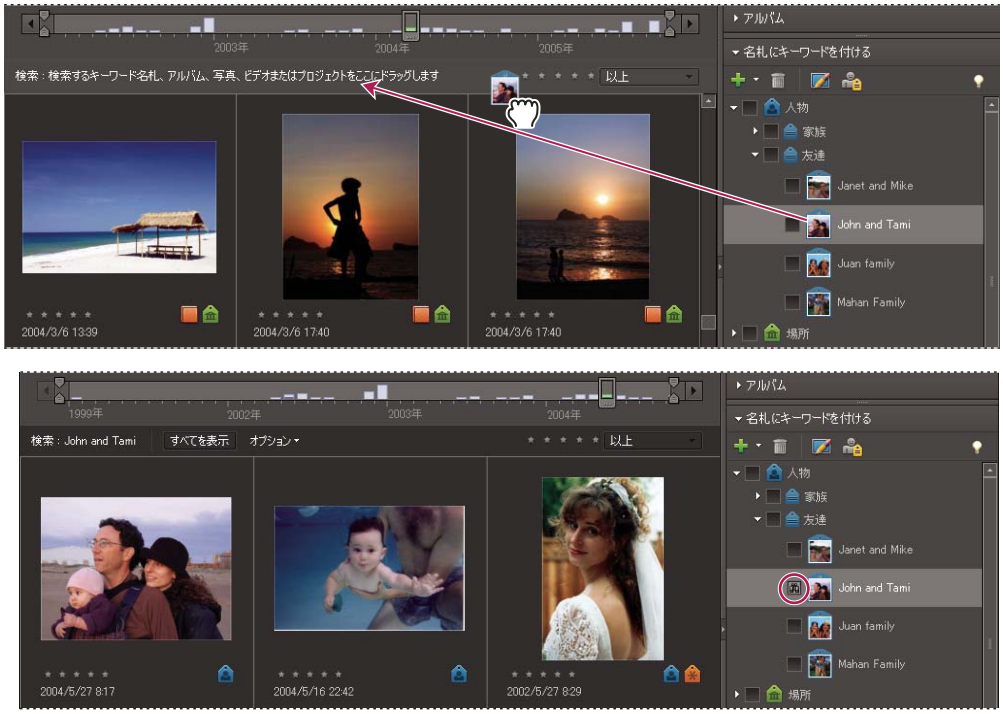
71 ページの「キーワード名札のアイコンの変更」

キーワード名札を使用した写真の検索

❖ タスクエリアのキーワード名札パレットで、次のいずれかの操作を行います。

- 名札をダブルクリックします。
- 名札の横にあるチェックボックスをクリックします。
- 1 つまたは複数の名札をキーワード名札パレットからフォトブラウザの上部にある検索バーまでドラッグします。

検索条件として指定したキーワード名札が付いている写真が検索されます。キーワード名札が含まれているサブカテゴリーまたはカテゴリーを選択すると、その階層下にある写真も含めてすべて表示します。例えば、「結婚式」サブカテゴリーに「新郎」と「新婦」というキーワード名札があるときに、「結婚式」サブカテゴリーを選択すると、「新郎」名札の付いた写真と「新婦」名札の付いた写真が表示されます。



検索を開始するには、キーワード名札を検索バーにドラッグするか（上）、またはキーワード名札の横にあるボックスをクリックします（下）。名札が適用されている写真が表示されます。

新しいキーワード名札カテゴリーまたはサブカテゴリーの作成

1 タスクエリアのキーワード名札パレットで、新規ボタン をクリックし、「新規カテゴリー」または「新規サブカテゴリー」のいずれかを選択します。

2 次のいずれかの操作を行います。

- 新規カテゴリーを作成するには、「カテゴリー名」ボックスに名前を入力します。「カラーを選択」をクリックして、そのカテゴリー内のキーワード名札に付けるカラーを指定します。次に、カテゴリーアイコンリストからアイコンをクリックして選択します。
- 新規サブカテゴリーを作成するには、「サブカテゴリー名」ボックスに名前を入力します。次に、「1 つ上のカテゴリーまたはサブカテゴリー」ポップアップメニューで、新規サブカテゴリーの配置先を選択します。

3「OK」をクリックします。

新しいカテゴリーまたはサブカテゴリーがキーワード名札パレットに表示されます。

注意：サブカテゴリーは編集または削除することができますが、サブカテゴリーのアイコンは常に単色の名札として表示され、アイコンに写真を使用することはできません。

関連項目

63 ページの「キーワード名札パレットの使用」

フォルダ名に基づいたキーワード名札の作成と適用

ハードディスク上のフォルダと同じ名前のキーワード名札を自動的に作成し、そのフォルダ内のすべての管理対象ファイルに名札を適用することができます（管理対象ファイルは Photoshop Elements カタログに追加したファイルです）。この方法は、わかりやすいフォルダ名を使用してハードディスク上で写真を整理しており、管理対象の写真にフォルダ名と同じ名札をすばやく付ける場合に便利です。

1 フォトブラウザで、画面表示／フォルダ毎を選択します。

フォトブラウザに管理対象の写真がフォルダ毎表示に並べられ、各フォルダ内の写真の上に、フォルダの名前と保存場所までを記したパスが表示されます。

2 左側のフォルダツリーで、キーワード名札を付ける写真が含まれているフォルダを選択します。選択したフォルダ内の管理対象写真のサムネールがフォトブラウザに表示されます。

3 フォルダのパスが表示されている分割バーの右端にある「インスタントキーワード名札」ボタン をクリックします。

フォルダ内のすべてのアイテムが選択され、新規キーワード名札を作成し適用ダイアログボックスの「名前」テキストボックスにフォルダ名が挿入されます。

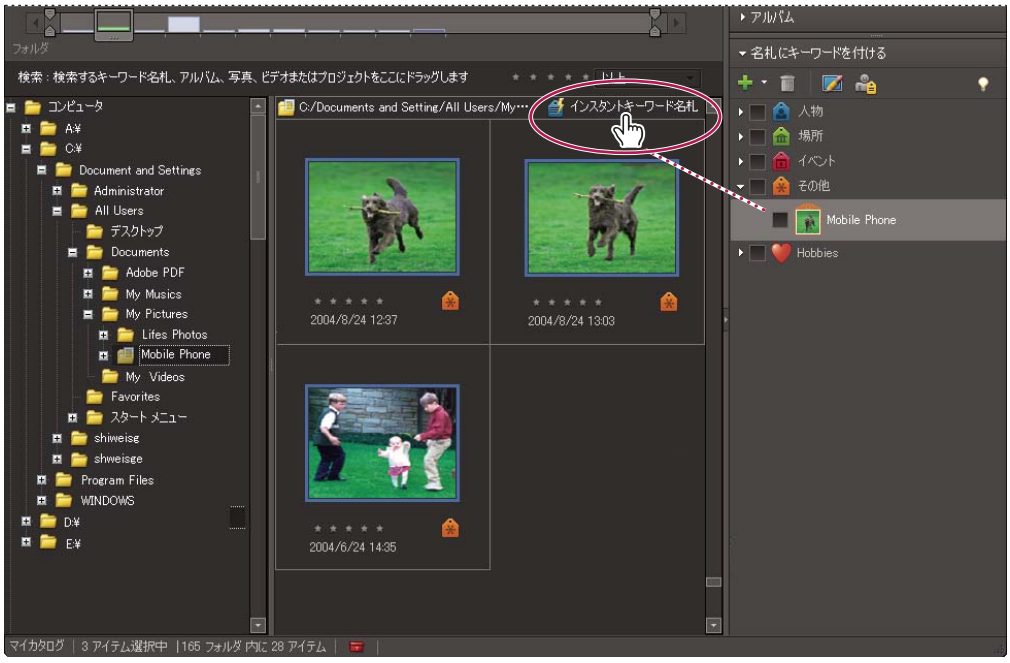
4 カテゴリーポップアップメニューからカテゴリーまたはサブカテゴリーを選択します。

5 必要に応じて、名前を変更する場合、「名前」ボックスに新しい名前を入力します。

6「メモ」ボックスにキーワード名札に関する情報を入力します（例えば、「お気に入りのレストランの写真」と入力します）。

7「OK」をクリックします。

手順 4 で選択したカテゴリーまたはサブカテゴリーの下にキーワード名札が表示され、そのフォルダ内のすべてのアイテムに適用されます。それぞれのフォルダの先頭にある写真がキーワード名札のアイコンとして使用されます。



「フォルダ毎表示」の表示では、フォルダのパスとそのフォルダに含まれている写真もフォトブラウザに表示されます。写真のフォルダの構成を反映するキーワード名札を簡単に作成し適用するには、「インスタントキーワード名札」ボタンをクリックします。

8 インスタントキーワード名札を作成するフォルダごとに手順 2 ～ 7 を繰り返します。

関連項目

63 ページの「キーワード名札パレットの使用」

71 ページの「キーワード名札のアイコンの変更」

48 ページの「フォルダ毎のファイルの表示と管理」

キーワード名札、カテゴリーおよびサブカテゴリーの編集

キーワード名札のアイコンの変更

初期設定では、キーワード名札のアイコンには、その名札が最初に付けられた写真が使用されます。名札の内容をわかりやすくするために、このアイコンを変更することができます。

1 タスクエリアのキーワード名札パレットで、名札を選択します。

2 パレットの上部にある編集ボタン をクリックします。

3 キーワード名札の編集ダイアログボックスで、「アイコンの編集」ボタンをクリックします。

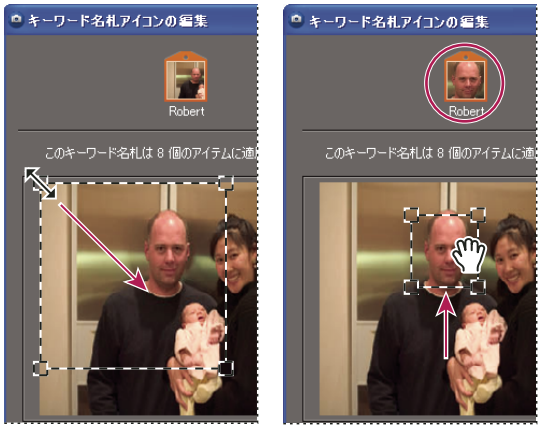
4 名札のアイコンとして別の写真を使用するには、次のいずれかの操作を行います。

- 「リスト」をクリックして、その名札の付いた写真をすべて表示します。目的の写真を選択します。または「リスト」ボタンの左右の矢印をクリックして写真を切り替え、目的の写真を選択することもできます。
- 「取り込み」をクリックします。次に、目的の写真を選択して「OK」をクリックします。

注意：取り込まれた写真はアイコンとして使用できますが、取り込まれた写真に名札は自動的に適用されません。ただし、手動で写真に名札を適用することができます。

5 アイコンで使用する写真の範囲を変更するには、切り抜き領域を操作し、写真を切り抜く領域やサイズを変更します。

- 切り抜き領域のサイズを変更するには、領域の角にポインタを置き、ポインタが両方向矢印に変わったらドラッグします。取り込まれた名札アイコンのサイズは変更できません。
- 切り抜き領域を移動するには、領域の内側にポインタを置き、ポインタが手の形に変わったらドラッグします。



切り抜き領域のサイズ変更（左）と切り抜き領域の移動（右）

6「OK」をクリックしてから、キーワード名札の編集ダイアログ内でもう一度「OK」をクリックします。

関連項目

63 ページの「キーワード名札パレットの使用」

キーワード名札のカテゴリーまたはサブカテゴリーの編集

カテゴリーやサブカテゴリーの名前または階層を変更することができます。

1 キーワード名札パレットで、カテゴリーまたはサブカテゴリーを選択し、「編集」ボタン をクリックするか、カテゴリーを右クリックして「[名前] カテゴリーを編集」を選択します。

2 次のいずれかの操作を行ってから、「OK」をクリックします。

- 名前を変更するには、「カテゴリー名」ボックスまたは「サブカテゴリー名」ボックスに新しい名前を入力します。

- サブカテゴリーが属するカテゴリーまたはサブカテゴリーを変更するには、「1 つ上のカテゴリーまたはサブカテゴリー」メニューから適切なものを選択します。「なし（カテゴリーに変換）」を選択すると、サブカテゴリーがカテゴリーに変更されます。

カテゴリーまたはサブカテゴリーを別のカテゴリーまたはサブカテゴリーにドラッグすることもできます。

- （カテゴリーのみ）カテゴリー内にあるキーワード名札のカラーを変更するには、「カラーを選択」ボタンをクリックし、Photoshop Elements カラーピッカーから新しいカラーを選択してから、「OK」をクリックします。
- （カテゴリーのみ）カテゴリーアイコンを変更するには、カテゴリーアイコンリストから新しいアイコンをクリックして選択します。



キーワード名札をカテゴリーに変更する
A. キーワード名札をサブカテゴリーに変更 **B.** サブカテゴリーをカテゴリーに変更 **C.** カテゴリーアイコンの変更

独自のカテゴリーアイコンを追加するには、20 ピクセル x 20 ピクセルの画像を JPEG または PNG 形式で、Program Files ¥ Adobe ¥ Photoshop Elements 6.0 ¥ shared_assets ¥ caticons フォルダに配置します。

関連項目

63 ページの「キーワード名札パレットの使用」

ドラッグによるキーワード名札、カテゴリー、サブカテゴリーの整理

初期設定では、キーワード名札とサブカテゴリーは五十音順で表示されますが、ドラッグして、これらの順序を変更することができます。

1 編集／環境設定／キーワード名札とアルバムを選択します。

2「カテゴリー」、「サブカテゴリー」、および「キーワード名札」の並べ替えオプションを「手動」に設定し、「OK」をクリックします。

3 キーワード名札パレットで、1 つまたは複数のキーワード名札、カテゴリー、またはサブカテゴリーを選択します。

4 次のいずれかの操作を行い、選択したアイテムを新しい場所に移動します。

- カテゴリーまたはサブカテゴリー内でキーワード名札を並べ替えるには、名札をドラッグし、グレーのラインが表示されたらマウスボタンを放します。ドラッグした名札は、グレーのラインのすぐ下に表示されます。
- キーワード名札を新しいカテゴリーに移動するには、移動したいカテゴリーに重なるように名札をドラッグし、カテゴリーがハイライトされたらマウスボタンを放します。
- カテゴリーまたはサブカテゴリーを並べ替えるには、グレーのラインが表示されるまでカテゴリーまたはサブカテゴリーをドラッグします。マウスボタンを放すと、カテゴリーまたはサブカテゴリーがグレーのラインのすぐ下に表示されます。
- カテゴリーまたはサブカテゴリーを別のカテゴリーの下位に配置するには、それらを目的のカテゴリーまたはサブカテゴリーまでドラッグします。移動先のカテゴリーまたはサブカテゴリーがハイライトされたらマウスを放します。

注意：カテゴリーまたはサブカテゴリーを間違えて移動し、意図してないカテゴリーまたはサブカテゴリーのサブカテゴリーにしてしまった場合、移動先のサブカテゴリーを選択し、キーワード名札パレットの編集ボタン をクリックします。次に、「1 つ上のカテゴリーまたはサブカテゴリー」メニューを使用して、正しい場所を指定します。

カテゴリーまたはサブカテゴリーを移動すると、それに含まれるキーワード名札も一緒に移動します。

注意：キーワード名札、カテゴリー、またはサブカテゴリーをお気に入りカテゴリーに移動したり、キーワード名札をお気に入りカテゴリーから他のカテゴリーに移動したりすることはできません。

関連項目

63 ページの「キーワード名札パレットの使用」

75 ページの「キーワード名札パレットとアルバムパレットの環境設定」

キーワード名札からサブカテゴリーへの、またはサブカテゴリーからキーワード名札への変更

❖ タスクエリアの「整理」タブで、次のいずれかの操作を行います。

- キーワード名札パレットで、キーワード名札を右クリックし、「[名前] キーワード名札をサブカテゴリーに変更」を変更します。
- キーワード名札パレットで、サブカテゴリーを右クリックし、「[名前] サブカテゴリーをキーワード名札に変更」を選択します。下位にキーワード名札またはサブカテゴリーを持つサブカテゴリーを変更することはできません。

関連項目

63 ページの「キーワード名札パレットの使用」

カテゴリーまたはサブカテゴリーの削除

1 キーワード名札パレットで、1 つ以上のカテゴリーまたはサブカテゴリーを選択します。

2 キーワード名札パレットで、削除ボタン をクリックしてから、「OK」をクリックして削除を確定します。

関連項目

63 ページの「キーワード名札パレットの使用」

写真からのキーワード名札の削除

❖ フォトブラウザでの表示方法に応じて、次のいずれかの操作を行います。

- サムネール表示で 1 枚の写真からキーワード名札を削除するには、写真を右クリックし、アイテムからキーワード名札を削除／ [名札名] を選択します。
- サムネールを拡大表示しているときに 1 枚の写真からキーワード名札を削除するには、写真の下にあるカテゴリーのアイコンを右クリックし、「[名札名] キーワード名札を削除」を選択します。

表示によっては、ポインタをカテゴリーのアイコンの上に置くと、写真に適用されているキーワード名札のリストが表示されます。

- いずれの表示においても、複数の写真からキーワード名札を削除するには、Ctrl キーを押しながら写真をクリックして選択します。次に、右クリックし、選択アイテムからキーワード名札を削除 ／ [名札名] を選択します。

関連項目

63 ページの「キーワード名札パレットの使用」

キーワード名札情報のファイルへの書き出し

名札付きの JPEG、TIFF または PSD ファイルを Photoshop Elements から電子メールで送信したり書き出したりする場合、名札の情報は自動的に IPTC キーワードとして出力ファイルに含められます。受信者が写真を取り込み、関連付けられている名札を取り込むように要求されると、その名札を作成したバージョンの Photoshop Elements で名札が適用されます。

Photoshop Elements の電子メールまたは書き出し機能を使用せずに写真を電子メールで送信したり、配信したりする場合は、名札の情報をファイルのヘッダの IPTC キーワードセクションに手動で書き込むことができます。

❖ フォトブラウザで、ファイルを選択し、ファイル／キーワード名札およびプロパティ情報を写真に書き込みを選択します。

キーワード名札の取り込みと書き出し

キーワード名札の取り込みと書き出しは、共通する趣味を持つ友人と写真を共有する場合などに役立ちます。例えば、自分の趣味に関連した写真に対して、一連のキーワード名札を作成したとします。これらの名札セットを保存すると、同じ趣味を持った友人が、キーワード名札パレットにこれらの名札を取り込み、写真にこれらの名札を適用できます。逆に、友人のキーワード名札を取り込み、自分の写真にこれらの名札を適用することもできます。共通するキーワードを友人と一緒に使用し、共有する趣味に関連した写真を検索することができます。

関連項目

63 ページの「キーワード名札パレットの使用」

キーワード名札の書き出し

キーワード名札パレット内のカテゴリーやサブカテゴリーの階層全体とキーワード名札アイコンをまとめて保存し、現在のキーワード名札のセットを他の人と共有することができます。書き出された名札ファイルは、Extensible Markup Language（XML）形式で保存されます。

注意：名札を書き出しても、その名札に関連付けられた写真は書き出されません。

1 キーワード名札パレットで、新規ボタン をクリックし、「キーワード名札をファイルに保存」を選択します。

2 次のいずれかを選択し、「OK」をクリックします。

すべてのキーワード名札を書き出す すべてのキーワード名札と階層を含むファイルを作成します。

指定したキーワード名札を書き出す リストから選択されたカテゴリーまたはサブカテゴリーのキーワード名札と階層を含むファイルを作成します。

3 キーワード名札をファイルに保存ダイアログボックスで、ファイル名を入力し、ファイルの保存先を選択してから、「保存」をクリックします。

キーワード名札の取り込み

「キーワード名札をファイルに保存」コマンドを使用して XML 形式で保存されたキーワード名札のセットは、カテゴリーとサブカテゴリーの階層全体およびアイコンを含めて、すべて取り込むことができます。

また、別のキーワード名札が付けられた画像を取り込むことによって、キーワード名札を取り込むこともできます。例えば、写真を電子メールで送信、書き出し、および編集した場合、またはキーワード名札の情報が追加された場合、キーワード名札が添付されます。

注意：キーワード名札を取り込んでも、名札に関連付けられた写真は取り込まれません。

1 キーワード名札パレットで、新規ボタン をクリックし、「ファイルから取り込む」を選択します。

2 ファイルからキーワード名札を取り込むダイアログボックスで、キーワード名札、カテゴリー、およびサブカテゴリーを含む XML ファイルを選択し、「開く」をクリックします。

キーワード名札パレットとアルバムパレットの環境設定

1 写真整理モードで、編集／環境設定／キーワード名札とアルバムを選択します。

2 キーワード名札、カテゴリー、サブカテゴリー、アルバム、およびアルバムグループについて、並べ替え順序として「五十音順」または「手動」を指定します。キーワード名札の並べ替え順序として「手動」を選択すると、キーワード名札パレットで名札をドラッグして、任意の順序で並べることができます。

3 キーワード名札の表示方法について、名前のみを表示するか、または名前の他に小さなアイコンまたは大きなアイコンも表示するかを指定します。「OK」をクリックします。

関連項目

63 ページの「キーワード名札パレットの使用」

アルバムの作成

アルバム

Photoshop Elements アルバムは、写真を選択したグループに保存して整理できる、実際のアルバムのようなものです。例えば、「休暇中の写真ベストテン」というアルバムを作成し、第 1 位から第 10 位まで写真を並べることができます。また、アルバムを全画面表示で表示したり、既存のアルバムに基づいて新しいプロジェクトを作成できます。

アルバム内の各写真の左上には、順序を示す番号が付いています。アルバム内の写真をドラッグして、任意の順序に並べることができます。1 枚の写真を複数のアルバムに追加することもできます。例えば、同じ写真を、あるアルバムでは最初の写真として表示し、別のアルバムでは最後の写真として表示することも可能です。

グループ内のアルバムを整理することができます。また、複数のレベルのアルバムグループを作成できます。例えば、「アジアの旅」というアルバムグループを作成して、その中に「日本の写真ベストテン」、「中国の写真ベストテン」というように、旅行したアジアの国のアルバムを整理することができます。

スマートアルバムでは、絞り込み条件と一致する写真を自動的に収集します。写真を手動で選択する必要はありません。スマートアルバムには、条件と一致した写真が自動的に追加されます。例えば、「Chiara」というキーワード名札を含むすべての写真を収集するスマートアルバムを作成すると、そのキーワード名札を割り当てた写真がアルバムに自動的に追加されます。

関連項目

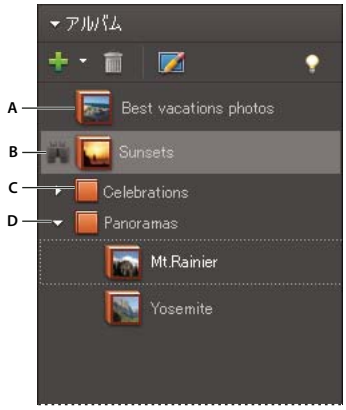
83 ページの「アルバム内の写真へのキーワード名札の適用」

84 ページの「キーワード名札からのアルバムの作成」

63 ページの「キーワード名札」

アルバムパレットの使用

アルバムは、タスクエリアのアルバムパレットで作成および操作します。



アルバムパレット
A. アルバム **B.** クリックするとアルバム内の写真を検索 **C.** アルバムグループ **D.** 三角形をクリックすると、そのグループのアルバムの展開、または折りたたみ状態が切り替わります。

- アルバムの作成、編集および削除を行います。
- アルバムおよびアルバムグループの表示必要に応じて、アルバムのリストを上下にスクロールします。アルバムグループの横にある三角形 をクリックして、アルバムの展開、または折りたたみ状態を切り替えます。
- アルバムグループ内でアルバムを整理します。
- アルバム内の写真を表示します。

関連項目

50 ページの「フォトブラウザでのアイテムの選択」

75 ページの「キーワード名札パレットとアルバムパレットの環境設定」

アルバムまたはアルバムグループの作成

新しいアルバムや新しいアルバムグループは、いつでも作成できます。例えば、「休暇」というアルバムグループを作成し、その中に個別にアルバムを作成して、それぞれの休暇の写真を入れることができます。

アルバムの作成

1 タスクエリアのアルバムパレットにある、新規アルバムまたはアルバムグループを作成ボタン をクリックし、「新規アルバム」 を選択します。

2（オプション）グループメニューから、アルバムを配置するグループを選択します。

3「名前」ボックスに、アルバムの名前を入力します。

注意：アルバムの名前のふりがなを変更するには、「名前（ふりがな）」テキストボックスに新しいふりがなを入力します。

4「メモ」ボックスにアルバムに関する情報を入力します（例えば、「庭」などの説明を記述しておきます）。「OK」をクリックします。

アルバムパレットの指定したアルバムグループの下にアルバムが表示されます。

アルバムに写真が追加されるまで、新しいアルバムには疑問符のアイコン が割り当てられます。アルバムに写真を追加すると、その写真がアイコンとして使用されます。アイコンを変更するには、71 ページの「キーワード名札のアイコンの変更」を参照してください。

アルバムグループの作成

1 タスクエリアのアルバムパレットにある、新規アルバムまたはアルバムグループを作成ボタン をクリックし、「新規アルバムグループ」を選択します。

2 アルバムグループを作成ボックスで、アルバムグループの名前を入力します。

注意：アルバムグループの名前のふりがなを変更するには、「名前（ふりがな）」テキストボックスに新しいふりがなを入力します。

3（オプション）上位のアルバムグループメニューから、アルバムグループを配置するグループを選択します。

4「OK」をクリックします。

アルバムパレットの指定したアルバムグループの下にアルバムグループが表示されます。

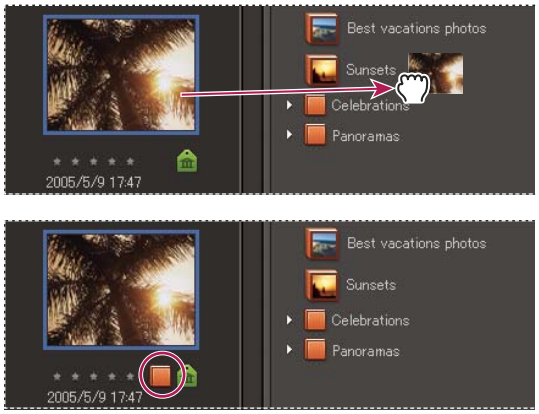
アルバムへの写真の追加

1 フォトブラウザの検索バーに「すべてを表示」ボタンが表示されている場合は、それをクリックして、フォトブラウザ内のすべての写真が表示されるようにします。

2 次のいずれかの操作を行います。

- フォトブラウザに表示される写真をアルバムパレットのアルバム名に重なるようにドラッグします。
- アルバムパレットのアルバムをフォトブラウザに表示される写真の上にドラッグします。

写真がアルバムの一部として追加されます。このアルバムに最初に追加した写真である場合、この写真がそのアルバムのアイコンとして使用されます。



写真をアルバムにドラッグします。ドラッグした後、写真はアルバムの一部となります。

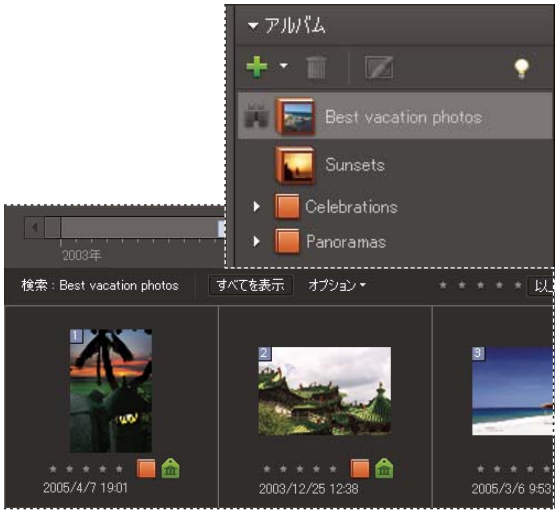
注意：複数の写真を 1 つまたは複数のアルバムに追加することができます。

アルバム内の写真の表示

アルバム内のアイテムは独自の順序で表示され、複数のアルバムに同じアイテムがある可能性があるため、一度に表示できるのは 1 つのアルバムに限られます。

❖ アルバムパレットで、次のいずれかの操作を行います。

- アルバムをクリックします。
- アルバムを、アルバムパレットからフォトブラウザの上部の検索バーにドラッグします。



アルバムをクリックして検索を開始します。

写真がどのアルバムに追加されているかを調べるには、フォトブラウザに表示される写真の下のアルバムアイコン 上にポインタを置くか、プロパティパレットを使用します。

アルバム内の写真の順序の変更

アルバム内の写真は、任意の順序で配置することができます。

1 アルバムパレットからアルバムを選択します。

2 フォトブラウザの右上にある、フォトブラウザエリアでのアイテムの並べ方メニューで、「アルバム順」を選択します。

3 1 つまたは複数の写真を選択し、アルバム内の任意の 2 つの写真の間にドラッグします。選択した写真を、アルバムの最初の写真の前または最後の写真の後にドロップすることもできます。

アルバム内の写真の並べ替え

アルバム内の写真を日付が古い順、日付が新しい順、またはアルバム内の順序で並べ替えることができます。

1 アルバムパレットからアルバムを選択します。

2 フォトブラウザの右上にある、フォトブラウザエリアでのアイテムの並べ方メニューで、「日付（新しい順）」、「日付（古い順）」、または「アルバム順」を選択します。

複数のアルバムへの写真の追加

1 フォトブラウザの検索バーに「すべてを表示」ボタンが表示されている場合は、それをクリックして、フォトブラウザ内のすべての写真が表示されるようにします。

2 写真を選択します。選択した写真の外枠が青くなります。

3 アルバムパレットで、1 つまたは複数のアルバム名を選択します。連続している複数のアイテムを選択するには Shift キーを押しながら最初と最後のアイテムをクリックします。連続していない複数のアイテムを選択するには、Ctrl キーを押しながら各アイテムをクリックします。

4 次のいずれかの操作を行い、写真をアルバムに追加します。

- アルバムパレットで選択したアルバム名に重なるように、フォトブラウザの写真をドラッグします。
- アルバムパレットのアルバムを、アルバムに追加する写真に重なるようにドラッグします。

選択したアルバムの一部として写真が取り込まれます。アルバムに最初に追加された写真が、そのアルバムのアイコンとして使用されます。複数の写真を選択し、その上にアルバム名をドラッグした場合は、アルバム名がドロップされた写真がアルバムのアイコンになります。

アルバム構造の書き出しと取り込み

自分のアルバムの構造を書き出したり、他の人のアルバムの構造を取り込むことによって、アルバムの構造を共有することができます。例えば、友人と訪れた美術館に関するアルバムを持っているとします。アルバムセットを保存し書き出すことにより、友人がそのアルバムの構造（写真は含まれない）を取り込んで、自身の写真に使用することができます。逆に、友人のアルバムの構造を取り込んで、自分の写真に適用することもできます。

アルバム構造の書き出し

現在のアルバムおよびアルバムグループ名のセットを、アルバムパレット内の構造とそのアイコンを含めて保存し、その構造を他の人と共有することができます。

注意：アルバムを書き出しても、そのアルバムに追加されている写真は書き出されません。

1 アルバムパレットで、新規ボタン をクリックし、「アルバムをファイルに保存」を選択します。

2 次のいずれかを選択し、「OK」をクリックします。

すべてのアルバムを書き出す すべてのアルバム階層を含めたファイルを作成します。

指定したアルバムグループを書き出す リストから選択したアルバムグループの階層だけを含めたファイルを作成します。

3 アルバムをファイルに保存ダイアログボックスで、名前を入力し、保存先を選択して、「保存」をクリックします。このファイルは、Extensible Markup Language（XML）形式で保存されます。

アルバム構造の取り込み

既存のアルバムグループの階層をアルバムパレットに取り込み、自分の写真に使用することができます。

注意：アルバムを取り込んでも、そのアルバムに関連付けられた写真は取り込まれません。

1 アルバムパレットで、新規ボタン をクリックし、「ファイルから取り込む」を選択します。

2 ファイルからアルバムを取り込むダイアログボックスで、アルバムおよびアルバムグループが書き出された XML ファイルを選択し、「開く」をクリックします。

スマートアルバムの作成と編集

スマートアルバム

アルバムと同様、スマートアルバムにも、選択した写真が含まれています。ただし、スマートアルバムでは、写真や写真のグループを個別に選択するのではなく、アルバムに追加する条件を設定します。条件を設定すると、条件に一致するカタログ内の写真が、自動的にスマートアルバムに表示されます。新しい写真をカタログに追加したときも、条件に一致する写真が、自動的にスマートアルバムに表示されます。スマートアルバムは自動的に更新されます。



A. アルバムパレットの見出し **B.** スマートアルバム **C.** アルバムグループ

スマートアルバムの作成

1 次のいずれかの操作を行い、スマートアルバムに収集する写真の種類を選択します。

- 特定のキーワード名札の付いた写真のみをスマートアルバムに追加するには、キーワード名札パレットから、それらのキーワード名札を選択します。
- 特定の重要度が設定された写真のみをスマートアルバムに追加するには、重要度フィルタメニューで、目的の重要度をクリックし、星の隣にあるメニューから「以上」、「以下」、または「のみ」を選択します。

- 特定のフォルダに含まれる写真のみをスマートアルバムに追加するには、 画面表示／フォルダ毎を選択します。次に、目的のフォルダのアイコン をクリックします。
- 特定のアルバムに配置された写真のみをスマートアルバムに追加するには、そのアルバムを選択します。

注意：写真の選択条件は、複数指定することができます。例えば、1 つのフォルダまたはアルバムと、1 つ以上のキーワード名札を選択できます。

2 アルバムパレットで、新規アルバムまたはアルバムグループを作成ボタン をクリックします。次に、「新規スマートアルバム」を選択します。

新規スマートアルバムダイアログボックスが開きます。

3 スマートアルバムの名前を入力し、「OK」をクリックします。

関連項目

65 ページの「写真へのキーワード名札の適用」

89 ページの「重要度を使用した検索」

48 ページの「フォルダ毎のファイルの表示と管理」

76 ページの「アルバムまたはアルバムグループの作成」

スマートアルバムの編集

1 アルバムパレットで、編集したいスマートアルバムを選択します。

2（オプション）スマートアルバムの名前を変更するには、アルバムパレットで、編集ボタン をクリックします。スマートアルバムの新しい名前を入力し、「OK」をクリックします。

3 フォトブラウザの上部にある、オプション／検索条件を変更を選択します。

4 キーワード名札、アルバム、フォルダ、重要度を追加または削除して、スマートアルバムの検索条件を変更します。

5 アルバムパレット内でスマートアルバムを右クリックし、「現在の検索を [名前] アルバムに保存」を選択します。

アルバムおよびアルバムグループの編集

アルバムからの写真の削除

1 フォトブラウザで、アルバムから削除する写真を選択します。

2 次のいずれかの操作を行います。

- 写真を右クリックし、アイテムをアルバムから削除／ [アルバム名] を選択します。
- 写真に追加したアルバムアイコン が表示されている場合は、アルバムアイコンを右クリックして「[アルバム名] アルバムから削除」を選択します。

関連項目

75 ページの「アルバム」

77 ページの「アルバムへの写真の追加」

アルバムの結合

「アルバムを結合する」コマンドを使用して、複数のアルバムを 1 つのアルバムに統合することができます。例えば、「車」アルバムを作成した後、同じ写真に対して誤って「自動車」アルバムを作成してしまった場合でも、両方のアルバムを 1 つに結合できます。アルバムを結合すると、すべての写真が 1 つのアルバムに入り、他のアルバムは削除されます。写真は、アルバムパレットに表示されている順序で配置されます。この順序は、結合の前後に並べ替えることができます。

1 アルバムパレットで、結合するアルバムを選択します。アルバムを選択するには、アルバム名をクリックします。連続しているアルバムを選択するには、Shift キーを押しながら選択します。連続していないアルバムを選択するには、Control キーを押しながら選択します。

2 右クリックして「アルバムを結合する」を選択します。

3 リストから、選択したアルバムを結合するアルバムを選択し、「OK」をクリックします。

関連項目

75 ページの「アルバム」

75 ページの「アルバムパレットの使用」

アルバムのプロパティの変更

1 タスクエリアのアルバムパレットでアルバムを選択します。

2 アルバムパレットの上部にある編集ボタン をクリックします。

3 次のいずれかの操作を行ってから、「OK」をクリックします。

- グループメニューから新しい場所を選択します。
- 「名前」ボックスに新しい名前を入力します。
- 「メモ」ボックスでメモを入力または編集します。

関連項目

75 ページの「アルバム」

75 ページの「アルバムパレットの使用」

アルバムのアイコンの変更

1 タスクエリアのアルバムパレットでアルバムを選択します。

2 アルバムパレットの上部にある編集ボタン をクリックします。

3 アルバムを編集ダイアログボックスで、「アイコンの編集」ボタンをクリックします。

4 キーワード名札のアイコンとして別の写真を使用するには、次のいずれかの操作を行います。

- 「リスト」をクリックして、そのアルバム内の写真をすべて表示します。目的の写真を選択します。または「リスト」ボタンの左右の矢印をクリックして写真を切り替え、目的の写真を選択することもできます。
- 「取り込み」をクリックします。次に、目的の写真を選択して「OK」をクリックします。

注意：取り込まれた写真はアイコンとして使用されますが、アルバムには追加されません。「取り込み」コマンドを使用すると、アイコンの写真をアルバムに含めずにアルバムに対して独自のアイコンを作成できます。

5 アイコンで使用する写真の範囲を変更するには、切り抜き領域を操作し、写真を切り抜く領域やサイズを変更します。

- 切り抜き領域のサイズを変更するには、領域の角にポインタを置き、ポインタが両方向矢印に変わったらドラッグします。
- 切り抜き領域を移動するには、領域の内側にポインタを置き、ポインタが手の形に変わったらドラッグします。

注意：取り込んだ写真の切り抜き領域をサイズ変更または移動して、アルバムアイコンとして使用することはできません。



切り抜き領域のサイズ変更（左）と切り抜き領域の移動（右）

6「OK」をクリックしてから、アルバムを編集ダイアログボックスで「OK」をクリックします。

関連項目

75 ページの「アルバム」

75 ページの「アルバムパレットの使用」

アルバムまたはアルバムグループの削除

アルバムまたはアルバムグループを削除すると、そのアルバムグループと、グループ内のアルバムが削除されますが、その中の写真は削除されません。また、アルバムグループと他のグループのアルバムを同時に削除することはできません。

1 アルバムパレットで、アルバム名をクリックしてアルバムまたはアルバムグループを選択します。連続している複数のアルバムを選択するには、Shift キーを押しながら最初と最後のアイテムをクリックします。連続していない複数のアルバムを選択するには、Ctrl キーを押しながら各アイテムをクリックします。

2 アルバムパレットで削除ボタン をクリックします。

関連項目

75 ページの「アルバム」

75 ページの「アルバムパレットの使用」

アルバム内のアイテムの順序の変更

アルバム内のアイテムの順序を変更すると、表示順が変更されます。この方法で、作成するプロジェクト内のアイテムの順序を簡単に変更できます。

1 アルバムパレットで、アルバム名をクリックしてアルバムを選択します。

2 必要に応じて、フォトブラウザの右上にあるフォトブラウザエリアでのアイテムの並べ方メニューで、アルバム順を選択します。

3 フォトブラウザで、次のいずれかの操作を行います。

- 写真をアルバム内の新しい位置にドラッグします。



アルバム内の写真をドラッグします（上）。ドラッグすると、写真は新しい位置に表示され、順序を示す番号（囲み）が変更されます（下）。

- アイテムの順序を最初の状態に戻すには、フォトブラウザエリアでのアイテムの並べ方メニューから「日付（古い順）」を選択します。

関連項目

75 ページの「アルバム」

75 ページの「アルバムパレットの使用」

アルバムおよびアルバムグループの整理

初期設定では、最上位のアルバムが五十音順でリストされており、その後にアルバムグループが五十音順でリストされています。これらの順序を変更することはできますが、アルバムグループの後にアルバムを配置することはできません。

1 編集／環境設定／キーワード名札とアルバムを選択します。

2 アルバムグループとアルバムの並べ替えオプションを「手動」に設定し、「OK」をクリックします。

3 アルバムパレットで、1 つ以上のアルバムおよびアルバムグループを選択します。

4 アルバム階層内の新しい場所にアイテムをドラッグします。

アルバムグループを移動する場合、アルバムグループに含まれるアイテムも一緒に移動します。

注意：下位にあるアルバムまたはアルバムグループを、最上位にドラッグして移動することはできません。下位にあるアルバムを最上位に移動するには、アルバムを編集ダイアログボックスまたはアルバムグループを編集するダイアログボックス内でそのグループを最上位に変更します。

関連項目

75 ページの「アルバム」

75 ページの「アルバムパレットの使用」

75 ページの「キーワード名札パレットとアルバムパレットの環境設定」

アルバム内の写真へのキーワード名札の適用

キーワード名札も、アルバムと同じように、写真や他のメディアファイルを整理するための方法の 1 つです。キーワード名札とアルバムは、同じアイテムに関連付けることができます。アルバムで写真を表示しながら、その写真にキーワード名札を適用することができます。

1 アルバムパレットで、アルバム名をクリックし、そのアルバム内の写真を表示します。

2 キーワード名札パレットをクリックします。

3 フォトブラウザ内のすべてのアイテムを選択するには、編集／すべてを選択を選択します。

4 キーワード名札を選択し、写真に適用します。

関連項目

75 ページの「アルバム」

75 ページの「アルバムパレットの使用」

65 ページの「写真へのキーワード名札の適用」

キーワード名札からのアルバムの作成

1 タスクエリアで、キーワード名札の隣にある三角形をクリックし、パレットを展開します。

2 キーワード名札名の左側にあるボックスをクリックして選択します。その名札を適用されているすべての写真がフォトブラウザに表示されます。

3 フォトブラウザ内のすべてのアイテムを選択するには、編集／すべてを選択を選択します。

4「整理」タブで、アルバムの隣にある三角形をクリックし、パレットを展開します。

5 次のいずれかの操作を行います。

- 写真をアルバムパレットのアルバムの上にドラッグします。
- アルバムを新規に作成し、写真をその上にドラッグします。

関連項目

75 ページの「アルバム」

75 ページの「アルバムパレットの使用」

第 6 章：写真整理モードでの写真の検索

写真整理モードでは、日付、重要度、アルバム、フォルダの保存先、ファイル名、メディアの種類、キーワード名札またはその他の条件で写真とメディアファイルを検索することができます。また、あらゆるグループ内のファイルを、日付の昇順／降順またはアルバム別に並べ替えることができます。

注意：写真整理モードを使用してメディアファイルを取り込めるとともに、写真編集モードでファイル／開くコマンドまたはファイル／配置コマンドを使用してメディアファイルを取り込むこともできます。これらのコマンドではファイルを直接参照することができ、検索するファイルの正確なパスとファイル名がわかっている場合に使用します。写真編集モードでのファイルの検索について詳しくは、126 ページの「ファイルを開く」および 129 ページの「新規レイヤーへの PDF、Adobe Illustrator または EPS のファイルの配置」を参照してください。

Photoshop Elements ヘルプのすべての内容を参照するには、「Web 上のページ」をクリックして LiveDocs にアクセスしてください。

写真整理モードでの写真の検索

写真整理モードの写真検索用のオプション

写真整理モードでは、Photoshop Elements により、次のいくつかの方法で写真を検索できます。

タイムグラフ 月をクリックするか、範囲を設定して、日付、取り込み順またはフォルダ毎のいずれかで写真とメディアファイルを検索します。

検索バー 写真、キーワード名札、プロジェクトまたはアルバムを検索バーにドラッグして、一致または類似する写真とメディアファイルを検索します。

検索メニュー このメニューのコマンドを使用して、日付、キャプションまたはメモ、ファイル名、履歴、バージョン、メディアの種類、メタデータ、または類似性によって写真を検索します。写真やメディアファイルから、日付が不明なアイテム、キーワード名札の付いていないアイテム、またはどのアルバムにも含まれていないアイテムを検索するコマンドもあります。

アルバムパレット アルバムを選択して、そのアルバム内のメディアファイルのみを表示します。

キーワード名札パレット キーワード名札を選択して、その名札が付いているメディアファイルのみを表示します。

重要度フィルタ 指定した重要度と等しい、より大きいまたは小さい重要度が指定されているメディアファイルのみを表示します。

関連項目

86 ページの「タイムグラフを使用した写真の表示および検索」

87 ページの「検索バーを使用した検索」

88 ページの「キーワード名札を使用した写真の検索」

89 ページの「重要度を使用した検索」

95 ページの「履歴による写真の検索」

93 ページの「メディアの種類によるファイルの検索」

91 ページの「ファイル名による写真の検索」

94 ページの「詳細（メタデータ）による写真の検索」

126 ページの「ファイルを開く」

129 ページの「新規レイヤーへの PDF、Adobe Illustrator または EPS のファイルの配置」

タイムグラフ

Photoshop Elements では、写真に名札が付けられていなくても、フォトブラウザのタイムグラフですべての写真が自動的に整理されます。タイムグラフは月と年に分かれています。タイムグラフで月をクリックすると、特定の月および年の画像を表示できます。タイムグラフの各バーの高さは、日付順、取り込み順またはフォルダ別に基づく、月毎のファイルの数に比例します。また、タイムグラフで特定の期間を選択すると、その期間に撮影またはスキャンした写真が表示されます。タイムグラフ内のバーにマウスポインタを合わせると、ツールヒントにその期間が表示されます。



タイムグラフの使用
A. タイムグラフ矢印 **B.** グレーの領域は、設定された範囲外の写真を示します **C.** 設定点 **D.** 日付マーカー **E.** タイムグラフバー **F.** 一部ブランクバー **G.** バーの期間を表すツールヒント

タイムラインとキーワード名札を組み合わせて、検索条件を絞り込むことができます。例えば、一定の期間に撮影された Courtney の写真を検索するには、Courtney というキーワード名札で検索し、タイムラインで Courtney の写真が含まれる月をクリックします。

タイムグラフの一部ブランクバーは、現在の検索結果に含まれていない写真があることを示します。

画面表示メニュー（写真整理モードウィンドウの右上隅）を使用すると、サムネール表示、取り込み順またはフォルダ毎のいずれかの順番で写真を表示および検索することができます。



画面表示メニューを使用して、フォトブラウザの表示を選択します

関連項目

88 ページの「キーワード名札を使用した写真の検索」

タイムグラフを使用した写真の表示および検索

1 フォトブラウザでタイムグラフが表示されていることを確認します。必要に応じて、ウィンドウ／タイムグラフを選択します。

2 画面表示を選択し、「サムネール表示」、「取り込み順」、「フォルダ毎」のいずれかを選択します。

どれを選択するかによって、タイムグラフのバーが、月、取り込み順、フォルダのいずれを表すのかが決まります。

3 次のいずれかの操作を行います。

- タイムグラフの両端にあるスクロールボタン を使用して、タイムグラフ内の検索対象部分に移動します。
- タイムグラフのバーをクリックするか、日付マーカーをドラッグすると、そのバーに関連する写真が表示されます。
- タイムグラフの設定点 を左右にドラッグして表示範囲を指定します。

- （日付順で並んでいる場合のみ）検索／期間を設定を選択します。開始日と終了日を入力して表示範囲を指定し、「OK」をクリックします。日付範囲を最初の状態に戻すには、検索／期間を削除を選択します。

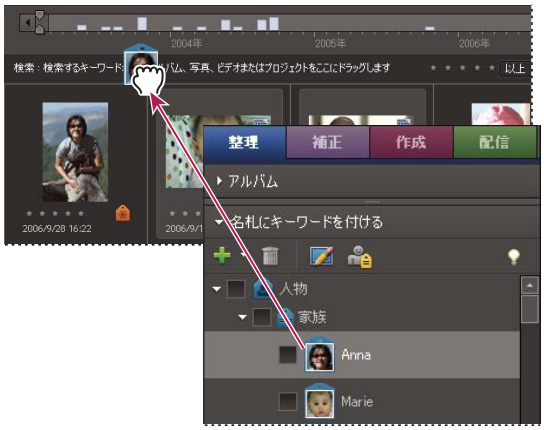
Photoshop Elements は、指定した日付範囲の写真をフォトブラウザに表示します。設定点をドラッグして表示する期間をさらに絞り込むことができます。



検索／期間を設定から、日付範囲を設定します

検索バーを使用した検索

キーワード名札を検索バーにドラッグして素早くアイテムを検索することができます。検索バーは、使用していないときには、フォトブラウザの上に横長のバーの状態で表示されています。検索バーにキーワード名札をドラッグすると、検索バーは自動的に拡張し、検索条件として選択したキーワード名札のアイコンが表示されます。検索を絞り込むには、検索条件として追加するキーワード名札を検索バーにドラッグします。検索バーで、アルバムまたはプロジェクトで使用されている写真を検索することもできます。



キーワード名札を検索バーにドラッグ

1 フォトブラウザとキーワード名札パレットが開いていることを確認します。

2 キーワード名札を検索バーにドラッグします。すぐに検索が開始され、検索で使用したキーワード名札のアイコンが検索バーに表示されます。

3（オプション）他のキーワード名札を検索バーに追加して検索を絞り込みます。一度に複数のキーワード名札を検索バーにドラッグして追加することができます。連続した複数のキーワード名札を選択するには、Shift キーを押しながら

キーワード名札パネル上で選択対象の最初と最後の名札をクリックします。連続していない複数の名札を選択するには、Ctrl キーを押しながら名札を 1 つずつクリックします。

4 新しい検索を開始するには、キーワード名札、カテゴリーまたはサブカテゴリーを右クリックし、コンテクストメニューから「[キーワード名札、カテゴリーまたはサブカテゴリーの名前] を使用して新規検索」を選択します。

5 検索バーを閉じるには、「すべてを表示」をクリックします。

関連項目

63 ページの「キーワード名札」

90 ページの「検索からの写真の除外」

キーワード名札による写真の検索

キーワード名札を使用した写真の検索

キーワード名札により、写真やその他のファイルを素早く検索することができます。キーワード名札を使用して写真およびメディアファイルを検索すると、検索バーが拡張され、選択したキーワード名札が表示されます。キーワード名札パレットで名札を選択すると、選択した名札が適用されている写真が検索されます。



名札名の横にあるボックスをクリックして、特定のキーワード名札が付いた写真を検索します。

- キーワード名札パレットで、名札名の横にあるボックスをクリックするか、名札アイコンを検索バーにドラッグします。検索条件に複数のキーワード名札を含めることができます。

Photoshop Elements の写真整理モードでは、検索条件として指定したキーワード名札が付いている写真が検索されます。検索条件に完全に一致する写真が見つからない場合、一部のキーワード名札が一致する類似写真がフォトブラウザに表示されます。

- 検索する日付の範囲を定義するには、フォトブラウザエリアでのアイテムの並べ方メニューで「日付」オプションを指定し、タイムグラフの設定点を日付範囲の開始日と終了日にドラッグします。
- 検索条件からキーワード名札を削除するには、検索バーで名札をダブルクリックします（最後に追加した名札を削除するにはツールバーの戻るボタンをクリックします）。
- 検索から特定のキーワード名札の付いた写真を除外するには、キーワード名札パレットで名札を右クリックし、「検索結果から [キーワード名札、カテゴリーまたはサブカテゴリーの名前] を含む写真を除外」を選択します。

注意：「写真を除外」コマンドを使用すると、例えば、自分だけが写っている写真を検索できます。まず自分のキーワード名札を検索し、次にその他の人物の名札のカテゴリー全体を除外します。これで、自分だけが写っており、他の人物が写っていない写真が検索されます。

関連項目

87 ページの「検索バーを使用した検索」

63 ページの「キーワード名札」

94 ページの「詳細（メタデータ）による写真の検索」

キーワード名札を使用した検索結果のビューの表示

キーワード名札を使用して検索すると、Photoshop Elements により一致するアイテム、類似するアイテム、一致しないアイテムごとに検索結果がグループ化されます。初期設定では、一致するアイテムのビューが表示されますが、別のビューも選択できます。

1「すべてを表示」ボタンの横にある「オプション」をクリックし、検索条件ポップアップメニューを表示します。

2「条件に最も近いアイテムを非表示」または「条件に一致しないアイテムを表示」を選択します。結果は次のようにグループ化されます。

一致するアイテム 検索条件として選択したキーワード名札がすべて適用されているアイテム（写真およびメディアファイル）です。検索に使用するキーワード名札を増やして検索条件を絞り込むほど、一致するアイテムは少なくなります。

類似するアイテム 検索条件として指定したキーワード名札のうち、（すべてではなく）いずれかの名札が 1 つでも適用されているアイテムのことを類似するアイテムといいます。類似するアイテムには、そのサムネールに、青い円に白いチェックマークの付いたアイコン が表示されます。例えば、複数の場所カテゴリーの名札で検索すると、1 つの場所カテゴリーのキーワード名札だけが付いた写真は一致するアイテムとして表示されます。検索したいずれかのキーワード名札を含む写真を表示するには、このグループを選択します。

検索実行後に類似する写真を自動的に表示するには、編集／環境設定／一般を選択し、「検索で類似するアイテムを表示」を選択してから、「OK」をクリックします。

一致するアイテムなし 検索条件として選択したキーワード名札が 1 つも適用されていないアイテムです。一致しないアイテムのサムネールには、アイテム不一致アイコン が表示されます。

キーワード名札の付いていない写真の検索

❖ フォトブラウザで、検索／名札なしアイテムを選択します。

フォトブラウザには、カタログ内でキーワード名札の付いていないすべての写真が表示されます。

キーワード名札検索の取り消し

❖ カタログのすべての写真に戻るには、「すべてを表示」をクリックします。

選択したキーワード名札に基づく検索

❖ キーワード名札を右クリックし、「[キーワード名札、カテゴリーまたはサブカテゴリーの名前] を使用して新規検索」を選択します。

重要度を使用した検索

重要度フィルタを使用すると、お気に入りの（または気に入らない）写真、ビデオクリップ、オーディオクリップ、プロジェクトを簡単に検索することができます。さらに、重要度とキーワード名札を組み合わせて検索条件に指定することもできます。

1 フォトブラウザで、重要度を表す星のいずれかを選択します。

2 星の横にあるランキングメニューから、いずれかのオプションを選択します。



関連項目

63 ページの「キーワード名札」

87 ページの「検索バーを使用した検索」

検索からの写真の除外

検索結果から不必要な写真を除外して、さらに結果を絞り込むことができます。例えば、「友達」サブカテゴリーで検索を実行後、特定の友達のキーワード名札に対して「検索結果から～を含む写真を除外」コマンドを適用すると、該当する名札付きの写真を「友達」サブカテゴリーの検索結果から除外できます。カテゴリー全体またはサブカテゴリー全体を検索から除外することもできます。

1 次のいずれかの操作を行います。

- キーワード名札パレットで、検索から除外する写真のキーワード名札を右クリックし、「検索結果から [キーワード名札、カテゴリーまたはサブカテゴリーの名前] を含む写真を除外」を選択します。
- 検索バーでキーワード名札を右クリックし、「[キーワード名札、カテゴリまたはサブカテゴリーの名前] を含む写真を除外」を選択します。または、キーワード名札をダブルクリックして、その名札を検索バーから削除します。

2 キーワード名札を検索結果から除外するコマンドを取り消すには、キーワード名札パレットで、キーワード名札の横にある除外アイコン をクリックします。

特定の個人または被写体だけを対象に写真を検索するには、カテゴリーまたはサブカテゴリーを除外し、除外したカテゴリーまたはサブカテゴリー内で特定のキーワード名札を検索します。例えば、友達の Chiara が他の友達と写っている写真は除外し、Chiara だけの写真を検索する場合、「Chiara」キーワード名札を検索してから、「友達」サブカテゴリーに「除外」コマンドを適用します。「友達」サブカテゴリーの他のキーワード名札も関連付けられている写真を除外することによって、「Chiara」キーワード名札だけが関連付けられた写真を Photoshop Elements で検索することができます。

関連項目

71 ページの「キーワード名札のカテゴリーまたはサブカテゴリーの編集」

内容、種類およびメタデータによる写真の検索

キャプションまたはメモによる写真の検索

「キャプションまたはメモ」コマンドまたは「詳細（メタデータ）」コマンドのいずれかを使用してキャプションやメモを検索できます。他の検索条件と組み合わせてキャプションやメモを検索する場合は、「詳細（メタデータ）」コマンドを使用します

1 フォトブラウザが開いていることを確認し、検索／キャプションまたはメモを選択します。

2 キャプションまたはメモで検索ダイアログボックスで、テキストボックスに検索文字列を入力します。

3 次のいずれかを選択し、「OK」をクリックします。

キャプションまたはメモの最初の部分のみを検索 入力した文字列から始まるキャプションまたはメモが付いている写真やその他のファイルを検索します。

キャプションまたはメモの全体を検索 入力した文字列の一部を含むキャプションまたはメモが付いている写真やその他のファイルを検索します。

関連項目

116 ページの「ファイルへのキャプションの追加」

117 ページの「ファイルへのメモの追加」

ファイル名による写真の検索

「ファイル名」コマンドまたは「詳細（メタデータ）」コマンドのいずれかを使用して、ファイル名で検索できます。ファイル名と他の検索条件を組み合わせて検索する場合は、「詳細（メタデータ）」コマンドを使用します

1 写真整理モードで、検索／ファイル名を選択します。

2 ファイル名で検索ダイアログボックスに検索する文字を入力して「OK」をクリックすると、入力した文字がファイル名に含まれる写真が検索されます。

ファイル名で検索ダイアログボックスにファイルの拡張子（JPEG、BMP など）を入力して、ファイル形式でファイルを検索することもできます。

関連項目

113 ページの「ファイル名とバージョン」

すべてのバージョンセットの検索

すべてのバージョンセットを検索すると、各セットの先頭の写真が Photoshop Elements に表示されます。必要に応じて各セットを展開できます。

1 フォトブラウザで、検索／すべてのバージョンセットを選択します。

2 バージョンセットを展開するには、バージョンセットを右クリックし、バージョンセット／バージョンセットのアイテムを展開を選択します。

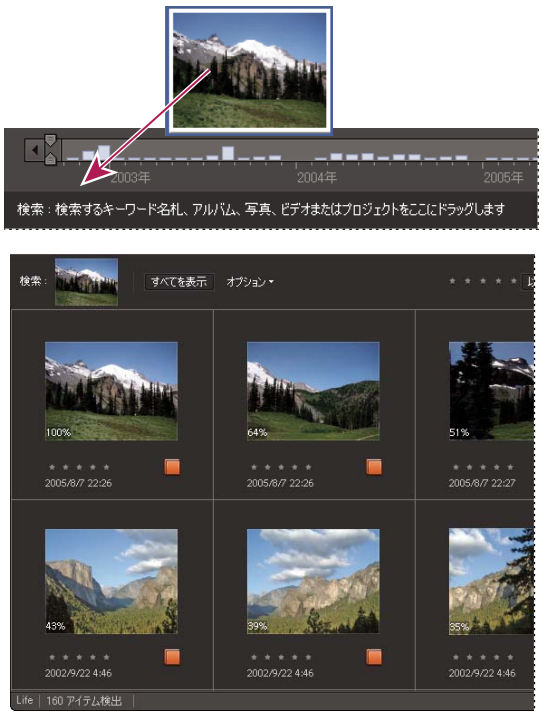
見た目の類似した写真の検索

被写体、色または全体的な見た目が類似した画像を検索できます。

❖ フォトブラウザで、次のいずれかの操作を行います。

- 1 ～ 4 つの画像を検索バーにドラッグします。
- 1 ～ 4 つの画像を選択し、検索／選択した写真と色が類似するアイテムを選択します。

視覚的に類似する写真が、類似性の高いものから順に表示されます。各画像の左下隅に類似性のパーセンテージが表示されます。



写真を検索バーにドラッグして視覚的に類似する写真を検索します。

関連項目

87 ページの「検索バーを使用した検索」

90 ページの「検索からの写真の除外」

プロジェクトで使用されている写真の検索

❖ 次のいずれかの操作を行います。

- フォトブラウザでプロジェクトを右クリックし、「プロジェクトで使用されているアイテムをフォトブラウザで表示」を選択します。フォトブラウザに写真が表示されます。このコマンドは、プロジェクトの写真のキャプションを編集するとき、またはまとめて変更を加えるときに便利です。
- プロジェクトを検索バーにドラッグして、フォトブラウザに写真を表示します。
- 検索／履歴／プロジェクトで使用したアイテムを選択します。プロジェクトのリストが表示されます。プロジェクトをダブルクリックするか、1 つまたは複数のプロジェクトを選択して「OK」ボタンをクリックすると、プロジェクトで使用されているメディアが表示されます。

写真がプロジェクトで使用されているかどうかは、プロパティパレットの履歴でも確認できます。

関連項目

90 ページの「検索からの写真の除外」

メディアの種類によるファイルの検索

特定の種類のメディアファイルだけをフォトブラウザに表示することができます。メディアの種類を選択すると、写真、オーディオおよび作品など、特定のアイテムの種類を対象に検索を実行できます。他の検索条件と組み合わせてメディアの種類で検索する場合は、検索／詳細（メタデータ）コマンドを使用します。

❖ フォトブラウザで、検索／メディアの種類を選択し、次のいずれかのオプションを選択します。

写真 写真のみが表示されます。

ビデオ ビデオクリップのサムネール（ビデオクリップの最初のフレーム）のみが表示されます。

オーディオ オーディオクリップのみが表示されます。

プロジェクト 以前のバージョンの Photoshop Elements で作成したプロジェクトだけが表示されます。

PDF ファイル PDF ファイルが表示されます。

オーディオキャプション付きのアイテム オーディオキャプションが付いている写真やプロジェクトだけが表示されます。

選択した種類のファイルがフォトブラウザに表示されます。

関連項目

90 ページの「検索からの写真の除外」

アルバムまたはスマートアルバムでの写真の検索

他の検索条件と組み合わせてアルバム内で検索する場合は、検索／詳細（メタデータ）コマンドを使用します。それ以外の場合は、次の手順に従います。

1 フォトブラウザで、次のいずれかの操作を行います。

- アルバムパレットで、アルバムアイコンまたはスマートアルバムアイコンをクリックします。双眼鏡アイコン が、アルバムアイコンまたはスマートアルバムの横に表示されます（検索をキャンセルするには、双眼鏡アイコンをクリックします）。
- アルバムアイコンまたはスマートアルバムアイコンを検索バーにドラッグします。
- アルバムアイコンを右クリックし、「[アルバム名] アルバムのアイテムを検索」を選択します。
- どのアルバムにも含まれない写真を検索するには、検索／アルバムなしのアイテムを選択します。



アルバムまたはスマートアルバムをクリックして、そのアルバム内の画像を表示します。

2 検索をキャンセルしてカタログを表示するには、「すべてを表示」ボタンをクリックするか、検索バーでアルバム名をダブルクリックします。

注意：スマートアルバムの検索条件と、キーワード名札の条件を共に使用して写真を検索することはできません。いずれか一方を使用してください。

関連項目

75 ページの「アルバム」

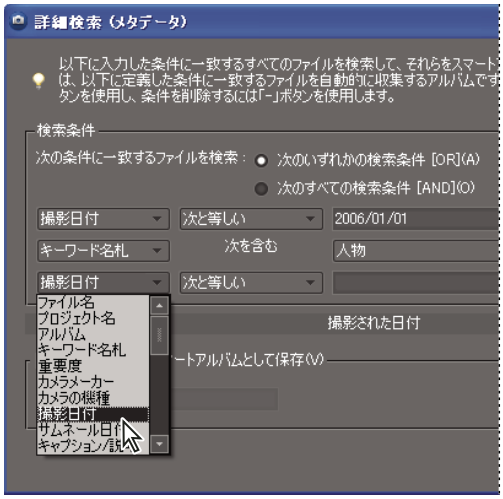
68 ページの「キーワード名札を使用した写真の検索」

87 ページの「検索バーを使用した検索」

詳細（メタデータ）による写真の検索

ファイルの詳細情報や利用可能なメタデータによって画像を検索できます。メタデータによる検索は、複数の条件に基づいて一度に検索する場合に便利です。例えば、2005 年 12 月 31 日に撮影した、「母」のキーワード名札を含むすべての写真を検索する場合、詳細検索（メタデータ）ダイアログボックスで撮影日付とキーワード名札の両方を検索条件として指定できます。

検索可能なメタデータには、ファイル名、ファイルの種類、キーワード名札、アルバム、メモ、作成者、撮影日付などの条件、およびカメラの機種、シャッタースピード、F-Stop（絞り値）などが含まれます。



詳細検索（メタデータ）ダイアログボックスを使用して様々な写真の詳細情報を同時に検索します。

1 フォトブラウザで、検索／詳細（メタデータ）を選択します。

2 詳細検索（メタデータ）ダイアログボックスで、最初のポップアップメニューからメタデータの種類を選択します。

3 2 番目のポップアップメニューで、「次で始まる」、「次の数値よりも大きい」、「含む」など、検索の範囲を選択します。この範囲指定によって、3 番目のポップアップメニューに入力するテキストを、検索条件としてどのように使用するかを Photoshop Elements に指示します。一部の条件にはこのポップアップメニューは表示されません。

4 3 番目のポップアップメニューで、検索するメタデータの名前または値を入力または選択します。

5 検索条件に他のメタデータも指定するには、3 番目のポップアップメニューの右側にあるプラス（+）記号をクリックし、表示される 2 つまたは 3 つのポップアップメニューで新しい値を指定します。

6 検索条件からメタデータを削除するには、削除するメタデータの右側にあるマイナス（-）記号をクリックします。

7「検索」をクリックします。

8 検索条件を変更するには、検索バーでオプション／検索条件を変更をクリックし、必要に応じて変更を行って、「OK」をクリックします。

履歴による写真の検索

Photoshop Elements の写真整理モードでは、写真の取り込み、利用、配信方法または書き出し方法などの過去に行った作業を履歴として管理することができます。この履歴を使用して、写真およびメディアファイルを検索することができます。

1 フォトブラウザで、検索／履歴を選択します。履歴サブメニューに表示されている検索条件項目を使用して検索することができます。

2 1 つ以上 の [取り込んだ、電子メールに添付した、など] アイテムを選択ダイアログボックスで、リスト内のアイテムを選択して、「OK」をクリックします。

注意：リストから特定の履歴を完全に削除するには、1 つ以上の [取り込んだ、電子メールに添付した、など] アイテムを選択ダイアログボックスでリストアイテムを選択し、「削除」ボタンをクリックするか、キーボードの Delete キーを押します。「削除」ボタンは、取り込んだアイテムの履歴またはプロジェクトで使用したアイテムの履歴には使用できません

日付または時間が不明な写真の検索

❖ フォトブラウザで、検索／日付または時間が不明なアイテム選択します。日時が不明なアイテムがフォトブラウザに表示されます。

関連項目

86 ページの「タイムグラフを使用した写真の表示および検索」

第 7 章：ファイルとカタログの管理

カタログにメディアファイルを取り込んで、写真整理モードでメディアファイルを整理する場合は、写真整理モードを使用して様々な方法でファイルを管理することもできます。例えば、関連する写真（同じ被写体を異なる露出設定や異なるカメラアングルで連続撮影した写真など）をまとめてスタックにすることができます。同様に、同じ写真に異なる編集を施したファイルをバージョンセットとしてまとめることもできます。また、写真整理モードでは、ファイル情報、キャプション、メモなどを表示して変更することもできます。

メディアファイルのカタログへの取り込み方法について詳しくは、28 ページの「写真整理モードへの写真やビデオの取り込み」を参照してください。メディアファイルの整理方法について詳しくは、63 ページの「キーワード名札」と 75 ページの「アルバム」を参照してください。

Photoshop Elements ヘルプのすべての内容を参照するには、「Web 上のページ」をクリックして LiveDocs にアクセスしてください。

カタログの管理

カタログ

カタログは、コンピュータやその他のストレージメディアに保存したすべてのメディアファイル、またはそのサブセットを表します。通常は 1 つのカタログだけですべてのメディアを参照しますが、複数のカタログを作成して、それぞれに固有のファイルセットを格納することもできます。

ファイルをカタログに入れておくと、写真整理モードを使用してファイルの検索、並べ替えおよび修正を行うことができます。また、カタログをアルバムとしてまとめたり、キーワード名札や重要度でグループ化することもできます。元のファイルを CD やハードディスク上のフォルダ構造に保存している場合でも、カタログと写真整理モードを使用することができます。

Photoshop Elements の写真整理モードを起動して写真やメディアファイルを取り込むと、カタログが自動的に作成されます。カタログでは、データの管理情報だけが保存されるので、コンピュータやディスクなどのメディアに保存している写真、ビデオクリップ、オーディオクリップおよびプロジェクトを簡単に管理することができます。カタログは、個々の写真やメディアファイルに関する情報で構成されますが、実際の写真やメディアファイル自体は含んでいません。

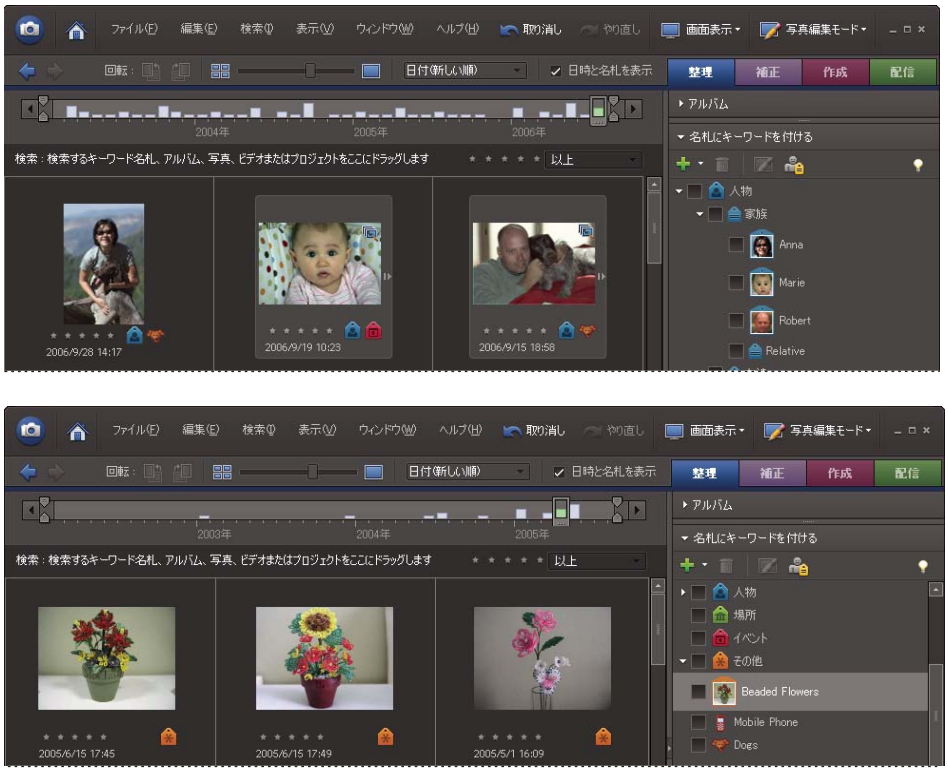


Photoshop Elements のカタログは、コンピュータ上の写真ファイル、ビデオファイル、およびオーディオファイルを参照し、それぞれのサムネールをフォトブラウザに表示します

重要：写真ファイルは、Photoshop Elements ではなく、元の保存場所に置かれたままになります。代わりに、Photoshop Elements はオリジナルファイルに対するリンクを作成します。オリジナルファイルを削除すると、Photoshop Elements からそのファイルにアクセスできなくなります。

カタログは、写真やメディアファイルへのリンクを含むデータベースのようなものです。Photoshop Elements は、これらのリンクを使用して、写真やメディアファイルの保存場所、ファイル形式、適用されているキーワード名札、写真やメディアファイルが撮影された日付などの情報を取得します。これによって、写真やメディアファイルを柔軟に管理、識別および整理できます。

Photoshop Elements の写真整理モードを起動して写真やメディアファイルを取り込むと、カタログが自動的に作成されますが、複数のカタログを作成することもできます。ほとんどの場合は複数のカタログは必要ありませんが、友達や家族が同じコンピュータ上の Photoshop Elements を共有しており、写真、メディアファイルおよびキーワード名札の構成を各自で持ちたい場合には便利です。また、仕事用の写真と個人的な写真とでカタログを個別に作成する場合にも適しています。



異なるカタログを作成すると、各カタログに異なるキーワード名札や写真を使用できます

カタログに含まれる情報

Photoshop Elements は、写真、ビデオクリップおよびオーディオクリップに関する次の情報をカタログに保存します。

- ファイルのパス（保存場所）とファイル名
- オーディオファイルのパス（保存場所）とファイル名
- フル解像度（写真のオリジナルの解像度）のオリジナルファイルのパス（保存場所）、ファイル名およびボリューム名（リンクしているオリジナルファイルが、CD または DVD などのオフラインメディアに保存されている場合）
- 編集前のオリジナルファイルのパス（保存場所）とファイル名（ファイルを編集した場合）
- 取り込んだ写真で使用されたカメラまたはスキャナの名前
- 写真またはメディアファイルに追加したキャプション
- 写真またはメディアファイルに追加したメモ
- メディアの種類（写真、ビデオクリップ、オーディオクリップまたはプロジェクトのいずれか）
- 写真の撮影日時と修正日時
- 写真またはメディアファイルに適用したキーワード名札
- 写真またはメディアファイルに適用したアルバム

- 写真の履歴（ローカルプリンタでの印刷、書き出し、電子メールまたはオンラインでの配信、Adobe Photoshop サービスを利用したオンラインプリントサービス、プロジェクトや Flash フォトギャラリーにおける使用など）。オンラインソースから受信したかどうか、または取り込まれたグループ（取り込み日時を含む）も表示されます。
- 写真に対して行った編集操作（回転、切り抜き、および赤目の修正など）
- 写真およびビデオクリップの画像サイズ
- プロジェクトの設定（プロジェクトの種類、キャプションやページ番号の表示など）
- 画像サイズ、Exif、著作権、IPTC 情報、ファイル形式などの情報を含むメタデータ

カタログの作成

複数のカタログがある場合は、一度に複数のカタログを開くことはできません。また、カタログ間で写真やキーワード名札を移動したり、複数のカタログを対象に写真を検索したりすることはできません。

1 フォトブラウザまたは日付表示で、ファイル／カタログを選択します。

2 カタログのプリセットの場所を選択するには、「すべてのユーザがアクセス可能なカタログ」または「現在のユーザがアクセス可能なカタログ」を選択します。ユーザ定義の場所を選択するには、「ユーザ定義の場所」をクリックし、「参照」をクリックして場所を参照します。

3「新規」をクリックし、新規カタログの名前を入力ダイアログボックスにカタログの名前を入力し、「OK」をクリックします。

重要：" マイカタログ " という名前は使用しないでください。これを使用すると、元のカタログが上書きされます。

カタログ名の変更

カタログ名の変更には、カタログマネージャを使用します。

1 Photoshop Elements の写真編集モードが閉じていることを確認してください。

2 写真整理モードで、ファイル／カタログを選択します。

3 カタログマネージャで、リストからカタログの名前を選択します。

4「名前変更」をクリックします。新しい名前を入力し、「OK」をクリックします。

5「キャンセル」をクリックしてカタログマネージャを閉じます。

カタログの削除

1 Photoshop Elements の写真編集モードが閉じていることを確認してください。

2 ファイル／カタログを選択します。

3 カタログマネージャに 2 つ以上のカタログがリストされていることを確認してください。必要に応じて、新しいカタログを作成します。98 ページの「カタログの作成」を参照してください。

4 削除するカタログ以外のカタログを開きます。100 ページの「カタログを開く」を参照してください。

5 カタログマネージャで、削除するカタログをハイライトします。

6「削除」をクリックします。次に、「はい」をクリックします。

7 カタログマネージャを閉じるには、「キャンセル」をクリックします。

カタログの最適化

カタログを最適化すると、カタログが使用するスペースを節約し、パフォーマンスを向上することができます。

1 Photoshop Elements の写真編集モードが閉じていることを確認してください。

2 ファイル／カタログを選択します。

3 カタログマネージャで、最適化するカタログを選択します。

4「最適化」をクリックします。

カタログとサムネールのキャッシュの最適化が完了すると、ダイアログボックスが表示されます。

カタログの修復

停電やコンピュータの故障によってカタログが破損した場合は、カタログに問題があることを知らせるメッセージが Photoshop Elements に表示されます。このようなときは、「修復」コマンドを使用してカタログを修復します。Photoshop Elements では、カタログデータベースまたはサムネールのキャッシュ内に存在するエラーを発見し、修復することができます。

1 Photoshop Elements の写真編集モードが閉じていることを確認してください

2 ファイル／カタログを選択します。

3 カタログマネージャで、修復するカタログを選択します。

4「修復」をクリックします。

3 つのダイアログボックスのいずれかが開きます。これらの最初の 3 つのダイアログボックスでは、「アイテムの類似性データのインデックスを再作成」を選択できます。

5 次のいずれかの操作を行います。

- ダイアログボックスに「カタログにエラーは見つかりませんでした。」と表示される場合は、「OK」または「修復する」をクリックします。
- カタログにはエラーがないが、サムネールキャッシュにはエラーがあるとダイアログボックスに表示される場合は、「サムネールキャッシュを削除」をクリックすると、キャッシュの削除と再生成が行われます。
- エラーが見つかったとダイアログボックスに表示される場合は、「OK」または「キャンセル」とクリックします。サムネールキャッシュにもエラーが検出された場合、自動的にキャッシュの削除と再生成が行われます。
- カタログが回復不能であるとダイアログに表示される場合は、カタログのバックアップを読み込むことを検討してください。

カタログの変換

以前のバージョンの Photoshop Elements または Photoshop Album を使用して作成されたカタログを、最新バージョンの Photoshop Elements で使用できるように変換することができます。

1 ファイル／カタログを選択します。

2「変換」をクリックします。

カタログを変換ダイアログボックスが開き、Photoshop Elements および Photoshop Album のカタログの初期設定の保存場所が検索されます。

3（オプション）カタログの別の保存場所も検索するには、「他のカタログを検索」をクリックし、それらの保存場所を検索します。

4 変換するカタログをリストから選択し、「変換」をクリックします。

5 カタログの変換ダイアログボックスを閉じるには、「完了」をクリックします。

カタログを以前の状態に戻す

作成したカタログを以前の保存状態に戻したいことがあります。例えば、現在のカタログから誤って写真を削除してしまったため、それを復元したい場合などです。「カタログを復元」コマンドを実行すると、カタログ、写真、ビデオクリップ、オーディオクリップおよび作品のバックアップコピーが Photoshop Elements に取り込まれます。このコマンド

を使用して、カタログや写真などを他のコンピュータに移動することもできます。その場合は、「カタログをバックアップを作成」コマンドを使用してすべてのファイルを書き込み可能な CD または DVD にコピーしてから、「カタログを復元」コマンドを使用して別のコンピュータに書き込みます。

1 次のいずれかの操作を行います。

- CD や DVD などのリムーバブルメディアにバックアップする場合は、コンピュータにメディアを挿入します。
- 外部ハードディスクにバックアップした場合は、そのハードディスクがコンピュータに接続していることを確認してください。

2 フォトブラウザまたは日付表示で、ファイル／カタログを CD、DVD またはハードドライブにバックアップを選択します。

3「復元するバックアップの場所」で、復元するファイルが保存されている場所を指定します。

- バックアップファイルが CD または DVD のどちらかに保存されている場合は、「CD/DVD」を選択します。必要に応じて、ドライブを選択メニューを使用して CD または DVD のドライブを選択します。

注意：マルチセッションバックアップファイルが入った CD または DVD からファイルを復元する場合は、ドライブを選択メニューを使用して最新のバックアップを選択します。

- バックアップファイルがハードディスク、またはフラッシュメディアなどの他のメディアに保存されている場合は、「ハードディスク／その他のボリューム」を選択します。復元するバックアップファイルを検索するには、「参照」ボタンをクリックします。

4 カタログおよびファイルの復元先を指定します。

- 「元の場所」を選択すると、カタログ、写真、ビデオクリップ、PDF、プロジェクト、およびオーディオクリップが元の場所に復元されます。
- 「新規の場所」を選択すると、カタログおよび画像が新規のドライブまたはフォルダに復元されます。別の保存先を選択するには、「参照」ボタンをクリックします。「元のフォルダ構造を復元」を選択すると、カタログ、写真、ビデオクリップ、PDF、プロジェクト、およびオーディオクリップを含むフォルダとサブフォルダの階層が保持された状態で復元されます。

5「復元」をクリックします。

注意：「CD ／ DVD」を選択している場合は、Photoshop Elements からカタログの復元に複数のディスクが必要かどうかを問い合わせるメッセージが表示されます。画面の指示に従ってください。1 つのバックアップセットだけを復元する場合と、1 つのバックアップセットと差分バックアップを復元する場合とでは手順が異なります。

カタログを開く

1 フォトブラウザまたは日付表示で、ファイル／カタログを選択します。

2 カタログマネージャダイアログボックスのリストからカタログを選択します。

3「開く」ボタンをクリックします。

Shift キーを押しながら写真整理モードを起動すると、カタログマネージャから開始することができます。写真編集モードで、Shift キーを押しながら「写真整理モード」ボタン をクリックした場合も、同様に Photoshop Elements カタログマネージャが開きます。

CD、DVD、またはハードディスクへのカタログのバックアップ

作業が終了したら、編集したカタログを保護することをお勧めします。ハードディスクがいっぱいになっている場合は、ハードディスクから普段あまり使用しない写真やビデオのメディアファイルやフル解像度（写真のオリジナルの解像度）のマスターを削除して、CD や DVD、ローカルやネットワークのハードディスクにコピーすることができます。Photoshop Elements の「カタログをバックアップ」コマンドを使用すると、他のソフトウェアを使用する必要はありません。

注意：フォトブラウザで選択した写真を CD または DVD に書き込んで、コンピュータや一般の DVD プレーヤーで再生することもできます。350 ページの「スライドショーの出力」を参照してください。

「カタログをバックアップ」コマンドを実行すると、写真（オリジナルと編集後の写真）、ビデオクリップ、オーディオクリップ、PDF、プロジェクトとともに、カタログを CD、DVD、またはローカルのハードディスクやネットワークのハードディスクにコピーすることができます。問題や予期しない出来事が発生した場合に復元できるため、ハードディスクにカタログやメディアファイルのコピーを持っておくと便利です（コンピュータの空き容量に余裕がある場合）。

CD または DVD にバックアップを作成する場合は、書き込み可能な CD または DVD ドライブをコンピュータに接続しておく必要があります。差分バックアップを作成する場合は、前回の完全バックアップを保存したメディアを用意する必要があります。

CD や DVD で使用可能な領域をすべて使用できるように、Photoshop Elements では 1 枚のディスクに複数のセッションを書き込むことができます。編集／環境設定／ファイルを選択し、「CD / DVD へのマルチセッションの書き込みを有効にする」を選択します。

1 複数のカタログがある場合は、バックアップするカタログを開きます。

2 フォトブラウザまたは日付表示で、ファイル／カタログを CD、DVD またはハードドライブにバックアップを選択します。

3 バックアップの作成前に見つからないファイルを確認ダイアログボックスが表示されたら、次のいずれかの操作を行います。

- 「再リンク」をクリックして、見つからないファイルを確認します。「再リンク」をクリックして、見つからないファイルがあった場合は、見つからないファイルを再リンクダイアログボックスが表示され、そのファイルに再リンクするように促されます。
- 「続行」をクリックすると、バックアップファイルの作成を続行します。Photoshop Elements は、修復手順を自動的に実行します。

注意：再リンクされないアイテムがあってもバックアップを継続することを選択した場合、このバックアップを復元すると、再リンクされていないアイテムを持つカタログが作成されます。

4 バックアップウィザードのステップ 1 で、次のオプションのいずれかを選択し、「次へ」をクリックします。

完全バックアップ カタログ全体と、写真ファイル、ビデオクリップ、オーディオクリップ、PDF、プロジェクトおよびその他の関連ファイルのすべてがコピーされます。ファイルのバックアップを初めて作成する場合は、このオプションを選択してください。

差分バックアップ 現在のカタログと、前回の完全バックアップまたは差分バックアップを作成した時の差分のデータとなる、新規作成または変更された写真ファイル、ビデオクリップ、オーディオクリップ、PDF、プロジェクトおよびその他の関連ファイルだけがコピーされます。

5 バックアップウィザードのステップ 2 で、次のオプションを設定し、「完了」をクリックします。

- 「保存先ドライブを選択」の一覧から、アイテムの書き込み先として CD、DVD、またはハードディスクを選択します。

注意：コンピュータの内蔵ハードディスクのフォルダにバックアップを作成すると、Photoshop Elements により英数字コードを使用したファイル名に自動的に変更されます。これは、同じバックアップフォルダ内に、同じ名前を持つ複数のファイルが作成されることを防止するために行われる処理です。ただし、ファイルを復元すると、Photoshop Elements によりファイル名は元に戻ります。CD、DVD、または外付けハードディスクにバックアップを作成することをお勧めします。

- 「保存名」テキストボックスで初期設定の名前をそのまま使用するか、バックアップセッションにつける名前を入力します。
- 「保存先ドライブを選択」で CD または DVD を選択した場合は、アイテムの書き込み速度を選択します。初期設定では、使用するドライブと CD / DVD メディアの最速の速度が選択されています。ご使用のドライブとメディアに適した書き込み速度を選択してください。
- 「バックアップ先パス名」では、「保存先ドライブを選択」でハードディスクを選択した場合に、内部またはネットワークのハードディスクへのバックアップファイルの保存先の場所を指定します。保存先を変更する場合は、「参照」をクリックして別の場所を選択します。

- 「以前に作成したバックアップファイル」は、差分バックアップを作成する場合に、最後に作成したバックアップから変更された部分を調べるために使用します。以前のバックアップファイルを参照するには、「参照」をクリックしてファイルを選択します。

6 Photoshop Elements でバックアップに必要なサイズと書き込み推定時間が計算されたら、「完了」をクリックします。CD または DVD のディスクを選択すると、書き込み可能な CD または DVD を挿入するように促すメッセージが表示されます。

7 差分バックアップを作成する場合は、前回の完全バックアップや差分バックアップを保存したメディアを挿入するか、ハードディスク上の場所を指定し、画面上の指示に従います。挿入したメディアにすべてのバックアップデータを保存できない場合は、別のメディアを挿入するよう指示されます。

CD または DVD に書き込むたびに、Photoshop Elements でディスクの検証が求められます。検証には時間がかかりますが、ディスクを正しく作成するために、このオプションを使用することをお勧めします。

CD などのリムーバブルメディアへのバックアップが完了したら、今後のバックアップに備えて、今回のバックアップの内容と日付を記入しておくと便利です。ディスクにラベルを付けるには、Photoshop Elements を使用して CD ラベルや DVD ラベルを作成したり、専用のペンを使用してディスクに記入します。

関連項目

123 ページの「写真整理モードでの見つからないファイルの再リンク」

350 ページの「スライドショーの出力」

ファイルの移動、コピー、および名前の変更

ファイルを保存するフォルダの指定

Photoshop Elements では、写真やその他のアイテムを保存するフォルダを複数作成します。これらのフォルダを作成する上位フォルダは変更できます。設定を柔軟に変更できるので、別のディスクドライブ上にファイルを保存したい場合などに便利です。

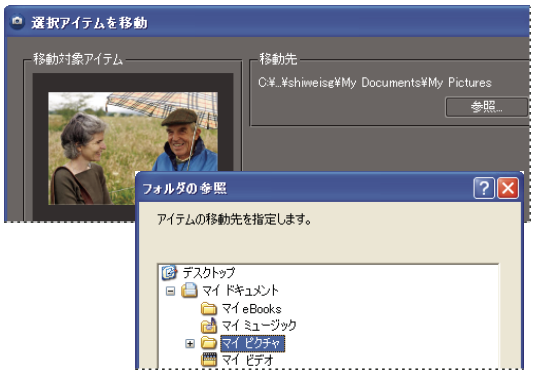
1 写真整理モードのフォトブラウザまたは日付表示で、編集／環境設定／ファイルを選択します。

2「ファイル保存先」の下にある「参照」ボタンをクリックします。ファイルを保存するフォルダを指定し、「OK」をクリックします。

カタログ内でのファイルの移動

写真整理モードのフォトブラウザで、写真、ビデオクリップおよびオーディオクリップを別のフォルダに移動したり、ファイル名を変更することができます。フォトブラウザでファイルを移動すると、ファイルの移動先が Photoshop Elements によって管理されるので、Photoshop Elements を使用せずに手動でファイルを移動した場合のように、後で「ファイルが見つからない」という通知を受け取ることがありません。

注意：Photoshop Elements は、コンピュータから取り込む写真に対してリンクを作成します。オリジナルの写真を別の場所に移動した場合、移動先への再リンクを行わないと、Photoshop Elements でその写真を見つけられなくなります。ファイルを別のフォルダまたは CD や記憶装置に移動する必要がある場合は、オペレーティングシステムの機能を使ってファイルを移動せずに、Photoshop Elements の写真整理モードのファイル／リムーバブルディスクにコピーまたは移動コマンドを使用します。



写真整理モードでファイル／移動を選択することによるファイルの移動

1 フォトブラウザで、移動するアイテムを選択します。

2 ファイル／移動を選択します。

3 選択アイテムを移動ダイアログボックスの「参照」ボタンをクリックします。選択したアイテムの移動先フォルダを参照して指定します。「OK」をクリックし、ダイアログボックスを閉じます。

4 移動するファイルのリストからアイテムを削除するには、「移動対象アイテム」セクションでファイルを選択し、削除ボタン をクリックします（削除ボタンをクリックしても、ハードディスクからはファイルは削除されず、移動対象から除外されるだけです）。

5 移動するファイルのリストにアイテムを追加するには、「追加」ボタン をクリックし、写真を追加ダイアログボックスで写真を追加します。追加したら、「完了」をクリックします。

6「OK」をクリックします。

関連項目

113 ページの「ファイル名とバージョン」

オフラインへのアイテムのコピーまたは移動

「リムーバブルディスクにコピーまたは移動」コマンドを使用して、写真をディスクにコピーします。例えば、CD や DVD で写真を友達に送りたい場合にこのコマンドを使用します。「リムーバブルディスクにコピーまたは移動」コマンドを使用すると、高解像度のマスターファイルを CD または DVD に移動し、低解像度のコピーファイルだけをハードディスクに保持することもできます。マスターファイルを移動するとディスク容量が大幅に空きますが、それまでと同じように、カタログに写真は残り、画面上で表示できます。

CD アイコン は、オフライン（ローカルのハードディスクではなく CD または DVD に保存されている）のアイテム上に表示されます。ただし、オフラインの写真を印刷する場合や、フル解像度のファイルを必要とするその他の操作を行う場合は、作成したディスクをコンピュータのドライブに挿入する必要があります。

CD や DVD で使用可能な領域をすべて使用できるように、Photoshop Elements では 1 枚のディスクに複数のセッションを書き込むことができます。編集／環境設定／ファイルを選択し、「CD / DVD へのマルチセッションの書き込みを有効にする」を選択します。

1 書き込み可能な CD または DVD ドライブをコンピュータに接続します。

2 フォトブラウザで、コピーまたは移動するアイテムを選択します。

3 ファイル／リムーバブルディスクにコピーまたは移動を選択します。

4 リムーバブルディスクにコピーまたは移動ウィザードのステップ 1 で次のオプションを選択し、「次へ」をクリックします。

ファイルを移動 CD または DVD にコピーが作成された後、選択したフル解像度の写真がコンピュータから削除されます。アイテムのサムネールはフォトブラウザに残ります。

注意：プロジェクトとオーディオクリップの場合は「ファイルを移動」オプションを使用できません。

スタック内のすべてのファイルを含める 選択したスタック内のすべての写真を CD または DVD にコピーします。「ファイルを移動」オプションを選択した場合、フル解像度の写真がコンピュータから削除されます。コピーまたは移動したスタックのサムネールはフォトブラウザに残ります。

バージョンセット内のすべてのファイルを含める 選択したバージョンセット内のすべての写真を CD または DVD にコピーします。「ファイルを移動」オプションを選択した場合、フル解像度の写真がコンピュータから削除されます。コピーまたは移動したバージョンセットのサムネールはフォトブラウザに残ります。

5 ファイルが見つからない場合は、Photoshop Elements はファイルの再リンクを行います。次のいずれかの操作を行います。

- アプリケーションを使用して見つからないファイルを検索します。該当するファイルが見つかった場合は、見つからないファイルを再リンクダイアログボックスが表示され、見つからないファイルを再リンクするように通知されます。
- 「参照」をクリックして手動で見つからないファイルを検索します。
- 「キャンセル」をクリックすると、見つからないファイルなしで処理を続行します。確認メッセージが表示されたら「はい」をクリックします。

6 リムーバブルディスクにコピーまたは移動ウィザードのステップ 2 でオプションを設定し、「完了」をクリックします。

- 「保存先ドライブを選択」から、アイテムの書き込み先として CD または DVD ドライブを選択します。
- 「保存名」テキストボックスで初期設定の名前をそのまま使用するか、新しく保存名を入力します。
- アイテムの書き込み速度を選択します。初期設定では、使用するドライブと CD / DVD メディアの最速の速度が選択されています。ご使用のドライブとメディアに適した書き込み速度を選択してください。

7 Photoshop Elements でアーカイブに必要なサイズと書き込み推定時間が計算されたら、「完了」をクリックします。必要に応じて、書き込み可能な CD または DVD を挿入するように促すメッセージが表示されます。

CD または DVD に書き込むたびに、Photoshop Elements でディスクの検証が求められます。検証には時間がかかりますが、ディスクを正しく作成するために、このオプションを使用することをお勧めします。

CD などのリムーバブルメディアへのバックアップが完了したら、今後のバックアップに備えて、今回のコピーの内容と日付を記入しておくと便利です。CD や DVD 上に文字を安全に記入するには、専用のペンを使用するのが理想的です。

カタログからのアイテムの削除

写真、ビデオクリップ、またはオーディオクリップなどのオリジナルファイルは残したまま、Photoshop Elements のカタログ上から削除することができます。プロジェクトをカタログから削除すると、プロジェクトは完全に削除されます。

1 フォトブラウザで 1 つまたは複数のアイテムを選択するか、日付表示でアイテムを 1 つ選択します。

2 次のいずれかの操作を行います。

- キーボードの Delete キーを押します。
- アイテムを 1 つ選択した場合は、編集／カタログから削除を選択します。または、右クリックで表示されるコンテクストメニューから「カタログから削除」を選択します。
- 複数のアイテムを選択した場合は、編集／選択したアイテムをカタログから削除を選択します。または、右クリックで表示されるコンテクストメニューから「選択したアイテムをカタログから削除」を選択します。

3 オリジナルファイルも削除したい場合は、「ハードディスクからも選択したアイテムを削除」オプションを選択し、「OK」をクリックします。

スタック内の写真のグループ化

スタック

スタックを作成すると、類似した写真をグループとしてまとめて管理することができます。スタックは、同じ被写体を撮影した複数の写真を 1 つにまとめるのに便利で、フォトブラウザの表示を整理することができます。写真を検索すると、スタックアイコン と一緒にスタック内の先頭の写真が検索結果に表示されます。

例えば、家族が同じポーズで取った複数の写真をまとめてグループ化するスタックを作成します。または、カメラの連写モードやオートブラケット機能を使用してスポーツイベントのときに撮影した写真のスタックを作成することもできます。一般に、このように写真を撮影すると、同じ写真の類似したバリエーションが数多く撮影されますが、フォトブラウザに表示したいのは一番よく撮影できた写真だけです。これらの写真をスタックすると、何行ものサムネールが広がった写真ではなく、写真を一箇所にまとめて簡単にアクセスできます。



写真をスタックすると、スペースを節約でき、関連する写真をまとめておくことができます。

注意：スタックは、同じ写真の複数のバージョンを管理し、検索する場合に便利です。アルバムは、被写体やイベント、休暇などの項目別にグループ化した写真をまとめる場合に適しています。

スタックを使用する際のヒント

スタックを使用する場合は、次の点に注意してください。

- 初期設定では、最新の写真がスタックの先頭に置かれます。先頭にしたい写真をスタック内で右クリックし、スタック／先頭の写真として設定を選択します。
- 複数のスタックを結合すると、1 つの新しいスタックにまとめることができます（元のスタックは保持されません）。最新の写真、またはスタックを結合する前に選択されていた写真がスタックの先頭に置かれます。
- スタックに置かれたすべての写真を見つけるには、検索／すべてのスタックを選択します。
- 折りたたまれたスタックに対する操作（編集、電子メールでの送信、プリントなど）のほとんどは、スタックの先頭の写真にだけ適用されます（ただし、折りたたまれたスタックを移動すると、そのスタック内のすべての写真が移動します）。スタック内のすべての写真に操作を適用するには、写真のスタックを展開するか、スタックを解除し、すべての写真を 1 つずつ選択します。スタック内の一部の写真に操作を適用するには、スタックを展開するか、スタックを解除し、対象となる写真を 1 つずつ選択します。
- 折りたたまれたスタックにキーワード名札を適用する場合、名札はスタック内のすべてのアイテムに適用されます。キーワード名札で検索すると、スタック内にあるすべてのアイテムが検索結果として個別に表示されます。スタック内の数個の写真にだけキーワード名札を適用する場合は、スタックを展開してからそれらの写真に名札を適用します。
- スタックには、バージョンセットを含めることができます。スタック内にあるオリジナルの写真を編集すると、オリジナルの写真と編集した写真を含むバージョンセットが Photoshop Elements により自動的に作成されます。作成されたバージョンセットは、元のスタックに格納されます。また、既に作成している複数のバージョンセットを手動でスタックすることもできます。
- 右クリックまたは編集メニューを使用すると、すべてのスタックコマンドにアクセスできます。

関連項目

109 ページの「バージョンセット」

75 ページの「アルバム」

写真のスタックまたはスタック解除

❖ フォトブラウザで、次のいずれかの操作を行います。

- 写真をスタックするには、スタックする画像を選択します。次にスタックの先頭にする写真を右クリックして、コンテクストメニューからスタック／選択した写真をスタックを選択します。
- 写真のスタックを解除するには、スタックを右クリックしてスタック／写真のスタック解除を選択します。

これらのコマンドは編集メニューからアクセスすることもできます。

類似した写真の自動スタック

Photoshop Elements は、同じ時間帯に撮影された、類似した写真を自動的にスタックすることができます。例えば、同じ人物の写真を連続して複数枚撮影した場合、または同じ対象の写真を異なるライティングで複数枚撮影した場合、Photoshop Elements は写真を自動的にグループ化し、スタックとして提示します。



自動分類されたスタック
A. スタック可能なグループ **B.** グループ化されていない写真

1 フォトブラウザで、写真のグループまたはカタログ全体を選択します。次のいずれかの操作を行います。

- 右クリックし、コンテクストメニューからスタック／自動的に写真をスタックを選択します。
- 編集／スタック／自動的に写真をスタックを選択します。

注意：取り込みダイアログボックスで「自動的に写真をスタック」を選択することで、ファイルを取り込んだ直後に、自動分類されたスタックグループを表示できます。

2 自動分類されたスタックグループを確認して、スタックを適用するか判断します。次のいずれかまたは複数の操作を行います。

- 1 つまたは複数の写真をスタックから移動するには、写真を選択し、「 選択した写真を削除」をクリックします。

注意：スタックから写真を削除しても、元の写真は変更されません。このとき、写真は削除された写真エリアに配置されます。「削除された写真を表示」を選択すると、削除された写真を表示できます。削除された写真は、元のスタックまたは別のスタックに移動できます。

- スタックから削除された写真を表示するには、「削除された写真を表示」を選択します。
- 削除された写真を、自動分類されたスタックに戻すには、削除された写真エリアからスタックに写真をドラッグします。
- 自動分類されたスタック内のあるスタックから別のスタックに写真を移動するには、写真をドラッグします。
- 元のスタックに戻すには、「初期化」をクリックします。

3 完了したら、「すべてのグループをスタック」をクリックします。スタック可能な写真グループの最初の写真が、写真整理モードにスタックが表示されるときの先頭の写真として設定されます。

スタック内のすべての写真の表示

スタック内のすべての写真を表示した状態で、写真の編集、先頭の写真の指定、スタックからの写真の削除、写真へのキーワード名札の追加を行うことができます。



写真スタックの展開と折りたたみ

1 写真を展開するには、フォトブラウザで次のいずれかの操作を行います。

- スタックのサムネールの隣にある三角形をクリックします。
- スタックを右クリックして、スタック／スタックの写真を展開を選択します。
- 表示／すべてのスタックを展開を選択します。

2 スタックを再び折りたたむには、次のいずれかの操作を行います。

- スタックのサムネールの隣にある三角形をクリックします。
- スタックを右クリックし、スタック／スタックの写真を折りたたむを選択します。
- 表示／すべてのスタックを折りたたむを選択します。

関連項目

45 ページの「フォトブラウザ」

スタックからの写真の削除

❖ フォトブラウザでスタックを選択し、次のいずれかの操作を行います。

- いくつかの写真をスタックから削除するには、編集／スタック／スタックの写真を展開を選択します。1 つまたは複数の写真を選択し、編集／スタック／スタックから選択した写真を削除を選択します。写真はスタックから削除されますが、カタログやコンピュータからは削除されません。
- いくつかの写真（一番上の写真以外）をスタックおよびカタログから削除するには、編集／スタック／スタックの写真を展開を選択します。1 つまたは複数の写真を選択し、編集／カタログから削除を選択します。選択した写真がスタックとカタログの両方から削除されます。「ハードディスクからも選択したアイテムを削除」オプションを選択すると、コンピュータ上からも画像ファイルが削除されます。
- 先頭の写真を除くスタックのすべての写真を削除するには、折りたたまれたスタックを選択し、編集／スタック／先頭の写真以外は削除を選択します。「ハードディスクからも選択したアイテムを削除する」オプションを選択すると、コ

ンピュータ上からも画像ファイルが削除されます。1 枚を除くスタック内のすべての写真を削除すると、残された写真は、スタックが解除された状態でフォトブラウザに表示されます。

注意：スタックを展開すると、先頭の写真はファイルブラウザの一番左に表示されます。

- スタックのすべての写真を削除するには、折りたたまれたスタックを選択し、Delete キーを押します。カタログからの削除確認ダイアログボックスで、「折りたたまれたスタック内のすべての写真を削除」オプションを選択します。「ハードディスクからも選択したアイテムを削除」オプションを選択すると、コンピュータ上からも画像ファイルが削除されます。

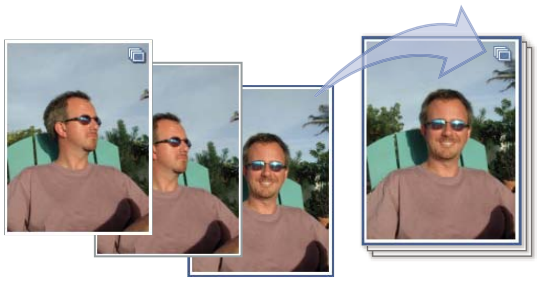
編集メニューではなく、右クリックして表示されるコンテクストメニューからすべてのスタックコマンドにアクセスできます。

スタック内の先頭の写真の指定

初期設定では、Photoshop Elements で自動的に最新の写真がスタックの先頭に配置されますが、コンテクストメニューを使用してスタックを作成するときに先頭にする写真を指定することも、スタックの作成後に新しい先頭の写真を指定することもできます。

❖ 次のいずれかの操作を行います。

- スタック内に入れる写真を選択した後に、先頭に置く写真を右クリックしてから、スタック／選択した写真をスタックを選択します。
- スタックを作成した後、フォトブラウザでスタックを右クリックして、スタック／スタックの写真を展開を選択し、スタック内のすべての写真を表示します。次に、先頭にする写真を右クリックして、スタック／先頭の写真として設定を選択します。選択された写真は展開されたスタックの一番左側に移動し、スタックの先頭になります。



先頭の写真として設定（左が実行前）

スタック内の写真の編集

スタック内の写真を編集し、編集したコピーをバージョンとして保存すると、オリジナルの写真と編集した写真の両方がバージョンセットとして関連付けられて、元のスタック内に格納されます。（自動スマート補正などを使用して）フォトブラウザで写真を編集すると、バージョンセットが自動的に作成されます。

1 フォトブラウザで、次のいずれかの操作を行います。

- 先頭以外の写真を編集するには、スタックを選択し、編集／スタック／スタックの写真を展開を選択します。編集する写真を選択します。
- スタックの先頭の写真を編集する場合は、フォトブラウザ上で表示されるスタック画像を選択して手順 2 に進みます。

2 次のいずれかの操作を行います。

- 編集／自動スマート補正、編集／自動赤目修正または編集／ 90° 回転（反時計回り）または（時計回り）を選択して編集を行います。編集した写真は、バージョンセットのバージョンとしてオリジナルの写真と一緒に Photoshop Elements により自動的に保存されます。
- 写真整理モードの右上にある「写真編集モード」ボタン をクリックし、「クイック補正」または「スタンダード編集」のいずれかを選択して、写真編集モードで写真を表示します。写真を編集し、ファイル／別名で保存を選択します。新しいバージョンをオリジナルの写真と同じバージョンセット内に置く場合は、「オリジナルと一緒にバージョンセットで保存」オプションを選択します。

- Adobe Photoshop がインストールされている場合は、写真整理モードの右上にある「写真編集モード」ボタン を クリックし、「Photoshop で編集」を選択します。Photoshop で開かれるファイルには、ファイル名の末尾に「_edited-1」が追加されてドキュメントウィンドウに表示されます。

新たに編集したコピーは、元の画像、または最後に編集したコピーの上に置かれます。

編集メニューではなく、右クリックして表示されるコンテクストメニューからすべてのスタックコマンドにアクセスできます。

関連項目

113 ページの「ファイル名とバージョン」

バージョンセット内の写真のグループ化

バージョンセット

バージョンセット とは、オリジナルの写真とその編集したバージョンを含むスタックのことです。バージョンセットでは、オリジナルの写真と編集した写真が 1 つに重なった状態でフォトブラウザに表示されるので、フォトブラウザに雑然と並べることがなくなり、写真を見つけやすくなります。



バージョンセットの例

自動スマート補正を選択して写真を編集すると、写真整理モードでは、写真とその編集した写真の両方が自動的に 1 つのバージョンセットに入ります。写真編集モードのスタンダード編集またはクイック補正で写真を編集し、ファイル／別名で保存を選び、「オリジナルと一緒にバージョンセットで保存」オプションを選択することで、写真と編集した写真の両方を 1 つのバージョンセットに入れることができます。

スタック内の写真を編集すると、オリジナルの写真と編集後の写真が、スタック内にバージョンセットとして整理されます。バージョンセット内の写真を編集すると、編集した写真が既存のバージョンセットの先頭に置かれます。Photoshop Elements では、バージョンセットは、バージョンセット内にバージョンセットを格納するようなネスト（入れ子）の構造をとることができません。バージョンセットの内部に置くことができるのは、オリジナルの写真とその編集したバージョンだけです。



スタック内に折りたたまれたバージョンセット（上）、スタックに含まれる展開されたバージョンセット（下）

注意：通常は、バージョンセットにスタックできるのは写真だけです。ただし、Photoshop Elements の「3GPP ムービーを編集」コマンド（QuickTime をインストールする必要があります）を使用した場合は例外です。編集したムービーはコピーとして保存され、オリジナルのムービーと編集したムービーを含むバージョンセットが作成されます。

バージョンセットを使用する際のヒント

バージョンセットを使用する場合は、次の点に注意してください。

- Photoshop Elements で画像を編集します。写真整理モードから写真を選んで、写真編集モードで編集することをお勧めします。画像を Photoshop Elements から開かずに外部の編集ソフトウェアを使用すると、データベースとのリンクが失われるので、Photoshop Elements で画像ファイルの編集履歴を把握したり、バージョンセットを更新することができなくなります。バージョンセットに手動でファイルを追加することはできませんが、スタックコマンドを使用してこれらのタイプのバージョンをスタックすることはできます。
- 折りたたまれたバージョンセットにキーワード名札を適用する場合、キーワード名札はセット内のすべてのアイテムに適用されます。バージョンセットを展開して 1 つの写真にキーワード名札を適用すると、キーワード名札はその写真だけに適用されます。キーワード名札で検索すると、そのキーワード名札を含むバージョンセットに含まれる写真が、個別の写真として検索結果に表示されます。
- 複数のバージョンセットを 1 つのスタックとしてまとめることができます。複数のバージョンセットが 1 つのスタックとして表示されます。先頭には最新の写真が表示されます。スタック内の写真でさらにスタックを作成すると、結合して 1 つのスタックになりますが、スタック内で複数のバージョンセットを作成しても、バージョンセットは保持されます。
- オリジナルの写真と編集した写真の 2 枚だけが含まれるバージョンセットで、そのうちの 1 枚の写真を削除すると、残った写真はスタック解除された状態でフォトブラウザに表示されます。スタック内に 2 枚のうちの 1 枚を削除したバージョンセットが格納されていた場合には、スタックを展開すると、写真はバージョンセットアイコンなしで表示されます。
- すべてのバージョンセットを検索するには、検索／すべてのバージョンセットを選択します。
- バージョンセットから写真を個別に取り除いたり、削除したりすることができ、また、バージョンセット内の各写真がカタログ内で別個に表示されるようにバージョンセットを個別の写真に変換することができます。
- 右クリックまたは編集メニューを使用すると、ほとんどのバージョンセットコマンドにアクセスできます。
- プロパティパレットの「履歴」タブでは、バージョンセット内の写真の編集履歴を確認できます。

関連項目

105 ページの「スタック」

バージョンセットの手動保存

写真整理モードで写真を編集すると、バージョンセットが自動的に作成されます。写真編集モードのスタンダード編集またはクイック補正を使用してファイルを編集する場合は、編集したファイルをバージョンセットに手動で保存しなければなりません。

写真編集モードで、次のいずれかの操作を行います。

- Photoshop Elements でファイルを編集し、ファイル／保存（写真を編集して初めて保存するときは、別名で保存ダイアログボックスが自動的に表示されます）または、ファイル／名前を付けて保存を選択します。「オリジナルと一緒にバージョンセットで保存」オプションを選択し、ファイルの名前を指定して「保存」をクリックします。
- 以前に編集した写真を再び編集し、ファイル／別名で保存を選択して、編集した写真の個別のコピーを作成します。「オリジナルと一緒にバージョンセットで保存」オプションを選択し、ファイルの名前を指定して「保存」をクリックします。

写真整理モードのフォトブラウザで表示すると、新しく編集した写真がバージョンセットの先頭に配置されます。

バージョンセット内のすべての写真の表示

バージョンセット内のすべての写真を表示した状態で、バージョンセット内の写真の編集や削除、先頭の写真の置き換え、または写真へのキーワード名札の追加（セット内の 1 つの写真にキーワード名札を追加すると、すべての写真にその名札が適用されます）を行うことができます。



バージョンセットの展開と折りたたみ

1 フォトブラウザで、バージョンセット の写真を選択し、次のいずれかの操作を行います。

- バージョンセットのサムネールの隣にある展開ボタンをクリックします。
- 編集／バージョンセット／バージョンセットのアイテムを展開を選択します。

2 展開されたバージョンセットを表示した状態で、次のいずれかまたは複数の操作を行います。

- 写真の並べ替えや削除、キーワード名札の追加を行います。
- クイック補正またはスタンダード編集を使用して写真を変更します（変更したらファイルを保存します）。

3 完了したら、次のいずれかの操作を行って、バージョンセット内の写真を折りたたみます。

- バージョンセットのサムネールの隣にある折りたたみボタンをクリックします。
- 編集／バージョンセット／バージョンセットのアイテムを折りたたむを選択します。

関連項目

45 ページの「フォトブラウザ」

バージョンセット内の先頭の写真の指定

Photoshop Elements でバージョンセットを作成すると、最新の写真が先頭に置かれます。この先頭の写真を他の写真に置き換えることができます。バージョンセットを展開すると、先頭の写真はフォトブラウザの一番左に表示されます。

注意：スタックに属すバージョンセットを表示するには、まずスタックを展開する必要があります。

1 フォトブラウザでバージョンセットを右クリックし、バージョンセット／バージョンセットのアイテムを展開を選択します。

2 先頭に置く写真を右クリックして、バージョンセット／先頭アイテムとして設定を選択します。

3 新たに先頭に置かれた写真を右クリックし、バージョンセット／バージョンセットのアイテムを折りたたむを選択します。

写真をオリジナルのバージョンに戻す

❖ フォトブラウザで 1 つまたは複数のバージョンセットを選択し、編集／バージョンセット／オリジナルに戻すを選択します（または、選択したアイテムを右クリックして表示されるコンテクストメニューから、このコマンドを選択します）。

注意：スタンダード編集ワークスペースでは、ヒストリーパレットを使用して、写真を元の状態に戻すことができます。

関連項目

24 ページの「最後に保存した状態への復帰」

23 ページの「ヒストリーパレットの使用（写真編集モード）」

23 ページの「操作の取り消し、やり直しまたはキャンセル」

バージョンセットからの写真の除去または削除

バージョンセットから写真を取り除くと、写真はバージョンセットからは除去されますが、カタログには残されます。これによって、フォトブラウザで個別の写真として表示されます。バージョンセットから写真を削除すると、その写真はカタログから取り除かれますが、「ハードディスクからも写真を削除する」を選択しない限り、コンピュータ上から削除されることはありません。

❖ バージョンセットを選択し、次のいずれかの操作を行います。

- バージョンセットから特定の写真を取り除くには、バージョンセットを展開して削除する写真を選択し、編集／バージョンセット／バージョンセットからアイテムを削除を選択します。
- バージョンセット内の写真すべてを取り除いてフォトブラウザで個別の写真として表示されるようにするには、バージョンセットを選択して、編集／バージョンセット／バージョンセットを個別アイテムに変換を選択します。
- バージョンセットから特定の写真を削除するには、編集／バージョンセット／バージョンセットのアイテムを展開を選択します。削除する写真を選択し、Delete キーを押します。
- 先頭を除くすべての写真をバージョンセットから削除するには、編集／バージョンセット／先頭の写真以外は削除を選択します。
- バージョンセットから先頭の写真だけを削除するには、フォトブラウザでバージョンセットを選択し、編集／カタログから削除を選択します。カタログからの削除確認ダイアログボックスで、「バージョンセット内のすべてのアイテムを削除」オプションを選択しません。先頭の写真をハードディスクから削除する場合は、「ハードディスクからも選択したアイテムを削除」を選択します。
- オリジナルの写真を除くすべての写真をバージョンセットから削除するには、編集／バージョンセット／オリジナルに戻すを選択します。
- オリジナルの写真を含むすべての写真をバージョンセットから削除するには、編集／カタログから削除を選択します。カタログからの削除確認ダイアログボックスで、「折りたたまれたバージョンセット内のすべてのアイテムを削除」オプションを選択します。
- オリジナルの写真をバージョンセットから削除するには、編集／バージョンセット／バージョンセットのアイテムを展開を選択します。バージョンセットでオリジナルの写真を選択し、Delete キーを押します。バージョンセット内に、オリジナルの写真を直接編集したコピーが 1 つと、さらにそのコピーを編集したコピーがある場合、オリジナルの写真を削除すると、オリジナルの写真を編集したコピーがこのバージョンセットの新しい「オリジナルの写真」になります。オリジナルの写真に対して複数の子写真（編集したコピー）が存在する場合、オリジナルの写真を削除しても、バージョンセットから子写真は削除されません。

注意：一般に、オリジナルの写真を保持しておき、その写真を原版として様々な画像を作成するのが最適な方法です。原版はオリジナルの情報をすべて含み、圧縮されたり、データが失われたりしていません。オリジナルの写真を削除するのは、そのオリジナル写真を今後使用しないことが明らかな場合だけにしてください。カタログやコンピュータ上からオリジナルの写真を削除すると、復元することはできません。

バージョンセット内の写真の編集

バージョンセット内の写真を編集し、それを別名で保存ダイアログボックスの「オリジナルと一緒にバージョンセットで保存」オプションを使用して保存すると、編集したコピーはオリジナルのバージョンセットに追加され、追加のバージョンセット内にはネストされません。

1 フォトブラウザで、次のいずれかの操作を行います。

- 先頭の写真を編集するには、バージョンセットを選択します。

- 先頭以外の写真を編集するには、バージョンセットを選択し、編集／バージョンセット／バージョンセットのアイテムを展開を選択します。次に、編集する写真を選択します。

2「写真編集モード」 をクリックし、「クイック補正」または「スタンダード編集」を選択します。

3 クイック補正またはスタンダード編集でファイルが開いたら、ファイルを編集し、ファイル／別名で保存を選択します。

4 別名で保存ダイアログボックスの「オリジナルと一緒にバージョンセットで保存」オプションを選択し、コピーとオリジナルをバージョンセットに入れます。

新しく編集した写真がバージョンセットの先頭に置かれます。

ファイル名とバージョン

ファイル名とバージョン

ファイルをカタログに追加すると、元の名前が保持されます。写真をフォトブラウザから開いて写真編集モードで編集した場合は、保存したファイルが写真整理モードに表示され（初期設定）、元のファイルの異なるバージョンとしてファイルを保存したり（初期設定）、コピーを保存することができます。

ファイルを写真編集モードから直接開いたり、写真編集モードで新しいファイルを作成して保存した場合は、「写真整理モードに含める」を選択した場合のみ、バージョンを作成して保存できます。

ファイルの編集と保存を行うときには、次の点に注意してください。

- 初期設定では、特定のファイルに対して初めてファイル／保存を選択した場合は、別名で保存ダイアログボックスが開き、ファイル名の末尾に「edited」とバージョン番号が追加されます。例えば、オリジナルファイルの名前が「デイジー .jpg」の場合、編集したファイルの名前は「デイジー _edited-1.jpg」になります。
- 2 回目以降では、バージョンを編集してファイル／保存を選択するたびに、Photoshop Elements は編集済みの既存のバージョンを上書きします。
- 2 回目以降では、バージョンを編集してファイル／別名で保存を選択するたびに、またはオリジナルファイルを編集してファイル／保存を選択するたびに、Photoshop Elements は新しいバージョン番号を末尾に追加します。例えば、「デイジー _edited-1.jpg」を編集してファイル／別名で保存を選択した場合、その編集したバージョンの名前は作成した順番に従って「デイジー _edited-2.jpg」、「デイジー _edited-3.jpg」のようになります。（「別名として保存」を選択するのではなく）編集したバージョンに変更を保存しただけである場合、変更はそのファイルに保存され、バージョンは作成されません。
- コピーとして保存した場合、編集したファイル名の末尾に「のコピー」が追加されます。ファイル名の末尾に「回転」と入力して保存するなど、編集した写真にわかりやすい名前を手動で付けることもできます。コピーを保存すると、Photoshop Elements は保存したコピーに変更を反映し、一方でオリジナルファイルは写真編集モードで開いたままになります。
- バージョンの保存とコピーの保存は同時に行うことができます。最初に選択したオプションに応じて、ファイル名の末尾には「のコピー」または新しいバージョン番号が追加されます。
- 「オリジナルと一緒にバージョンセットで保存」を選択しない場合でも、「写真整理モードに含める」を選択すると、編集したファイルを写真整理モードに含めることができます。この方法でファイルを保存した場合、ファイルはバージョンセットの一部にはならず、ファイル名の末尾に「edited- 番号」が追加されることもありません。

関連項目

141 ページの「ファイル保存の環境設定」

135 ページの「画像の保存とファイル形式」

109 ページの「バージョンセット」

108 ページの「スタック内の写真の編集」

112 ページの「バージョンセット内の写真の編集」

写真整理モードでのファイル名の変更

写真をデジタルカメラから取り込み、ファイル名がアルファベットと数字で構成されている場合などは、わかりやすい名前に変更しておくと便利です。ファイル名は、カメラからファイルを取り込むときに一度に変更できます。また、写真整理モードに取り込んだ後で、ファイルの名前を 1 つずつ変更したり、ファイルグループの名前をまとめて変更することもできます。新しいファイル名は、コンピュータのハードディスクに保存されるので、ファイルシステムで検索することができます。

選択した複数の写真ファイルの名前を一度に変更する場合は、ファイル名は指定した新しい名前に接尾辞が付いた形に変更されます。例えば、複数の写真ファイルを「ホノルル」という名前に一括変更した場合、最初に選択した写真ファイルは「ホノルル -1」、その次のファイルは「ホノルル -2」というファイル名に変更されます。ファイル名が重複する場合は、Photoshop Elements は名前の末尾にさらに別の番号を自動的に追加します。例えば、「ホノルル -2」という名前のファイルが既に存在する場合は、「ホノルル -2-1」という名前に変更されます。

❖ 次のいずれかの操作を行います。

- フォトブラウザまたは日付表示でファイル名を変更するには、アイテムを選択し、ファイル／ファイル名変更を選択します。ファイル名の変更ダイアログボックスの「新規ファイル名」ボックスに名前を入力し、「OK」をクリックします。または、プロパティパレットを開き、「ファイル名」ボックスに新しい名前を入力します。

名前を変更した直後に Ctrl+Z キーを押すと、変更したファイル名を元に戻すことができます。

- フォトブラウザで複数のファイルの名前を一括変更するには、フォトブラウザでファイル名を変更するアイテムを選択します。選択ツールで囲むか、Shift キーを押しながら選択対象の最初と最後のファイルをクリックします。連続していない複数のアイテムを選択するには、Ctrl キーを押しながらアイテムを 1 つずつクリックします。ファイル／ファイル名変更を選択します。「基本名」ボックスに名前を入力して、「OK」をクリックします。

注意：フォトブラウザまたは日付表示で、編集または複製した写真の名前を一括変更すると、名前の最後に付いていた「_edited」または「のコピー」が削除され、指定したとおりの名前に変更されます。編集した写真がある場合は、オリジナルの写真のファイル名は変更されません。

関連項目

31 ページの「デジタルカメラまたはカードリーダーからの写真の取り込み」

ファイルの複製

写真は、別々の編集を行うために複製することができます。複製した写真は、新しいファイルとして扱われ、カタログに新しいアイテムとして追加されます。写真を複製すると、その写真のキーワード名札、キャプション、およびメモも複製されます。複数のアイテムを同時に複製することはできません。

❖ 次のいずれかの操作を行います。

- フォトブラウザまたは日付表示で複製する写真を選択し、ファイル／複製を選択します。ファイル名の末尾には「_copy」が追加されます。コピーは、フォトブラウザでオリジナルの写真の横に表示されます。

注意：折りたたまれたバージョンセットまたはスタックされている写真を選択して「複製」コマンドを使用すると、先頭の写真だけが複製されます。

- 写真編集モードのスタンダード編集またはクイック補正で複製する写真を開き、ファイル／複製を選択します。ファイル名の末尾には「のコピー」が追加されます。写真編集モードで写真整理モードファイルを複製した場合には、この写真をオリジナルファイル一緒にバージョンセットに追加することはできません。

関連項目

135 ページの「画像の保存とファイル形式」

105 ページの「スタック」

109 ページの「バージョンセット」

ファイルの日時の変更

写真整理モードでは写真、ビデオ、プロジェクト、PDF およびオーディオファイルのファイル情報の日時を変更できます。例えば、デジタルカメラが写真の撮影日として記録した日付情報を変更できます。この操作は、カメラの時刻が正しく設定されていない場合などに必要となります。また多くのユーザは、スキャンした写真の日付情報を変更します。これは、スキャンした写真ファイルの情報には、写真の撮影日ではなく、スキャナで取り込んだ日時が残るからです。

注意：日付表示でファイルの日時を設定することもできます。日付表示に表示される西暦、和暦は、Windows OS のコントロールパネルの設定に基づいて和暦、西暦（日本語）または西暦（英語）が表示されます。

1 フォトブラウザでファイルを選択します。連続した複数のファイルを選択するには、Shift キーを押しながら選択対象の最初と最後のファイルをクリックします。連続していない複数のファイルを選択するには、Ctrl キーを押しながら各ファイルをクリックします。

2 編集／日時を変更または編集／選択アイテムの日時を変更を選択します（または、選択したアイテムを右クリックして表示されるコンテクストメニューから、このコマンドを選択します）。

注意：日付を頻繁に変更する場合は、サムネールの日付をクリックするだけで日時を変更ダイアログボックスが開くように環境設定を設定できます。編集／環境設定／一般を選択し、「サムネールの日付をクリックして日時を変更」を選択します。

3 日時を変更ダイアログボックスで、次のいずれかを選択して「OK」をクリックします（オプションは、選択したファイルのタイプに応じて異なります）。

指定した日時に変更 手動で日時を変更します。このオプションを選択して「OK」をクリックします。日時を設定ダイアログボックスの「年」テキストボックスで年を入力または選択します。「月」と「日」を指定するか、不明な場合は「不明」を選択します。「時間」セクションで、「設定」を選択してテキストボックスに時刻を入力または選択するか、「不明」オプションを選択します。

ファイルの日時に変更 ファイルが更新された日時に変更します。このオプションを選択して「OK」をクリックします。

選択アイテムの日時をずらす 選択した複数の写真の日時を、その中で最も古い写真を基準にして調整します。例えば、月を 1 か月、日を 1 日、時刻を 1 時間ずつ前にずらすと、すべての写真が同じように調整されます。このオプションを選択して「OK」をクリックします。日時を設定ダイアログボックスで新しい年、月、日および時間を選択して、最も古いアイテムに新しい日時を指定します。「OK」をクリックします。このオプションは、カメラの日時が正確に設定されていない場合に有効です。

設定した数字で時間をずらす（時差調整）一定の時間数で時間を進めたり、戻したりすることができます。このオプションを選択して「OK」をクリックします。時差調整ダイアログボックスで、「時間を進める」または「時間を戻す」を選択した後、調整する時間数を直接入力するか、上下の矢印をクリックして時間数を指定し、「OK」をクリックします。

Photoshop Elements によって指定した写真の日時に合わせてタイムグラフが調整され、カタログの写真ファイルに新しい日時が保存されます。

注意：Photoshop Elements では、コントロールパネルでの設定に基づいて、和暦、西暦（日本語）、または西暦（英語）が表示されます。Windows XP でこの設定を変更するには、コントロールパネルで「地域と言語のオプション」を開き、「地域オプション」タブをクリックして、目的の日付を指定します。詳しくは、Windows のマニュアルを参照してください。

関連項目

119 ページの「ファイル情報（メタデータ）」

56 ページの「日付表示での写真を表示および検索」

アイテムのサムネールの更新

別のアプリケーションで写真を変更し、変更内容をオリジナルファイルに保存した場合は、フォトブラウザでサムネールを更新して、写真に対する変更内容を反映させることができます。

注意：写真整理モードで別のアプリケーションによる写真への変更を追跡するには、編集／環境設定／編集を選択します。「追加の編集アプリケーションを使用」をオンにして、追加するアプリケーションを参照します。追加したアプリケーションで行った変更内容がフォトブラウザのサムネールに反映されるようになります。

1 フォトブラウザでアイテムを選択します。

2 編集／サムネールを更新、または編集／選択アイテムのサムネールを更新を選択します（または、右クリックして表示されるコンテクストメニューから、編集／サムネールを更新、または編集／選択アイテムのサムネールを更新を選択します）。

関連項目

49 ページの「サムネールのサイズ変更、更新、非表示」

キャプションとメモの追加

ファイルへのキャプションの追加

キャプションは、写真、ビデオクリップ、プロジェクト、PDF またはオーディオクリップの内容を表すタイトルのようなものです。写真整理モードでは、様々な場所でキャプションを追加または表示します。キャプションの追加または表示は、フォトブラウザのサムネール単一表示、日付表示の「キャプション」フィールド、プロパティパレットおよび編集／キャプションを入力コマンドを使用して行うことができます。またキャプションは、プロジェクトへの追加、インデックスプリントへの印刷および Flash を使用したフォトギャラリーでの表示が可能です。



キャプションはサムネール単一表示で追加できます。初期設定では同一のキャプションがプロジェクトに表示されます。

キャプションは、写真を Photoshop Elements に取り込んだ後、いつでも追加できます。ただし、フリップブックや Flash ベースのフォトギャラリーでキャプションを使用する場合は、プロジェクトを作成する前にキャプションを追加する必要があります。先に追加しておかないと、キャプションが写真に表示されません。

キャプションは、2000 文字まで入力できます。

1 写真にキャプションを追加するには、次のいずれかの操作を行います。

- フォトブラウザで写真をダブルクリックしてサムネール単一表示で表示し、「日時と名札を表示」を選択して、既存のキャプションをクリックするか、「ここをクリックするとキャプションを追加できます」をクリックします。テキストボックスにキャプションを入力し、テキストボックスの外側をクリックします。
- フォトブラウザまたは日付表示で写真を選択して、編集／キャプションを入力を選択します。「キャプション」テキストボックスにキャプションを入力し、「OK」をクリックします（または、選択したアイテムを右クリックして表示されるコンテクストメニューから、このコマンドを選択します）。
- フォトブラウザまたは日付表示で写真を選択し、プロパティパレット（ウインドウ／プロパティ）の一般ボタンをクリックして、「キャプション」テキストボックスにキャプションを入力します。
- 日付表示で、写真をダブルクリックして日表示で開き、ワークスペースの右下にある「キャプション」テキストボックスにキャプションを入力します。
- 写真編集モードでファイルを開き、ファイル／ファイル情報を選択します。「説明」テキストボックスにキャプションを入力します。

2 フォトブラウザで複数のファイルに 1 つのキャプションを一度に追加するには、次のいずれかの操作を行います。

- 複数のアイテムを選択し、編集／選択したアイテムにキャプションを追加を選択します。既存のキャプションを置き換える場合は、「既存のキャプションを上書き」チェックボックスを選択します。「キャプション」テキストボックスにキャプションを入力し、「OK」をクリックします。
- 写真を選択します。次に、プロパティパレット（ウィンドウ／プロパティ）で「キャプションの変更」をクリックして、テキストボックスにキャプションを入力します。

関連項目

119 ページの「写真整理モードでのファイル情報の表示または編集」

91 ページの「キャプションまたはメモによる写真の検索」

ファイルへのメモの追加

写真整理モードのメモを使用すると、写真やメディアファイルを簡単に区別したり、大切な情報を記録したりできます。写真についての個人的な思い出やエピソードを入力または表示するには、プロパティパレットの「メモ」テキストボックスを使用します。メモは、プロパティパレット内の画面にだけ表示されます。

注意：日付表示には「コメント」機能がありますが、この機能はキャプションやメモとは異なります。コメントは、特定の写真ではなく、カレンダーの日付に関連付けられます。

1 フォトブラウザまたは日付表示で写真を選択し、ウィンドウ／プロパティを選択して、プロパティパレットを表示します。

2「一般」ボタンをクリックし、「メモ」テキストボックスにメモを入力します。

関連項目

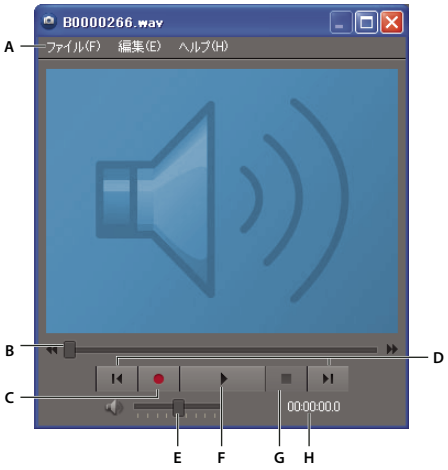
119 ページの「写真整理モードでのファイル情報の表示または編集」

59 ページの「日付表示へのコメントの追加」

91 ページの「キャプションまたはメモによる写真の検索」

写真へのオーディオキャプションの追加

写真整理モードでオーディオキャプションを録音するには、コンピュータにマイクなどの音声入力機器を接続する必要があります。詳しくは、コンピュータのマニュアルを参照してください。



オーディオウィンドウ
A. メニュー **B.** オーディオの特定のセクションを再生する位置までスライダをドラッグする **C.** 録音ボタン **D.** 開始点ボタンと終了点ボタン **E.** 音量調節 **F.** 再生ボタン **G.** 停止ボタン **H.** オーディオの長さ

1 次のいずれかの操作を行います。

- フォトブラウザで写真をダブルクリックしてサムネール単一表示で表示し、オーディオキャプションを設定ボタン をクリックします。
- 日付表示またはフォトブラウザで写真を選択し、プロパティパレット（ウィンドウ／プロパティ）を表示します。プロパティパレットの「一般」セクションで、オーディオキャプションを追加または変更ボタン をクリックします。

2 次のいずれかの操作を行います。

- オーディオキャプションを録音するには、オーディオファイルを選択ウィンドウの録音ボタン をクリックし、マイクに向かって発声します。オーディオキャプションの録音が終了したら、停止ボタン をクリックして停止します。「再生」ボタン をクリックすると、録音したオーディオキャプションを聞くことができます。うまく録音できなかった場合は、録音ボタンをもう一度クリックしてオーディオキャプションを録音し直します。
- 既存のオーディオクリップを写真に追加するには、オーディオファイルを選択ウィンドウのメニューからファイル／参照を選択します。目的のオーディオクリップを選択し、「開く」ボタンをクリックしてオーディオウィンドウに戻ります。

3 オーディオファイルを選択ウィンドウの閉じるボタン をクリックし、オーディオを保存して写真に適用します。

注意：オーディオキャプションを作成した後に写真の名前を変更しても、オーディオキャプションファイル名が連動して変更されることはありません。ただし、オーディオファイルは引き続きその写真に添付されています。

関連項目

119 ページの「ファイル情報（メタデータ）」

オーディオクリップやオーディオキャプションの再生

❖ 次のいずれかの操作を行います。

- フォトブラウザまたは日付表示で写真を選択し、ウィンドウ／プロパティを選択して、プロパティパレットを表示します。「一般」ボタンをクリックし、オーディオキャプションを追加または変更ボタン をクリックします。表示されるウィンドウで再生ボタン をクリックします。
- フォトブラウザでサムネール内のオーディオキャプションアイコン をクリックします。表示されるウィンドウで再生ボタンをクリックします。
- フォトブラウザのサムネール単一表示で写真を表示し、オーディオキャプションを設定ボタン をクリックします。表示されるウィンドウで再生ボタンをクリックします。

ファイル情報

ファイル情報（メタデータ）

デジタルカメラで写真を撮影すると、各画像ファイルに、撮影日時、シャッタースピードと絞り値、カメラの型式などの情報が保存されます。取り込んだビデオクリップやオーディオクリップの各ファイルには、重要なメディアファイル情報が含まれています。これらの情報すべてをメタデータといいます。メタデータは、写真整理モードのプロパティパレットや写真編集モードのファイル情報ダイアログボックスで表示や追加ができます。

アルバムを管理および整理するときに画像を識別しやすいように、タイトル、キーワード名札、説明などの情報を追加することができます。画像を編集すると、Photoshop Elements で編集履歴がファイルに自動的に記録され、ファイルのメタデータに追加されます。

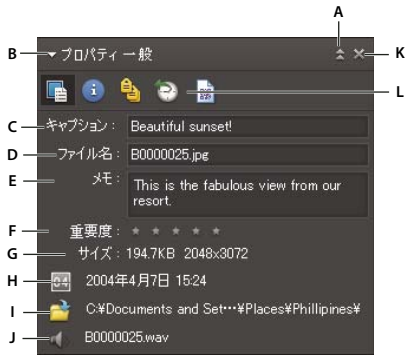
さらに、開いた画像で Digimarc の透かしが自動的にスキャンされます。透かしが検出された場合は、Photoshop Elements の画像ウィンドウのタイトルバーに著作権記号が表示され、ファイル情報ダイアログボックスの「著作権のステータス」、「著作権情報」、および「著作権情報 URL」テキストボックスに情報が表示されます。

関連項目

284 ページの「Digimarc フィルタの検出」

写真整理モードでのファイル情報の表示または編集

写真整理モードのプロパティパレットには、選択した写真ファイルまたはメディアファイルに関する詳細情報が表示されます。プロパティパレットでは、ファイル名、キャプションやメモ、メタデータ、ファイルの取り込み日または修正日、ファイルを使用したプロジェクト名、ファイルに適用されているキーワード名札、ファイルが含まれているアルバム、コンピュータ上でのファイルの保存場所およびファイルの編集履歴を確認できます。また、写真に付けられたオーディオキャプションの再生と録音、ファイル名の変更、キャプションやメモの追加および写真ファイルの日時の変更を行えます。



プロパティパレット
A. パレットをタスクエリアにドッキングまたはドッキング解除する **B.** パレットを整理エリアで展開するまたは折りたたむ **C.** 編集可能なキャプション **D.** 編集可能なファイル名 **E.** 編集可能なメモ **F.** 編集可能な重要度 **G.** ファイルサイズと寸法（写真とビデオ）、または再生時間（オーディオ） **H.** 編集可能な日時 **I.** ハードディスク上のファイル保存場所へのリンク **J.** オーディオキャプションを記録、再生、および適用する **K.** パレットを閉じる **L.** 情報の種類

1 フォトブラウザまたは日付表示でファイルを選択します。

2 ウィンドウ／プロパティを選択し、プロパティパレットを表示します。

3 次のいずれかのボタンをクリックして、表示または変更する情報の種類を選択します。

一般 キャプション、ファイル名、メモ、ファイルサイズ、画像サイズ、再生時間（ビデオクリップとオーディオクリップの場合）、日時、ファイルの保存場所およびオーディオキャプションが表示されます。ここで、キャプション、ファイル名、メモおよびオーディオキャプションの追加と変更、日時の変更を行うことができます。ファイル名を変更すると、新しいファイル名はハードディスク上のファイル名にも反映されます。アイテムが保存されているフォルダを表示するウィンドウを開くには、フォルダボタン をクリックします。

キーワード名札 アイテムに適用されているキーワード名札や、アイテムが含まれているアルバムが表示されます。

履歴 写真の取り込み日、修正日および取り込み元が表示されます。「履歴」には、その写真を使用しているプロジェクトの一覧、配信またはプリントした日時などの様々な詳細情報も表示されます。

メタデータ カメラのメーカーとモデル、撮影で使用したカメラの設定、ファイルの種類など、アイテムに関連するメタデータの一覧が表示されます。基本的なカメラ情報を表示するには、「概要」を選択します。すべての Exchangeable Image File（Exif）情報を表示するには、「詳細」を選択します。

関連項目

116 ページの「ファイルへのキャプションの追加」

117 ページの「ファイルへのメモの追加」

117 ページの「写真へのオーディオキャプションの追加」

写真編集モードでのファイル情報の表示または追加

写真編集モードのファイル情報ダイアログボックスには、ファイルに追加されたカメラデータ、キャプション、著作権情報、および作成者情報が表示されます。このダイアログボックスを使用すると、Photoshop Elements で保存されたファイルの情報を修正したり、ファイルに情報を追加したりできます。このダイアログボックスで追加する情報は、Extensible Metadata Platform（XMP）対応フォーマットのファイルに埋め込まれます。XMP は、Adobe アプリケーションとワークフローパートナーに共通の XML フレームワークを提供することによって、発行というワークフロー全体において、ドキュメントのメタデータを作成、処理および交換する手順を標準化するプラットフォームです。複数のファイルに繰り返し入力するメタデータがある場合は、テンプレートを作成すると、情報を効率良く入力できます。

キーワード、カメラデータ 1、および カメラデータ 2 のカテゴリーのメタデータとして表示される情報は編集できません。

重要：フォトブラウザでファイルに追加されたキーワード名札は、ファイル情報ダイアログボックスではキーワードとして表示されます。PDF や BMP などの一部のファイル形式は、キーワードとしての名札をサポートしていません。

1 画像を開いて、ファイル／ファイル情報を選択します（または、プロジェクトエリアのサムネールを右クリックして、コンテクストメニューから「ファイル情報」を選択します）。

2 ファイル情報ダイアログボックスの左側にある「説明」をクリックすると、詳細情報が表示されます。「説明」セクションでは、ドキュメントタイトル、ファイルの作成者、説明、説明作成者、および著作権情報を追加、変更できます。ファイル情報を画像に反映するには、該当するテキストボックスに入力して「OK」をクリックします。著作権の状態は、著作権の状態メニューから該当するものを選択します。

写真編集モードでの情報パレットの使用

スタンダード編集ワークスペースでは、情報パレットに画像に関するファイル情報が表示され、ツールの使用中にツールの情報を参照できます。画像内でのドラッグ中に情報を表示する場合は、ワークエリア内で情報パレットが見えるようにしておきます。

1 情報パレットがパレットエリアにある場合は、情報パレットの三角形 をクリックして情報パレットを表示します。情報パレットがパレットエリアまたはワークエリアに表示されていない場合は、ウィンドウ／情報を選択してパレットを表示します。

2 ツールを選択します。

3 画像内にポインタを移動するか、画像内でドラッグしてツールを使用します。使用しているツールに応じて次のような情報が表示されます。

ポインタ位置のカラーを示す数値。

ポインタ位置の *x* 座標と *y* 座標。

ドラッグしている選択範囲またはシェイプの幅（W）と高さ（H）、またはアクティブな選択範囲の幅と高さ。

開始（画像をクリックした）位置の *x* 座標と *y* 座標。

選択範囲、レイヤー、シェイプの移動に伴う *x* 軸方向の位置の変化 ΔX と *y* 軸方向の位置の変化 ΔY。

回転やグラデーションの角度（A）、選択範囲、レイヤー、シェイプの移動に伴う角度の変化、または変形時の回転角度。選択範囲、レイヤー、シェイプの移動に伴う距離の変化（D）。

選択範囲、レイヤー、シェイプの拡大縮小に伴う幅（W）と高さ（H）の変化率。

選択範囲、レイヤー、またはシェイプをゆがめたときの水平方向のゆがみ角度（H）または垂直方向のゆがみ角度（V）。

関連項目

247 ページの「カラー」

248 ページの「画像モード」

情報パレットでのカラーモードと単位の設定

❖ 次のいずれかの操作を行います。

- 表示されているカラー値のモードを変更するには、情報パレットのスポイトアイコン をクリックし、ポップアップメニューからカラーモードを選択します。情報パレットの詳細メニューから「パレットオプション」を選択し、「第 1 色情報」または「第 2 色情報」あるいはその両方でカラーモードを選択することもできます。

グレースケール ポインタ位置のグレースケール値を表示します。

RGB カラー ポインタ位置の RGB（レッド、グリーン、ブルー）値を表示します。

Web カラー ポインタ位置の RGB（レッド、グリーン、ブルー）値に対応する 16 進コードを表示します。

HSB カラー ポインタ位置の HSB（色相、彩度、明度）値を表示します。

- 表示される定規単位を変更するには、情報パレットの十字アイコン をクリックし、ポップアップメニューから単位を選択します。情報パレットの詳細オプションの「パレットオプション」を選択することもできます。定規単位メニューから単位を選択し、「OK」をクリックします。

情報パレットまたはステータスバーへのファイル情報の表示

写真編集モードでは、情報パレットまたはステータスバーに表示する情報を簡単に変更できます（ドキュメントウィンドウの左下部には、現在の表示されている画像の倍率が表示されます。倍率の右側には、現在のファイルに関する情報が表示されます）。

1 次のいずれかの操作を行います。

- 情報パレット右上にある詳細メニューから「パレットオプション」を選択します。
- ステータスバーの黒い三角形をクリックします。

2 次の表示オプションを選択します。

ファイルサイズ 画像に含まれているデータ量に関する情報を表示します。左側の数値は、画像のプリント時のファイルサイズを表します。これは、PSD 形式で保存、統合された状態のファイルサイズとほぼ同じです。右側の数値は、レイヤーを含めたファイルの概算サイズを示します。

ドキュメントのプロファイル 画像で使用されているカラープロファイル名を表示します。

ドキュメントのサイズ 現在選択されている単位で画像のサイズを表示します。

仮想記憶サイズ RAM（搭載メモリ）および仮想記憶ディスクの使用量と割り当てを表示します。左側の数値は、RAM の使用量と Photoshop Elements に割り当てられている仮想記憶ディスク容量を示します。右側の数値は、Photoshop Elements で画像の格納または仮想記憶ディスクに使用できる RAM の量を示します。

効率 仮想記憶ディスクではなく、メモリを使用している作業の時間比率を表示します。この値が 100 %未満の場合は、Photoshop Elements が仮想記憶ディスクを使用しているため、実装メモリだけを使うときよりも処理速度が遅くなります。

時間 最後の操作を完了するまでにかかった時間を表示します。

現在のツール アクティブなツールの名前を表示します。

関連項目

247 ページの「カラー」

25 ページの「仮想記憶ディスク」

134 ページの「定規とグリッド」

写真編集モードでのメタデータテンプレートの保存または削除

繰り返し入力するメタデータがある場合は、入力するメタデータをメタデータテンプレートに保存できます。テンプレートを使用して情報を入力することにより、ファイル情報ダイアログボックスでメタデータを何度も入力する必要がなくなります。フォトブラウザでメタデータを検索すると、ファイルと写真の保存場所を見つけることができます。

❖ 写真編集モードでファイル情報ダイアログボックスを開き、次のいずれかの操作を行います。

- メタデータをテンプレートとして保存するには、ファイル情報ダイアログボックスの右上にある三角形をクリックし、「メタデータテンプレートの保存」を選択します。テンプレート名を入力して「保存」をクリックします。
- メタデータテンプレートを削除するには、ファイル情報ダイアログボックスの右上にある三角形をクリックし、「メタデータテンプレートの削除」を選択します。削除するテンプレートの名前を選択し、「削除」をクリックします。

注意：メタデータテンプレートの保存先を表示するには、ファイル情報ダイアログボックスの右上にある三角形をクリックし、「テンプレートの表示」を選択します。

関連項目

94 ページの「詳細（メタデータ）による写真の検索」

写真編集モードで保存されたメタデータテンプレートの使用

❖ 写真編集モードでファイル／ファイル情報を選択し、ファイル情報ダイアログボックスの右上にある三角形をクリックして、表示されるメニューの一番上のセクションからテンプレート名を選択します。選択したテンプレートのメタデータによって現在のメタデータが置き換えられます。

注意：テンプレートからメタデータを読み込むには、その前にメタデータテンプレートを保存しておく必要があります。

QR コードの使用

QR コードの作成と管理

写真整理モードで、QR コードを作成および管理することができます。QR コードは、カメラ内蔵の携帯電話で読み取ることができるバーコードです。Photoshop Elements は、テキストベースのメモ、電話帳カード、電子メールメッセージ、および URL などの情報を含む QR コードをサポートします。例えば、ポストカードの署名として QR コードを使用すると、カードを受け取った人が携帯電話を使って差出人の連絡先情報を読み取ることができます。

QR コードが作成されると、Photoshop Elements によって QR コードが自動的にカタログに追加され、QR コードの名札が付けられます。他のアセットと同様に、QR コードを管理し、名札を付けることができます。

QR コードの作成

Photoshop Elements 内で、QR コードを作成、または Photoshop Elements に取り込むことができます。サポートされている電話会社は、DoCoMo、au、および SoftBank です。

1 フォトブラウザで、ファイル／新規／ QR コードを作成を選択します。

2 QR コードの作成ダイアログボックスで、左のリストから QR コードの種類を 1 つ選択します（一度に 1 つの QR コードしか作成できません）。

3 電話会社メニューから、事業者を選択します。

4 表示されるテキストフィールドに情報を入力します。このフィールドにテキストを入力するごとに、QR コードが生成されます。

注意：一部のフィールドでは、1 バイトの文字しか入力できません。

5（オプション）「詳細オプション」をクリックし、バージョン、セルサイズ、および誤り訂正レベルを指定します。

6「保存」をクリックします。

Photoshop Elements によって QR コードが生成され、写真整理モードカタログへ自動的に追加されます。QR コードは、TIFF 形式で保存されます。

QR コードの内容の表示

1 フォトブラウザで、QR コード付きの写真を選択し、ウィンドウ／プロパティを選択します。

2 プロパティダイアログボックスで、「QR コード」ボタンをクリックします。

Photoshop Elements によって、QR コードが個別の画面に表示されます。QR コードビューアは、QR コードが携帯電話にどのように表示されるかを表示します。

注意：Photoshop Elements は、Photoshop Elements で作成された QR コードを解析できます。他のアプリケーションで作成された QR コードを取り込む場合、写真の品質（サイズ、照明、角度、回転など）によっては、Photoshop Elements による QR コードの解析が可能な場合があります。解析できない QR コードは、グラフィックとして取り込まれます。このグラフィックには、QR コードの名札を付けることができます。



Photoshop Elements で QR コードを表示する

ファイルの再リンク

写真整理モードでの見つからないファイルの再リンク

Photoshop Elements を使用しないでファイルの移動、名前変更、削除、または編集を行うと、何らかの操作をしようとしたときに、フォトブラウザのサムネールの上部に、ファイルが見つからないことを示すアイコン を見つけることになります。

注意：ファイルが見つからないことを示すアイコンは、写真整理モードでサムネールを作成できないほど大きなサイズのファイルに対しても表示されることがあります。

Photoshop Elements の初期設定では、見つからないファイルがある場合、自動的にそのファイルの再リンクと名前変更を試みます。見つからないファイルと同じ名前、更新日およびサイズのファイルを検索して、カタログに再リンクします。

自動再リンクを途中で中止し、見つからないファイルを再リンクダイアログボックスを使用して、ファイルを検索することができます。このダイアログは、特定のフォルダ内で見つからないファイルを検索するように Photoshop Elements に指定する場合に便利です。

見つからないファイルが発生することを防ぐために、ファイルを扱う場合は、次の点に注意してください。

- カタログ内のファイルを移動するには、「移動」コマンドを使用します（アイテムを選択し、ファイル／移動を選択します）。
- カタログ内のファイルの名前を変更するには、「ファイル名変更」コマンドを使用します（アイテムを選択し、ファイル／ファイル名変更を選択します）。
- ファイルをコンピュータから削除した場合には、そのアイテムをカタログから削除して、フォトブラウザに表示しないようにします。ファイルをカタログから削除するには、見つからないファイルを再リンクダイアログボックスまたは編集／カタログから削除コマンドを使用します。
- ファイル／[オリジナルアプリケーション名] で編集コマンドを使用して、オリジナルファイルをオリジナルアプリケーションで編集します。このコマンドを設定するには、編集／環境設定／編集を選択して、「追加の編集アプリケーションを使用」を選択し、「参照」をクリックしてアプリケーションを検索して選択します。次に「OK」をクリックします。このコマンドを使用すると、ファイルが見つからないことを示すエラーを発生させずに、ファイル名とファイルタイプを変更できます（BMP から JPEG に変更するなど）。編集が終了したら、必要に応じてサムネールを更新します。

関連項目

114 ページの「写真整理モードでのファイル名の変更」

102 ページの「カタログ内でのファイルの移動」

104 ページの「カタログからのアイテムの削除」

自動再リンクの解除

1 写真整理モードで、編集／環境設定／ファイルを選択します。

2「見つからないファイルを自動的に検索して再リンク」の選択を解除します。

3「OK」をクリックします。

見つからないファイルの再リンク

見つからないファイルは、フォトブラウザでファイルが見つからないことを示すアイコン と一緒に表示されますが、多くの場合、ファイルが見つからないことは、そのファイルのプリント、電子メールでの送信、編集またはファイルへの書き出しを行うなど、実際に使用するまで気づきません。そのような操作を行った時点で見つからないファイルを再リンクダイアログボックスが開かれます。

1 写真整理モードのフォトブラウザまたは日付表示で、次のいずれかの操作を行います。

- フォトブラウザで、ファイルが見つからないことを示すアイコン が表示されているアイテムを選択します。ファイル／再リンク／見つからないファイルを選択します。
- ファイル／再リンク／すべての見つからないファイルを選択します（見つからないアイテムをフォトブラウザで選択する必要はありません）。Photoshop Elements はカタログ内のすべてのアイテムの検証を開始し、完全に一致するものが見つかった場合は、ファイルを再リンクします。

2 完全に一致するものが見つからない場合は、表示されるダイアログボックスで次のいずれかの操作を行います。

- Photoshop Elements が見つからないファイルを検出するまで待機します。いくつかのファイルが見つからず、再リンクできない場合は、見つからないファイルを再リンクダイアログボックスが表示されます。
- 「参照」をクリックして、見つからないファイルを再リンクダイアログボックスを開き、見つからないファイルを手動で検索して再リンクします。
- 「キャンセル」をクリックして検索を中止します。

3 見つからないファイルを再リンクダイアログボックスで、「カタログ内の見つからないファイル」リスト（左側）から見つからないファイルを選択します。連続している複数のファイルを選択するには、Shift キーを押しながら、選択対象の最初と最後のファイルをクリックします。連続していない複数のファイルを選択するには、Ctrl キーを押しながら各ファイルをクリックします。

選択した写真に関する情報がリストの下に表示されます。

4「見つからないファイルを参照」（右側）で、次のいずれかの操作を行います。

- そのファイルに移動するには、「参照」タブをクリックし、最後にわかっていたそのファイルのフォルダの場所を表示します。そのファイルの新しい保存場所に移動します。フォルダまたはドライブを選択して「検索」をクリックし、そのファイルのフォルダまたはディスクを検索します。ファイルが見つかったら、そのファイルを選択し、「再リンク」をクリックします。

注意：「検索」は、ファイルの名前を変更せずに別のフォルダに移動した場合、ファイルを削除していない場合、またはファイルを移動せずに名前だけ変更した場合に有効です。ファイルの名前と場所を変更した場合は、再リンクされなかったファイルとファイル名が異なっていても、Photoshop Elements により更新日とサイズが同じファイルがリストに表示されます。これらの類似するアイテムの検索結果からファイルを選択することができます。

- 選択したファイルの類似アイテムを表示するには、「類似するアイテムを表示」タブをクリックします。ファイルが表示されたら、そのファイルを選択し、「再リンク」をクリックします。
- 選択したアイテムへの参照を削除するには、「カタログから削除」ボタンをクリックします。オリジナルファイルが削除されていて、再リンクするファイルがない場合は、この「カタログから削除」ボタンを使用します。この操作は、アイテムをハードディスクからは削除せずにフォトブラウザから削除する操作と同じです。

注意：見つからないファイルのリストには、再リンクできなかったファイルが残ります。



見つからないファイルの再リンク
A. 古いフォルダの場所から 1 つまたは複数のアイテムを選択する **B.** 類似したアイテムを参照または表示するタブを選択する **C.** 新しい場所に移動し、接続先のファイルを選択する **D.**「再リンク」をクリックする

5「閉じる」ボタンをクリックします。

見つからないファイルを再リンクダイアログボックスを閉じた後でも再リンクできないファイルがある場合、いくつかのファイルが再リンクできない状態にあるというメッセージが表示されます。別のファイルで処理を続行する場合には、「はい」をクリックします。元のアクションを終了する場合には「いいえ」をクリックします。

第 8 章：写真編集モードでの作業

写真編集モードでは、様々な方法でファイルの操作をすることができます。ファイルの種類や、ファイルサイズ／解像度ごとに、表示、保存および書き出しオプションを設定することができます。Camera Raw ファイルを処理して保存することもできます。これらのツールを使用することで、種類が異なるファイルを簡単に結合して Photoshop Elements で最適化することができます。

写真編集モードでは、白紙ファイルを作成したり、最近使用したファイルを開いたり、Photoshop Elements で開くファイルの形式を指定することができます。

また、写真編集モードには、ガイド付き編集機能を使用するためのオプションもあります。ガイド付き編集は、作業の流れや操作方法がわからない場合に役に立ちます。

Photoshop Elements ヘルプのすべての内容を参照するには、「Web 上のページ」をクリックして LiveDocs にアクセスしてください。

写真編集モードでファイルを開く

新規白紙ファイルの作成

Web で使用するグラフィック、バナー、ロゴ、レターヘッドなどを作成する場合は、新規白紙ファイルから作業を開始します。

1 写真編集モードで、ファイル／新規／白紙ファイルを選択します。

2 新しい画像のオプションを入力して、「OK」をクリックします。

ファイル名 新規画像ファイルに名前を付けます。

プリセット プリントしたり、画面に表示する画像の幅、高さ、解像度を設定したりするためのオプションを設定します。クリップボードにコピーしたデータのサイズと解像度を使用する場合は、「クリップボード」を選択します。開いている画像のサイズと解像度を使用する場合は、プリセットメニューの下部からその画像の名前を選択します。

幅、高さ、解像度 幅、高さ、解像度のオプションを個別に設定します。初期設定値には、最後に作成した画像のデータが使用されます。別のデータをクリップボードにコピーしている場合は、それが使用できます。

カラーモード 画像を RGB カラー、グレースケールまたはモノクロ 2 階調に設定します。

カンバスカラー 画像の背景レイヤーのカラーを設定します。「白」が初期設定です。「背景色」を選択すると、現在の背景色（ツールボックスに表示）が使用されます。「透明」を選択すると、初期設定のレイヤーが透明になります。新規画像のレイヤーは、背景レイヤーではなくレイヤー 1 になります。

画像の背景を右クリックして、背景色（グレー、ブラック、またはカスタムカラー）を選択することもできます。

関連項目

325 ページの「プロジェクト」

ファイルを開く

写真編集モードでは、様々なファイル形式で画像を開いたり、取り込んだりすることができます。使用できる形式は、開くダイアログボックス、指定形式で開くダイアログボックス、および読み込みサブメニューに表示されます。

写真整理モードから写真を開くには、フォトブラウザ上で写真を選択し、「写真編集モード」ボタン をクリックして、「スタンダード編集」を選択します。

1 写真編集モードで、ファイル／開くを選択します。

2 開くファイルの場所を検索し、選択します。ファイルが表示されない場合は、ファイルの種類メニューから「すべてのファイル」を選択します。

3「開く」をクリックします。開く画像によってはダイアログボックスが表示され、そのファイル形式に固有のオプションを設定できます。

Photoshop Elements が正しいファイル形式を判別できない場合もあります。例えば、Mac OS® と Windows の間でファイルを転送するときに、ファイル形式のラベル（拡張子）が正しく添付されていない場合などです。このような場合は、ファイルを開くときに正しい形式を指定する必要があります。

関連項目

137 ページの「別のファイル形式での変更内容の保存」

28 ページの「写真整理モードへの写真やビデオの取り込み」

最近使用したファイルを開く

❖ 写真編集モードで、ファイル／最近編集したファイルを開くを選択し、サブメニューからファイルを選択します。

注意：「最近編集したファイル」サブメニューに表示するファイルの数を指定するには、編集／環境設定／ファイルの保存を選択し、「最後に使用したファイルのリスト」テキストボックスに数を入力します。

ファイルを開く形式の指定

❖ ファイル／指定形式で開くを選択し、開くファイルを選択します。次に、指定形式で開くメニューから目的の形式を選択し、「開く」ボタンをクリックします。

重要：ファイルが開かない場合は、選択した形式が間違っているか、ファイルが破損している可能性があります。

Photoshop Elements で開くファイルの形式の指定

ファイル関連付けマネージャを使用して、ファイルのアイコンをダブルクリックすると Photoshop Elements で開くことができるファイル形式を指定することができます。

1 編集／ファイル関連付けを選択します。

2 次のいずれかの操作を行って、Photoshop Elements で開くファイルの形式を選択します。

- ファイル形式名の横にあるボックスをクリックして、そのファイル形式を追加します。ファイル形式が選択されると、横のボックスにチェックマークが表示されます。
- 「初期設定」ボタンをクリックすると、Photoshop Elements が推奨するファイル形式が選択されます。初期設定は、コンピュータにインストールされている他のアプリケーションによっては異なる可能性があります。例えば、Adobe® Acrobat® がインストールされている場合には、初期設定で PDF ファイルを開くのは、Photoshop Elements ではなく Acrobat です。
- 「すべてを選択」ボタンをクリックすると、Photoshop Elements で使用可能なすべての形式のファイルを開くように設定されます。
- リストにあるどの形式のファイルも Photoshop Elements で開かないようにする場合は、「すべてを選択解除」をクリックします。この場合、コンピュータに保存されている画像ファイルを Photoshop Elements で開くには、「開く」コマンドを使用する必要があります。

PDF ファイルを開く

Portable Document Format（PDF）は、ベクトルとビットマップのどちらのデータも表示できるファイル形式です。ドキュメントの検索やナビゲーション機能が組み込まれているため、幅広い用途に使用されています。PDF は、主に Adobe® Acrobat® で使用される形式です。

PDF の読み込みダイアログボックスを使用すると、複数ページの PDF ファイルに含まれるページと画像をプレビューしてから、それらを写真編集モードで開くかどうかを決定できます。すべてのページ（テキストとグラフィックを含む）の取り込みを選択することも、画像だけを PDF ファイルから取り込むこともできます。画像だけを取り込む場合は、画像の結果、サイズ、およびカラーモードは変更されません。ページを取り込む場合は、解像度とカラーモードを変更できます。

各ページがサムネールに表示されます。サイズを大きくするには、サムネールサイズメニューからオプションを選択します。



PDF ファイルからのページの取り込み

1 写真編集モードで、ファイル／開くを選択します。

2 ファイル名を選択して「開く」ボタンをクリックします。ファイルの種類メニューからオプションを選択することにより、表示するファイルの形式を変更できます。

3 画像だけを PDF ファイルから取り込むには、PDF の読み込みダイアログボックスの選択メニューから「画像」を選択します。開く画像を選択します（複数の画像を選択するには、Ctrl キーを押しながら各画像をクリックします）。

4 PDF ファイルからページを取り込むには、選択メニューから「ページ」を選択し、次のいずれかの操作を行います。

- ファイルに複数のページが含まれている場合は、開くページを選択し「OK」をクリックします（複数のページを選択するには、Ctrl キーを押しながら各ページをクリックします）。
- 「ページオプション」で、既存の名前を使用するか、新しいファイル名を「保存名」テキストボックスに入力します。
- モードメニューからオプションを選択します（写真の色を保持するには「RGB カラー」、自動的に黒と白にするには「グレースケール」）。ファイルに ICC（International Color Consortium）プロファイルが埋め込まれている場合は、メニューからプロファイルを選択できます。
- 「解像度」で、初期設定（300 ppi）を使用するか、新しい値を入力します。解像度が高いと、ファイルサイズが大きくなります。
- 「アンチエイリアス」を選択して、画像のラスタライズ（ビットマップ処理）時に縁がギザギザに表示されるのを最小限に抑えます。

5 取り込み時にエラーメニューを非表示にするには、「警告を非表示」を選択します。

6 「OK」をクリックしてファイルを開きます。

EPS ファイルを開く

Encapsulated PostScript®（EPS）形式のファイルは、ベクトルデータとビットマップデータの両方のデータを扱うことができ、ほとんどのグラフィックアプリケーション、イラスト作成アプリケーション、DTP アプリケーションでサポートされています。Adobe アプリケーションでは、EPS 形式を生成する代表的なソフトウェアとして Adobe Illustrator® があります。写真編集モードでベクトルデータが含まれている EPS ファイルを開くと、そのファイルはビットマップデータへラスタライズ（変換処理）されます。具体的には、ベクトルデータとして数学的に定義された直線や曲線が、ビットマップデータのピクセルやビットに変換されます。写真整理モードは EPS ファイルをサポートしていませんので、開くことはできません。

1 写真編集モードで、ファイル／開くを選択します。

2 目的のファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。

3 画像サイズ、解像度およびモードを指定します。高さと幅の比率を保持するには、「縦横比を固定」を選択します。

4 縁がギザギザに表示されるのを最小限に抑えるために「アンチエイリアス」を選択し、「OK」をクリックします。

アンチエイリアス処理では、オブジェクトの縁を背景に溶け込ませて、滑らかな縁のオブジェクトを生成します。

また、配置コマンドとペーストコマンドを使用して、PostScript アートワークを Photoshop Elements に取り込むこともできます。

新規レイヤーへの PDF、Adobe Illustrator または EPS のファイルの配置

PDF、Adobe® Illustrator® または EPS のファイルを画像の新規レイヤーに配置することができます。新規レイヤーに配置したアートワークはラスタライズ（ビットマップへの変換処理）されるため、それに含まれるテキストやベクトルデータは編集することができません。画像はペースト先ファイルの解像度を使用してラスタライズされることに注意してください。

1 写真編集モードで、アートワークを配置する画像を開きます。

2 ファイル／配置を選択し、画像に配置するファイルを選択して「配置」をクリックします。

3 複数のページが含まれている PDF ファイルを配置する場合は、配置先のページをダイアログボックスで選択し、「OK」をクリックします。

配置したアートワークは、Photoshop Elements のカンバス中心にあるバウンディングボックス（画像の境界線を囲む四角形）内に表示されます。アートワークが Photoshop Elements のカンバスよりも大きい場合は、アートワークの縦横比を維持しながらカンバスに合わせてサイズが変更されます。

4 必要に応じて、配置したアートワークのバウンディングボックス内でアートワークをドラッグして位置を変更します。

5 必要に応じて、次の操作を行ってアートワークを拡大または縮小します。

- バウンディングボックスのコーナーハンドルまたはサイドハンドルの 1 つをドラッグします。縦横比を固定したままサイズを変更するには、Shift キーを押しながらコーナーハンドルをドラッグします。
- オプションバーの「W」と「H」に値を入力し、アートワークの幅と高さを指定します。初期設定では、これらのオプションの比率はパーセント値で表示されますが、その他の単位（in（インチ）、cm（センチ）、または px（ピクセル））で指定することもできます。アートワークの縦横比を固定するには、「縦横比を固定」ボックスをクリックします。このオプションが有効な場合は、アイコンの背景が白抜き（Windows）になります。

6 必要に応じて、次の操作を行ってアートワークを回転します。

- アートワークのバウンディングボックスの外側にポインタを置き、ポインタがカーブした矢印に変わったらドラッグします。
- オプションバーで、回転オプション に値（角度）を入力します。

7 必要に応じて、Ctrl キーを押しながらバウンディングボックスのサイドハンドルをドラッグして配置したアートワークをゆがめます。

8 オプションバーで「アンチエイリアス」オプションを設定します。ラスタライズしたときにピクセルを滑らかにするには、「アンチエイリアス」オプションを選択します。ラスタライズしたときに縁をはっきりさせるには、「アンチエイリアス」オプションの選択を解除します。

9 アートワークを新しいレイヤー上に確定するには、次のいずれかの操作を行います。

- 確定ボタン をクリックします。
- Enter キーを押します。

配置をキャンセルするには、キャンセルボタン をクリックするか、Esc キーを押します。

複数ファイルのバッチ処理

複数のファイルをバッチ処理コマンドは、複数のファイルに同じ設定を適用することができます。デジタルカメラやドキュメントフィーダの付いたスキャナをお持ちの場合は、複数の画像を読み込み、処理することもできます（スキャナやデジタルカメラには、アクションをサポートする対応プラグインモジュールが必要な場合もあります）。

ファイルの処理では、すべてのファイルを開いた状態または閉じた状態のままにしたり、元のファイルに加えられた変更を保存することができます。また、元のファイルを変更することなく、修正したファイルのバージョンだけを新しい場所に保存することもできます。処理済みのファイルを新しい場所に保存する場合は、処理済みファイル用の新しいフォルダを作成してから、バッチ処理を開始します。

注意：「複数ファイルをバッチ処理」コマンドは、複数ページのファイルには機能しません。

1 ファイル／複数ファイルをバッチ処理を選択します。

2 処理するファイルの読み込み元メニューから処理するファイルを選択します。

フォルダ 指定したフォルダ内のファイルを処理します。次に、「参照」をクリックしてフォルダを検索し、選択します。

読み込み デジタルカメラまたはスキャナの画像を処理します。

開いたファイル すべての開いているファイルを処理します。

3 指定したフォルダのサブフォルダにあるファイルも処理する場合は、「サブフォルダをすべて含める」を選択します。

4「保存先」では、「参照」をクリックして、処理したファイルの保存先のフォルダを選択します。

5 保存先にフォルダを指定したら、ファイルの命名規則を指定し、処理済みファイルに対する互換性オプションを選択します。

- 「ファイル名の変更」では、ポップアップメニューからオプションを選択するか、またはテキストをフィールドに入力して、すべてのファイルの初期設定の名前と組み合わせます。フィールドでは、ファイル名の各部の順番や書式を変更することができます。相互に上書きされないよう、各ファイルに固有のフィールドを少なくとも 1 つ（ドキュメントの名前、シリアル番号、シリアル文字など）を使用します。「シリアルの開始番号」には、開始したい任意の番号を指定します（1 から始める必要はありません）。ポップアップメニューから「シリアル文字」を選択した場合には、常に文字「A」または「a」で始まります。
- 「互換性」では、「Windows」、「Mac OS」および「Unix®」を選択して、各オペレーティングシステムとファイル名に互換性を持たせます。

6「画像解像度」では、処理済みの各ファイルを統一したサイズに変更する場合には「画像のサイズ変更」を選択します。次に、写真の幅と高さを入力し、解像度メニューからオプションを選択します（幅と高さの比率を保持するには、「縦横比を固定」を選択します）。

7 画像に自動補正を適用するには、クイック補正パネルからオプションを選択します。

8 画像にラベルを付けるには、ラベルメニューからオプションを選択し、テキスト、テキストの位置、フォント、サイズ、不透明度およびカラーをカスタマイズします（テキストのカラーを変更するには、カラースウォッチをクリックし、カラーピッカーから新しいカラーを選択します）。

9「ファイル処理により発生したエラーログファイルを生成」を選択すると、処理を停止せずにファイルに各エラーを記録することができます。エラーをファイルにログ出力する場合、メッセージは処理後に表示されます。エラーログファイルの内容を確認するには、「バッチ」コマンド終了後にエラーログファイルをテキストエディタで開きます。

10 ファイルを処理して保存するには「OK」をクリックします。

ファイルを閉じる

1 次のいずれかの操作を行います。

- ファイル／閉じるを選択します。
- ファイル／すべてを閉じるを選択します。

2 ファイルを保存するかどうかを選択します。

- ファイルを保存するには、「はい」をクリックします。

• ファイルを保存せずに閉じるには、「いいえ」をクリックします。

画像の表示

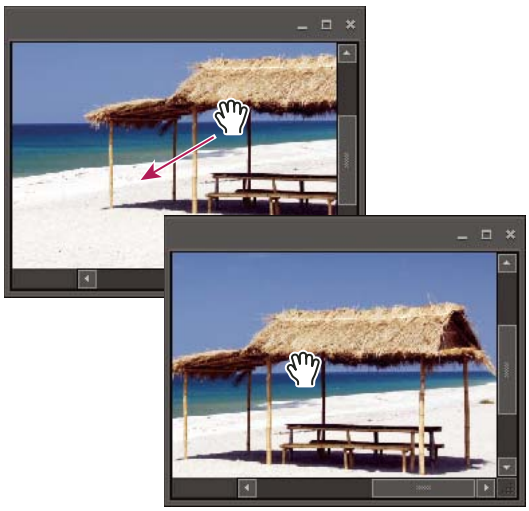
スタンダード編集またはクイック補正での画像の表示

スタンダード編集またはクイック補正では、手のひらツール、ズームツール、「ズーム」コマンドやナビゲータパレットを使用して、画像の様々な部分を倍率を変えて表示できます。ドキュメントウィンドウは、画像を表示するウィンドウです。別のウィンドウを開いて、画像を複数のビュー（異なる倍率のビューなど）で一度に表示することもできます。

ビューは様々な方法で拡大縮小できます。ズーム率は、ドキュメントウィンドウのタイトルバー（ウィンドウが小さすぎる場合を除きます）に表示されます。

画像の別の部分を表示する場合は、ウィンドウのスクロールバーを使用するか、手のひらツールを選択して画像を目的の方向にドラッグします。ナビゲータパレットを使用することもできます。

他のツールが選択されているときに手のひらツールを使用するには、スペースバーを押しながら画像内をドラッグします。



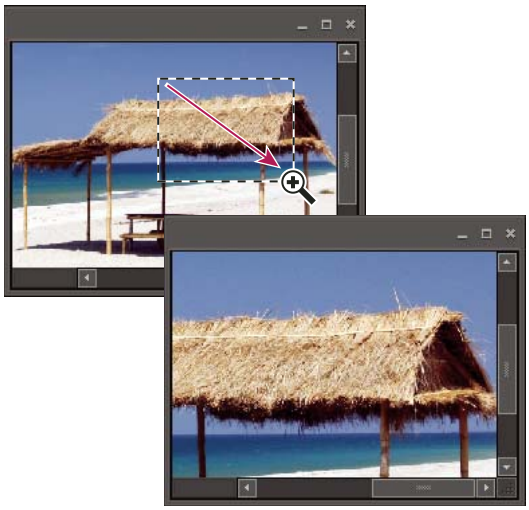
手のひらツールをドラッグして画像の別の部分を表示

ズームインまたはズームアウト

❖ スタンダード編集で、次のいずれかの操作を行います。

• ズームツールを選択し、オプションバーのズームインボタンまたはズームアウトボタンをクリックします。拡大または縮小する範囲をクリックします。クリックするたびに、クリックした部分を中心に画像が一定の率で拡大または縮小されます。倍率を最大の 3200 %に拡大するか、最小の 1 ピクセルに縮小すると、虫めがねのプラス記号またはマイナス記号が消えます。

注意：拡大する画像部分の上でズームツールをドラッグすることもできます。ツールバーでズームインボタンが選択されていることを確認します。画像の周囲の選択範囲を移動するには、選択範囲のドラッグを開始してからスペースバーを押し、押したままで選択範囲を移動先までドラッグします。



ズームツールをドラッグして画像のビューを拡大

- （スタンダード編集）ナビゲータパレットのズームインボタン またはズームアウトボタン をクリックします。
- ビュー／ズームインまたはビュー／ズームアウトを選択します。
- （スタンダード編集）ナビゲータパレットの「ズーム」テキストボックスに、必要な倍率を入力します。または画像ウィンドウの左下隅にあるズームボックスに必要な倍率を入力します。

ズームツールを使用するときには、Alt キーを押して、ズームインとズームアウトを切り替えます。

100 %での画像の表示

❖ スタンダード編集で、次のいずれかの操作を行います。

- ツールボックスのズームツール をダブルクリックします。
- ズームツールまたは手のひらツールを選択し、オプションバーの「1 ：1」ボタンをクリックします。
- ビュー／ピクセル等倍を選択するか、画像を右クリックして「ピクセル等倍」または「1 ：1」を選択します。
- ステータスバーに「100 %」と入力し、Enter キーを押します。

画像を画面サイズに合わせる

❖ スタンダード編集で、次のいずれかの操作を行います。

- ツールボックスの手のひらツール をダブルクリックします。
- ズームツールまたは手のひらツールを選択し、オプションバーの「画面サイズ」ボタンをクリックします。または、画像を右クリックして「画面サイズに合わせる」を選択します。
- ビュー／画面サイズに合わせるを選択します。

これらのオプションでは、ズーム率とウィンドウサイズが画面領域に合わせて調整されます。

ズーム時のウィンドウのサイズの変更

❖ ズームツールをアクティブにして、オプションバーの「ウィンドウサイズを変更」を選択します。ビューを拡大または縮小すると、ビューに合わせてウィンドウサイズが変わります。

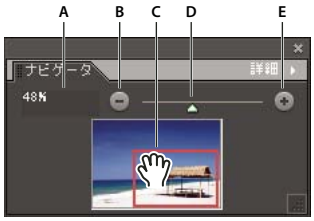
「ウィンドウサイズを変更」が選択されていない場合は、画像を拡大または縮小してもウィンドウサイズは変わりません。ウィンドウサイズを一定に保つと、小さなモニタを使用している場合や、画像を分割して作業している場合に便利です。

注意：ショートカットキーを使用して画像表示の縮小や拡大を行うときに、ウィンドウのサイズ変更を自動的に行うには、写真編集モードで、編集／環境設定／一般を選択して、「ズームでウィンドウのサイズを変更」設定を選択して「OK」をクリックします。

ナビゲータパレットの使用

ナビゲータパレットを使用すると、画像の倍率と表示範囲を調整できます。テキストボックスに値を入力するか、ズームアウトボタンまたはズームインボタンをクリックするか、ズームスライダをドラッグすると、倍率が変わります。画像の表示範囲を移動するには、ナビゲータパレット内で、サムネールの表示ボックスをドラッグします。表示ボックスは、画像ウィンドウの境界線を表します。ナビゲータパレット内で、サムネールをクリックして表示範囲を指定することもできます。

注意：表示ボックスのカラーを変更するには、ナビゲータパレットメニューから「パレットオプション」を選択します。カラーメニューからカラーを選択するか、スウォッチをクリックしてカラーピッカーを開き、カラーを選択します。「OK」をクリックします。



ナビゲータパレット
A.「ズーム」テキストボックス **B.** ズームアウト **C.** 表示ボックスをドラッグして表示を移動 **D.** ズームスライダ **E.** ズームイン

関連項目

132 ページの「画像を画面サイズに合わせる」

同じ画像で複数のウィンドウを開く

スタンダード編集では、複数のウィンドウを開いて、同じファイルの様々なビューを表示できます。開いているウィンドウの一覧がウインドウメニューに表示され、開いている各画像のサムネールがプロジェクトエリアに表示されます。空きメモリ容量によっては、1 つの画像で開くことのできるウィンドウの数が制限されることもあります。

❖ ビュー／ [画像ファイル名] の新規ウィンドウを選択します。最初に開いたウィンドウの位置によっては、両方のウィンドウを同時に見ることができるように 2 番目に開いたウィンドウの位置をずらすことが必要になる場合があります。

拡大または縮小した画像で作業をしているときに「新規ウィンドウ」コマンドを使用して、100 %サイズでは画像がどのように見えるかを別のウィンドウで確認できます。

複数のウィンドウの表示および配置

❖ スタンダード編集で、次のいずれかの操作を行います。

- 画面の左上から右下に向かって各ウィンドウを順番に重ねて表示するには、ウィンドウ／アレンジ／重ねて表示を選択します。
- 各ウィンドウを並べて表示するには、ウィンドウ／アレンジ／並べて表示を選択します。一部の画像を閉じると、他の開いているウィンドウのサイズが、画面の表示可能な領域に合わせて調整されます。
- すべての開いている画像をアクティブな画像と同じ倍率で表示するには、ウインドウ／アレンジ／表示サイズを一致を選択します。
- すべての開いている写真の同じ部分（右上、中央、右下など）を表示するには、ウインドウ／アレンジ／位置を一致を選択します。現在選択している（もしくは前面の）画像の表示に合わせて、開いている写真のウィンドウの表示範囲が調整されます。ズームレベルは変更されません。

ウィンドウを閉じる

❖ スタンダード編集で、次のいずれかの操作を行います。

- ファイル／閉じるを選択してアクティブなウィンドウを閉じます。
- アクティブなウィンドウのタイトルバーにある閉じるボタン をクリックします。
- プロジェクトエリアのサムネールを右クリックし、「閉じる」を選択します。
- ファイル／すべてを閉じるを選択すると、すべてのウィンドウが閉じます。

定規とグリッド

定規とグリッド

スタンダード編集では、定規やグリッドを使用して、アイテム（選択範囲、レイヤー、シェイプなど）を画像の横方向や縦方向に正確に配置できます。クイック補正では、グリッドのみ使用できます。

定規は、アクティブなウィンドウの上部と左側に表示されます。定規内のマーカーは、画像内のポインタの位置を表します。定規の原点（上部と左側の定規の（0、0）マーク）を変更すると、画像の特定のポイントから測定できます。定規の原点を変更すると、グリッドの原点も変更されます。

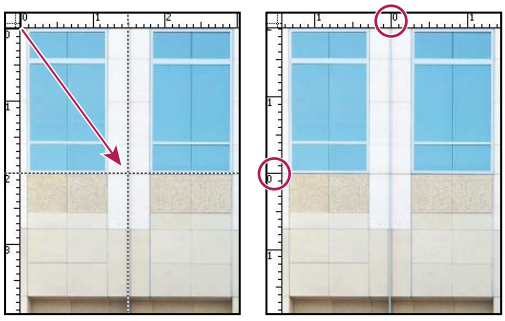
ビューメニューを使用して、定規（スタンダード編集のみ）とグリッドの表示と非表示、グリッドへのアイテムのスナップのオンとオフを切り替えます。

定規の原点と設定の変更

❖ スタンダード編集で、次のいずれかの操作を行います。

- 定規の原点を変更するには、ウィンドウの左上にある定規の交差点の上にポインタを置いて、右下方向にドラッグします。十字線が表示され、定規の新しい原点が示されます。マウスボタンを放した位置に新しい原点が設定されます。

注意：定規の原点を初期設定に戻すには、定規の左上のボックスをダブルクリックします。



ドラッグによる定規の新しい原点の作成

- 定規の設定を変更するには、定規をダブルクリックするか、編集／環境設定／単位・定規を選択します。「定規」で、定規の単位を選択します。「コラムの大きさ」で、「幅」と「余白」の値を入力します。「OK」をクリックします。

一部の DTP アプリケーションでは、コラム幅の設定を使用して画像の横方向の表示位置を指定します。このコラム幅の設定はイメージ／サイズ変更の「画像解像度」と「カンバスサイズ」コマンドでも使用します。

注意：情報パレットで単位を変更すると、定規の単位も自動的に変更されます。

関連項目

120 ページの「写真編集モードでの情報パレットの使用」

222 ページの「カンバスのサイズの変更」

226 ページの「再サンプルを行わないプリントサイズと解像度の変更」

グリッド設定の変更

1 写真編集モードのスタンダード編集またはクイック補正で、編集／環境設定／グリッドを選択します。

2「色」では、ポップアップメニューから既定のカラーを選択するか、スウォッチをクリックしてカスタムカラーを選択します。

3「スタイル」では、グリッド線の種類を選択します。実線を使用する場合は「実線」を選択し、破線を使用する場合は「破線」または「点線」を選択します。

4「グリッド線」では、数値を入力してから単位を選択し、グリッドの間隔を定義します。

5「分割数」には数値を入力し、グリッド線の分割数を定義して、「OK」をクリックします。

画像の保存と書き出し

画像の保存とファイル形式

画像を編集した後、その画像を保存しないと編集内容は失われます。すべての画像データが保持されるように、通常の画像は Photoshop（PSD）形式で保存します。複数ページの作品は、常に Photo Creations（PSE）形式で保存されます。これらの形式は画像データを圧縮しません。

通常デジタルカメラの写真は JPEG 形式で保存されますが、写真の共有や Web ページ上で使用する目的で保存する場合以外は、JPEG 形式で保存し直すより PSD 形式で保存することをお勧めします。JPEG 形式で保存すると、保存のたびに画像データが圧縮されるので、データの一部が失われる可能性があります。数回 JPEG 形式でファイルを保存すると、画質の低下に気付くことがあります。ただし、PSD 形式で保存するとファイルが圧縮されないため、ファイルサイズが大幅に増加します。

Photoshop Elements では、使用方法に応じていくつかのファイル形式で画像を保存できます。Web 画像の場合は、「Web 用に保存」コマンドを使用すると、画像を Web 用に最適化するための様々なオプションを設定することができます。複数の画像を同じファイル形式、サイズおよび解像度に変換する必要がある場合は、「複数ファイルをバッチ処理」コマンドを使用します。

関連項目

357 ページの「Web 用に保存ダイアログボックスの使用」

130 ページの「複数ファイルのバッチ処理」

保存用ファイル形式

Photoshop Elements では、次のファイル形式で画像を保存できます。

BMP 標準の Windows 画像ファイル形式です。BMP オプションダイアログボックスで、Windows 標準または OS/2 のどちらかの形式と、画像のビット数（深さ）を指定できます。Windows 形式を使用した 4 ビットと 8 ビットの画像には、RLE 圧縮も指定できます。

CompuServe GIF（Graphics Interchange Format） 一般的に、Web ページでグラフィックやアニメーションを表示するのに使用される形式です。GIF は、圧縮形式の 1 つであり、ファイルサイズを最小化し、転送時間を最短化することを目的としています。GIF では、8 ビットカラー画像（256 色以下）のみをサポートします。「Web 用に保存」コマンドを使用して、画像を GIF ファイルとして保存することもできます

JPEG（Joint Photographic Experts Group）写真の保存に使用されます。JPEG 形式では画像のカラー情報はすべて保持されますが、一部のデータが破棄されることによってファイルサイズが圧縮されます。圧縮のレベルは選択することができます。圧縮レベルが高いと画質は悪くなりますが、ファイルサイズは小さくなります。圧縮レベルが低いと画質は良くなりますが、ファイルサイズは大きくなります。JPEG は、Web で画像を表示するのに一般的に使用される標準形式です。

JPEG 2000 JPEG よりも圧縮率、画質、カラーマネジメント、メタデータの取り扱い機能が強化されています。JPEG 2000 形式は、レイヤー画像の透明部分をサポートし、保存された選択範囲を保持します。Photoshop Elements は、標準 JPEG 2000（JP2）形式よりも機能強化された拡張 JPEG 2000（JPF）形式で画像を保存します。JPEG 2000 ダイアログボックスで、ファイルを JP2 互換形式にすることができます。

PCX 様々なプラットフォームで広くサポートされているビットマップ形式です。

Photoshop（PSD）標準の画像用 Photoshop Elements 形式です。この形式で編集した画像の作業内容を保存したり、単一ページのファイルに画像データやレイヤーを保持することをお勧めします。

Photo Creations 形式（PSE）標準の複数ページ作品用の Photoshop Elements 形式です。この形式で写真作品の作業内容を保存したり、複数ページのファイルに画像データやレイヤーを保持することをお勧めします。

Photoshop PDF（Portable Document Format）様々なプラットフォームやアプリケーションで使用できるファイル形式です。PDF ファイルでは、フォント、ページレイアウト、ベクトル画像およびビットマップ画像が正確に表示され、保持されます。

注意：PDP ファイルは Adobe Photoshop® で開き、PDF ファイルは Acrobat で開くことを除けば、PDF と PDP に違いはありません。

Photoshop EPS（Encapsulated PostScript）Photoshop で作成したファイルをイラストおよびページレイアウトアプリケーションで共有するのに使用される形式です。EPS 画像を含むドキュメントは、ポストスクリプト対応プリンタに出力すると最良の出力結果を得られます。

PICT Mac OS® のグラフィックおよびページレイアウトアプリケーション間で画像を転送するのに使用される形式です。PICT 形式は、単一色の範囲が大きい画像の圧縮に特に効果的です。

RGB 画像を PICT 形式で保存する場合、16 ビットまたは 32 ビットのピクセル解像度を選択できます。グレースケールの画像では、1 ピクセルにつき 2 ビット、4 ビット、または 8 ビットの中から選択できます。

Pixar Pixar イメージコンピュータとのファイル交換に使用される形式です。Pixar ワークステーションは、3 次元の画像やアニメーションで使用されるような、ハイエンドのグラフィックアプリケーション向けに設計されています。Pixar 形式では、RGB 画像とグレースケール画像がサポートされます。

PNG（Portable Network Graphics）可逆圧縮や Web での画像の表示に使用される形式です。GIF とは異なり、PNG では 24 ビットの画像がサポートされ、ギザギザしたエッジのない透明部分が背景として生成されます。ただし、一部の Web ブラウザは PNG 画像をサポートしていません。PNG では、グレースケール画像と RGB 画像の透明部分は保持されます。

汎用フォーマット 異なるアプリケーション間やプラットフォーム間でファイルの読み込みや書き出しを行うとき、他の形式が使用できない場合に使用される形式です。

Scitex CT プリプレス業界で使用される形式です。

TGA（Targa）Truevision のビデオボードを使用するシステム向けに開発された形式です。RGB 画像を Targa 形式で保存する場合、色数（1 ピクセルにつき 16 ビット、24 ビットまたは 32 ビット）と RLE 圧縮を選択できます。

TIFF（Tagged Image File Format）異なるアプリケーション間やプラットフォーム間でのファイル交換に使用される形式です。TIFF は、ほとんどのペイントアプリケーション、画像編集アプリケーションや DTP アプリケーションでサポートされているビットマップ画像形式です。大半のデスクトップスキャナで TIFF 画像を作成できます。

さらに、Photoshop Elements では、様々な古い形式の画像を開くことができます（PS 2.0、Pixel Paint、Alias Pix、IFF 形式、Portable Bit Map、SGI RGB、Soft Image、Wavefront RLA、ElectricImage）。

関連項目

358 ページの「Web 用に最適化されたファイル形式」

別のファイル形式での変更内容の保存

保存形式、保存したファイルをフォトブラウザのカタログに追加するかどうか、また画像内のレイヤーを保持するかどうかなど、画像ファイルの保存オプションを設定できます。選択した形式に応じて、他のオプションも設定できるようになります。

関連項目

141 ページの「ファイル保存の環境設定」

364 ページの「Web 画像の透明ピクセルとマット処理」

359 ページの「JPEG 形式」

358 ページの「Web 用に最適化されたファイル形式」

359 ページの「GIF 形式」

251 ページの「画像のインデックスカラーへの変換」

360 ページの「PNG-8 形式」

360 ページの「PNG-24 形式」

ファイル保存オプションの変更

1 写真編集モード で、ファイル／保存を選択します。

2 ファイル名や形式などのファイル保存オプションを変更するには、ファイル／別名で保存を選択し、次のいずれかのファイル保存オプションを設定して、「保存」をクリックします。

注意：ファイル形式によっては、他のオプションも設定できるダイアログボックスが表示されます。

ファイル名 保存した画像のファイル名を指定します。

ファイル形式 保存する画像のファイル形式を指定します。

写真整理モードに含める フォトブラウザで表示されるように、保存するファイルをカタログに含めます。写真編集モードでサポートされているファイル形式のうち、いくつかは写真整理モードではサポートされていません。EPS のように、写真整理モードではサポートされていないファイル形式でファイルを保存した場合、このオプションは利用できません。

オリジナルと一緒にバージョンセットで保存 ファイルを保存し、構成された画像の様々なバージョンを保持できるように、フォトブラウザのバージョンセットに追加します（109 ページの「バージョンセット」を参照してください）。このオプションは、「写真整理モードに含める」が選択されていない場合は利用できません。

レイヤー 画像のすべてのレイヤーを保持したまま保存します。背景だけの画像の場合は、このオプションはグレー表示され、選択できません。警告アイコン が「レイヤー」チェックボックスの横に表示されている場合、画像内のレイヤーは、選択したファイル形式に従って結合または統合されます。一部の形式では、すべてのレイヤーが統合されます。レイヤーを保持するには、別の形式を選択してください。

複製を保存 画面に現在のファイルが開いたままの状態で、ファイルのコピーが別に保存されます。コピーは、現在開いているファイルと同じフォルダ内に保存されます。

ICC プロファイル 保存するファイル形式に応じて、画像内にカラープロファイルを埋め込みます。

サムネール ファイルのサムネールデータを保存します。このオプションを使用できるのは、ファイルの保存環境設定で「プレビュー画像」オプションを「保存時に確認」に設定したときだけです。

小文字の拡張子を使用 ファイルの拡張子を小文字にします。

注意：ネットワークおよびインターネットを経由した情報の送信には、UNIX ファイルサーバが使用されることが多くあります。一部の UNIX ファイルサーバでは、大文字の拡張子が認識されません。画像が送信先に正しく届くようにするには、小文字の拡張子を使用することをお勧めします。

GIF 形式でのファイルの保存

1 写真編集モード で、ファイル／別名で保存を選択します。

2 ファイル名と保存場所を指定し、ファイル形式メニューから「CompuServe GIF」を選択します。

指定したディレクトリに画像のコピーが保存されます（既にインデックスカラーモードになっていない限り）。

3 アニメーション GIF を作成する場合は、「レイヤーをフレームとして保存」オプションを選択します。アニメーション GIF では、完成したファイルの各レイヤーが単一フレームとして機能します。

4「保存」をクリックします。元画像が RGB 画像である場合は、インデックスカラーダイアログボックスが表示されます。

5 必要に応じて、インデックスカラーダイアログボックスでインデックスカラーのオプションを指定し、「OK」をクリックします。

6 GIF オプションダイアログボックスの「描画方法」セクションで次のいずれかのオプションを選択し、「OK」をクリックします。

標準 ダウンロードが完了したときに初めて画像をブラウザに表示します。

インターレース 画像ファイルが完全にダウンロードされるまでの間、ブラウザに画像のディテールを徐々に表示します。インターレースによりダウンロード時間は短くなるように感じられますが、インターレースによりファイルサイズは大きくなります。

JPEG 形式でのファイルの保存

1 写真編集モード で、ファイル／別名で保存を選択し、ファイル形式のリストから「JPEG」を選択します。

注意：インデックスカラーおよびモノクロ 2 階調モードの画像を JPEG 形式で保存することはできません。

2 ファイル名と保存場所を指定し、ファイル保存オプションを選択して、「保存」をクリックします。

JPEG オプションダイアログボックスが表示されます。

3 画像に透明部分が含まれる場合は、背景の透明部分が再現されるようにマットカラーを選択します。

4 画質メニューからオプションを選択するか、画質スライダをドラッグするか、1 ～ 12 の値を入力して、画像圧縮率および画質を指定します。

5 形式のオプションを選択します。

ベースライン（標準）ほとんどの Web ブラウザが認識できる形式を使用します。

ベースライン（最適化）画像のカラー画質を最適化し、ファイルサイズを多少小さくします。このオプションは、一部の Web ブラウザではサポートされません。

プログレッシブ ダウンロードされるときに、Web ブラウザにディテールが徐々に表示される画像を作成します。プログレッシブの JPEG ファイルはサイズが多少大きくなるので、表示するためにより多くのメモリが必要です。また、一部の Web ブラウザではサポートされません。

6 画像の推定ダウンロード時間を表示するには、サイズポップアップメニューから転送速度を選択します（サイズのプレビューを使用できるのは、「プレビュー」を選択したときだけです）。

注意：Java アプリケーションで JPEG ファイルを読み込めない場合は、その JPEG ファイルをサムネールプレビューなしで保存してください。

7「OK」をクリックします。

JPEG 2000 形式でのファイルの保存

1 写真編集モード で、ファイル／別名で保存を選択し、ファイル形式のリストから「JPEG 2000」を選択します。

注意：インデックスカラーおよびモノクロ 2 階調モードの画像を JPEG 2000 形式で保存することはできません。

2 ファイル名と保存場所を指定し、保存オプションを選択して「保存」をクリックします。

3 JPEG 2000 ダイアログボックスで、次のファイルオプションを指定します。

ファイルサイズ 保存するファイルの目標サイズを設定します。このオプションは、「劣化なし」または「高速モード」を選択した場合は使用できません。

劣化なし 画質を低下させることなく画像を圧縮します。このオプションを選択すると、ファイルのサイズが大きくなります。

高速モード 最適化プロセスの負荷を軽減することにより、ファイルの保存を高速化します。このオプションを選択すると、ファイルのサイズが大きくなる場合があります。

画質「劣化なし」が選択されていない場合に、ファイル圧縮率と画質を指定します。値が高いほど画質は良くなりますが、ファイルサイズも大きくなります。

メタデータを含める ファイル情報ダイアログボックスで入力した著作権情報を追加し、保存した選択範囲の名前を保存します。

透明部分を含める 元画像の透明部分のサポートを保持します。その画像が透明部分をサポートしていなければ、このオプションは選択できません。

JP2 互換 標準 JPEG 2000（JP2）形式をサポートし、拡張 JPEG 2000（JPX）形式をサポートしないブラウザで表示可能なファイルを作成します。

4「画像の表示方法」で、画像が Web ブラウザに最初に表示される方法を指定します。

徐々に大きく 小さいサムネール画像が徐々に大きくなり、最終的にフルサイズの画像になります。

プログレッシブ ダウンロードされるとき、Web ブラウザに画像のディテールが徐々に表示されます。プログレッシブの JPEG 画像ファイルはサイズが多少大きくなるので、表示するためにより多くのメモリが必要です。また、一部の Web ブラウザではサポートされません。このオプションは、「高速モード」を選択している場合は使用できません。

グレースケール 画像は最初にグレースケールで Web ブラウザにダウンロードされてから、カラー画像になります。

5 画像の推定ダウンロード時間を表示するには、ダウンロード速度メニューから速度を選択し、「プレビュー」をクリックします。

6「OK」をクリックします。

Photoshop EPS 形式でのファイルの保存

1 写真編集モード で、ファイル／別名で保存を選択し、ファイル形式のリストから「Photoshop EPS」を選択します。

2 ファイル名と保存場所を指定し、ファイル保存オプションを選択して、「保存」をクリックします。

3 EPS オプションダイアログボックスで、オプションを選択します。

- 「プレビュー」では、表示画質を向上するには「TIFF（8 bit/pixel）」を選択し、ファイルサイズを小さくするには「TIFF（1 bit/pixel）」を選択します。
- 「エンコーディング」で、「ASCII」、「バイナリ」または「JPEG」のオプションの中からエンコード方式を選択します。

4 画像の白色部分を透明に表示するには、「白色部分を透明として扱う」を選択します。このオプションは、モノクロ 2 階調モードの画像にだけ使用できます。

5 印刷する低解像度画像にアンチエイリアスを適用する場合は、「画像の補間」を選択します。

6「OK」をクリックします。

Photoshop PDF 形式でのファイルの保存

1 写真編集モード で、ファイル／別名で保存を選択し、ファイル形式のリストから「Photoshop PDF」を選択します。

2 ファイル名と保存場所を指定し、ファイル保存オプションを選択して、「保存」をクリックします。

3 Adobe PDF を保存ダイアログボックスで圧縮方法を選択します（140 ページの「ファイル圧縮について」を参照してください）。

4 画質メニューからオプションを選択します。

5 PDF ファイルを表示するには「保存後 PDF を表示」を選択し、（コンピュータにインストールされているアプリケーションに応じて）Adobe Acrobat® または Adobe® Reader を起動します。

6「PDF を保存」をクリックします。

Acrobat Touchup ファイルに変更を加えたにもかかわらず、ファイルを開いたときにその変更が反映されていない場合は、ファイルの保存環境設定ダイアログボックスを確認してください。編集／環境設定／ファイルの保存を選択してから、初回保存時メニューから「現在のファイルを上書き保存」を選択します。

PNG 形式でのファイルの保存

1 写真編集モード で、ファイル／別名で保存を選択し、ファイル形式のリストから「PNG」を選択します。

2 ファイル名と保存場所を指定し、ファイル保存オプションを選択して、「保存」をクリックします。

3 PNG オプションダイアログボックスで、「インターレース」オプションを選択し、「OK」をクリックします。

なし ダウンロードが完了したときに初めて画像を Web ブラウザに表示します。

インターレース 画像ファイルが完全にダウンロードされるまでの間、ブラウザに画像のディテールを徐々に表示します。インターレースによりダウンロード時間は短くなるように感じられますが、インターレースによりファイルサイズは大きくなります。

TIFF 形式でのファイルの保存

1 写真編集モード で、ファイル／別名で保存を選択し、ファイル形式のリストから「TIFF」を選択します。

2 ファイル名と保存場所を指定し、ファイル保存オプションを選択して、「保存」をクリックします。

3 TIFF オプションダイアログボックスで、次のオプションを選択します。

画像圧縮 合成画像データの圧縮方法を指定します。

ピクセルの順序 写真整理モードに写真を追加できるようにするために、「インターリーブ（RGBRGB）」を選択します。

バイト順序 最近のアプリケーションは、ファイルで使用されているバイトの並び順が Windows または Macintosh のどちらで指定されても読み込むことができます。ただし、ファイルを開くアプリケーションの種類が不明な場合は、ファイルを開くプラットフォームを選択します。

画像ピラミッドを保存 複数解像度情報を保持します。Photoshop Elements では、マルチ解像度のファイルを開くためのオプションを提供しません。画像はファイル内の最高の解像度を使用して開かれます。ただし、Adobe InDesign® および一部の画像サーバでは、複数解像度形式のファイルを開くことができます。

透明部分を保持 ファイルを他のアプリケーションで開いたとき、透明部分が追加のアルファチャンネルとして保持されます（Photoshop Elements でファイルを開く場合、透明部分は常に保持されます）。

レイヤーの圧縮 合成データではなく、レイヤー内のピクセルデータの圧縮方法を指定します。

多くのアプリケーションは、レイヤーデータを読み込むことができないため、TIFF ファイルを開くときにレイヤーデータがスキップされます。Photoshop Elements では、TIFF ファイル内のレイヤーデータを読み込むことができます。ファイルにレイヤーデータを含めると、サイズは大きくなりますが、レイヤーデータを保持するために別の PSD ファイルを保存したり管理しなくても済みます。

ファイル圧縮について

画像ファイル形式の多くは、ファイルサイズを小さくするため画像データを圧縮します。可逆圧縮方式では画像のディテールが削除されることなくすべての画像データが保持されますが、非可逆圧縮方式では画像データが削除されるため、一部のディテールが失われます。

一般的な圧縮方式は次のとおりです。

RLE（Run Length Encoding） 複数のレイヤーに透明部分が含まれている画像の各レイヤーの透明部分を圧縮する可逆圧縮方式です。

LZW（Lemple-Zif-Welch） 単一色の範囲が大きい画像の圧縮に最も適した可逆圧縮方式です。

JPEG 写真に最も適した非可逆圧縮方式です。

CCITT 白黒画像用の可逆圧縮方式の 1 つです。

ZIP 単一色の範囲が大きい画像に最も効果的な可逆圧縮方式です。

ファイル保存の環境設定

❖ 写真編集モード で、編集／環境設定／ファイルの保存を選択し、次のオプションを設定します。

初回保存時 ファイルの保存方法を制御できます。

- 「オリジナル画像の場合に確認」（初期設定）では、オリジナルファイルを初めて編集し、保存するときに別名で保存ダイアログボックスが表示されます。2 回目以降のすべての保存では、その前のバージョンは上書きされます。（写真整理モードから）写真編集モードで編集したコピーを開いた場合、初回の保存、および 2 回目以降のすべての保存でその前のバージョンが上書きされます。
- 「常に確認」では、オリジナルファイルを初めて編集し、保存するときに別名で保存ダイアログボックスが表示されます。2 回目以降のすべての保存では、その前のバージョンは上書きされます。（写真整理モードから）写真編集モードで編集したコピーを開いた場合、初回の保存で別名で保存ダイアログボックスが表示されます。
- 「現在のファイルを上書き保存」では別名で保存ダイアログボックスは表示されません。写真編集モードでオリジナルファイルまたは編集したコピーのどちらかを開く場合、初回の保存でオリジナルが上書きされます（その編集セッション内で保存する 2 回目以降のすべての保存も同様）。

プレビュー画像 プレビュー画像を含んだファイルを保存します。「保存しない」を選択すると、プレビューを含めずにファイルが保存されます。「必ず保存」を選択すると、特定のプレビューを含めてファイルが保存されます。「保存時に確認」を選択すると、プレビューを含めるかどうかをファイルごとに決めることができます。

ファイル拡張子 ファイル形式を示す 3 文字のファイル拡張子についてオプションを選択します。「大文字を使用」を選択すると、大文字のファイル拡張子が追加されます。「小文字を使用」を選択すると、小文字のファイル拡張子が追加されます。通常は、このオプションを「小文字を使用」に設定しておくことをお勧めします。

カメラデータ（EXIF）プロファイルを無視 デジタルカメラで使用しているすべてのカラープロファイルを自動的に破棄するには、このオプションを選択します。Photoshop Elements で使用するカラープロファイルが画像とともに保存されます。

PSD ファイルの互換性を優先 合成画像を、より多くのアプリケーションで取り込んだり開いたりすることができるよう、レイヤーを含む Photoshop ファイルとして保存します。この手順を飛ばすには「チェックアウトしない」を、合成画像を自動的に保存するには「常に」を、ファイルを保存するたびに尋ねるには「確認」を選択します。

最後に使用したファイルのリスト ファイル／最近編集したファイルを開くに表示するファイルの数を指定します。0 ～ 30 の値を入力します。初期設定値は 10 です。

関連項目

137 ページの「別のファイル形式での変更内容の保存」

ガイド付き編集

ガイド付き編集モードは、一部の作業を系統立てて構成したもので、わかりやすい説明も表示されるので、より簡単に作業を実行することができます。「ガイド」タブは、写真編集モードのパレットエリアにある「編集」タブに含まれています。

ガイド付き編集を使用して、次の作業を実行できます。

基本的な写真の編集 写真の切り抜き、回転、角度補正、シャープの適用を行います。

ライトと露光量 写真を明るくしたり、暗くしたり、明るさとコントラストの調整を行います

カラー補正 色の調整、色かぶりの除去、肌色補正を行います。

ガイド付き編集 傷や汚れを微調整したり、写真編集の手順を案内します。

Photomerge 複数のグループショットや顔写真から高度な合成写真を作成します。

注意：ガイド編集で使用できる機能は、Photoshop Elements のバージョンによって異なります。

ガイド付き編集のオプションの使用

1 写真編集モードの「編集」タブで、「ガイド」ボタン をクリックします。

2 ガイド付き編集のリストから行う操作を選択します。

3 次のいずれかの操作を行います。

- 表示される手順に従い、「完了」をクリックします。
- 別のガイド付き編集を選択する場合、または写真編集モードに戻る場合は、「キャンセル」をクリックします。

注意：ガイド付き編集パネルの下部にある「補正後のみ」ボタンをクリックすると、補正前と補正後の写真を表示することができます。この表示は、ガイド付き編集を終了しても指定した表示方法のままとなります。補正後のみの表示（初期設定）にリセットするには、もう一度「補正後のみ」が表示されるまで、表示切り替えボタンをクリックします。または、スタンダード編集モードまたはクイック編集モードに切り替えることによって、単一表示に戻すこともできます。

ガイド付き編集（写真を切り抜き）

画像を切り抜くときに使用します。

補正後の写真のみを表示することも、補正前と補正後の写真を縦または横に並べて表示することもできます。

注意：型抜きツールを使用して、画像を切り抜くこともできます。型抜きツールについて詳しくは、222 ページの「型抜きツールの使用」を参照してください。

切り抜きについて詳しくは、220 ページの「切り抜き」を参照してください。

ガイド付き編集（写真を回転または角度補正）

写真を 90 ˚ ずつ回転させるか、画像の上に線を引き、その線に合わせて回転させるときに使用します。

補正後の写真のみを表示することも、補正前と補正後の写真を縦または横に並べて表示することもできます。

画像の回転について詳しくは、240 ページの「アイテムの回転または反転」を参照してください。

画像の角度補正について詳しくは、223 ページの「画像の角度の補正」を参照してください。

ガイド付き編集（写真をシャープにする）

画像にシャープを適用するときに使用します。

補正後の写真のみを表示することも、補正前と補正後の写真を縦または横に並べて表示することもできます。

画像のシャープについて詳しくは、237 ページの「シャープの概要」または 238 ページの「画像をシャープにする」を参照してください。

ガイド付き編集（明るさを調整）

画像を明るくしたり、暗くしたりするときに使用します。

補正後の写真のみを表示することも、補正前と補正後の写真を縦または横に並べて表示することもできます。

画像の明るさの調整について詳しくは、200 ページの「シャドウとライトの補正」を参照してください。

ガイド付き編集（明るさとコントラスト）

画像の明るさとコントラストを調整するときに使用します。

補正後の写真のみを表示することも、補正前と補正後の写真を縦または横に並べて表示することもできます。

明るさとコントラストの調整について詳しくは、200 ページの「シャドウとライトの補正」を参照してください。

ガイド付き編集（カラーを調整）

画像の色相、彩度、明度を補正するときに使用します。

補正後の写真のみを表示することも、補正前と補正後の写真を縦または横に並べて表示することもできます。

カラー補正について詳しくは、208 ページの「カラーの彩度と色相の補正」を参照してください。

ガイド付き編集（カラーバランスを補正）

画像のカラーキャスト（色かぶり）を補正するときに使用します。

補正後の写真のみを表示することも、補正前と補正後の写真を縦または横に並べて表示することもできます。

カラーキャスト（色かぶり）について詳しくは、204 ページの「カラーバランスの補正」を参照してください。

ガイド付き編集（肌色補正）

肌の色調（日焼け色、赤み調整、環境光）を補正するときに使用します。

補正後の写真のみを表示することも、補正前と補正後の写真を縦または横に並べて表示することもできます。

カラーバランスの補正について詳しくは、210 ページの「肌色の補正」を参照してください。

ガイド付き編集（傷や汚れを微調整）

画像の傷（大きさを問わず）を、修復ブラシまたはスポット修復ブラシを使用して補正するときに使用します。

補正後の写真のみを表示することも、補正前と補正後の写真を縦または横に並べて表示することもできます。

写真の微調整について詳しくは、229 ページの「大きなしみの除去」、または 229 ページの「小さな斑点やしみの除去」を参照してください。

ガイド付き編集（写真編集ガイド）

写真の編集を行う場合の標準的な手順に従って作業するときに使用します。これは、どのような編集作業をどのような順序で行うかについて、アドビが推奨する手順を紹介するものです。基本的な補正作業を行う場合は、この手順に従うと最高の結果を得ることができます。

ガイド付き編集（集合写真（Photomerge Group Shot））

Photomerge Group Shot について詳しくは、235 ページの「Photomerge Group Shot の使用」を参照してください。

ガイド付き編集（顔（Photomerge Faces））

Photomerge Faces について詳しくは、236 ページの「Photomerge Faces の使用」を参照してください。

第 9 章：レイヤーの使用

レイヤーを使用することで、元の画像を変更することなく、画像に構成要素を追加し、1 つずつ処理することができます。各レイヤーでは、カラーや明るさの調整、特殊効果の適用、レイヤー上のオブジェクトの再配置、不透明度や描画モードのオプションの指定などを行うことができます。また、重なり順を変更したり、複数のレイヤーをリンクして同時に処理したりすることができます。レイヤーで Web アニメーションを作成することもできます。

Photoshop Elements ヘルプのすべての内容を参照するには、「Web 上のページ」をクリックして LiveDocs にアクセスしてください。

レイヤーの作成

レイヤーについて

レイヤーとは、積み重ねることのできる透明なフィルムのようなもので、その上には画像をペイントすることができます。レイヤーの透明部分からは、下のレイヤーが透けて見えます。各レイヤーは個別に処理することができるので、様々な効果を試すことができます。レイヤーの統合や結合（複数のレイヤーを 1 つにまとめること）を行わない限り、それぞれを独立したレイヤーとして扱うことができます。レイヤーパレットの一番下にあるレイヤー、つまり背景レイヤーは常にロック（保護）されています。これは、（通常のレイヤーに変換しない限り）重なり順、描画モード、および不透明度を変更できないことを示します。



レイヤーの透明部分からは、下の各レイヤーが透けて見えます。

レイヤーはレイヤーパレット内に整理されています。Photoshop Elements で操作する場合は、常にこのパレットを表示しておくことをお勧めします。一目見るだけで、アクティブなレイヤー（選択した編集中のレイヤー）がわかります。レイヤーはリンクできるので、1 つの単位として移動することができ、レイヤーを管理する際に役立ちます。画像内に複数のレイヤーを追加するとその画像のファイルサイズは大きくなるので、編集が終了したレイヤーを結合し、ファイルサイズを小さくすることができます。レイヤーパレットは、写真を編集するときの重要な情報源になります。レイヤーメニューを使用してレイヤーを操作することもできます。

通常のレイヤーは、ピクセルベースのレイヤー（画像レイヤー）です。この他にも、特殊効果の作成に使用できるレイヤータイプがいくつかあります。

塗りつぶしレイヤー カラーグラデーション、べた塗り、またはパターンが含まれます。

調整レイヤー 画像を永続的に変更することなく、カラー、明るさ、彩度を（調整レイヤーを統合したり、折りたたんだりするまで）微調整できます。

テキストレイヤーとシェイプレイヤー ベクトルベースのテキストとシェイプを作成できます。

調整レイヤーにペイントすることはできませんが、調整レイヤーのマスクにはペイントできます。塗りつぶしレイヤーまたはテキストレイヤーにペイントするには、まず通常の画像レイヤーに変換する必要があります。

関連項目

158 ページの「調整レイヤーと塗りつぶしレイヤー」

161 ページの「レイヤーのクリッピンググループ」

149 ページの「レイヤーのロックまたはロック解除」

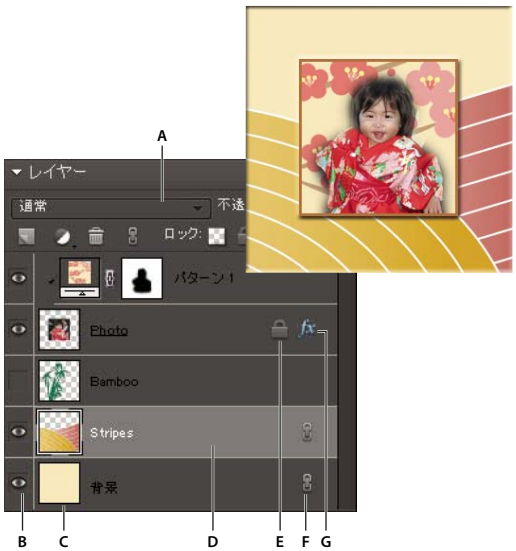
156 ページの「レイヤーの不透明度オプションと描画オプション」

レイヤーパレット

スタンダード編集ワークスペース上にあるレイヤーパレットには（ウィンドウ／レイヤーで表示できます）、画像に含まれているすべてのレイヤーが表示されます。レイヤーの重なり順が一番上のレイヤーから一番下のレイヤー（背景レイヤー）の順序で一覧表示されます。パレットは、パレットのタイトルをパレットエリアの外にドラッグすることにより、常に表示させておくことができます。

アクティブレイヤー（作業中のレイヤー）は、見分けやすいようにハイライト表示されます。画像で作業中は、実行する補正や編集が正しいレイヤーに適用されるように、どのレイヤーがアクティブかをチェックしてください。例えば、コマンドを選択しても何も起こらない場合は、アクティブレイヤーが表示されていることを確認してください。

パレットのアイコンを使用して、レイヤーの作成、表示と非表示の切り替え、リンク、ロック、削除などの様々な作業を行うことができます。一部の例外を除き、変更はハイライト表示されている選択したレイヤー（アクティブレイヤー）だけに適用されます。



レイヤーパレット
A. 描画モードメニュー **B.** レイヤーの表示 / 非表示 **C.** レイヤーサムネール **D.** アクティブレイヤー（ハイライト表示）**E.** ロックしているレイヤー **F.** 別のレイヤーにリンクされているレイヤー **G.** スタイルが適用されたレイヤー

パレットには、レイヤーリストにサムネール、レイヤー名および各レイヤーに関する情報を示すアイコンが表示されます。

表示しているレイヤーです。レイヤーの表示と非表示を切り替えるには、目のアイコンをクリックします（非表示のレイヤーはプリントされません）。

アクティブレイヤーにリンクしているレイヤーです。

スタイルが適用されたレイヤーです。クリックすると、スタイル設定ダイアログボックスでレイヤースタイルを編集できます。

ロックしているレイヤーです。

Photoshop から取り込まれたレイヤーグループを含む画像です。Photoshop Elements では、レイヤーセットは折りたたんだ状態でだけ表示され、編集することはできません。編集可能な画像を作成するには、レイヤーセットをラスタライズする必要があります。

パレットの上部にあるボタンを使用して、操作を行います。

新規レイヤーを作成します。

塗りつぶしレイヤーまたは調整レイヤーを新規作成します。

レイヤーを削除します。

別のレイヤーにリンクしているレイヤーです。

透明ピクセルをロックします。

すべてのレイヤーをロックします。

パレットの上部には、描画モードメニュー（通常、ディザ合成、比較（暗）など）、「不透明度」テキストボックス、レイヤーコマンドのメニューとパレットオプションを表示する詳細ボタンもあります。

関連項目

158 ページの「調整レイヤーと塗りつぶしレイヤー」

156 ページの「レイヤーの不透明度オプションと描画オプション」

150 ページの「レイヤーのラスタライズ」

レイヤーの追加

新しく追加したレイヤーは、レイヤーパレット内で現在選択しているレイヤーの上に表示されます。次のいずれかの方法を使用して、画像にレイヤーを追加できます。

- 新しい空白のレイヤーを作成するか、選択範囲をレイヤーに変換します。
- 背景レイヤーを通常のレイヤーに変換する、または通常のレイヤーを背景レイヤーに変換します。
- 選択範囲を画像にペーストします。
- 文字ツールまたはシェイプツールを使用します。
- 既存のレイヤーを複製します。

1 つの画像に最大 8,000 枚のレイヤーを作成してそれぞれのレイヤーに固有の描画モードと不透明度を指定することができます。ただし、メモリ容量によっては、作成できるレイヤーの数が制限される場合があります。

関連項目

313 ページの「テキスト」

320 ページの「シェイプ」

150 ページの「レイヤーの削除」

新しい空白のレイヤーの作成および命名

❖ スタンダード編集で、次のいずれかの操作を行います。

- 初期設定の名前と設定で新しいレイヤーを作成するには、レイヤーパレットの上部にある新規レイヤーボタン をクリックします。通常モードで不透明度 100 %のレイヤーが作成され、作成順序に従って名前が自動的に割り当てられます（新規のレイヤー名を変更するには、そのレイヤーをダブルクリックして新しい名前を入力します）。

- 新しいレイヤーを作成し、名前とオプションを指定するには、レイヤー／新規／レイヤーを選択するか、レイヤーパレットの詳細メニューから「新規レイヤー」を選択します。名前とその他のオプションを指定し、「OK」をクリックします。

レイヤーパレット上では新規レイヤーが自動的に選択され、最後に選択したレイヤーの上に表示されます。

関連項目

152 ページの「別の画像へのレイヤーのコピー」

150 ページの「レイヤーの削除」

151 ページの「画像内でのレイヤーの複製」

157 ページの「レイヤーの描画モードの指定」

156 ページの「レイヤーの不透明度の指定」

別のレイヤーの一部からの新規レイヤーの作成

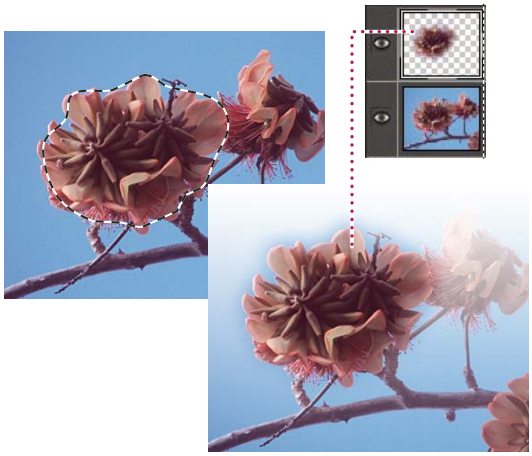
元画像を変更することなく、画像の一部を新規作成したレイヤーに移動することができます。

1 スタンダード編集で既存のレイヤーを選択し、選択範囲を指定します。

2 次のいずれかを選択します。

- 選択範囲を新しいレイヤーにコピーするには、レイヤー／新規／選択範囲をコピーしたレイヤーを選択します。
- 選択範囲をカットして新しいレイヤーにペーストするには、レイヤー／新規／選択範囲をカットしたレイヤーを選択します。

新しいレイヤーに選択した領域が表示されます。表示される位置は、元のレイヤーでの位置と同じです。



別のレイヤーの一部をコピーして新しいレイヤーにペーストすることによる新規レイヤーの作成

関連項目

151 ページの「画像内でのレイヤーの複製」

174 ページの「選択範囲」

背景レイヤーから通常のレイヤーへの変換

背景レイヤーは、画像の一番下にあるレイヤーです。その他のレイヤーは、背景レイヤーの上に積み重ねられ、通常は写真の画像イメージを含んでいます（画像イメージがない場合もあります）。画像を保護するため、背景レイヤーは常にロックされています。背景レイヤーの重なり順、描画モード、不透明度を変更するには、まず通常のレイヤーに変換する必要があります。

1 スタンダード編集で、次のいずれかの操作を行います。

- レイヤーパレットで、背景レイヤーをダブルクリックします。
- レイヤー／新規／背景からレイヤーへを選択します。
- レイヤーパレットで、背景レイヤーを選択し、詳細メニューから「レイヤーを複製」を選択して、背景レイヤーには変更を加えずに、背景レイヤーのコピーを新しいレイヤーとして作成します。

どのように背景レイヤーを変換しても、背景レイヤーを選択し、詳細メニューから「レイヤーを複製」を選択するだけで、変換したレイヤーの複製を作成できます。

2 新しいレイヤーに名前を付けます。

背景レイヤーに背景消しゴムツールをドラッグすると、自動的に通常のレイヤーに変換され、消された部分は透明になります。

レイヤーから背景レイヤーへの変更

画像に既に背景レイヤーが設定されている場合は、通常のレイヤーを背景レイヤーに変換することはできません。この場合、最初に、背景レイヤーを通常のレイヤーに変換する必要があります。

1 スタンダード編集で、レイヤーパレットからレイヤーを選択します。

2 レイヤー／新規／レイヤーから背景へを選択します。

元のレイヤーの透明な部分は、背景色で塗りつぶされます。

レイヤーの編集

レイヤーの選択

画像への変更は、アクティブレイヤーだけに適用されます。画像を操作したときに期待どおりの結果が得られない場合は、適切なレイヤーが選択されていることを確認してください。

❖ 写真編集モードで、次のいずれかの操作を行います。

- レイヤーパレットで、レイヤーのサムネールまたは名前を選択します。
- 複数のレイヤーを選択するには、Ctrl キーを押しながら各レイヤーをクリックします。
- 移動ツール を選択し、画像を右クリックして、コンテクストメニューからレイヤーを選択します。このメニューには、現在のポインタ位置にピクセルを持つすべてのレイヤーと、すべての調整レイヤーが一覧表示されます。

移動ツールの使用時にレイヤーをインタラクティブに選択するには、オプションバーの「レイヤーを自動選択」を選択します。ハイライトされるレイヤーを表示するには、「ロールオーバーにハイライトを表示」を選択します。このオプションを選択すると、移動ツールにレイヤーの順序のコンテクストメニューが表示されます。ドラッグすると、複数のレイヤーを一度に選択できます。

関連項目

144 ページの「レイヤーについて」

157 ページの「レイヤー上のすべての不透明部分の選択」

189 ページの「移動ツールを使用した選択範囲のコピー」

レイヤーの表示と非表示の切り替え

レイヤーパレットで、レイヤーの一番左の列に目のアイコン  がある場合は、そのレイヤーが表示されていることを示します。

1 レイヤーパレットが表示されていない場合は、スタンダード編集でウィンドウ／レイヤーを選択します。

2 次のいずれかの操作を行います。

- レイヤーを非表示にするには、非表示にしたいレイヤーのアイコンをクリックします。もう一度、目のアイコンの列をクリックすると、レイヤーが表示されます。
- 目のアイコンの列をドラッグすると、複数のレイヤーの表示と非表示を切り替えることができます。
- 1 つのレイヤーだけを表示するには、Alt キーを押しながら、そのレイヤーの目のアイコンをクリックします。もう一度目のアイコンの列をクリックすると、すべてのレイヤーが表示されます。

関連項目

145 ページの「レイヤーパレット」

レイヤーのサムネールのサイズを変更、またはサムネールの非表示

1 スタンダード編集で、レイヤーパレットの詳細メニューから「パレットオプション」を選択します。

2 新しいサイズを選択するか、「なし」を選択してサムネールを非表示にします。「OK」をクリックします。

関連項目

145 ページの「レイヤーパレット」

レイヤーのロックまたはロック解除

レイヤーの全体または一部をロックすると、レイヤー上のオブジェクトを保護することができます。レイヤーをロックすると、レイヤー名の右側に鍵のアイコンが表示され、そのレイヤーを削除できなくなります。背景レイヤー以外のレイヤーは、ロックされていてもレイヤーパレットでの重なり順を変更できます。

❖ スタンダード編集で、レイヤーパレットのレイヤーを選択し、次のいずれかの操作を行います。

- レイヤーパレットの上部にあるすべてをロックアイコン  をクリックし、すべてのレイヤープロパティをロックします。ロックを解除するには、このアイコンをもう一度クリックします。
- レイヤーパレットの上部にある透明ピクセルをロックアイコン  をクリックし、レイヤーの透明部分をロックします。その結果、ペイントできなくなります。ロックを解除するには、このアイコンをもう一度クリックします。

注意：テキストレイヤーとシェイプレイヤーでは、初期設定で透明部分がロックされているので、ロックを解除するには、まずレイヤーをラスタライズする必要があります。

関連項目

145 ページの「レイヤーパレット」

レイヤーの名前の変更

画像にレイヤーを追加する場合は、レイヤー上のオブジェクトに基づいて名前を変更すると便利です。わかりやすい名前を付けると、レイヤーパレットでレイヤーを簡単に識別できるようになります。

注意：背景レイヤーの名前を変更するには、まず背景レイヤーを通常のレイヤーに変更する必要があります。

❖ スタンダード編集で、レイヤーパレット内のレイヤーの名前をダブルクリックして、新しい名前を入力します。

関連項目

144 ページの「レイヤーについて」

145 ページの「レイヤーパレット」

148 ページの「背景レイヤーから通常のレイヤーへの変換」

レイヤーのラスタライズ

スマートオブジェクト、フレームレイヤー、テキストレイヤー、シェイプレイヤー、べた塗りレイヤー、グラデーションレイヤー、パターンレイヤー（または Photoshop から取り込んだレイヤーグループ）は、画像レイヤーに変換することで、ラスタライズすることができます。これらのレイヤーは、フィルタを適用したり、ペイントツールで編集したりする前にラスタライズする必要があります。ただし、一度ラスタライズしたレイヤーのテキストやシェイプは編集することができません。

1 スタンダード編集で、テキストレイヤー、シェイプレイヤー、塗りつぶしレイヤー、または Photoshop レイヤーグループをレイヤーパレットから選択します。

2 レイヤーまたは取り込んだレイヤーグループをラスタライズします。

- シェイプレイヤーを選択した場合は、オプションバーの「ラスタライズ」をクリックします。
- テキストレイヤー、シェイプレイヤー、塗りつぶしレイヤーまたは Photoshop レイヤーグループを選択した場合は、レイヤーメニューまたはレイヤーパレットの詳細メニューから「レイヤーをラスタライズ」を選択します。

関連項目

158 ページの「調整レイヤーと塗りつぶしレイヤー」

144 ページの「レイヤーについて」

レイヤーの削除

不要になったレイヤーを削除すると、画像のファイルサイズを小さくすることができます。

1 スタンダード編集で、レイヤーパレットからレイヤーを選択します。

2 次のいずれかの操作を行います。

- レイヤーパレットの上部にあるレイヤーを削除アイコン にレイヤーをドラッグします。
- レイヤーパレットの上部にあるレイヤーを削除アイコンをクリックし、削除を確認するダイアログボックスで「はい」をクリックします。このダイアログボックスでの確認を省略するには、Alt キーを押しながら削除アイコンをクリックします。
- レイヤーメニューまたはレイヤーパレットの詳細メニューから「レイヤーを削除」を選択し、「はい」をクリックします。

関連項目

144 ページの「レイヤーについて」

146 ページの「新しい空白のレイヤーの作成および命名」

表示されているすべてのレイヤーからカラーをサンプルする

一部のツールでは、初期設定により、アクティブレイヤー上のピクセルからサンプルしたカラーだけが適用されます。この初期設定の動作により、複数のレイヤーを表示している場合でも、1 つのレイヤーだけでこすったりサンプルしたり、あるレイヤーからサンプルして別のレイヤーでペイントしたりできます。

すべての表示レイヤーからサンプルしたデータを使用してペイントするには、次の操作を行います。

1 スタンダード編集で、自動選択ツール 、塗りつぶしツール 、指先ツール 、ぼかしツール 、シャープツール 、コピースタンプツール のいずれかを選択します。

2 オプションバーの「すべてのレイヤー」を選択します。

関連項目

144 ページの「レイヤーについて」

285 ページの「ペイントツール」

レイヤーのコピーおよび配置

画像内でのレイヤーの複製

レイヤー（背景レイヤーを含む）は、同一画像内で複製することができます。

❖ スタンダード編集で、レイヤーパレットからレイヤーを選択し、次のいずれかの操作を行って複製します。

- レイヤーを複製して名前を変更するには、レイヤー／レイヤーを複製を選択するか、レイヤーパレットの詳細メニューから「レイヤーを複製」を選択します。複製したレイヤーに名前を付けて、「OK」をクリックします。
- 名前を付けずに複製するには、レイヤーを選択し、レイヤーパレットの上部にある新規レイヤーを作成ボタン にドラッグします。
- レイヤー名またはサムネールを右クリックし、「レイヤーを複製」を選択します。

関連項目

144 ページの「レイヤーについて」

別の画像へのレイヤーの複製

レイヤー（背景レイヤーを含む）は、別の画像に複製することができます。コピー先の画像のピクセル寸法によって、複製したレイヤーのプリントサイズが決まることに注意してください。また、複製元の画像と複製先の画像のピクセル寸法が異なる場合、複製したレイヤーは元のレイヤーより小さくまたは大きく表示される可能性があります。

1 スタンダード編集で、複製元の画像を開きます。レイヤーを新規画像ではなく既存の画像に複製する場合は、複製先の画像も開きます。

2 複製元ドキュメントのレイヤーパレットで、複製するレイヤーの名前を選択します。複数のレイヤーを選択するには、Ctrl キーを押しながら各レイヤーの名前をクリックします。

3 レイヤー／レイヤーを複製を選択するか、レイヤーパレットの詳細メニューから「レイヤーを複製」を選択します。

4 レイヤーを複製ダイアログボックスに複製したレイヤーの名前を入力し、レイヤーの保存先のドキュメントを選択して、「OK」をクリックします。

- レイヤーを既存の画像に複製するには、ドキュメントポップアップメニューからファイル名を選択します。
- レイヤーを新規ドキュメントに複製するには、ドキュメントメニューから「新規」を選択し、新規ファイルの名前を入力します。「レイヤーを複製」コマンドを使用して新規ドキュメントを作成した場合は、背景レイヤーが作成されません。

関連項目

144 ページの「レイヤーについて」

225 ページの「画像サイズと解像度」

別の画像へのレイヤーのコピー

レイヤー（背景レイヤーを含む）は、別の画像にコピーすることができます。コピー先の画像の解像度によって、コピーしたレイヤーのプリントサイズが決まることに注意してください。また、コピー元の画像とコピー先の画像のピクセル寸法が異なる場合、コピーしたレイヤーが元のレイヤーより小さくまたは大きく表示される可能性があります。

1 スタンダード編集で、使用する 2 つの画像を開きます。

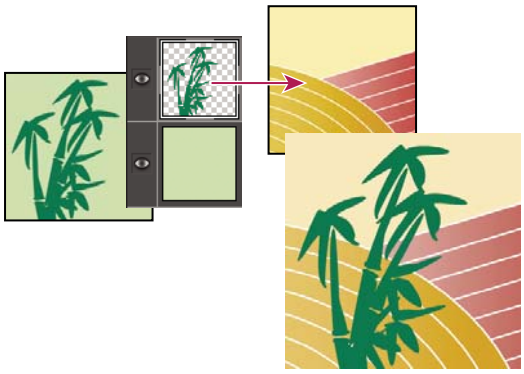
2 元画像のレイヤーパレットで、コピーするレイヤーを選択します。

3 次のいずれかの操作を行います。

- 選択範囲／すべてを選択を選択してレイヤー内のすべてのピクセルを選択し、編集／コピーを選択します。コピー先画像をアクティブにして、編集／ペーストを選択します。
- コピー元の画像のレイヤーパレットから、レイヤー名を選択してコピー先の画像にドラッグします。
- 移動ツール を使用して、レイヤーをコピー元の画像からコピー先の画像にドラッグします。

コピーしたレイヤーはコピー先の画像に表示されます。レイヤーパレットでは、コピーされたレイヤーはアクティブレイヤーの上に表示されます。ドラッグしたレイヤーがコピー先の画像より大きい場合は、レイヤーの一部分だけが表示されます。レイヤーの隠れた部分を表示するには、移動ツールを使用してドラッグします。

Shift キーを押しながらレイヤーをドラッグしてコピーすると、コピー元とコピー先の画像のピクセル寸法が同じ場合は、元の画像と同じ位置にコピーされます。コピー元とコピー先の画像のピクセル寸法が異なる場合は、コピー先画像の中央にコピーされます。



別の画像への竹のレイヤーのドラッグ

関連項目

144 ページの「レイヤーについて」

225 ページの「画像サイズと解像度」

レイヤー上のオブジェクトの移動

レイヤーは、画像が描かれたフィルムの積み重ねのようなものです。そのうちの 1 つのレイヤーを移動すると、上下のレイヤー上のオブジェクトに応じて、表示される結果が変更されます。

1 スタンダード編集で、レイヤーパレットからレイヤーを選択します。複数のレイヤーを同時に移動するには、レイヤーパレットで複数のレイヤーを選択し、レイヤーをリンクアイコン をクリックして、そのレイヤーを互いにリンクします。

2 移動ツール を選択します。

3 次のいずれかの操作を行います。

- 画像内で選択したレイヤーをドラッグして、目的の位置に移動します。
- キーボードの矢印キーを押すと、レイヤーを 1 ピクセルずつ移動できます。Shift キーを押しながら矢印キーを押すと、10 ピクセルずつ移動できます。

• Shift キーを押しながらドラッグすると、レイヤーを真上、真下、真横、または 45 ° 斜めに移動できます。

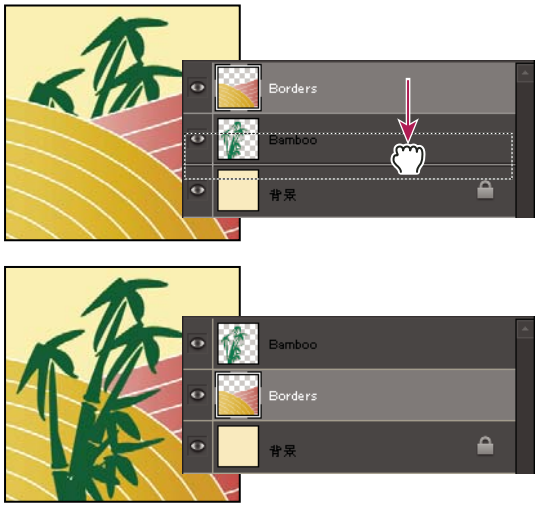
関連項目

144 ページの「レイヤーについて」

レイヤーの重なり順の変更

レイヤーが他のレイヤーより前面または背面に表示されるかどうかは、重なり順によって決まります。

初期設定では、背景レイヤーを一番下から移動することはできません。背景レイヤーを移動するには、最初にそのレイヤーを通常のレイヤーに変換する必要があります。



レイヤーを別のレイヤーの下にドラッグすることによる重なり順の変更

1 レイヤーパレットでレイヤーを選択します。複数のレイヤーを選択するには、Ctrl キーを押しながら各レイヤーをクリックします。

2 重なり順を変更するには、次のいずれかの操作を行います。

• レイヤーパレット内でレイヤーを上または下にドラッグして別の位置に移動します。

• レイヤー／アレンジを選択し、「最前面へ」、「前面へ」、「背面へ」、または「最背面へ」を選択します。

関連項目

144 ページの「レイヤーについて」

148 ページの「背景レイヤーから通常のレイヤーへの変換」

レイヤーのリンクまたはリンク解除

複数のレイヤーをリンクしていると、そのレイヤー上のオブジェクトをまとめて移動することができます。また、リンクしたすべてのレイヤーに対して、同時にコピー、ペースト、結合を行ったり、変形を適用することもできます。編集中に、リンクされた 1 つのレイヤーを編集または移動すると便利なことがあります。一度に 1 つのレイヤーを操作するときには、レイヤーのリンクを解除します。

1 スタンダード編集で、リンクするレイヤーをレイヤーパレットで選択します。複数のレイヤーを選択するには、Ctrl キーを押しながら各レイヤーをクリックします。

2 レイヤーパレットの上部にあるレイヤーをリンクアイコン をクリックします。リンクアイコン がリンクされたレイヤーに表示されます。

3 レイヤーのリンクを解除するには、レイヤーパレットでリンクされているレイヤーを選択し、レイヤーパレットの上部にあるレイヤーをリンクアイコンをクリックします。

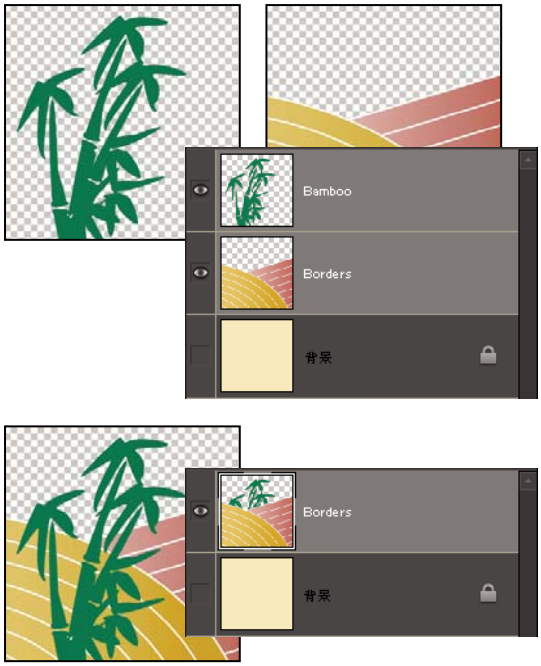
関連項目

144 ページの「レイヤーについて」

161 ページの「レイヤーのクリッピンググループ」

レイヤーの結合

レイヤーによって、画像のファイルサイズが大きくなることがあります。画像内のレイヤーを結合すると、ファイルサイズが小さくなります。レイヤーの結合は、レイヤーの編集を終了し、画像を完成させた後に行うようにしてください。



結合の例

リンクしているレイヤーのみ、表示しているレイヤーのみ、レイヤーとその下のレイヤーのみ、または選択したレイヤーのみの結合を選択できます。表示されているすべてのレイヤー上のオブジェクトを選択したレイヤーに結合することもできます。その際、他の表示されているレイヤーが削除されることはありません（この場合は、ファイルサイズは小さくなりません）。

画像の編集が完了したら、画像を統合することができます。統合により、表示しているレイヤーは結合され、非表示のレイヤーは破棄され、透明部分は白で塗りつぶされます

1 スタンダード編集で、レイヤーパレットを開き、結合する各レイヤーの横に目のアイコン が表示されていることを確認します。

2 次のいずれかの操作を行います。

- 選択したレイヤーを結合するには、Ctrl キーを押しながら各レイヤーをクリックして複数のレイヤーを選択します。次に、レイヤーパレットの詳細メニューから「レイヤーを結合」を選択します。
- レイヤーをその下のレイヤーと結合するには、上の方のレイヤーを選択し、レイヤーメニューまたはレイヤーパレットの詳細メニューから「下のレイヤーと結合」を選択します。

注意：下のレイヤーがシェイプレイヤー、テキストレイヤー、塗りつぶしレイヤーのいずれかである場合は、そのレイヤーをラスタライズする必要があります。下のレイヤーが別のレイヤーとリンクされているか、調整レイヤーである場合も、「下のレイヤーと結合」を選択できません。

- 表示されているすべてのレイヤーを結合するには、結合しないレイヤーを非表示にし、レイヤーメニューまたはレイヤーパレットの詳細メニューから「表示レイヤーを結合」を選択します。
- リンクしているすべての表示レイヤーを結合するには、リンクしているレイヤーの 1 つを選択し、レイヤーメニューまたはレイヤーパレットの詳細メニューから「リンク部分を結合」を選択します。

注意：一番下の結合されたレイヤーが、テキストレイヤー、シェイプレイヤー、べた塗りレイヤー、グラデーション塗りつぶしレイヤー、パターン塗りつぶしレイヤーのいずれかである場合は、最初にそのレイヤーをラスタライズする必要があります。

関連項目

160 ページの「調整レイヤーの結合」

150 ページの「レイヤーのラスタライズ」

レイヤーの別のレイヤーへの結合

この手順は、結合するレイヤー上のオブジェクトを保持する場合に使用します。これにより、元のレイヤーはすべて保持されたまま結合レイヤーが作成されます。

1 スタンダード編集で、結合しないレイヤーの横にある目のアイコンをクリックし、結合しないレイヤーに目のアイコンが表示されていないことを確認します。

2 表示レイヤーの結合先となるレイヤーを指定します。このとき、新規レイヤーを作成するか、レイヤーパレットで既存のレイヤーを選択することができます。

3 Alt キーを押しながら、レイヤーメニューまたはレイヤーパレットの詳細メニューから「表示レイヤーを結合」を選択します。表示中のすべてのレイヤーのコピーが選択したレイヤーに結合されます。

関連項目

144 ページの「レイヤーについて」

160 ページの「調整レイヤーの結合」

画像の統合

画像を統合すると、表示中のすべてのレイヤーが背景レイヤーに結合されるので、ファイルサイズを大幅に小さくすることができます。画像を統合すると、非表示のレイヤーはすべて破棄され、透明部分はすべて白で塗りつぶされます。通常は、個々のレイヤーの編集を完了してからファイルを統合します。

1 画像に保持するレイヤーが表示されていることを確認します。

2 レイヤーメニューまたはレイヤーパレットの詳細メニューから「画像を統合」を選択します。



画像ウィンドウの下部にあるステータスバーのポップアップメニューから「ファイルサイズ」を選択すると、レイヤーを含むファイルのサイズと統合されたファイルのサイズの違いを確認できます。

関連項目

144 ページの「レイヤーについて」

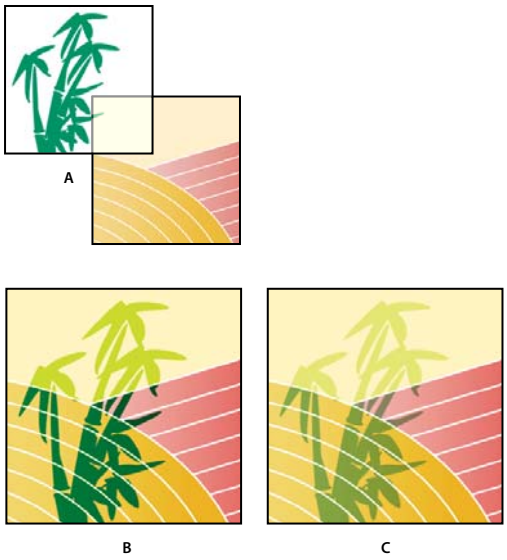
不透明度と描画モード

レイヤーの不透明度オプションと描画オプション

レイヤーの不透明度によって、1 つ下のレイヤーが透けて見える度合いが決まります。不透明度が 1 %のレイヤーはほとんど透明になり、不透明度が 100 %のレイヤーは完全に不透明になります。透明部分は、不透明度の設定に関係なく透明のままとなります。

レイヤーの描画モードは、レイヤーをその下のレイヤーのピクセルとどのように合成するかを決定します。描画モードを適用することにより、様々な特殊効果を作成できます。

レイヤーの不透明度と描画モードは、ペイントツールの不透明度や描画モードと連動します。例えば、不透明度が 50 %のディザ合成モードを使用したレイヤーを、通常モードで不透明度 100 %に設定されたブラシツールでペイントすると、ペイントした部分は不透明度 50 %のディザ合成モードで表示されます。同様に、不透明度が 100 %の通常モードを使用したレイヤーに対して、不透明度が 50 %の消しゴムツールを使用すると、ペイントの 50 %だけが消去されます。



レイヤーの合成
A. 竹のレイヤーと背景画のレイヤー **B.** 不透明度 100 %、焼き込みカラーモードの竹のレイヤー **C.** 不透明度 50 %、焼き込みカラーモードの竹のレイヤー

関連項目

144 ページの「レイヤーについて」

286 ページの「描画モード」

285 ページの「ペイントツール」

レイヤーの不透明度の指定

1 スタンダード編集で、レイヤーパレットからレイヤーを選択します。

2 レイヤーパレットで、「不透明度」に 0 ～ 100 の値を入力するか、「不透明度」ボックスの右にある矢印をクリックして不透明度のポップアップスライダをドラッグします。

関連項目

144 ページの「レイヤーについて」

レイヤーの描画モードの指定

1 スタンダード編集で、レイヤーパレットからレイヤーを選択します。

2 描画モードメニューからオプションを選択します。

描画モードを選択した直後に、キーボードの上向きまたは下向きの矢印キーを押して、メニュー内の他の描画モードオプションを試すことができます。

関連項目

144 ページの「レイヤーについて」

286 ページの「描画モード」

レイヤー上のすべての不透明部分の選択

レイヤー上の不透明部分だけを簡単に選択することができます。この方法は、選択範囲から透明部分を除外したい場合に便利です。

1 レイヤーパレットで、Ctrl キーを押しながらレイヤーのサムネールをクリックします。

2 選択範囲にピクセルを追加するには、Ctrl+Shift キーを押しながらレイヤーパレットのレイヤーサムネールをクリックします。

3 選択範囲からピクセルを削除するには、Ctrl+Alt キーを押しながらレイーヤーパレットのレイヤーサムネールをクリックします。

4 ピクセルと選択範囲が重なる領域をロードするには、Ctrl+Alt+Shift キーを押しながら、レイヤーパレットのレイヤーサムネールをクリックします。

関連項目

144 ページの「レイヤーについて」

174 ページの「選択範囲」

透明部分のグリッドのカスタマイズ

チェッカーパターンのグリッドは、レイヤーの透明部分を示します。このグリッドの表示を変更することはできますが、パターンを白の塗りつぶしには指定しないでください。白の塗りつぶしに変更すると、その部分が不透明で白く塗りつぶされているのか、透明なので白い塗りつぶしのチェッカーパターンが表示されているのかの区別ができなくなります。

1 写真編集モードで、編集／環境設定／透明部分を選択します。

2 グリッドサイズメニューで、パターンのサイズを選択します。

3 グリッドカラーメニューで、パターンのカラーを選択します。カスタムカラーを選択するには、グリッドカラーメニューの下にある 2 つのボックスのいずれかをクリックして、カラーピッカーでカラーを選択します。

関連項目

145 ページの「レイヤーパレット」

291 ページの「Adobe カラーピッカーの使用」

調整レイヤーと塗りつぶしレイヤー

調整レイヤーと塗りつぶしレイヤー

調整レイヤーを使用すると、画像内のピクセル自体を変更することなく、カラー調整や色調補正を試すことができます。調整レイヤーは、それより下のレイヤーのカラーを調整するベールのようなものです。初期設定では、調整レイヤーの効果はその下のすべてのレイヤーに適用されますが、この動作は変更することができます。調整レイヤーを作成すると、そのレイヤーの調整を示す白いボックスがレイヤーパレットに表示されます。

塗りつぶしレイヤーを使用すると、レイヤーを単一色やグラデーション、パターンで塗りつぶすことができます。調整レイヤーとは異なり、塗りつぶしレイヤーは下のレイヤーに影響を与えません。塗りつぶしレイヤーにペイントするには、まず通常のレイヤーに変換（ラスタライズ）する必要があります。

調整レイヤーと塗りつぶしレイヤーの不透明度および描画モードオプションは、画像レイヤーと同じです。また画像レイヤーと同様に、移動したり再配置することができます。初期設定では、調整レイヤーと塗りつぶしレイヤーには、そのタイプに応じて名前が付けられます（べた塗りレイヤー、階調の反転調整レイヤーなど）。



調整レイヤーを作成メニュー
A. 塗りつぶしレイヤー **B.** 調整レイヤー

関連項目

160 ページの「レイヤーマスクの編集」

156 ページの「レイヤーの不透明度オプションと描画オプション」

150 ページの「レイヤーのラスタライズ」

調整レイヤーの作成

1 レイヤーパレットで、操作する一番上のレイヤーを選択します。

2 調整レイヤーの効果をそのレイヤーの特定の領域だけに適用するには、選択範囲を指定します。

3 次のいずれかの操作を行います。

- 調整レイヤーの下のすべてのレイヤーに適用するには、レイヤーパレットの上部にある調整レイヤーを作成ボタン をクリックし、次のいずれかの調整タイプを選択します（メニューの最初の 3 つのオプションは、調整レイヤーではなく、塗りつぶしレイヤーです）。



元の画像と、色相・彩度調整が適用された画像。調整レイヤーの下のレイヤーだけに調整が適用されます。

- 調整レイヤーの下の 1 つのレイヤー、または重なっている複数のレイヤーだけに調整を適用するには、レイヤー／新規調整レイヤー／ [調整タイプ] を選択します。新規レイヤーダイアログボックスで「下のレイヤーとグループ化」を選択し、「OK」をクリックします。

レベル補正 画像の色調の値を補正します。

明るさ・コントラスト 画像を明るくまたは暗くします。

色相・彩度 画像のカラーを調整します。

グラデーションマップ 選択している画像に対して、指定したグラデーションカラーを適用し、効果を追加します。

レンズフィルタ 画像のカラーバランスと色温度を調整します。

階調の反転 画像の明るさの値に基づいてネガを作成することで、写真のネガのような効果を実現します。

2 階調化 画像を黒と白（グレーなし）で描画します。これにより、最も明るい領域と最も暗い領域を特定することができます。

ポスタリゼーション 画像の明るさの値（レベル）を下げてカラーの数を減らすことで、平面的なポスターのような効果を実現します。

4 このダイアログボックスでオプションを指定し、「OK」をクリックします（階調の反転にはオプションはありません）。

手順 3 で「下のレイヤーとグループ化」オプションを選択した場合、調整レイヤーはその直下のレイヤーとグループ化され、効果はそのグループだけに適用されます。

5 グループにレイヤーを追加するには、Alt キーを押しながら、グループの一番下のレイヤーとその直下のレイヤーとの境界線上にポインタを配置します。ポインタの形状が 2 つの重なった円 に変わったらクリックします。

関連項目

198 ページの「ヒストグラム」

塗りつぶしレイヤーの作成

1 レイヤーパレットで、塗りつぶしレイヤーの真下になるレイヤーを選択します。

2 塗りつぶしレイヤーの効果を特定の領域だけに適用するには、選択範囲を指定します。

3 次のいずれかの操作を行います。

- レイヤーパレットの上部にある塗りつぶしまたは調整レイヤーを新規作成ボタン をクリックし、作成する塗りつぶしタイプを選択します（パレットに表示される最初の 3 つのオプションは塗りつぶしレイヤーで、他のオプションは調整レイヤーです）。

- レイヤー／新規塗りつぶしレイヤー／ [塗りつぶしタイプ] を選択します。表示された新規レイヤーダイアログボックスで「OK」をクリックします。

べた塗り カラーピッカーで選択した単一色で塗りつぶされたレイヤーを作成します。

グラデーション グラデーションで塗りつぶされたレイヤーを作成します。グラデーションメニューから既定のグラデーションを選択することができます。グラデーションエディタでグラデーションを編集するには、「グラデーション」の横のボックスをクリックします。画像ウィンドウ内でドラッグし、グラデーションの中心を移動することもできます。

また、グラデーション形状（スタイル）とグラデーションを適用する角度（角度）を指定することもできます。さらに、「逆方向」は向きを反転し、「ディザ」はグラデーション描画時に発生する階調の色ムラが目立たないようにし、「選択範囲内で作成」はレイヤーの選択範囲を使用してグラデーションの塗りつぶしを計算します。

パターン パターンで塗りつぶされたレイヤーを作成します。パターンをクリックし、ポップアップパレットから使用するパターンを選択します。パターンを拡大・縮小して「元の場所にスナップ」を選択すると、パターンの原点をドキュメントウィンドウの原点に配置できます。塗りつぶしレイヤーの移動に応じてパターンも移動するように指定するには、「レイヤーにリンク」を選択します。パターンで塗りつぶしダイアログボックスが開いている間は、このオプションを選択しているときも、画像内でドラッグしてパターンを移動できます。パターン設定を編集した後に新しいプリセットパターンを作成するには、このパターンから新規プリセットを作成ボタン をクリックします。

調整レイヤーまたは塗りつぶしレイヤーの編集

1 スタンダード編集で、次のいずれかの操作を行って、調整オプションまたは塗りつぶしオプションのダイアログボックスを開きます。

- レイヤーパレットで、調整レイヤーまたは塗りつぶしレイヤーの左端にあるサムネールをダブルクリックします。
- パレットでレイヤーを選択し、レイヤー／レイヤーオプションを選択します。
- パレットでレイヤーを選択して、レイヤー／レイヤー内容の変更を選択し、別の塗りつぶしレイヤーまたは調整レイヤーをリストから選択します。

2 変更を行い、「OK」をクリックします。

調整レイヤーの結合

調整レイヤーや塗りつぶしレイヤーは、その下のレイヤー、選択した他のレイヤー、それ自体のグループのレイヤー、リンク先のレイヤー、および表示されたその他のすべてのレイヤーと結合できます。ただし、調整レイヤーまたは塗りつぶしレイヤーを、結合元となるベースレイヤーやターゲットレイヤーとすることはできません。

調整レイヤーや塗りつぶしレイヤーをその下にあるレイヤーと結合すると、調整結果がラスタライズされて結合後のレイヤーに適用されるので、変更できなくなります。調整結果が、結合された調整レイヤーの下にある他のレイヤーに影響を与えることはありません。塗りつぶしレイヤーを結合せずに画像レイヤーに変換（ラスタライズ）することもできます。

調整レイヤーや塗りつぶしレイヤーのマスク（レイヤーパレット内でレイヤーの右端にあるサムネール）に白の値だけが含まれる場合は、ファイルサイズが極端に大きくなることはないので、ファイル容量を節約するために結合する必要はありません。

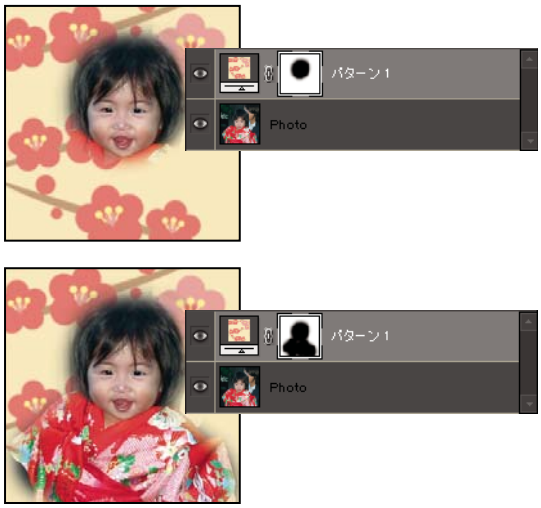
関連項目

154 ページの「レイヤーの結合」

150 ページの「レイヤーのラスタライズ」

レイヤーマスクの編集

レイヤーマスクは、レイヤーの一部またはレイヤー全体が表示されるのを防ぎます。マスクを使用して、イメージまたは効果の一部を表示または非表示にします。調整レイヤーに追加されているレイヤーマスク（右のサムネール）が白い場合、調整結果はその下にあるレイヤーのすべての領域に適用されます。下のレイヤーの特定部分に効果を適用しない場合は、レイヤーマスク上で特定部分に対応する領域を黒でペイントします。塗りつぶしレイヤーにレイヤーマスクが追加されている場合、塗りつぶしレイヤー内の塗りつぶし部分はマスクにより定義されます。



マスクを黒でペイントすると、マスクされる領域が拡大されます。

1 スタンダード編集で、レイヤーパレットから調整レイヤーまたは塗りつぶしレイヤーを選択します。

2 ブラシツール、ペイントツール、または編集ツールを選択します。

3 レイヤーマスクを表示するには、次のいずれかの操作を行います。

- マスクのみを表示するには、Alt キーを押しながらレイヤーマスクのサムネール（右端のサムネール）をクリックします。Alt キーを押しながらサムネールをもう一度クリックすると、他のレイヤーが再び表示されます。
- マスクを半透明の赤で表示するには、Alt+Shift キーを押しながらレイヤーマスクのサムネール（右端のサムネール）をクリックします。赤の表示をオフにするには、Alt+Shift キーを押しながらもう一度サムネールをクリックします。
- マスクの一部だけを編集するには、対応するピクセルを選択します。

4 レイヤーマスクを編集します。

- 調整結果や塗りつぶしの領域を削除するには、レイヤーマスクを黒でペイントします。
- 調整結果や塗りつぶしの領域を追加するには、レイヤーマスクを白でペイントします。
- 調整結果や塗りつぶしを一部削除して透明度を変えて表示するには、レイヤーマスクをグレーでペイントします（スウォッチパレットでグレーの濃淡を選択するには、ツールボックスで描画色をクリックします）。調整結果や塗りつぶしが削除される範囲は、ペイントに使用するグレーの色調によって決まります。カラーが暗いほど透明度は高くなり、明るいほど不透明度が高くなります。

レイヤーパレットで Shift キーを押しながらマスクのサムネール（レイヤーの右端にあるサムネール）をクリックするとマスクが無効になり、もう一度サムネールをクリックするとマスクが有効になります。

関連項目

174 ページの「選択範囲」

レイヤーグループ

レイヤーのクリッピンググループ

クリッピンググループとは、マスクが適用されるレイヤーをグループ化したものです。一番下のレイヤー（ベースレイヤー）がグループ全体の表示範囲を定義します。例えば、ベースレイヤーにシェイプがあり、その上のレイヤーに写真があり、一番上のレイヤーにテキストがあるとします。クリッピンググループを作成すると、写真とテキストはベースレイヤー上のシェイプのアウトラインを通してだけ表示され、ベースレイヤーの不透明度を継承します。

グループ化できるのは連続したレイヤーだけです。グループのベースレイヤー名は下線付きで表示され、その上にあるレイヤーのサムネールは右にずれた形で表示されます。また、上に重なるレイヤーには、クリッピンググループアイコン が表示されます。

クリッピンググループ内のレイヤーをリンクして、同時に移動することができます。



クリッピンググループの一番下のレイヤーのシェイプによって、その上の写真レイヤーの表示領域が決まります。

関連項目

144 ページの「レイヤーについて」

153 ページの「レイヤーのリンクまたはリンク解除」

クリッピンググループの作成

1 写真編集モードで、次のいずれかの操作を行います。

- Alt キーを押しながら、レイヤーパレット内の 2 つのレイヤーの境界線上にポインタを配置し（ポインタの形状が 2 つの重なった円 に変わったら）、クリックします。
- レイヤーパレットで、グループ化する 2 つのレイヤーの上の方のレイヤーを選択し、レイヤー／下のレイヤーとグループ化を選択します。

2 既存のレイヤーとこれから作成するレイヤーでクリッピンググループを作成する場合は、レイヤーパレットで既存のレイヤーを選択してから、レイヤーメニューまたはレイヤーパレットの詳細メニューから「新規レイヤー」を選択します。新規レイヤーダイアログボックスで、「下のレイヤーとグループ化」を選択し、「OK」をクリックします。

クリッピンググループ内のレイヤーには、グループ内の一番下のベースレイヤーの不透明度とモード属性が適用されます。

クリッピンググループと画像内の他のレイヤーとの重なり順を変更する場合は、グループ内のレイヤーをすべて選択してから、レイヤーパレット内でグループのベースレイヤーを上下にドラッグします（グループ内のレイヤーをすべて選択せずにレイヤーをドラッグすると、そのレイヤーがグループから削除されます）。

関連項目

153 ページの「レイヤーのリンクまたはリンク解除」

クリッピンググループからのレイヤーの削除

ベースレイヤーをその上にあるレイヤーからグループ解除すると、クリッピンググループ内のすべてのレイヤーがグループ解除されます。

❖ 写真編集モードで、次のいずれかの操作を行います。

- Alt キーを押しながら、レイヤーパレット内のグループ化された 2 つのレイヤーの境界線上にポインタを配置し、（ポインタの形状が 2 つの重なった円 に変わったら）クリックします。
- レイヤーパレットで、クリッピンググループ内のレイヤーを選択し、レイヤー／グループ解除を選択します。このコマンドを実行すると、選択したレイヤーとその上にあるすべてのレイヤーがクリッピンググループから削除されます。

- レイヤーパレットでグループ内のベースレイヤー以外のレイヤーを選択し、そのレイヤーをベースレイヤーの下にドラッグするか、画像内のグループ化されていない 2 つのレイヤーの間にドラッグします。

クリッピンググループ内のレイヤーのグループ解除

1 レイヤーパレットで、クリッピンググループ内のベースレイヤーを選択するか、ベースレイヤーの真上のレイヤーを選択します。

2 レイヤー／グループ解除を選択します。

レイヤースタイル

レイヤースタイル

レイヤースタイルを使用すると、簡単にレイヤー全体にエフェクトを適用することができます。効果パレットには多種多様な規定のレイヤースタイルが用意されており、クリックするだけでレイヤーにスタイルを適用できます。



3 種類のレイヤースタイルを適用したテキスト

エフェクトの境界線は、レイヤーを編集すると自動的に更新されます。例えば、テキストレイヤーにドロップシャドウスタイルを適用した場合、テキストを編集するとシャドウが自動的に変化します。

レイヤースタイルは重ねて適用できます。1 つのレイヤーに複数のスタイルを適用して、複雑なエフェクトを作り出すことができます。1 つのレイヤーに適用できるスタイルは、スタイルライブラリごとに 1 つです。また、レイヤースタイルの設定を変更して、最終的な効果を調整することもできます。

レイヤーにスタイルを適用すると、レイヤーパレットのレイヤー名の右側にアイコン が表示されます。レイヤースタイルは、レイヤーコンテンツとリンクしています。レイヤーのコンテンツを移動したり編集したりすると、それに対応してエフェクトも修正されます。

レイヤー／レイヤースタイル／スタイル設定を選択すると、レイヤースタイルの設定を編集したり、別のスタイル設定を適用したり、ダイアログボックスに表示されている属性を変更することができます。

角度 レイヤーにエフェクトを適用する際の光源の角度を指定します。

ドロップシャドウ - 距離 レイヤーコンテンツとドロップシャドウとの距離を指定します。スライダを使用して、サイズと不透明度を設定することもできます。

光彩 - 外側 レイヤーコンテンツのエッジから外側に向かって発する光彩のサイズを指定します。スライダを使用して、不透明度を設定することもできます。

光彩 - 内側 レイヤーコンテンツのエッジから内側に向かって発する光彩のサイズを指定します。スライダを使用して、不透明度を設定することもできます。

ベベル - サイズ レイヤーコンテンツの内側のエッジに沿って適用されるベベルのサイズを指定します。

ベベル - 方向 ベベルの方向（上または下）を指定します。

境界線 - サイズ 境界線のサイズを指定します。

境界線 - 不透明度 境界線の不透明度を指定します。

関連項目

256 ページの「効果パレットの使用」

レイヤースタイルの操作

スタイルの表示と非表示を切り替えたり、レイヤースタイルの設定値（光彩エフェクトのサイズの増減など）を変更して、独自のエフェクトをレイヤーに適用することができます。レイヤーのスタイルを別のレイヤーにコピーすることもできます。

レイヤースタイルの適用

1 レイヤーパレットでレイヤーを選択します。

2 効果パレットで、カテゴリメニューからレイヤースタイルを選択します。

3 次のいずれかの操作を行います。

- スタイルを選択して、「適用」をクリックします。
- スタイルをダブルクリックします。
- スタイルをレイヤーまでドラッグします。



アイコンによって、レイヤーにレイヤースタイルが適用されたことがわかります。

結果に満足できない場合は、Ctrl+Z キーを押してスタイルを削除するか、編集／取り消しを選択します。

画像内で選択したレイヤーに、スタイルをドラッグして適用することもできます。

画像内のすべてのレイヤースタイルの表示と非表示の切り替え

❖ 次のいずれかを選択します。

- レイヤー／レイヤースタイル／すべての効果を隠す
- レイヤー／レイヤースタイル／すべての効果を表示

レイヤースタイルの設定の編集

レイヤースタイルの設定を編集してレイヤー効果を調整できます。レイヤー間でスタイルの設定をコピーしたり、レイヤーからスタイルを削除することもできます。

1 次のいずれかの操作を行います。

- レイヤーパレットで、レイヤーの右側のアイコン をダブルクリックします。
- レイヤー／レイヤースタイル／スタイル設定を選択します。

2 画像に加えられた変更をプレビュー表示するには、「プレビュー」を選択します。

3 1 つまたは複数のレイヤースタイルの設定を変更するか、新規レイヤースタイルを追加し、「OK」をクリックします。

レイヤースタイルの拡大・縮小

1 レイヤーパレットで、拡大・縮小するスタイル効果を含むレイヤーを選択します。

2 レイヤー／レイヤースタイル／効果を拡大・縮小を選択します。

3 画像に加えられた変更をプレビュー表示するには、「プレビュー」を選択します。

4 効果を拡大・縮小する割合を指定します。例えば、光彩（外側）のサイズを大きくする場合は、200 %を指定すると光彩のサイズが 2 倍に拡大されます。100 %が現在のサイズです。「OK」をクリックします。

レイヤー間でのスタイル設定のコピー

1 レイヤーパレットで、コピーするスタイル設定が含まれているレイヤーを選択します。

2 レイヤー／レイヤースタイル／レイヤースタイルをコピーを選択します。

3 レイヤーパレットでペースト先のレイヤーを選択し、レイヤー／レイヤースタイル／レイヤースタイルをペーストを選択します。

レイヤースタイルの削除

1 レイヤーパレットで、削除するレイヤースタイルが含まれているレイヤーを選択します。

2 レイヤー／レイヤースタイル／レイヤースタイルを消去を選択します。

第 10 章：Camera Raw ファイル

Photoshop Elements では Camera Raw ファイルを現像処理し、すべての画像ファイル形式に共通する値（コントラスト、色調範囲、シャープさなど）を設定することができます。現像処理した Camera Raw 画像ファイルは、Photoshop Elements で開いて編集したり、サポートされているファイル形式で保存できます。デジタル版のネガフィルムともいえる Raw ファイルを現像してから Photoshop Elements で加工することにより、元の Raw ファイルを変更することなく画像を編集できます。

Photoshop Elements ヘルプのすべての内容を参照するには、「Web 上のページ」をクリックして LiveDocs にアクセスしてください。

Camera Raw 画像ファイルの処理

Camera Raw 画像ファイル

Camera Raw ファイルには、カメラの画像センサーが捉えたデータが未加工の状態で含まれています。フィルム写真でいうネガに当たるのが Camera Raw ファイルです。多くのデジタルカメラは、Raw 形式での保存に対応しています。Photoshop Elements で Raw ファイルを開いて現像処理し、保存できるので、カメラで現像を行う必要がありません。Camera Raw ファイルで作業を行うことで、ホワイトバランス、色調範囲、コントラスト、カラーの彩度およびシャープさを適切な値に設定できます。

思い通りの補正ができるまで、何度も繰り返してファイルを処理できます。Photoshop Elements では、元の Camera Raw ファイルには変更を加えず、カメラからコンピュータに画像を取り込んだ際の設定が保存されます。

Camera Raw ダイアログボックスの機能を使用して Raw ファイルを処理した後、Photoshop Elements でその画像を開き、他の写真の編集と同じように赤目補正やカラー補正などを行い、Photoshop Elements でサポートされているファイル形式でファイルを保存できます。ファイルの保存形式には、PSD を使用することをお勧めします。

Camera Raw ファイルを使用するには、カメラのファイル保存形式を Raw 形式に設定します。カメラからファイルをダウンロードするとき、ファイルには NEF、CRW などの拡張子が付いています。Photoshop Elements では、サポート対象のカメラの Raw ファイルのみを開くことができます。Adobe Web サイトにアクセスすると、サポート対象のカメラをご覧いただけます。



Camera Raw ダイアログボックス
A. 表示オプション **B.**「基本補正」と「ディテール」のタブをクリックしてコントロールを切り替え **C.** RGB 値 **D.** ヒストグラム **E.** 画像の設定 **F.** 詳細メニュー **G.** カメラ情報および EXIF 情報 **H.** ツール **I.** 回転ボタン **J.** ズームレベル **K.** ビット数オプション

Camera Raw 画像ファイルを開いて処理

1 Photoshop Elements で、ファイル／開くを選択します。

2 ファイルを参照して 1 つ以上の Camera Raw ファイルを選択し、「開く」をクリックします。

Camera Raw ダイアログボックス内のヒストグラムは、画像の現在の設定での色調範囲を示します。設定を調整すると、ヒストグラムは自動的に更新されます。

3（オプション）ズームツールなどのコントロールや、シャドウクリッピングやハイライトクリッピングなどの、プレビュー上でクリッピング領域を確認できるオプションを使用して、画像表示を調整します（169 ページの「Camera Raw のコントロール」を参照してください）。

注意：「プレビュー」を選択すると、変更した設定で画像のプレビューが表示されます。「プレビュー」の選択を解除すると、非表示のタブの設定と組み合わされて、現在のタブの変更前の設定での Camera Raw 画像が表示されます。

4 画像を反時計回りに 90˚ または時計回りに 90˚ 回転させるには、画像を回転ボタン をクリックします。

5 以前の Camera Raw 画像で使用した設定、またはカメラの初期設定を適用するには、設定メニューからオプションを選択します。類似した撮影効果の画像をすばやく処理する場合などには、同じオプションを使用すると便利です（170 ページの「カメラのカスタム設定」を参照してください）。

6（オプション）オプションを設定して、ホワイトバランスを調整します（170 ページの「Camera Raw 用のホワイトバランスコントロール」を参照してください）。

Camera Raw ダイアログボックスで調整しながら、画像内のピクセルの RGB 値をモニタできます。ズームツール、手のひらツール、ホワイトバランスツール、切り抜きツールをプレビュー画像の上に置くと、ポインタのすぐ下に RGB 値が表示されます。

7 露光量、シャドウ、明るさ、コントラスト、および彩度の各スライダを使用して色調の調整を行います。（172 ページの「Cmera Raw ファイルの色調補正と画像修正」を参照してください）。

手動の調整を元に戻し、自動的に調整を行うには、「自動」を選択します。すべてのオプションを初期設定に戻すには、Alt キーを押しながら「初期化」をクリックします。

注意：「自動」は初期設定で常に選択されています。初期設定を変更するには、「自動」オプションをオフにして、設定メニューの右横にある三角形をクリックします。Camera Raw メニューから「新規 Camera Raw 初期設定にする」を選択します。

8 次のいずれかの操作を行います。

- Photoshop Elements で Camera Raw 画像ファイル（Camera Raw 設定が適用されたもの）のコピーを開くには、「開く」をクリックします。Photoshop Elements で画像を編集し、Photoshop Elements がサポートする各種の形式で保存できます。元の Camera Raw ファイルは、まったく変更されません。
- DNG ファイル（Digital Negative）に色調補正も含めて保存するには、「画像を保存」をクリックします（169 ページの「Camera Raw 画像への変更の保存」を参照してください）。
- 調整をキャンセルし、ダイアログボックスを閉じるには、「キャンセル」をクリックします。

注意：Digital Negative（DNG）形式は、Camera Raw ファイル向けに Adobe が提案する標準形式です。DNG ファイルには、カメラセンサーの生データと画像の外観を指定するデータが含まれているので、Camera Raw 画像を保管するときに便利です。Camera Raw 画像の設定は、サイドカー XMP ファイルや Camera Raw データベースの代わりに、DNG ファイルに保存することもできます。

Camera Raw ファイルのシャープさの調整

シャープスライダを使用すると、画像のシャープさを調整して、意図したとおりの鮮明なエッジを得ることができます。シャープ調整は、Photoshop Elements のアンシャープマスクフィルタの一種であり、指定したしきい値を基本にして周囲にあるピクセルとは異なるピクセルを検索し、そのピクセルのコントラストを指定した量だけ強くします。Camera Raw ファイルを開くと、Camera Raw プラグインで、カメラモデル、ISO、露光量補正を基にして使用するしきい値が計算されます。シャープをすべての画像に適用するか、またはプレビューだけに適用するかを選択できます。

1 プレビュー画像に 100 %でズームします。

2「ディテール」タブをクリックします。

3 シャープスライダを右に移動するとシャープが増加し、左に移動すると減少します。値を 0 にすると、シャープ調整がオフになります。一般に、ノイズの少ない画像の場合、シャープスライダは低めの値に設定します。

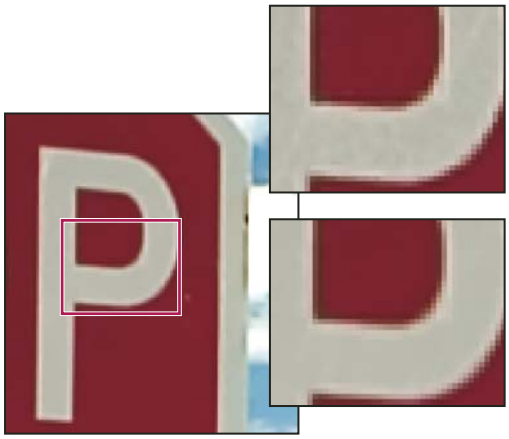
Photoshop Elements で画像を詳細に編集しない場合は、Camera Raw のシャープスライダを使用します。
Photoshop Elements で画像を詳細に編集する場合は、Camera Raw のシャープ調整をオフにします。そして、他の編集やサイズ変更の作業をすべて完了した後、最後の手順として Photoshop Elements のシャープフィルタを使用します。

Camera Raw 画像のノイズの軽減

Camera Raw ダイアログボックスの「ディテール」タブには、画像のノイズや画質を劣化させる斑点を軽減するためのコントロールがあります。画像のノイズには、画像の粒子を粗く見せる輝度（グレースケール）ノイズと、通常は画像内にカラーの斑点として表示される彩度（カラー）ノイズがあります。高めの ISO 感度またはあまり精巧ではないデジタルカメラで撮影した写真には、かなりのノイズが入ることがあります。

輝度スライダを右に移動するとグレースケールノイズが低減し、カラースライダを右に動かすと彩度ノイズが低減します。

輝度またはカラーを調整するときに、プレビュー画像を 100 %にしておくと画像が見やすくなります。



輝度をスムーズにスライダを右に移動するとグレースケールノイズが低減します。

Camera Raw 画像への変更の保存

Camera Raw ダイアログボックスでは、Camera Raw ファイルに行った変更を保存しておくことができます。ファイルを保存すると、Photoshop Elements ではそのファイルは開きません（Camera Raw ファイルを開くには、他のファイルの場合と同じように「開く」コマンドを使用します。その後、ファイルを編集し、他の画像と同じようにファイルを保存できます）。

1 Camera Raw ダイアログボックスで、1 つ以上の Camera Raw 画像に調整を適用します。

2「画像を保存」ボタンをクリックします。

3 複数の Camera Raw ファイルを保存する場合は、Camera Raw の保存オプションダイアログボックスで、ファイルの保存場所と命名方法を指定します。

4「保存」をクリックします。

写真編集モードで Camera Raw 画像を開く

Camera Raw ダイアログボックスで Camera Raw 画像を処理すると、写真編集モードを使用してその画像を開いて編集することができます。

1 Camera Raw ダイアログボックスで、1 つ以上の Camera Raw 画像に調整を適用します。

2「画像を開く」ボタンをクリックします。Camera Raw ダイアログボックスが閉じて、写真編集モードで写真が開きます。

設定とコントロール

Camera Raw のコントロール

ズームツール 🔍 プレビュー画像のどこかをクリックすると、既定のプレビュー倍率が 1 レベル大きくなります。Alt キーを押しながらクリックすると、ズームアウトします。プレビュー画像でズームツールをドラッグすると、選択範囲にズームインします。ズーム倍率を 100 %に戻すには、ズームツールをダブルクリックします。

手のひらツール ✋ プレビューウィンドウに画像全体が表示されていない場合に、プレビューウィンドウ内の画像を移動します。別のツールから手のひらツールに切り替えるには、スペースバーを押します。手のひらツールをダブルクリックすると、ウィンドウに合わせてプレビュー画像を調整できます。

ホワイトバランスツール 💉 クリックした領域を中間調のグレーに設定して、不適切な色合いを取り除き、画像全体のカラーを調整します。「色温度」と「色かぶり補正」の値は、カラー調整に伴い変化します。

切り抜きツール 画像の一部を切り抜きます。このツールを使用して、プレビュー画像で残しておきたい部分をドラッグして選択し、Enter キーを押します

角度補正ツール 角度補正ツールを使用すると、画像を垂直または水平方向に整列し直すことができます。また、角度補正を適用した画像に合わせて、カンバスの切り抜きやサイズ変更を行うこともできます。

赤目修正 フラッシュにより赤く写った人の目や、白または緑に写った動物の目を修正します。

環境設定ダイアログを開く 環境設定ダイアログを開きます。

回転ボタン 写真を反時計回りまたは時計回りに回転します。

カメラのカスタム設定

Photoshop Elements では、Camera Raw ファイルを開くと、ファイルを作成したカメラのモデルを確認するためにファイル内の情報を読み取り、画像に適切なカメラ設定を適用します。いつも同じような調整を行うのであれば、自分のカメラ用に初期設定を変更することができます。また、カメラの各モデル用の設定を変更することができますが、同じモデルの複数のカメラに対して個別の設定を保持することはできません。

1 Camera Raw ファイルを開いて画像の調整を行います。

2 画像を作成したカメラの初期設定として現在の設定を保存するには、設定メニューの横にある三角形をクリックして、「新規 Camera Raw 初期設定にする」を選択します。

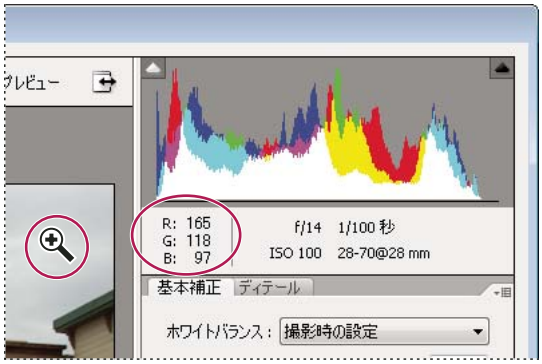
3 カメラの元の設定に戻すには、設定メニューの横にある三角形をクリックして、「Camera Raw 初期設定に戻す」を選択します。

カラーと Camera Raw

Camera Raw でのヒストグラムおよび RGB 値の使用

Camera Raw ヒストグラムには、画像の 3 つのチャンネル（レッド、グリーン、ブルー）がすべて同時に表示されます。ヒストグラムは、Camera Raw ダイアログボックスの設定を調整すると、自動的に変更されます。

以前の画像に対してズームツール、手のひらツール、ホワイトバランスツールのいずれかを移動すると、ダイアログボックスの右上に RGB 値が表示されます。



画像の RGB 値

Camera Raw 用のホワイトバランスコントロール

デジタルカメラは、露光時にメタデータとしてホワイトバランスを記録します。これは、Camera Raw ダイアログボックスでファイルを開くと表示できます。通常、この設定は正しい色温度を表現します。ホワイトバランスが適当でない場合は、調整できます。

Photoshop Camera Raw ダイアログボックスの「基本補正」タブには、画像内の色かぶりを修正するための次の 3 つのコントロールがあります。

ホワイトバランス 写真の撮影時の照明効果を反映するように画像のカラーバランスを設定します。ホワイトバランスメニューから設定を選択すると、満足する結果が得られる場合もあります。色温度と色合いの調整を使用して、ホワイトバランスをカスタマイズすることもできます。

注意：Camera Raw プラグインでは、各種のカメラのホワイトバランス設定を読み込むことができます（ただし対応機種のみ）。ホワイトバランスメニューで「撮影時の設定」に設定すると、カメラのホワイトバランス設定が使用されます。ホワイトバランス設定で認識されないカメラに対して「撮影時の設定」を選択することは、「自動」を選択することと同じです。Camera Raw プラグインは画像データを読み取り、ホワイトバランスを自動的に調整します。

色温度 色温度を変更することでホワイトバランスを微調整します。ケルビン色温度単位を使用して色温度を設定します。スライダを左に移動すると、より低い色温度の照明の下で撮影されたように写真を補正できます。環境光の低い色温度（黄色みが強い）を補正するために、画像の色を寒色系（青みが強い）にします。逆に、色温度スライダを右に移動すると、より高い色温度の照明の下で撮影されたように補正されます。環境光の高い色温度（青みが強い）を補正するために、画像の色を暖色系（黄色みが強い）にします。



ホワイトバランスの補正
A. 色温度スライダを右に移動して、より高い色温度の照明の下で撮影されたように補正します **B.** 色温度スライダを左に移動して、より低い色温度の照明の下で撮影されたように補正します **C.** 色温度が補正された後の写真です

色かぶり補正 ホワイトバランスを微調整して、グリーンまたはマゼンタの色合いを補正します。スライダを左（負の値）に移動すると、写真にグリーンが追加され、スライダを右（正の値）に移動するとマゼンタが追加されます。

ホワイトバランスの調整を簡単に行うには、ホワイトバランスツールを選択してから、グレーまたはホワイトの中間色にするプレビュー画像の領域をクリックします。色温度および色かぶり補正スライダによって、選択した色が正確な中間色に自動的に調整されます（可能な場合）。ホワイトをクリックする場合、反射光のハイライトではなく、大量のホワイトディテールを含むハイライト領域を選択します。



ホワイトバランスツールによる中間色のホワイト領域のクリックと補正結果

Cmera Raw ファイルの色調補正と画像修正

露光量 画像の明るさまたは暗さを調整します。スライダを左に移動すると画像が暗くなり、右に移動すると明るくなります。ハイライト値は、絞り値（F-Stop）に応じて増減します。1.50 調整すると、F 値を 1.50 広げた場合と同様の結果になります。同様に、-1.50 調整すると、F 値を 1.50 狭めた場合と同様の結果になります。

Alt キーを押しながら露光量スライダを移動すると、ハイライトがクリップされた部分のプレビューが表示されます（クリップとは、最も高いハイライト値または最も低いシャドウ値のいずれかにピクセル値をシフトすることです。クリップされた部分は完全にホワイトまたは完全にブラックであり、画像の細部に関する情報はありません）。ハイライト（スペキュラハイライトを除く）が完全にクリップされるまでスライダを移動してから、少しだけ逆方向に調整します。ブラックはクリップされていない領域を示し、カラーは 1 つだけまたは 2 つのチャンネルでクリップされた領域を示します。



Alt キーを押しながら露光量スライダを移動すると、クリップされたハイライトが表示されます。

白とび軽減 ハイライトからディテールの復元を試みます。1 つまたは 2 つのカラーチャンネルがホワイトにクリップされた領域からディテールを復元できます。

補助光 ブラック部分を明るくせずに、シャドウからディテールの復元を試みます。1 つまたは 2 つのカラーチャンネルがブラックにクリップされた領域からディテールを復元できます。補助光効果を使用すると、Photoshop のシャドウ／ハイライトフィルタや After Effects のシャドウ／ハイライトエフェクトの、シャドウ部分を使用する場合と似た効果が得られます。

黒レベル 最終画像でどの入力レベルがブラックにマップされるかを指定します。黒レベルの値を上げると、ブラックにマップされる領域が広くなります。これにより、画像内のコントラストが強くなったように見えることがあります。最も変化が大きいのはシャドウの部分で、中間調やハイライトの部分の変化はわずかです。黒レベルスライダを使用すると、Photoshop の「レベル補正」コマンドや After Effects のレベルエフェクトを使用するときに、入力レベルのブラックポイントスライダを使用する場合と似た効果が得られます。

明るさ 露光量スライダと同様に、画像の明るさを調整します。ただし、ハイライト（完全なホワイトでディテールのない領域）またはシャドウ（完全なブラックでディテールのない領域）の画像をクリップするのではなく、明るさスライダを右に移動すると、ハイライトが圧縮されてシャドウが拡大されます。一般に、明るさスライダを使用するのは、露光量ス

ライダおよびシャドウスライダでホワイトとブラックのクリップポイントを設定した後で、全体の明るさを調整する場合です。

コントラスト 画像内の中間調を調整します。値を高くすると中間調のコントラストが強くなり、低くするとコントラストの弱い画像になります。一般に、コントラストスライダを使用するのは、露光量、シャドウ、明るさの値を設定した後に、中間調を調整する場合です。

明瞭度 画像の輪郭をはっきりさせます。これにより、色調補正で劣化したディテールおよび鮮明さを回復することが可能です。

自然な彩度 カラーが最高彩度に達したときのクリッピング量を最小限に抑えるように彩度を調整し、彩度の高いカラーはそのまま維持しながら、彩度の低いすべてのカラーの彩度を補正します。自然な彩度を使用すると、肌の色の彩度が上がりすぎるのを抑えることもできます。

彩度 画像の彩度を -100（完全なモノクロ）から +100（2 倍の彩度）まで調整します。

シャープ シャープを適用すると、画像のエッジの輪郭が強調されます。コントロールは、ディテールパネルに用意されています。これらのコントロールの効果を確認するには、ズームレベルを 100 %以上に設定する必要があります。

- 適用量：エッジの鮮明度を調整します。適用量の値を大きくすると、画像がよりシャープになります。値を 0 にすると、シャープ調整がオフになります。一般に、ノイズの少ない画像の場合、適用量は低めの値に設定します。この調整では、指定した基準に基づいて周囲のピクセルと異なるピクセルを検索し、そのピクセルのコントラストを指定した量だけ増やします。
- 半径：シャープを適用するディテールのサイズを調整します。ディテールが非常に細かい写真の場合は、半径を小さくします。ディテールがそれほど細かくない写真の場合は、半径を大きく設定して構いません。半径を大きくしすぎると、不自然な画像になります。
- ディテール：画像内で出現頻度の高い情報にシャープ処理をかける度合いと、シャープ処理によってエッジを強調する度合いを調整します。値を下げると、エッジがシャープになり、ぼやけた部分が除去されます。値を上げると、画像内のテクスチャがより鮮明になります。
- マスク：エッジのマスクをコントロールします。設定を 0 にすると、画像のすべての要素に同じ量のシャープ処理が適用されます。設定を 100 にすると、最も強いエッジの周囲にだけシャープ処理が適用されます。

ノイズ軽減 画像の彩度を -100（完全なモノクロ）から +100（2 倍の彩度）まで調整します。

- 輝度：グレースケールノイズを調整します。
- カラー：彩度ノイズを調整します。

第 11 章：画像の一部の選択

選択範囲とは、画像上の編集可能な領域として指定する範囲のことです（例えば、写真の一部だけを明るくしたい場合に、その部分だけを選択範囲として指定すると、他の領域に影響を与えずに明るく補正することができます）。選択範囲は、選択ツールまたは選択コマンドで指定することができます。選択範囲は境界線で囲まれており、この境界線は非表示にすることができます。選択範囲の境界線内のピクセルは、変更、コピーまたは削除することができます。選択範囲の境界線外の領域は、選択範囲を解除するまでは編集できません。

Photoshop Elements ヘルプのすべての内容を参照するには、「Web 上のページ」をクリックして LiveDocs にアクセスしてください。

選択範囲の作成

選択範囲

Photoshop Elements には、選択範囲を指定するための様々な形状の選択ツールがあります。例えば、楕円形選択ツールでは楕円形および正円の領域を選択することができます。また、自動選択ツールではクリック 1 回で近似色の領域を選択することができます。また、なげなわツールを使用して、より複雑な選択範囲を指定することもできます。さらに、ぼかしやアンチエイリアスにより、選択範囲の縁を滑らかにすることもできます。

注意：選択範囲はアクティブレイヤーに限られています。すべてのレイヤーを一度に変更するには、最初に画像を統合する必要があります。



楕円形選択ツールを使用して選択範囲を指定し、選択範囲内のカラーを補正

関連項目

155 ページの「画像の統合」

187 ページの「選択ツールが描画する境界線のぼかしの設定」

186 ページの「アンチエイリアスにより選択範囲のエッジを滑らかにする」

選択ツール

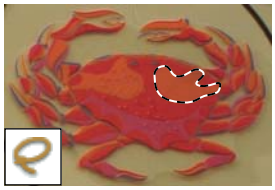
選択ツールはツールパレットにあります。ツールパレットは画面の左側に表示されます。



長方形選択ツール正方形または長方形の選択範囲を作成します。



楕円形選択ツール正円形または楕円形の選択範囲を作成します。



なげなわツール選択範囲の境界線をフリーハンドで描画します。このツールは、正確な選択範囲を指定する場合に役立ちます。



多角形選択ツール選択範囲の境界線を多角形で描画するのに使用します。



マグネット選択ツール写真内のオブジェクトのエッジをドラッグすると、そのエッジに選択範囲の境界線が自動的にスナップします。



自動選択ツールクリック 1 回で近似色のピクセルを選択できます。



クイック選択ブラシツール選択する範囲をクリックまたはドラッグすると、カラーとテクスチャの類似性に基づいて自動的に範囲が選択されます。



選択ブラシツール選択範囲モードとマスクモードのどちらを選択しているかによって、ペイントする部分を選択または選択解除します。

長方形選択ツールまたは楕円形選択ツールの使用

長方形選択ツールは長方形または正方形の選択範囲を作成するのに使用し、楕円形選択ツールは楕円形または正円形の選択範囲を作成するのに使用します。



長方形選択ツールと楕円形選択ツールのオプション
A. 長方形選択ツール **B.** 楕円形選択ツール **C.** 新規選択 **D.** 選択範囲に追加 **E.** 現在の選択範囲から削除 **F.** 現在の選択範囲との共通範囲

1 スタンダード編集のツールボックスから、長方形選択ツール または楕円形選択ツール を選択します。

2 必要に応じて、画像の上にあるオプションバーで長方形選択ツールまたは楕円形選択ツールのオプションを設定します。

- 「新規選択」、「選択範囲に追加」、「現在の選択範囲から削除」、「現在の選択範囲との共通範囲」のいずれかを指定します。
- 選択範囲の外側の領域に溶け込むように選択範囲の境界線をぼかすには、「ぼかし」に値を入力します。
- 選択範囲のエッジを滑らかにするには、「アンチエイリアス」を選択します（楕円形選択ツールのみ）。

- スタイルポップアップメニューから、「標準」を選択して選択範囲の境界線のサイズと縦横比を視覚的に確認しながら設定したり、「縦横比を固定」を選択して選択範囲の境界線の高さと幅の比率を設定したり、「固定」を選択して選択範囲の高さと幅を指定することができます。

3 選択する領域をドラッグします。Shift キーを押しながらドラッグすると、選択範囲を正方形や正円形にすることができます。

長方形または楕円形の選択範囲を作成中に移動するには、最初にマウスボタンを押したままドラッグして境界線を作成し、スペースバーを押しながらドラッグすると移動します。適切な位置まで移動したら、スペースバーを放します。

なげなわツールの使用

なげなわツールは、選択範囲の境界線をフリーハンドで描画するのに使用します。このツールにより、正確な選択範囲を指定することができます。



なげなわツールのオプション
A. なげなわツール **B.** 多角形選択ツール **C.** マグネット選択ツール **D.** 新規選択 **E.** 選択範囲に追加 **F.** 現在の選択範囲から削除 **G.** 現在の選択範囲との共通範囲

1 スタンダード編集のツールボックスから、なげなわツール を選択します。

2 必要に応じて、画像の上にあるオプションバーでなげなわツールのオプションを設定します。

- 「新規選択」、「選択範囲に追加」、「現在の選択範囲から削除」、「現在の選択範囲との共通範囲」のいずれかを指定します。
- 選択範囲の外側の領域に溶け込むように選択範囲の境界線をぼかすには、「ぼかし」に値を入力します。
- 選択範囲のエッジを滑らかにするには、「アンチエイリアス」を選択します。

3 ドラッグして、選択範囲の境界線をフリーハンドで描画します。

- 選択範囲に追加するには、マウスボタンを放し、Shift キーを押して、ポインタが に変わったらドラッグします。
- 選択範囲から一部を削除するには、マウスボタンを放し、Alt キーを押して、ポインタが に変わったらドラッグします。
- 直線を追加するには、マウスボタンを押したまま Alt キーを押し、その後マウスボタンを放しポインタが に変わったら、直線の終了位置をクリックします。

4 選択範囲の境界線を閉じるには、マウスボタンを放します。マウスボタンを放した位置と選択範囲の境界線の開始点の間に直線が描画されます。

多角形選択ツールの使用

多角形選択ツールは、選択範囲の境界線を多角形で描画するのに使用します。多角形の辺の数に制限はありません。



多角形選択ツールのオプション
A. なげなわツール **B.** 多角形選択ツール **C.** マグネット選択ツール **D.** 新規選択 **E.** 選択範囲に追加 **F.** 現在の選択範囲から削除 **G.** 現在の選択範囲との共通範囲

1 スタンダード編集のツールボックスから、多角形選択ツール を選択します。

2 必要に応じて、画像の上にあるオプションバーで多角形選択ツールのオプションを設定します。

- 「新規選択」、「選択範囲に追加」、「現在の選択範囲から削除」、「現在の選択範囲との共通範囲」のいずれかを指定します。
- 選択範囲の外側の領域に溶け込むように選択範囲の境界線をぼかすには、「ぼかし」に値を入力します。
- 選択範囲のエッジを滑らかにするには、「アンチエイリアス」を選択します。

3 まず最初の辺を開始する位置をクリックし、次にその辺を終了して次の辺を開始する位置をクリックします。これを繰り返して多角形を作成します。

辺を消去するには、Delete キーを押します。直線モードで Alt キーを押すと、フリーハンドモードに切り替えることができます。

4 選択範囲の境界線を閉じるには、次のいずれかの操作を行います。

- ポインタを開始点の上に置き、クリックします（ポインタを開始点の上に置くと、ポインタの横に丸印が表示されます）。
- 支点と異なる場所で選択範囲を閉じる場合、ポインタをダブルクリックするか、Ctrl キーを押しながらクリックします。ポインタと選択範囲の開始点の間に直線が描画されます。

マグネット選択ツールの使用

マグネット選択ツールで写真内のオブジェクトのエッジをドラッグすると、そのエッジに選択範囲の境界線が自動的にスナップします。これにより、正確な選択範囲の境界線を簡単に描画することができます。マグネット選択ツール は、コントラストの強い背景に配置された複雑なエッジを持つオブジェクトをすばやく選択するときに役立ちます。



マグネット選択ツールのオプション
A. なげなわツール **B.** 多角形選択ツール **C.** マグネット選択ツール **D.** 新規選択 **E.** 選択範囲に追加 **F.** 現在の選択範囲から削除 **G.** 現在の選択範囲との共通範囲

1 スタンダード編集のツールボックスから、マグネット選択ツールを選択します

マグネット選択ツールを選択しているときにマグネット選択ツールと他の選択ツールを切り替えるには、次のいずれかの操作を行います。

- なげなわツールをアクティブにするには、Alt キーを押しながらドラッグします。
- 多角形選択ツールをアクティブにするには、Alt キーを押しながらクリックします。

2 必要に応じて、画像の上にあるオプションバーでマグネット選択ツールのオプションを設定します。

- 「新規選択」、「選択範囲に追加」、「現在の選択範囲から削除」、「現在の選択範囲との共通範囲」のいずれかを指定します。
- 選択範囲の外側の領域に溶け込むように選択範囲の境界線をぼかすには、「ぼかし」に値を入力します。
- 選択範囲のエッジを滑らかにするには、「アンチエイリアス」を選択します。
- エッジを検知する領域を指定するには、「幅」に 1 ～ 256 のピクセル値を入力します。マグネット選択ツールは、ポインタから指定の距離内にあるエッジのみ検知します。

マグネット選択ツールのカーソルを変更してエッジを検知する領域（「幅」の値）を示すようにするには、キーボードの Shift+Caps Lock キーを押します。

- 写真内のエッジに対するマグネット選択ツールの感度を指定するには、「エッジのコントラスト」に 1 ～ 100 %の値を入力します。高い値を指定すると、周囲と比較してコントラストが強いエッジのみを検知し、低い値を指定すると、コントラストの弱いエッジを検知します。

- マグネット選択ツールが固定ポイントを設定する頻度を指定するには、「頻度」に 0 ～ 100 の値を入力します。高い値を指定するほど、選択範囲の境界線を固定するポイントの間隔が密になります。

3 選択範囲の境界線を描画するには、次のいずれかの操作を行います。

- エッジに沿ってポイントをクリックしていきます。
- マウスボタンを押しながら、エッジに沿ってドラッグします。

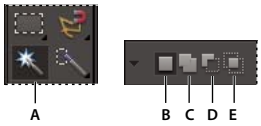
選択範囲の境界線は、写真のエッジにスナップします。境界線が目的のエッジにスナップしない場合は、目的のエッジをクリックして手動でポイントを追加し、そこから続けて境界線をトレースします（必要に応じてさらにポイントを追加します）。境界線のポイントを消去するには、Delete キーを押します。

4 選択範囲の境界線を閉じるには、次のいずれかの操作を行います。

- 境界線を手動で閉じるには、開始点までドラッグしてクリックします（ポインタを開始点の上に置くと、ポインタの横に丸印が表示されます）。
- 描画中の選択範囲の境界線を、自動的に開始点まで画像にスナップしながら閉じるには、ダブルクリックするか、Enter キーを押します。
- 境界線を直線で閉じるには、Alt キーを押しながらダブルクリックします。

自動選択ツールの使用

自動選択ツールを使用すると、クリック 1 回で近似色のピクセルを選択できます。自動選択ツールでカラー範囲を指定するか、または許容値を指定します。青い空など、近似色の領域がある場合に自動選択ツールを使用します。



自動選択ツールのオプション
A. 自動選択ツール **B.** 新規選択 **C.** 選択範囲に追加 **D.** 現在の選択範囲から削除 **E.** 現在の選択範囲との共通範囲

1 スタンダード編集のツールボックスから、自動選択ツール を選択します。

2 必要に応じて、画像の上にあるオプションバーで自動選択ツールのオプションを設定します。

- 「許容値」には、0 ～ 255 の値を入力します。クリックしたピクセルに非常に近似したカラーを選択するには低い値を入力し、幅広い範囲のカラーを選択するには高い値を入力します。
- 選択範囲のエッジを滑らかにするには、「アンチエイリアス」を選択します。
- クリックしたピクセルと同じカラーを持ち、かつそのピクセルと隣接している領域だけを選択するには、「隣接」を有効にします。このオプションの選択を解除すると、同じカラーを使用しているピクセルがすべて選択されます。
- すべての表示レイヤーのデータを使用してカラーを選択するには、「すべてのレイヤー」を有効にします。このオプションの選択を解除すると、アクティブレイヤーのカラーだけが選択されます。

3 写真内で、選択するカラーをクリックします。

4 選択範囲を追加するには、Shift キーを押しながら選択範囲外の領域をクリックします。選択範囲から領域を削除するには、Alt キーを押しながらその領域をクリックします。

クイック選択ツールの使用

クイック選択ツールを使用して、選択する範囲をクリックまたはドラッグすると、カラーとテクスチャの類似性に基づいて範囲が選択されます。クイック選択ツールは、自動的に選択範囲の境界を確定するため、ユーザが選択範囲を正確にマークする必要はありません。



クイック選択ブラシツールのオプション
A. クイック選択ツール **B.** 選択ブラシツール **C.** 新規選択 **D.** 選択範囲に追加 **E.** 現在の選択範囲から削除

1 スタンダード編集のツールボックスから、クイック選択ブラシツール を選択します。

2 オプションバーで、次のいずれかを選択します。

新規選択 新規の選択を指定できます。初期設定では、このオプションが選択されています。

選択範囲に追加 既存の選択範囲に追加できます。

現在の選択範囲から削除 既存の選択範囲の一部を削除できます。このオプションは、選択範囲を決定すると使用できます。

3 オプションバーのブラシピッカーで、ブラシを選択します。広範囲に選択する場合は、大きいブラシサイズを選択し、正確に選択する場合は、小さいブラシサイズを選択します。

4 選択するオブジェクトの色の範囲をカバーする領域を、クリックまたはドラッグします。

選択範囲の境界線が表示されます。

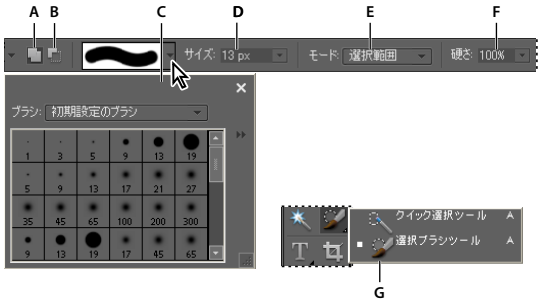
5 選択範囲を絞り込むには、次のいずれかの操作を行います。

- 選択範囲を追加するには、オプションバーで「選択範囲に追加」ボタン をクリックします。
- 選択範囲から領域を削除するには、オプションバーの「現在の選択範囲から削除」ボタン をクリックし、選択範囲から削除する領域をクリックまたはドラッグします。
- 新規に選択するには、オプションバーの「新規選択」ボタン をクリックし、クリックまたはドラッグして新しい選択範囲を指定します。

選択ブラシツールの使用

選択ブラシツールには 2 つの使用法があります。選択したい領域にペイントする方法（選択モード）と、選択したくない領域に半透明のオーバーレイをペイントする方法（マスクモード）です。

最初に、楕円形選択ツール、クイック選択ブラシ、またはその他の選択ツールで大まかな範囲を選択してから、選択ブラシツールで選択範囲を調整します。選択モードを使用すると選択範囲を追加でき、マスクモードを使用すると選択範囲を削除することができます。



選択ブラシツールのオプション
A. 選択範囲に追加 **B.** 現在の選択範囲から削除 **C.** ブラシピッカーパレット **D.** ブラシのサイズ **E.** モード **F.** 硬さ **G.** 選択ブラシツール

1 スタンダード編集のツールボックスから、選択ブラシツール を選択します。選択ブラシツールが表示されていない場合は、ツールボックスでクイック選択ツールをクリックし、表示されたリストから選択ブラシツールを選択します。

2 初期設定では、選択範囲に追加オプション が設定されています。選択範囲から削除する場合は、オプションバーで現在の選択範囲から削除 をクリックします。

3 必要に応じて、画像の上にあるオプションバーで自動選択ツールのオプションを設定します。

- ブラシピッカーのポップアップパレットからブラシを選択します。
- ブラシのサイズを指定します。
- モードメニューから「選択範囲」（選択範囲に追加する場合）または「マスク」（選択範囲から削除する場合）を選択します。
- ブラシ先端の硬さとして 1 %から 100 %の値を設定します。

選択ブラシツールでソフトエッジのブラシを使用する場合は、「モード」オプションを「マスク」に変更すると、選択範囲のソフトエッジがわかりやすくなります。

- マスクモードを使用する場合は、オーバーレイの不透明度として、オーバーレイメニューから 1 %から 100 %の値を指定します。
- マスクモードを使用する場合は、オーバーレイのカラースウォッチをクリックし、マスクカラーに設定する色をカラーピッカーから選択します。この設定は、マスクカラー（オーバーレイカラー）が画像のカラーと似ている場合に役立ちます。

4 選択する（または選択しない）領域を描画します。

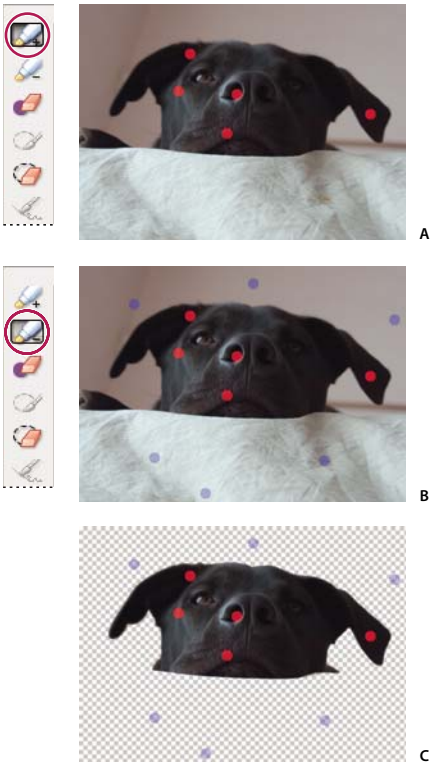


選択モードで選択範囲に追加する（左）、マスクモードで選択範囲から削除する（右）

マジック抽出機能の使用

マジック抽出を使用すると、指定した描画領域と背景領域の外観に基づいて正確に範囲を選択できます。これらの領域を指定するには、選択する領域に色付きのマークを配置します。領域をマークしてダイアログボックスを閉じると、写真編集モードには写真の描画領域だけが表示されます。

マジック抽出を使用すると、人やオブジェクトを選択して、他の背景に重ね合わせることが容易になります。例えば、家で自転車に乗っている自分の写真から自分自身を切り取って、ツールドフランスの自転車選手の写真に重ね合わせることができます。抽出した画像をファイルとして保存し、何度も使用することができます。



マジック抽出の使用
A. 赤い点でマークされた抽出する領域 **B.** 青い点でマークされた背景 **C.** 抽出された画像

1 写真編集モードで、抽出するオブジェクトが含まれる写真を開きます。

2 マジック抽出ダイアログボックスに表示される領域を制限するには、楕円形選択ツールや長方形選択ツールを使用して範囲を選択します。

3 イメージ／マジック抽出を選択します。

マジック抽出ダイアログボックスが表示されます。初期設定では、描画ブラシツール が選択されています。

4 複数回クリックするか線を描画して、抽出する領域をマークします。

5 背景ブラシツール をクリックし、複数回クリックするか線を描画して、選択範囲に含めない領域をマークします。

様々なカラーやテクスチャのオブジェクトを選択する場合は、すべてのカラーやテクスチャ上をドラッグして正確に範囲が選択されるようにします。

6 選択範囲をマークしやすくするには、ズームツール または手のひらツール を使用して、写真を拡大したり、写真上を移動したりします。Alt キーを押しながらズームツールを使用すると、ズームアウトします。

7 異なるブラシサイズやブラシのカラーを指定するには、次のいずれかの操作を行います。

- ブラシピッカーで、新しいサイズを選択します。
- 描画色または背景色のスウォッチをクリックし、カラーピッカーで新しいカラーを選択して、「OK」をクリックします。

8「プレビュー」をクリックして、現在の選択範囲を確認します。

9 プレビューの設定を指定するには、次のいずれかの操作を行います。

- プレビュー領域に表示される対象を変更するには、表示メニューから「選択範囲」または「元の画像」のいずれかを選択します。または、キーボードの X キーを押して 2 つの表示方法を切り替えることもできます。
- 異なる背景を指定するには、背景メニューからオプションを選択します。

10 次のいずれかの操作を行って選択範囲を調整し、再び結果をプレビューします。

- 選択範囲に追加したり、選択範囲から一部を削除したりするには、描画ツールまたはブラシツールを使用してより多くのドット（点）または線を描画します。

注意：描画色または背景色を変更すると、関連するブラシツールがアクティブになります。

- 描画または背景のドット（点）を消去するには、消しゴムツール を選択し、削除するドットをクリックまたはドラッグします。
- 選択範囲に領域を追加するには、選択範囲追加ツール を選択し、追加する領域をクリックまたはドラッグします。
- 選択範囲から領域を削除するには、選択範囲削除ツール を選択し、削除する領域をドラッグします。
- 前景の選択範囲のエッジを滑らかにするには、境界線修正ブラシ を選択し、滑らかにする領域をドラッグします。
- 選択範囲のエッジをぼかすには、「ぼかし」ボックスの値を大きくします。
- 選択範囲内に残っている穴を埋めるには、「塗りつぶし」ボタンをクリックします。
- 選択範囲から領域を分離して削除するには、選択範囲削除ツール を選択し、選択範囲と削除する領域の間に線をドラッグします。次に、「塗りつぶし」ボタンをクリックします。
- 前景と背景の間に残ったフリンジカラーを削除するには、「フリンジ削除」ボタンをクリックします。削除するフリンジの量を増減するには、フリンジ削除幅メニューで値を指定します。

11「OK」をクリックして、選択した領域を抽出します。最初からやり直す場合は、「初期化」ボタンをクリックしてすべてのマークを削除します。

選択範囲の削除

背景レイヤーまたは「透明ピクセルをロック」オプションが選択されているレイヤー上の選択範囲を削除すると、その部分は背景色またはチェッカーパターンに置き換えられます。

❖ スタンダード編集で、次のいずれかの操作を行います。

- 編集／消去を選択して、選択範囲を削除します（間違って選択範囲を削除した場合は、編集／取り消しを選択して元に戻すことができます）。
- Backspace キーまたは Delete キーを押して、選択範囲を消去します。
- 編集／カットを選択して、選択範囲を切り取り、クリップボードにコピーします。その後で、他の場所にペーストすることができます。

関連項目

144 ページの「レイヤーについて」

149 ページの「レイヤーのロックまたはロック解除」

コマンドを使用した領域を選択および選択解除

1 スタンダード編集で、次のいずれかの操作を行います。

- レイヤー上のすべてのピクセルを選択するには、レイヤーパレットからレイヤーを選択して、選択範囲／すべてを選択を選択します。
- 選択範囲の選択を解除するには、選択範囲／選択を解除を選択します。これは、選択範囲の選択を解除する最も確実な方法です。
- 最後に指定した選択範囲を再選択するには、選択範囲／再選択を選択します。

2 選択範囲の境界線の表示と非表示を切り替えるには、ビュー／選択範囲を選択します。

注意：写真内で選択範囲の外側の領域をクリックしても、選択を解除できます。ただし、自動選択ツールなど、クリックして選択するタイプの選択ツールを使用する場合は、外側をクリックすることで、間違ってさらに別の選択範囲を指定する可能性があります。

選択範囲の修正

選択範囲の境界線の移動

選択範囲の境界線を移動しても、境界線の位置だけが変更され、写真は変わりません。

1 スタンダード編集のツールボックスから、任意の選択ツールを使用してオプションバーから「新規選択」 をクリックし、ポインタを既存の選択範囲の境界線内に置きます。ポインタが に変わり、選択範囲を移動できることを示します。

注意：「新規選択」オプションは、選択ブラシツール以外の選択ツールが選択されている場合にオプションバーに表示されます。必要に応じて、一時的に別の選択ツールに切り替えて、このオプションを選択してください。

2 次のいずれかの操作を行います。

- ドラッグして、写真内の別の領域を囲みます。境界線をカンバス外にドラッグすることもできますが、カンバス内に戻すのは困難です。選択範囲の境界線を別のドキュメントウィンドウにドラッグすることもできます。
- 選択範囲を 1 ピクセルずつ移動するには、矢印キーを押します。
- 選択範囲を 10 ピクセルずつ移動するには、Shift キーを押しながら矢印キーを押します。
- ドラッグの方向を 45° ずつ変えるには、選択範囲をクリックし、Shift キーを押しながらドラッグします。

関連項目

187 ページの「選択範囲の移動」

選択範囲の反転

選択範囲を反転すると、選択範囲外の領域が選択範囲に変わり、前の選択範囲は編集できないようになります。

❖ 写真の一部を選択している状態で、選択範囲／選択範囲を反転を選択します。

このコマンドは、単色の背景の中にあるオブジェクトを選択するときに便利です。自動選択ツールを使用して単色を選択し、選択範囲／選択範囲を反転を選択します。

選択範囲に追加または選択範囲の一部を削除

既存の選択範囲に追加したり、既存の選択範囲の一部を削除することによって、選択範囲の境界線を微調整することができます。例えば、まず正円の選択範囲を指定し、次にその中から正円の選択範囲を削除することで、ドーナッツの形をした選択範囲を指定することができます。

❖ スタンダード編集のツールボックスから、選択ツールを選択し、次のいずれかの操作を行います。

- 選択範囲に追加するには Shift キーを押し（ポインタの横にプラス記号が表示されます）、選択範囲の一部を削除するには Alt キーを押します（ポインタの横にマイナス記号が表示されます）。追加または削除する領域を選択して、別の選択範囲を作成します。
- オプションバーの「選択範囲に追加」 をクリックするか、「現在の選択範囲から削除」 をクリックし、別の選択範囲を作成します（選択範囲に追加」オプションと「現在の選択範囲から削除」オプションは、選択ツールが選択されている場合にオプションバーに表示されます）。

既存の選択範囲と重なっている領域の選択

選択範囲内で効果が適用される領域を限定することができます。例えば、雪を頂いた山の写真で空の白い雲を選択するときに、その下にある山の白い部分を選択しないように避けることができます。まず空全体を選択します。次に自動選択ツールを選択して、「現在の選択範囲との共通範囲」を選択し、「隣接」の選択を解除して、空の選択範囲内にある白い領域だけを選択します。



長方形選択ツールで空と山の頂上を選択（上）。「現在の選択範囲との共通範囲」オプションを選択し、自由選択ツールを使用して雲を選択（中央）。雲を明るくした後の画像（下）。

❖ スタンダード編集のツールボックスから、選択ツールを選択し、次のいずれかの操作を行います。

- オプションバーの「現在の選択範囲との共通範囲」 を選択し、既存の選択範囲と重なっている領域を選択します。
- Alt+Shift キーを押し、十字線がポインタの横に表示されたら、既存の選択範囲と重なっている領域を選択します。

選択範囲を指定したピクセル数だけ拡張または縮小

選択範囲メニューの各コマンドを使用して、既存の選択範囲のサイズを増減したり、カラーに基づいて作成した選択範囲の内側や外側に残っている不要なピクセルを消去することができます。

1 スタンダード編集のツールボックスから、選択ツールを使用して選択範囲を指定します。

2 選択範囲／選択範囲を変更を選択し、「拡張」または「縮小」を選択します。

3「拡張量」または「縮小量」に 1 ～ 100 のピクセル値を入力し、「OK」をクリックします。

選択範囲の境界線が、指定したピクセル数に応じて拡張または縮小します。カンバスのエッジに沿っている選択範囲の境界線は変化しません。

既存の選択範囲を新しい選択範囲の境界線で囲む

「境界線」コマンドは、アンチエイリアス処理されたソフトなエッジの境界線で選択範囲を作成します。新しい選択範囲の境界線を追加すると、2 つの選択範囲の境界線の間にあるピクセルが選択されます。



「境界線」コマンドを使用して 4 ピクセルの境界線の選択範囲を作成（上）。選択範囲を新しいレイヤーにコピーし、塗りつぶして画像のアウトラインを作成（中央）。元の画像で選択範囲を塗りつぶして、画像の周囲にアウトラインを作成（下）。

1 スタンダード編集のツールボックスから、選択ツールを使用して選択範囲を指定します。

2 選択範囲／選択範囲を変更／境界線を選択します。

3「幅」テキストボックスに 1 ～ 200 のピクセル値を入力し、「OK」をクリックします。

関連項目

187 ページの「ぼかしにより選択範囲のエッジをぼかす」

選択範囲への近似色の領域の追加

1 写真編集モードで、選択ツールを選択し、次のいずれかの操作を行います。

- 選択範囲／選択範囲を拡張を選択して、オプションバーで指定した許容値の範囲内のすべての隣接ピクセルを選択範囲に追加します（場合によっては、自動選択ツールなどの許容値の範囲を設定できる選択ツールに切り替える必要があります）。許容値が高いと、追加されるカラーの範囲が大きくなります。
- 選択範囲／近似色を選択を選択して、隣接したピクセルだけではなく、写真内にある許容値の範囲内のすべてのピクセルを選択範囲に追加します。

2 許容値として指定した値で徐々に選択範囲を拡張するには、各コマンドを繰り返し選択します。

注意：モノクロ 2 階調モードの写真では「選択範囲を拡張」および「近似色を選択」コマンドを使用することができません。

カラーに基づいて作成した選択範囲の内側や外側に残ったピクセルの除去

「滑らかに」コマンドは、選択範囲の周りのピクセルを検索し、境界線内で選択し残したピクセルを選択し、境界線外で選択した小さなピクセルを選択範囲からはずし境界線を滑らかにします。検索する領域は選択範囲の周囲からの距離で指定します。

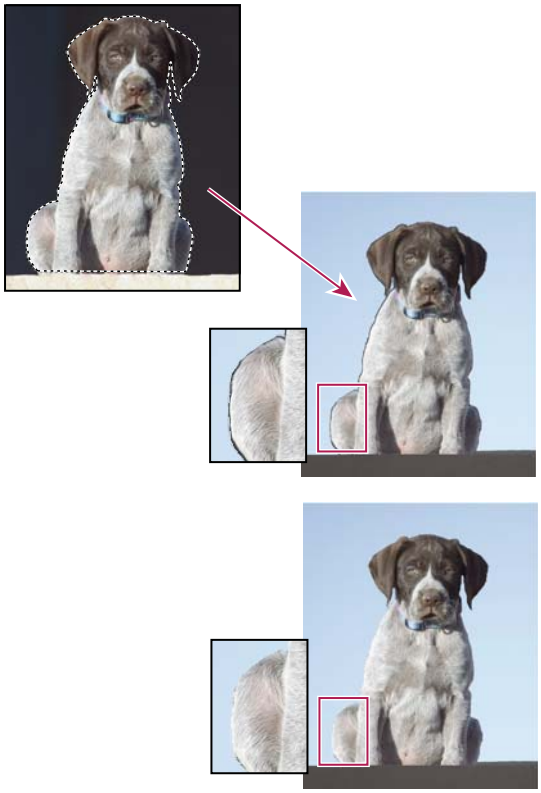
1 写真編集モードの選択ツールで選択範囲を作成し、選択範囲／選択範囲を変更／滑らかにを選択します。

2「半径」に 1 ～ 100 のピクセル値を入力し、「OK」をクリックします。

選択範囲のフリンジ削除

選択範囲を移動またはペーストするときに、選択範囲の境界線の周囲のピクセルが選択範囲に含まれることがあります。これらの余分なピクセルより、選択範囲のエッジ周囲に縁取りが生成される場合があります。「レイヤーのフリンジ削除」コマンドは、フリンジピクセルのカラーを、純色を含む近くのピクセルのカラー（背景色を含まないカラー）と置換しま

す。例えば、ブルーの背景にあるイエローのオブジェクトを選択して、選択範囲を移動すると、ブルーの背景の一部がオブジェクトと一緒に移動されます。「レイヤーのフリンジ削除」では、ブルーのピクセルをイエローのピクセルに置換します。



選択して新しい画像にコピーされた犬。暗い背景のアーティファクトが見えます（上）。「フリンジ削除」コマンドの適用後（下）

1 選択範囲をコピーして、新規または既存のレイヤーにペーストします。

2 画質調整／カラー／レイヤーのフリンジ削除を選択します。

3 フリンジ削除ダイアログボックスで、オブジェクトの周囲で置換するピクセル数を入力します。1 または 2 の値を指定すれば十分です。

4「OK」をクリックします。

アンチエイリアスおよびぼかしにより選択範囲のエッジを滑らかにする

アンチエイリアスにより選択範囲のエッジを滑らかにする

ぼかしやアンチエイリアスにより、選択範囲のくっきりとしたエッジを滑らかにすることができます。アンチエイリアスは、エッジピクセルと背景ピクセル間のカラーをゆるやかに移行させて、選択範囲のギザギザのエッジを滑らかにします。エッジピクセルだけを変更するので、ディテールが失われることはありません。アンチエイリアスは、合成画像を作成する際に、選択範囲をカット、コピー、ペーストするときに役立ちます。

なげなわ、多角形選択、マグネット選択、楕円形選択および自動選択ツールでは、「アンチエイリアス」オプションを選択することができます。アンチエイリアスを実行するには、選択範囲を指定する前に「アンチエイリアス」オプションを選択しておく必要があります。既存の選択範囲にアンチエイリアスを適用することはできません。

1 スタンダード編集のツールボックスから、なげなわ、多角形選択、マグネット選択、楕円形選択または自動選択のいずれかの選択ツールを選択します。

2 オプションバーで「アンチエイリアス」を選択します。

3 画像ウィンドウで選択範囲を指定します。

ぼかしにより選択範囲のエッジをぼかす

❖ ぼかしにより、選択範囲のくっきりとしたエッジを滑らかにすることができます。ぼかしは、選択範囲とその周囲のピクセルの間のカラーを変化させてエッジをぼかします。このぼかしにより、選択範囲の縁あたりの再現性が失われます。

楕円形選択、長方形選択、なげなわ、多角形選択またはマグネット選択ツールで、境界線をぼかした選択範囲を作成できます。また、選択範囲メニューを使用して既存の選択範囲にぼかしを適用することもできます。ぼかし効果は、選択範囲の移動、カット、コピーまたは塗りつぶしを行ったときに、よくわかります。



元画像（左）と、選択範囲の境界線をぼかし、「反転」コマンドを適用して白で塗りつぶした画像（右）

選択ツールが描画する境界線のぼかしの設定

1 写真編集モードで、次のいずれかの操作を行います。

- ツールボックスから長方形選択、楕円形選択、なげなわ、多角形選択、マグネット選択ツールのいずれかを選択し、オプションバーの「ぼかし」に値を入力してぼかしの幅を定義します。ぼかしは、選択範囲の境界線から指定した値の領域まで適用されます。
- 選択ブラシツールを選択し、オプションバーのブラシポップアップパレットからソフトなエッジのブラシを選択します。

2 画像ウィンドウで選択範囲を指定します。

既存の選択範囲の境界線へのぼかしの設定

1 スタンダード編集のツールボックスから、選択ツールを選択し、選択範囲を指定します。

2 選択範囲／境界をぼかすを選択します。

3「半径」テキストボックスに 0.2 ～ 250 の値を入力し、「OK」をクリックします。この値によってぼかしの幅が定義されます。

選択範囲の移動とコピー

選択範囲の移動

移動ツール により、選択範囲内のピクセルを切り取って写真内の別の場所にドラッグすることができます。また、他の写真や他のアプリケーションの写真に移動またはコピーすることもできます。



移動ツールを使用して写真の選択範囲を別の写真に移動

別のツールの選択中に移動ツールをアクティブにするには、Ctrl キーを押します（この操作は、手のひらツールでは実行できません）。

1 写真編集モードの選択ツールで選択範囲を作成し、ツールボックスから移動ツール を選択します。

2 必要に応じて、オプションバーで移動ツールの設定を変更します。

3 ポインタを選択範囲内に移動して、選択範囲を任意の位置にドラッグします。複数の範囲を選択している場合は、ドラッグするとすべてのピクセル選択範囲が移動します。

移動ツールのオプション

移動ツール を選択すると、オプションバーで次の設定を変更することができます。

レイヤーを自動選択 選択中のレイヤーではなく、移動ツールで画像をクリックした場所でピクセルを含む一番上のレイヤーを選択します。

バウンディングボックスを表示 選択したアイテムの周囲にバウンディングボックス（画像の境界線を囲む四角形）を表示します。選択範囲のサイドとコーナーにあるボックスでは、選択範囲のサイズを変更することができます。

ロールオーバーにハイライトを表示 画像にマウスを合わせると、個々のレイヤーがハイライト表示されます。ハイライト表示されたレイヤーをクリックすると、そのレイヤーを選択して移動できます。既に選択されているレイヤーは、ロールオーバーにハイライト表示されません。

アレンジメニュー 選択されたレイヤーを他のレイヤーの最前面、中間、または最背面へ移動します。オプションには、「最前面へ」、「前面へ」、「背面へ」、および「最背面へ」があります。レイヤーを配置するには、レイヤーを選択して、アレンジメニューのアイテムを選択します。

整列メニュー 選択されたレイヤーを整列します。オプションには、「左端」、「水平方向中央」、「右端」、「上端」、「垂直方向中央」、および「下端」があります。複数のレイヤーを同時に整列させることができます。レイヤーを整列するには、レイヤーを選択し、Shift キーを押しながら別のレイヤーを選択して、整列メニューのアイテムを選択します。

分布メニュー 選択された複数のレイヤーを間隔をあけて配置します。オプションには、「左端」、「水平方向中央」、「右端」、「上端」、「垂直方向中央」、および「下端」があります。複数のレイヤーに同時に間隔をあけることができます。レイヤーに間隔をあけるには、レイヤーを選択し、Shift キーを押しながら別のレイヤーを選択して、分布メニューのアイテムを選択します。

選択範囲またはレイヤーのコピー

選択範囲をコピーしたりペーストしたりするには、編集メニューの「コピー」、「結合部分をコピー」、「カット」、「ペースト」または「選択範囲内へペースト」コマンドを使用します。

選択範囲やレイヤーを解像度の異なる別の写真にペーストすると、ペーストしたデータは元のピクセルサイズを保持するので、ペーストした部分とペースト先の写真の大きさの釣り合いがとれなくなることがあります。コピーおよびペーストを行う前に、イメージ／サイズ変更にある「画像解像度」コマンドを使用して、元の写真とペースト先の写真の解像度を同じにしてください。

切り取った選択範囲やコピーした選択範囲は、クリップボードに格納されます。クリップボードに一度に格納できる選択範囲は 1 つです。

Photoshop Elements を終了すると、編集／環境設定／一般で「クリップボードへ転送」を選択していなければ、クリップボードの内容は失われます。

移動ツールを使用した選択範囲のコピー

選択範囲を別の写真にコピーするには、選択範囲をアクティブドキュメントウィンドウから別のドキュメントウィンドウにドラッグします。コピー先のドキュメントウィンドウがハイライト表示されたら、選択範囲をそのウィンドウにドロップすることができます。

1 画像内のコピーする範囲を選択します。

2 スタンダード編集のツールボックスから、移動ツール を選択します。

3 Alt キーを押しながら、コピーして移動する選択範囲をドラッグします。

4 同じ選択範囲のコピーをさらに作成するには、次のいずれかの操作を行います。

- Alt キーを押しながら選択範囲を任意の位置にドラッグします。
- 複製を 1 ピクセルずつオフセットするには、Alt キーを押しながら矢印キーを押します（ピクセルが移動してコピーされ、ぼかし効果が生まれます）。
- 複製を 10 ピクセルずつオフセットするには、Alt+Shift キーを押しながら矢印キーを押します（ピクセルはコピーされず、移動します）。

コマンドを使用した選択範囲のコピー

1 スタンダード編集のツールボックスから、選択ツールを使用してコピーする選択範囲を指定します。

2 次のいずれかの操作を行います。

- 編集／コピーを選択して選択範囲をクリップボードにコピーします。
- 編集／結合部分をコピーを選択して選択範囲内のすべてのレイヤーをクリップボードにコピーします。

Photoshop Elements を終了すると、編集／環境設定／一般で「クリップボードへ転送」を選択していなければ、クリップボードの内容は失われます。

選択範囲の別の選択範囲へのペースト

「選択範囲内へペースト」コマンドを使用して、コピーした選択範囲内の画像を別の選択範囲の中にペーストすることができます。このコマンドにより、選択範囲内の画像を利用して、ペーストした画像が平面的で不自然にならないようにすることができます。例えば、ハードライト描画モードを 85 %の不透明度で使用することで、サングラス上の光の反射を保持することができます。このような方法で描画モードを使用する場合、新しいレイヤーを作成し、選択範囲をそのレイヤーにペーストする必要があります。



A



B



C

選択範囲を別の画像にコピー
A. 一部を選択した状態の元の写真 **B.** コピーして元の写真にペーストする写真 **C.** ペースト後の画像

1 スタンダード編集で、「コピー」コマンドを使用してペーストする写真の一部をコピーします（他のアプリケーションの写真からもコピーすることができます）。

2 ペースト先の写真に選択範囲を指定します。

注意：コピーした写真は、選択範囲の境界線内にだけ表示されます。コピーした写真は境界線内では移動できますが、これを完全に境界線の外に移動した場合、表示されなくなります。

3 編集／選択範囲内へペーストを選択します。

4 ポインタを選択範囲の境界線内に合わせて、ペーストした画像を適切な場所にドラッグします。

5 操作を完了したら、ペーストした画像の選択を解除して変更を確定します。

別のツールの選択中に移動ツールをアクティブにするには、Ctrl キーを押します（この操作は、手のひらツールでは実行できません）。

選択範囲の保存

選択範囲の保存、読み込みまたは削除

写真の選択範囲を保存しておくと、後で編集することができます。保存した選択範囲を読み込む前に、写真の他の領域を編集することができます。



選択範囲の保存（上）、選択範囲の読み込み（中央）、および選択範囲を使用した単一色での塗りつぶし（下）

1 スタンダード編集で、写真から任意の選択範囲を指定します。

2 選択範囲／選択範囲を保存を選択します。

3 選択範囲を保存ダイアログボックスの選択範囲ポップアップメニューから「新規」を選択します。

4「名前」ボックスに選択範囲の名前を入力し、「OK」をクリックします。

5 選択範囲を読み込むには、選択範囲／選択範囲を読み込むを選択します。次に、選択範囲メニューから保存した選択範囲を選択し、「OK」をクリックします。

6 選択範囲を削除するには、選択範囲／選択範囲を削除を選択します。次に、選択範囲メニューから保存した選択範囲を選択し、「OK」をクリックします。

保存した選択範囲の編集

保存した選択範囲は、置き換えたり、追加またはその一部を削除したりするなどして、編集することができます。

1 スタンダード編集で、写真から任意の選択範囲を指定します。

2 選択範囲／選択範囲を保存を選択します。

3 選択範囲を保存ダイアログボックスの選択範囲メニューから編集する選択範囲を選択します。

4 次のいずれかを選択し、「OK」をクリックします。

選択範囲の置き換え 保存した選択範囲が現在の選択範囲と置き換えられます。

選択範囲に追加 現在の選択範囲が保存した選択範囲に追加されます。

現在の選択範囲から一部削除 保存した選択範囲から現在の選択範囲が削除されます。

現在の選択範囲との共通範囲 保存した選択範囲が、現在の選択範囲と保存した選択範囲との重なる領域に置き換えられます。

保存した選択範囲の編集は、保存した選択範囲を読み込み、選択ツールを使用して、その選択範囲に追加（Shift キーを押しながらドラッグ）、または選択範囲の一部を削除（Alt キーを押しながらドラッグ）しても可能です（183 ページの「選択範囲に追加または選択範囲の一部を削除」を参照してください）。

保存した選択範囲での新しい選択範囲の修正

1 スタンダード編集で、保存した選択範囲を含む写真を開きます。

2 写真から任意の選択範囲を指定します。

3 選択範囲／選択範囲を読み込むを選択します。

4 選択範囲メニューから保存した選択範囲を選択します。

5 次のいずれかの操作を行います。

選択範囲に追加 保存した選択範囲が現在の選択範囲に追加されます。

現在の選択範囲から一部削除 現在の選択範囲から保存した選択範囲が削除されます。

現在の選択範囲との共通範囲 現在の選択範囲が、現在の選択範囲と保存した選択範囲との重なる領域に置き換えられます。

6 選択範囲を反転するには、「反転」を選択して「OK」をクリックします。

第 12 章：カラーおよび色調補正

Adobe® Photoshop® Elements® には、写真の色調範囲、カラー、シャープを調整するためのツールがあります。また、写真からほこり、しみや斑点を除去することもできます。経験と目的に応じて、様々なモードでこれらのタスクを実行することができます。

Photoshop Elements ヘルプのすべての内容を参照するには、「Web 上のページ」をクリックして LiveDocs にアクセスしてください。

カラーおよび色調補正の基本

カラー補正の概要

Photoshop Elements には、写真の色調範囲、カラー、シャープさを補正したり、ほこりやその他のしみや斑点を取り除いたりするためのツールとコマンドが用意されています。経験と目的に応じて、次の 3 つのワークスペースのいずれかを選択することができます。

ガイド付き編集 デジタル画像処理に初めて取り組む場合、または Photoshop Elements を初めて使用する場合は、ガイド付き編集を使って、手順を確認しながらカラーの編集作業を進めることができます。また、作業の流れの理解を深めるのにも役立ちます。

クイック補正 デジタル画像処理にあまり慣れていない場合は、クイック補正を使用して写真の補正を開始することをお勧めします。これには、カラーや照明を補正するための基本的なツールが多数用意されています。

スタンダード編集 既に画像処理の経験がある場合は、スタンダード編集ワークスペースでより柔軟で強力な画像補正を行うことができます。これには、画像のしみや斑点の補正、選択範囲の指定、テキストの追加、画像のペイントに必要なツールに加え、カラーおよび照明を補正するためのコマンドもあります。

スタンダード編集の一部の補正コマンドでは、画像のピクセルを直接補正することもできます。また、調整レイヤーを使用して、画像が完成するまで一時的な補正を行い、補正が適切でなければ簡単に変更することもできます。

Camera Raw Camera Raw 形式でデジタル画像を撮影する場合、Camera Raw ダイアログボックスで Camera Raw ファイルを開いて補正することができます。カメラで RAW ファイルの処理をまだ行っていないため、写真のカラーと露出を補正して、画像の質を向上することができます。多くの場合、Photoshop Elements で他の補正を行う必要はありません。Photoshop Elements で Camera Raw ファイルを開くには、まずサポートされているファイル形式で Camera Raw ファイルをコピーします。

関連項目

166 ページの「Camera Raw 画像ファイル」

クイック補正でのカラーの補正

クイック補正には、Photoshop Elements の基本的な写真補正ツールの多くが使いやすいようにまとめられています。クイック補正で作業を行うときは、写真に適用するカラーおよびライティングのコントロールの数を制限する必要があります。通常、自動補正のうちの 1 つを使用するだけにします。適用したコントロールで思いどおりの結果が得られない場合は、「初期化」ボタンをクリックして他のコントロールを使用してみます。また、自動補正コントロールを使用していてもしていなくても、スライダコントロールを使用して画像を調整することもできます。シャープの調整は、他の補正を適用してから、最後に適用する必要があります。



クイック補正の自動コントラストの調整を使用すると、すばやく写真を補正できます

1 次のいずれかの操作を行います。

- フォトブラウザまたは日付表示で 1 つまたは複数の写真を選択し、ツールバーで「写真編集モード」ボタンをクリックして、「クイック補正」をクリックします。
- 写真編集モードで写真が表示されたら、パレットエリアにある「編集」タブで「クイック補正」ボタンをクリックします。

クイック補正では、プロジェクトエリアに保存されているすべての写真を開くことができます。

2（オプション）画像プレビューの下にある表示メニューから、プレビューオプションを選択します。プレビューオプションで、補正前と補正後のいずれの写真を表示するかを選択できます。また、補正前後の写真を並べて表示することもできます。

3（オプション）クイック補正ツールを使用して、画像のズーム、移動または切り抜き、画像の範囲の選択、赤目の修正を行います。

4 ウィンドウの下部にある左に回転ボタン または右に回転ボタン をクリックして、画像を 90° 単位で回転させます。

5 ウィンドウの右側にある画像補正オプションのいずれかを設定します。思いどおりの結果を得られない場合は「初期化」ボタンをクリックして、他のコントロールを使用してみます。

スマート補正 ライティングとカラーを調整します。全体的なカラーバランスが補正され、シャドウとハイライトのディテールがより鮮明になります。適用量スライダで、補正量を変更できます。「自動」ボタンを押すと、コマンドが適用されます。

赤目修正 画像内の赤目を自動的に検出して修正します。

レベル補正 画像の全体的なコントラストを補正します。これにより、画像のカラーが変化することがあります。画像のコントラストを強め、カラーキャストを取り除く必要がある場合に、このコマンドを使用します。このコマンドは、各カラーチャンネルの最も明るいピクセルを黒に、最も暗いピクセルを白に個別にマッピングします。「自動」ボタンを押すと、コマンドが適用されます。（200 ページの「レベル補正」を参照してください）。

コントラスト 画像のカラーを変化させることなく画像の全体的なコントラストを補正します。画像の色合いは補正する必要がなく、コントラストのみを強める必要がある場合にこのコマンドを使用します。「自動コントラスト」は、画像の最も明るいピクセルを白に、最も暗いピクセルを黒にマッピングするので、ハイライト部分はより明るく、シャドウ部分はより暗く表現されます。「自動」ボタンを押すと、コマンドが適用されます。

シャドウを明るく スライダをドラッグして、ハイライトを変化させることなく、写真の最も暗い領域を明るくします。純粋なブラックの領域は変化しません。

ハイライトを暗く スライダをドラッグして、シャドウを変化させることなく、写真の最も明るい領域を暗くします。純粋なホワイトの領域は変化しません。

中間調のコントラスト ハイライト部分とシャドウ部分を変化させることなく、中間調の値（純粋なホワイトと純粋なブラックのおよそ中間に位置する色調）のコントラストを調整します。

カラー 各カラーチャンネルではなく、画像全体のシャドウ、中間調、ハイライトを識別して、コントラストとカラーを補正します。具体的には、カラー設定があらかじめ持っている値を使用して、中間調を補正し、白色ピクセルと黒色ピクセルをクリップします。「自動」ボタンを押すと、コマンドが適用されます。



クイック補正でのカラー値の調整

彩度 カラーをより鮮やかにまたはより地味にします。

色相 画像のすべての色を調整します。このコントロールは、少しずつ適用するか、カラーを変更するオブジェクトを選択して適用することをお勧めします。

色温度 暖色（レッド系）または寒色（ブルー系）を強調します。このコントロールは、夕日や肌色を強調するとき、またはカメラのカラーバランス設定がオフになっている場合に使用します。

色合い グリーンまたはマゼンタを強調します。このコントロールは、色温度コントロールを使用した後でカラーを微調整するときに使用します。

シャープ 写真のシャープを調整します。「自動」ボタンをクリックすると、初期設定のシャープの量を適用します。シャープの量は、スライダをドラッグして変更します。100 %ズームでプレビューすると、適用されているシャープの量が与える効果をより正確に確認できます。

クイック補正とスタンダード編集のオプション

これらのツールは、クイック補正とスタンダード編集で同じように機能します。

ズームツール プレビュー画像の表示倍率を設定します。このツールのコントロールとオプションは、ツールボックスのズームツールと同じように機能します（131 ページの「ズームインまたはズームアウト」を参照してください）。

手のひらツール 画像全体が表示されていない場合に、画像をプレビューウィンドウで移動して非表示部分を表示します。別のツールが選択されているときに手のひらツールを使用するには、スペースバーを押します（131 ページの「スタンダード編集またはクイック補正での画像の表示」を参照してください）。

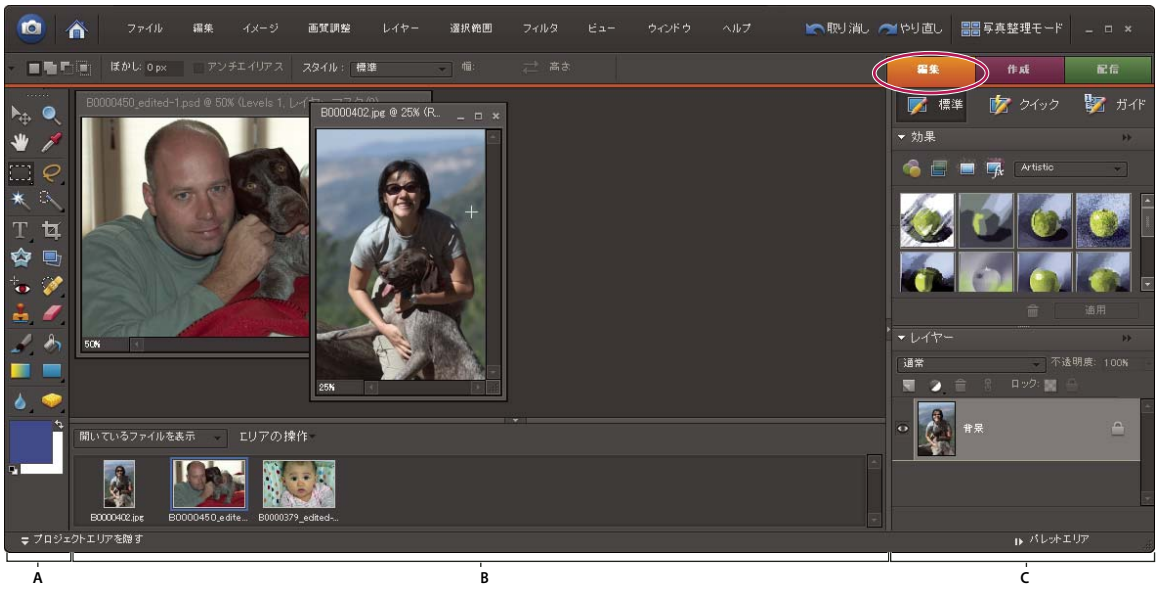
クイック選択ツール クリックまたはドラッグした場所に基づいて画像の一部を選択します（178 ページの「クイック選択ツールの使用」を参照してください）。

切り抜きツール 画像の一部を切り抜きます。このツールを使用して、プレビュー画像で残しておきたい部分をドラッグして選択し、Enter キーを押します（220 ページの「画像の切り抜き」を参照してください）。

赤目修正ツール フラッシュにより赤く写った人の目や、白または緑に写った動物の目を修正します。このツールを使用して、プレビュー画像上で修正する目の周りをドラッグするか、またはオプションバーの「自動」ボタンをクリックします（228 ページの「正確な赤目の除去」を参照してください）。

スタンダード編集でのカラーの補正

スタンダード編集のワークスペースは、画像処理の経験者向けの、柔軟で充実した画像補正環境で、画像のしみや斑点の補正、選択範囲の指定、テキストの追加、画像のペイントに必要なツールに加え、カラーおよび照明を補正するためのコマンドもあります。スタンダード編集の一部の補正コマンドでは、画像のピクセルを直接補正することもできます。また、調整レイヤーを使用して、画像が完成するまで一時的な補正を行い、補正が適切でなければ簡単に変更することもできます。



スタンダード編集
A. 写真を補正したり、画像の一部を選択したりするための各種ツールがあります **B.** プロジェクトエリアでは、スタンダード編集で開いている写真を確認できます **C.** パレットエリアには、写真の変形や調整に使用するパレットと、すべてのワークスペースモード（スタンダード編集、クイック補正、ガイド付き編集）にアクセスするためのタブがあります。

写真編集モードで写真を処理するとき、画像に適用される次の操作を行います。すべての作業をすべての画像に対して行う必要はありません。次のリストは推奨ワークフローです。

1. カラーマネジメントオプションの指定

カラーマネジメントオプションを指定します（255 ページの「カラーマネジメントの設定」を参照してください）。

2. 画像の 100 %表示および切り抜き（必要な場合）

カラー補正を行う前に、画像を 100 %の倍率で表示します。Photoshop Elements では、倍率が 100 %のときに画像が最も正確に表示されます。また、ほこりや傷などの汚損を確認することもできます。ファイルを切り抜く予定がある場合は、使用するメモリの容量を節約し、ヒストグラムで関連する情報だけが使用されるようにするために、ここでファイルを切り抜きます。画像を切り抜く前にズームツールを使用して画像を適切な大きさで表示しておくと、範囲を適切に選択して画像を切り抜くことができます。

3. スキャン画質と色調範囲の確認

画像のヒストグラムを見て、高画質で出力するのに十分なディテールがあるかどうかを調べます。

4. 画像のサイズ変更（必要に応じて）

画像を別のアプリケーションやプロジェクトで使用する場合、画像のサイズを適切なサイズに変更します。通常、画像をプリントしたり、Photoshop Elements プロジェクトで使用する場合は、画像のサイズを変更する必要はありません（225 ページの「画像サイズと解像度」を参照してください）。

5. ハイライトとシャドウの補正

補正は、まず画像内のハイライト部分とシャドウ部分のピクセル値（色調範囲とも呼ばれます）を補正することから始めます。これによって総体的な色調範囲が設定され、画像全体の細部まで可能な限り鮮明にすることができます。このプロセスは、ハイライトとシャドウの設定または白色点と黒点の設定と呼ばれます（200 ページの「レベル補正」を参照してください）。

6. カラーバランスの補正

色調範囲の補正が終わったら、画像のカラーバランスを補正して、不要なカラーキャスト（色かぶり）を取り除いたり、彩度を補正したりすることができます。Photoshop Elements には、色調範囲とカラーを一度に補正する各種の自動補正コマンドがあります（208 ページの「彩度と色相の補正」を参照してください）。

7. その他の特殊なカラー補正

画像の全体的なカラーバランスを補正し終わったら、その他の補正を行ってカラーを強調することができます。例えば、画像のカラーの彩度を上げて鮮やかなカラーにすることができます。

8. 画像のレタッチ

スポット修復ブラシなどのレタッチツールを使用して、画像からほこり、しみや斑点を取り除きます（229 ページの「小さな斑点やしみの除去」を参照してください）。

9. 画像の輪郭をはっきりさせる

最後に、画像の輪郭をよりはっきりさせることができます。これにより、色調補正で劣化したディテールおよび鮮明さを回復することが可能です（237 ページの「シャープの概要」を参照してください）。

関連項目

166 ページの「Camera Raw 画像ファイル」

カラーと照明の自動補正

Photoshop Elements では、スタンダード編集とクイック補正のいずれにも照明とカラーの自動補正コマンドが用意されています。画像に応じて自動補正コマンドを選択します。

様々な自動補正コマンドを試すことができます。実行したコマンドの結果が適切でなければ、編集／取り消しを選択してそのコマンドを取り消し、別のコマンドを実行します。複数の自動補正コマンドを使用しなければならないことは、ほとんどありません。

1 画像の一部を補正するには、いずれかの選択ツールを使用して補正する領域を選択します。選択範囲を指定しない場合は、画像全体に補正が適用されます。

2 画質調整メニューから次のいずれかのコマンドを選択します。

自動スマート補正 全体的なカラーバランスが補正され、シャドウとハイライトのディテールがより鮮明になります。

自動レベル補正 画像の全体的なコントラストを補正します。これにより、画像のカラーが変化することがあります。画像のコントラストを強め、カラーキャストを取り除く必要がある場合は、このコマンドを使用します。自動的にレベル補正を行うときには、各カラーチャンネルの最も明るいピクセルを黒に、最も暗いピクセルを白に個別にマッピングします。

自動コントラスト 画像のカラーを変化させることなく画像の全体的なコントラストを補正します。画像の色合いは補正する必要がなく、コントラストのみを強める必要がある場合にこのコマンドを使用します。「自動コントラスト」は、画像の最も明るいピクセルを白に、最も暗いピクセルを黒にマッピングするので、ハイライト部分はより明るく、シャドウ部分はより暗く表現されます。

自動カラー補正 各カラーチャンネルではなく、画像全体のシャドウ、中間調、ハイライトを識別して、コントラストとカラーを補正します。具体的には、カラー設定があらかじめ持っている値を使用して、中間調を補正し、白色ピクセルと黒色ピクセルを設定します。

自動シャープ 画像の輪郭をはっきりさせて、色調補正によって低下するディテールを強化することで、画像のシャープを調整します。

自動赤目修正 画像内の赤目を自動的に検出して修正します。

関連項目

228 ページの「正確な赤目の除去」

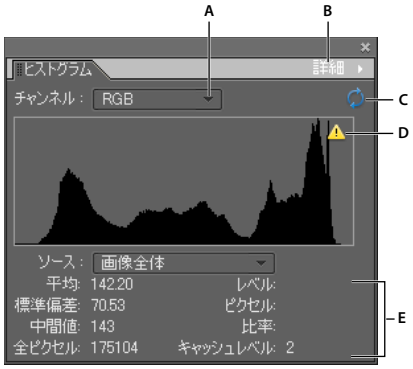
232 ページの「画像内のカラーの置き換え」

238 ページの「画像をシャープにする」

ヒストグラム

ヒストグラムにより、画像の色調分布を解析し、補正の必要があるかどうかを確認することができます。ヒストグラムとは、画像を構成するピクセル値の分布を示す棒グラフです。グラフの左側には画像のシャドウの値（最も暗い値はレベル 0）が表示され、右側にはハイライトの値（最も明るい値はレベル 255）が表示されます。グラフの縦軸は、各レベルのピクセルの総数を示します。

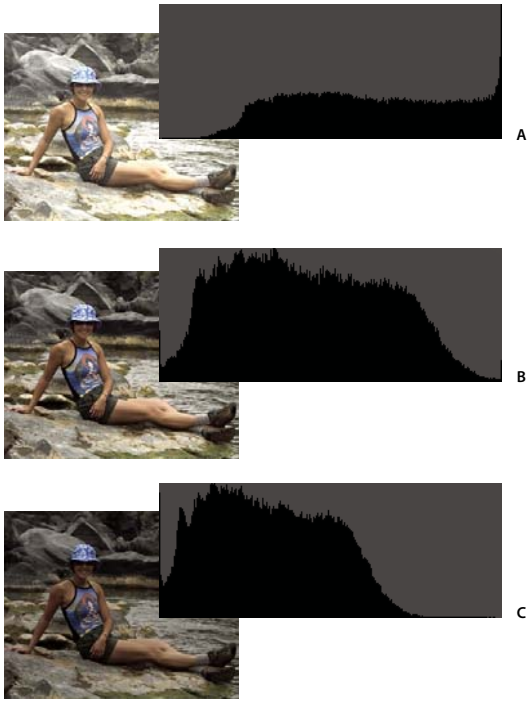
画像のヒストグラムは、ヒストグラムパレットで表示することができます。また、ヒストグラムはレベル補正ダイアログボックスと Camera Raw ダイアログボックスでも使用することができます。ヒストグラムは作業中に更新することができます。これにより、補正が色調範囲に与える影響を確認することができます。キャッシュありデータの警告アイコンが表示された場合は、それをクリックしてヒストグラムのデータを更新します。



ヒストグラムパレット
A. チャンネルメニュー **B.** 詳細メニュー **C.** キャッシュを使用しないで更新ボタン **D.** キャッシュありデータの警告アイコン **E.** 数値情報

グラフの左側（シャドウ）または右側（ハイライト）にピクセルが集まっている場合、画像のシャドウ領域またはハイライト領域のディテール（細部）が再現されていない状態であり、純粋な黒または純粋な白のベタ塗りに近い状態になっていることを示します。このような画像を修復することは、きわめて困難です。スキャンした画像がこのような状態であれば、異なる設定でもう一度スキャンして適切な色調範囲にします。デジタルカメラに画像のヒストグラムを表示する機能が搭載されていれば、撮影時に露出を確認し、適切でなければ露出を調節します。詳しくは、デジタルカメラのマニュアルを参照してください。

ヒストグラムのシャドウ領域とハイライト領域にピクセルが表示されないことがあります。これは、画像が最大限の色調範囲を使用していないことを示します。色調範囲が制限されている画像を補正するには、「レベル補正」コマンドまたは画質調整メニューのいずれかの自動補正コマンドを使用して色調範囲を拡張します。



ヒストグラムの読み取り方法
A. 露出オーバーでクリップされたハイライトが見られる写真 **B.** 適切な露出による最適な色調の写真 **C.** 露出不足でクリップされたシャドウが見られる写真

関連項目

166 ページの「Camera Raw 画像ファイル」

170 ページの「Camera Raw でのヒストグラムおよび RGB 値の使用」

ヒストグラムの表示

1 ヒストグラムパレットが開かれていない場合は、ウィンドウ／ヒストグラムを選択します。

2 ヒストグラムの表示対象をソースメニューから選択します。

画像全体 画像全体のヒストグラムを表示します。これには、複数のレイヤーを持つドキュメントのすべてのレイヤーも含まれます。

選択されたレイヤー レイヤーパレットで選択されているレイヤーのヒストグラムを表示します。

調整されたレイヤー レイヤーパレットで選択されている調整レイヤーとその下にあるすべてのレイヤーのヒストグラムを表示します。

3 画像の一部のヒストグラムを表示するには、画像で選択範囲を指定し、チャンネルメニューからオプションを選択します。

RGB 各カラーチャンネルのヒストグラムを積み重ねて表示します。

レッド、グリーンおよびブルー 各カラーチャンネルのヒストグラムを個別に表示します。

輝度 合成チャンネルの輝度または照度の値を示すヒストグラムを表示します。

カラー RGB ヒストグラムをカラー別に表示します。レッド、グリーンおよびブルーは、各カラーチャンネルのピクセルを表します。シアン、マゼンタおよびイエローは、2 つのカラーチャンネルのヒストグラムが重なり合う領域を表します。グレーは、3 つすべてのカラーチャンネルのヒストグラムが重なり合う領域を表します。

グレースケール画像には、グレーのチャンネルしかありません。

4 一定の範囲にある値の統計情報を表示するには、ヒストグラム上をドラッグしてその範囲をハイライト表示します。ヒストグラム上の特定のエリアの情報を見るには、そのエリアにポインタを合わせます。

平均 照度の平均値を表します。

標準偏差 照度値の範囲を表します。

中間値 照度範囲の中間値を表示します。

全ピクセル ヒストグラムの算出に使用されるピクセルの総数を表します。

レベル ポインタで指定した領域の照度レベルを表示します。

ピクセル ポインタで指定した照度レベルのピクセル総数を表示します。

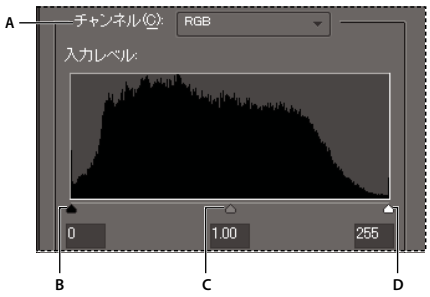
比率 ポインタで指定した照度レベルより低いピクセルのパーセント値を表示します。この値は、画像内の全ピクセルに対する割合で表示されるので、左端では 0 %、右端では 100 %になります。

キャッシュレベル 画像キャッシュの設定を表示します。環境設定ダイアログボックスで、ヒストグラムにキャッシュを使用するように指定している場合、Photoshop Elements は、ヒストグラムの表示精度を落として、表示を高速化します。より正確なヒストグラムを表示する必要がある場合は、このオプションの選択を解除します。

シャドウとライトの補正

レベル補正

レベル補正ダイアログボックスには、色調およびカラーを補正するための様々な機能が用意されています。レベル補正は、画像全体または選択した部分に対して実行することができます（レベル補正ダイアログボックスが写真編集モードまたはパレットエリアで開かれていない場合は、画質調整／ライティング／レベル補正を選択します）。



レベル補正ダイアログボックス
A. カラーを調整するチャンネル **B.** シャドウ値 **C.** 中間調 **D.** ハイライト値

レベル補正ダイアログボックスでは、次のいずれかの操作を行うことができます。

- 画像が最大限の色調範囲を使用するように、シャドウとハイライトの値を設定します。
- 画像のシャドウおよびハイライトの値を変化させることなく中間調の明るさを補正します。
- グレーを中間調にしてカラーキャストを補正します。夕陽の画像に暖色効果を追加するなど、少量のカラーキャストを追加することで、画像を引き立たせることもできます。
- 商業印刷用の画像を生成する場合は、シャドウおよびハイライトのターゲット RGB 値を設定します。

レベル補正を行うとき、画像のピクセルを直接補正するか、調整レイヤーを使用して補正を適用します。調整レイヤーを使用することで、補正を柔軟に適用することができます。

- 調整レイヤーをダブルクリックすると、レベル補正ダイアログボックスが再び開きます。これにより、補正をいつでも変更することができます。
- レイヤーパレットで不透明度を低く設定することで、調整レイヤーによる補正の効果を弱めることができます。
- 調整レイヤーを重ねることで、画像を劣化させることなく補正を適用できます。

• 調整レイヤーのレイヤーマスクを使用して、画像の一部にのみ補正を適用することができます。

関連項目

158 ページの「調整レイヤーと塗りつぶしレイヤー」

ハイライトとシャドウのディテールの向上

1 画質調整／ライティング／シャドウ・ハイライトを選択します。

2 調整スライダをドラッグするか、テキストボックスに値を入力して、「OK」をクリックします。

シャドウを明るく 写真の暗い領域を明るくし、撮影されているシャドウのディテールをより鮮明にします。

ハイライトを暗く 写真の明るい領域を暗くし、撮影されているハイライトのディテールをより鮮明にします。写真の純粋な白の領域にはディテールは存在しないので、これは適用されません。

中間調のコントラスト 中間調のコントラストを調整します。シャドウとハイライトを補正した後、画像のコントラストが適切でなければ、このスライダで調整します。

ダイアログボックスを開いたときの状態に画像を戻すには、Alt キーを押しながら「初期化」ボタンをクリックします。



シャドウとハイライトの補正前（上）と補正後（下）。補正により顔の印象が柔らかくなり、サングラスの背後のディテールが明確になっています

関連項目

206 ページの「カラーキャスト（色かぶり）の自動除去」

60 ページの「写真整理モードでの写真の補正」

レベル補正を使用したシャドウと明るさの補正

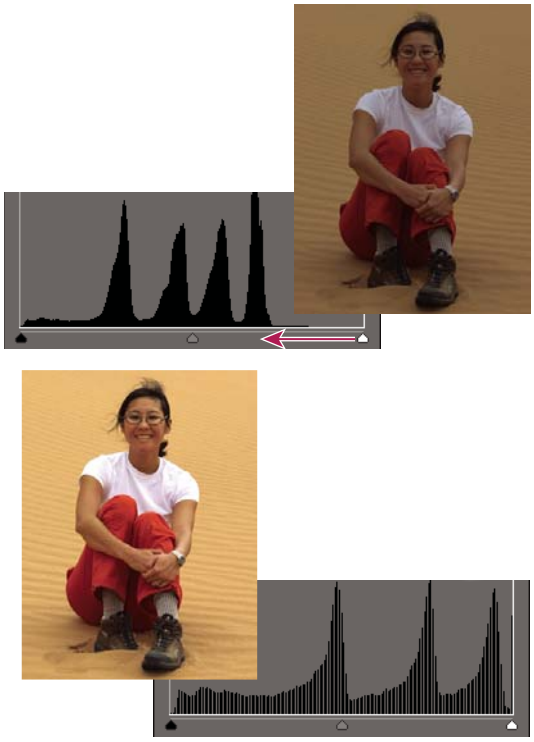
1 次のいずれかの操作を行います。

• 画質調整／ライティング／レベル補正を選択します。

• レイヤー／新規調整レイヤー／レベル補正を選択するか、既存のレベル調整レイヤーを開きます。

2 チャンネルメニューから「RGB」を選択します。RGB に設定した場合、調整は 3 つのチャンネル（レッド、グリーン、ブルー）のすべてに影響します。グレースケール画像を補正する場合は、グレーのチャンネルのみが表示されます。

3 黒と白の入力レベルスライダ（ヒストグラムの下にある左右のスライダ）をそれぞれヒストグラムの左端および右端のピクセルまでドラッグして、シャドウとハイライトの値を設定します。左端と右端の「入力レベル」テキストボックスに値を直接入力することもできます。



ハイライトスライダを左側にドラッグして、写真を明るくします

黒（レベル 0）にクリップされる領域を確認するには、Alt キーを押しながらシャドウスライダをドラッグします。白（レベル 255）にクリップされる領域を確認するには、Alt キーを押しながらハイライトスライダをドラッグします。カラーの領域は、各チャンネルにおけるクリッピングを示します。

4 シャドウおよびハイライトの値を変化させることなく中間調の明るさを補正するには、グレーの入力レベルスライダ（中央）をドラッグします。中央の「入力レベル」テキストボックスに値を直接入力することもできます（値 1.0 は、未調整の現在の中間調の値を表します）。「OK」をクリックします。

補正がヒストグラムパレットに反映されます。

注意：「自動補正」をクリックすると、ハイライトとシャドウのスライダを最も明るい点と最も暗い点に自動的に移動させることができます。これは「自動レベル補正」コマンドに等しく、これにより画像の色合いが変化することがあります。

関連項目

218 ページの「商業印刷用画像のターゲット値の設定」

208 ページの「彩度と色相の補正」

197 ページの「カラーと照明の自動補正」

選択した領域の明るさとコントラストの補正

「明るさ・コントラスト」コマンドは、画像の選択範囲の補正に最適です。このコマンドは、画像全体の明るさを補正したり、最大限の色調範囲を使用しない画像のコントラストを補正したりするのに使用します。色調補正には「レベル補正」コマンドまたは「シャドウ・ハイライト」コマンドを使用することをお勧めします。

1 次のいずれかの操作を行います。

- 画質調整／ライティング／明るさ・コントラストを選択して、画像のピクセルを直接補正します。
- スタンダード編集で、レイヤー／新規調整レイヤー／明るさ・コントラストを選択して、レイヤー上で補正します。

2 スライダをドラッグして明るさとコントラストを調整し、「OK」をクリックします。

左へドラッグするとレベルが下がり、右へドラッグすると増加します。各スライダの右側に表示される数値は、明るさとコントラストの値です。

分離された領域の明るさの調整

覆い焼きツールと焼き込みツールを使用して、画像の一部を明るくしたり、暗くしたりすることができます。覆い焼きツールは、シャドウのディテールをはっきりさせたいときに使用し、焼き込みツールは、ハイライトのディテールをはっきりさせたいときに使用します。



元の画像（左）、焼き込みツールを使用した後の画像（上中央）、および覆い焼きツールを使用した後の画像（右下）

1 写真編集モードで、覆い焼きツール または焼き込みツール を選択します。これらのツールが表示されない場合は、スポンジツール を探してください。

2 オプションバーで、ツールオプションを設定します。

ブラシピッカー ブラシ先端を設定します。ブラシサンプルの横にある矢印をクリックしてブラシポップアップメニューからブラシのカテゴリーを選択し、使用するブラシのサムネールを選択します。

サイズ ブラシのサイズをピクセル数で設定します。サイズスライダをドラッグするか、テキストボックスにサイズを入力します。

範囲 ツールによって調整される画像の色調範囲を設定します。グレーの中間範囲を変更するには、「中間調」を選択します。暗い領域を変更するには、「シャドウ」を選択します。明るい領域を変更するには、「ハイライト」を選択します。

露光量 1 回のストロークで与える効果の量を設定します。パーセント値が高いほど、効果が増します。

ある領域を徐々に覆い焼きまたは焼きこみするには、ツールの露光量を低く設定し、修正したい領域に何度かドラッグします。

3 画像内で、変更する部分をドラッグします。

関連項目

208 ページの「彩度と色相の補正」

分離された領域の彩度の調整

スポンジツールを使用して、画像の一部の彩度を上げたり、下げたりすることができます。スポンジツールは、オブジェクトまたは領域のカラーを強調したり、弱めたりする場合に使用します。

1 スタンダード編集のツールパレットから、スポンジツール を選択します。スポンジツールが表示されない場合は、覆い焼きツール または焼きこみツール を探してください。

2 オプションバーで、ツールオプションを設定します。

ブラシピッカー ブラシ先端を設定します。ブラシサンプルの横にある矢印をクリックしてブラシポップアップメニューからブラシのカテゴリーを選択し、使用するブラシのサムネールを選択します。

サイズ ブラシのサイズをピクセル数で設定します。サイズスライダをドラッグするか、テキストボックスにサイズを入力します。

彩度 彩度を上げるか、下げるかを設定します。

流量 1 回のストロークで与える強さを設定します。彩度を上げるモードでは、パーセント値が高いほど、彩度が増加します。彩度を下げるモードでは、パーセント値が高いほど、彩度が減少します。

カラーバランスの補正

画像のバリエーションの比較によるカラーキャストの補正

カラーバリエーションダイアログボックスで、写真のサムネールを比較してカラー補正と色調補正を行うことができます。このコマンドは、精密なカラー補正を必要としない平均的な色調の画像に最適です。

注意：インデックスカラーモードとモノクロ 2 階調の画像には、「カラーバリエーション」コマンドを使用できません。



カラーバリエーションダイアログボックスでのカラー補正の比較

1 画質調整／カラー／カラーバリエーションを選択します。

補正前の画像と補正後の画像のプレビューが表示されます。

2 次のいずれかのオプションで、補正する画像の階調域を選択します。

中間調、シャドウ、ハイライト 色調範囲内の暗い領域、中間調の領域または明るい領域を補正します。

彩度 画像のカラーをより鮮やか（彩度を上げる）またはより地味（彩度を下げる）にします。

3 カラーの強さを調整スライダを使用して、それぞれの補正量を設定します。スライダを左へドラッグすると量が減り、右へドラッグすると量が増えます。

4「シャドウ」、「中間調」または「ハイライト」を選択した場合は、次のいずれかの操作を行います。

- 画像にカラーを加算する場合は、該当するカラーを強くするサムネールをクリックします。
- 画像からカラーを減算する場合は、該当するカラーを弱くするサムネールをクリックします。

あるサムネールをクリックするたびに、それ以外のサムネールも変化します。

5「彩度」を選択した場合は、「彩度を下げる」サムネールまたは「彩度を上げる」サムネールをクリックします。

6 調整を取り消したり、やり直すには、次のいずれかの操作を行い、「OK」をクリックして、調整内容を画像に適用します。

- すべての補正を取り消して最初から作業を始めるには、「画像を初期化」をクリックします。
- 補正を取り消すには「取り消し」ボタンを必要な回数クリックします。「画像を初期化」オプションを取り消すことはできません。
- 取り消した補正をやり直すには、「やり直し」ボタンを必要な回数クリックします。

関連項目

201 ページの「ハイライトとシャドウのディテールの向上」

201 ページの「レベル補正を使用したシャドウと明るさの補正」

カラーキャスト（色かぶり）の自動除去

写真の不必要な色合いのことを、カラーキャストと呼びます。例えば、室内でフラッシュを使用せずに撮影した写真では黄色みが強くなります。「カラーバランスを補正」コマンドにより、カラーの全体的な混合率を変更して、画像のカラーキャストを取り除くことができます。



元の画像（左）および緑のカラーキャストの除去後（右）

1 画質調整／カラー／カラーバランスを補正を選択します。

2 画像内で、白、黒または中間のグレーにする領域をクリックします。選択したカラーに基づいて画像が変化します。

3 画像に加えた変更を取り消して、最初からやり直すには、「初期化」ボタンをクリックします。

4「OK」をクリックしてカラーの変更を適用します。

関連項目

197 ページの「カラーと照明の自動補正」

レベル補正を使用したカラーキャストの除去

これを実行するには、カラー補正の経験と RGB カラーホイールの知識が必要です。

1 次のいずれかの操作を行います。

- 画質調整／ライティング／レベル補正を選択します。
- レイヤー／新規調整レイヤー／レベル補正を選択するか、既存のレベル調整レイヤーを開きます。

2 チャンネルポップアップメニューから補正するカラーチャンネルを選択します。

- 「レッド」を選択すると、画像にレッドまたはシアンが追加されます。
- 「グリーン」を選択すると、画像にグリーンまたはマゼンタが追加されます。
- 「ブルー」を選択すると、画像にブルーまたはイエローが追加されます。

3 中央の入力レベルスライダを左または右にドラッグしてカラーを加算または減算します。

4 全体的なカラーが適切に補正されたら、「OK」をクリックします。

レベル補正ダイアログボックスのグレー点を設定スポイトツールでカラーキャストをすばやく取り除くことができます。グレー点を設定スポイトツールをダブルクリックし、表示されるカラーピッカーダイアログで RGB の値が同じ数値であることを確認します。カラーピッカーを閉じた後、画像内で中間調のグレーにする領域をクリックします。

関連項目

248 ページの「カラーホイール」

201 ページの「レベル補正を使用したシャドウと明るさの補正」

206 ページの「カラーキャスト（色かぶり）の自動除去」

カラーカーブの調整

「カラーカーブを補正」コマンドは、各カラーチャンネルのハイライト、中間調、およびシャドウを調整することにより、写真の色調を改善します。例えば、このコマンドを使用すると、逆光が強いために影の付いた写真、またはカメラのフラッシュに近すぎたために色あせた写真を補正できます。

カラーカーブを補正ダイアログボックスでは、「スタイルを選択」ボックス内にあるスタイルのリストから、様々な色調のプリセットを比較および選択できます。さらに微調整を加えるには、「ハイライト補正」、「中間調の明るさ」、「中間調のコントラスト」、および「シャドウ補正」を調整します。



画像内のカラー補正曲線を調整する
A. スタイルの選択（規定のスタイルから選択）**B.** スライダの調整（カスタムオプション）

1 写真編集モードで、画像を開きます。

2 画像の一部またはレイヤーを補正するには、いずれかの選択ツールを使用して補正する領域を選択します（選択範囲を指定しない場合は、画像全体に補正が適用されます）。

元の写真を保持したまま、色調の調整を試すには、複製したレイヤー上でカラー補正曲線を調整します。

3 画質調整／カラー／カラーカーブを選択します。

4 スタイル（逆光を補正、ソラリゼーションなど）を選択します。

5 ハイライト、中間調の明るさ、中間調のコントラスト、およびシャドウのスライダを調整します。

6 画像に調整を適用するには、「OK」をクリックします。調整をキャンセルしてもう一度やり直すには、「初期化」をクリックします。カラー補正曲線の調整ダイアログボックスを閉じるには、「キャンセル」をクリックします。

関連項目

144 ページの「レイヤーについて」

カラーの彩度と色相の補正

彩度と色相の補正

「色相・彩度」コマンドにより、画像全体または各カラーコンポーネントの色相、彩度や明度の値を調整することができます。

色相スライダを使用して、モノクロ画像にカラーを着色してセピア色に仕上げたり、画像の一部のカラー範囲を変更したりするなど、特殊な効果を出すことができます。



A B C

「色相・彩度」コマンドを使用した画像内のカラーの変更
A. 元の画像 **B.**「色彩の統一」オプションでセピアに変更された全体画像 **C.** 編集メニューで対象にされ、色相スライダで変更されたマゼンタ色

彩度スライダを使用して、カラーをより鮮やかまたはより地味にします。これは、風景画像のすべてのカラーに彩度を追加してより鮮やかな画像にする場合や、ポートレートの真っ赤なセーターなど、目立つカラーを抑える場合などに使用します。



カラーの彩度の補正前（左）と補正後（右）

明度スライダを他の補正機能とともに使用して、画像の一部を明るくまたは暗くします。これを画像全体に適用すると、全体の色調範囲が縮小されてしまいます。

関連項目

248 ページの「カラーホイール」

カラーの彩度または色相の変更

1 次のいずれかの操作を行います。

- 画質調整／カラー／色相・彩度を選択します。
- スタンダード編集でレイヤー／新規調整レイヤー／色相・彩度を選択するか、既存の色相・彩度調整レイヤーを開きます。

ダイアログボックスに表示される 2 本のカラーバーには、カラーがカラーホイールと同じ並び順で表示されます。上のバーには調整前のカラーが表示され、下のバーには調整によって全彩度の色相すべてがどのように変化するかが表示されます。

2 編集ドロップダウンメニューで、補正するカラーを選択します。

- 「マスター」を選択すると、すべてのカラーを一度に調整できます。
- ポップアップメニューに表示される既定のカラー範囲の中から、調整するカラー範囲を選択します。カラーバーの間に表示される調整スライダで、任意の色相範囲を編集できます。

3 「色相」に値を入力するか、スライダをドラッグして目的のカラーを表示します。

テキストボックスに表示される値は、そのピクセルの元のカラーを 0 としてカラーホイール上を回転したときの角度を示します。正の値は右回り、負の値は左回りの回転であることを示します。値は -180 ～ +180 の範囲で入力します。

4 「彩度」に値を入力するか、スライダを右（彩度は増加）または左（彩度は減少）へドラッグします。値は -100 ～ +100 の範囲で入力します。

5 「明度」に値を入力するか、スライダを右（明度は増加）または左（明度は減少）へドラッグします。値は -100 ～ +100 の範囲で入力します。画像全体に対してこのスライダを使用するときは注意が必要です。画像全体の色調範囲を縮小することになります。

6 「OK」をクリックします。または、変更をキャンセルしてはじめからやり直す場合は、Alt キーを押しながら「初期化」ボタンをクリックします。

色相・彩度スライダの範囲の変更

1 次のいずれかの操作を行います。

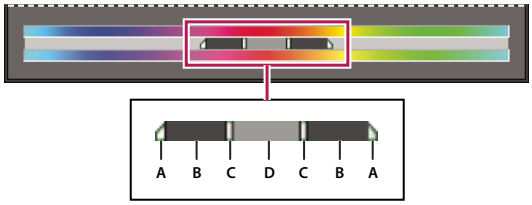
- 画質調整／カラー／色相・彩度を選択します。
- スタンダード編集でレイヤー／新規調整レイヤー／色相・彩度を選択するか、既存の色相・彩度調整レイヤーを開きます。

2 編集メニューからカラーを個別に選択します。

3 調整スライダで次のいずれかの操作を行います。

- 左右の末端にある三角形をドラッグして、範囲を変更せずにカラーのフォールオフ量を調整します。
- 左右のグレーの部分をドラッグして、カラーのフォールオフ量を変更せずに範囲を調整します。
- 中央のグレーの部分をドラッグして、調整スライダ全体を移動させて別のカラー領域を選択します。
- 白い縦のバーのいずれかをドラッグしてカラーコンポーネントの範囲を調整します。範囲を広げるとカラーのフォールオフ量は少なくなり、狭くするとフォールオフ量は多くなります。

カラーバーと調整スライダバーを同時に移動する場合は、Ctrl キーを押しながらカラーバーをドラッグします。



調整スライダ
A. 範囲を変更せずにカラーのフォールオフ量を調整 **B.** カラーのフォールオフ量を変更せずに範囲を調整 **C.** カラーコンポーネントの範囲を調整 **D.** スライダ全体を移動

調整スライダを他のカラー範囲に入るように変更すると、「編集」で表示されているカラー範囲の名前がそれに応じて変更されます。例えば、イエロー系の範囲をカラーバーのレッド部分に入るように変更すると、名前は「レッド系 2」になります。1 つのカラー範囲から 6 つまでをそのバリエーションとして変換できます（「レッド系 1」から「レッド系 6」など）。

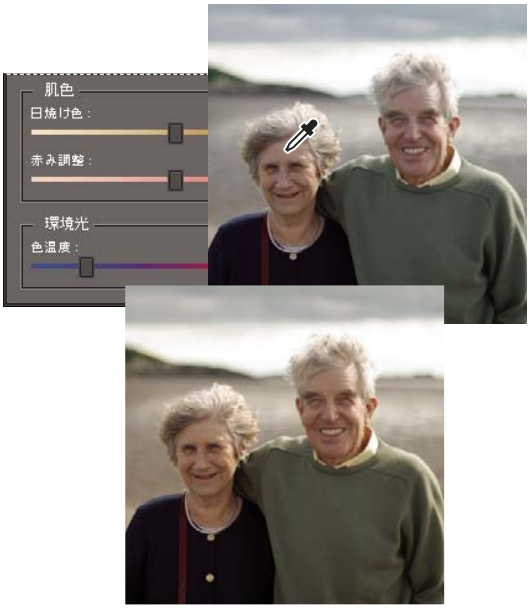
注意：初期設定では、カラーコンポーネント選択時のカラー範囲は 30 ˚ の広さで、左右に 30 ˚ のカラーのフォールオフがあります。設定したフォールオフ量が少なすぎると、画像内に縞模様を生じることがあります。

4 画像からカラーを選択してその範囲を編集するには、スポイトツールを選択し、画像内をクリックします。カラー範囲にカラーを追加するには、プラス記号（+）の付いたスポイトツールを使用します。カラー範囲からそのカラーを削除するには、マイナス記号（-）の付いたスポイトツールを使用します。

スポイトツールを選択した状態で Shift キーを押すと範囲に追加され、Alt キーを押すと範囲から削除されます。

肌色の補正

「肌色補正」コマンドは写真の全体的なカラーを調整し、より自然な肌色を引き出します。Photoshop Elements で写真の肌の領域をクリックすると、肌色だけでなく写真の他のすべてのカラーが調整されます。手動で茶色と赤を個別に調整して最終的に必要なカラーを実現します。



元の画像（上）および肌色の補正後（下）

1 写真を開き、補正が必要なレイヤーを選択します。

2 画質調整／カラー／肌色補正を選択します。

3 肌の領域をクリックします。

Photoshop Elements により画像のカラーが自動的に調整されます。変化がごくわずかな場合もあります。

注意：カラーの変化を確認できるように、「プレビュー」が選択されていることを確認します。

4（オプション）次のいずれかのスライダをドラッグして補正を微調整します。

日焼け色 肌色の茶色のレベルを調整します。

赤み調整 肌色の赤色のレベルを調整します。

色温度 肌色全体を変更します。

5 終了後に「OK」をクリックします。変更をキャンセルしてもう一度やり直すには、「初期化」をクリックします。

分離された領域の彩度の補正

スポンジツールは、選択した範囲のカラーの彩度（鮮やかさ）を微調整します。



スポンジツールによる彩度の向上

1 スタンダード編集のツールパレットから、スポンジツール を選択します。

2 オプションバーで、ツールオプションを設定します。

ブラシピッカー ブラシ先端を設定します。ブラシサンプルの横にある矢印をクリックしてブラシポップアップメニューからブラシのカテゴリーを選択し、使用するブラシのサムネールを選択します。

サイズ ブラシのサイズをピクセル数で設定します。サイズスライダをドラッグするか、テキストボックスにサイズを入力します。

彩度 カラーの彩度を調整します。カラーの彩度を上げるには、彩度で「上げる」を選択します。グレースケールでは、「上げる」を選択すると、コントラストが強まります。カラーの彩度を下げるには、彩度で「下げる」を選択します。グレースケールでは、「下げる」を選択すると、コントラストが弱まります。

流量 彩度を変更する割合を設定します。流量ポップアップスライダをドラッグするか、テキストボックスに値を入力します。

3 画像内で、変更する部分をドラッグします。

オブジェクトのカラーの変更

「色の置き換え」コマンドを使用すると、画像内の特定のカラーを置き換えることができます。カラーの色相、彩度、明度を設定することができます。

1 画質調整／カラー／色の置き換えを選択します。

2 画像のサムネールの下にある表示オプションを選択します。

選択範囲 モノクロ画像にしたようなマスクをプレビューボックスに表示します。

画像を表示 画像をプレビューボックスに表示します。このオプションは画像が拡大されている場合や画面スペースが限られている場合などに便利です。

3 スポイトツールボタンをクリックし、次に画像内またはプレビューボックス内で変更するカラーをクリックします。カラーを追加するには、プラス記号（+）の付いたスポイトツールを使用します。カラーを削除して変更されないように保護するには、マイナス記号（-）の付いたスポイトツールを使用します。

4 許容量スライダをドラッグして、選択範囲に含める近似色の範囲を設定します。

5 次のいずれかの操作を行って、新しいカラーを指定します。

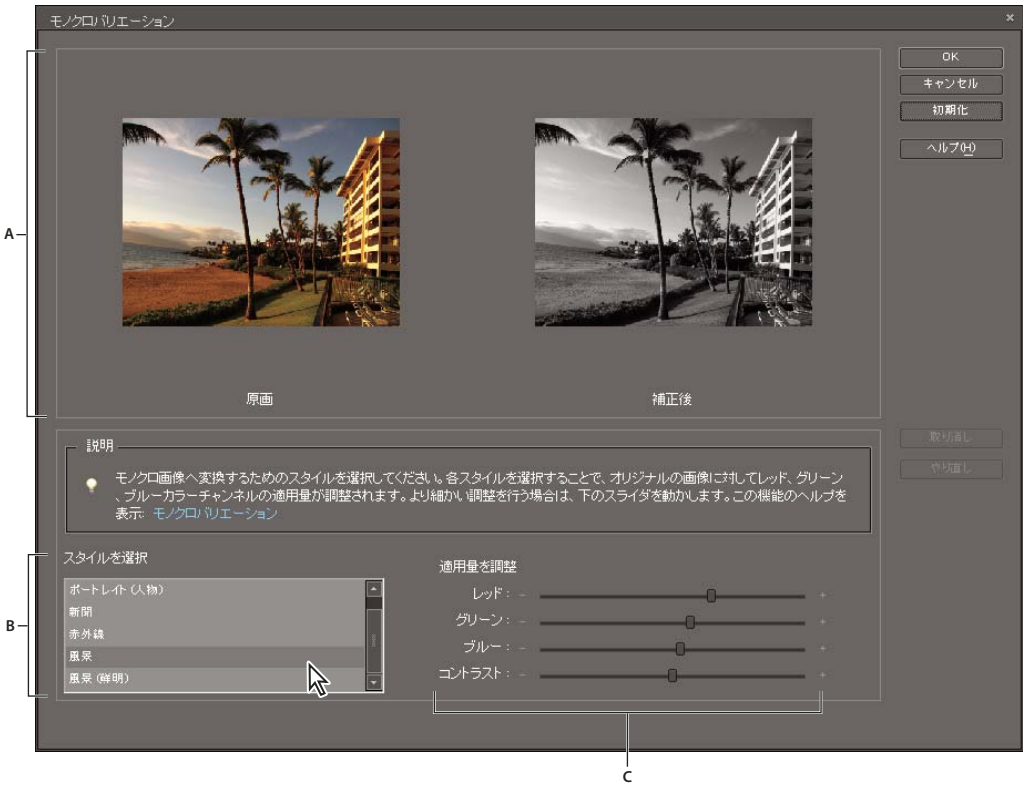
- 色相、彩度、明度のスライダをドラッグします（またはテキストボックスに値を入力します）。
- 結果カラーボックスをクリックしてカラーピッカーで新しいカラーを指定し、「OK」をクリックします。

6 変更をキャンセルしてはじめからやり直す場合は、Alt キーを押しながら「初期化」ボタンをクリックします。

画像のモノクロへの正確な変換

自動的にモノクロに変換する「カラーを削除」コマンドとは異なり、「モノクロバリエーション」コマンドを使用すると、特定の変換結果を選択できます。

モノクロバリエーションダイアログボックスでは、様々な変換プリセットが定義されたスタイルを比較し、選択することができます。スタイルを選択し、スライダを使用して変換結果を微調整します。



モノクロバリエーション
A. 変換前と変換後のビューを表示します。**B.** スタイルを選択します。**C.** 適用量を調整します。

1 写真編集モードで、画像を開きます。

2 変換する領域またはレイヤーを選択します。領域またはレイヤーが選択されていない場合、画像全体が変換されます。

元の写真に変更は加えずにモノクロへの変換を試すには、複製したレイヤーを変換します。

3 画質調整／モノクロバリエーションを選択します。

4 画像のコンテンツに一致するスタイルオプション（ポートレイトや風景など）を選択します。

5「適用量を調整」の各スライダをドラッグして、レッド、グリーン、ブルー、またはコントラストを調整します。

注意： スライダでレッド、グリーン、ブルーの適用量を調整しても、画像にカラーが追加されることはありません。元のカラーチャンネルに含まれるデータの量を増減して新しいモノクロ画像内に再現するだけです。

6 画像を変換するには、「OK」をクリックします。変更をキャンセルしてもう一度やり直すには、「初期化」をクリックします。モノクロバリエーションダイアログボックスを閉じるには、「キャンセル」をクリックします。

関連項目

144 ページの「レイヤーについて」

画像のモノクロへの自動変換

「カラーを削除」コマンドを使用すると、RGB 画像の各ピクセルにレッド、グリーン、ブルーの各構成要素に同じ値を割り当ててモノクロに変換します。各ピクセルの全体的な明るさは一定になります。このコマンドの効果は、色相・彩度ダイアログボックスで「彩度」を -100 に設定した場合と同じです。

1 画像の一部を補正するには、いずれかの選択ツールを使用して補正する領域を選択します。選択範囲を指定しない場合は、画像全体に補正が適用されます。

2 画質調整／カラー／カラーを削除を選択します。

モノクロバリエーションへのカスタムプリセットの追加

テキストファイルを編集することにより、モノクロバリエーションにカスタムプリセットを追加することができます。

注意：この作業は、上級ユーザにお勧めします。

1 写真編集モードを閉じます。

2 ~ ¥ Program Files ¥ Adobe ¥ Photoshop Elements 6.0 ¥ Required フォルダに移動します。

3 通常のテキストエディタ（メモ帳など）で、bwconvert.txt ファイルを開きます。

4 ファイル内に既に存在するプリセットの命名規則に従い、ファイル内で一意となる名前を付けた新しいプリセットを追加します。

5 ファイルを保存します（ファイル名は変更しません）。

6 写真編集モードを起動し、画質調整／モノクロバリエーションを選択してプリセットを表示します。

グレースケール画像へのカラーの追加

グレースケール画像全体にカラーを追加したり、複数のカラーを複数の領域に追加することができます。例えば、人の髪を選択して茶色にしたり頬を選択してピンクにしたりすることができます。

注意：カラーを追加する画像がグレースケールモードの画像である場合は、スタンダード編集でイメージ／モード／RGB カラーを選択して RGB に変換します。

1 画質調整／カラー／色相・彩度を選択するか、スタンダード編集でレイヤー／新規調整レイヤー／色相・彩度を選択して調整レイヤーで補正を行います。

2「色彩の統一」を選択します。描画色が黒または白以外であれば、画像は Photoshop Elements によって現在の描画色の色相に変換されます。各ピクセルの明度の値は変更されません。

3 必要に応じて、色相スライダで別のカラーを選択します。彩度スライダで彩度を補正します。「OK」をクリックします。

色調補正フィルタ

平均化（イコライズ）フィルタの適用

平均化（イコライズ）フィルタは、画像のピクセルの明るさの値を再配分して、範囲全体の明るさのレベルを均等にします。このコマンドを適用すると、Photoshop Elements は合成画像の最も明るい値と最も暗い値を見つけて、最も明るい値が白になり、最も暗い値が黒になるように再配分します。そして、Photoshop Elements は中間のピクセル値をグレースケールに均等に配分することによって明るさを平均化します。

1 画像、レイヤーまたは領域を選択します。

2 フィルタ／色調補正／平均化（イコライズ）を選択します。

3 画像の一部の領域を選択している場合は、ダイアログボックスで次のいずれかのオプションを選択し、「OK」をクリックします。

- 「選択した範囲だけを平均化（イコライズ）」は、選択されているピクセルだけを均等に配分します。
- 「選択した範囲に基づいて画像全体を平均化（イコライズ）」は、選択範囲のピクセルを基準に画像の全ピクセルを均等に配分します。

関連項目

261 ページの「フィルタ」

262 ページの「フィルタの適用」

グラデーションマップフィルタの適用

グラデーションマップフィルタは、画像のグレースケールの範囲を、指定したグラデーションカラーにマッピングします。



グラデーションマップフィルタを使用したセピア調の効果

1 画像、レイヤーまたは領域を選択します。

2 次のいずれかの操作を行います。

- フィルタ／色調補正／グラデーションマップを選択します。
- レイヤーパレットまたはレイヤーメニューを使用して、新しいグラデーションマップ調整レイヤーを作成するか、既存のグラデーションマップ調整レイヤーを開きます。

3 次に、使用するグラデーションを選択します。

- グラデーションをリストから選択するには、グラデーションマップダイアログボックスに表示される中央のグラデーションの右側の三角形をクリックします。目的のグラデーションをクリックし、ダイアログボックスの空白の領域をクリックしてリストを閉じます。
- グラデーションマップダイアログボックスに表示中のグラデーションを編集するには、そのグラデーションをクリックします。表示されるグラデーションエディタでグラデーションを編集するか、「新規グラデーション」をクリックして新しくグラデーションを作成します。

初期設定では、画像のシャドウがグラデーションの左の開始カラーに、中間調が中央部分のカラーに、ハイライトが右の終了カラーにマッピングされます。

4「グラデーションマップオプション」は、必要に応じて次の設定をすることができます。

- 「ディザ」はランダムノイズを追加してグラデーションを滑らかに表現し、縞模様を減少させます。
- 「逆方向」はグラデーションマップを反転してグラデーションの方向を逆にします。

5「OK」をクリックします。

関連項目

261 ページの「フィルタ」

262 ページの「フィルタの適用」

305 ページの「グラデーション」

158 ページの「調整レイヤーと塗りつぶしレイヤー」

階調の反転フィルタの適用

階調の反転フィルタは、画像の色を反転します。このコマンドを使用して、白黒画像をポジからネガにしたり、スキャンした白黒のネガからポジを作成することができます。

注意：カラー写真のネガフィルムはオレンジのマスクを含んでいるため、「階調の反転」コマンドでは、スキャンしたカラー写真のネガフィルムから正確なポジフィルムを作成することはできません。スライドスキャナでフィルムをスキャンする場合は、カラーネガフィルム用に正しく設定するように注意してください。

画像の階調を反転すると、各ピクセルの明るさの値は、256 階調カラー値のスケール上で反対の値に変換されます。例えば、ポジ画像内の 255 の値を持つピクセルは 0 に変更されます。

1 画像、レイヤーまたは領域を選択します。

2 フィルタ／色調補正／階調の反転を選択します。

関連項目

262 ページの「フィルタの適用」

158 ページの「調整レイヤーと塗りつぶしレイヤー」

ポスタリゼーションフィルタの適用

ポスタリゼーションフィルタでは、画像の各チャンネルの階調数（明るさの値）を指定し、次にピクセルをそれに最も近いレベルにマッピングします。例えば、RGB 画像で色調レベル数に 2 を指定してポスタリゼーションを適用すると、6 色（レッド、グリーン、ブルーに 2 色ずつ）にマップされます。

このコマンドは、写真に広く平らな領域を作成するなどの特殊効果を付けるときに便利です。特に、グレースケール画像のグレーのレベル数を減らすときに、このコマンドの効果が大きく表れます。カラー画像にも独特の効果を出すことができます。

画像で使用するカラーを特定の数に制限するには、画像をグレースケールに変換し、必要なレベル数を指定します。次に画像を再び元のカラーモードに変換し、複数のグレーの階調を目的のカラーで置き換えます。

1 画像、レイヤーまたは領域を選択します。

2 次のいずれかの操作を行います。

- フィルタ／色調補正／ポスタリゼーションを選択します。
- レイヤーパレットまたはレイヤーメニューで、新しいポスタリゼーション調整レイヤーを作成するか、既存のポスタリゼーション調整レイヤーを開きます。

3 目的の階調数を入力し、「OK」をクリックします。

関連項目

261 ページの「フィルタ」

262 ページの「フィルタの適用」

158 ページの「調整レイヤーと塗りつぶしレイヤー」

2 階調化フィルタの使用

2 階調化フィルタは、グレースケール画像またはカラー画像をコントラストの強い白黒画像に変換します。2 階調化の度合いをしきい値として指定できます。しきい値より明るいピクセルはすべて白に、しきい値より暗いピクセルはすべて黒に変換されます。「2 階調化」コマンドは、画像の最も明るい領域と最も暗い領域を識別するのに便利です

1 画像、レイヤーまたは領域を選択します。

2 次のいずれかの操作を行います。

- フィルタ／色調補正／ 2 階調化を選択します。
- レイヤーパレットまたはレイヤーメニューで、新しい 2 階調化調整レイヤーを作成するか、既存の 2 階調化調整レイヤーを開きます。

2 階調化ダイアログボックスには、現在の選択範囲のピクセルの輝度レベルのヒストグラムが表示されます。

3「プレビュー」を選択し、次のいずれかの操作を行います。

- 画像を白黒に変更するには、ヒストグラムの下のスライダをドラッグして、ダイアログボックスの一番上に目的のしきい値レベルが表示されたら、「OK」をクリックします。スライダをドラッグすると、新しいしきい値を反映して画像が変化します。
- ハイライトを識別するには、画像が完全に黒くなるまでスライダを右にドラッグします。次に、画像に均一な白い領域が表示されるまで、スライダを逆方向にドラッグします。
- シャドウを識別するには、画像が完全に白くなるまでスライダを左にドラッグします。次に、画像に均一な黒い領域が表示されるまで、スライダを逆方向にドラッグします。

4（オプション）初期設定に戻すには、Alt キーを押しながら「初期化」ボタンをクリックします。

5（オプション）「キャンセル」をクリックすると、画像を変更せずに、2 階調化ダイアログボックスを閉じることができます。

関連項目

261 ページの「フィルタ」

262 ページの「フィルタの適用」

158 ページの「調整レイヤーと塗りつぶしレイヤー」

レンズフィルタの適用

「レンズフィルタ」コマンドは、カメラのレンズにカラーフィルタを付け、レンズを透った光のカラーバランスと色温度を調整して、フィルムを露光するときの効果を擬似的に再現します。「レンズフィルタ」コマンドを使用してカラープリセットを選択し、画像の色相を調整することもできます。カスタムのカラー調整を適用したい場合は、「レンズフィルタ」コマンドを使用して Adobe カラーピッカーで色を指定できます。



元の画像（左）、および密度 60 %のフィルタ暖色系（81）を適用した画像（右）

1 次のいずれかの操作を行います。

- フィルタ／色調補正／レンズフィルタを選択します。
- レイヤー／新規調整レイヤー／レンズフィルタを選択します。新規レイヤーダイアログボックスで設定し「OK」をクリックします。

2 フィルタの色を選択するには、レンズフィルタダイアログボックスで次のいずれかの操作を行います。

フィルタ暖色系（85 および LBA）とフィルタ寒色系（80 および LBB）画像の白のバランスを調整するカラー変換フィルタです。色温度の低い光（黄色っぽい光）で撮影した画像の場合は、フィルタ寒色系（80）を使用すると画像の青みが強くなり、色温度の低い環境光を補正できます。逆に、色温度の高い光（青みを帯びた光）で撮影した画像の場合は、フィルタ暖色系（85）を使用すると画像の色が暖かくなり、色温度の高い環境光を補正できます。

フィルタ暖色系（81）とフィルタ寒色系（82）画像の色の質を微調整する光調整フィルタです。フィルタ暖色系（81）は暖かみのある（黄色っぽい）画像にし、フィルタ寒色系（82）は冷たい（青みを帯びた）画像にします。

個別のカラー名 選択した色のプリセットに応じて画像の色相を調整します。選択する色は「レンズフィルタ」コマンドの使い方によって異なります。写真にカラーキャスト（色かぶり）がある場合は、補色を選択すればカラーキャストを中和できます。特殊な色の効果を作成したり、色を強調したりするために色を適用することもできます。例えば、マリンブルーの色は水中で撮影したときに発生する緑がかった青のカラーキャストがかかるように意図的に設定します。

- 「フィルタ」オプションを選択し、フィルタメニューからプリセットを選択します。
- カスタムのカラーを指定するには、カラー選択ボックスをクリックし、Adobe カラーピッカーを使用してカスタムのカラーフィルタの色を指定します。

カラーフィルタの使用結果を表示するには、「プレビュー」が選択されていることを確認します。

カラーフィルタを追加することによって画像を暗くしたくない場合は、「輝度を保持」オプションを選択します。

3 画像に適用する色の量を調整するには、適用量スライダを使用するか「適用量」テキストボックスにパーセントを入力します。適用量の値を大きくすると色が大幅に調整されます。

4「OK」をクリックします。

関連項目

261 ページの「フィルタ」

262 ページの「フィルタの適用」

210 ページの「肌色の補正」

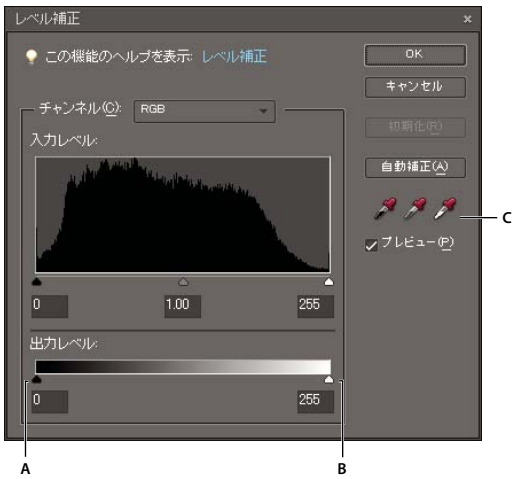
158 ページの「調整レイヤーと塗りつぶしレイヤー」

商業印刷用画像のターゲット値の設定

商業印刷用画像のターゲット値の設定

商業印刷用の画像を処理する場合、シャドウとハイライトのターゲット値を設定することができます。ターゲット値は、商業印刷用で使用できるインク比率に応じて設定します。例えば、商業印刷用のプリントでインク比率の設定が 90 %以上だとシャドウのディテールが再現されない場合は、その画像のシャドウのターゲット値を 90 %に設定します。同様に、商業印刷用のプリントでインク比率の設定が 5 %以下だとハイライトのディテールが再現されない場合は、ハイライトの値を 5 %以上に設定します。

シャドウとハイライトのターゲット値を設定すると、Photoshop Elements はシャドウとハイライトのディテールが純粋な黒または純粋な白で塗りつぶされる（クリップされる）のではなく、保持されるように色調のスケールを圧縮します。



出力レベルスライダによるターゲット値の設定
A. シャドウポイント出力レベルスライダ **B.** ハイライトポイント出力レベルスライダ **C.** シャドウとハイライトのスポイトツール

ターゲット値は、次の 2 つの方法で設定することができます。

- レベル補正ダイアログボックスの出力レベルスライダを使用するのが最も簡単な方法ですが、画像に反射光のハイライトがあり、それを純粋な白として残す必要がある場合は、出力レベルスライダを使用することができません。反射光の白はディテールがないので、紙にインクがプリントされません。例えば、強い光に照らされている部分はプリント可能なハイライトではなく、反射光の白として扱います。
- レベル補正ダイアログボックスの、黒点を設定スポイトツールまたは白色点を設定スポイトツールを使用します。

反射光のハイライトがない商業印刷用画像

画像内に反射光のハイライトが存在しない場合は、この商業印刷用画像のターゲット値を設定する方法を使用します。画像内に反射光のハイライトが存在する場合は、レベル補正のスポイトツールを使用します。

1 次のいずれかの操作を行います。

- 画質調整／ライティング／レベル補正を選択します。
- レイヤー／新規調整レイヤー／レベル補正を選択するか、既存のレベル調整レイヤーを開きます。

2 左の「出力レベル」ボックスにシャドウのターゲット値を入力し、右の「出力レベル」ボックスにハイライトのターゲット値を入力します。または、スライダをドラッグしてターゲット値を設定します。設定したら、「OK」をクリックします。

注意：通常、商業印刷用のターゲット値は、シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック（CMYK）のパーセント値で指定されます。Photoshop Elements は、0 ～ 256 の RGB 値のみをサポートしています。つまり、「入力レベル」テキストボックスに、RGB に相当する値を入力する必要があります（例えば、シャドウには RGB 値 10、10、10 を設定し、ハイライトには RGB 値 244 を設定する）。

関連項目

158 ページの「調整レイヤーの作成」

反射光のハイライトがある商業印刷用画像

1 スタンダード編集のツールボックスから、スポイトツールを選択し、オプションバーのサンプル範囲メニューから「3 ピクセル四方の平均」を選択します。これにより、単一のスクリーンピクセル値ではなく、指定した領域の平均値を得ることができます。

2 ビュー／ピクセル等倍を選択して、画像を補正するたびに、実際のカラーおよび色調で表示されるようにします。

3 次のいずれかの操作を行います。

- 画質調整／ライティング／レベル補正を選択します。
- レイヤー／新規調整レイヤー／レベル補正を選択するか、既存のレベル調整レイヤーを開きます。

レベル補正ダイアログボックスを開いていても、キーボードショートカットを使用して、ドキュメントウィンドウのスクロールコントロール、ビューメニュー、手のひらツールおよびズームツールを使用できます。

4 画像内の典型的なハイライト領域およびシャドウ領域を識別するには、画像の周囲にポインタを移動し、情報パレットで最も暗い領域および最も暗い領域を見つけます。情報パレットが表示されていない場合は、ウィンドウ／情報を選択します。

最も暗いピクセルを識別するには Alt キーを押して黒点スライダを移動し、最も明るいピクセルを識別するには Alt キーを押して白色点スライダを移動します。

5 レベル補正ダイアログボックスで、白色点を設定スポイトツールをダブルクリックしてカラーピッカーを表示します。画像の最も明るい領域に割り当てるカラー値を入力し、「OK」をクリックします。入力値については、次の指針に従ってください。

- 白い用紙にプリントする場合、標準光源で撮影した画像で一般的に使用されるハイライト値は、RGB 値で 244、244、244 です。グレースケールでこれに相当するドット（網点）の値は 4 %です。
- これらのターゲット値を簡単に概算するには、カラーピッカーの「B」テキストボックスに 96 と入力します。
- 全体的に暗い画像（ローキー画像）では、ハイライトの値を低めに設定すると、コントラストが過度に強くなるのを防ぐことができます。「B」の値を 96 ～ 80 で試してください。

6 画像内で、識別したハイライト領域をクリックします。間違って別のハイライト領域をクリックした場合は、「初期化」をクリックしてやり直します。

新規設定されたハイライトの値を反映して画像内のすべてのピクセル値が調整されます。クリックした領域よりも明るいピクセルはすべて反射光の白として扱われるので、ディテールが失われます。情報パレットには、カラー調整の前と後の値が表示されます。

7 レベル補正ダイアログボックスで、黒点を設定スポイトツールをダブルクリックしてカラーピッカーを表示します。画像の最も暗い領域に割り当てる値を入力し、「OK」をクリックします。入力値については、次の指針に従ってください。

- 白い用紙にプリントする場合、標準光源で撮影した画像で一般的に使用されるシャドウ値は、RGB 値で 10、10、10 です。グレースケールでこれに相当するのは約 96 %です。
- これらの値をすばやく概算するには、カラーピッカーの「B」テキストボックスに 4 を入力します。
- ハイキー画像でシャドウ値を高めに設定すると、ハイライトのディテールを保持できます。「B」の値を 4 ～ 20 で試してください。

8 画像内で、識別したシャドウ領域をクリックし、「OK」をクリックします。

関連項目

200 ページの「レベル補正」

158 ページの「調整レイヤーの作成」

第 13 章：写真の切り抜き、サイズ変更、レタッチ、変形

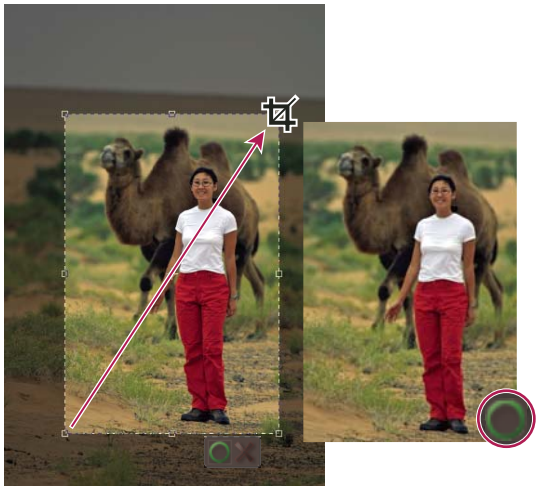
カスタム画像コンポジションを作成するために、画像を切り抜いたり、サイズを変更することができます。写真を切り抜くことで、写真のテーマが明確になり、不要な背景画像を取り除くことができます。また、写真のサイズを変更することで、ページ内により多くの写真を配置したり、写真をうまくレイアウトに収めることができます。写真の任意の部分をレタッチして、赤目を修正したり、色を置き換えたり、画像にソフト、ぼかし、シャープ効果を適用することもできます。さらに、画像に回転やサイズ変更、変形を適用したり、写真、レイヤー、選択範囲に遠近法を適用したり、平面の 2 次元画像を立体的な 3 次元オブジェクトのように扱うこともできます。

Photoshop Elements ヘルプのすべての内容を参照するには、「Web 上のページ」をクリックして LiveDocs にアクセスしてください。

切り抜き

画像の切り抜き

切り抜きツールは、切り抜き選択範囲で囲まれた画像の一部を削除します。切り抜きは、不要な背景要素を排除して写真のテーマを強調する場合に便利です。初期設定では、写真を切り抜く場合、解像度は元の写真と同じになります。「写真の縦横比を使用」オプションを選択すると、写真を切り抜くときにサイズと画像解像度を表示し、変更できます。既定サイズを使用する場合は、解像度は既定サイズに合わせて変更されます。



写真を切り抜くと不要な背景の一部が削除されます。

1 写真編集モードで切り抜きツール を選択するか、写真整理モードで「補正」タブを選択し、「切り抜き」ボタン をクリックします。

2 元の写真とは異なる解像度を使用する場合は、縦横比メニューから次のいずかのオプションを選択するか、オプションバーの「幅」および「高さ」テキストボックスで新しい値を指定します。

自由な形に 画像を任意の寸法へサイズ変更することができます。

写真の縦横比を使用 切り抜く写真の元の縦横比を表示します。「幅」および「高さ」テキストボックスには、切り抜かれる画像で使用される値が示されます。解像度ボックスでは、画像の解像度を変更できます。

既定のサイズ 切り抜いた写真の既定サイズを指定します。最終的な出力を、写真フレームに収まる特定のサイズにしたい場合は、既定サイズを選択します。

注意：「幅」および「高さ」テキストボックスで値を指定すると、縦横比メニューは「カスタム」に変更されます。

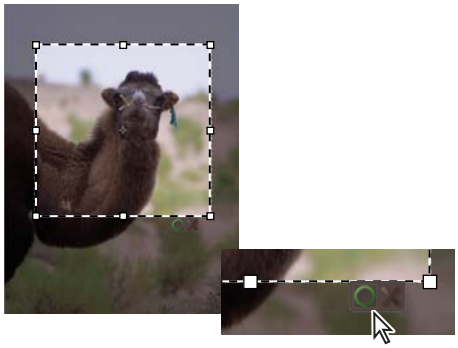
3（写真編集モード）画像内で切り抜く部分をドラッグします。マウスボタンを放すと、切り抜く範囲がコーナーハンドルとサイドハンドルを備えたバウンディングボックス（画像の境界線を囲む四角形）として表示されます。

4 必要に応じて、次のいずれかの操作を行って切り抜き選択範囲を調整します。

- 既定サイズまたは縦横比を変更するには、オプションバーの縦横比メニューから新しい値を選択します。
- 選択範囲を別の位置に移動するには、バウンディングボックスの内側にポインタを置いてクリックしてドラッグするか、Alt キーを押しながら矢印キーを使用して選択範囲を移動します。
- 選択範囲を拡大または縮小するには、ハンドルをドラッグします（縦横比を選択メニューから「自由な形に」を選択した状態で、縦横比を固定して拡大や縮小を行うには、Shift キーを押しながらコーナーハンドルをドラッグします）。
- （写真編集モード）「幅」と「高さ」の値を入れ替えるには、オプションバーの入れ替えアイコン をクリックします。
- （写真編集モード）選択範囲を回転するには、ポインタをバウンディングボックスの外側に置いてドラッグします（ポインタがカーブした両方向の矢印 に変わります）。モノクロ 2 階調モードでは、切り抜きツールで選択した範囲を回転させることはできません。

注意：切り抜きシールド（画像の周囲の切り抜かれる領域）のカラーおよび不透明度を変更するには、切り抜きツールの環境設定を変更します。編集／環境設定／画面表示・カーソルを選択します。次に、環境設定ダイアログボックスの「切り抜きツール」領域で「シールドカラー」と「不透明度」に新しい値を指定します。切り抜きを実行するときにカラーシールドを表示しない場合は、「シールドを使用」の選択を解除します。

5 画像の右下にある緑の確定ボタン をクリックするか、Enter キーを押して、切り抜きを終了します。切り抜き操作をキャンセルする場合は、赤のキャンセルボタン をクリックするか、Esc キーを押します。



確定ボタンをクリックして、切り抜きを適用します。

関連項目

227 ページの「画像の再サンプル」

選択範囲の境界線での切り抜き

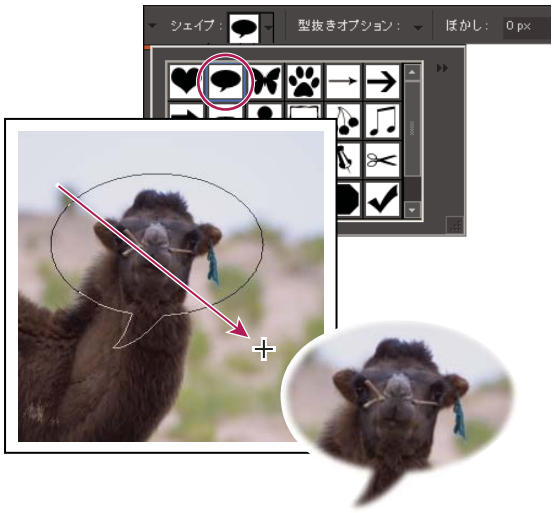
「切り抜き」コマンドを使用すると、現在の選択範囲の外側の領域を削除できます。選択範囲のサイズに切り抜く場合、Photoshop Elements では画像は選択範囲の境界線を含むバウンディングボックスで切り抜かれます（なげなわツールを使用した選択範囲のように形状が不規則である場合は、選択範囲を含む四角形のバウンディングボックスで切り抜かれます）。選択範囲を指定せずに「切り抜き」コマンドを使用すると、Photoshop Elements では画像は表示されている各辺から 50 ピクセルの位置で切り抜かれます。

1 写真編集モードで、長方形選択ツール などの選択ツールを使用して、残しておく領域を選択します。

2 イメージ／切り抜きを選択します。

型抜きツールの使用

型抜きツールを使用すると、選択したシェイプで写真を切り抜くことができます。選択したシェイプを写真にドラッグしたら、必要に応じてバウンディングボックスを移動したり、サイズを変更したりして選択範囲を指定します。



型抜きツールを使用して、写真をおもしろいシェイプに切り抜きます。

1 スタンダード編集のツールボックスから、型抜きツール を選択します。

2 オプションバーのシェイプメニューをクリックして、選択できるシェイプのライブラリを表示します。他のライブラリを表示するには、現在開いているライブラリの右側にある三角形をクリックし、表示されたリストから新しいライブラリを選択します。

3 シェイプをダブルクリックして選択します。

4 型抜きオプションを設定します。

制約なし シェイプのサイズに制限がなく目的の大きさに描画できます。

定義比率 シェイプの高さと幅の縦横比を保持して写真を切り抜くことができます。

定義サイズ 選択したシェイプの初期設定のサイズで写真を切り抜くことができます。

固定 指定した高さと幅の値に応じてシェイプを切り抜くことができます。

中心から シェイプを中心から描画します。

5「ぼかし」に値を入力して、切り抜くシェイプの縁をぼかすことができます。

注意：切り抜いた画像の縁をぼかすことによって、縁のまわりをフェードアウトして背景に馴染ませることができます。

6 画像内をドラッグしてシェイプの境界線を作成し、画像の目的の場所に移動します。

7 確定ボタン をクリックするか、Enter キーを押して、切り抜きを終了します。切り抜き操作をキャンセルする場合は、キャンセルボタン をクリックするか、Esc キーを押します。

カンバスのサイズの変更

画像の周囲に作業スペースを追加することができます。作業スペースを拡大した場合、拡大部分は背景レイヤーでは現在選択されている背景色で表示され、その他のレイヤーでは透明で表示されます。新しいカンバススペースには、テキストを追加することができます。また、スペース内に収まるように写真のサイズを変更することもできます。



カンバスのサイズを大きくすると、カラーの枠線の領域が拡大します。

1 写真編集モードで、イメージ／サイズ変更／カンバスサイズを選択します。

2 次のいずれかの操作を行います。

- 「幅」および「高さ」テキストボックスに新しいカンバスのサイズを入力します。定規単位メニューから測定単位を選択します。「コラム」を指定すると、環境設定ダイアログボックスの「単位・定規」に指定したコラムについて幅が測定されます。これは、サイズの減少だけに適用され、サイズの増加には適用されません。
- 「相対」を選択し、カンバスのサイズを拡大または縮小する値を入力します（カンバスのサイズを縮小する場合は負の値を入力します）。各辺を 2 インチずつ拡大するなど、指定した量だけカンバスを拡大する場合は、このオプションを使用します。

3 「基準位置」では、新しい画像上で既存の画像を配置する場所を、四角形をクリックして指定します。

4 拡大したカンバスのカラーを変更するには、カンバス拡張カラーメニューからオプションを選択し、「OK」をクリックします。

画像の角度の補正

角度補正ツールを使用すると、画像を垂直または水平方向に整列し直すことができます。また、角度補正を適用した画像に合わせて、カンバスの切り抜きやサイズ変更を行うこともできます。

画像の角度の手動補正

1 写真編集モードで、角度補正ツール を選択します。

2 画像内のすべてのレイヤーの角度を補正するには、「すべてのレイヤーを回転」を選択し、カンバスオプションメニュー（このメニューは「すべてのレイヤーを回転」を選択している場合にだけ選択できます）からオプションを選択します。

サイズに合わせて拡張 / 伸縮 回転した画像に合わせてカンバスのサイズを変更します。角度補正によって、画像の角が現在のカンバスの外側になります。角度補正した画像に空白の背景領域が現れますが、ピクセルはクリップされません。

背景領域を削除 画像を切り抜いて、角度補正後に表示される空白の背景領域を削除します。一部のピクセルがクリップされます。

元の画像サイズを維持 カンバスを元の画像と同じサイズに保ちます。角度補正した画像に空白の背景領域が現れ、一部のピクセルがクリップされます。



角度補正および切り抜きによる背景の削除

3 画像の角度を補正するには、次のいずれかの操作を行います。

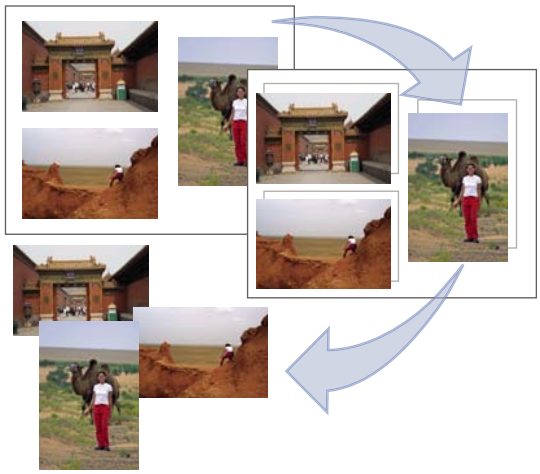
- 水平方向に整列させるには、新しい基準となる水平方向の直線を表す線を画像に描画します。
- 垂直方向に整列させるには、Ctrl キーを押しながら、新しい基準となる垂直方向の直線を表す線を画像に描画します。

画像の角度の自動補正

- 自動的に画像の角度だけを補正してカンバスを切り抜かないようにするには、イメージ／回転／画像の角度補正を選択します。角度補正した画像に空白の背景領域が現れますが、ピクセルはクリップされません。
- 自動的に画像の角度を補正して切り抜くには、イメージ／回転／角度補正して切り抜きを選択します。角度補正した画像に空白の背景領域は現れませんが、一部のピクセルがクリップされます。

複数の写真を含むスキャン画像の分割

フラットベッドスキャナで一度に複数の写真をスキャンした場合、スキャン画像を自動的に写真ごとに分割し角度を補正することができます。これを実行するには、各写真の間に十分なスペースが必要です。



1 ページでスキャンされた画像を 3 つの画像に分割

❖ 写真編集モードで、イメージ／スキャンした写真を分割を選択します。Photoshop Elements は、画像を自動的に写真ごとに分割して各写真を個別のファイルに保存します。

周囲が白い写真（明るい空、雪など）の場合、スキャナに写真を配置し、その上に暗い色の紙を載せてスキャンすると、写真が正確に識別されます。

画像サイズと解像度

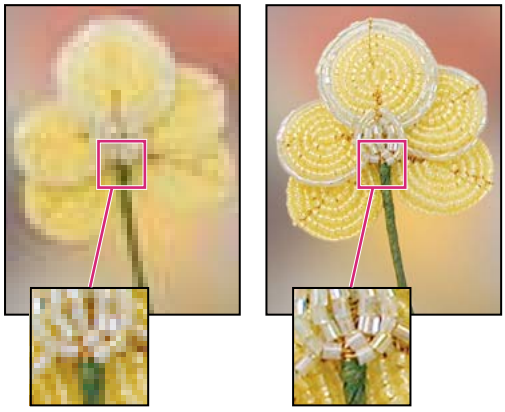
画像サイズと解像度

画像サイズ（ピクセル寸法）は、画像の幅と高さのピクセル数で表されます。例えば、あるデジタルカメラでは、幅が 3000 ピクセルで高さが 2000 ピクセルの写真が撮影されます。これらの 2 つの数値は、画像のファイルサイズに直接影響します。また、ピクセル寸法は写真の画像データの量を表します。

解像度とは、画像に表示される細部を再現するためのデータの密度のことで、1 インチあたりのピクセル数（ppi）で表されます。ppi が大きいほど、解像度は高くなります。通常、画像の解像度が高いほど、出力したときの画質が高品質になります。

デジタル画像には画像データは含まれていますが、物理的な出力サイズや解像度は含まれていません。ファイルの解像度を変更すると、物理的なサイズも変わります。また、画像の幅や高さを変更すると、解像度が変わります。

画像解像度ダイアログボックス（イメージ／サイズ変更／画像解像度を選択）で、画像サイズと解像度の関係を確認できます。写真の画像データの量を変更する必要はないので、「画像の再サンプル」の選択を解除します。次に幅、高さまたは解像度を変更します。1 つの値を変更すると、他の 2 つの値もそれに応じて変化します。



同じ画像をそれぞれ 72 ppi と 300 ppi でプリント。拡大部分は 200 %の倍率

特定の解像度でプリントする必要がある場合や、実際のピクセル寸法よりも大幅に拡大または縮小して画像をプリントしたい場合、画像を再サンプルすることができます。再サンプルによって、画像のピクセルが削除または追加され、必要な寸法や解像度が実現されます。

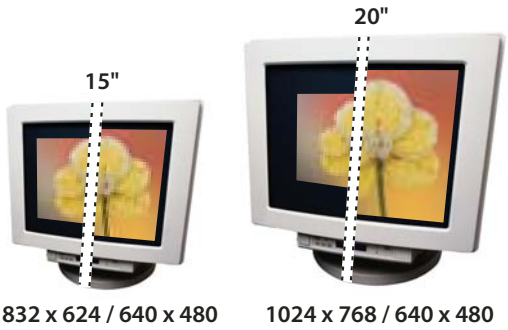
プリンタの解像度

プリンタ解像度は、1 インチあたりのインクドット数（dpi）で表されます。dpi が大きいほど、プリントは鮮明になります。ほとんどのインクジェットプリンタの解像度は 720 ～ 5760 dpi です。5760 dpi はプリンタで使用できる最小のドットサイズです。

プリンタの解像度と画像の解像度は異なるものですが、関連性はあります。インクジェットプリンタで高画質の写真をプリントするには、画像の解像度が 220 ppi 程度なければ十分な品質は得られません。画像の質が落ちても気にならないのであれば、低解像度を使用して少し大きめの写真をプリントすることもできます。選択したプリントサイズにより写真が 220 ppi（写真編集モードの場合）または 150 ppi（写真整理モードの場合）より低い解像度でプリントされる場合は、警告が表示されます。

モニタの解像度

モニタの解像度は、ピクセル寸法で表されます。例えば、モニタの解像度が 1600 x 1200 で、写真のピクセル寸法が同じサイズの場合、写真は画面全体に表示されます。画像が画面に表示されるときの大きさは、画像のピクセル寸法、モニタのサイズ、およびモニタ解像度の設定などによって決まります。Photoshop Elements では、画面上の画像の表示倍率は変更可能なので、どのようなピクセル寸法の画像でも快適に作業することができます。



620 x 400 ピクセルの画像を様々なサイズと解像度のモニタで表示

画面表示用の画像は、最も解像度の低いモニタでも適切に表示されるよう準備する必要があります。

開いているファイルの画像サイズの表示

❖ 写真編集モードで、ドキュメントの下部にあるファイル情報ボックスをクリックし、そのまま押し続けます。ファイル情報ボックスには、（定規に対して現在選択されている測定単位での）画像の幅と高さ、総画像ピクセルで表示された画像サイズ、色調の数、画像解像度（ppi）が表示されます。

画面でのプリントサイズの表示

❖ 写真編集モードで、次のいずれかの操作を行います。

- ビュー／プリントサイズを選択します。
- 手のひらツールまたはズームツールを選択し、オプションバーの「プリントサイズ」をクリックします。

画像解像度ダイアログボックスの「ドキュメントのサイズ」設定に従って画像の倍率が調整され、おおよそのプリントサイズで表示されますが、モニタのサイズと解像度により画面上のプリントサイズは異なります。

再サンプルを行わないプリントサイズと解像度の変更

プリントサイズと解像度の変更が必要になるのは、特定の解像度のファイルを必要とするプリントショップに画像を送信するような場合です。

Photoshop Elements で直接写真をプリントする場合は、この操作は必要ありません。プリントダイアログボックスでサイズを選択すると、Photoshop Elements で適切な画像解像度が適用されます。

注意： プリントサイズだけまたは解像度だけを変更し、その値に応じて画像の総ピクセル数を調整する場合は、画像を再サンプルする必要があります

1 イメージ／サイズ変更／画像解像度を選択します。

2「画像の再サンプル」の選択が解除されていることを確認します。選択が解除されている場合は、画像の総ピクセル数を変更することなくプリントサイズと解像度を変更できますが、現在の画像の縦横比は保持されない場合があります。

注意：「縦横比を固定」および「スタイルを拡大・縮小」機能を使用するには、「画像の再サンプル」を選択する必要があります。

3 現在の縦横比を保持するには、「縦横比を固定」を選択します。このオプションでは、高さを変更すると、その値に応じて幅が自動的に変更されます。幅を変更する場合も同様になります。

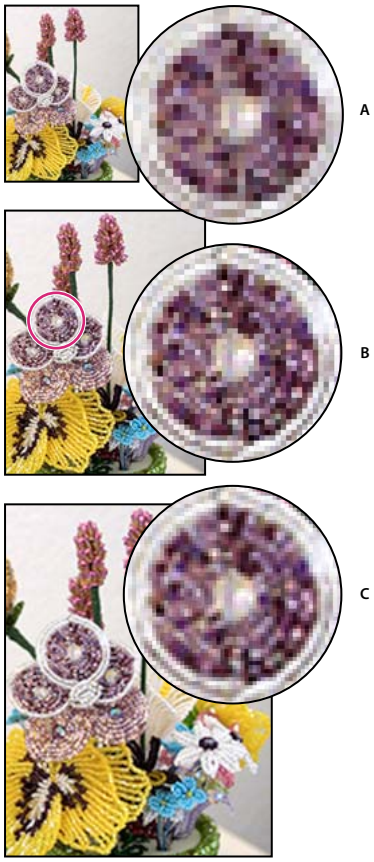
4「ドキュメントのサイズ」に、変更後の幅と高さの値を入力します。その際に必要な場合は、別の単位を選択します。「幅」で「コラム」を選択すると、環境設定ダイアログボックスの「単位・定規」で指定した幅と余白の値が使用されます。

5「解像度」に新しい値を入力します。その際に必要な場合は、別の単位を選択して「OK」をクリックします。

画像解像度ダイアログボックスに表示されている変更前の値に戻すには、Alt キーを押しながら「初期化」ボタンをクリックします。

画像の再サンプル

画像のピクセル寸法を変更することを、再サンプルと言います。再サンプルは、画面上の画像のサイズだけでなく、画質やプリント結果（プリントサイズや画像解像度）にも影響します。再サンプルを行うと、画質が低下する場合があります。ダウンサンプルを行った場合は、画像のピクセル数が少なくなり、画像の情報が削除されます。アップサンプルを行って、画像のピクセル数を増やした場合、既存のピクセルのカラー値に基づいて新しいピクセルが追加され、写真の細部の再現が一部失われ、鮮明さが低下します。



画像の再サンプル
A. ダウンサンプルした画像 **B.** 元の画像 **C.** アップサンプルした画像

アップサンプルによる画質の低下を避けるには、プリンタや出力デバイスで必要な解像度で画像をスキャンまたは作成しておきます。画面上でピクセル寸法の変更結果を確認したり、様々な解像度で校正刷りを試したりする場合は、元ファイルの複製を作成してから再サンプルします。

Web 用の画像を作成する場合は、画像サイズをピクセル寸法で指定すると便利です。

1 写真編集モードで、イメージ／サイズ変更／画像解像度を選択します。

2「画像の再サンプル」を選択し、補間方式を選択します。

ニアレストネイバー法 高速ですが精度の低い方式で、アンチエイリアス処理されていない画像の縁を含むイラストに最適です。これにより、ハードエッジが保持され、ファイルサイズが小さくなります。ただしこの方法では、画像の変形や拡大・縮小を行ったり、1 つの選択範囲に対して複数の処理を実行したりすると、画像の縁がギザギザになる可能性があります。

バイリニア法 標準的な画質が得られます。

バイキュービック法 処理に時間がかかりますが精度の高い方式で、最も滑らかなグラデーションの色調を再現します。

バイキュービック法（滑らか） 画像を拡大するときに使用します。

バイキュービック法（シャープ）画像のサイズを縮小するときに使用します。この方式では、再サンプルした画像の細部の情報が保持されます。ただし、画像の一部の領域が過度に鮮明になることがあります。その場合は、「バイキュービック法」を使用してください。

3 現在の縦横比を保持するには、「縦横比を固定」を選択します。このオプションでは、高さを変更すると、その値に応じて幅が自動的に変更されます。幅を変更する場合も同様になります。

4「ピクセル数」に「幅」と「高さ」の値を入力します。現在の寸法に対する比率で指定するには、単位として「%」を選択します。

画像の新しいファイルサイズは「ピクセル数」の横に表示され、元のファイルサイズはカッコ内に示されます。

5「OK」をクリックし、ピクセルサイズの変更と画像の再サンプルを行います。

画像を小さくする際に最適な結果を得るには、ダウンサンプルを行ってからアンシャープマスクフィルタを適用します。画像を大きくするには、高い解像度で画像を再スキャンします。

レタッチ

正確な赤目の除去

赤目修正ツールでは、フラッシュにより赤く写った人の目を修正します。赤目は、カメラのフラッシュが被写体の網膜に反射することで発生します。赤目は暗い部屋で写真を撮影したときによく発生します。暗い場所では被写体の虹彩（アイリス）が開くため、フラッシュを使用したときに網膜に反射しやすくなります。赤目を防ぐには、大半のカメラに搭載されている赤目軽減機能を使用します。

写真整理モードに写真を読み込んだときに赤目を自動的に修正するには、取り込みダイアログボックスで「自動赤目修正」を選択します。フォトブラウザで選択した写真から赤目を除去することもできます（61 ページの「自動赤目修正での赤目の除去」を参照してください）。



目を選択するか（上）、目をクリックして（中央）赤目を修正。

1 赤目を手動で修正するには、スタンダード編集またはクイック補正のツールボックスから、赤目修正ツール を選択します。

2 オプションバーで、瞳の大きさと、暗くする量を設定します。

3 画像で、次のいずれかの操作を行います。

- 目の赤い部分をクリックします。
- 赤目になっている目全体をドラッグして選択します。

マウスボタンを放すと、赤目が除去されます。

注意：赤目修正ツールの「自動修正」をクリックして、赤目を自動修正することもできます。

関連項目

197 ページの「カラーと照明の自動補正」

210 ページの「肌色の補正」

小さな斑点やしみの除去

スポット修復ブラシを使用すると、写真にあるしみやその他の斑点などをすばやく除去できます。しみをクリックしたり、クリックしてドラッグすることで、その部分にある斑点などを除去することができます。



スポット修復ブラシを使った斑点やしみの簡単な除去。

1 スタンダード編集のツールボックスから、スポット修復ブラシツール を選択します。

2 ブラシのサイズを選択します。除去する部分より少し大きなブラシを使用すると、1 回クリックするだけですべての部分をカバーできるので効率的です。

3 オプションバーで「種類」オプションを選択します。

近似色に合わせる 選択範囲の周囲のピクセルを使用して、選択範囲に重ねるパッチとして使用する画像領域を決定します。このオプションで満足のいく結果が得られない場合は、編集／やり直しを選択し、「テクスチャを作成」オプションを試します。

テクスチャを作成 選択範囲のすべてのピクセルを使用して、その範囲を補正するためのテクスチャを作成します。テクスチャがうまく作成されない場合は、その範囲をもう一度ドラッグします。

注意：画像のすべてのレイヤーに変更を適用する場合は、「すべてのレイヤー」をクリックして選択します。

4 補正する画像領域をクリックするか、その領域よりも大きめの範囲をクリックしてドラッグします。

関連項目

210 ページの「肌色の補正」

大きなしみの除去

修復ブラシでしみのある部分を大きくドラッグすると、その部分が補正されます。この機能を使用すると、均一な背景からオブジェクトを除去することができます（草原の中にあるオブジェクトなど）。



修復ブラシの使用前と使用後

1 スタンダード編集のツールボックスから、修復ブラシツール を選択します。

2 オプションバーからブラシサイズを選択し、修復ブラシのオプションを設定します。

モード ソースまたはパターンを既存のピクセルと融合させる方法を指定します。「通常」モードでは、オリジナルのピクセルに新しいピクセルを重ねます。「置き換え」モードでは、ブラシストロークのエッジの粒状フィルムとテクスチャが保たれます。

ソース ピクセルの修復に使用するソースを設定します。「サンプル」では、現在の画像のピクセルを使用します。「パターン」では、パターンパレットで指定したパターンのピクセルを使用します。

調整あり マウスボタンを放しても、現在のサンプルポイントをそのまま使用してピクセルを連続サンプリングします。「調整あり」の選択を解除すると、ペイントを停止して再開するたびに、最初のサンプリングポイントから抽出したピクセルが引き続き使用されます。

すべてのレイヤー サンプリングの対象として、現在のレイヤーから、現在のレイヤー以下から、または表示されているすべてのレイヤーからの 3 つのうち、すべてのレイヤーからのサンプリングが選択されます。

3 開いている任意の画像にカーソルを合わせて、Alt キーを押しながらクリックすると、データがサンプリングされます。

注意：任意の画像からサンプリングしたデータを別の画像に適用する場合は、いずれかの画像がグレースケールモードの場合を除いて、2 つの画像が同じカラーモードに設定されている必要があります。

4 画像の傷の部分をドラッグし、既存のデータをサンプリングしたデータと混合します。マウスボタンを放すたびに、サンプリングしたデータが既存のデータと混合されます。

修復する箇所のエッジ部分に強いコントラストがある場合は、修復ブラシツールを使用する前にその範囲を選択します。選択範囲は修復する部分より大きくしますが、コントラストが強いピクセルの境界は正確に指定するようにします。範囲を指定することで、修復ブラシツールで塗りつぶすときに、その範囲の外側に色がはみ出なくなります。

関連項目

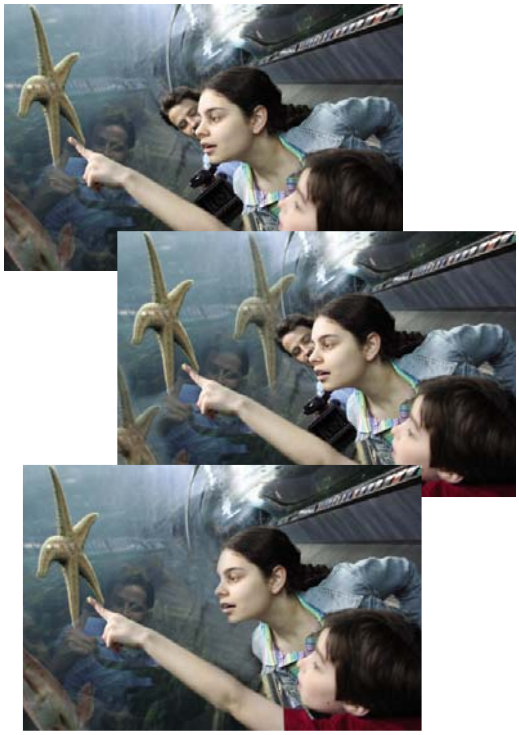
210 ページの「肌色の補正」

286 ページの「描画モード」

303 ページの「パターン」

画像または画像内の領域のコピー

コピースタンプツールでは、画像のサンプルを使ってペイントします。オブジェクトを複製したり、画像のしみを除去したり、写真のオブジェクト上にペイントすることができます。



元の写真（上）、コピースタンプツールで 2 匹のヒトデを追加（中央）、コピースタンプツールで人物を削除（下）

1 スタンダード編集のツールボックスから、コピースタンプツール を選択します。

2（オプション）オプションバーでオプションを設定します。

ブラシピッカー ブラシ先端を設定します。ブラシサンプルの横にある矢印をクリックしてブラシポップアップメニューからブラシのカテゴリーを選択し、使用するブラシのサムネールを選択します。

サイズ ブラシのサイズをピクセル数で設定します。サイズポップアップスライダをドラッグするか、テキストボックスにサイズを入力します。

モード ソースまたはパターンを既存のピクセルと融合させる方法を指定します。「通常」モードでは、オリジナルのピクセルに新しいピクセルを重ねます。

不透明度 適用するペイントの不透明度を設定します。不透明度を低く設定すると、ペイントストロークの下のピクセルが透けて見えます。不透明度のポップアップスライダをドラッグするか、値を入力します。

調整あり ペイントの停止と再開を繰り返す場合に、ペイントを開始したときのカーソルの位置にサンプリング領域が移動されます。このオプションを選択すると、空を横切る電話線やスキャンした写真の裂け目など、不要な領域を除外することができます。「調整あり」の選択を解除すると、ペイントを停止して再開するたびに、最初のサンプリングポイントからサンプリングしたデータが適用されます。画像の同じ部分のコピーを同じ画像の別の部分や別の画像に複数適用する場合は、このオプションの選択を解除することをお勧めします。

すべてのレイヤー 表示されているすべてのレイヤーからデータをサンプリング（コピー）する場合は、「すべてのレイヤー」を使用します。アクティブなレイヤーからのみデータをサンプリングする場合は、このオプションの選択を解除します。

3 開いている画像でサンプリングする部分にカーソルを合わせて、Alt キーを押しながらクリックします。この状態でペイントを実行すると、このサンプリングポイントのピクセルが画像に複製されます。

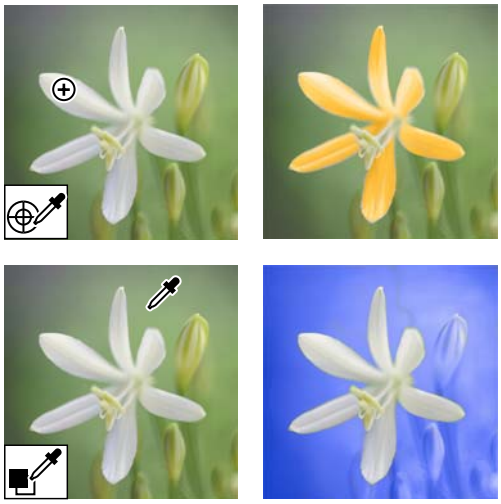
4 ドラッグまたはクリックして、ペイントします。

関連項目

286 ページの「描画モード」

画像内のカラーの置き換え

色の置き換えツールを使用すると、画像内の特定の色を簡単に置き換えることができます。対象の色（画像内の黄色い花など）を別の色（赤色など）でペイントすることができます。また、色の置き換えツールで色を補正することもできます。



「サンプル - 一度」オプションを使用し、対象領域をクリックして色を置き換え（上）。背景をサンプリングし、「背景のスウォッチ」オプションを使用して背景の色を置き換え（下）。

1 色の置き換えツール を選択します（色の置き換えツールはブラシツール の中にあります）。

2 オプションバーのブラシメニューで、ブラシ先端を選択します。「モード」では、描画モードを「カラー」に設定します。

3 次のいずれかのサンプリングオプションをクリックします。

継続 ドラッグに合わせて色を連続してサンプリングします。

一度 最初にクリックした色を含む領域のターゲットカラーのみ置き換えます。

背景のスウォッチ 現在の背景色を含む領域のみを置き換えます。

4「制限」で、次のいずれかを選択します。

隣接されていない カーソルをサンプルカラーに合わせたときに置き換えを実行します。

隣接 カーソルのすぐ下の色と隣接する色を置き換えます。

5「許容値」では、クリックした色と非常に近似した色を置き換える場合は低いパーセンテージを指定し、幅広い範囲の色を置き換える場合はパーセンテージを上げます。

6 補正する領域のエッジ部分を滑らかにするには、「アンチエイリアス」を選択します。

7 不要な色の置き換えに使用する描画色を選択します。

8 画像内で、置き換える色をクリックします。

9 画像内をドラッグし、ターゲットの色に置き換えます。

関連項目

210 ページの「肌色の補正」

エッジをぼかすまたはソフトにする

ぼかしツールでは、画像内のハードなエッジをソフトにして、ディテールの鮮明さを低下させます。煩雑な背景をぼかすことで、対象となる画像を強調することができます。ぼかしフィルタでも同じ効果を得ることができます。



元の写真（左）と背景をぼかした写真（右）

1 ぼかしツール を選択します。

2 オプションバーで、オプションを設定します。

ブラシピッカー ブラシ先端を設定します。ブラシサンプルの横にある矢印をクリックしてブラシポップアップメニューからブラシのカテゴリーを選択し、使用するブラシのサムネールを選択します。

サイズ ブラシのサイズをピクセル数で設定します。サイズポップアップスライダをドラッグするか、テキストボックスにサイズを入力します。

モード ぼかすピクセルを画像内の他のピクセルと融合させる方法を指定します。

強さ 1 回のストロークで適用するぼかしの度合いを指定します。

すべてのレイヤー 表示されているすべてのレイヤーをぼかします。このオプションが選択されていない場合、ぼかし効果はアクティブなレイヤーにのみ適用されます。

3 画像内で、ぼかす部分をドラッグします。

関連項目

268 ページの「ぼかしとぼかし（強）」

268 ページの「ぼかし（ガウス）」

286 ページの「描画モード」

レンズ補正

レンズ補正ダイアログボックスでは、レンズ不良や不適切なレンズシェーディングによってエッジが暗くなる現象など、レンズのゆがみに関する一般的な問題を修正することができます。例えば、光が弱いときに空を撮影すると、画像の四隅が中央より暗くなることがあります。ビネット適用量と中間調の設定を変更することで、ゆがみが修正されます。

また、変形を使用して画像を回転させたり、カメラが垂直または水平方向に傾いたことによって生じた画像の遠近感のずれを修正することもできます。レンズ補正フィルタの画像グリッドを使用すると、これらの調整を簡単かつ正確に行うことができます。



レンズ補正

1 写真編集モードで、フィルタ／レンズ補正を選択します。

2「プレビュー」を選択します。

3 次のいずれかのオプションを設定して画像を修正し、「OK」をクリックします。

ゆがみを補正 レンズの樽型（糸巻き型）のゆがみを補正します。ボックスに数値を入力するか、スライドを移動して、画像の中心を基準として膨らんでいる／へこんでいる縦線や横線を補正します。

ビネット - 適用量 画像のエッジに沿って明るくする（暗くする）量を設定します。ボックスに数値を入力します。または、スライダを移動すると徐々に陰影が適用されます。

ビネット - 中心点 ビネット適用量スライダが適用される領域の幅を指定します。スライダを移動するか、小さい数値を入力すると、画像への適用範囲が大きくなります。大きい数値を入力すると、画像のエッジ部分だけに効果を適用することができます。

垂直方向の遠近法 カメラの上下の傾きによる画像の遠近感を修正します。ボックスに数値を入力するか、スライダを移動して、画像の垂直線を平行にします。

水平方向の遠近法 画像のエッジとディテールを検出し、ディテールを鮮明にしてハロー効果を軽減します。数値を入力するか、スライダを使用して、カメラまたは被写体の動きによるぼけを目立たないようにします。「ぼかし（移動）」を選択した場合は、「角度」コントロールを設定します。

角度 画像を回転して、カメラの傾きを補正します。または、遠近法の補正後の調整を行います。ボックスに数値を入力するか、角度ダイヤルをドラッグして、画像を左（反時計回り）または右（時計回り）に回転させます。

拡大・縮小 画像を拡大または縮小します。画像のピクセル数は変化しません。ボックスに数値を入力するか、スライダを移動して、糸巻き型のゆがみ、回転、遠近法の補正により発生した画像の空白部分を除去します。適切な大きさに拡大することで、画像を切り抜いて、元の画像のピクセル数まで補完できます。

グリッドを表示 このオプションを選択すると、グリッドが表示されます。選択を解除すると、グリッドが非表示になります。

ズーム ズームインすると画像に近づいた像になり、ズームアウトするとより遠くから見た像になります。

カラー グリッドカラーを指定します。

関連項目

207 ページの「カラーカーブの調整」

201 ページの「ハイライトとシャドウのディテールの向上」

Photomerge Group Shot の使用

Photomerge Group Shot を使用すると、複数の写真から完璧な集合写真を作成できます。

注意：最高の結果を得るために、Photomerge Group Shot で合成する写真には、同じ状況で撮影した一連の写真を使用します。

1 写真編集モードで、Photomerge Group Shot で合成する写真の元の画像となる集合写真を開きます。

2 ファイル／新規／ Photomerge Group Shot を選択します。

3 複数の集合写真の中から最適なものを選択し、プロジェクトエリアから最終ウィンドウにドラッグします。

4 プロジェクトエリアの他の写真を選択し（わかりやすいように色が付けられています）、鉛筆ツールを使って最終的な写真に結合したい領域に線を引きます。さらに、鉛筆ツールを使用して部分的に追加したり、消しゴムツールを使用して削除したりして、最終画像に微調整を加えます。

5 次のいずれかのオプションを設定します。

ストロークを表示 このオプションを選択すると、鉛筆ツールで描いた線が元の画像に表示されます。

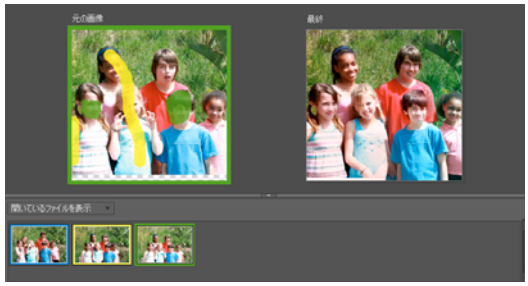
領域を表示 このオプションを選択すると、選択した領域が最終画像に表示されます。

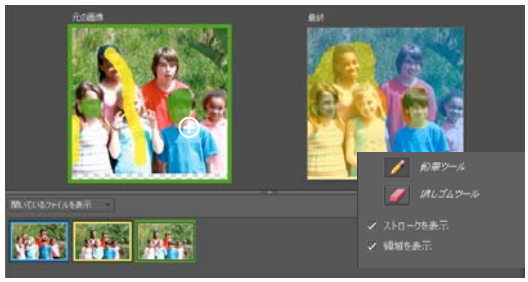
詳細オプション 矢印をクリックすると、詳細オプションを展開したり、折りたたむことができます。

角度補正ツール 合成した複数の写真の角度を修正する場合に、角度補正ツールをクリックします。元の画像と最終画像の両方に 3 つのマーカーを配置します。配置したら、「写真を整列」ボタンをクリックします。

ピクセルを合成 このオプションをクリックすると、ピクセルが合成されます。

6 処理を最初からやり直すには「初期化」ボタンをクリックします。処理を実行して Photomerge Group Shot を終了するには「完了」ボタンを、Photomerge Group Shot を閉じるには「キャンセル」をクリックします。







Photomerge Group Shot のウィンドウ

注意：Photomerge Group Shot は PSE ファイル形式をサポートしていません。PSE ファイルを使用して Photomerge Group Shot を作成しようとすると、エラーメッセージが表示されます。これは既知の問題です。



Photomerge Group Shot のエラーメッセージ

Photomerge Faces の使用

Photomerge Faces を使用すると、色々な顔のパーツを組み合わせて、別の顔を作り出すことができます。

1 写真編集モードで、Photomerge Faces で合成する写真の元の画像となる顔の写真を開きます。

2 ファイル／新規／ Photomerge Faces を選択します。

3 プロジェクトエリアで基本となる顔写真を選択し、最終ウィンドウにドラッグします。

4 プロジェクトエリアで別の画像をクリックし、「角度補正ツール」をクリックします。元の画像と最終画像の顔の両目と口に 3 つのマーカーを配置し、「写真を整列」ボタンをクリックします。

5 プロジェクトエリアの他の写真を選択し（わかりやすいように色が付けられています）、鉛筆ツールを使って最終的な写真に結合したい領域に線を引きます。さらに、鉛筆ツールを使用して部分的に追加したり、消しゴムツールを使用して削除したりして、最終画像に微調整を加えます。

6 次のいずれかのオプションを設定します。

ストロークを表示 このオプションを選択すると、鉛筆ツールで描いた線が元の画像に表示されます。

領域を表示 このオプションを選択すると、選択した領域が最終画像に表示されます。

7 処理を最初からやり直すには「初期化」ボタンをクリックします。処理を実行して Photomerge Faces を終了するには「完了」ボタンを、Photomerge Faces を閉じるには「キャンセル」をクリックします。



Photomerge Faces のウィンドウ

シャープ

シャープの概要

シャープを適用すると、画像のエッジの輪郭が強調されます。デジタルカメラやスキャナの画像を含むほとんどの画像は、シャープを適用することで画質が向上します。画像にシャープを適用する場合は、次の点に注意してください。

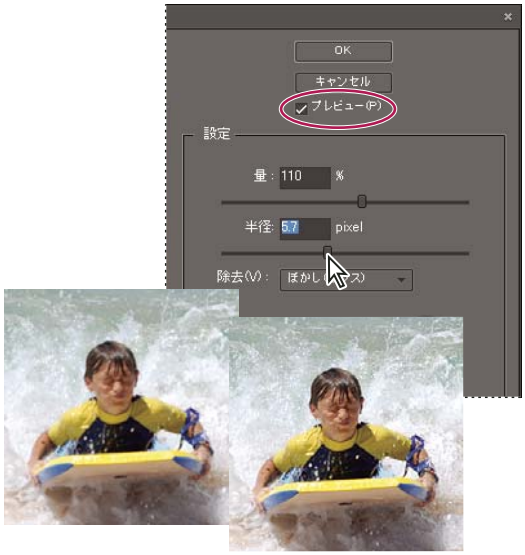
- シャープ効果では、あまりに不鮮明な画像は補正できません。
- 後で調整が必要になった場合に再びシャープを適用できるように、別のレイヤーでシャープを適用します。レイヤーの描画モードを「輝度」に設定して、エッジでのカラーシフト（色ずれ）を防ぎます。シャープ適用後にハイライトやシャドウ部分が軽減された場合は、レイヤーの描画コントロールを使用してハイライトやシャドウにシャープを適用しないようにします。
- 画像のノイズを軽減する必要がある場合は、ノイズを軽減してからシャープを適用し、ノイズが強調されないようにします。
- シャープは何回かに分けて少しずつ適用します。最初は、スキャナやデジタルカメラでキャプチャされたぼけを補正するためにシャープを適用します。その後、カラーを補正して画像のサイズを変更してから、もう一度シャープを適用します。
- 可能であれば、画像を出力してシャープの効果を確認します。必要なシャープの量は、画像の用途（印刷や Web ページでの表示など）によって異なります。

画像をシャープにする

自動シャープコマンドを使用すると、シャープを適用しすぎることなく、画像の鮮明度や焦点を改善することができます。

シャープツールでは、写真のソフトな輪郭を明確にして、鮮明度や焦点を向上させます。シャープを適用しすぎると、粒子が粗く見えるようになります。オプションバーの「強さ」の値を下げることで、シャープの過度な適用を防ぐことができます。シャープを少しずつ適用し、必要に応じて適用する部分を何度かドラッグしてシャープを段階的に上げていくことをお勧めします。

シャープダイアログボックスでは、シャープツールや自動シャープにはないシャープコントロールを利用できます。シャープアルゴリズムを設定したり、シャドウまたはハイライト領域に適用するシャープの量を制御できます。



シャープの調整

画像を自動的にシャープにする

❖ 画質調整／自動シャープを選択します。

画像の領域をシャープにする





元の画像（上）、2 人の顔を適切にシャープを適用した状態（左下）、2 人の顔にシャープを適用しすぎた状態（右下）

1 シャープツール を選択します。

2 オプションバーで、オプションを設定します。

ブラシメニュー ブラシ先端を設定します。ブラシサンプルの横にある矢印をクリックしてブラシメニューからブラシのカテゴリーを選択し、使用するブラシのサムネールを選択します。

サイズ ブラシのサイズをピクセル数で設定します。サイズポップアップスライダをドラッグするか、テキストボックスにサイズを入力します。

モード 適用するペイントが画像内の既存のピクセルにどのように合成されるかを指定します。

強さ 1 回のストロークで適用するシャープの度合いを指定します。

すべてのレイヤー 表示されているすべてのレイヤーにシャープを適用します。このオプションが選択されていない場合、シャープツールはアクティブなレイヤーにのみ適用されます。

3 画像内で、シャープにする部分をドラッグします。

画像を正確にシャープにする

1 画質調整／シャープを調整を選択します。

2「プレビュー」をクリックします。

3 次のいずれかのオプションを設定して画像にシャープを適用し、「OK」をクリックします。

量 シャープの量を調整します。ボックスに数値を入力するか、スライダをドラッグして、エッジのピクセル間のコントラストを増減し、シャープの効果を調整します。

半径 エッジ周辺のどれくらいの範囲にシャープを適用するかをピクセル数で指定します。ボックスに数値を入力するか、スライダをドラッグして、半径の値を変更します。半径を大きくすると、シャープの効果がより顕著になります。

除去 画像に適用するシャープのアルゴリズムを設定します。「ぼかし（ガウス）」は、アンシャープマスクフィルタで使用する手法です。「ぼかし（レンズ）」は、画像のエッジとディテールを検出し、ディテールにより鮮明なシャープを適用して、シャープによるハロー効果を軽減します。「ぼかし（移動）」は、カメラや被写体の動きによるぼけを軽減します。ポップアップメニューからぼかしオプションを選択します。

角度 除去コントロールの「ぼかし（移動）」オプションを選択した場合の移動の方向を設定します。ボックスに数値を入力するか、角度ダイヤルをドラッグして、角度の比率を左（反時計回り）または右（時計回り）に変更します。

精細 ファイルの処理速度を下げて、より正確にぼかしを削除できるようにします。

アンシャープマスクフィルタの使用

アンシャープマスクフィルタを使用すると、従来の写真撮影技術で行われるのと同様に、画像の輪郭をはっきりさせることができます。撮影、スキャン、再サンプル、プリント作業によって発生するぼけを補正します。プリント用の画像やオンライン表示用の画像の補正に便利です。

アンシャープマスクは、指定したしきい値にしたがって周囲にあるピクセルとは異なるピクセルの場所を検索し、そのピクセルのコントラストを指定した量だけ強くします。指定した半径内にある周囲のピクセルに対しては、明るいピクセルをより明るく、暗いピクセルをより暗くします。

アンシャープマスクフィルタの効果は、高解像度でプリントするよりも、画面上の方が強く表れます。プリントを目的とする場合は、いろいろ試行して、自分の画像に最適な設定を探してください。



アンシャープマスクフィルタは、コントラストを強くして画像のあいまいさを軽減します。

1 写真編集モードで、画像、レイヤーまたは領域を選択します。

2 画質調整／アンシャープマスクを選択します。

3「プレビュー」オプションを選択します。

4 いずれかのオプションを設定し、「OK」をクリックします。

量 ピクセルのコントラストを強くする割合を指定します。通常、高解像度プリント画像の場合は、150 % ～ 200 %が最適です。

半径 シャープを適用する範囲を、輪郭の周囲のピクセル数で指定します。通常、高解像度プリント画像の場合、半径は 1 ～ 2 に設定することをお勧めします。値を低くすると輪郭のピクセルのみにシャープが適用され、値を高くすると輪郭の幅を広げてシャープが適用されます。ピクセル半径に 2 を指定しても、高解像度プリントでは極めて小さい範囲になるため、シャープの効果は画面で表示されるよりも弱くなります。

しきい値 周囲との差がどの程度あれば、輪郭ピクセルと見なし、シャープを適用するかを指定します。ノイズの発生を避けるには（肌色が含まれる画像の場合など）、しきい値を 2 ～ 20 で試してください。初期設定のしきい値（0）では、画像のすべてのピクセルにシャープを適用します。

変形

アイテムの回転または反転

選択範囲、レイヤー、または画像全体を回転または反転することができます。回転または反転するアイテムに応じて、適切なコマンドを選択します。

1 回転または反転する写真、レイヤー、選択範囲またはシェイプを選択します。

2 イメージ／回転を選択して、サブメニューから次のいずれかのコマンドを選択します。

90˚（反時計回り）、レイヤーを 90˚ 回転（反時計回り）、および選択範囲を 90˚ 回転（反時計回り） 写真、レイヤー、または選択範囲を反時計回りに 90˚ 回転します（「選択範囲を回転」は、画像上にアクティブな選択範囲がある場合にだけ有効になります）。

90˚（時計回り）、レイヤーを 90˚ 回転（時計回り）、および選択範囲を 90˚ 回転（時計回り） 写真、レイヤー、または選択範囲を時計回りに 90˚ 回転します。

180˚、レイヤーを 180˚ 回転、選択範囲を 180˚ 回転 写真、レイヤー、または選択範囲を 180˚ 回転します。

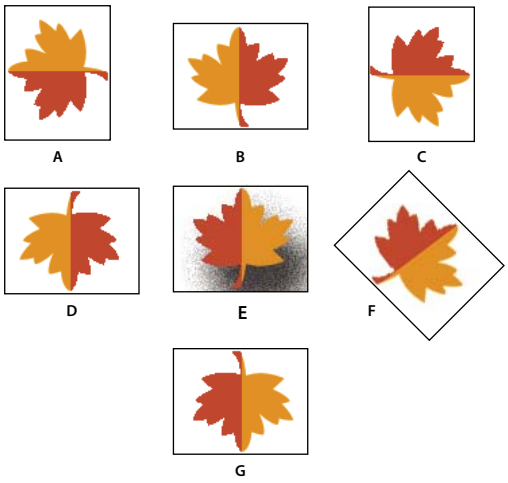
カスタム 指定した角度でアイテムを回転します。このオプションを選択する場合、アイテムを回転する角度を入力し、回転する方向を選択します。

注意：正の数値を入力すると時計回り、負の数値を入力すると反時計回りに回転します。

終了後に「OK」をクリックします。

左右に反転、レイヤーを左右に反転、および選択範囲を左右に反転 写真、レイヤー、または選択範囲を左右に反転します。

上下に反転、レイヤーを上下に反転、および選択範囲を上下に反転 写真、レイヤー、または選択範囲を上下に反転します。



画像の回転
A. 90˚ 回転（反時計回り）**B.** 左右に反転 **C.** 90˚ 回転（時計回り）**D.** 180˚ 回転 **E.** 元の画像 **F.** 自由に回転 **G.** 上下に反転

アイテムの自由な回転

「レイヤーを自由に回転」または「選択範囲を自由に回転」により、アイテムの回転角度を任意の角度に設定することができます。



「レイヤーを自由に回転」コマンドを使用して画像の角度を補正し、確定ボタンをクリックして回転を適用

1 スタンダード編集で、回転するレイヤーまたは選択範囲を選択します。

2 イメージ／回転／レイヤーを自由に回転または選択範囲を自由に回転を選択します。画像にバウンディングボックス（画像の境界線を囲む四角形）が表示されます。

注意：選択した画像が背景レイヤーである場合（カメラまたはスキャナから読み込んだ写真など）は、変形できるように通常のレイヤーに変換するオプションが表示されます。

3（オプション）アイテムの回転の基準点を変更するには、オプションバー上のアイコン で、該当する位置の四角形をクリックします。

4 次のいずれかの操作を行って、回転量を指定します。

- バウンディングボックスの下部にある回転ハンドルをクリックしてドラッグします。ハンドルにカーソルを合わせると、カーソルが円の矢印 に変わります。Shift キーを押しながらドラッグすると、回転を 15˚ 単位に固定できます。

- オプションバーの「回転」テキストボックス に、-180 ～ 180 の回転角度を入力します（-180 は反時計回りの回転の最大値で、180 は時計回りの回転の最大値です）。

5 次のいずれかの操作を行います。

- 変形を適用するには、バウンディングボックスの内側をダブルクリックするか、確定ボタン をクリックするか、Enter キーを押します。
- 変形をキャンセルするには、キャンセルボタン をクリックするか、Esc キーを押します。

アイテムの拡大縮小

1 スタンダード編集で、拡大・縮小する写真、レイヤー、選択範囲、またはシェイプを選択します。

2 イメージ／サイズ変更／拡大・縮小を選択します。

注意：選択した写真が背景レイヤーである場合（カメラまたはスキャナから読み込んだ写真など）は、変形できるように通常のレイヤーに変換するオプションが表示されます。

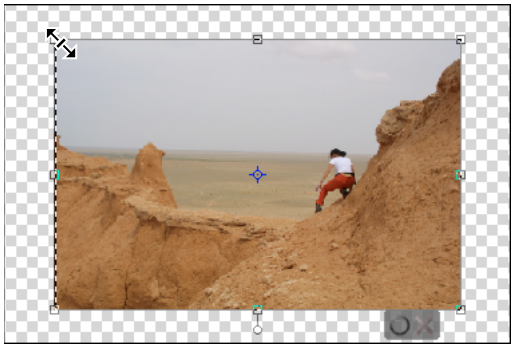
3 次の操作を行って、拡大・縮小量を指定します。

- 拡大・縮小の際に画像の縦横の相対的な比率を維持するには（画像のゆがみを防止するには）、「縦横比を固定」を選択してから、コーナーハンドルをドラッグします。または、Shift キーを押しながらコーナーハンドルをドラッグしても、同様に拡大・縮小できます。
- 高さと幅だけを拡大・縮小するには、サイドハンドルをドラッグします。
- オプションバーの「W」、「H」、またはその両方にパーセント値を入力します。

4 次のいずれかの操作を行います。

- 変形を適用するには、バウンディングボックスの内側をダブルクリックするか、確定ボタン をクリックするか、Enter キーを押します。
- 変形をキャンセルするには、キャンセルボタン をクリックするか、Esc キーを押します。





拡大・縮小アイコンを使用してコーナーをドラッグすることにより、縦横の相対的な比率を維持しながら拡大・縮小

アイテムをゆがめる、または自由な形に伸縮する

ゆがみは、垂直または水平方向の傾斜をアイテムに適用します。変形は、アイテムを伸縮します。

1 スタンダード編集で、変形する写真、レイヤー、選択範囲またはシェイプを選択します。

2 イメージ／変形／ゆがみまたはイメージ／変形／自由な形にを選択します。シェイプツールを選択してシェイプを変形する場合は、イメージ／シェイプを変形を選択し、「ゆがみ」または「自由な形に」を選択します。

注意：選択した写真が背景レイヤーである場合（カメラまたはスキャナから読み込んだ写真など）は、変形できるように通常のレイヤーに変換するオプションが表示されます。

3 ハンドルをドラッグしてバウンディングボックス（画像の境界線を囲む四角形）をゆがめたり自由な形に伸縮したりします。

4 次のいずれかの操作を行います。

- 変形を適用するには、バウンディングボックスの内側をダブルクリックするか、確定ボタン をクリックするか、Enter キーを押します。
- 変形をキャンセルするには、キャンセルボタン をクリックするか、Esc キーを押します。

アイテムへの遠近法の適用

遠近法を適用すると、オブジェクトが 3 次元に存在するような外観が作成されます。



元の画像（左）、および遠近法を適用した後の画像（右）

1 スタンダード編集で、変形するアイテムを選択します。

2 イメージ／変形／遠近法を選択します。シェイプツールを選択してシェイプを変形する場合は、イメージ／シェイプを変形／遠近法を選択します。

注意：選択した写真が背景レイヤーである場合（カメラまたはスキャナから読み込んだ写真など）は、変形できるように通常のレイヤーに変換するオプションが表示されます。

3 バウンディングボックス（画像の境界線を囲む四角形）のコーナーハンドルをドラッグして遠近法を適用します。

4 次のいずれかの操作を行います。

- 変形を確定するには、バウンディングボックスの内側をダブルクリックするか、確定ボタン をクリックするか、Enter キーを押します。
- 変形をキャンセルするには、キャンセルボタン をクリックするか、Esc キーを押します。

アイテムの自由な変形

「自由変形」コマンドを使用すると、複数の変形（回転、拡大・縮小、ゆがみ、自由な形への伸縮、遠近法）を 1 回の操作で適用することができます。様々なコマンドを選択する代わりに、キーボードのキーを押して変形の種類を切り替えるだけですみます。

1 スタンダード編集で、変形するアイテムを選択します。

2 イメージ／変形／自由変形を選択します。シェイプを変形する場合は、イメージ／シェイプを変形／シェイプの自由変形を選択します。

注意：選択した写真が背景レイヤーである場合（カメラまたはスキャナから読み込んだ写真など）は、変形できるように通常のレイヤーに変換するオプションが表示されます。

3（オプション）アイテムの回転の基準点を変更するには、オプションバー上のアイコン で、該当する位置の四角形をクリックします。

4 次のいずれかまたは複数の操作を行って、オブジェクトを変形します。

- 拡大・縮小するには、バウンディングボックス（画像の境界線を囲む四角形）の任意のハンドルをドラッグします。幅と高さの相対的な比率を維持しながら拡大・縮小するには、Shift キーを押しながらコーナーハンドルをドラッグするか、オプションバーの「縦横比を固定」を選択してコーナーハンドルをドラッグします。

- 回転するには、ポインタをバウンディングボックスの外側に移動し、ドラッグします。ポインタをバウンディングボックスの外側に置くと、ポインタがカーブした両方向の矢印 に変わります。Shift キーを押しながらドラッグすると、回転の角度を 15° 単位に固定できます。
- ゆがめるには、Ctrl キーを押しながら任意のハンドルをドラッグします。ポインタをハンドルの上に置くと、ポインタがグレーの矢印 に変わります。
- ゆがみを適用するには、Ctrl+Shift キーを押しながら、バウンディングボックスのいずれか一辺の中央にあるハンドルをドラッグします。ポインタをサイドハンドルの上に置くと、ポインタがグレーの小さな両方向の矢印 に変わります。
- 遠近法を適用するには、Ctrl+Alt+Shift キーを押しながらコーナーハンドルをドラッグします。ポインタをコーナーハンドルの上に置くと、ポインタがグレーの矢印 に変わります。

5 次のいずれかの操作を行います。

- 変形を確定するには、バウンディングボックスの内側をダブルクリックし、確定ボタン をクリックするか Enter キーを押します。
- 変形をキャンセルするには、キャンセルボタン をクリックするか、Esc キーを押します。

背景レイヤーへの変形の適用

背景レイヤーに変形を適用するには、背景レイヤーを通常のレイヤーに変換する必要があります。

1 スタンダード編集で、レイヤーパレットから背景レイヤーを選択します。

2 背景を変換します。

3 変形を適用します。

関連項目

148 ページの「背景レイヤーから通常のレイヤーへの変換」

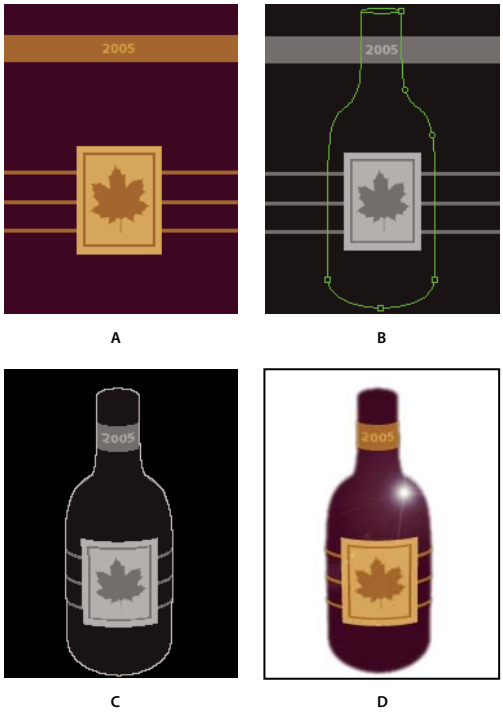
3D トランスフォームフィルタ

3D トランスフォームフィルタを使用すると、平面の 2 次元画像を立体の 3 次元オブジェクトのように扱うことができます。例えば、シリアルの箱を斜めから撮影したような遠近感のある写真の場合、ワイヤフレームを使用して箱の角を指定すると、箱を 3 次元オブジェクトであるかのように操作できます。箱を再配置、回転、拡大・縮小したり、視野を変更したりすることもできます。

2 次元オブジェクトを立方体、球体、円柱に変形し、それらのシェイプに基づいてワイヤフレームを使用して操作できます。スープ缶などの単純なオブジェクトも、ビンやランプなどのようにより複雑なシェイプも円柱として処理することが可能です。

立方体、球体、円柱を自在に組み合わせて、同じ画像内で作成して操作できます。例えば、箱、球体 3 個、ビンを同じ画像内に作成して回転することができます。

3D トランスフォームダイアログボックス内のズームツールと手のひらツールを使用して、画像のプレビューを変更します。これらの操作では、変形処理の内容は変更せずに、表示だけが変更されます。



3D トランスフォームフィルタ
A. 平面（2 次元）のラベルの画像 **B.** 3D トランスフォームの円柱ワイヤフレームのプレビュー **C.**「背景を表示」オプションの選択を解除した多面体回転ツールによるボトルの傾斜 **D.** 逆光効果が適用され、背景が白に変更された完成画像

アイテムの 3 次元への変形

1 変形する写真、レイヤー、または選択範囲を選択します。フィルタが適用されるのは 1 つのレイヤーだけであるため、必要に応じて画像を 1 つのレイヤーに統合してください。

2 フィルタ／描画／ 3D トランスフォームを選択します。3D トランスフォームダイアログボックスでは、アクティブレイヤーがプレビューされます。

3（オプション）「オプション」をクリックし、次のいずれかのオプションを指定し、「OK」をクリックします。

解像度 描画する画像の画質を選択します。このオプションは立方体の画質にはほとんど影響しませんが、円柱と球体に適用すると滑らかなカーブ面の生成に影響します。

アンチエイリアス 描画する画像に適用するアンチエイリアスのレベルを設定します。

背景を表示 ワイヤフレーム外の元の画像の一部を、プレビューおよび描画する画像に含めます。変形したオブジェクトを元の背景から分離するには、このオプションの選択を解除します。

4 3D に変形する画像領域の上に次のいずれかのツールをドラッグして、3D ワイヤフレームを作成します。

立方体ツール ファイルキャビネットなどの画像を立方体表面にマップします。

球体ツール 地球儀やボールなどの画像を球体表面にマップします。

円柱ツール 缶やビンなどの画像を円柱表面にマップします。

注意：ワイヤフレームを削除するには、そのワイヤフレームを選択し、Backspace キーまたは Delete キーを押します。

5 ワイヤフレームを移動または変形するには、次のいずれかの操作を行います。

- フレーム全体を移動するには、3D トランスフォームダイアログボックスの選択ツール を選択して、ワイヤフレームの枠をドラッグします。
- アンカーポイントを移動するには、ダイアログボックスのパス選択ツール を選択して、ワイヤフレームのアンカーポイントをドラッグします。

- 円柱にアンカーポイントを追加するには、ダイアログボックスからアンカーポイントの追加ツール を選択し、ワイヤフレームの右側をクリックします。例えば、アンカーポイントを追加することで、円柱ワイヤフレームをビンの写真にさらにフィットさせることができます。
- 追加されたアンカーポイントを滑らかなアンカーポイントからコーナーアンカーポイントに変更する、またはその逆を行うには、ダイアログボックスのアンカーポイントの切り替えツール を選択してポイントをクリックします。滑らかなアンカーポイントは、調整するとゆるやかなカーブを構成します。コーナーアンカーポイントは、鋭い角を作成します。
- アンカーポイントを削除するには、ダイアログボックスのアンカーポイントの削除ツール を選択し、ポイントをクリックします。削除できるのは、円形または菱形のポイントだけです。

注意：アンカーポイントは、操作対象のボックスの角または球体や円柱の上下と揃っている必要があります。操作したワイヤフレームは、3 次元で再作成できない場合は、赤に変わります。

6 ワイヤフレーム内部でオブジェクトを移動するには、ダイアログボックスのカメラのパンツール をクリックし、オブジェクトをドラッグします。

7 ワイヤフレーム内部でオブジェクトを任意の方向に回転するには、多面体回転ツール をクリックし、オブジェクトをドラッグします。

8「視野」に 1 ～ 130 の値を入力します。この方法で、ワイヤフレームが画像により合うようになります。写真を撮影したときの視点角度がわかっている場合は、ここで入力できます。

9 ドリーカメラの場合は、1 ～ 99 の値を入力し、「OK」をクリックします。このオプションには、カメラを画像から遠ざけたり、近づけたりする操作と同じ効果があります。

関連項目

261 ページの「フィルタ」

155 ページの「画像の統合」

第 14 章：カラーについて

Adobe® Photoshop® Elements® では、2 つのカラーモデルを使用してカラーの操作を行います。モデルの 1 つは人間の目に見える色相、彩度、明度（HSB）に基づいており、もう 1 つはコンピュータのモニタに表示される色（レッド、グリーン、ブルー（RGB）の量）に基づいています。カラーホイールを使って、カラー間の関係を簡単に把握することもできます。Photoshop Elements には、RGB、ビットマップ、グレースケール、インデックスカラーという 4 つの画像モードがあり、このモードによって画像に表示されるカラーの量が決まります。

Photoshop Elements ヘルプのすべての内容を参照するには、「Web 上のページ」をクリックして LiveDocs にアクセスしてください。

カラーについて

カラー

人間の目は色相、彩度、明度（HSB）という 3 つの特性によってカラーを知覚しますが、コンピュータのモニタはレッド、グリーン、ブルー（RGB）の光の量をそれぞれ変化させてカラーを再現します。Photoshop Elements では、この HSB と RGB のカラーモデルを使用してカラーの選択と操作を行います。カラーホイールにより、カラー間の関係を簡単に把握することができます。

HSB モデル

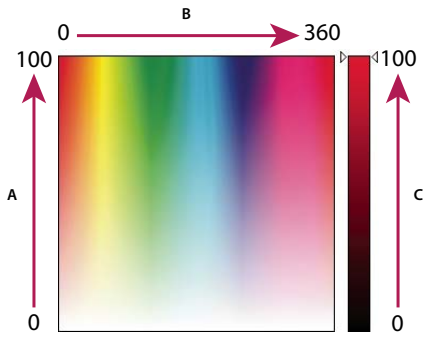
人間のカラーの知覚に基づいている HSB モデルでは、カラーを次の 3 つの基本特性で記述します。

色相（Hue）オブジェクトが反射または発光したカラー。色相は標準カラーホイールの位置として測定され、0 ～ 360 度の範囲で示されます。通常の使い方では、色相は、赤、オレンジ、緑などのカラー名で表現されます。

彩度（Saturation）カラーの度合いや純度。彩度は、色度と呼ばれることもあり、色相に対するグレー混合の程度を表し、その値は 0（グレー）～ 100 %（最も彩度が高い）の範囲になります。標準カラーホイールでは、彩度は円の中心から外側に向かうほど高くなります。

明度（Brightness）カラーの相対的な明るさや暗さを示し、通常は 0（黒）～ 100 %（白）の範囲になります。

Photoshop Elements では、HSB モデルを使用してカラーピッカーダイアログボックスのカラーを定義できますが、画像の作成や編集に HSB モードを使用することはできません。

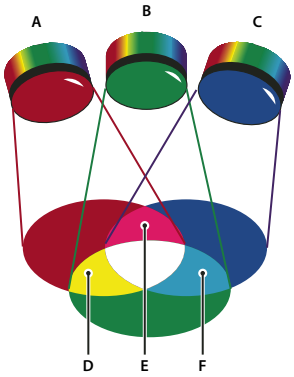


Adobe カラーピッカーにおける HSB 表示
A. 彩度 **B.** 色相 **C.** 明度

RGB モデル

可視光線スペクトルの大半は、レッド、グリーン、ブルー（RGB）の光を様々な割合や強さで混合することで再現できます。この 3 つのカラーは加算混合色と呼ばれます。レッド、グリーン、ブルーの光線を重ね合わせると、白色光になります。2 つのカラーを重ね合わせると、シアン、マゼンタ、イエローなどを表現できます。

加算混合色は、照明や、ビデオ、モニタ画面などに使用されています。例えば、モニタもレッド、グリーン、ブルーの光を出す蛍光体を組み合わせてカラーを作り出しています。

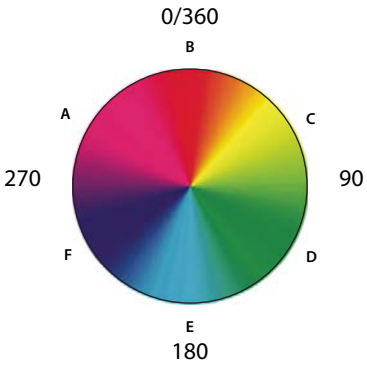


加算混合色（RGB）
A. レッド **B.** グリーン **C.** ブルー **D.** イエロー **E.** マゼンタ **F.** シアン

カラーホイール

カラーホイールは、カラー間の関係を把握し、覚えるのに便利です。レッド、グリーン、ブルーは加算混合色で、シアン、マゼンタ、イエローは減算混合色です。各加算混合色の正反対側にあるのがその補色です（レッドとシアン、グリーンとマゼンタ、ブルーとイエロー）。

各減算混合色は、その補色以外の 2 つの加算混合色で生成されます。したがって、画像内のある原色の量を増やすと、その補色の量が減ります。例えば、イエローはグリーンとレッドで生成され、ブルーを含みません。Photoshop Elements でイエローを調整するには、ブルーのカラーチャンネルのカラー値を変更します。ブルーを増やすと、イエローが減ります。



カラーホイール
A. マゼンタ **B.** レッド **C.** イエロー **D.** グリーン **E.** シアン **F.** ブルー

画像モードとカラーテーブルの使用

画像モード

画像モードによって、画像に表示可能なカラーの数が決まり、画像のファイルサイズも変わります。Photoshop Elements では、RGB、モノクロ 2 階調、グレースケールおよびインデックスカラーの 4 つの画像モードを使用できます。



画像モード
A. モノクロ 2 階調モード **B.** グレースケールモード **C.** インデックスカラーモード **D.** RGB カラーモード

モノクロ 2 階調モード このモードでは、2 つのカラー値（ブラックまたはホワイト）のいずれかで、画像内のピクセルを表現します。モノクロ 2 階調モードの画像はビット数が 1 なので、1 ビット画像とも呼ばれます。

グレースケールモード このモードでは、最高 256 階調のグレーを再現します。グレースケール画像は 8 ビット画像です。グレースケール画像の各ピクセルに 0（ブラック）～ 255（ホワイト）の明るさの値を割り当ててカラーを再現します。グレースケールの値は、ブラックインキの使用率（0 %はホワイト、100 %はブラック）で表すこともできます。

インデックスカラーモード このモードでは、最大 256 色を表示できます。インデックスカラー画像は 8 ビット画像です。Photoshop Elements では、インデックスカラーへの変換時に、カラールックアップテーブル（CLUT）を作成します。このテーブルは、画像のカラーを格納し、そのカラーのインデックスを作成します。元画像のカラーがテーブルに表示されていない場合は、最も近いカラーを使用するか、利用可能なカラーを用いてそのカラーをシミュレートします。インデックスカラーではカラーパレットが制限されるので、見た目の画質を維持しながらファイルサイズを小さくすることができます。このカラーモードは Web ページなどに適しています。インデックスカラーモードでは、行える編集は限られています。より詳細な編集を行うには、一時的に RGB カラーモードに変換する必要があります。

画像に異なるカラーモードを選択すると（イメージ／モード／ [画像モード]）、画像内のカラー値が変更されます。しかし、場合によっては、画像を別のモードに変換する必要があります。例えば、グレースケールモードでスキャンした古い写真にカラーを追加する場合は、RGB カラーモードに変換する必要があります。画像を変換する前に、次の操作を行うことをお勧めします。

- RGB カラーモードで編集できる部分は、すべて編集しておきます。
- 変換する前にバックアップコピーを取ります。変換後も元の画像を編集できるように、すべてのレイヤーを含む画像のコピーを必ず保存しておきます。
- 変換する前にファイルを統合します。カラーモードの変更に応じて、レイヤーの描画モードによるカラーの再現方法が変わります。

注意：非表示のレイヤーは破棄され、モノクロ 2 階調モードやインデックスカラーモードはレイヤーに対応していないので、これらのモードに変換した画像のレイヤーは自動的に統合されます。

RGB カラーモード Photoshop Elements で新しく画像を作成した場合とデジタルカメラから読み込まれた画像で使用されるカラーモードです。RGB カラーモードでは、レッド、グリーン、ブルーの各構成要素の照度の値が、0（ブラック）～ 255（ホワイト）の範囲で各ピクセルに割り当てられます。例えば、鮮明なレッドを示す RGB の値は、それぞれ 246、20、50 になります。この 3 つの要素の値が等しいと、中間調のグレースケールのカラーになります。すべての値が 255 であれば純粋なホワイトになり、すべての値が 0 であれば純粋なブラックになります。

画像のモノクロ 2 階調モードへの変換

画像をモノクロ 2 階調モードに変換するには、まずグレースケールモードに変換して、カラー情報を少なくしファイルサイズを小さくする必要があります。グレースケールへの変換により、ピクセルの色相と彩度に関する情報が削除され、明るさの値だけが残ります。ただし、モノクロ 2 階調モードの画像で可能な編集操作は限られているので、グレースケールモードで画像を編集してから変換することをお勧めします。

1 イメージ／モード／モノクロ 2 階調を選択します。

2 画像が RGB の場合は、表示されるメッセージで「OK」をクリックしてグレースケールに変換します。

3「出力」にモノクロ 2 階調モードの画像の出力解像度の値を入力し、単位を選択します。初期設定では、入出力両方の解像度に、現在の画像解像度が表示されます。

4 次のモノクロ 2 階調変換方式から 1 つを選択し、「OK」をクリックします。

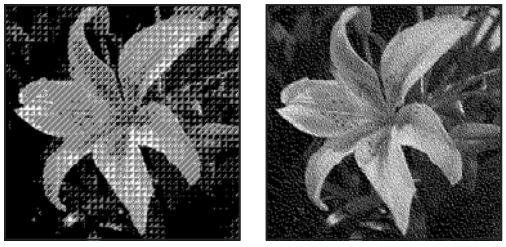
50 %を基準に 2 階調に分ける グレー値のレベルが中間値（128）を超えるピクセルをホワイトに、それに満たないピクセルをブラックに変換します。非常にコントラストの強い白黒画像が生成されます。



元のグレースケール画像（左）、および 50 %を基準に 2 階調に分けた画像

パターンディザ グレーレベルをブラックとホワイトの網点で構成される幾何学的なパターンに置き換えて画像を変換します。

誤差拡散法（ディザ）誤差拡散処理を行って画像を変換します。処理は画像の左上のピクセルから開始します。値がグレーの中間値（128）より大きいピクセルはホワイトに、中間値より小さいピクセルはブラックになります。通常はピクセルが純粋なホワイトやブラックである場合は少ないので、誤差が生じます。この誤差は周辺のピクセルにも転移して画像全体に拡散するので、粒子の粗い映画の画面のようなテクスチャが得られます。このオプションは画像をモノクロ画面で表示する場合に便利です。



パターンディザ変換画像および誤差拡散法（ディザ）変換画像

モノクロ 2 階調モード画像のグレースケールへの変換

変換する前に、モノクロ 2 階調モードの画像をグレースケールモードで編集してから再度モノクロ 2 階調モードに変換すると、見た目が変わる場合があることに注意してください。例えば、モノクロ 2 階調モードで黒であるピクセルをグレースケールモードで一定の濃さのグレーに編集したとします。このピクセルのグレー値が淡すぎると、モノクロ 2 階調モードに再変換したときには白になってしまいます。

1 イメージ／モード／グレースケールを選択します。

2「サイズ比」に 1 ～ 16 の数値を入力します。

サイズ比は、画像の拡大・縮小率を示します。例えば、グレースケール画像を 50 %縮小するには、サイズ比に 2 を入力します。1 より大きい数を入力すると、モノクロ 2 階調モード画像のピクセルの平均値がグレースケール画像の 1 つのピクセルに変換されます。このプロセスにより、1 ビットスキャナから取り込んだ画像から様々な階調のグレーを生成することが可能になります。

画像のインデックスカラーへの変換

インデックスカラーに変換すると、画像のカラー数は最大 256 色まで削減されます。これは、GIF 形式、PNG-8 形式および多くの Web ブラウザで対応している標準的なカラー数です。この変換では、画像のカラー情報を削除することでファイルサイズを小さくします。

注意：インデックスカラーに変換する場合は、グレースケールまたは RGB の画像で作業を開始します。

1 イメージ／モード／インデックスカラーを選択します。

2「OK」をクリックして各レイヤーを統合します。

注意：この操作を行うと、表示可能なすべてのレイヤーは統合され、非表示のレイヤーは破棄されます。

グレースケール画像では、自動的に変換が行われます。RGB 画像では、インデックスカラーダイアログボックスが表示されます。

3 インデックスカラーダイアログボックスで「プレビュー」を選択すると、変更をプレビューできます。

4 次のいずれかの変換オプションを指定して、「OK」をクリックします。

パレット インデックスカラー画像に適用するカラーパレットを指定します。カラーパレットには 10 種類あります。

• **使用中の色を全て割り付ける** RGB 画像に表現されているカラーに忠実なパレットを作成します。このオプションは画像のカラーが 256 色以下の場合に使用可能です。画像のパレットには画像に存在するカラーがすべて含まれているので、ディザ処理は行われません。

• **システム（Macintosh）** Mac OS の初期設定の 8 ビットパレットを使用します。これは RGB カラーを均等にサンプルしたパレットです。

• **システム（Windows）** Windows システムの初期設定の 8 ビットパレットを使用します。これは RGB カラーを均等にサンプルしたパレットです。

• **Web** プラットフォームに関係なく、256 色のモニタに Web ブラウザが画像を表示するときに使用する 216 色を使用します。256 色モニタで画像を表示するときにブラウザのディザを回避する場合にこのオプションを使用してください。

• **RGB カラーを均等に割り付ける** RGB カラーキューブから均等にカラーをサンプルしてパレットを作成します。例えば、Photoshop Elements で 8 ビットのパレットを選択した場合、レッド、グリーン、ブルーをそれぞれ 6 色ずつ均等な間隔でサンプルし、その組み合わせから 216 色（6 × 6 × 6 = 216）のパレットが作成されます。画像に表示されるカラーの総数は、「表示色」テキストボックスに指定された値を超えない範囲で、指定した色数に最も近い整数の 3 乗（8、27、64、125、216）に対応します。

• **ローカル（知覚的）/ マスター（知覚的）** 人間の目による知覚度の高いカラーを優先したカスタムパレットを作成します。ローカル（知覚的）は、パレットを個別の画像に適用します。マスター（知覚的）は、選択されたパレットを複数の画像（例えば、マルチメディア製作用画像）に適用します。

• **ローカル（特定）/ マスター（特定）** 知覚的カラーテーブルとよく似ていますが、より広範囲を占めるカラーと Web カラーの保全を主体にしています。通常このカラーテーブルが、最もカラーの保全性に優れています。ローカル（特定）は、パレットを個別の画像に適用します。マスター（特定）は、選択されたパレットを複数の画像（例えば、マルチメディア製作用画像）に適用します。

• **ローカル（割り付け）/ マスター（割り付け）** 画像に最もよく使用されているスペクトルからカラーをサンプルしてパレットを作成します。例えば、グリーンとブルーだけで構成される RGB 画像からはグリーンとブルーが主体のパレットが作成されます。多くの画像は、スペクトルの特定領域のカラーを集中的に使用しています。より適切なパレットを作成するには、まず強調したい色を含む画像内の領域を選択します。これにより、Photoshop Elements は強調色を主体に画像のカラーを変換します。ローカル（割り付け）は、パレットを個別の画像に適用します。マスター（割り付け）は、選択されたパレットを複数の画像（例えば、マルチメディア製作用画像）に適用します。

• **カスタム** カラーテーブルダイアログボックスを使用してカスタムパレットを作成します。カラーテーブルを編集および保存して後で再利用できるようにするか、「読み込み」をクリックして以前に作成したカラーテーブルを読み込みます。このオプションでは画像の現在のパレットも表示されるので、画像内で多く使用されているカラーをプレビューする際に便利です。

• **前回と同じパレットを使う** 以前の変換に使用したカスタムパレットを選択します。複数の画像を簡単に同じカスタムパレットで変換することができます。

表示色 RGB カラーを均等に割り付ける、知覚的、特定または割り付けパレットのカラーテーブルに表示するカラーの数（最大 256 色）を指定します。

強制 特定のカラーをカラーテーブルに含めることを強制するオプションです。「白黒」は、純粋なブラックとホワイトをカラーテーブルに含めます。「RGB 色度座標」は、レッド、グリーン、ブルー、シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック、ホワイトのすべてをカラーテーブルに含めます。「Web」は 216 色の Web セーフカラーを含め、「カスタム」では、追加するカスタムカラーをユーザが指定できます。

透明 画像の透明部分を変換後も維持するかどうかを指定します。このオプションを選択すると、カラーテーブルに透明なカラーの特殊なインデックスエントリが追加されます。このオプションの選択を解除すると、透明部分はマットカラーまたはマットカラーを指定していない場合はホワイトで塗りつぶされます。

マット 画像の透明部分と接しているアンチエイリアス済みの輪郭を塗りつぶす背景色を指定します。「透明」を選択している場合は、輪郭部分にマットが適用されるので、同じ色の Web の背景と輪郭との境界が目立たなくなります。「透明」の選択を解除している場合、マットは透明な領域に適用されます。マットに「なし」を選択すると、「透明」を選択している場合は透明部分にはっきりとした輪郭が作成され、「透明」を選択していない場合は透明部分がすべて 100 %のホワイトで塗りつぶされます。

ディザ ディザパターンを使用するかどうかを指定します。カラーテーブルで「使用中の色を全て割り付ける」オプションを選択している場合を除き、画像で使用されるすべてのカラーがカラーテーブルにあるとは限りません。カラーテーブルにない色をシミュレートするには、カラーをディザにします。ディザでは、テーブルにあるいくつかの色のピクセルを混合してテーブルにない色をシミュレートします。

• **なし** カラーのディザを行わず、テーブルにない色に最も近いものを使用します。画像の色の濃淡がはっきりと表現され、ポスターのようなコントラストの強い画像が得られます。

• **誤差拡散法** 誤差拡散法を使用して、「パターン」オプションに比べると目立たないディザを生成します。カラーテーブルに存在するカラーが画像にある場合にそのカラーをディザにしないようにするには、「同一色の保持」を選択します。これは、Web イメージ用の細い線やテキストを保護するのに便利です。

• **パターン** ハーフトーンに似た正方形のパターンを使用して、カラーテーブルにないすべてのカラーを擬似的に再現します。

• **ノイズ** 輪郭部分に生じる継ぎ目のパターンが目立たないようにします。

量 ディザにする画像のカラーのパーセント値を指定します。数値が高いほどディザにする色は増えますが、ファイルサイズも増大します。

同一色の保持 カラーテーブルに含まれる画像内のカラーがディザにされないようにします。

インデックスカラーテーブルのカラーの編集

カラーテーブルのカラーを編集して特殊効果を生成したり、画像内の透明部分をテーブル内の 1 つのカラーに割り当てることができます。

1 写真編集モードで、インデックスカラー画像を開きます。

2 イメージ／モード／カラーテーブルを選択します。

3 変更したいインデックスカラーテーブルのカラーをクリックするか、カラーの範囲をドラッグします。

4 カラーピッカーで色を選択するか、画像からサンプルカラーを取得します。

カラーの範囲を変更する場合は、Photoshop Elements によって、範囲の最初のカラーから最後のカラーまでのグラデーションがカラーテーブルに作成されます。カラーピッカーで最初に選択したカラーが、範囲の最初のカラーになります。「OK」をクリックし、カラーピッカーが再表示されたら、範囲の最後のカラーを選択します。

カラーピッカーで選択したカラーが、カラーテーブルダイアログボックスで指定した範囲に配置されます。

5 画像の変更結果を確認するには、「プレビュー」をクリックします。

6 カラーテーブルダイアログボックスで「OK」をクリックし、インデックスカラー画像に新しいカラーを適用します。

インデックスカラーテーブルのカラーへの透明部分の割り当て

1 イメージ／モード／カラーテーブルを選択します。

2 スポイトツールを選択し、カラーテーブルまたは画像で、画像内で透明にするカラーをクリックします。画像内でサンプルしたカラーが、透明になります。「OK」をクリックします。

既定のインデックスカラーテーブルの使用

1 イメージ／モード／カラーテーブルを選択します。

2 テーブルメニューからオプションを選択します。

黒体輻射 黒体輻射ラジエータが過熱したときに発光するカラーを基にして、ブラックからレッド、オレンジ、イエロー、ホワイトへと変化するパレットを表示します。

グレースケール ブラックからホワイトまでの 256 階調のグレーのパレットを表示します。

スペクトラム 白色光をプリズムで分光したときに生成されるカラーを基にして、バイオレット、ブルー、グリーン、イエロー、オレンジ、レッドの順に変化するパレットを表示します。

システム Macintosh または Windows での 256 色の標準システムパレットを表示します。

インデックスカラーテーブルの保存または読み込み

- テーブルを保存するには、カラーテーブルダイアログボックスで「保存」ボタンをクリックします。
- テーブルを読み込むには、カラーテーブルダイアログボックスで「読み込み」ボタンをクリックします。画像にカラーテーブルを読み込むと、画像のカラーが、新しいカラーテーブルのカラーに変更されます。

注意：保存したカラーテーブルをスウォッチパレットに読み込むこともできます。

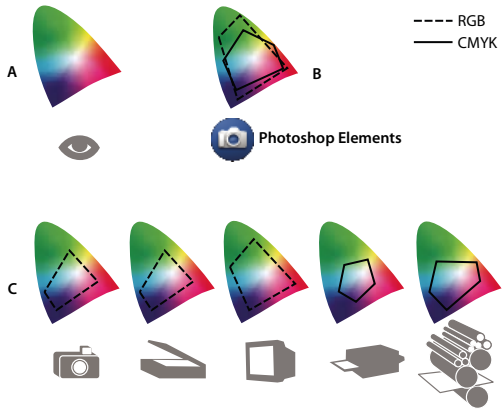
関連項目

290 ページの「スウォッチパレットの使用」

カラーマネジメントの設定

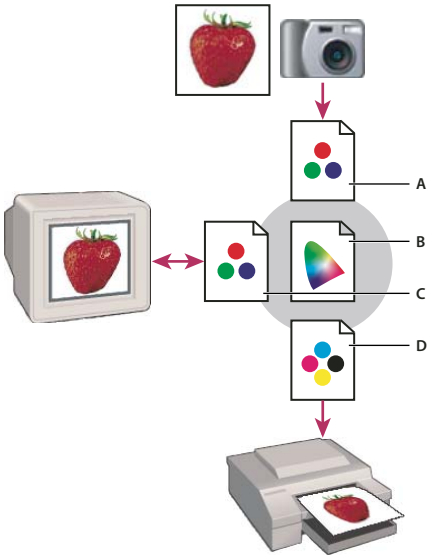
カラーマネジメント

カラーマネジメントにより、デジタルカメラ、スキャナ、コンピュータのモニタおよびプリンタの間でカラーの一貫性を保つことができます。これらのデバイスは、それぞれ異なったカラー範囲（色域と呼ばれます）を再現します。そのため、カラーマネジメントを行わずに画像をデジタルカメラからモニタ、そしてプリンタに移行させるにつれ、画像のカラーは変化します。各デバイスに異なる色域があり、異なるカラーが再現されるために、この変化が発生します。



様々なデバイスやドキュメントでのカラーの色域
A. Lab カラースペース（可視光線スペクトル全体）**B.** ドキュメント（作業用スペース）**C.** デバイス

カラーマネジメントを使用すると、画像のカラーが各デバイスにおいて同じように再現されるよう変換されます。このため、モニタに表示されるカラーは、プリントされる画像のカラーとほぼ同じになります。プリンタはモニタと同じカラー範囲を再現するとはかぎらないので、すべてのカラーが完全に一致するとはかぎりません。



プロファイルによるカラー管理
A. プロファイルに、入力機器とドキュメントのカラースペースが定義されます **B.** プロファイルの定義を使用して、カラーマネジメントシステムはドキュメントの実際のカラーを識別します **C.** モニタプロファイルは、数値をモニタのカラースペースに変換する方法をカラーマネジメントシステムに伝えます **D.** 出力機器のプロファイルに基づいて、カラーマネジメントシステムは、実際の色が印刷されるように、ドキュメントの数値を出力機器のカラー値に変換します

デバイスのプロファイルの作成

カラーマネジメントを実行するには、デバイスのプロファイルを作成するか、デバイスのメーカーにより作成された ICC プロファイルを使用する必要があります。

画像取り込みデバイス デジタルカメラやスキャナなどの画像を取り込むデバイスについては、プロファイルの作成は必須ではありません。ただし、スキャンした画像の透明部分のカラーを正確に再現する必要がある場合は、スキャナのプロファイルを作成し、Photoshop Elements でのカラー補正作業を減らすことをお勧めします。

モニタ モニタについては、プロファイルの作成とキャリブレーションを行う必要があります。ノート PC または LCD モニタを使用する場合は、メーカーが提供するプロファイルを使用します。プロファイルを作成する色彩計と対応ソフトウェアがある場合は、Photoshop Elements のプロファイルを使用できます。

プリンタ インクジェットプリンタについては、プロファイルを作成すると、通常より良い結果が得られます。また、プリンタのプロファイルがなくても、プリンタドライバのカラーコントロールを使用することで、優れたプリントを印刷することができます。多くの場合、ICC プリンタプロファイルはプリンタメーカーの Web サイトでダウンロードすることができます。プリンタ、インク、用紙タイプごとにプロファイルが必要です。好みのインクと用紙の組み合わせのプロファイルを作成することもできます。

Photoshop Elements では、写真を操作して保存する際に、コンピュータのモニタまたは写真を生成したデバイスに表示されているカラーを反映する ICC プロファイルを埋め込むことができます。画像にプロファイルを埋め込むと、そのカラーが移植可能になるため、様々なデバイスでこのカラー値を変換できるようになります。例えば、写真をインクジェットプリンタでプリントする際に、カラーマネジメントシステムは埋め込まれているプロファイルを読み込み、プリンタのプロファイルを使用してカラーデータを変換します。これにより、プリンタは変換されたカラーデータを使用して、正確にカラーを選択されたメディアに変換できるようになります。

カラーマネジメント作業

カラーマネジメントを使用する場合は、次の操作を行う必要があります。

- カラープロファイルを埋め込み、スキャンまたはプリント時にデバイスプロファイルを使用することで、カラーマネジメントを設定します（255 ページの「カラーマネジメントの設定」を参照してください）。
- コンピュータのモニタのキャリブレーションを行い、プロファイルを作成します。LCD モニタを使用する場合は、モニタ付属のプロファイルを使用します。LCD モニタのマニュアルを参照してください。
- Photoshop Elements で画像をプリントする際は、プリントダイアログボックスの「カラーマネジメント」エリアに正しいカラープロファイルが指定されていることを確認します。プリンタプロファイルがない場合には、プリンタドライバのカラーコントロールを使用して、カラーを指定します（370 ページの「プリントの概要」を参照してください）。さらに、「プリント用に最適化」など、ワークフローに適したカラー設定を選択します。

カラーマネジメントの設定

1 編集／カラー設定を選択します。

2 次のカラーマネージメントオプションから 1 つを選択し、「OK」をクリックします。

カラーマネジメントなし（埋め込みプロファイルを破棄） カラープロファイルを画像に埋め込みません。このオプションでは、作業用スペースとしてモニタプロファイルが使用されます。このオプションは、画像を開いたときに埋め込まれているプロファイルを削除し、画像の保存時にプロファイルを埋め込みません。

画面表示用に最適化 sRGB を RGB 作業用スペースとして使用します。グレースケール作業用スペースはグレーガンマ 2.2 です。プロファイルが埋め込まれているときはそのまま使用し、埋め込まれていないファイルを開くときは sRGB を割り当てます。

プリント出力用に最適化 Adobe RGB を RGB 作業用スペースとして使用します。グレースケール作業用スペースはドットゲイン 20 %です。プロファイルが埋め込まれているときはそのまま使用し、埋め込まれていないファイルを開くときは Adobe RGB を割り当てます。

プロファイル選択画面を表示 埋め込まれていないファイルを開くときに sRGB（初期設定）または Adobe RGB を選択できます。

3 ファイルを保存する際に、別名で保存ダイアログボックスで「ICC プロファイル」を選択します。

第 15 章： フィルタ、エフェクト、スタイル、アートワーク

様々なフィルタ、エフェクト、スタイル、およびアートワークを使用して、画像に高度な加工を行うことができます。インターレース解除カラーフィルタと NTSC カラーフィルタを使用して、ビデオの線を滑らかにしたり、テレビ再生用に調整したりすることができます。また、サードパーティ製のプラグインフィルタをインストールして使用したり、カスタムフィルタを作成することもできます。

Photoshop Elements ヘルプのすべての内容を参照するには、「Web 上のページ」をクリックして LiveDocs にアクセスしてください。

エフェクト

効果パレットの使用

効果パレットを使って、エフェクトを適用することができます。初期設定では、効果パレットはパレットエリアの一番上に表示されます。



効果パレット
A. カテゴリー **B.** サンプルのサムネール **C.** 詳細メニュー **D.** サブカテゴリー **E.** 適用（保存）

フィルタ 画像にフィルタを適用します。

レイヤースタイル 画像にレイヤースタイルを適用します。

写真効果 画像に写真効果を適用します。

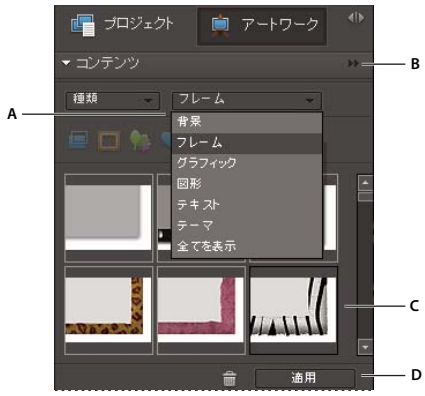
各セクションには、画像に追加または適用可能なアートワークまたはエフェクトの例を示すサムネールが表示されます。ほとんどのセクションに、カテゴリーオプションと対応するサブカテゴリーのメニューがあります。

関連項目

325 ページの「プロジェクト」

コンテンツパレットの使用

コンテンツパレットを使って、画像にアートワーク、テーマ別の装飾、およびテキストスタイルを適用できます。初期設定では、効果パレットがパレットエリアの一番上に表示されます。



コンテンツパレット
A. カテゴリー **B.** 詳細メニュー **C.** サンプルのサムネール **D.** 適用（保存）

コンテンツパレットには、画像を編集するための様々なアイテムが、次のセクションに分かれて表示されます。

背景フィルタ 装飾が施された各種背景の中から選択します。

フレームフィルタ 画像またはプロジェクトを加工するための既定のフレームを選択します。

グラフィックフィルタ 画像またはプロジェクトにグラフィックを適用します。

シェイプフィルタ 画像またはプロジェクトにシェイプを適用します。

テキストエフェクトフィルタ 画像またはプロジェクトにテキストを適用します。

テーマフィルタ プロジェクトに適用するテーマを選択します。

各セクションには、画像に追加または適用可能なアートワークまたはエフェクトの例を示すサムネールが表示されます。ほとんどのセクションに、カテゴリーオプションと対応するサブカテゴリーのメニューがあります。

注意：これらのボタンをクリックすると、各ボタンに対応するサムネールの表示と非表示が切り替わります。

関連項目

325 ページの「プロジェクト」

画像へのグラフィックまたは図形の追加

画像にシェイプやグラフィックを追加した場合、それらは新しいレイヤーとして作成され、元の画像は変更されません。

1 コンテンツパレットで、次のいずれかの操作を行います。

- グラフィックフィルタアイコンまたはシェイプフィルタアイコンをクリックします。
- カテゴリーメニューから「イベント」や「アクティビティ」などを選択し、「赤ちゃん」や「料理」などのサブカテゴリーを選択します。

2 次に、ツールボックスでシェイプの色を選択します。

3 次のいずれかの操作を行います。

- サムネールを選択して、「適用」をクリックします。
- サムネールをダブルクリックします。
- サムネールを画像にドラッグします。

4 移動ツールを使用して、シェイプやグラフィックを移動またはサイズ変更します。

関連項目

325 ページの「プロジェクト」

320 ページの「シェイプ」

323 ページの「シェイプの選択と移動」

画像へのアートワークの背景の追加

画像にアートワークの背景を追加すると、既存の背景レイヤーが置き換わります。例えば、選択ツールを使用して、台所で撮影した家族写真の人物と背景を分離するレイヤーを作成してから、背景を自然の風景に置き換えることができます。

1 画像が背景レイヤーだけから構成される場合は、そのレイヤーを選択し、レイヤー／レイヤーを複製を選択します。複製したレイヤーに名前を付けて、「OK」をクリックします。

2 レイヤーパレットで背景レイヤーを選択します。

3 コンテンツパレットで背景アイコン をクリックします。

4 次のいずれかの操作を行います。

- サムネールを選択して、「適用」をクリックします。
- サムネールをダブルクリックします。
- サムネールを画像にドラッグします。

関連項目

325 ページの「プロジェクト」

画像へのフレームまたはテーマの追加

フォトプロジェクトにフレームまたはテーマを追加すると、画像をセットするための空白の領域（灰色）が用意されたフレームが表示されます。プロジェクトエリアで画像をクリックし、空白の領域にドラッグします。

1 コンテンツパレットで、次のいずれかの操作を行います。

- テーマフィルタアイコンまたはフレームフィルタアイコンをクリックします。
- カテゴリーメニューから「イベント」や「アクティビティ」などを選択し、「赤ちゃん」や「料理」などのサブカテゴリーを選択します。

2 次のいずれかの操作を行います。

- サムネールを選択して、「適用」をクリックします。
- サムネールをダブルクリックします。
- サムネールを空白の背景にドラッグします。

3 目的の画像をプロジェクトエリアからフレームにドラッグします。

4 スライダを使用して、フレームまたはテーマの枠内で画像のサイズを変更し、確定アイコン をクリックして変更を適用するか、キャンセルアイコン をクリックします。

5 移動ツールを使用して、画像を中央に配置し、確定アイコン をクリックして変更を適用するか、キャンセルアイコン をクリックします。

関連項目

325 ページの「プロジェクト」

写真効果

写真効果により、画像の見せ方を簡単に変更することができます。効果パレットで、写真効果 をクリックし、色あせた写真、その他の効果、モノトーンカラー、古い写真などのサブカテゴリを選択します。

フレーム 選択したレイヤーの縁またはレイヤーの一部に様々なエフェクトを適用します。またフレームは、その枠の中に簡単にコンテンツを追加したり、変更したりできるドロップゾーンでもあります。

画像効果 選択したレイヤーのコピーにエフェクトを適用します。吹雪効果を画像に追加すると、雪が降っているような画像になります。ネオン光彩効果を追加すると、ネオンで彩られた印象的な写真になります。油性パステルやソフトフォーカスなどの画像効果を使用して、色をソフトにしたり、画像をぼかすことができます。また、画像効果を組み合わせることもできます。この場合、まずレイヤーを統合するように求められることがあります。

テクスチャ テクスチャレイヤーを画像に適用します。新しい空の画像に背景としてテクスチャを追加したり、既存の画像にテクスチャを追加できます。レイヤーを配置して、不透明度やその他のレイヤーツールを使用して、独特の魅力的な画像を作成できます。

多くの写真効果では、値が変更されたフィルタが適用されます。

関連項目

256 ページの「効果パレットの使用」

325 ページの「プロジェクト」

265 ページの「フィルタとエフェクトのパフォーマンスの向上」

155 ページの「画像の統合」

エフェクトの適用

エフェクトを試す場合は、複製したレイヤーを変更し、元の画像は残しておきます。

1 次のいずれかの操作を行います。

- レイヤー全体にエフェクトを追加するには、画像の選択範囲を選択解除し、レイヤーパレットでレイヤーを選択します。
- レイヤーの一部にエフェクトを適用するには、任意の選択ツールを使用して、エリアを選択します。
- テキストにエフェクトを適用するには、テキストを選択または作成し、コンテンツパレット内のいずれかのテキストエフェクトを適用します。

2 効果パレットで「写真効果」を選択し、次のいずれかの操作を行います。

- エフェクトをダブルクリックします。
- エフェクトを画像にドラッグします。
- エフェクトを選択して、適用をクリックします。

注意：複数のレイヤーが含まれている画像にエフェクトを適用したときに、まず画像を統合するように求められることがあります。



写真への画像効果のドラッグ

関連項目

325 ページの「プロジェクト」

259 ページの「写真効果」

265 ページの「フィルタとエフェクトのパフォーマンスの向上」

144 ページの「レイヤーについて」

画像へのスタイル化したテキストの追加

画像にテキストを追加すると、テキストレイヤーが追加され、元の画像を変更せずにテキストを変更できます。

1 コンテンツパレットでテキストアイコン をクリックし、次のいずれかの操作を行います。

- サムネールを選択して、「適用」をクリックします。
- サムネールをダブルクリックします。
- サムネールを画像までドラッグします。

2 画像の上にテキストフレームが表示され、テキストツールがアクティブになります。新しいテキストを入力します。

3 テキストの変更を終了したら、確定アイコン をクリックして変更を適用するか、キャンセルアイコン をクリックします。

4 移動ツールを使用して、テキストフレームを移動またはサイズ変更します。

5 （オプション）オプションバーのポップアップカラーパレットを使用してテキストに色を追加します。

6 テキストの調整を終了したら、確定アイコン をクリックして変更を適用するか、キャンセルアイコン をクリックします。

7 （オプション）異なるテキストエフェクトを試すには、別のサムネールをテキストフレームの上までドラッグします。

関連項目

325 ページの「プロジェクト」

313 ページの「テキスト」

315 ページの「テキストレイヤーの文字の編集」

318 ページの「テキストレイヤーの向きの変更」

アートワークまたはエフェクトのお気に入りへの追加

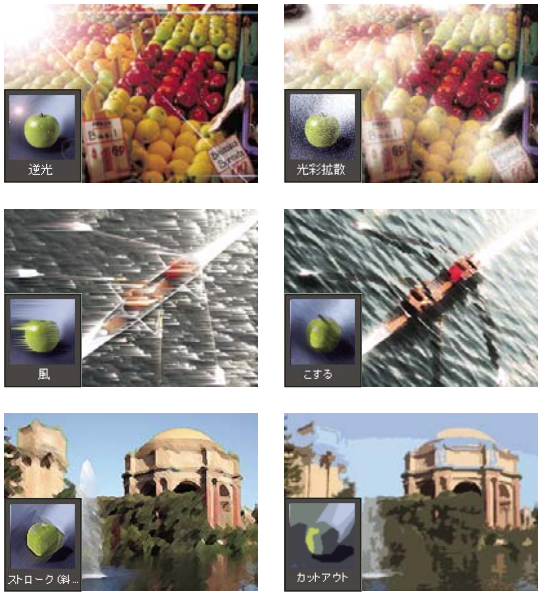
今後、簡単にアクセスできるようにしたいアートワークまたはエフェクトがある場合は、効果パレットの「お気に入り」セクションに追加します。

❖ 効果パレットまたはコンテンツパレットでサムネールを右クリックし、「お気に入りに追加」を選択します。

フィルタ

フィルタ

フィルタにより、モザイクタイル、照明、および 3 次元エフェクトなどを適用して、画像の見せ方を変えることができます。また、一部のフィルタを使用すると、写真を消去したりレタッチすることもできます。Adobe が提供しているフィルタに加え、サードパーティ製のフィルタを使用することもできます。これらのフィルタをインストールすると、それらはフィルタリストの一番下に表示されます。



フィルタは、写真や画像の雰囲気を大幅に変更することができます。

次の 3 つの方法でフィルタを適用することができます。

フィルタメニュー 利用可能なすべてのフィルタが含まれていて、フィルタを個別に適用することができます。

フィルタギャラリー パレットと同様、各フィルタのエフェクトを示すサムネールが表示されます。フィルタギャラリーでは、いろいろなフィルタを重ねて適用したり、1 つのフィルタを複数回適用することができます。また、フィルタを並べ替えたり、適用した各フィルタの設定を変更して、目的の効果を得ることができます。その優れた柔軟性により、フィルタギャラリーはフィルタを適用する最適な方法です。ただし、フィルタギャラリーでは、フィルタメニューに表示される一部フィルタを利用できません。

効果パレット フィルターメニューに表示される各フィルタのエフェクトを示すサムネールが表示されます。効果パレットは、エフェクトとレイヤースタイルを適用するのにも使用できます。

フィルタの適用に関するヒント

ここでは、画像にフィルタを適用する際のヒントについて説明します。

- フィルタの使用結果をプレビューします。大きな画像にフィルタを適用すると、処理に時間がかかることがあります。フィルタギャラリーでフィルタの使用結果をプレビューすることで、フィルタのエフェクトをすばやく確認できます。また、ほとんどのフィルタは、フィルタオプションダイアログボックスおよびドキュメントウィンドウで使用結果をプ

レビューすることができます。結果を確認した後でフィルタを適用するか操作をキャンセルできるので、時間を節約できます。

- フィルタは、画像のアクティブな部分にのみ適用されます。フィルタは、アクティブな表示レイヤーまたはレイヤーの選択範囲にのみ影響を与えます。
- フィルタは、一部の画像では機能しません。一部のフィルタは、グレースケールモードの画像では使用できません。また、ビットマップモードやインデックスカラーモードの画像でフィルタを使用することはできません。フィルタの多くは、16 bit 画像では機能しません。
- 以前に適用したフィルタを再度適用することができます。前回適用したフィルタは、フィルタメニューの一番上に表示されます。前回使用したのと同じ設定でフィルタを再度適用して、エフェクトをさらに強調することができます。

フィルタを使用した視覚効果の作成上のヒント

ここでは、フィルタを使用して特別な視覚効果を得るためのヒントについて説明します。

- フィルタの縁を処理します。選択範囲にフィルタを適用する場合、フィルタを適用する前に選択範囲の境界をぼかして、フィルタエフェクトのエッジをぼかすことができます。
- フィルタを連続的に適用して、エフェクトを作成します。1 つのレイヤーまたは複数のレイヤーに連続的にフィルタを適用して、エフェクトを作成することができます。レイヤーパレットで異なる描画モードを選択すると、エフェクトが合成されます。レイヤーにフィルターのエフェクトを適用するには、レイヤーが表示されていて、ピクセルを含んでいる必要があります。
- テクスチャと背景を作成します。単色またはグレースケールの画像にフィルタを適用して、様々な背景やテクスチャを作成できます。その後、これらのテクスチャをぼかすことができます。単色に適用したときに視覚的にはエフェクトがほとんどまたはまったく得られないフィルタ（ガラスフィルタなど）もありますが、その他のフィルタは独特のエフェクトを作り出します。そのような色には、ノイズを加える、チョーク・木炭画、雲模様 1、クレヨンのコンテ画、雲模様 2、ガラス、グラフィックペン、ハーフトーンパターン、メゾティント、ノート用紙、点描、ちりめんじわ、粗いパステル画、スポンジ、粗描き、を使用できます。また、テクスチャサブメニュー内のあらゆるフィルタも使用できます。
- 画質と一貫性を向上できます。不要な部分を隠したり、画像を変更または加工したり、一連の画像のそれぞれに同じフィルタを適用して、見た目を同じようにすることができます。

関連項目

256 ページの「効果パレットの使用」

265 ページの「フィルタとエフェクトのパフォーマンスの向上」

フィルタの適用

1 フィルタの適用範囲を選択します。

- フィルタをレイヤー全体に適用するには、選択範囲を選択解除し、レイヤーパレットでレイヤーを選択します。
- フィルタをレイヤーの一部に適用するには、任意の選択ツールを使用して範囲を選択します。

2 フィルタの適用方法を選択します。

- フィルタギャラリーを使用するには、フィルタ／フィルタギャラリーを選択して、カテゴリーを選択し、適用するフィルタをクリックします。
- 効果パレットを使用するには、ウィンドウ／効果を選択し、カテゴリを選択したら、適用するフィルタをダブルクリックします。
- フィルタメニューを使用するには、「フィルタ」を選択し、適用するフィルタをサブメニューから選択します。フィルタ名の後ろに省略記号（...）が付いているフィルタを選択すると、フィルタオプションダイアログボックスが表示されます。

3 ダイアログボックスが表示されたら、値を入力するかオプションを選択します。

4 可能な場合は、「プレビュー」オプションを選択して、フィルタをドキュメントウィンドウでプレビューします。フィルタをプレビューするには、フィルタとその適用方法に応じて、次のいずれかの操作を行います。

- ズームインまたはズームアウトするには、プレビューウィンドウの下にある + ボタンまたは - ボタンを使用します。
- ズーム率を選択するには、ズームバー（ズーム率が表示される部分）をクリックします。
- 画像の特定の領域をウィンドウの中央に配置するには、プレビューウィンドウ内でクリックしてドラッグします。
- フィルタのサムネールを非表示にするには、ダイアログボックスの上にある表示／非表示ボタン をクリックします。サムネールを非表示にすると、プレビュー領域が拡張されます。
- プレビュー画像でエフェクトを非表示にするには、フィルタの横にある目のアイコン をクリックします。

5 ダイアログボックスにスライダが表示されている場合は、Alt キーを押しながらスライダをドラッグすると、リアルタイムプレビュー（リアルタイムレンダリング）を確認できます。

6 画像ウィンドウをクリックして、画像の特定の領域をプレビューウィンドウの中央に配置します（この操作は、一部のプレビューウィンドウでは機能しないことがあります）。

注意：プレビューサイズの下の点滅している線は、プレビューがレンダリング中であることを示しています。

7 フィルタギャラリーを使用している場合、またはフィルタギャラリーでフィルタを開いた場合は、次のいずれかの操作を行って「OK」をクリックします。

- ダイアログボックスの下部にある新しいエフェクトレイヤーボタン をクリックして、適用する追加のフィルタを選択します。複数のエフェクトレイヤーを追加して、複数のフィルタを適用できます。
- ダイアログボックスの下部にある適用されているフィルタの一覧で、フィルタ名を別の位置にドラッグして、適用されているフィルタを並べ替えます。フィルタの順番を並べ替えると、画像の見た目を大幅に変更することができます。
- フィルタを選択して、エフェクトレイヤーを削除ボタン をクリックして、適用されているフィルタを削除します。

8「フィルタ」コマンドまたは効果パレットを使用している場合は、次のいずれかの操作を行って「OK」をクリックします。

- フィルタをダブルクリックします。
- フィルタを画像にドラッグします。

関連項目

256 ページの「効果パレットの使用」

フィルタカテゴリー

次のカテゴリーのフィルタを適用できます。

色調補正フィルタ 画像内のピクセルの明るさ、色、グレースケールの範囲および色調を変更できます。カラーピクセルをモノクロに変換することもできます。

アーティスティックフィルタ カンバスに描いた絵画のように、独特の外観に仕上げることができます。

ぼかしフィルタ 選択範囲または画像全体をぼかすことができます。レタッチに便利です。

ブラシストロークフィルタ 様々なブラシやインクを使用した絵画や美術品のような見た目にできます。

変形フィルタ 画像を幾何学的にひずませ、3 次元効果やその他の変形効果を出します。

ノイズフィルタ 選択範囲をその周囲のピクセルと合成し、ほこりや傷を含む領域を除去できます。

ピクセレートフィルタ 色の値が似ているピクセルをまとめることで、画像全体または選択範囲をシャープにします。

描画フィルタ 3D シェイプ、雲模様、屈折パターンおよび照明効果を作り出すことができます。

シャープフィルタ 画像をシャープな印象にします。

スケッチフィルタ テクスチャを追加して立体感を出したり、手描きのように見せたりできます。

表現手法フィルタ ピクセルを置き換え、コントラストを強くすることで、印象派の絵画のような効果を与えることができます。

テクスチャフィルタ 立体感や質感を出したり、自然な見た目にしたりすることができます。

ビデオフィルタ 色域をテレビで再生可能な範囲に制限することで、ビデオから取り込んだ動画を滑らかにできます。

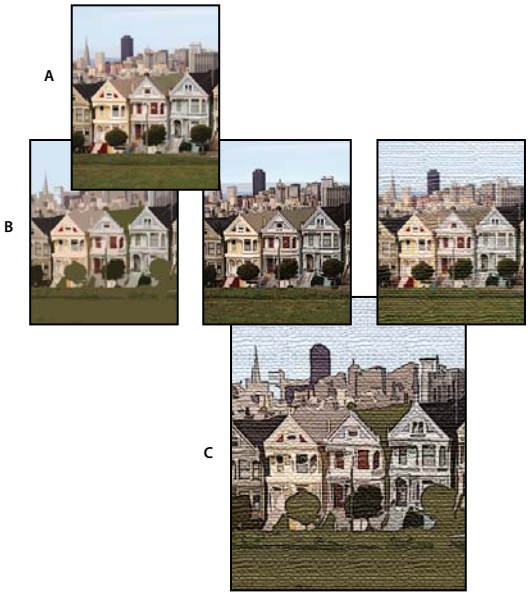
その他のフィルタ 独自のフィルタ効果を作成したり、マスクを変更したり、画像内の選択範囲をオフセットしたり、色をすばやく調整したりできます。

プラグインフィルタ サードパーティによって開発されたフィルタです。

Digimarc フィルタ Digimarc の透かしを読み取ることができます。

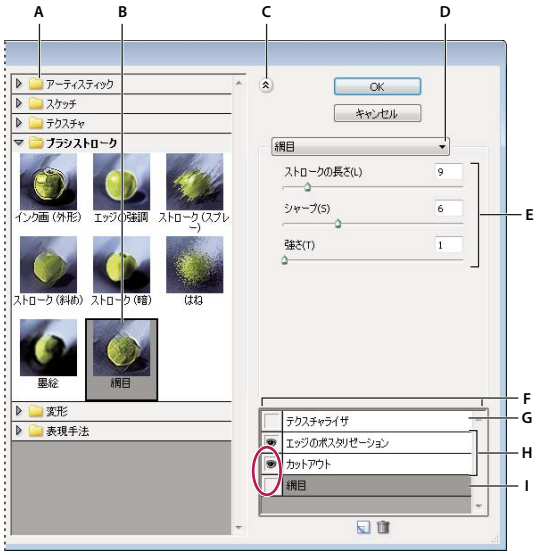
フィルタギャラリー

フィルタギャラリー（フィルタ／フィルタギャラリー）では、いろいろなフィルタを重ねて適用したり、1 つのフィルタを複数回適用することができます。また、フィルタを並べ替えたり、適用した各フィルタの設定を変更して、目的の効果を得ることができます。フィルタギャラリーダイアログボックスでは、複数のフィルタを画像に適用できるので、各フィルタの画像への効果を細かく制御できます。フィルタギャラリーは、柔軟で、使いやすいので、フィルタの適用にはこのツールを使用することをお勧めします。



フィルタギャラリーを使用したフィルタの適用
A. 元の写真 **B.** それぞれ別のフィルタを適用したところ **C.** 3 つのフィルタを重ねて適用したところ

ただし、フィルタギャラリーから使用できないフィルタもあります。一部のフィルタは、フィルタメニューからコマンドを実行する形式でのみ使用できます。また、フィルタギャラリーでは、効果パレットのようにエフェクトやレイヤースタイルを適用することはできません。



フィルタギャラリーダイアログボックス
A. フィルタカテゴリー **B.** 選択されているフィルタのサムネール **C.** フィルタサムネールの表示／非表示 **D.** フィルタメニュー **E.** 選択されているフィルタのオプション **F.** 適用または変更できるフィルタ効果のリスト **G.** 非表示のフィルタ **H.** 重ねて適用されているが、選択されていないフィルタ **I.** 選択されているが、適用されていないフィルタ

関連項目

256 ページの「効果パレットの使用」

テクスチャおよびガラス表面オプション

クレヨンのコンテ画、ガラス、粗いパステル画、テクスチャライザ、粗描きの各フィルタにはテクスチャオプションがあります。これらのオプションを使用して、画像をカンバスやレンガなどのテクスチャの上に描いたり、ガラスのブロックを通して見たりしているような効果を得ることができます。

テクスチャ 適用するテクスチャのタイプを指定します。テクスチャを読み込む をクリックして Photoshop ファイルを指定することもできます。

拡大・縮小 画像への効果のサイズを増減します。

レリーフ（ある場合） テクスチャの表面の奥行きを調整します。

照射方向（ある場合） 画像を照らす光源の角度を設定します。

階調の反転 表面の明るい色と暗い色を反転させます。

フィルタとエフェクトのパフォーマンスの向上

一部のフィルタとエフェクトは、特に高解像度の画像に適用したときに、メモリを大量に消費します。次の方法でパフォーマンスを向上できます。

- 画像内で選択した小さな範囲でフィルタや設定を試します。
- 画像のサイズを縮小したコピーでフィルタや設定を試します。満足のいく結果が得られたら、同じ設定で元の画像にフィルタを適用します。
- フィルタまたはエフェクトを適用する前に、クリップボードまたはヒストリー、あるいはその両方を消去して、メモリを解放します。編集／メモリをクリア／ [コマンド] を選択します。
- 他のアプリケーションを終了してメモリの空き容量を増やします。
- フィルタ設定を調整して、メモリを多く使用するフィルタを単純にします。メモリを多く使用するフィルタには、照明効果、カットアウト、ステンドグラス、クロム、波紋、はね、ストローク（スプレー）およびガラスがあります。例え

ば、ステンドグラスフィルタを単純にするには、セルの大きさを拡大します。カットアウトフィルタを単純にするには、エッジの単純さを上げるか、エッジの正確さを下げるか、この両方の操作を行います。

関連項目

259 ページの「写真効果」

アーティスティックフィルタ

色鉛筆

色鉛筆フィルタは、単色の背景に色鉛筆で描いたような画像を作成します。重要なエッジはそのまま保持されるので、粗い網目のような外観になります。均一に塗られた領域では背景色が透けて見えます。鉛筆の太さ、筆圧および用紙の明るさを設定できます。

注意：パーチメント効果を得るには、背景色を変更してから、選択した領域に色鉛筆フィルタを適用します。

カットアウト

カットアウトフィルタは、色紙を無造作に切って貼り付けたような画像を作成します。コントラストの強い画像はシルエットのように表現され、カラー付き画像は色紙を重ねて作成されたようになります。色調レベル数、エッジの単純さおよびエッジの正確さを設定できます。

ドライブラシ

ドライブラシフィルタは、ドライブラシ手法（水彩と油彩の中間）を使用して画像のエッジを描きます。色の範囲を、よく使用される色に限定することで、画像がシンプルになります。ブラシの大きさ、ブラシの細かさおよびテクスチャの量を設定できます。

粒状フィルム

粒状フィルムフィルタは、画像に均一の粒状パターンを適用します。画像の領域が明るいほど、スムーズでより彩度の強いパターンが追加されます。このフィルタは、合成時に生じる縞模様を取り除き、様々なソースから取り込んだ要素を一体化して見せる場合に便利です。粒子の量、領域のハイライトおよび密度レベルを設定できます。

フレスコ

フレスコフィルタは、軽くたたいたような、短く丸いタッチを重ねて、粗いスタイルの画像を作成します。ブラシの大きさ、ブラシの細かさおよびテクスチャを設定できます。

ネオン光彩

ネオン光彩フィルタは、描画色、背景色および光彩カラーを使用して、画像の色彩を統一すると同時に、画像にソフトな印象を与えます。サイズ、明るさおよびカラーを設定できます。サイズの値を小さくすると、光彩カラーがシャドウ部分に限定されます。値を大きくすると、光彩カラーがレイヤーの中間調やハイライトの部分まで広がります。光彩カラーを選択するには、「カラー」ボックスをクリックし、カラーピッカーで色を選択します。

塗料

塗料フィルタは、絵画のような効果を画像に加えます。ブラシサイズ、シャープおよびブラシの種類を設定できます。

パレットナイフ

パレットナイフフィルタは、画像のディテールを減らすことで、カンバスに絵の具が薄く塗られていて、下地のテクスチャが透けて見えるような効果を加えます。ストロークの大きさ、ストロークの正確さおよびエッジの滑らかさを設定できます。

ラップ

ラップフィルタは、表面のディテールを強調し、レイヤーを光沢のあるラップでコーティングしたように見せます。ハイライトの強さ、ラップの詳細およびラップの滑らかさを設定できます。

エッジのポスタリゼーション

エッジのポスタリゼーションフィルタは、設定されたポスタリゼーションオプションに従って画像内の色数を減らし、黒い線で画像内のエッジをなぞるように描き出します。広い部分は単に陰影が付けられ、濃い色のディテールが画像全体に分散されます。エッジの太さ、エッジの強さおよびポスタリゼーションを設定できます。

粗いパステル画

粗いパステル画フィルタは、テクスチャを適用した背景にパステルで大きなストロークを描きます。明るい色の部分では、パステルを厚く塗ったようにテクスチャが隠れます。暗い部分では、パステルがこすり取られたようにテクスチャが現れます。ストロークの長さ、ストロークの正確さおよびテクスチャを設定できます。テクスチャのオプションを使用して、画像をカンバスやレンガなどのテクスチャの上に描いたり、ガラスのブロックを通して見たりしているような効果を得ることができます。

こする

こするフィルタは、短い斜めのストロークで暗い部分をぼかしたり、こすったようにしたりすることで、画像をソフトな印象にします。明るい部分はさらに明るくなり、ディテールが失われます。ストロークの長さ、領域のハイライトおよび適用量を設定できます。

スポンジ

スポンジフィルタは、コントラストの強いカラーでテクスチャが適用された部分をレイヤーに作成します。ブラシサイズ、鮮明度およびエッジの滑らかさを設定できます。

粗描き

粗描きフィルタは、テクスチャを適用した背景の上に描いたような効果を加えます。ブラシサイズ、テクスチャの適用度およびテクスチャのオプションを設定できます。テクスチャのオプションを使用して、画像をカンバスやレンガなどのテクスチャの上に描いたり、ガラスのブロックを通して見たりしているような効果を得ることができます。

水彩画

水彩画フィルタは、筆に水と絵の具を含ませて描いた水彩画のような画像を作成します。画像のディテールは単純化されます。色調が大きく変化するエッジ部分では、色の彩度が高くなります。ブラシの細かさ、シャドウの濃さおよびテクスチャを設定できます。

ぼかしフィルタ

平均

平均フィルタは、画像全体または選択範囲のカラーの平均値を求め、そのカラーで画像全体または選択範囲を塗りつぶすことで見た目を滑らかにします。例えば、芝生の領域を選択した場合、その領域全体が一様な緑色に変わります。

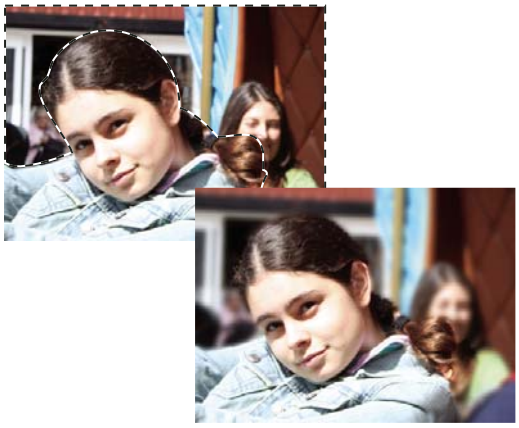
ぼかしとぼかし（強）

ぼかしフィルタとぼかし（強）フィルタは、選択範囲または画像全体をソフトな印象にします。このフィルタはレタッチに便利です。定義された線やシェード部分のくっきりとしたエッジに隣接するピクセルの色の値の平均をとることで、変化を滑らかにします。

ぼかし 画像内で色が大きく変化している部分のノイズを除去します。定義された線やシェード部分のくっきりとしたエッジに隣接するピクセルの色の値の平均をとることで、変化を滑らかにします。

ぼかし（強）ぼかしフィルタの数倍の効果があります。

注意：ぼかしフィルタを適用する前に、レイヤーパレットで「透明ピクセルをロック」オプションの選択を解除します。



写真の背景のぼかし

ぼかし（ガウス）

ぼかし（ガウス）フィルタは、指定した値に基づいて選択範囲をすばやくぼかします。ガウスとは、Photoshop Elements で、ピクセルに加重平均を適用したときに生成される釣鐘型の曲線です。ぼかし（ガウス）フィルタでは、線数の少ないディテールを加え、かすんだような効果を作り出すことができます。フィルタのオプションでぼかしの半径を設定し、どれくらいの範囲の異なるピクセルをぼかしの対象とするかを指定できます。

ぼかし（移動）

ぼかし（移動）フィルタは、指定した角度（-360° ～ +360°）と距離（1 ～ 999）に基づいてぼかしを適用します。フィルタの効果は、移動している被写体を、銀塩カメラで露出時間を固定して撮影した場合に似ています。ぼかしの角度と距離を設定できます。

ぼかし（放射状）

ぼかし（放射状）フィルタは、カメラをズームさせたり回転させたかのようなぼかしを作り出して、ソフトな印象にします。「量」オプションでぼかしの量を制御します。同心円状にぼかすには、「回転」を選択し、回転量を指定します。画像を拡大または縮小しているかのように放射状にぼかすには、「ズーム」を選択し、1 ～ 100 の数値で量を指定します。ぼかしの画質には、「低い」、「標準」、「高い」があります。「低い」は処理は速いが粒子が粗く、「標準」と「高い」の結果はより滑らかになります。「標準」と「高い」では、選択範囲が大きい場合を除いて、画質にほとんど差がありません。ぼかしの中心点を指定するには、「ぼかしの中心」ボックスでパターンをドラッグします。

ぼかし（詳細）

ぼかし（詳細）フィルタは、正確に指定された範囲に基づいてぼかします。ぼかしの半径を設定し、どれくらいの範囲の異なるピクセルをぼかしの対象とするかを指定できます。また、しきい値を設定して、ピクセルの値がどの程度違えば除去するのかを指定できます。ぼかしの画質も設定できます。ぼかしのモードとして、選択範囲全体（「標準」）または色が変化するエッジ（「エッジのみ」と「オーバーレイ」）を設定できます。コントラストが強い部分では、「エッジのみ」の場合は白黒のエッジが適用され、「オーバーレイ」の場合は白が適用されます。

ブラシストロークフィルタ

エッジの強調
エッジの強調フィルタは、画像のエッジを強調します。エッジの明るさの値を高く設定すると、エッジが白いチョークで描いたように強調されます。値を低く設定すると、黒インクで描いたようになります。エッジの幅、エッジの明るさおよび滑らかさを設定できます。

ストローク（斜め）
ストローク（斜め）フィルタは、斜めのストロークを使用して画像を描きます。画像内の明るい部分のストロークは、暗い部分のストロークとは方向が反対になります。ストロークの方向のバランス、ストロークの長さおよびシャープを設定できます。

網目
網目フィルタは、元の画像のディテールや特徴を保ちながら、テクスチャを加え、鉛筆で線影を付けたように、カラー部分のエッジを粗くします。ストロークの長さ、シャープおよび強さ（ストロークの回数）を設定できます。

ストローク（暗）
ストローク（暗）フィルタは、画像内の暗い部分を短く細かいストロークで黒に近づけ、明るい部分を長く白いストロークで描きます。ストロークのバランスおよび黒と白の適用度を設定できます。

インク画（外形）
インク画（外形）フィルタは、元の画像のディテールの上に、ペンとインクを使ったような細い線で輪郭を描きます。ストロークの長さおよび暗さと明るさの強さを設定できます。

はね
はねフィルタは、エアブラシで絵の具を吹き付けたような効果を加えます。スプレー半径と滑らかさを設定できます。

ストローク（スプレー）
ストローク（スプレー）フィルタは、レイヤー内の主要な色を使用して、角度を付けてスプレーしたようにレイヤーを描きます。ストロークの長さ、スプレーの半径およびストロークの方向を設定できます。

墨絵
墨絵フィルタは、筆に墨をたっぷりと含ませて和紙に描いたような和風の効果をレイヤーに与えます。作成される画像は、エッジがやわらかくぼかされ、黒が濃くなります。ストロークの幅、筆圧およびコントラストを設定できます。

変形フィルタ

光彩拡散
光彩拡散フィルタは、ソフトな拡散フィルタを通して見ているような画像を描きます。このフィルタは、白色透明のノイズを画像に加え、選択範囲の中心から光が出ているように見せます。

置き換え
置き換えフィルタは、置き換えマップと呼ばれる画像を使用して、選択範囲を変形する方法を決定します。例えば、放物線状の置き換えマップを使用した場合、四隅を引っ張って広げた布の上に画像をプリントしたようになります。

このフィルタを使用するには、Photoshop 形式で保存した統合画像またはモノクロ 2 階調モードの画像から構成される置き換えマップファイルが必要です。独自のファイルを使用するか、Photoshop Elements 6.0 ¥ Plug-Ins ¥ Displacement Maps フォルダまたは Photoshop Elements 6.0 ¥ Presets ¥ Textures フォルダに入っているファイルを使用できます。

関連項目

261 ページの「フィルタ」

155 ページの「画像の統合」

置き換えフィルタの適用

1 写真編集モードで、画像、レイヤーまたは領域を選択します。

2 フィルタメニューから変形／置き換えを選択します。

3「水平比率」と「垂直比率」の各テキストボックスに -999 ～ 999 の間の値を入力し、置き換えの大きさを指定します。

水平比率と垂直比率が 100 %のとき、置き換えは最大 128 ピクセルになります（グレーの中間色は置き換えが行われないため）。

4 置き換えマップの大きさが選択範囲と異なる場合は、画像にマップを合わせる方法を選択します。

同一サイズに拡大／縮小 マップのサイズを変更します。

並べて表示 マップをパターンで繰り返して選択範囲を埋めます。

5 フィルタによって画像内に生成される空間を埋める方法を選択し、「OK」をクリックします。

ラップアラウンド（巻き戻す）画像の反対側の端の内容で空間を埋めます。

端のピクセルを繰り返して埋める 画像のエッジに沿ったピクセルの色を、指定した方向に延長します。

6 置き換えマップを選択して開きます。Photoshop Elements によって画像にマップが適用されます。

ガラス

ガラスフィルタは、様々な種類のガラスを通して見ているように画像を処理します。既定のガラスフィルタを選択するか、独自のガラス面を Photoshop ファイルとして作成して適用できます。拡大・縮小、ゆがみおよび滑らかさの設定を調整できます。独自のファイルを使用する場合は、置き換えフィルタの手順に従ってください。

ゆがみ

ゆがみフィルタを使用すると、画像の特定の部分が溶けたような効果を簡単に得ることができます。現在のレイヤーのプレビューが表示され、画像内の特定の領域にワープ、渦巻き、拡大、縮小、移動および反射などの特殊なツールを適用できます。画像をわずかに変えてレタッチすることも、ゆがみを大きく加えて芸術的な作品にすることもできます。

関連項目

261 ページの「フィルタ」

ゆがみフィルタの適用

1 写真編集モードで、画像、レイヤーまたは領域を選択します。

2 フィルタ／変形／ゆがみを選択します。

3 画像のプレビューをズームインまたはズームアウトするには、次のいずれかの操作を行います。

- ダイアログボックスの左下にあるポップアップメニューからズームレベルを選択します。
- ダイアログボックス内のツールボックスからズームツールを選択し、画像内をクリックしてズームインするか、Alt キーを押しながらクリックしてズームアウトします。ズームツールを使用して、プレビュー画像の拡大する領域をドラッグして選択することもできます。
- ツールボックスから任意のツールを選択します。

4 ツールボックスから次のいずれかのツールを選択します。

ワープ ドラッグする操作に合わせてピクセルを前に押し出します。

乱流 ピクセルを滑らかにかき混ぜ、炎、雲、波のような効果を加えます。滑らかさを調整するには、「ツールオプション」セクションにある乱流のジッタースライダをドラッグするか、テキストボックスに 1 ～ 100 の間の値を入力します。値が大きいほど滑らかさが増します。

渦 - 右回転 マウスボタンを押すか、ドラッグする操作に合わせてピクセルが時計回りに回転します。

渦 - 左回転 マウスボタンを押すか、ドラッグする操作に合わせてピクセルが反時計回りに回転します。

縮小 マウスボタンを押すか、ドラッグする操作に合わせて、ブラシ領域の中心に向かってピクセルが移動します。

膨張 マウスボタンを押すか、ドラッグする操作に合わせて、ブラシ領域の中心とは反対の方向にピクセルが移動します。

ピクセル移動 ストロークの方向と垂直にピクセルを移動します。ドラッグするとピクセルが左に移動し、Alt キーを押しながらドラッグすると右に移動します。

反射 ブラシ領域にピクセルをコピーします。ドラックした領域に、ドラッグした方向と垂直方向の射影が行われます（例えば、下方向にドラッグした場合はその左側の領域が、右方向にドラッグした場合はその下側の領域が投影されます）。Alt キーを押しながらドラッグすると、ドラッグした方向とは逆の方向にある領域の射影が作成されます（例えば、下方向にドラッグした場合は、その上の領域が投影されます）。何度か重ねてドラッグすると、水面の反射に近い効果が得られます。

再構築 変更内容の全部または一部を元に戻します。

5「ツールオプション」セクションで、必要に応じてツールのブラシサイズと筆圧を調整します。

- ブラシサイズを変更するには、ポップアップスライダをドラッグするか、1 ～ 600 ピクセルの範囲内で値を入力します。
- 筆圧を変更するには、ポップアップスライダをドラッグするか、1 ～ 100 の範囲内で値を入力します。

筆圧が小さいほど、変化が緩やかになります。

- 筆圧感知入力タブレットを使用している場合は、「筆圧感知入力」を選択します。

ワープ、ピクセル移動および反射の各ツールで、現在のポイントと、直前にクリックしたポイントの間を結ぶ直線をドラッグしたかのような効果を得るには、Shift キーを押しながらクリックします。

6 プレビュー画像の変更内容を実際の画像に適用するには、「OK」をクリックします。

7（オプション）前の状態に戻るには、次のいずれかの操作を行います。

- 再構築ツール を選択し、マウスボタンを押すか、変更した領域の上をドラッグします。再構築はブラシの中心に近いほど速く行われます。現在のポイントと、直前にクリックしたポイントを結ぶ直線で再構築を行うには、Shift キーを押しながらクリックします。
- プレビュー画像全体を、ダイアログボックスを開いたときの状態に戻すには、Alt キーを押しながら「初期化」をクリックします。また、「復帰」をクリックすると、画像が元に戻り、ツールが前の設定に戻ります。

海の波紋

海の波紋フィルタは、画像の表面にランダムな間隔で波紋を加え、画像が水面下にあるかのような効果を出します。

つまむ

つまむフィルタは、選択範囲を中心または外に向かって絞ります。

つまむフィルタの適用

1 写真編集モードで、画像、レイヤーまたは領域を選択します。

2 フィルタメニューから変形／つまむを選択します。

3 選択範囲を中心に向かってつまむには、スライダを右（正の値）にドラッグします。選択範囲を外に向かってずらすには、スライダを左（負の値）にドラッグします。「OK」をクリックします。

関連項目

261 ページの「フィルタ」

極座標

極座標フィルタは、選択したオプションに従って、選択範囲を直交座標から極座標に、またはその逆に変換します。このフィルタを使用して、円筒型アナモルフォーズを作成できます。これは 18 世紀に人気を博した画法で、円筒形の鏡を立てると、そこに正しい像が映し出されます。

波紋

波紋フィルタは、選択範囲に、池の水面にできるさざ波のような波打つパターンを作り出します。より細かく制御するには、波形フィルタを使用してください。オプションには、波紋の量と振幅数があります。

シアー

シアーフィルタは、曲線に沿って画像を変形させます。

関連項目

261 ページの「フィルタ」

シアーフィルタの適用

1 写真編集モードで、画像、レイヤーまたは領域を選択します。

2 フィルタメニューから変形／シアーを選択します。

3 変形の曲線を定義するには、シアーダイアログボックスで次のいずれかの操作を行います。

- 縦線の左右いずれかの任意のポイントをクリックします。
- 縦線をクリックし、新しい曲線ポイントまでドラッグします。

曲線上の任意のポイントをドラッグして変形を調整したり、曲線ポイントを追加したりすることもできます。

4「未定義領域」オプションで次のいずれかを選択し、「OK」をクリックします。

ラップアラウンド（巻き戻す）画像内に新しく作成された空間を、画像の反対側の内容で埋めます。

端のピクセルを繰り返して埋める 端のピクセルの色を延長します。エッジのピクセルが異なる色の場合、縞模様が生じる場合があります。

「初期設定値」をクリックすると、カーブを直線に戻し、最初からやり直せます。

球面

球面フィルタは、画像を変形および伸縮し、選択範囲で球面を包むか、選択範囲を球面の内側に貼り付けたかのような、3D 効果を加えます。

球面フィルタの適用

1 写真編集モードで、画像、レイヤーまたは領域を選択します。

2 フィルタメニューから変形／球面を選択します。

3「量」に正の値を入力すると、球を包んでいるかのように画像が外向きに伸びます。負の値を入力すると、球の内側に貼り付けたかのように画像が内向きに縮小されます。

4「モード」でフィルタを適用する方向として水平方向、垂直方向またはその両方を選択し、「OK」をクリックします。

関連項目

261 ページの「フィルタ」

渦巻き

渦巻きフィルタは、画像全体または選択範囲を回転します。回転は端よりも中心をシャープに描きます。角度を指定すると、渦巻きパターンが作り出されます。スライダを右（正の値）にドラッグすると、画像が時計回りに回転します。スライダを左（負の値）にドラッグすると、反時計回りに回転します。-999 ～ 999 の間の値を入力することもできます。

波形

波形フィルタは、レイヤーまたは選択範囲に波打つパターンを作り出します。

波形フィルタの適用

1 写真編集モードで、画像、レイヤーまたは領域を選択します。

2 フィルタメニューから変形／波形を選択します。

3「種類」セクションで「正弦波」（うねる波のパターン）、「三角波」または「矩形波」から波形の種類を選択します。

4 波形の数を設定するには、スライダをドラッグするか、1 ～ 999 の間の数値を入力します。

5 最小と最大の波長スライダをドラッグして、1 つの波の頂点から次の頂点までの間隔を設定します。両方のスライダを同じ値に設定すると、波のパターンが一定になります。

6 最小と最大の振幅スライダをドラッグして、波の高さを設定します。

7 水平と垂直の比率スライダをドラッグして、波の高さと幅を設定します。

8 ダイアログボックス内の一連の値に基づいて乱数的に結果を適用するには、「開始位置を乱数的に変化させる」をクリックします。「開始位置を乱数的に変化させる」を複数回クリックすると、その効果を上げることができます。

9 次のいずれかを選択し、「OK」をクリックします。

ラップアラウンド（巻き戻す） 画像内の空間を、画像の反対側の内容で埋めます。

端のピクセルを繰り返して埋める 画像の端に沿ったピクセルの色を、指定した方向に延長します。

関連項目

261 ページの「フィルタ」

ジグザグ

ジグザグフィルタは、選択範囲内のピクセルの半径に従って、選択範囲を放射状に変形します。

ジグザグフィルタの適用

1 写真編集モードで、画像、レイヤーまたは領域を選択します。

2 フィルタメニューから変形／ジグザグを選択します。

3 量スライダをドラッグして、変形の程度と方向を設定します。

4 折り返しスライダをドラッグして、選択範囲の中心から端までの間でジグザグの方向が転換する回数を設定します。

5 スタイルメニューから次のいずれかの置き換えオプションを選択し、「OK」をクリックします。

回転 選択範囲の中心の周りでピクセルを回転します。

中心方向 選択範囲の中心に向けて、またはその反対方向にジグザグの効果を加えます。

左上、右下方向 選択範囲を左上または右下に変形するジグザグの効果を加えます。

関連項目

261 ページの「フィルタ」

ノイズフィルタ

ノイズを加える

ノイズを加えるフィルタは、画像にランダムにピクセルを適用し、高感度フィルムで写真を撮ったような効果を加えます。このフィルタは、選択範囲をぼかしたり、グラデーションを適用した場合に生じる縞模様を除去したり、大幅に修正した部分を自然な印象にしたり、レイヤーにテクスチャを加えたりする場合にも使用できます。ノイズの量、ノイズ分布の種類およびカラーモードを設定できます。「均等に分布」オプションを選択するとノイズが均等に分布し、「ガウス分布」を選択するとノイズが斑点状になります。「グレースケールノイズ」を選択すると、色を変更せずに、画像の既存の色調でフィルタが適用されます。

輪郭以外をぼかす

輪郭以外をぼかすフィルタは、レイヤー内のエッジを検出し（色が大きく変化する部分）、選択範囲内でこれらのエッジ以外の部分をすべてぼかします。ぼかしによって、ディテールを保ちながらノイズを除去できます。このフィルタを使用して、雑誌やその他の印刷物をスキャンしたときに発生する縞模様や視覚的なノイズを除去できます。

ダスト＆スクラッチ

ダスト＆スクラッチフィルタは、異なるピクセルを変更することで視覚的なノイズを減らします。

中間値

明るさの中間値フィルタは、選択範囲内のピクセルの明るさを合成することで、レイヤー内のノイズを減らします。このフィルタは、明るさが似ているピクセルを検索し、隣接するピクセルとの差が大きすぎるピクセルを破棄し、中央のピクセルを、検索したピクセルの中間の明るさに置き換えます。このフィルタは、動きによって画像内に生じたぶれや、スキャンしたイメージに現れた不適切なパターンの除去や削減に使用します。

ノイズを低減

ノイズを低減フィルタは、不十分な照明で撮影した写真で発生するノイズなど、明るさや色のノイズを減らします。「JPEG の斑点を削除」オプションを選択すると、JPEG の低画質設定で画像を保存した場合に発生する斑点や縁取りを除去できます。



携帯電話で撮影したこの写真では、少年の顔にノイズがあります（左）。ノイズを低減フィルタを使用すると、不要なピクセルを除去できます（右）。

ピクセレートフィルタ

カラーハーフトーン

カラーハーフトーンフィルタは、レイヤーに、拡大したハーフトーンスクリーンを使用したような効果を加えます。このフィルタでは、画像が長方形に分割され、各長方形が円に置き換えられます。円の大きさは、長方形の明るさに比例します。

カラーハーフトーンフィルタの適用

1 写真編集モードで、画像、レイヤーまたは領域を選択します。

2 フィルタメニューからピクセレート／カラーハーフトーンを選択します。

3 ハーフトーンのドットの最大半径を 4 ～ 127 ピクセルの範囲で入力します。

4 1 つまたは複数のチャンネルに対して、ハーフトーンスクリーンの角度の値を -360 ～ 360 の範囲で入力します（水平に対するドットの角度）。

- グレースケール画像の場合、チャンネル 1 に値を入力します。その他のチャンネルのテキストボックスの値は使用されません。
- カラー画像の場合、チャンネル 1、2、3 および 4 を使用します。それぞれ CMYK の各チャンネル（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック）に対応します。

5 スクリーンの角度をすべて初期設定値に戻すには「初期設定値」をクリックします。「OK」をクリックします。

関連項目

261 ページの「フィルタ」

水晶

水晶フィルタは、単色の多角形の集まりとしてレイヤーを描きます。水晶のセルの大きさを設定できます。

面を刻む

面を刻むフィルタは、単色のブロックの集まりとしてレイヤーを描きます。このフィルタを使用して、スキャンした画像を手描きのように見せたり、リアルな画像を抽象画のように加工したりできます。

ぶれ

ぶれフィルタは、レイヤーをオフセット印刷したか、ぼかしたように描きます。

メゾティント

メゾティントフィルタを使用すると、グレースケール画像ではモノクロの領域の、カラー画像では彩度が最高に達した領域のランダムなパターンでレイヤーを描きます。点、線またはストロークパターンを選択できます。

モザイク

モザイクフィルタは、単色の四角形の集まりとしてレイヤーを描きます。モザイクのセルの大きさを設定できます。

点描

点描フィルタは、点描画のようにランダムに配置した点の集まりとしてレイヤーを描きます。点の間のカンバス部分には、ツールボックス内の背景色が使用されます。セルの大きさを設定できます。

描画フィルタ

3D トランスフォーム

3D トランスフォームフィルタは、立方体、球および円柱に画像をマップし、3 次元で回転できるようにします。

雲模様 1

雲模様 1 フィルタは、ツールバーの描画色と背景色の間で色をランダムに変化させて、ソフトな雲のパターンを作り出します。

雲模様をより鮮明にするには、Alt キーを押しながらフィルタ／描画／雲模様 1 を選択します。

雲模様 2

雲模様 2 フィルタは、ツールボックス内の描画色と背景色の間で色の値をランダムに変化させて、雲のパターンを作り出します。このフィルタを初めて選択するとき、画像の一部が雲模様に反転します。このフィルタを何度か適用すると、大理石のテクスチャに似た縞模様が作成されます。

ファイバー

ファイバーフィルタは、描画色と背景色を使用して、繊維のような模様を作り出します。「変化」オプションで、色の変化の度合いを制御できます（値を小さくすると、色のすじが長くなり、値を大きくすると、繊維が短く、変化が大きくなります）。「強さ」オプションを使用して、一本一本の繊維の外観を制御できます。値を小さくするとゆるい繊維になり、値を大きくすると短くて張りのある繊維になります。「開始位置を乱数的に変化させる」によって、パターンの見た目が変わります。気に入ったパターンが見つかるまでこのオプションを繰り返し選択できます。ファイバーフィルタを適用すると、アクティブなレイヤーの画像データが置き換わります。

ファイバーの色彩を統一するには、グラデーションマップ調整レイヤーを追加します（158 ページの「調整レイヤーと塗りつぶしレイヤー」を参照してください）。

逆光

逆光フィルタは、カメラのレンズに明るい光が当たって起こる逆光効果を再現します。光の明るさ、位置および形状（レンズの種類）を設定できます。ダイアログボックス内のプレビューウィンドウをクリックして光の位置を設定します。

照明効果

照明効果フィルタを使用すると、RGB 画像に高度な照明効果を作り出すことができます。複数の照明を作成し、個々の照明のプロパティを設定し、またプレビューウィンドウ内で照明をドラッグしてそれぞれの設定を試すことができます。テクスチャマップと呼ばれるグレースケールファイルからテクスチャを取り込み、立体感を出したり、独自のスタイルを保存して他の画像で使用したりすることもできます。

照明効果フィルタの適用

1 写真編集モードで、画像、レイヤーまたは領域を選択します。

2 フィルタメニューから描画／照明効果を選択します。

3 必要に応じてオプションを指定し、「OK」をクリックします。

プレビュー領域 照明効果のプレビューが表示され、各照明を調整できます（278 ページの「照明の調整」を参照してください）。照明アイコン をプレビュー領域にドラッグすることで新しい照明を作成することもできます（最大 16 個の照明を作成できます）。照明を削除するには、プレビューウィンドウで照明を選択し、照明（中央の円）をごみ箱までドラッグするか、Delete キーを押します。

既存の照明をコピーするには、プレビューウィンドウで照明を選択し、Alt キーを押しながらウィンドウ内のコピー先の位置までドラッグします。

保存 スタイルに名前を付けて保存できます。保存したスタイルには、各照明のすべての設定が含まれます。各スタイルは、Photoshop Elements で画像を開いたときにスタイルメニューに表示されます。

削除 選択したスタイルが削除されます。初期設定のスタイルは削除できません。

スタイルメニュー 次に示す初期設定の照明スタイルや、すでに保存したカスタムスタイルを選択できます。

注意：複数の照明があるスタイルを選択する場合は、照明ごとにオプションを設定する必要があります。

- **全方向性（青）**照度が最高で、焦点を定めない、青色の全方向性照明を追加します。
- **包囲照明** 4 つのスポットライトを追加します。ホワイトは照度が最高で、焦点が狭くなっています。イエローは照度が強く、焦点が狭くなっています。レッドは中間の照度で、焦点が狭くなっています。ブルーは照度が最高で、焦点が中間です。
- **クロス** 中間の照度で、焦点が広い白色のスポットライトを 1 つ追加します。
- **クロスダウン** 中間の照度で、焦点が広い白色のスポットライトを 2 つ追加します。
- **初期設定** 中間の照度で、焦点が広い白色のスポットライトを 1 つ追加します。
- **5 ダウン、5 アップ** 照度が最高で、焦点が広い 5 つの白色スポットライトを下または上に追加します。
- **フラッシュライト** 中間の照度の黄色の全方向性照明を追加します。
- **投光照明** 中間の照度で、焦点が広い白色スポットライトを追加します。
- **並行光** 照度が最高で、焦点を定めない青色の照明か、中間の照度で、焦点を定めない白色の単一指向性照明です。
- **RGB ライト** 中間の照度で、焦点が広いレッド、グリーンおよびブルーの照明です。
- **直接光（ソフト）**焦点を定めていない白色（照度が低い）と青色（照度が中間）の単一指向性照明を追加します。
- **全方向性（ソフト）**中間の照度のソフトな全方向性照明です。
- **ソフトスポットライト** 照度が最高で、焦点が広い（100）白色スポットライトです。
- **3 ダウン** 中間の照度で、焦点が広い白色スポットライトを 3 つ追加します。
- **3 スポット** 中間の照度で、焦点が広いスポットライトを 3 つ追加します。

光源タイプ 選択したスタイルの照明について、次のオプションを指定できます。

- **オン** プレビューウィンドウで、選択した照明のオンとオフを切り替えます。照明効果のスタイルで複数の照明を使用していて、特定の照明の効果だけを確認したい場合に便利です。
- **照度** 照明の明るさを指定します。
- **焦点** 光の幅を指定します。
- **カラーボックス** カラーピッカーが表示され、照明の色を変更できます。使用するには、この白いボックスをクリックします。

属性 照明を当てている画像について、次のオプションを指定できます。

- **光沢** 表面が光を反射する量を、「艶消し」（弱い反射）から「艶あり」（強い反射）の間で指定します。
- **質感** 光の色を反射するのか、照明を当てているオブジェクトの色を反射するのかを指定します。「プラスチック」は光の色を反射し、「メタリック」はオブジェクトの色を反射します。
- **露光量** 光を増加（オーバー）または減少（アンダー）させます。値を 0 にすると変化がありません。
- **環境光** 日光や蛍光灯など、室内の他の光と組み合わせたように光を拡散します。光源だけを使用する場合は値 100 を、光を完全に拡散させるには値 -100 を使用します。
- **カラーボックス** カラーピッカーが表示され、環境光の色を変更できます。使用するには、この白いボックスをクリックします。

テクスチャチャンネル 光を当てている画像にテクスチャを作成する次のオプションを指定できます。

- **テクスチャチャンネルメニュー** 画像内のレッド、グリーン、ブルーのカラーチャンネルを選択し、各チャンネルで光がどのように反射するかを操作することでテクスチャ効果を得ることができます。アクティブなレイヤーのレイヤーの透明部分を使用して、テクスチャ効果を得ることもできます。
- **白を浮き上がらせる** チャンネルの明るい部分が表面から浮き上がります。暗い部分を浮き上がらせるには、このオプションの選択を解除します。
- **高さ** テクスチャの奥行きを「フラット」（0）から「起伏」（100）の間で指定します。

照明の調整

照明効果のプレビューで、照明の種類によって、次のいずれかの操作を行います。

- （単一指向性、全方向性、スポットライト）照明を移動するには、中央の円をドラッグします。
- （単一指向性）照明の方向を変更するには、ラインの端にあるハンドルを任意の角度でドラッグします。照明の高さを一定に保つには、Ctrl キーを押しながらドラッグします。
- （単一指向性）照明の高さを変更するには、ラインの端にあるハンドルを、ラインの方向にドラッグします。角度を一定に保ちながら高さ（ラインの長さ）を変更するには、Shift キーを押しながらドラッグします。
- （全方向性）照明のサイズを拡大または縮小するには、照明のエッジを示すハンドルを 1 つドラッグします。
- （スポットライト）照明の角度を変更するには、ラインの端にあるハンドルをドラッグします。
- （スポットライト）楕円形を伸ばすか、照明を回転するには、任意のハンドルをドラッグします。角度を一定に保ちながら楕円形のサイズだけを変更するには、Shift キーを押しながらドラッグします。サイズを一定に保ちながら、スポットライトの角度または方向を変更するには、Ctrl キーを押しながらドラッグします。

関連項目

276 ページの「照明効果フィルタの適用」

276 ページの「照明効果」

テクスチャ効果

テクスチャ効果フィルタは、グレースケールの Photoshop 画像を、画像のテクスチャとして使用します。

スケッチフィルタ

浅浮彫り

浅浮彫りフィルタは、画像を浅浮彫りにし、表面の起伏を強調するように光を当てたようにします。画像内の暗い部分には描画色が使用され、明るい部分には背景色が使用されます。浮彫りのディテールと滑らかさを設定できます。

チョーク・木炭画

チョーク・木炭画フィルタは、粗いチョークで描かれた中間調の単色のグレーの背景に、画像のハイライトと中間調を描きます。シャドウ部分は、木炭で描いた黒い斜線に置き換わります。木炭には描画色が使用され、チョークには背景色が使用されます。筆圧および木炭とチョークの領域を設定できます。

木炭画

木炭画フィルタは、画像にこすったような効果を加えます。主要なエッジは太く描かれ、中間調は斜線でスケッチされます。木炭には描画色が使用され、紙には背景色が使用されます。木炭の太さ、画像のディテールレベルおよび明るさ・暗さのバランスを設定できます。

クロム

クロムフィルタは、ハイライト部分の反射を大きく、シャドウ部分の反射を小さくして、画像を磨き上げたクロム表面のようにします。クロム表面のディテールレベルと滑らかさを設定できます。

クロムフィルタを適用したら、レベル補正ダイアログボックスを使用してコントラストを強めることができます。

クレヨンのコンテ画

クレヨンのコンテ画フィルタは、濃い黒と純粋な白のコンテのテクスチャを画像に再現します。クレヨンのコンテ画フィルタでは、暗い部分には描画色が使用され、明るい部分には背景色が使用されます。描画色と背景色の強調レベルおよびテクスチャオプションを設定できます。テクスチャのオプションを使用して、例えば画像をカンバスやレンガなどのテクスチャの上に描いたり、ガラスのブロックを通して見たりしているような効果を得ることができます。

本物に近づけるには、このフィルタを適用する前に、描画色をクレヨンのコンテ画でよく使用される色（ブラック、セピア、濃いレッド）のいずれかに変更します。効果を抑え目にするには、背景色を、描画色を少し加えた白に変更します。

グラフィックペン

グラフィックペンフィルタは、インクを使用した細い線で、元の画像のディテールを再現します。スキャンした画像に特に効果を発揮します。このフィルタでは、インクに描画色、紙に背景色を使用して、元の画像の色が置き換えられます。ストロークの長さと方向および明るさ・暗さのバランスを設定できます。

ハーフトーンパターン

ハーフトーンパターンフィルタは、連続する色調範囲を保ちながら、ハーフトーンスクリーンの効果を再現します。ハーフトーンのサイズ、コントラストおよびパターンタイプを設定できます。

ノート用紙

ノート用紙フィルタは、エンボスフィルタと粒状フィルタの効果を組み合わせることで、手すき紙のテクスチャを再現します。画像の暗い部分は紙の一番上のレイヤーでは穴のようになり、そこから背景色が見えます。画像のバランス、きめの度合いおよびレリーフを設定できます。

コピー

コピーフィルタは、画像をコピーしたような効果を再現します。暗い部分が広いとエッジの周囲だけがコピーされ、中間調は黒か白のいずれかになります。ディテールレベルと暗さを設定できます。

石膏

石膏フィルタは、3 次元の石膏からレイヤーをかたどり、描画色と背景色を使用して色彩を統一します。暗い部分は浮き上がり、明るい部分はくぼみます。画像のバランス、滑らかさおよび照射方向を設定できます。

ちりめんじわ

ちりめんじわフィルタは、フィルム膜面の収縮や変形を再現し、シャドウ部分はかたまり、ハイライト部分はわずかに粒状になった画像を作り出します。密度、描画レベルおよび背景レベルを設定できます。

スタンプ

スタンプフィルタは、画像を単純化し、ゴム製または木製のスタンプを押したようにします。滑らかさおよび明るさ・暗さのバランスを設定できます。このフィルタは、モノクロ画像に効果的です。

ぎざぎざのエッジ

ぎざぎざのエッジフィルタは、画像をぎざぎざに破った紙切れの集まりのようにし、描画色と背景色を使用して色彩を統一します。画像のバランス、滑らかさおよびコントラストを設定できます。このフィルタは、テキストやコントラストの強いオブジェクトから構成される画像に特に便利です。

ウォーターペーパー

ウォーターペーパーフィルタは、湿った繊維質の紙に絵の具を塗りつけたような効果を加えます。色がにじみ、混ざったような印象になります。紙の繊維の長さ、明るさおよびコントラストを設定できます。

表現手法フィルタ

拡散

拡散フィルタは、選択するオプションに従って選択範囲内のピクセルを入れ替え、焦点を和らげます。「標準」を選択すると、ピクセルは、色の値とは無関係にランダムに移動します。「暗く」を選択すると、明るいピクセルが暗いピクセルに置き換わります。「明るく」を選択すると、暗いピクセルが明るいピクセルに置き換わります。「不均等に」を選択すると、すべてのピクセルがソフトになります。

エンボス

エンボスフィルタは、塗りつぶしカラーをグレーに変換し、エッジを元の塗りつぶしカラーでなぞることで、選択範囲を浮き上がらせるか、型押ししたように見せます。エンボスの角度、高さおよび選択範囲内のカラーの量に対する比率を設定できます。

押し出し

押し出しフィルタは、選択範囲またはレイヤーに 3 次元のテクスチャを加えます。

押し出しフィルタの適用

1 写真編集モードで、画像、レイヤーまたは領域を選択します。

2 フィルタメニューから表現方法／押し出しを選択します。

3 次のオプションを設定し、「OK」をクリックします。

ブロック 正四角柱のオブジェクトを作成します。

ピラミッド 三角錐のオブジェクトを作成します。

サイズ オブジェクトの底面の辺の長さを 2 ～ 255 ピクセルの範囲で指定します。

深さ 最も高いオブジェクトが画面から突き出る高さを 1 ～ 255 の範囲内で指定します。

ランダム 各ブロックまたは各ピラミッドの高さをばらつかせます。

レベルに合わせる 各オブジェクトの高さを、明るさに対応させます。オブジェクトが明るいほど多く突き出ます。

前面をベタ塗り 各ブロックの前面を、ブロックの平均色でべた塗りにします。各ブロックの前面に画像を使用する場合は、「前面をベタ塗り」の選択を解除します。ピラミッドの場合はこのオプションは使用できません。

大きさが足りない部分は作成しない 選択範囲からはみ出すオブジェクトは表示されません。

関連項目

261 ページの「フィルタ」

輪郭検出

輪郭検出フィルタは、画像内で変化が大きい部分を検出し、エッジを強調します。輪郭のトレースフィルタと同様に、輪郭検出フィルタでは、画像内の輪郭が白い背景に暗い線で描かれます。このフィルタは画像の境界をはっきりさせる場合に便利です。

注意：輪郭検出や輪郭のトレースなどのエッジを強調するフィルタを使用した後は、階調の反転フィルタを適用してカラー画像の輪郭を色付きの線にしたり、グレースケール画像の輪郭を白い線にしたりできます。

エッジの光彩

エッジの光彩フィルタは、色のエッジを特定し、ネオンのような光彩を加えます。エッジの幅、明るさおよび滑らかさを設定できます。

ソラリゼーション

ソラリゼーションフィルタは、ネガ画像とポジ画像を合成し、写真の現像中に瞬間的に露光させたような効果を加えます。

分割

分割フィルタは、画像を一連のタイルに分割し、選択範囲を元の位置からずらします。分割数とオフセットの比率を設定できます。タイル間の空間は、「背景色」、「描画色」、「元画像を反転して塗る」、「元画像で塗る」のいずれかの方法で埋めることができます。「元画像で塗る」では、分割した画像が元の画像の上に重ねられ、タイルの間から元の画像が見えます。

輪郭のトレース

輪郭のトレースフィルタは、明るさが大きく変化する部分を検出し、等高線のように細い線で描きます。色の値を評価するレベルを設定し、そのレベルより下のピクセルの輪郭を描くのか（「指定レベル以下の画像の周り」）、上のピクセルの輪郭を描くのか（「指定レベル以上の画像の周り」）を指定できます。

グレースケールモードで情報パレットを使用して、輪郭を描く色の値を指定します。次に「レベル」テキストボックスに値を入力します。

風

風フィルタは、画像に細い横線を加えて、風が吹いているような効果を加えます。風の強さと方向を設定できます。

テクスチャフィルタ

クラッキング

クラッキングフィルタは、高浮彫りの石膏の表面に画像を描き、画像内の輪郭に沿って細かい溝が入ったような効果を加えます。このフィルタを使用すると、幅広い色またはグレースケールの値を含む画像にエンボス効果を作り出すことができます。溝の間隔、深さおよび明るさを設定できます。

粒状

粒状フィルタは、多様な粒子を再現することで、画像にテクスチャを加えます。スプリンクルと点画の各粒子の種類には背景色が使用されます。粒子の密度、コントラストおよび種類を設定できます。

モザイクタイル
モザイクタイルフィルタは、小さなかけらやタイルから構成されるように画像を描き、タイル間に溝を作ります。これに対して、ピクセレート／モザイクフィルタは、色が異なるピクセルのブロックに画像を分割します。タイルの大きさ、溝の幅および溝の明るさを設定できます。

パッチワーク
パッチワークフィルタは、画像を四角形のパッチに分割し、各パッチをその領域の主要な色で塗りつぶします。このフィルタは、各パッチの高さをランダムに増減し、ハイライトとシャドウを再現します。パッチの大きさとレリーフを設定できます。

ステンドグラス
ステンドグラスフィルタは、単色のセルの集まりとして画像を描き、各セルの輪郭を描画色で描きます。セルの大きさ、境界線の太さおよび明るさの強さを設定できます。

テクスチャライザ
テクスチャライザフィルタを使用すると、特定のテクスチャのタイプを適用するか、テクスチャとして使用するファイルを選択できます。テクスチャのオプションを使用して、画像をカンバスやレンガなどのテクスチャの上に描いたり、ガラスのブロックを通して見たりしているような効果を得ることができます。

ビデオフィルタ

インターレース解除
インターレース解除フィルタは、ビデオ画像内の奇数または偶数の走査線を取り除くことで、ビデオに取り込まれた動画を滑らかにします。取り除いた走査線は、コピーまたは補間によって置き換えることができます。

NTSC カラー
NTSC カラーフィルタは、色域をテレビで再生可能な範囲に制限することで、過剰な彩度の色がテレビの走査線でにじむのを防ぎます。

その他のフィルタ

ハイパス
ハイパスフィルタは、色の変化が大きい部分で指定の半径内のエッジのディテールを保ちながら、それ以外の部分ではエッジのディテールを抑えます。半径を 0.1 ピクセルにすると、エッジのピクセルだけが維持されます。このフィルタでは、線数の少ないディテールを画像から取り除き、ぼかし（ガウス）フィルタとは逆の効果を得ることができます。

ハイパスフィルタを使用して、スキャンした画像から線画や広範囲のモノクロ部分を抽出できます。抽出するには、フィルタを適用してから、フィルタ／色調補正／ 2 階調化コマンドを選択するか、画像をモノクロ 2 階調モードに変換します。

明るさの最大値、明るさの最小値

明るさの最大値フィルタと明るさの最小値フィルタは、中間値フィルタのように、選択範囲内の個々のピクセルに作用します。明るさの最大値フィルタと明るさの最小値フィルタは、指定した半径で、現在のピクセルの明るさの値を、その周囲のピクセルの明るさの最大値または最小値に置き換えます。明るさの最大値フィルタは、チョークを適用するのと同じ効果があります。白い部分を広げ、黒い部分を縮小します。明るさの最小値フィルタは、スプレッドを適用するのと同じ効果があります。黒い部分を広げ、白い部分を縮小します。

スクロール

スクロールフィルタは、選択範囲を指定した量だけ右または下に移動し、選択範囲の元の位置に空のスペースを残します。選択範囲の大きさによって、空のスペースは透明の背景、エッジのピクセルまたは画像の右または下のエッジのピクセルで埋めることができます。

カスタムフィルタ

カスタムフィルタを使用すると、独自のフィルタ効果をデザインできます。カスタムフィルタでは、畳み込みと呼ばれる事前に定義した数学演算に従って、画像内の各ピクセルの明るさの値を変更できます。各ピクセルには、周囲のピクセルの値に基づく値が割り当てられます。作成したカスタムフィルタは保存し、他の Photoshop 画像に使用できます。

カスタムフィルタを保存し、再利用するには、「保存」ボタンと「読み込み」ボタンを使用します。

カスタムフィルタの適用

1 写真編集モードで、画像、レイヤーまたは領域を選択します。

2 フィルタメニューからその他／カスタムを選択します。

3 評価対象のピクセルを表す中央のテキストボックスを選択します。そのピクセルの明るさの値に掛ける値を -999 ～ +999 の範囲で入力します。

4 隣接するピクセルを表すテキストボックスを選択します。この位置のピクセルに掛ける値を入力します。

例えば、現在のピクセルのすぐ右にあるピクセルの明るさの値に 2 を掛ける場合は、中央のテキストボックスのすぐ右にあるテキストボックスに 2 を入力します。

注意：画像全体を白または黒にしないように、このマトリックス内の値の和を 1 にします。

5 演算に含めるすべてのピクセルについて、手順 3 と 4 を繰り返します。すべてのテキストボックスに値を入力する必要はありません。

6「スケール」には、計算に含めるピクセルの明るさの値の和を割る値を入力します。

7「オフセット」には、スケールの計算結果に加算する値を入力します。

8「OK」をクリックします。カスタムフィルタが、画像内の各ピクセルに 1 つずつ適用されます。

関連項目

261 ページの「フィルタ」

プラグインフィルタ

サードパーティによって開発されたプラグインフィルタをインストールできます。インストールしたプラグインフィルタは、通常はフィルタメニューの一番下に表示されます。ただし、開発者が別の場所を指定している場合はその場所に表示されます。

プラグインモジュールの作成に興味をお持ちの方は、Adobe Systems のデベロッパーサポートにお問い合わせください。

重要：サードパーティ製プラグインの不具合や質問については、プラグインの製造元にお問い合わせください。

関連項目

261 ページの「フィルタ」

262 ページの「フィルタの適用」

25 ページの「プラグイン」

Digimarc フィルタ

Photoshop Elements では、画像を開くときに Digimarc® の透かしが自動的に検索されます。透かしが検出された場合は、アプリケーションの画像ウィンドウのタイトルバーに著作権記号が表示され、ファイル情報ダイアログボックスの「著作権のステータス」、「著作権情報」、および「著作権情報 URL」テキストボックスに情報が表示されます。

関連項目

261 ページの「フィルタ」

263 ページの「フィルタカテゴリー」

262 ページの「フィルタの適用」

Digimarc フィルタの検出

1 フィルタ／ Digimarc ／透かしの読み込みを選択します。フィルタで透かしが見つかった場合、ダイアログボックスに Digimarc ID、著作権の年（ある場合）および画像の属性が表示されます。

2「OK」をクリックします。Web ブラウザがインストールされている場合は、「Web 検索」をクリックすると、画像の所有者に関する詳細情報を確認できます。このオプションをクリックすると、ブラウザに Digimarc の Web サイトが開き、該当する Digimarc ID に関する連絡先情報が表示されます。

第 16 章：ペイント

ペイントツールは、画像のピクセルの色を変更するために使用します。ブラシツールと鉛筆ツールでは、従来の描画ツールのようにブラシストロークで色を適用できます。グラデーションツール、塗りつぶしコマンド、塗りつぶしツールでは、広い範囲に色を適用できます。消しゴムツール、ぼかしツール、指先ツールでは、画像の既存の色を変更できます。

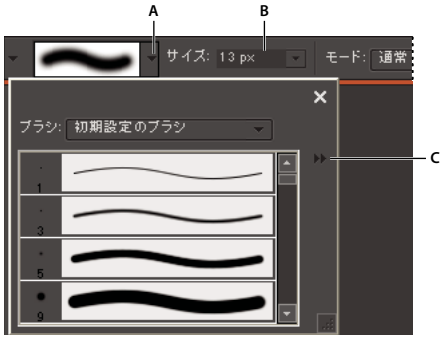
Adobe® Photoshop® Elements® のペイント機能では、オプションを設定することで、色をどのように適用または変更するかを指定できます。色にグラデーションを付けて適用したり、エッジをソフトにしたり、大きなブラシストロークで適用したり、様々なブラシの動きを使用したり、異なる合成プロパティを使用したり、異なる形状のブラシを使用することができます。エアブラシを使用して、スプレーペイントのような効果を出すこともできます。

Photoshop Elements ヘルプのすべての内容を参照するには、「Web 上のページ」をクリックして LiveDocs にアクセスしてください。

ペイントの概要

ペイントツール

Photoshop Elements の写真編集モードワークスペースでは、カラーの適用や編集用の様々なツールを使用できます。ペイントツールを選択すると、ブラシ先端やブラシサイズ、色の合成、不透明度、エアブラシ機能などの様々なプリセットが、オプションバーに表示されます。ブラシのプリセットを作成してブラシライブラリに保存することもできます。ブラシやペイントツールと編集ツールの設定をカスタマイズしたり、プリセットマネージャを使用してそれらを管理することもできます。



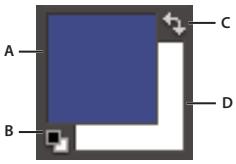
オプションバーのブラシオプション
A. ブラシのポップアップパレットとサムネイル **B.** ブラシのサイズポップアップスライダとテキストボックス **C.** 詳細メニュー

ブラシツールを使用すると、アンチエイリアス処理された滑らかな線を描けます。他のペイントツールには、輪郭のはっきりしたラインを描く鉛筆ツールや、レイヤーからカラーピクセルを消去する消しゴムツールなどがあります。塗りつぶしツールと塗りつぶしコマンドを使用すると、画像の領域をカラーまたはパターンで塗りつぶせます。パターンスタンプツールでは、規定のパターンまたは自分でデザインしたパターンでペイントできます。

印象派ブラシツールは、スタイル化したブラシストロークを適用して既存のカラーを変化させます。指先ツールもまた、塗りたてのペンキを指でこすったような効果で既存の画像のカラーに効果を与えます。

描画色と背景色

描画色は、ブラシツールまたは鉛筆ツールでペイントするときや、塗りつぶしツールで選択範囲を塗りつぶすときなどに、画像に適用するカラーのことです。消しゴムツールで背景レイヤーに適用するカラーは、背景色と呼ばれます。描画色と背景色は、ツールボックスの下部にある 2 つの重なったボックスで確認および変更することができます。上のボックスは描画色で、下のボックスは背景色です。描画色と背景色は、グラデーションツールと一部の特殊効果フィルタにも使用されます。



ツールボックスの描画色ボックスと背景色ボックス
A. 描画色を設定ボックス **B.** 描画色と背景色を初期設定に戻すアイコン **C.** 描画色と背景色を入れ替えアイコン **D.** 背景色を設定ボックス

スポイトツール、スウォッチパレットまたはカラーピッカーを使用して、ツールボックスの描画色や背景色を変更することができます。

関連項目

289 ページの「カラーの選択」

描画モード

描画モードにより、ペイントツールまたは編集ツールでの操作を画像内のピクセルにどのように合成するかを調節します。描画モードの効果を適用する場合は、次の点について理解しておくと役に立ちます。

- 基本色は、画像内の元のカラーです。
- 合成色は、ペイントツールや編集ツールで適用されるカラーです。
- 結果色は、合成により生成されるカラーです。



ヒトデのレイヤーに乗算モード（上）、スクリーンモード（中央）、輝度モード（下）を適用

オプションバーのモードメニューから次の描画モードのいずれかを選択することができます。

通常 各ピクセルを編集またはペイントして結果色を作成します。これは初期設定のモードです（通常モードは、モノクロ 2 階調やインデックスカラーモードの画像で作業するときには、*2* 階調化と呼ばれます）。

ディザ合成 各ピクセルを編集またはペイントして結果色を作成します。ディザ合成モードの結果色は、ピクセルの不透明度に応じて基本色や合成色でランダムに置き換えられます。このモードはブラシツールおよび大きなブラシでの作業で効果的です。

背景 レイヤーの透明部分でのみ編集またはペイントします。このモードは「透明ピクセルのロック」が選択されていないレイヤー上でのみ動作し、ガラスの裏にペイントしたような効果が得られます。

消去 各ピクセルを編集またはペイントして、透明にします。このモードはレイヤーパレットの「透明ピクセルのロック」の選択を解除したレイヤーでのみ使用できます。

比較（暗）各チャンネル内のカラー情報に基づき、基本色または合成色のいずれか暗い方を結果色として選択します。合成色よりも明るいピクセルが置き換えられ、合成色よりも暗いピクセルは変更されません。

乗算 各チャンネル内のカラー情報に基づき、基本色と合成色を乗算します。結果色は暗いカラーになります。どのカラーも、黒で乗算すると結果は黒になります。どのカラーも、白で乗算するとカラーは変更されません。黒または白以外のカラーでペイントしている場合、ペイントツールで繰り返しストロークを描くとカラーは徐々に暗くなります。これにより、複数のマジックマーカーで描画したような効果が得られます。

焼き込みカラー 各チャンネル内のカラー情報に基づき、基本色を暗くして合成色を反映します。白で合成した場合は、何も変更されません。

焼き込み（リニア）各チャンネル内のカラー情報に基づき、基本色を暗くして明るさを落とし、合成色を反映します。白で合成した場合は、何も変更されません。

比較（明）各チャンネル内のカラー情報に基づき、基本色または合成色のいずれか明るい方を結果色として選択します。合成色よりも暗いピクセルが置き換えられ、合成色よりも明るいピクセルは変更されません。

スクリーン 各チャンネル内のカラー情報に基づき、合成色と基本色を反転したカラーを乗算します。結果色は明るいカラーになります。黒でスクリーニングすると、カラーは変更されません。白で実行した場合には、白になります。この効果は、複数の写真スライドを重ね合わせて投影したような効果が得られます。

覆い焼きカラー 各チャンネル内のカラー情報に基づき、基本色を明るくして合成色を反映します。黒で合成した場合は、何も変更されません。

覆い焼き（リニア）- 加算 各チャンネル内のカラー情報に基づき、基本色を明るくして明るさを増し、合成色を反映します。黒で合成した場合は、何も変更されません。

カラー比較（明）合成色と基本色のすべてのチャンネル値の合計を比較し、より高い値のカラーを表示します。基本色と合成色の間でより高いチャンネルの値を選択して表示色が作り出されるので、完全に異なるカラーが生成されることはありません。

オーバーレイ 基本色に応じて、カラーを乗算またはスクリーンします。基本色のハイライトとシャドウを保持しながら、パターンやカラーが既存のピクセルに重なります。基本色は合成色と混合されて元の色の明るさや暗さを反映します。

ソフトライト 合成色に応じて、カラーを暗くまたは明るくします。このモードでは、画像上でスポットライトを照らしたような効果が得られます。合成色が 50 %グレーよりも明るい場合、画像は明るくなります。合成色が 50 %グレーよりも暗い場合、画像は暗くなります。白または黒でペイントすると、かなり暗い領域または明るい領域が生成されますが、純粋な白または黒にはなりません。

ハードライト 合成色に応じて、カラーを乗算またはスクリーンします。このモードは、画像上で直接スポットライトを照らしたような効果が得られます。合成色が 50 %グレーよりも明るい場合、画像は明るくなります。これは、画像にハイライトを追加するときに役立ちます。合成色が 50 %グレーよりも暗い場合、画像は暗くなります。これは、画像にシャドウを追加するときに役立ちます。白または黒でペイントすると、純粋な白または黒になります。

ビビッドライト 合成色に応じてコントラストを増加または減少させ、カラーの焼き込みまたは覆い焼きを行います。合成色（光源）が 50 %グレーより明るい場合は、コントラストを落として画像を明るくします。合成色が 50 %グレーよりも暗い場合、コントラストを強くすることで画像は暗くなります。

リニアライト 合成色に応じて明るさを減少または増加させ、カラーの焼き込みまたは覆い焼きを行います。合成色（光源）が 50 %グレーより明るい場合は、明るさを増して画像を明るくします。合成色が 50 %グレーよりも暗い場合、画像は明るさを減らすことで暗くなります。

ピンライト 合成色に応じて、カラーが置換されます。合成色（光源）が 50 %グレーより明るい場合、合成色より暗いピクセルは置換されます。合成色より明るいピクセルは、変更されません。合成色が 50 %グレーより暗い場合、合成色よ

り明るいピクセルは置換されます。合成色より暗いピクセルは変更されません。このモードは、画像に特殊な効果を適用するときに役立ちます。

ハードミックス 基本色と合成色に応じて、カラーを白、黒、レッド、グリーン、ブルー、イエロー、シアン、マゼンタに減らします。

差の絶対値 各チャンネル内のカラー情報に基づき、合成色を基本色から取り除くか、基本色を合成色から取り除きます。明るさの値の大きい方のカラーから小さい方のカラーを取り除きます。白と合成すると基本色の値が反転しますが、黒と合成しても変化はありません。

除外 差の絶対値モードと似ていますが、効果のコントラストはより低くなります。白で合成した場合は、基本色の値が反転されます。黒で合成した場合は、何も変更されません。

色相 ベースカラーの輝度と彩度、およびブレンドカラーの色相を持つ最終カラーが作成されます。

彩度 基本色の輝度と色相および合成色の彩度を使用して、結果色を作成します。彩度ゼロ（中間調のグレー領域）の領域をペイントしても何も変更されません。

カラー 基本色の輝度と、合成色の色相および彩度を使用して、結果色を作成します。これにより、画像内のグレーレベルが保持され、モノクロ画像のカラー化とカラー画像の階調化の際に使用されます。



カラーモードを使用して、シャツのカラーを変更する

輝度 基本色の色相および彩度と、合成色の輝度を使用して、結果色を作成します。このモードでは、カラーモードと反対の効果が作成されます。

Web セーフカラー

Web セーフカラーとは、Windows と Machintosh の両方のプラットフォームのブラウザで使用される 216 色のカラーのことです。Web セーフカラーのみを使用して Web 画像を作成した場合、Web ブラウザで表示する限り、常に正確に表示されます。

Adobe カラーピッカーの Web セーフカラーは、次のいずれかの方法を使用して識別できます。

- カラーピッカーの左下の「Web セーフカラーのみに制限」を選択し、カラーピッカーから任意のカラーを選択します。このオプションを選択すると、選択できるカラーはすべて Web セーフとなります。
- カラーピッカー内でカラーを選択します。Web セーフ以外のカラーを選択すると、カラーピッカーの右上領域にあるカラーボックスの横に立方体の警告記号 が表示されます。立方体の警告記号をクリックして最も近い Web セーフカラーを選択します（立方体の警告記号が表示されない場合、選択したカラーは Web セーフです）。

関連項目

290 ページの「スウォッチパレットの使用」

291 ページの「Adobe カラーピッカーの使用」

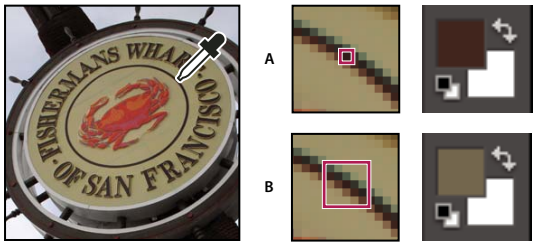
366 ページの「ディザ」

カラーの選択

スポイトツールを使用したカラーの選択

スポイトツールを使用すると、スウォッチを選択しなくてもカラーを簡単にコピーすることができます。スポイトツールは、画像からカラーをコピー（サンプル）して、新しい描画色または背景色を設定します。現在作業中の画像や開いている別の画像、コンピュータのデスクトップ上のカラーをサンプルすることができます。

いつでもカラーを使用できるようにするには、サンプルしたカラーをスウォッチパレットに追加します。また、スポイトツールでサンプルする領域の範囲を指定することもできます。例えば、ポインタの下の 5 ピクセル四方または 3 ピクセル四方の領域の平均値のカラーをサンプルするようにスポイトツールを設定することができます。



スポイトツールを使用した描画色の選択
A. 指定したピクセル **B.** 5 ピクセル四方の平均サンプル

1 スタンダード編集のツールボックスから、スポイトツール を選択します。

2（オプション）スポイトツールのサンプル範囲を変更するには、オプションバーのサンプル範囲メニューからオプションを選択します。

- 「指定したピクセル」では、クリックしたピクセルの正確な値がサンプルされます。
- 「3 ピクセル四方の平均」または「5 ピクセル四方の平均」では、クリックした領域周辺で指定ピクセル数内のカラーの平均値がサンプルされます。

3 次のいずれかの操作を行って、カラーを選択します。

- 画像から新しい描画色を選択するには、画像内の目的のカラーをクリックします。コンピュータ画面上のカラーを選択するには、画像の内側でクリックし、マウスボタンを押しながらサンプルする色までドラッグします。
- 画像から新しい背景色を選択するには、Alt キーを押しながら目的のカラーをクリックします。

スポイトツールをクリックしてドラッグすると、描画色ボックスが変化します。

4 新しいカラーを選択するには、マウスボタンを放します。

注意：ほとんどのペイントツールの使用中にスポイトツールに一時的に切り替えることができます。この結果、別のツールを選択しないでカラーをすばやく変更できます。Alt キーを押したままにします。カラーを選択したら、Alt キーを放します。

関連項目

285 ページの「描画色と背景色」

ツールボックスからのカラーの選択

❖ 次のいずれかの操作を行います。

- 描画色ボックスと背景色ボックスを黒と白に設定するには、描画色と背景色を初期設定に戻すアイコン をクリックします。
- 描画色ボックスと背景色ボックスのカラーを入れ替えるには、描画色と背景色を入れ替えアイコン をクリックします。

- 描画色を変更するには、ツールボックスの左上のカラーボックスをクリックし、カラーピッカーからカラーを選択します。
- 背景色を変更するには、ツールボックスの右下のカラーボックスをクリックし、カラーピッカーからカラーを選択します。

関連項目

285 ページの「描画色と背景色」

スウォッチパレットの使用

スウォッチパレット（ウインドウ／スウォッチ）は、画像で頻繁に使用するカラーを格納しておくのに便利です。スウォッチパレットでスウォッチをクリックすると、描画色や背景色を選択することができます。カラーを追加または削除してカスタムスウォッチライブラリを作成したり、スウォッチライブラリを保存し、後から読み込んで別の画像に使用したりすることができます。スウォッチパレット上に表示されるサムネールの表示方法を変更するには、詳細メニューのオプションを選択します。

スウォッチパレットには多数のカラーを追加できますが、パフォーマンスを向上させるには、パレットのサイズと構成を管理する必要があります。ライブラリを作成すると、作業ごとに関連するスウォッチや特定のスウォッチをグループ化できるので、パレットサイズが大きくなりすぎるのを抑えることができます。

Photoshop Elements¥Presets¥Color Swatches フォルダには、様々なスウォッチライブラリが含まれます。カスタムライブラリを作成して Color Swatches フォルダに保存すると、それらのライブラリは自動的にスウォッチパレットのライブラリのポップアップメニューに表示されます。

関連項目

311 ページの「プリセットマネージャの使用」

スウォッチパレットを使用したカラーの選択

1 スタンダード編集でスウォッチパレットが開いていない場合は、ウインドウ／スウォッチを選択します。

2（オプション）パレットの左上にあるポップアップメニューからスウォッチライブラリ名を選択します。

3 次のいずれかの操作を行います。

- 描画色を選択するには、パレットのカラーをクリックします。
- 背景色を選択するには、Ctrl キーを押しながら、パレットのカラーをクリックします。

スウォッチパレットへのカラーの追加

頻繁に使用するカラーがある場合は、そのカラーをスウォッチパレットにスウォッチとして保存できます。保存されたスウォッチは、パレットのカラーライブラリに追加されます。カスタムスウォッチを永続的に保存するには、ライブラリ全体を保存する必要があります。

1 スタンダード編集で、ツールボックスの描画色をパレットに追加する色に変更します。

2 スウォッチパレットで次のいずれかの操作を行います。

- パレットの一番下の描画色の新規スウォッチを作成ボタン  をクリックします。スウォッチが追加され、自動的にスウォッチ 1 という名前が付けられます。
- 詳細メニューから「新規スウォッチ」を選択します。
- スウォッチパレットの一番下の列にある空のスペースにポインタを合わせて（ポインタは、塗りつぶしツールに変わります）クリックし、描画色をパレットに追加します。



スポイトツールでのカラーの選択と新規スウォッチとしての追加

3 新しいカラーの名前を入力し、「OK」をクリックします。

4 スウォッチライブラリを保存するように求められたら、保存ダイアログボックスに新しい名前を入力し、「保存」をクリックします。

カスタムスウォッチライブラリの保存および使用

❖ スウォッチパレットで次のいずれかの操作を行います。

- スウォッチのライブラリを保存するには、詳細メニューから「スウォッチの保存」を選択します。スウォッチライブラリがパレットのスウォッチライブラリのポップアップメニューに表示されるようにするには、Program Files¥Adobe¥Photoshop Elements 6.0¥Presets¥Color Swatches フォルダにファイルを保存します。

注意：メニューに新しいスウォッチが表示されることを確認するには、Photoshop Elements を再起動する必要があります。

- スウォッチライブラリの選択と読み込みを行うには、パレットの詳細メニューから「スウォッチの読み込み」を選択します。
- 現在のスウォッチライブラリを別のライブラリと置き換えるには、パレットの詳細メニューから「スウォッチの置き換え」を選択し、ライブラリを選択します。

スウォッチライブラリの初期設定のスウォッチへのリセット

1 写真編集モードで、スウォッチパレットのポップアップメニューからスウォッチライブラリを選択します。

2 スウォッチパレットの詳細メニューから「プリセットマネージャ」を選択します。

3 プリセットマネージャダイアログボックスのプリセットの種類メニューから「スウォッチ」を選択します。

4 詳細メニューから「スウォッチの初期化」を選択し、「完了」をクリックします。

スウォッチパレットからのカラーの削除

1 次のいずれかの操作を行います。

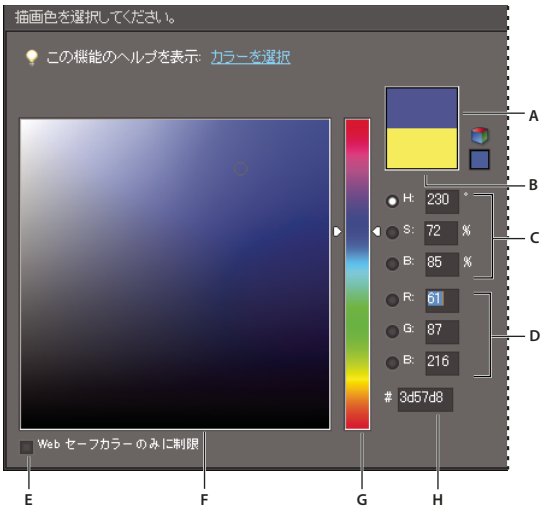
- スウォッチをパレットのごみ箱ボタンにドラッグし、「OK」をクリックして削除を確定します。
- Alt キーを押してポインタをはさみのアイコンに変えてから、スウォッチパレットの色をクリックします。

2 ライブラリを保存するように求められたら、保存ダイアログボックスに名前を入力し、「保存」をクリックします。

注意：スウォッチを完全に削除するには、そのスウォッチを含むライブラリを保存し直す必要があります。

Adobe カラーピッカーの使用

Adobe カラーピッカーでは、カラースペクトラムから選択するか、数値でカラーを定義して描画色や背景色を選択することができます。HSB または RGB カラーモデルに基づいてカラーを選択したり、Web セーフカラーだけを使用するように指定することもできます。



Adobe カラーピッカー
A. 調整されたカラー **B.** 元のカラー **C.** HSB カラー値 **D.** RGB カラー値 **E.** Web カラーだけを表示 **F.** カラーフィールド **G.** カラースライダ **H.** 16 進数カラー値

1 スタンダード編集のツールボックスで、描画色ボックスまたは背景色ボックスをクリックして、カラーピッカーを表示します。

2 カラーフィールドの内側をクリックします。カラーフィールド内をクリックすると、フィールド内のカラーの位置が円形マーカーで示され、新しいカラーを反映して数値が変化します。

3 スライダに沿って白の三角形をドラッグし、別のカラーを選択します。

4 数値を入力してカラーを指定するには、次のいずれかの操作を行います。

- RGB 値の下にあるテキストボックスに 16 進数カラー値を入力します（16 進数カラー値は Web デザイナーが頻繁に使用します）。
- RGB カラーの場合、ラジオボタンを選択し、コンポーネントの値を 0 ～ 255 の間で指定します（0 はまったく光のない状態で、255 は最も明るい色です）。
- HSB カラーの場合、ラジオボタンを選択し、彩度と明るさをパーセント値で指定し、色相をカラーホイール上の場所に対応する 0° から 360° の角度で指定します。

5 カラースライダの右上にあるカラーボックスでは、新しいカラーを上半分に表示します。元のカラーは下半分に表示されます。

6「OK」をクリックして、新しいカラーでのペイントを開始します。

注意：システムに組み込まれているカラーピッカーやプラグインのカラーピッカーを使用してカラーを選択することができます。編集／環境設定／一般を選択し、カラーピッカーを選択します。

ペイントツール

ブラシツールの使用

ブラシツール は、ぼやけた、または、はっきりとしたカラーのストロークを作成します。このツールを使用して、エアブラシのような効果を付けることができます（ブラシツールがツールボックスに表示されない場合は、印象派ブラシツール または色の置き換えツール を選択し、オプションバーのブラシツールアイコンをクリックします）。

1 写真編集モードで、描画色を設定して、ペイントするカラーを選択します。

2 ツールボックスでブラシツールを選択します。

3 オプションバーで目的のブラシツールオプションを指定し、画像内でドラッグしてペイントします。

直線を描画するには、画像内の開始点をクリックします。次に Shift キーを押しながら終了点をクリックします。

次のいずれかのブラシツールオプションを指定できます。

ブラシ ブラシ先端を設定します。ブラシサンプルの横にある矢印をクリックしてブラシポップアップメニューからブラシのカテゴリーを選択し、使用するブラシのサムネールを選択します。

サイズ ブラシのサイズをピクセル数で設定します。サイズポップアップスライダをドラッグするか、テキストボックスにサイズを入力します。

モード 適用するペイントが画像内の既存のピクセルにどのように合成されるかを指定します。

不透明度 適用するペイントの不透明度を設定します。不透明度を低く設定すると、ペイントストロークの下のピクセルが透けて見えます。不透明度のポップアップスライダをドラッグするか、値を入力します。

エアブラシ機能を有効化 エアブラシ機能を有効にします。このオプションは徐々に変化する色調を画像に適用することによって、従来のエアブラシのような効果を作り出します。

ブラシタブレットオプション マウスではなく筆圧感知描画タブレットを使用する場合にタブレットを制御するためのオプションを設定します

ブラシ機能拡張のオプション その他のブラシオプションを設定します。

関連項目

286 ページの「描画モード」

285 ページの「描画色と背景色」

298 ページの「ブラシオプション」

300 ページの「ブラシライブラリへの新しいブラシの追加」

301 ページの「筆圧感知タブレットサポートの有効化」

鉛筆ツールの使用

鉛筆ツール では、輪郭のはっきりしたラインをフリーハンドで作成できます。

1 写真編集モードで、描画色を設定して、ペイントするカラーを選択します。

2 ツールボックスで鉛筆ツールを選択します（鉛筆ツールはブラシツール の中にあります）。

3 オプションバーで目的の鉛筆ツールオプションを指定し、画像内でドラッグしてペイントします。

直線を描画するには、画像内の開始点をクリックします。次に Shift キーを押しながら終了点をクリックします。

次のいずれかの鉛筆ツールオプションを指定できます。

ブラシ ブラシ先端を設定します。ブラシサンプルの横にある矢印をクリックしてブラシポップアップメニューからブラシのカテゴリーを選択し、使用するブラシのサムネールを選択します。

サイズ ブラシのサイズをピクセル数で設定します。サイズポップアップスライダをドラッグするか、テキストボックスにサイズを入力します。

モード 適用するペイントが画像内の既存のピクセルにどのように合成されるかを指定します。

不透明度 適用するペイントの不透明度を設定します。不透明度を低く設定すると、ペイントストロークの下のピクセルが透けて見えます。不透明度のポップアップスライダをドラッグするか、値を入力します。

自動消去 描画色で描かれている領域では、背景色を使用してペイントします。描画色以外で描かれている領域では、描画色を使用してペイントします。

関連項目

286 ページの「描画モード」

285 ページの「描画色と背景色」

285 ページの「ペイントツール」

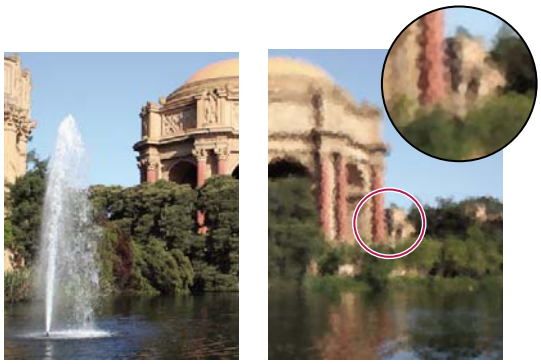
298 ページの「ブラシオプション」

印象派ブラシツールの使用

印象派ブラシツールを使用すると、画像の既存のカラーと細部を変更することにより、スタイル化したブラシストロークでペイントしたような効果を写真に与えることができます。様々なスタイルや領域範囲、許容値オプションを試すことによって、多様なスタイルのペイントテクスチャを擬似的に再現することができます。

1 写真編集モードのツールボックスから、印象派ブラシツール を選択します（印象派ブラシツールがツールボックスに表示されない場合は、ブラシツール または色の置き換えツール を選択し、オプションバーの印象派ブラシツールアイコンをクリックします）。

2 オプションバーで目的のオプションを指定し、画像内でドラッグしてペイントします。



元の写真（左）と印象派ブラシツールを使用した後の写真（右）

次のいずれかのオプションを指定できます。

ブラシ ブラシ先端を設定します。ブラシサンプルの横にある矢印をクリックしてブラシポップアップメニューからブラシのカテゴリーを選択し、使用するブラシのサムネールを選択します。

サイズ ブラシのサイズをピクセル数で設定します。サイズポップアップスライダをドラッグするか、テキストボックスにサイズを入力します。

モード 適用するペイントが画像内の既存のピクセルにどのように合成されるかを指定します。（詳しくは、286 ページの「描画モード」を参照してください）。

不透明度 適用するペイントの不透明度を設定します。不透明度を低く設定すると、ペイントストロークの下のピクセルが透けて見えます。不透明度のポップアップスライダをドラッグするか、値を入力します。

印象派ブラシツールの詳細オプション「スタイル」は、ブラシストロークのシェイプを制御するのに使用します。「範囲」は、ブラシストロークのサイズを制御するのに使用します。範囲の値を大きくすると、ストロークの数は増えます。「許容値」は、隣接ピクセルのカラー値がどの程度近似していればブラシストロークが適用されるかを調節するのに使用します。

関連項目

298 ページの「ブラシオプション」

指先ツールの使用

指先ツールは、塗りたてのペンキを指でこすったような効果を出します。このツールは、ストロークを開始した場所のカラーを、ドラッグする方向に引き出します。画像内の既存のカラーをこすったり、新たに描画色でこすったりできます。



元の画像（左）と、一部をこすった後の写真（右）

1 写真編集モードのツールボックスから、指先ツール を選択します（指先ツールがツールボックスに表示されない場合は、ぼかしツール またはシャープツール を選択し、オプションバーの指先ツールアイコンをクリックします）。

2 オプションバーでオプションを指定し、画像内でドラッグしてカラーをこすります。

指先ツールでドラッグしながら「フィンガーペイント」オプションを一時的に使用するには、Alt キーを押します。

次のいずれかの指先ツールオプションを指定できます。

ブラシ ブラシ先端を設定します。ブラシサンプルの横にある矢印をクリックしてブラシポップアップメニューからブラシのカテゴリーを選択し、使用するブラシのサムネールを選択します。

サイズ ブラシのサイズをピクセル数で設定します。サイズポップアップスライダをドラッグするか、テキストボックスにサイズを入力します。

モード 適用するペイントが画像内の既存のピクセルにどのように合成されるかを指定します。（詳しくは、286 ページの「描画モード」を参照してください）。

強さ 指先ツールの効果のレベルを設定します。

すべてのレイヤー 表示しているすべてのレイヤーからのカラーを使用してこすります。このオプションを選択していない場合、指先ツールはアクティブレイヤーからのカラーだけを使用します。

フィンガーペイント 描画色を使用して各ストロークの開始位置からこすったような効果を付けます。このオプションを選択していない場合、指先ツールでは各ストロークの開始位置のカラーが使用されます。

関連項目

144 ページの「レイヤーについて」

298 ページの「ブラシオプション」

消しゴムツールの使用

消しゴムツールは、ドラッグした部分のピクセルを変更するツールです。背景レイヤーや透明度がロックされたレイヤーで作業している場合は、ピクセルが消去された部分は背景色に変わります。それ以外のレイヤーで作業している場合は、ピクセルが消去された部分は透明になります。透明ピクセルは、透明グリッドで示されます。

1 ツールボックスで消しゴムツール を選択します（消しゴムツールがツールボックスに表示されない場合は、背景消しゴムツール またはマジック消しゴムツール を選択し、オプションバーの消しゴムツールアイコンをクリックします）。

2 オプションバーで目的のオプションを設定し、消去する領域をドラッグします。

次のいずれかの消しゴムツールオプションを指定できます。

ブラシ ブラシ先端を設定します。ブラシサンプルの横にある矢印をクリックしてブラシポップアップメニューからブラシのカテゴリーを選択し、使用するブラシのサムネールを選択します。

サイズ ブラシのサイズをピクセル数で設定します。サイズポップアップスライダをドラッグするか、テキストボックスにサイズを入力します。

モード「ブラシ」モードを使用すると、ブラシツールの特性が使用され、ソフトな線で消去することができます。「鉛筆」モードを使用すると、鉛筆のようにハードな線で消去されます。「ブロック」モードを使用すると、はっきりした輪郭の 16 ピクセルの四角形が消しゴムとして使用されます。

不透明度 消去の度合いを定義します。不透明度を 100 %にすると、ピクセルが消去された部分はレイヤー上では完全に透明になり、背景レイヤー上では背景色になります。不透明度が低いと、ピクセルが消去された部分はレイヤー上では半透明になり、背景レイヤー上では背景色で半透明にペイントされます（オプションバーでモードに「ブロック」が選択されている場合は、「不透明度」オプションを使用できません）。

関連項目

286 ページの「描画モード」

298 ページの「ブラシオプション」

マジック消しゴムツールの使用

マジック消しゴムツールを写真内でドラッグすると、すべての近似ピクセルが変更されます。透明度がロックされたレイヤーで作業する場合、ピクセルは背景色に変わります。透明度がロックされていないレイヤーで作業する場合、ピクセルは透明に変わります。現在のレイヤー上で隣接しているピクセルだけを消去するか、すべての近似ピクセルを消去するかを選択できます。



元の画像（左）と、雲を消去した後の画像（右）

1 スタンダード編集のレイヤーパレットから、消去する領域を含んでいるレイヤーを選択します。

注意：消去する領域として背景を選択してマジック消しゴムを使用すると、背景は自動的にレイヤーに変わります。

2 ツールボックスでマジック消しゴムツール を選択します（マジック消しゴムツールがツールボックスに表示されない場合は、消しゴムツール または背景消しゴムツール を選択し、オプションバーのマジック消しゴムツールアイコンをクリックします）。

3 オプションバーで目的のオプションを設定し、消去するレイヤーの領域をクリックします。

次のいずれかのマジック消しゴムツールオプションを設定できます。

許容値 消去する色の範囲を定義します。許容値を低く設定すると、クリックしたピクセルと非常に近いカラー値の範囲内のピクセルだけが消去されます。許容値を高く設定すると、広いカラー範囲のピクセルが消去されます。

アンチエイリアス 消去する領域のエッジを滑らかにし、エッジをより自然に見えるようにします。

隣接 クリックしたピクセルに隣り合うピクセルだけが消去されます。画像内にあるカラー値の近いピクセルをすべて消去するには、このオプションの選択を解除します。

すべてのレイヤー すべての表示レイヤーからのデータを組み合わせて、消去するカラーをサンプルします。アクティブレイヤーのピクセルだけを消去する場合は、このオプションの選択を解除します。

不透明度 消去の度合いを定義します。不透明度を 100 %にすると、ピクセルが消去された部分はレイヤー上では完全に透明になり、ロックされたレイヤー上では背景色になります。不透明度が低いと、ピクセルが消去された部分はレイヤー上では半透明になり、ロックされたレイヤー上では背景色で半透明にペイントされます。

関連項目

286 ページの「描画モード」

298 ページの「ブラシオプション」

145 ページの「レイヤーパレット」

186 ページの「アンチエイリアスにより選択範囲のエッジを滑らかにする」

背景消しゴムツールの使用

背景消しゴムツールは、カラーピクセルを透明ピクセルに変換します。これにより、オブジェクトを背景から簡単に削除することができます。慎重に使用することで、描画オブジェクトのエッジを維持しながら、背景のフリンジピクセルを取り除くことができます。

背景消しゴムツールのポインタは、円の中に十字が含まれています。十字は、ツールのホットスポットを示しています。ポインタをドラッグすると、円の中のピクセルとホットスポットの下のピクセルに近似するカラー値のピクセルが消去されます。円が描画オブジェクトに重なった場合、ホットスポットのピクセルに近似するピクセルがなければ、描画オブジェクトは消去されません。



不要な背景を消去します。コピースタンプツールを使用するか、別のレイヤーを追加することによって、背景を別の背景に置き換えることができます。

1 スタンダード編集のレイヤーパレットから、消去する領域を含んでいるレイヤーを選択します。

注意：消去する領域として背景を選択して背景消しゴムを使用すると、背景は自動的にレイヤーに変わります。

2 背景消しゴムツール を選択します（背景消しゴムツールがツールボックスに表示されない場合は、消しゴムツール またはマジック消しゴムツール を選択し、オプションバーの背景消しゴムツールアイコンをクリックします）。

3 オプションバーで目的のオプションを設定し、消去する領域をドラッグします。ツールのホットスポットは、消去しない領域に置かないでください。

次のいずれかの背景消しゴムツールオプションを指定できます。

ブラシプリセットピッカー サイズ、直径、硬さ、間隔など、ブラシのプリセットを設定します。ポップアップスライダをドラッグするか、テキストボックスに値を入力します。

制限「隣接」を選択すると、ホットスポットのカラーを含んでいて隣接している領域だけが消去されます。「隣接されていない」を選択すると、ホットスポットのカラーと近似する円の中のピクセルが消去されます。

許容値 ピクセルがどの程度ホットスポットのカラーに近似していればツールが適用されるかを定義します。許容値を低く設定すると、ホットスポットのカラーに非常に近いカラー領域だけが消去されます。許容値が高いと、消去されるカラーの範囲が大きくなります。

関連項目

298 ページの「ブラシオプション」

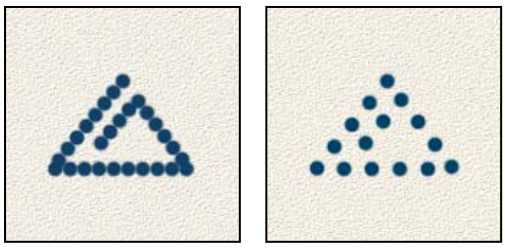
ブラシの設定

ブラシオプション

ブラシツールストロークのフェードアウト率を設定することによって、実際のブラシストロークを擬似的に再現することができます。ストロークの散布や、サイズ、カラーを含め、ブラシストロークのコースを動的に変更するオプションを指定できます。ブラシ機能拡張使用オプションを調整すると、ブラシの変化を反映してオプションバーのブラシのサムネールが変わります。

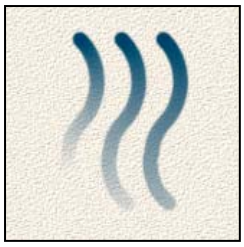
ブラシ機能拡張使用オプションを設定するには、ブラシツールを選択し、オプションバーのその他のオプションメニューで次のコントロールのいずれかを選択します。

間隔 ストローク内のブラシマーク間の距離を調節します。間隔を変更するには、数値を入力するか、スライダを使用してブラシ直径のパーセント値を指定します（オプションバーのブラシのサムネールは、間隔の変更を反映して動的に変化します）。



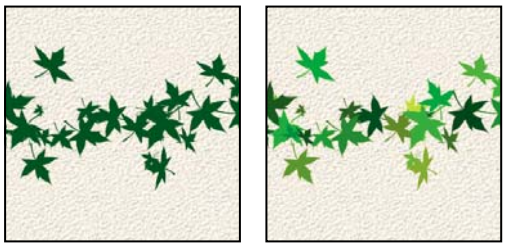
間隔を広げると、ブラシのストロークがまばらになります。

フェード ペイント流量がフェードしてなくなるまでのステップ数を設定します。値を低く設定するとペイントストロークは非常に短くなり、ゼロ値を設定するとフェード効果は作り出されません。各ステップは、ブラシの先端のマーク 1 つに相当します。0 ～ 9999 の範囲の値で指定できます。例えば、フェードに 10 を入力すると、10 個目のブラシマークでフェードが完了します。小さいブラシの場合は 25 以上の値の設定が効果的です。ストロークのフェードが速すぎる場合は、値を増やします。



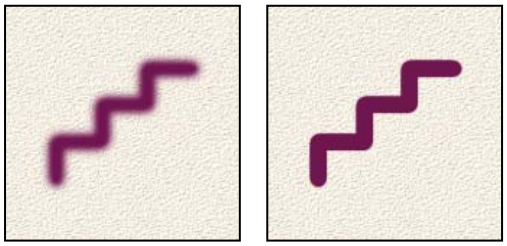
左から 40、60、80 ステップのフェード

カラーのジッター ストロークのカラーを描画色と背景色の間でどのように変化させるかを設定します。設定する値が高いほど、変化の量は大きくなります（「カラーのジッター」オプションを使用してカラーを設定するには、285 ページの「描画色と背景色」を参照してください）。



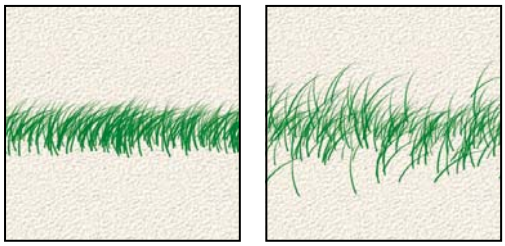
カラーのジッターなし / ありのペイントストローク

硬さ ブラシのぼかしの開始位置の中心サイズを調節します。数値を入力するか、スライダを使用してブラシ直径のパーセント値を指定します。



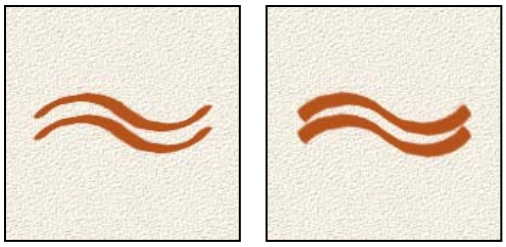
硬さの異なるブラシストローク

散布 ブラシ散布では、ブラシマークをどのようにストロークに散布するかを定義します。低い値を設定すると、ペイント散布が少なくて密度の濃いストロークが作り出され、高い値を設定すると、散布領域が広がります。



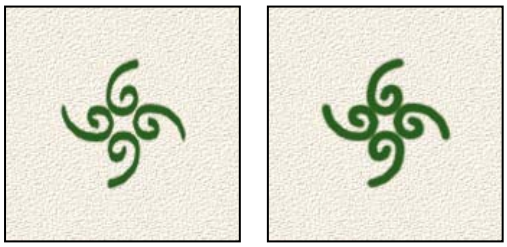
散布値の低いブラシストロークと高いブラシストローク

角度 楕円形のブラシの長軸が、水平軸からオフセットする角度を指定します。値を度数で入力するか、アイコン内の矢印をドラッグして任意の角度に設定します。



ブラシに角度を付け、彫刻刀で描いたようなストローク

真円率 ブラシの短軸と長軸の間の比率を指定します。パーセント値を入力するか、アイコン内の黒丸を矢印から外に向かって、または矢印に向かってドラッグします。100 %の値は円形ブラシを示し、0 %の値は線形ブラシを示し、その中間の値は楕円形ブラシを示します。



真円率の設定によって形の異なるブラシ先端

関連項目

286 ページの「描画モード」

ブラシライブラリへの新しいブラシの追加

1 ブラシツール を選択します。

2 ブラシサンプルの横にある矢印をクリックして、オプションバーにポップアップパレットを表示します。次にブラシポップアップメニューからカテゴリーを選択し、修正するブラシをブラシリストから選択します。

3 オプションバーを使用してブラシを修正します。

4 ブラシサンプルの横の矢印をクリックしてパレットメニューを表示し、「新規ブラシ」を選択します。

5 ブラシ名ダイアログボックスに名前を入力し、「OK」をクリックします。

オプションバーで新しいブラシが選択され、ブラシポップアップパレットの一番下に追加されます。

ブラシの削除

1 ブラシツール を選択します。

2 ブラシサンプルの横の矢印をクリックし、オプションバーにブラシポップアップパレットを表示します。

3 次のいずれかの操作を行います。

- Alt キーを押してポインタをはさみに変え、削除するブラシを選択します。
- ポップアップパレットでブラシを選択し、パレットメニューから「ブラシを削除」を選択します。
- パレットメニューから「プリセットマネージャ」を選択し、プリセットの種類ポップアップメニューから「ブラシ」を選択します。次にダイアログボックス内のリストからブラシを選択し、「削除」ボタンをクリックします。

画像からのカスタムブラシシェイプの作成

写真内の領域を選択することにより、カスタムブラシを作成できます。ブラシは、その選択範囲のグレースケールバージョンを使用し、画像に描画色を適用します。例えば、葉を選択し、秋のカラーを使用してペイントできます。ブラシツールを使用して新しいブラシシェイプを描くこともできます。レイヤー全体または選択範囲からカスタムブラシシェイプを作成できます。カスタムブラシシェイプのサイズは、最大で 2500 x 2500 ピクセルです。



犬のカスタムブラシを作成します。このブラシでペイントするときには、犬にペイントします。

1 次のいずれかの操作を行います。

- 画像の一部をカスタムブラシとして使用するには、画像の一部を選択します。
- レイヤー全体をカスタムブラシとして使用するには、すべての選択を解除します。

ペイントツールを使用してブラシシェイプを描画します。ハードなエッジやソフトなエッジのストロークを使用したり、ストロークの不透明度を変化させてソフトなエッジの効果を実現したりすることができます。

2 編集メニューから「ブラシを定義」または「選択範囲からブラシを定義」を選択します。

3 新しいブラシに名前を付け、「OK」をクリックします。

関連項目

311 ページの「プリセットマネージャの使用」

筆圧感知タブレットサポートの有効化

Photoshop Elements は、Wacom® タブレットなどのほとんどの筆圧感知入力デジタルタブレットと互換性があります。タブレットのソフトウェアコントロールパネルがインストールされていれば、選択したタブレットオプション、および筆圧感知入力で適用した圧力量に基づいてブラシツールのプロパティを変更できます。

❖ 写真編集モードで、ツールボックスからブラシツールを選択し、オプションバーのタブレットオプションで筆圧を設定します。

塗りつぶしおよびストローク

塗りつぶしツールの使用

塗りつぶしツール は、クリックしたピクセルと近いカラー値を持つ領域を塗りつぶします。描画色またはパターンで領域を塗りつぶすことができます。

1 写真編集モードで、描画色を選択します。

2 ツールボックスから塗りつぶしツールを選択します。

3 オプションバーで目的のオプションを設定し、塗りつぶす画像の一部をクリックします。

レイヤー上の透明な領域を塗りつぶさない場合は、レイヤーパレットでレイヤーの透明部分をロックします。

次のいずれかの塗りつぶしツールオプションを指定できます。

パターン 塗りつぶしに使用するパターンを設定します。

モード 適用するペイントが画像内の既存のピクセルにどのように合成されるかを指定します。

不透明度 適用するペイントの不透明度を設定します。不透明度を低く設定すると、ペイントストロークの下のピクセルが透けて見えます。不透明度のポップアップスライダをドラッグするか、値を入力します。

許容値 どの程度類似するカラーのピクセルを塗りつぶすかを定義します。許容値を低く設定すると、クリックしたピクセルと非常に近いカラー値のピクセルだけが塗りつぶされます。許容値を高く設定すると、より広いカラー範囲のピクセルを塗りつぶします。

アンチエイリアス 塗りつぶす選択範囲のエッジを滑らかにします。

隣接 隣接する近似色のピクセルを塗りつぶします。隣接しているかどうかに関係なく、画像内にあるカラー値の近いピクセルをすべて塗りつぶすには、このオプションの選択を解除します。「許容値」オプションは、どの程度類似するカラーを塗りつぶすかを定義します。

すべてのレイヤー 表示しているすべてのレイヤーで、「許容値」オプションおよび「隣接」オプションで設定されたレベルに該当する近似色のピクセルを塗りつぶします。

関連項目

285 ページの「描画色と背景色」

286 ページの「描画モード」

186 ページの「アンチエイリアスにより選択範囲のエッジを滑らかにする」

159 ページの「塗りつぶしレイヤーの作成」

カラーまたはパターンによるレイヤーの塗りつぶし

ブラシツールではなく、「レイヤーの塗りつぶし」を使用して、塗りつぶしやパターンを画像に適用できます。塗りつぶしレイヤーを使用することで、より柔軟に塗りつぶしおよびパターンのプロパティを変更し、塗りつぶしレイヤーのマスクを編集してグラデーションを画像の一部に制限することができます。

1 写真編集モードで、描画色または背景色を指定します。

2 塗りつぶす領域を選択します。レイヤー全体を塗りつぶすには、レイヤーパレットでレイヤーを選択します。

3 編集／塗りつぶしレイヤーを選択します。

4 レイヤーの塗りつぶしダイアログボックスでオプションを設定し、「OK」をクリックします。

内容 使用メニューからカラーを選択します。使用メニューにないカラーを選択するには、「カラー」を選択し、カラーピッカーでカラーを選択します。「パターン」を選択すると、パターンで塗りつぶされます。

カスタムパターン 使用メニューで「パターン」を選択した場合に使用するパターンを指定します。パターンライブラリからパターンを選択したり、独自のパターンを作成することができます。

描画モード 適用するカラーパターンが画像内の既存のピクセルにどのように合成されるかを指定します。

不透明度 適用するカラーパターンの不透明度を設定します。

透明部分の保持 不透明ピクセルだけを塗りつぶします。

関連項目

303 ページの「パターン」

286 ページの「描画モード」

285 ページの「描画色と背景色」

159 ページの「塗りつぶしレイヤーの作成」

レイヤー上のオブジェクトへの境界線（輪郭）の描画

「境界線を描く」コマンドを使用して、選択範囲やレイヤーの内容の周囲の輪郭をカラーで自動的に描画することができます。

注意：背景レイヤーに輪郭を追加するには、まず普通のレイヤーに変換する必要があります。背景レイヤーには透明ピクセルは含まれないので、レイヤー全体の輪郭が描画されます。

1 写真編集モードで、レイヤーパレットから画像内の領域またはレイヤーを選択します。

2 編集／選択範囲の境界線を描くを選択します。

3 境界線を描くダイアログボックスで、次のいずれかのオプションを設定し、「OK」をクリックして輪郭を追加します。

幅 ハードなエッジの輪郭の幅を指定します。1 ～ 250 ピクセルの値を指定できます。

カラー 輪郭のカラーを設定します。スウォッチをクリックしてカラーピッカーからカラーを選択します。

位置 選択範囲やレイヤーの境界線の内側、外側または中央のいずれに輪郭を配置するかを指定します。

描画モード 適用するペイントが画像内の既存のピクセルにどのように合成されるかを指定します。

不透明度 適用するペイントの不透明度を設定します。不透明度の値を入力するか、矢印をクリックしてポップアップスライダをドラッグします。

透明部分の保持 レイヤーの不透明ピクセルを含む領域にだけ境界線を描きます（画像に透明な部分がない場合、このオプションは無効です）。

関連項目

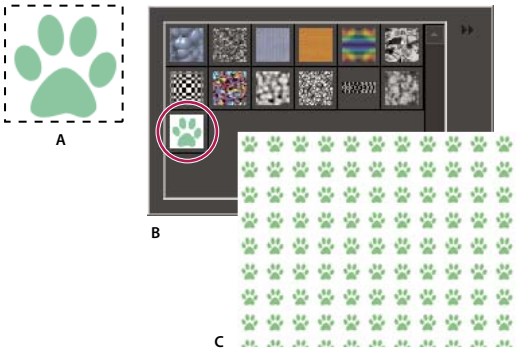
286 ページの「描画モード」

パターン

パターン

パターンスタンプツールでパターンをペイントしたり、パターンライブラリから選択したパターンで選択範囲やレイヤーを塗りつぶしたりできます。Photoshop Elements では、いくつかのパターンから選択できます。

画像をカスタマイズしたり、世界で 1 つだけのフォトページを作成するために、独自のパターンを作成できます。作成したパターンはライブラリに保存し、プリセットマネージャ、またはパターンスタンプツールおよび塗りつぶしツールのオプションバーに表示されるパターンポップアップパレットを使用してパターンのライブラリを読み込むことができます。パターンを保存することにより、複数の画像内でパターンを簡単に使用できるようになります。



カスタムパターンの作成
A. パターンに使用する範囲を長方形で選択 **B.** パターンピッカーのカスタムパターン **C.** カスタムパターンで塗りつぶされた新しい画像

関連項目

302 ページの「カラーまたはパターンによるレイヤーの塗りつぶし」

311 ページの「プリセットマネージャの使用」

パターンスタンプツールの使用

パターンスタンプツール では、編集中の画像や別の画像から定義したパターン、または既存のパターンを使用してペイントすることができます。

1 写真編集モードで、ツールボックスからパターンスタンプツールを選択します（パターンスタンプツールがツールボックスに表示されない場合は、コピースタンプツール を選択し、オプションのパターンスタンプツールをクリックします）。

2 オプションバーのパターンポップアップパレットからパターンを選択します。追加のパターンライブラリを読み込むには、パレットメニューからライブラリ名を選択するか、「パターンの読み込み」を選択してライブラリが保存されているフォルダに移動します。また、オリジナルのパターンを定義することもできます。

3 オプションバーで目的のパターンスタンプツールオプションを指定し、画像内でドラッグしてペイントします。

次のいずれかのパターンスタンプツールオプションを指定できます。

ブラシピッカー ブラシ先端を設定します。ブラシサンプルの横にある矢印をクリックしてブラシポップアップメニューからブラシのカテゴリーを選択し、使用するブラシのサムネールを選択します。

サイズ ブラシのサイズをピクセル数で設定します。サイズポップアップスライダをドラッグするか、テキストボックスにサイズを入力します。

モード 適用するペイントが画像内の既存のピクセルにどのように合成されるかを指定します。（286 ページの「描画モード」を参照してください）。

不透明度 適用するパターンの不透明度を設定します。不透明度を低く設定すると、パターンストロークの下のピクセルが透けて見えます。不透明度のポップアップスライダをドラッグするか、値を入力します。

調整あり 連続した同型のデザインとしてパターンを繰り返し表示します。パターンは 1 つのペイントストロークから次のペイントストロークに向かって整列されます。「調整あり」の選択を解除している場合は、ペイントを停止および再開するたびにパターンがポインタの中心に配置されます。

印象派効果 色を置くようにパターンをペイントして印象派効果を作成します。

関連項目

302 ページの「カラーまたはパターンによるレイヤーの塗りつぶし」

パターンピッカーへのカスタムパターンの追加

1 次のいずれかの操作を行います。

- 画像の一部からパターンを作成するには、「ぼかし」を 0 ピクセルに設定して長方形で範囲を選択します。
- 画像全体のパターンを作成するには、すべての選択を解除します。

2 編集／選択範囲からパターンを定義を選択します。

3 パターン名ダイアログボックスにパターンの名前を入力します。

4 選択したパターンの選択を解除するには、選択範囲／選択を解除を選択します。

関連項目

174 ページの「選択範囲」

PostScript Patterns フォルダからのプリセットパターンの使用

PostScript Patterns フォルダにある各プリセットファイルには、個々のパターンが Adobe Illustrator 形式で含まれています。これらのパターンは任意の解像度で拡大縮小することができます。

1 ファイル／開くを選択します。

2 Program Files ¥ Adobe ¥ Photoshop Elements 6.0 ¥ Presets ¥ Patterns ¥ PostScript Patterns を選択します。

3 使用するパターンファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。

4 汎用 EPS ファイルをラスタライズダイアログボックスが開いたら、「OK」をクリックして先に進みます。

5 選択範囲／すべてを選択を選択するか、オプションバーの「ぼかし」を 0 ピクセルに設定して長方形でパターンの範囲を選択します。

6 編集／選択範囲からパターンを定義を選択します。パターンは、Adobe Photoshop Elements パターンとして定義されます。

7 パターン名ダイアログボックスにパターンの名前を入力し、「OK」をクリックします。

関連項目

311 ページの「プリセットマネージャの使用」

グラデーション

グラデーション

グラデーションツールで画像内をドラッグするか、領域を選択することによって、領域をグラデーションで塗りつぶします。グラデーションの外観は、グラデーションの種類と、開始点（マウスのボタンを最初にクリックした場所）と終了点（マウスのボタンを離す場所）との間の距離によって変わります。



グラデーションツールおよびグラデーションエディタを使用すると、写真内のカラーの混ざり具合をカスタマイズできます。

オプションバーで次のグラデーションタイプのいずれかを選択することができます。

線形グラデーション 開始点から終了点に向かって直線的に変わるグラデーションを作成します。

円形グラデーション 開始点から終了点に向かって放射状のグラデーションを作成します。

円錐形グラデーション 開始点の周囲で反時計回りに円錐状のグラデーションを作成します。

反射形グラデーション 開始点を中心に線対称に線形グラデーションを作成します。

菱形グラデーション 開始点から外側に向かって菱形パターンでグラデーションを作成します。終了点で、菱形の 1 つの角を定義します。

塗りつぶしレイヤーを使用して画像にグラデーションを適用することもできます。塗りつぶしレイヤーを使用することで、より柔軟にグラデーションのプロパティを変更し、塗りつぶしレイヤーのマスクを編集してグラデーションを画像の一部に適用するよう制限することができます。

グラデーションはライブラリに格納されています。グラデーションピッカーメニューに表示するグラデーションライブラリを変更するには、メニュー内の小さな三角形をクリックし、リストの一番下にあるライブラリを選択します。このメニューで独自のグラデーションライブラリを保存し、読み込むこともできます。プリセットマネージャを使用してグラデーションを管理することもできます。

関連項目

159 ページの「塗りつぶしレイヤーの作成」

グラデーションの適用

1 画像の一部を塗りつぶすには、いずれかの選択ツールを使用して塗りつぶす領域を選択します。領域を選択しない場合は、グラデーションによる塗りつぶしが選択されたレイヤー全体に適用されます。

2 グラデーションツール を選択します。

3 オプションバーで使用するグラデーションタイプをクリックします。

4 オプションバーのグラデーションピッカーパレットから、グラデーションを選択します。

5 （オプション）オプションバーでグラデーションのオプションを設定します。

モード グラデーションを画像内の既存のピクセルに融合させる方法を指定します。

不透明度 グラデーションの不透明度を設定します。不透明度を低く設定すると、グラデーションの下のピクセルが透けて見えます。不透明度のポップアップスライダをドラッグするか、値を入力します。

逆方向 グラデーション塗りつぶしのカラーの順序を逆にします。

ディザ カラーの縞模様の少ない滑らかなブレンドを作成します。

透明部分 グラデーションに透明な領域がある場合に、（画像の透明な領域の透明度ではなく）グラデーションの透明度を使用します。

6 画像内でグラデーションを開始する場所にポインタを置き、ドラッグして終了点を定義します。Shift キーを押しながらドラッグすると、グラデーションの角度を 45° ごとに固定できます。

テキストへのグラデーションの適用

1 塗りつぶすテキストを選択します。

2 ベクトルテキストをビットマップ画像に変換するために、レイヤー／レイヤーをラスタライズを選択します。レイヤーをラスタライズした後にテキストを編集することはできません。

3 レイヤーパレットでテキストレイヤーのサムネールを Ctrl キーを押しながらクリックして、テキストを選択します。

4 グラデーションツールを選択します。

5 オプションバーで使用するグラデーションタイプをクリックします。

6 グラデーションピッカーパレットから、グラデーションを選択します。

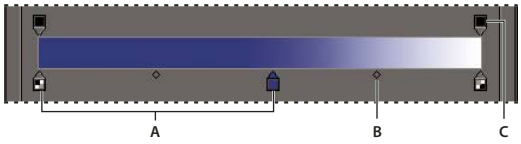
7 テキスト上のグラデーション開始点にポインタを置き、ドラッグして終了点を定義します。

関連項目

150 ページの「レイヤーのラスタライズ」

グラデーションの定義

グラデーションエディタダイアログボックスで独自のグラデーションを定義することができます。グラデーションは、2 つ以上のカラーまたはフェードして透明になる 1 つ以上のカラーで構成されます。



グラデーションエディタダイアログボックス
A. カラー分岐点 **B.** 中心点（ビネット）**C.** 不透明度の分岐点

グラデーションを定義するには、カラー分岐点を追加してグラデーションにカラーを追加し、カラー分岐点と中間点のアイコンをドラッグして 2 つのカラーの間の範囲を定義し、不透明度の分岐点を調整してグラデーションの透明度を指定します。

1 スタンダード編集のツールボックスから、グラデーションツール を選択します。

2 グラデーションエディタダイアログボックスを表示するには、グラデーションサンプルの横にある「編集」ボタンをクリックします。

3 グラデーションエディタの「プリセット」セクションで、新しいグラデーションの基になるグラデーションを選択します。

4 グラデーションのカラーを選択するには、次のいずれかの操作を行います。

- カラー分岐点 をダブルクリックするか、スウォッチをクリックしてカラーピッカーを表示します。カラーを選択し、「OK」をクリックします。
- カラーポップアップメニューから「描画色」を選択して、現在の描画色を使用します。

- カラーポップアップメニューから「背景色」を選択して、現在の背景色を使用します。
- 現在の描画色または背景色以外のカラーを常にグラデーションに使用するには、カラーポップアップメニューから「ユーザカラー」を選択します。

5 カラーのカラー分岐点の位置を調整するには、カラー分岐点を左または右にドラッグします。

6 グラデーションにカラーを追加するには、グラデーションバーの下をクリックして、別のカラー分岐点を定義します。

7 カラー間の中間点の位置を調整するには、グラデーションバーの下の菱形を左または右にドラッグします。

8 編集中のカラー分岐点を削除するには、「削除」ボタンをクリックします。

9 色調の滑らかさを設定するには、「滑らかさ」テキストボックスにパーセント値を入力するか、ポップアップスライダをドラッグします。

10 必要に応じて、不透明度の分岐点をドラッグしてグラデーションの透明部分の値を設定します。

11 グラデーションをグラデーションプリセットに保存するには、新しいグラデーションの名前を入力し、「新規グラデーション」をクリックします。

12「OK」をクリックします。新規作成されたグラデーションが選択され、使用できるようになります。

関連項目

291 ページの「Adobe カラーピッカーの使用」

グラデーションの透明部分の指定

グラデーションに使用するカラーの不透明度を制御する設定（不透明度の分岐点）を、グラデーション上の色々な場所に指定できます。チェッカーパターンは、グラデーションプレビューの透明部分の量を示します。グラデーションを作成するには、少なくとも 2 つの不透明度の分岐点が必要です。

1 グラデーションを作成します。

2 グラデーションエディタの開始不透明度を調整するには、グラデーションバーの上にある左の不透明度の分岐点をクリックします。分岐点の下の三角形が黒に変わり、開始透明度を編集中であることを示します。

3 次のいずれかの操作を行って、不透明度を設定します。

- 「不透明度」テキストボックスに 0（完全に透明）から 100 %（完全に不透明）の値を入力します。
- 不透明度のポップアップスライダの矢印をドラッグします。

4 終了点の不透明度を調整するには、グラデーションバーの上にある右の透明部分の分岐点をクリックします。次に手順 3 に従って不透明度を設定します。

5 開始点または終了点の不透明度の場所を調整するには、次のいずれかの操作を行います。

- 対応する不透明度の分岐点を、左または右にドラッグします。
- 対応する不透明度の分岐点を選択し、「位置」に値を入力します。

6 不透明度の中間点の場所（開始場所と終了場所の中間ポイント）を調整するには、次のいずれかの操作を行います。

- グラデーションバーの上の菱形を、左または右にドラッグします。
- 菱形を選択し、「位置」に値を入力します。

7 編集している不透明度の分岐点を削除するには、「削除」をクリックするか、分岐点をグラデーションバーの外にドラッグします。

8 中間不透明度を追加するには、グラデーションバーの上をクリックして新しい不透明度の分岐点を定義します。定義したら、不透明度の開始場所や終了場所の場合と同様に、この不透明度を調整したり移動したりできます。

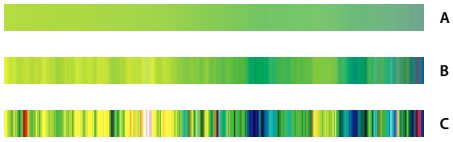
中間不透明度を削除するには、透明度分岐点を上にドラッグしてグラデーションバーから外すか、透明度分岐点を選択してから「削除」ボタンをクリックします。

9 グラデーションをグラデーションプリセットに保存するには、新しいグラデーションの名前を「グラデーション名」テキストボックスに入力し、「新規グラデーション」ボタンをクリックします。これにより、指定した透明部分設定に基づく新しいグラデーションプリセットが作成されます。

10「OK」をクリックしてダイアログボックスを終了すると、新しく作成されたグラデーションが選択されます。オプションバーで「透明部分」が選択されていることを確認します。

ノイズグラデーションの作成

ノイズグラデーションは、指定したカラー範囲内でランダムに分布したカラーを含むグラデーションです。



様々なノイズ値によるノイズグラデーション
A. 10 %ノイズ **B.** 50 %ノイズ **C.** 90 %ノイズ

1 スタンダード編集のツールボックスから、グラデーションツール を選択します。

2 オプションバーで「編集」ボタンをクリックし、グラデーションエディタダイアログボックスを表示します。

3 グラデーションタイプメニューから「ノイズ」を選択します。

4 グラデーションのオプションを設定します。

粗さ パターン内のカラー間の移行の滑らかさを設定します。

カラーモデル グラデーションに含めるカラー範囲を設定するのに使用するカラーモデルを指定します。カラー範囲を定義するには、各カラーコンポーネントのスライダをドラッグします。

色を制限 カラーの過剰な彩度を防ぎます。

透明部分を追加 ランダムカラーに透明度を加えます。

5 ランダムにカラーを混ぜ合わせるには、目的のグラデーションになるまで「開始位置を乱数的に変化させる」ボタンをクリックします。

6 新しいグラデーションの名前を入力します。

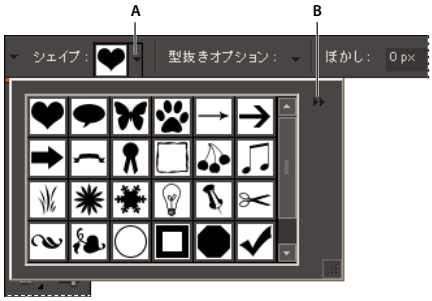
7 独自のグラデーションプリセットを追加するために、「新規グラデーション」をクリックします。

8「OK」をクリックしてダイアログボックスを終了してから、新しく作成されたグラデーションを選択します。

プリセットとライブラリ

プリセット

スタンダード編集ワークスペースでは、ポップアップパレットはオプションバーに表示されます。このパレットは、既定のブラシ、スウォッチ、グラデーション、パターン、レイヤースタイル、カスタムシェイプなどのライブラリを呼び出すときに使用します。各ライブラリ内の既定のアイテムは、「プリセット」と呼ばれます。ポップアップパレットが閉じているときには、現在選択されているプリセットのサムネール画像が代わりに表示されます。



オプションバーの型抜きツールポップアップパレットの表示
A. クリックすると、ポップアップパレットが表示されます。**B.** クリックすると、プリセットライブラリを含むポップアップパレットメニューが表示されます。

ポップアップパレットでは、プリセット名、サムネールアイコン、またはその両方が表示されるように、外観を変更することができます。

プリセットマネージャを使用すると、各種のプリセットライブラリを読み込むことができます。プリセットは、独立したライブラリファイルに格納されます。これらのファイルは、Photoshop Elements アプリケーションフォルダ内の Presets フォルダにあります。

プリセットツールオプションの使用

1 使用するツールを選択します。

2 オプションバーで、ポップアップパレットを開きます（ポップアップパレットは一部のツールにしかありません）。

3 次のいずれかの操作を行います。

- 現在読み込まれているプリセットライブラリを表示および選択するには、ポップアップパレットの右上の三角形をクリックします。
- プリセットを選択するには、ライブラリのアイテムをクリックします。
- ブラシを保存するには、ポップアップパレットメニューを開いて「ブラシを保存」コマンドを選択し、表示されるダイアログボックスに名前を入力して「OK」をクリックします。
- グラデーションまたはパターンを保存するには、パレットメニューを開いて「新規グラデーション」または「新規パターン」コマンドを選択し、表示されるダイアログボックスに名前を入力して「OK」をクリックします。
- ブラシ、グラデーションまたはパターンの名前を変更するには、パレットメニューを開いて「ブラシ名の変更」、「グラデーション名の変更」または「パターン名の変更」コマンドを選択し、新しい名前を入力して「OK」をクリックします。
- パレットからブラシ、グラデーションまたはパターンを削除するには、ポップアップパレットメニューを開いて「ブラシ名を削除」、「グラデーション名を削除」または「パターン名を削除」コマンドを選択します。Alt キーを押しながらブラシやグラデーションをクリックすることもできます。
- ブラシ、グラデーションまたはパターンのライブラリを保存するには、ポップアップパレットメニューを開いて、「ブラシを保存」、「グラデーションを保存」または「パターンを保存」コマンドを選択し、ライブラリファイルの名前を入力して「保存」をクリックします。
- ブラシ、グラデーションまたはパターンのライブラリを読み込むには、ポップアップパレットメニューを開いて「ブラシファイルの読み込み」、「グラデーションの読み込み」または「パターンの読み込み」コマンドを選択し、追加するライブラリファイルを選択して「読み込み」をクリックします。

注意：「ブラシファイルの読み込み」コマンドを使用すると、ブラシライブラリの内容が、使用可能なブラシに追加されます。ブラシのプリセットライブラリを選択した場合は、現在の各ブラシがプリセットライブラリによって置き換えられます。

- パレット内の現在のグラデーションセットを置き換えるには、ポップアップパレットメニューを開いて下部のライブラリファイルを選択し、「OK」をクリックします。「グラデーションの置き換え」コマンドを選択して、ライブラリファイルを参照して選択し、「読み込み」をクリックすることもできます。
- パレット内の現在のブラシまたはパターンのセットを置き換えるには、ブラシメニューからライブラリを選択します。

注意：現在のブラシ、グラデーションまたはパターンのセットを置き換えるには、ポップアップパレットメニューからプリセットマネージャを選択し、プリセットマネージャを使用して別のブラシ、グラデーションまたはパターンのライブラリを選択することもできます。

- 初期設定のブラシ、グラデーションまたはパターンのセットを読み込むには、ポップアップパレットメニューを開いて、「初期設定に戻す」コマンドを選択します。

ポップアップパレット内のアイテムの表示の変更メニュー

1 次のいずれかの操作を行います。

- 1 つのパレットの表示を変更するには、ポップアップパレットの右上の三角形 をクリックして、ポップアップパレットメニューを開きます。
- すべてのパレットの表示を変更するには、編集／プリセットマネージャを選択してプリセットマネージャを開いてから詳細メニューをクリックします。

2 表示オプションを次のように選択します。

テキスト表示 各アイテムの名前が表示されます。

サムネール（小）を表示 / サムネール（大）を表示 各アイテムのサムネールが表示されます。

リスト（小）を表示 / リスト（大）を表示 各アイテムの名前とサムネールが表示されます。

サムネール（ストローク）ブラシストロークのサンプルとサムネールが表示されます（ブラシのみ）。

注意：上記のオプションの一部を選択できないポップアップパレットもあります。

プリセットマネージャの使用

スタンダード編集ワークスペースでは、プリセットマネージャ（編集／プリセットマネージャ）を使用して、Photoshop Elements に付属している既定のブラシ、スウォッチ、グラデーションおよびパターンのライブラリを管理できます。例えば、好みのブラシのセットを作成したり、プリセットを初期設定の状態に戻したりできます。

ライブラリの種類別にファイル拡張子の異なるファイルと初期設定のフォルダがあります。プリセットファイルは、Photoshop Elements プログラムフォルダ内の Presets フォルダにインストールされます。

注意：プリセットマネージャのプリセットを削除するには、削除するプリセットを選択して「削除」をクリックします。ポップアップメニューから「初期設定に戻す」コマンドを使用すれば、いつでもライブラリに初期設定アイテムを復元できます。



プリセットマネージャで、プリセットを新しい位置へドラッグ

ライブラリの読み込み

1 プリセットマネージャで、プリセットの種類メニューから「ブラシ」、「スウォッチ」、「グラデーション」または「パターン」を選択します。

2 次のいずれかの操作を行います。

- 「読み込み」をクリックし、読み込みダイアログから必要なライブラリを保存しているプリセットファイルを選択してから、「読み込み」をクリックします。別のフォルダに保存されているプリセットファイルを読み込む場合は、ダイアログのナビゲーションを使用してプリセットファイルを選択します。初期設定では、プリセットファイルは Photoshop Elements プログラムフォルダ内の Presets フォルダの中にインストールされています。

• 「詳細」ボタンをクリックし、表示されるメニューの下部からライブラリを選択します。

3 完了したら、「完了」ボタンをクリックします。

初期設定のライブラリの復元、または現在表示されているライブラリの置き換え

❖ プリセットマネージャで、詳細メニューをクリックし、表示されるメニューから次のようにコマンドを選択します。

初期化（初期設定） 現在選択されているプリセットの種類のライブラリを初期設定に復元します。

置き換え 現在のライブラリを別のライブラリの内容に置き換えます。

ライブラリのサブセットの保存

1 プリセットマネージャで、連続している複数のプリセットを選択するには Shift キーを押しながら最初と最後のアイテムをクリックします。連続していない複数のプリセットを選択するには、Ctrl キーを押しながら各アイテムをクリックします。選択したプリセットだけが新規ライブラリに保存されます。

2 「セットを保存」をクリックし、ライブラリの名前を入力します。ライブラリを初期設定とは別のフォルダに保存したい場合は、保存する前に新規フォルダを指定します。

プリセット名の変更

1 プリセットマネージャで、次のいずれかの操作を行います。

• プリセットのリストに表示されるサムネール、またはテキストを選択して、「名前変更」をクリックします。

• プリセットのリストに表示されるサムネール、またはテキストをダブルクリックします。

2 新しいプリセット名を入力します。複数のプリセットを選択した場合、名前の入力を求めるメッセージが複数回表示されます。

第 17 章：テキストとシェイプの追加

カラー、スタイル、効果の異なる、様々なテキストやシェイプを画像に追加することができます。写真編集モードでは、横書き文字ツールと縦書き文字ツールを使用して、テキストの作成と編集を行います。単一行テキストまたは段落テキストを作成できます。

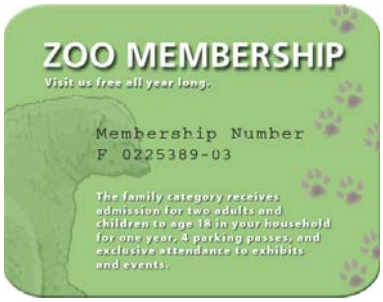
Photoshop Elements のシェイプは解像度に依存しないベクトル画像（ピクセルではなく数学的に定義可能な直線と曲線）なので、移動やサイズ変更などの変更を行っても、ディテールや鮮明さ、画質が損なわれることがありません。テキストとシェイプは、それぞれ別のレイヤーに作成されます。

Photoshop Elements ヘルプのすべての内容を参照するには、「Web 上のページ」をクリックして LiveDocs にアクセスしてください。

テキストの追加と編集

テキスト

写真編集モードでは、横書き文字ツールと縦書き文字ツールを使用して、テキストの作成と編集を行います。入力したテキストは、新規テキストレイヤーに表示されます。単一行テキストまたは段落テキストを作成できます。入力する単一行テキストは、それぞれ独立しています。このため、編集を行うと行の長さは変化しますが、次の行に折り返されることはありません。テキストを改行するには、Enter キーを押します。段落テキストは、指定された段落の境界線の内側で折り返されます。



単一行テキスト（画像の上部）および段落テキスト（画像の下部）。

文字マスクツール（文字ツールを右クリック）すると、テキストの形状を選択範囲として指定できます。これによって、テキストを使用して様々な効果を作成したり、テキストの形状に切り抜いたりすることができるようになります。

ツールボックスから文字ツールを選択し、画像内をクリックすると、ツールが編集モードになり、テキストの入力と編集ができるようになります。編集モードの状態から、メニューコマンドの選択などその他の操作を行うには、文字に加えた変更を確定する必要があります。オプションバーに確定ボタン およびキャンセルボタン が表示されているときは、文字ツールは編集モードです。

注意：テキストをモノクロ 2 階調とインデックスカラーモードの画像に追加するときには、Photoshop Elements は新しいテキストレイヤーを作成しません。入力したテキストは、マスクテキストとして表示されます

テキストの追加

1 スタンダード編集のツールボックスから、横書き文字ツール または縦書き文字ツール を選択します。

2 次のいずれかの操作を行います。

- 単一行テキストを作成するには、画像内をクリックして入力位置を指定します。
- 段落テキストを作成するには、長方形をドラッグして、入力用のテキストボックスを作成します。

I ビーム上にある小さな線は、文字のベースラインの位置を示します。ベースラインは、横書きでは文字が配置される行を示し、縦書きでは文字の中心軸を示します。

3（オプション）オプションバーでフォントの種類やスタイル、サイズ、カラーなどテキストのオプションを選択します

4 文字を入力します。テキストボックスを作成しなかった場合、テキストを改行するには Enter キーを押します。

テキストは、テキストレイヤーと呼ばれるテキスト専用のレイヤーに表示されます。

5 次のいずれかの操作を行い、テキストレイヤーを確定します。

- オプションバーの確定ボタン をクリックします。
- テンキーパッド（数字キー）の Enter キーを押します。
- テキストボックスの外側の画像内をクリックします。
- ツールボックスで別のツールを選択します。

注意：テキストレイヤーを確定しないで破棄するには、キャンセルボタン をクリックします。

関連項目

260 ページの「画像へのスタイル化したテキストの追加」

テキストツールのオプション

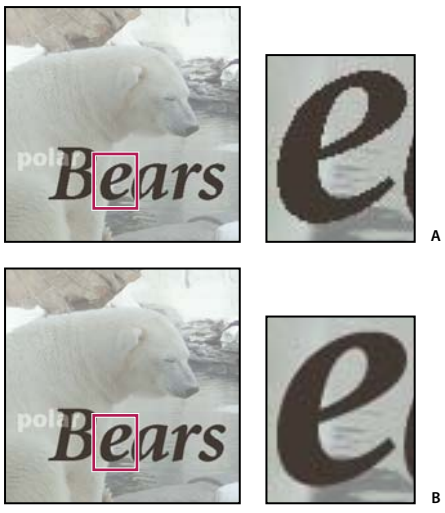
オプションバーで、テキストツールのオプションを選択します。

フォントファミリー 新しいテキストまたは既存のテキストのフォントファミリーを指定します。

フォントスタイル 新しいテキストや既存のテキストに、太字などのフォントスタイルを適用します。

フォントサイズ 新しいテキストまたは既存のテキストのフォントサイズを指定します。

アンチエイリアス テキストが滑らかに表示されるようアンチエイリアスを適用します。



アンチエイリアスの適用
A. アンチエイリアスをオフ **B.** アンチエイリアスをオン

太字 新しいテキストまたは既存のテキストを擬似的に太字にします。使用するフォントに太字スタイルがなく、フォントスタイルメニューから選択できない場合にこのオプションを使用してください。

斜体 新しいテキストまたは既存のテキストを擬似的に斜体にします。使用するフォントにイタリック体または傾斜スタイルがなく、フォントスタイルメニューから選択できない場合にこのオプションを使用してください。

下線 新しいテキストまたは選択した既存のテキストの下に下線を引きます。

打ち消し線 新しいテキストまたは選択した既存のテキストに打ち消し線を引きます。

行送りを設定 新しいテキストまたは選択したテキストのベースラインの距離を設定します。

テキストカラーを設定 新しいテキストまたは選択したテキストのカラーを指定します。

ワープテキストを作成 選択したレイヤーのテキストをワープします（ゆがめます）。

テキストの向きを変更 縦書きテキストを横書きテキストに、横書きテキストを縦書きテキストに変更します。

テキストレイヤーの文字の編集

テキストレイヤーを作成して、テキストを編集したりレイヤーコマンドを適用することができます。テキストレイヤーでは、新しいテキストの挿入、既存のテキストの変更やテキストの削除を行うことができます。テキストレイヤーにスタイルが適用されている場合、すべてのテキストにそのスタイルの属性が適用されます。

また、テキストレイヤーの向きを変更し、横書き文字と縦書き文字を切り替えることもできます。テキストレイヤーが垂直の場合、テキストは縦書きになります。テキストレイヤーが水平の場合、テキストは横書きになります。

1 横書き文字ツール または縦書き文字ツール を選択します（または移動ツール を選択してテキストをダブルクリックします）。

既存のテキストレイヤーをクリックすると、挿入点がテキストレイヤーと同じ向きに変わります。

2 レイヤーパレットからテキストレイヤーを選択するか、入力したテキストを直接クリックしてテキストレイヤーを自動選択します。

3 テキストに挿入ポイントを配置し、次のいずれかの操作を行います。

- テキストを追加する位置をクリックして、挿入ポイントを設定します。
- 編集する文字列を選択します。
- 文字列を入力します。

4 次のいずれかの操作を行い、テキストレイヤーを確定します。

- オプションバーの確定ボタン をクリックします。
- 画像内をクリックします。
- ツールボックスで別のツールを選択します。

テキストの整列

❖ 文字ツールを使用して、整列ポップアップメニュー をクリックし、次のいずれかを選択します。

テキストの左揃え レイヤーの各テキスト行の左端を、最初のカーソル位置に揃えます。

テキストの中央揃え（水平方向） レイヤーの各テキスト行の中心を、最初のカーソル位置に揃えます。

テキストの右揃え レイヤーの各テキスト行の右端を、最初のカーソル位置に揃えます。

文字の選択

1 スタンダード編集のツールボックスから、文字ツールを選択します。

2 レイヤーパレットからテキストレイヤーを選択するか、入力したテキストを直接クリックしてテキストレイヤーを自動選択します。

3 テキストに挿入ポイントを配置し、次のいずれかの操作を行います。

- 文字をドラッグして選択します。
- ダブルクリックして単語を選択します。
- 3 回連続でクリック（トリプルクリック）して行を選択します。
- 範囲を指定して文字を選択するには、選択範囲の開始位置をクリックし、Shift キーを押しながら終了位置をクリックします。
- 選択範囲／すべてを選択を選択してレイヤー内のすべての文字を選択します。

• 矢印キーを使用して文字を選択するには、Shift キーを押しながら右向き矢印キー、または左向き矢印キーを押します。

フォントファミリーやスタイルの選択

フォントとは、共通の太さや幅、スタイルを共用するテキスト（文字、数字、記号）のセットです。フォントを選択する場合、フォントファミリーと文字スタイルを個別に選択できます。文字スタイルとは、標準、太字、斜体など、フォントファミリー内の個々のフォントのバリエーションです。利用可能な文字スタイルの範囲は、フォントによって異なります。

フォントが必要なスタイルを備えていない場合、太字と斜体の擬似（フェイク）スタイルを適用できます。擬似フォントは、所定のフォントに対して相当するスタイルがない場合のみ、コンピュータによって作成される代替フォントです。このフォントは、代用するフォントとほぼ同じデザインになります。

1 既存のテキストを変更する場合は、フォントを変更する文字（複数可）を選択します。レイヤー上のすべての文字のフォントを変更するには、レイヤーパレットのテキストレイヤーを選択し、オプションバーのボタンとメニューを使用して、フォントのタイプ、スタイル、サイズ、位置合わせ、カラーを変更します。

2 オプションバーのフォントファミリーポップアップメニューからフォントファミリーを選択します。

3 次のいずれかの操作を行います。

• オプションバーのフォントスタイルポップアップメニューからフォントスタイルを選択します。

• 選択したフォントファミリーに太字や斜体が含まれていない場合は、太字ボタン 、斜体ボタン 、またはその両方をクリックしてから、確定ボタンをクリックします。

注意：入力する文字には、現在の描画色のカラーが使用されます。文字のカラーは、テキストの入力前または入力後に変更できます。既存のテキストレイヤーを編集する場合、レイヤー内の文字のカラーを 1 文字ずつまたは全体的に変更することができます。

フォントサイズの選択

文字サイズは、画像内に表示される文字の大きさを決定します。物理的なフォントサイズは、画像解像度によって異なります。72 ポイントのテキスト大文字は、72 ppi の画像では高さ約 1 インチで表示されます。解像度の高い画像ほどピクセルが凝縮されているので、指定されたポイントサイズの実際の文字サイズは小さくなります。

1 既存のテキストを変更する場合は、サイズを変更する文字（複数可）を選択します。レイヤー上のすべての文字のサイズを変更するには、レイヤーパレットのテキストレイヤーを選択します。

2 横書き文字ツール または縦書き文字ツール を選択します。

3 画面上部のオプションバーのフォントサイズを設定テキストボックスに、新しい値を入力するか、値を選択します。72 ポイントより大きいサイズを入力することもできます。入力した値は、初期設定の単位での値に換算されます。他の単位で入力するには、フォントサイズを設定テキストボックスで、値の後に単位（in、cm、pt、px または pica）を入力します。

文字の初期設定単位はポイントです。文字単位の初期設定は、環境設定ダイアログボックスの「単位・定規」で変更できます。写真編集モードで、編集／環境設定／単位・定規を選択してから、「単位」で文字に使用する単位を選択します。

テキストカラーの変更

文字のカラーは、テキストの入力前または入力後に変更できます。既存のテキストレイヤーを編集する場合、レイヤー内の文字のカラーを 1 文字ずつまたは全体的に変更することができます。テキストレイヤーのテキストにグラデーションを適用することもできます。



オプションバーのカラーメニューに表示される多数のプリセットカラースウォッチから選択できます。

1 次のいずれかの操作を行います。

- テキストの入力前に文字のカラーを変更するには、文字ツールを選択します。
- 既存のテキストのカラーを変更するには、文字ツールを選択し、ドラッグしてテキストを選択します。

2 次のいずれかの操作を行います。

- カラーピッカーでカラーを選択するには、オプションバーのカラーメニューのカラー部分をクリックします。
- スウォッチのリストからカラーを選択するには、オプションバーのカラーメニューの三角形をクリックします。

関連項目

290 ページの「スウォッチパレットの使用」

291 ページの「Adobe カラーピッカーの使用」

マスクされた文字の作成および使用

横書き文字マスクツールまたは縦書き文字マスクツールにより、テキストの形状で選択範囲を作成することができます。テキストの選択範囲を使用して、画像からテキストを切り取って背景を表示したり、選択したテキストを新しい画像に貼り付けたりして楽しむことができます。様々なオプションを使用して、独自の画像とコンポジションの作成を試してみてください。



横書き文字マスクツールによる選択範囲の塗りつぶし

1 スタンダード編集で、選択範囲を表示するレイヤーを選択します。最良の結果を得るためには、テキストレイヤー上にテキストの選択範囲を作成しないでください。

2 横書き文字マスクツール または縦書き文字マスクツール を選択します。

3 必要に応じてテキストオプションを選択し（314 ページの「テキストツールのオプション」を参照）、テキストを入力します。

アクティブレイヤーの画像にテキストの選択範囲が表示されます。

テキストのワープ

ワープを使用すると、テキストを円弧や波形などの様々な形状に変形させることができます。ワープは選択しているテキストレイヤー上のすべての文字に適用されます。個々の文字にワープを適用することはできません。また、擬似スタイルの太字を適用しているテキストには、ワープを使用することはできません。



ワープを適用したテキストレイヤー

1 スタンダード編集で、テキストレイヤーを選択します。

2 次のいずれかの操作を行います。

- 文字ツールを選択し、オプションバーのワープボタン をクリックします。
- レイヤー／テキスト／ワープテキストを選択します。

3 スタイルポップアップメニューからワープスタイルを選択します。ワープスタイルを選択することによって、基本的なワープテキストの形状を決定します。

4「水平方向」または「垂直方向」を選択してワープの方向を設定します。

5（オプション）他のワープオプションの値を指定し、ワープの向きとゆがみを調整します。

- 「カーブ」で適用するワープの量を指定できます。
- 「水平方向のゆがみ」または「垂直方向のゆがみ」を設定すると、ワープに遠近法が適用されます。

6「OK」をクリックします。

テキストのワープの解除

1 ワープが適用されているテキストレイヤーを選択します。

2 文字ツールを選択し、オプションバーのワープボタン をクリックするか、レイヤー／テキスト／ワープテキストを選択します。

3 スタイルポップアップメニューから「なし」を選択し、「OK」をクリックします。

テキストレイヤーの向きの変更

1 写真編集モードで、レイヤーパレットからテキストレイヤーを選択します。

2 次のいずれかの操作を行います。

- 文字ツールを選択し、オプションバーのテキストの向きを変更ボタン をクリックします。
- レイヤー／テキスト／横書き、またはレイヤー／テキスト／縦書きを選択します。

日本語テキストの操作

日本語テキストオプションの表示

Photoshop Elements には、日本語テキストを処理するためのいくつかのオプションが用意されています。アジア言語のフォントは、2 バイトフォントまたは CJK （Chinese、Japanese、Korean）フォントとも呼ばれます。

1 写真編集モードで、編集／環境設定／テキストを選択します。

2 テキストオプションを設定します。

- 「日本語テキストオプション」を選択すると、日本語テキストオプションが表示されます。
- 「フォント名を英語表記」を選択すると、アジア言語のフォントが英語で表示されます。

3 「OK」をクリックします。テキストツールのオプションバーに、日本語テキストオプションを表示ボタン あ が表示されます。

日本語テキストの文字間隔の縮小

文字詰めは、文字の周囲のスペースを、指定した割合で減らします。文字自体の大きさは変わりません。文字詰めを適用すると、その文字の両側のスペースが同じ比率で狭くなります。

1 既存のレイヤーで作業する場合は、レイヤーパレットでテキストレイヤーを選択してから、テキストツールを選択します。

2 調整する文字列を選択します。

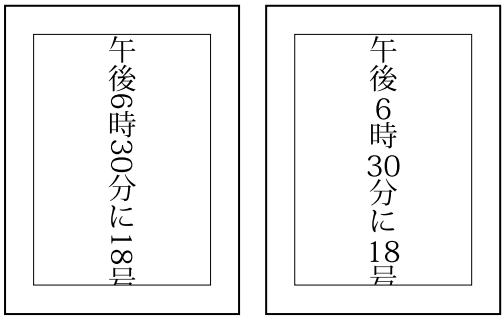
3 オプションバーの日本語テキストオプションを表示ボタン あ をクリックします。ボタンが表示されていない場合は、環境設定で「日本語テキストオプション」が選択されているかどうかを確認してください。

4 ポップアップメニューで、文字詰めのパーセント値 を選択し、Enter キーまたは Return キーを押します。パーセント値を大きくすると、文字の間隔はより狭くなります。最大値の 100 %を指定すると、文字のバウンディングボックスと仮想ボディの間隔がなくなります。

注意：仮想ボディとは、アルファベットの M の幅に相当する幅と高さを持つスペースです。

縦中横のオンまたはオフ

縦中横（組み文字または連文字とも呼ばれます）は、縦書きテキスト行内にレイアウトされた横書きテキストの固まりです。



縦中横を設定していない文字列（左）と、縦中横を使用した文字列（右）

1 既存のレイヤーで作業する場合は、レイヤーパレットでテキストレイヤーを選択してから、テキストツールを選択します。

2 回転させる文字列を選択します。

3 オプションバーの日本語テキストオプションを表示ボタン あ クリックします。

4 「縦中横」を選択します。

約物を半角にするのオンまたはオフ

文字組みでは、日本語のテキストで使用する句読点、記号、数字などの文字間隔を指定します。文字組みをオフにすると、これらの文字に全角の間隔設定が適用され、オンにすると、半角の間隔設定が適用されます。



文字組みをオンにした文字列（上）と、文字組みをオフにした文字列（下）

1 既存のレイヤーで作業する場合は、レイヤーパレットでテキストレイヤーを選択してから、テキストツールを選択します。

2 オプションバーの日本語テキストオプションを表示ボタン あ クリックします。

3「約物を半角にする」を選択します。

シェイプの作成

シェイプ

Photoshop Elements のシェイプは、ピクセルではなく数学的に定義可能な直線と曲線で構成されるベクトル画像です。ベクトル画像は解像度に依存しないため、拡大や縮小、プリント時の解像度の変更といった処理によってディテールや鮮明さが損なわれることがありません。したがって、画質を低下させることなく画像の位置の移動、サイズ変更や編集操作を行うことができます。コンピュータのモニタは画像をピクセルグリッド上に表示するため、ベクトルデータはピクセルの集合として画面に表示されます。

シェイプは、シェイプレイヤー上に作成されます。シェイプレイヤーには、選択するシェイプ範囲オプションに応じて単一または複数のシェイプを含めることができます。1 つのレイヤー上に複数のシェイプを含めるよう選択することもできます。

シェイプのカラーは、シェイプレイヤーの塗りつぶしカラーを変更したり、レイヤースタイルを適用することで変更できます。シェイプツールを使用すると、ボタンやナビゲーションバーなどの Web ページで使用するアイテムを簡単に作成できます。



Photoshop Elements のシェイプツールで作成されたベクトルオブジェクト

関連項目

323 ページの「シェイプの選択と移動」

323 ページの「シェイプの変形」

324 ページの「シェイプへのレイヤースタイルの適用」

長方形、正方形または角丸長方形の描画

1 写真編集モードで、長方形ツール または角丸長方形ツール を選択します。必要に応じて、ツールボックスで別のシェイプツールをクリックして、表示されたリストからツールを選択します。

2（オプション）オプションバーで、幾何学オプションの三角形をクリックして、次のオプションを使用します。

制約なし 長方形の幅と高さをドラッグして設定できるようにします。

四角 長方形を正方形に固定します。

固定「W」および「H」テキストボックスに入力された幅と高さの値で長方形を描画します。

縦横比「W」および「H」テキストボックスに入力された幅と高さの比率に基づいて長方形を描画します。

中心から 中心から長方形を描画します（通常長方形は左上端から描画されます）。

ピクセルにスナップ 長方形または角丸長方形のエッジをピクセル境界線にスナップします。

3 画像内をドラッグしてシェイプを描画します。

円または楕円の描画

1 スタンダード編集のツールボックスから、楕円形ツール を選択します。必要に応じて、ツールボックスで別のシェイプツールをクリックして、表示されたリストからこのツールを選択します。

2（オプション）オプションバーで、幾何学オプションの三角形をクリックして、次のオプションを使用します。

制約なし 楕円形の幅と高さをドラッグして設定できるようにします。

正円 楕円形ではなく正円を描画します。

固定「W」および「H」テキストボックスに入力された幅と高さの値で楕円形を描画します。

縦横比「W」および「H」テキストボックスに入力された幅と高さの比率に基づいて楕円形を描画します。

中心から 中心から楕円形を描画します（通常楕円形は左上から描画されます）。

3 画像内をドラッグして楕円形を描画します。

多辺シェイプの描画

1 スタンダード編集のツールボックスから、多角形ツール を選択します。必要に応じて、ツールボックスで別のシェイプツールをクリックして、表示されたリストからこのツールを選択します。

2（オプション）オプションバーで、幾何学オプションの三角形を選択して、次のオプションを使用します。

半径 多角形の中心から外部点までの距離を指定します。

コーナーを滑らかに コーナーの滑らかな多角形を描画します。

星形 多角形を星形に変換します。

辺のくぼみ 星形のくぼみの深さを指定します。

くぼみを滑らかに くぼみの滑らかな星形の多角形を描画します。

3 辺ボックスで、多角形の辺の数を指定します。

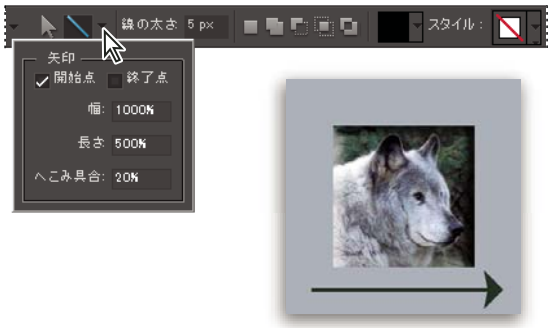
4 画像内をドラッグして多角形を描画します。

ラインまたは矢印の描画

1 スタンダード編集のツールボックスから、ラインツール を選択します。必要に応じて、ツールボックスで別のシェイプツールをクリックして、表示されたリストからこのツールを選択します。

2（オプション）オプションバーで、幾何学オプションの三角形を選択して、次のオプションを使用します。

矢印の開始点と終了点 ラインと一緒に矢印を描画します。「開始点」、「終了点」またはその両方を選択して、ラインのどちらの端に矢印を描画するか指定します。シェイプオプションはポップアップダイアログボックスで設定できます。



矢印のオプションの選択

矢印の幅と長さ 矢印の「幅」と「長さ」をラインの太さに対するパーセント（「幅」は 10 ～ 1000 %、「長さ」は 10 ～ 5000 %）で指定します。矢印のへこみ具合の値（-50 %～ +50 %）を入力します。

へこみ具合 矢印の最も広い部分（矢印がラインと交わる部分）の曲率を定義します。

3「線の太さ」ボックスで、線の太さをピクセル単位で指定します。

4 画像内をドラッグしてラインを描画します。

カスタムシェイプの描画

カスタムシェイプツールには、様々な種類の形があります。カスタムシェイプツールを選択すると、オプションバーでシェイプを選択できるようになります。

1 スタンダード編集のツールボックスから、カスタムシェイプツール を選択します。このツールが表示されていない場合は、ツールボックスに表示されている別のシェイプツールをクリックし、リストからこのツールを選択します。

2 オプションバーで、シェイプポップアップパレットからシェイプを選択します。パレットの右上にある矢印をクリックすると、使用できるシェイプとその表示方法が一覧表示されます。

3（オプション）オプションバーで、幾何学オプションの三角形を選択して、次のオプションを使用します。

制約なし 長方形、角丸長方形、楕円形またはカスタムシェイプの幅と高さをドラッグして設定できるようにします。

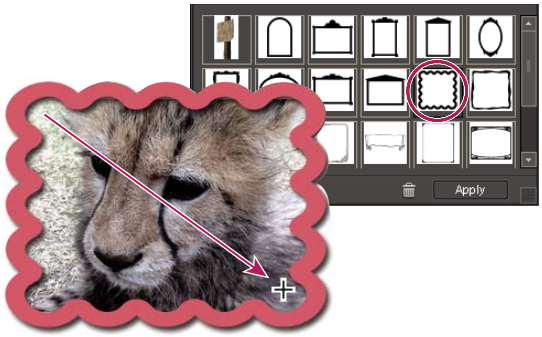
定義比率 縦横比は初期設定のままで、サイズだけドラッグで変更しながら描画します。

定義サイズ 縦横比とサイズを初期設定のまま固定して描画します。

固定「W」と「H」のテキストボックスに入力された幅と高さの値に基づいてカスタムシェイプを固定シェイプとして描画します。

中心から カスタムシェイプを中心から描画します。

4 画像内をドラッグしてシェイプを描画します。



カスタムシェイプツールには、既存のフレームがあり、写真の周囲にドラッグして使用します

同一レイヤー上での複数のシェイプの作成

1 スタンダード編集で、レイヤーパレットからシェイプレイヤーを選択するか、または新しいシェイプレイヤーを作成します。

2 異なるタイプのシェイプを作成する場合は、別のシェイプツールを選択してください。

3 次のいずれかのシェイプ範囲オプションを選択して、シェイプ同士が重なる部分の描画方法を決定してから、画像内でドラッグして新しいシェイプを描画します。

シェイプ範囲に合体 既存のシェイプに別のシェイプが追加されます。組み合わせたシェイプは、このオプションを使用して描画したシェイプの全範囲をカバーします。

シェイプから一部型抜 シェイプが重なる範囲が削除されます。シェイプの残りの範囲は保持されます。

シェイプ範囲を交差 シェイプが交差する範囲のみが表示されます。その他の範囲は削除されます。

シェイプが重なる領域を中マド 重なる範囲が統合後の新しい範囲と既存のシェイプ範囲から削除されます。

シェイプの編集

シェイプの選択と移動

シェイプ選択ツールを使用すると、1 回クリックするだけでシェイプを選択することができます。シェイプレイヤーをラスタライズしてシェイプをビットマップ画像に変換すると、シェイプ選択ツールでシェイプを選択できなくなります（代わりに移動ツールを使用します）。

レイヤーに複数のシェイプが含まれる場合、移動ツールを使用してすべてのシェイプの位置を同時に変更することができます。ただし、レイヤー上の特定のシェイプの位置だけを変更する場合は、シェイプ選択ツールを使用する必要があります。

1 写真編集モードで、次のいずれかの操作を行います。

- ツールボックスでシェイプ選択ツール を選択します。
- 別のシェイプツールがアクティブな場合は、オプションバーのシェイプ選択ツールをクリックします。

2 シェイプをクリックして選択します。

3 シェイプをドラッグして、新しい位置に移動します。

シェイプの変形

1 シェイプ選択ツール を選択します。

2 次のいずれかの操作を行います。

- 変形するシェイプを選択し、イメージ／シェイプを変形を選択して、変形コマンドを選択します。

• 変形するシェイプをダブルクリックし、アンカーをドラッグしてシェイプを変形します。

関連項目

245 ページの「アイテムの 3 次元への変形」

レイヤー内のすべてのシェイプのカラーの変更

1 スタンダード編集で、レイヤーパレットのシェイプレイヤーのサムネールをダブルクリックします。

2 カラーピッカーツール  を使用して新しいカラーを選択します。

注意：新しいカラーを指定してもシェイプのカラーが変更されない場合は、レイヤーにレイヤースタイルが指定されている（レイヤーパレットに星型のアイコンが表示されている）かどうかを確認します。レイヤースタイルによっては、シェイプの基本色が無効になる場合があります。

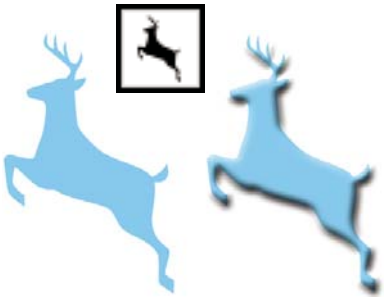
関連項目

291 ページの「Adobe カラーピッカーの使用」

302 ページの「塗りつぶしツールの使用」

シェイプへのレイヤースタイルの適用

レイヤースタイルを使用すると、ドロップシャドウやベベルのようなエフェクトを、すばやく簡単にシェイプに適用することができます。レイヤースタイルは、レイヤーのすべてのシェイプに適用されることに注意してください。例えば、複数のシェイプを含むレイヤーにドロップシャドウを適用すると、すべてのシェイプにドロップシャドウが付きます。



レイヤースタイルを適用していないカスタムシェイプ（左）と、レイヤースタイルを適用したカスタムシェイプ（右）

1 レイヤーパレットで、新規レイヤーを作成ボタンをクリックします。

2 コンテンツパレットでシェイプを選択し、新規レイヤーに挿入します。

3 効果パレットで、レイヤースタイルボタンをクリックし、シェイプに適用するサムネールをダブルクリックします。

第 18 章：プロジェクトの作成

プロジェクトは、Photoshop Elements® で作成する画像のアルバムです。従来のプリント形式、オンラインのデジタル形式および電子的なメディアで使用したり配信することができます。

Photoshop Elements ヘルプのすべての内容を参照するには、「Web 上のページ」をクリックして LiveDocs にアクセスしてください。

プロジェクトの概要

プロジェクト

画像は、アルバム、グリーティングカード、CD/DVD のラベルやジャケット、およびフォトコラージュで使用することができます。このようなプリントを目的とした作品をフォトプロジェクトといい、家庭用プリンタでプリントしたり、オンラインサービスを利用してプリント専門店でプリントすることができます。フォトブックなどの一部のフォトプロジェクトは、オンラインサービスを利用してプリント注文する必要があります。また、画像をフリップブック、スライドショー、およびオンラインギャラリーなどのデジタルプロジェクトで使用することもできます。フォトプロジェクトは、以前のバージョンの Photoshop Elements で作成したプロジェクトとは異なります。

フォトプロジェクトを作成するには、作成するフォトプロジェクトの種類に応じたフォトプロジェクトダイアログボックスを使用します。まず、フォトプロジェクトのサイズ、レイアウト、およびテーマを指定します。フォトプロジェクトが写真編集モードで開き、修正を行うことができます。これらのフォトプロジェクトは、家庭用プリンタでプリントしたり、オンラインサービスを利用してプリント注文することができます。

オンラインギャラリーなどのデジタルプロジェクトを作成するには、ウィザードを使用します。ウィザードでは、ページデザインの選択から、写真の配置、レイアウトのカスタマイズ、ギャラリーの公開までの作業手順が案内されます。また、オンラインギャラリーを容易に作成できるようにする各種プリセットも示されます。ギャラリーは、ディスクに書き込んだり、FTP サーバへアップロードしたり、オンラインサービスを利用して配信することができます。

スライドショー（ビデオ CD（VCD）に書き込み可能）やフリップブックなどのその他の種類のプロジェクトの場合は、目的の種類のプロジェクトを選択し、画面の指示に従ってダイアログボックスに設定を指定して、そのプロジェクトを完成させます。

フォトプロジェクトとデジタルプロジェクトは、プロジェクトとして保存されます。つまり、プロジェクトファイルと、各プロジェクトのドキュメントや Web ページファイルが含まれている関連するサブフォルダが、ローカルのハードディスクに作成されます。これらのプロジェクトファイル、サブフォルダ、およびページファイル間のリンクを維持するには、Windows エクスプローラを使用してこれらを移動しないでください。代わりに、Photoshop Elements の「移動」コマンドを使用してください。

プロジェクトは、様々な方法で配信できます。例えば、フォトブックをプリントしたり、友人に電子メールで送信したり、スライドショーを VCD に書き込むことができます。また、Adobe Photoshop サービスを通じてプロジェクトをプリント専門店でプリントすることもできます。

注意：以前のバージョンの Photoshop Elements で作成したプロジェクトは、最新バージョンでは開かないことがあります。これらのプロジェクトを開くには、以前のバージョンを使用する必要があります。

関連項目

381 ページの「オンラインサービスのセットアップ」

384 ページの「オンライン配信サービスへの写真の送信」

保存したプロジェクトの検索

❖ 写真整理モードで、検索／メディアの種類／プロジェクトを選択します。

異なるタイプのプロジェクトの識別

Photoshop Elements は、フォトブラウザ内の様々な種類のプロジェクトを識別します。Adobe Photoshop サービスを通じて注文したプロジェクトは、フォトブラウザに表示されません。

❖ フォトブラウザに表示されるサムネールの右上隅に、次のアイコンが表示されます。

- フォトプロジェクト：Photoshop Elements で作成され、PSE 形式で保存された複数ページのドキュメント。
- プロジェクト：以前のバージョンの Photoshop Elements で作成されたドキュメント。
- スライドショー：Photoshop Elements で作成されたスライドショープロジェクト。
- オンラインギャラリー：Photoshop Elements で作成されたオンラインギャラリープロジェクト。
- フリップブック：WMV 形式に編集された一連の画像。
- PDF ファイル：Adobe Acrobat 形式で保存されたドキュメント。

関連項目

326 ページの「フォトプロジェクト」

335 ページの「デジタルプロジェクト」

381 ページの「オンラインサービス」

保存したプロジェクトを開く

保存されているプロジェクトは、いつでも開いて、変更を行ったり、再公開することができます。プロジェクトは、その他のすべての写真とともに初期設定でフォトブラウザに表示されます（ファイルを保存したときに、写真整理モードに含めるオプションを選択した場合）。



フォトブラウザに表示された保存済みのプロジェクト

フォトブラウザでプロジェクトを表示するには、メニューバーから表示／メディアの種類／プロジェクトを選択します。

❖ フォトブラウザで次のいずれかの操作を行います。

- プロジェクトをダブルクリックします。
- フォトブラウザでプロジェクトを右クリックし、コンテクストメニューから「編集」を選択します（フリップブック、オンラインギャラリー、および PDF ファイルを除く）。

フォトプロジェクトの作成

フォトプロジェクト

フォトプロジェクトには、フォトブック、フォトカレンダー、フォトコラージュ、グリーティングカード、および CD/DVD のラベルやジャケットが含まれています。

注意：フォトブックはフォトプロジェクトです。ただし、フォトブックには独自のワークスペースモードがあり、使用できるツールボックスの機能とコンテンツパレットのアイテムが限定されています。フォトブックは、オンラインプリントを目的として設計されています。フォトブックはローカルでもプリントできますが、見開きの左右のページが別のページとして処理されます。

1 ページのプロジェクトの場合、初期設定で Photoshop 形式（PSD）で保存されます。複数ページで構成されるプロジェクトの場合は、より多用途なフォトプロジェクト形式（PSE）で保存されます。画像を 1 つ 1 つ開いて編集する必要がある通常の画像形式とは異なり、PSE では一度に最大 30 ページを作成およびプリントできます。

注意：複数ページのファイルは比較的サイズが大きくなるため、最適なパフォーマンスを得るためには、少なくとも 1 GB の RAM を搭載しているコンピュータを使用することをお勧めします。

フォトプロジェクトを開始すると、パレットエリア内で、プロジェクトタイプに対応したパネルが開きます。

各フォトプロジェクトパネルでは、各プロジェクトタイプに固有または共通のサイズ、レイアウト、およびテーマを指定できます。例えば、CD ジャケットテンプレートには、フォトコラージュテンプレートとは異なるサイズオプションが用意されていますが、どちらのテンプレートにも、ほとんどのプロジェクトに共通なレイアウトオプションとテーマオプションが用意されています。ここでは、「プロジェクトエリアの写真を配置する」、「キャプションを含める」、および「ページ数」オプションを使用するかどうかも指定します（適用できる場合）。

これらの主なオプションを指定すると、フォトプロジェクトが写真編集モードで開きます。この状態で、効果パレットを使用して画像にデザインとスタイルを適用できます。写真編集モードでは、フレーム、背景、およびレイヤースタイルを追加または編集することもできます。例えば、アルバムのすべてのページに同じ背景を使用する（初期設定）代わりに、コンテンツパレットを使用して、各ページに固有の背景を適用することができます。

プロジェクトが完成したら、様々な方法でそれを配信できます。例えば、グリーティングカードやフォトコラージュをプリントしたり、電子メールで送信したり、アルバムを CD や DVD に書き込むことができます。また、Adobe Photoshop サービスを使用してプロジェクトをプリント専門店でプリントすることもできます。

関連項目

256 ページの「効果パレットの使用」

381 ページの「オンラインサービスのセットアップ」

フォトプロジェクトダイアログボックスの使用

新しいフォトプロジェクトの作成は、パレットエリア内のプロジェクトパネルから開始します。フォトプロジェクトに画像を追加するには、「プロジェクトエリアの写真を配置する」を選択するか、後で写真編集モードで手動で追加します。



フォトプロジェクトオプションの設定

フォトプロジェクトダイアログボックスには、次のオプションがあります。

サイズを選択 各プロジェクトの既定のページサイズが表示されます。選択したサイズがプロジェクト内のすべてのページの初期設定になります。ただし、いつでも写真編集モードで変更することができます。表示されるサイズオプションは、プロジェクトタイプによって異なります。例えば、グリーティングカードテンプレートには、アルバムテンプレートよりも小さいサイズが表示されます。

レイアウトを選択 1 枚または複数の写真で構成される既定のフォトコラージュが表示されます。選択したレイアウトがプロジェクト内のすべてのページの初期設定になります。ただし、いつでも写真編集モードで変更することができます。例えば、元のレイアウトでは写真が横長に配置されている場合、写真のフレームを縦長に回転させたり、コンテクストメニューから「フレームを写真に合わせる」を選択することができます。

テーマを選択 様々な既定のデザインが表示されます。デザインを選択して、画像に既定のフレームや背景を追加できます。選択したテーマとフレームがプロジェクト内のすべてのページの初期設定になります。ただし、いつでも写真編集モードで変更することができます。例えば、フォトブックの各ページに異なる背景を適用することができます。

プロジェクトエリアの写真を配置する プロジェクト内で選択した画像を、プロジェクトエリアで配置したのと同じ順序で自動的に配置します。開いているファイル、アルバム、または写真整理モードで選択されたファイルを選択し、自動的に配置することができます。特定の順序で画像を配置するには、プロジェクトを開始する前にプロジェクトエリアの画像を並べ替えます。また、写真編集モードを使用して、後でフォトプロジェクト内で画像を並べ替えることもできます。

キャプションを含める 画像の上または下（レイアウトによって異なります）に、別のレイヤーを重ねてキャプションを追加します。既に画像にキャプションがついている場合は、プロジェクト内で画像とキャプションが一緒に配置されます。キャプションのテキストは、テキスト選択方法に応じて、様々な方法で変更できます。例えば、テキストツールでテキストをハイライト表示すると、フォントのタイプ、スタイル、色をテキストに適用できます。また、移動ツールポインタでテキストフレームを選択すると、テキストを回転、サイズ変更、および移動することができます。テキストをダブルクリックしても、テキストを編集することができます。

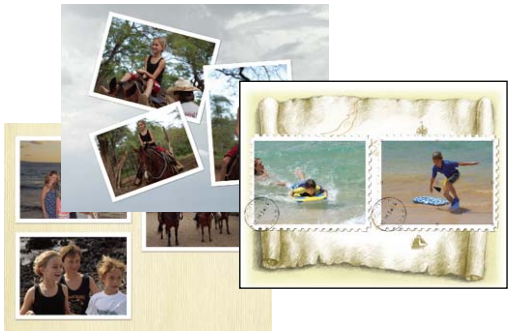
ページ数（フォトブックでは、日本語版ではページ数は 20 ページに固定されています）プロジェクトのページ数を指定します。プロジェクトパネルで「プロジェクトエリアの写真を配置する」を選択した場合、選択されたレイアウトで必要な

ページ数が自動的に認識されます。この設定は変更できます。例えば、選択した写真に必要なページ数は 4 ページだが、プロジェクトが大きくなることがわかっている場合は、後で追加する画像を収容できるように 10 ページを指定できます

注意：Photoshop Elements は、最大 30 ページのフォトプロジェクトをサポートしています（プロジェクトによって異なります）。プロジェクトが 30 ページを超える場合は、2 つめのファイルを作成します。これは、Adobe Photoshop サービスに送信するときに、元のファイルに追加できます。

フォトコラージュ

フォトコラージュを使用すると、フォトコラージュ、または独自のプリントなど、大きなフォトプロジェクトを作成できます。フォトコラージュは、家庭用プリンタでプリントしたり、オンラインでプリント注文したり、ハードディスクに保存したり、電子メールで送信したりすることができます。



フォトコラージュの例

関連項目

331 ページの「フォトコラージュ、ラベル、グリーティングカード、または他のプロジェクトの作成」

フォトブック

フォトブックを使用すると、画像に様々なレイアウトとデザインを追加できます。フォトブックは、家庭用プリンタでプリントしたり、Adobe® Photoshop® サービスを利用してオンラインでプリント注文したり、ハードディスクに保存したり、電子メールで送信したりできます。フォトブックは、Adobe Photoshop サービスを利用したオンラインでのプリント注文に対応しています。



フォトブックの例

関連項目

331 ページの「フォトコラージュ、ラベル、グリーティングカード、または他のプロジェクトの作成」

グリーティングカード

グリーティングカードでは、画像に様々なレイアウトとデザインを追加できます。1 ページに最大 22 枚の写真を追加できます。グリーティングカードは、家庭用プリンタでプリントしたり、ハードディスクに保存したり、電子メールで送信したりすることができます。Adobe Photoshop サービスを利用したグリーティングカードのオンラインプリント注文は、日本では対応していません。



フォトグリーティングカードの例

関連項目

331 ページの「フォトコラージュ、ラベル、グリーティングカード、または他のプロジェクトの作成」

CD または DVD ジャケット

Photoshop Elements では、CD または DVD ケース用のディスクジャケット（カバー）を作成できます。ジャケットは、家庭用プリンタでプリントしたり、PDF 形式でハードディスクに保存したり、電子メールで送信したりできます。



CD および DVD ジャケットの例

関連項目

331 ページの「フォトコラージュ、ラベル、グリーティングカード、または他のプロジェクトの作成」

CD または DVD ラベル

Photoshop Elements では、インクジェットプリンタを使用して CD および DVD 用のラベルシールや、印刷対応 CD および DVD のラベルを作成できます。ラベルは、家庭用プリンタでプリントしたり、PDF 形式でハードディスクに保存したり、電子メールで送信したりできます。



CD および DVD ラベルの例

関連項目

331 ページの「フォトコラージュ、ラベル、グリーティングカード、または他のプロジェクトの作成」

フォトコラージュ、ラベル、グリーティングカード、または他のプロジェクトの作成

1 写真整理モードで、プロジェクトで使用する写真を選択します。プロジェクトの作成後に写真を追加する場合は、写真編集モードを開きます。

2「作成」タブ 作成 を選択し、プロジェクトボタンを押します。「フォトブック」と「フォトコラージュ」のいずれかのプロジェクトタイプを選択するか、「詳細オプション」をクリックし、「グリーティングカード」、「CD ジャケット」、「DVD ジャケット」、「CD / DVD ラベル」のいずれかのプロジェクトタイプを選択します。

3 サイズ、テーマおよびレイアウトを選択します。CD または DVD のジャケットとラベルの場合は、テーマとレイアウトを選択します。プロジェクトをプリントする予定がある場合は、プリンタがサポートしている標準サイズを選択します。Adobe Photoshop サービスを利用したプリント注文を予定している場合は、標準サイズと標準以外のサイズのいずれも選択できます。

4「プロジェクトエリアの写真を配置する」、「キャプションを含める」、「ページ数」などの追加オプションを選択します。

5「OK」をクリックします。プロジェクトが写真編集モードで開きます。コンテンツパレット、効果パレット、またはお気に入りパレットを使用して、デザインを変更できます。

6 写真をまだ追加していない場合は、ここでフォトコラージュに写真を追加します。新しいページを追加することもできます。

7 次の操作を行って、写真を表示したり、カスタマイズしたりします。

- 各ページを表示するには、画像ウィンドウの左下にある進むボタン や戻るボタン をクリックするか、プロジェクトエリアでページを選択します。
- 写真の位置を変更またはサイズを調整します。
- 写真を回転させます。
- テキストを追加したり、編集します。
- 写真を置き換えたり、削除します。

8 ファイル／保存を選択します。初期設定ではプロジェクトはマイピクチャフォルダに保存されますが、別の場所に保存することもできます。

9 初期設定では「写真整理モードに含める」がオンになっているため、プロジェクトが写真整理モードに配置されます。プロジェクトを写真整理モードに配置しない場合は、このオプションをオフにします。

10 ファイル名を入力して、「保存」をクリックします。

関連項目

327 ページの「フォトプロジェクトダイアログボックスの使用」

256 ページの「効果パレットの使用」

332 ページの「フォトプロジェクトの編集」

フォトプロジェクトの編集

フォトプロジェクトの編集

写真編集モードで、フォトコラージュ、グリーティングカード、および CD/DVD ディスクジャケットとラベルを変更できます。コンテンツパレットでは、様々なフレーム、テクスチャ、背景、およびグラフィックをプロジェクトに追加したり、テキストエフェクトを適用できます。写真編集モードで、画像とキャプションのサイズ変更、回転、および移動を行うこともできます。

関連項目

256 ページの「効果パレットの使用」

フォトプロジェクトへの画像の追加

写真編集モードで、フォトプロジェクトに画像を追加できます。画像を追加した後で、それらを並べ替えたり、修正したり、置き換えることができます。

1 フォトプロジェクトを写真編集モードで開いていない場合は、写真整理モードでフォトプロジェクトを選択して、写真編集モード／スタンダード編集を選択するか、フォトプロジェクトを写真編集モードにドラッグします。画像は、写真編集モードでのみフォトプロジェクトに追加できます。

2 次のいずれかの操作を行います。

- ファイル／開くを選択します。追加する写真を選択します。画像が表示されない場合は、目的の画像がある場所に移動して「開く」をクリックします。画像がプロジェクトエリアに配置されます。
- フォトブラウザで写真を選択して、写真編集モード／スタンダード編集を選択します。写真がプロジェクトエリアに配置されます。

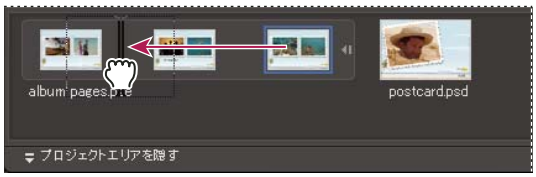
3 プロジェクトエリアから写真を選択して、フレームにドラッグします。フレームとは、レイアウトの内側のグレーの領域です。フォトプロジェクト内の既存の写真を置き換えるには、写真を右クリックして「写真の置き換え」を選択し、別の画像ファイルを選択して「開く」をクリックします。また、フォトプロジェクトで画像をダブルクリックし、新しい写真を取得ボタンをクリックするか、プロジェクトエリアから別の写真を選択して、フレームにドラッグすることもできます。

関連項目

256 ページの「効果パレットの使用」

フォトプロジェクトへの新しいページの追加

1 プロジェクトエリアで、新しいページを追加するページを選択します。選択したページの後ろに新しいページが追加されます。



フォトプロジェクト内のページの移動

2 次のいずれかの操作を行います。

- 白紙のページを追加するには、編集／白紙のページを追加を選択するか、プロジェクトエリアでページを右クリックし、コンテクストメニューから「白紙のページを追加」を選択します。また、白紙のページをフォトプロジェクトの別の場所にドラッグすることもできます。例えば、タイトルページとして使用する場合は、フォトプロジェクトの先頭にドラッグします。
- 現在のレイアウトを使用する新しいページを追加するには、編集／現在のレイアウトを使用してページを追加を選択するか、プロジェクトエリアでページを右クリックし、コンテクストメニューから「現在のレイアウトを使用してページを追加」を選択します。また、新しいページをプロジェクトの別の場所にドラッグすることもできます。例えば、新しいページをプロジェクト内の別の位置へ移動できます。
- ページを削除するには、編集／現在のページを削除を選択するか、ページを右クリックし、コンテクストメニューから「現在のページを削除」を選択します。

関連項目

256 ページの「効果パレットの使用」

フォトプロジェクト内の写真の位置またはサイズの調整

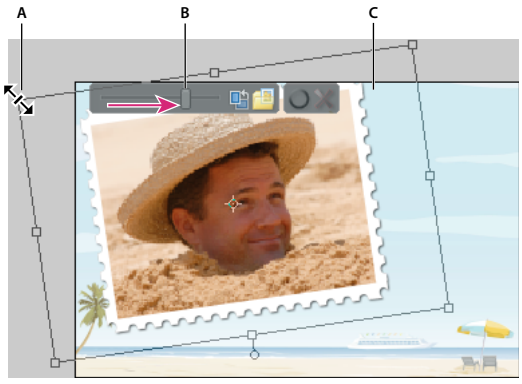
1 写真とフレームを一緒に調整するには、写真を 1 回クリックします。フレーム内の写真を調整するには、写真をダブルクリックします。

写真の境界線を示すバウンディングボックスが表示されます。バウンディングボックスは、境界線がフレームによってマスクされている場合も表示されます。

2 次のいずれかの操作を行います。

- 写真の位置を調整するには、バウンディングボックス内の任意の場所をクリックして、写真をドラッグします。
- 写真のサイズを調整するには、スライダをドラッグします。または、移動ツールを角または上下左右の縁に合わせ、ポインタが斜めの両方向矢印 ↘ に変わったらドラッグします。

3 フレーム内で写真の配置またはサイズの調整が完了したら、確定ボタン ○ をクリックするかキャンセルボタン ✕ をクリックします。



写真編集モードでの写真のサイズ調整
A. 写真の角をドラッグしてサイズを調整します。**B.** サイズ調整スライダをドラッグします。**C.** フォトフレームの外側の領域は表示されません。

フォトプロジェクト内の写真の置き換え、または写真の削除

❖ 次のいずれかの操作を行います。

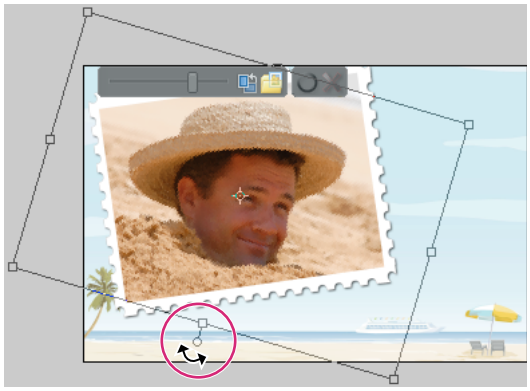
- 写真をダブルクリックして、新しい写真を取得 をクリックします。
- プロジェクトエリアにある写真を、既存の写真の上にドラッグします。
- ページ上の写真を置き換えるには、写真を右クリックし、「写真の置き換え」をクリックします。
- ページ上の写真を削除（消去）するには、写真を右クリックし、「写真を消去」をクリックします。

フォトプロジェクト内の写真の回転

1 写真とフレームを一緒に回転させるには、写真を 1 回クリックします。フレーム内で写真を回転させるには、写真をダブルクリックします。

2 次のいずれかの操作を行います。

- バウンディングボックス内の任意の場所をクリックします。クリックした位置に円が表示されます。円にカーソルを合わせます。湾曲した 4 つの矢印 が表示されたら、トラックボールハンドルをドラッグして画像を回転します。



フォトプロジェクト内の画像の回転

- 移動ツールを角に合わせます。湾曲した 2 つの矢印 に変わったら、ドラッグして写真を回転します。ドラッグする場所が角から離れているほど、正確に回転させることができます。
- 写真をダブルクリックし、スライダの隣にある回転ボタンをクリックします（90° 単位で回転します）。

3 完了したら、「確定」ボタン または「キャンセル」ボタン をクリックします。

Photoshop CS3 でのフォトプロジェクトのページの編集

Adobe® Photoshop® CS3 と Photoshop Elements が同じコンピュータにインストールされている場合は、編集／Photoshop で編集コマンドを使用して、JPEG、GIF、およびその他の単一ページの写真ファイルを Photoshop に送信できます。Photoshop は複数ページの PSE ファイル形式はサポートしていないため、フォトプロジェクト全体を編集することはできません。ただし、フォトプロジェクトの個々のページ（単一ページの PSD 形式）は編集できます。

Photoshop では、写真レイヤー（Photoshop ではスマートオブジェクトといいます）やフレームの直接編集など、フォトプロジェクトのページの様々な要素を直接制御できます。Photoshop Elements では、自動画像編集のワークフローを簡素化するために、これらの機能は制限されています。

1 フォトブラウザで、フォトプロジェクトドキュメントを選択します。

2「プロパティを表示」をクリックし、一般をクリックします。

3 PSE ファイルのパスの隣にあるフォルダアイコンをクリックします。Windows エクスプローラに PSE ドキュメントが表示されます。

4 PSE ドキュメントと同じ名前のフォルダを見つけて開きます。

5 編集するページの PSD ファイルを右クリックして、プログラムから開く／Photoshop CS を選択します。

6 Photoshop で変更を行い、ファイル／保存を選択します。既存のファイルを置き換えてよいかどうかを確認するメッセージが表示されたら、「はい」をクリックします。

重要：PSD ファイル内のレイヤーの順序や名前を変更しないでください。順序や名前を変更すると、Photoshop Elements の自動編集機能が正常に機能しなくなります。

デジタルプロジェクトの作成

デジタルプロジェクト

Photoshop Elements では、ビデオフリップブックと、Web ギャラリー、アニメーションギャラリー、インタラクティブギャラリーの 3 種類のオンラインギャラリーを作成できます。オンラインギャラリーは、動的なプレゼンテーションで、CD に書き込んだり、オンライン配信サービスにアップロードしたり、Web サイトに掲載したりできます。Web ギャラリー、アニメーションギャラリー、およびインタラクティブギャラリーを作成するには、コンピュータに Adobe® Flash® 8 以降がインストールされている必要があります。

オンラインギャラリーを作成するのに、HTML プログラミングの知識は必要ありません。オンラインギャラリーウィザードで提供されているスタイルを使用して、簡単に選択、変更、および保存することができます。ウィザードにより、必要なすべての Web ページとリンクされる画像ファイルを含むフォルダが作成されます。このフォルダを FTP 経由で Web サーバやオンラインサービスに送信できます。



オンラインギャラリーのテンプレート

フォトブックの作成



フォトブックウィンドウ

1 写真編集モードの「作成」タブにある「プロジェクト」を選択します（または、写真整理モードで「作成」タブをクリックします）。

2「フォトブック」をクリックします。

3 タイトルページの写真を選択します。タイトルページの写真には、プロジェクトエリアで開かれている最初の写真が自動的に設定されます。タイトルページの写真を変更したい場合は、プロジェクトエリアで写真を並べ替えます。「次へ」をクリックします。

4 レイアウトとテーマを選択します。

5 その他のオプションを設定します。

プロジェクトエリアの写真を配置する プロジェクトエリアで既に開いている写真を追加します。

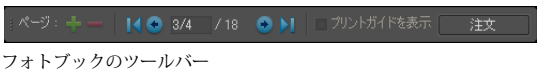
キャプションを含める 写真にキャプションがある場合に、キャプションを写真の下に挿入します。

ページ数（フォトブックでは、日本語版ではページ数は 20 ページに固定されています） フォトブックのページ数を設定します。

注意： フォトブックに追加する写真の数は、最小 20 枚で、最大 80 枚です。

6 フォトブックに独自のデザインを追加するには、コンテンツパレットを使用します。

7 フォトブックを微調整するには、フォトブックの編集ツールを使用します（日本語版では編集ツールは使用できません）。



フォトブックのツールバー

オンラインギャラリーの作成

オンラインギャラリーには、様々な標準的なレイアウトとデザインが用意されています。いずれも Web ページで画像を表示するのに最適な仕様です。オンラインギャラリーウィザードには、写真の追加と配置、Web ページのレイアウトと背景スタイルの適用、切り替え方法の追加、およびファイルの配信などのプロセスが順に提示されます。FLV 形式のビデオは、Web ギャラリーで使用できます。写真を編集する場合は、オンラインギャラリーに追加する前に完了してください。オンラインギャラリーウィザードでは、写真を配置することはできますが、編集することはできません。

1 フォトブラウザで、オンラインギャラリーに追加する写真を選択します。または、写真編集モードで、使用する写真をプロジェクトエリアに配置します。

2 作成 作成 、「オンラインギャラリー」の順にクリックして、オンラインギャラリーウィザードを開きます。

3 プロジェクトエリアに写真を追加します。または写真を削除します。

4 ウィザードの左側にある写真のサムネールを、表示させる順序に並べ替えます。サムネールを移動するには、移動先のサムネールの間にサムネールをドラッグします。

5 ページレイアウトテンプレートを選択するか、「スタイル」エリアで背景のデザインを選択します。日記レイアウトを選択した場合は、キャプションを追加できます。ただし、キャプションのテキストの長さは、テキストボックスの幅に制限されています。長いキャプションを追加するには、写真をオンラインギャラリーに追加する前に写真整理モードで写真にキャプションを追加します。完了したら、「次のステップへ」をクリックします。

6 ウィザードに Web ページのプレビューが表示されます。

7 Web ページの「カスタマイズ」オプション（「ギャラリーのタイトル」、「スライド間隔」、「背景」など）を指定します。

8「ギャラリーに名前を付けて保存」ボックスに、ギャラリーフォルダの名前を入力します。このフォルダには、後で配信可能な Web ページと画像ファイルが含まれます。初期設定の保存場所を変更するには、「参照」ボタンをクリックして、オンラインギャラリーファイルを保存する場所を選択します。

9 スライダとナビゲーションボタンを使用して、画像間の切り替えなどのカスタマイズオプションをプレビューします。様々なカスタマイズオプションを試してみてください。

10 初期設定を変更した場合、それらを新しいスタイルとして保存するかどうかが尋ねられます。「はい」をクリックして、「スタイルに名前を付けて保存」ボックスに名前を入力します。

11 ギャラリーを配信する前に Web ブラウザで表示するには、「ブラウザでプレビュー」をクリックします。新しいブラウザウィンドウが開き、ギャラリーが表示されます。

12 ギャラリーの配信方法を指定して、「保存」をクリックします。

関連項目

116 ページの「ファイルへのキャプションの追加」

338 ページの「オンラインギャラリーの配信オプション」

アニメーションギャラリーまたはインタラクティブギャラリーの作成

アニメーションギャラリーとインタラクティブギャラリーは、Web ページに動きやスタイリッシュさを与えます。オンラインギャラリーウィザードには、写真の追加と配置、Web ページのデザインの選択、およびファイルの配信などのプロセスが順に提示されます。写真を編集する場合は、アニメーションギャラリーまたはインタラクティブギャラリーに追加する前に完了してください。オンラインギャラリーウィザードでは、写真を配置することはできますが、編集することはできません。

1 フォトブラウザで、アニメーションギャラリーまたはインタラクティブギャラリーに追加する写真を選択します。または、写真編集モードで、使用する写真をプロジェクトエリアに配置します。

2 作成 作成 、「オンラインギャラリー」の順にクリックして、オンラインギャラリーウィザードを開きます。

3 プロジェクトエリアに写真を追加します。または写真を削除します。

4 ウィザードの左側にある写真のサムネールを、表示させる順序に並べ替えます。サムネールを移動するには、移動先のサムネールの間にサムネールをドラッグします。

5 種類メニューから「アニメーション」または「インタラクティブ」を選択します。

6 ページレイアウトテンプレートを選択したら、「次のステップへ」をクリックします。ウィザードにアニメーション Web ページまたはインタラクティブ Web ページのプレビューが表示されます。

7 Web ページのカスタマイズオプションを指定します。これらのオプションでは、ギャラリーに表示されるタイトル、サブタイトル、電子メールアドレスを指定できます。これらの設定を変更した場合、変更結果を表示するには「更新」をクリックします。

8「ギャラリーに名前を付けて保存」ボックスに、ギャラリーフォルダの名前を入力します。このフォルダには、後で配信可能な Web ページと画像ファイルが含まれます。初期設定の保存場所を変更するには、「参照」ボタンをクリックして、オンラインギャラリーファイルを保存する場所を選択します。

9 ナビゲーションボタンを使用して、アニメーション Web ページまたはインタラクティブ Web ページをプレビューします。一部のギャラリーにはナビゲーションボタンがありません。このようなギャラリーでは、ユーザが操作して写真を移動したり、アニメーションを見る必要があります。

10 ギャラリーを配信する前に Web ブラウザで表示するには、「ブラウザでプレビュー」をクリックします。新しいブラウザウィンドウが開き、ギャラリーが表示されます。

11 ギャラリーの配信方法を指定して、「保存」をクリックします。

オンラインギャラリーの配信オプション

オンラインギャラリーウィザードでは、次の配信オプションを設定します。

Photoshop Showcase オンラインギャラリーファイルを、Adobe Photoshop オンライン配信サービスで公開できます。オンラインギャラリーダイアログボックスが開いたら、「アップロード」をクリックします。

My FTP Web サーバにファイルをアップロードできます。サーバアドレス、ユーザ名、パスワード、ファイルをアップロードするフォルダを入力する必要があります。「配信」をクリックします。

「FTP サーバの設定」を入力したら、「サーバへのアクセスをテスト」をクリックして、Web サーバに接続できることを確認します。テストが成功したら、「アップロード」をクリックします。

CD/DVD コンピュータでフルスクリーン再生できるように、オンラインギャラリーファイルをディスクに書き込むことができます。「書き込み」をクリックします。書き込みドライブを選択し、ディスクの名前を入力します。終了後に「OK」をクリックします。ディスクドライブに空の CD がセットされている場合は、Photoshop Elements によって自動的に CD に書き込まれます。セットされていない場合は、処理を完了するために空の CD を挿入するように指示されます。

注意：ローカルに保存したフォルダを元の場所から移動すると、Windows が Flash Player にセキュリティ上の問題があることを通知します。フォルダを元の場所に戻すか、オンラインギャラリーウィザードから新しい場所に保存します。

フリップブックの作成

フリップブックを使用すると、写真を使ったストップモーションビデオを作成できます。このコマンドを使用すると、カメラの連写モードで撮影した写真をアニメーション化することができます。フリップブックは WMV 形式で保存され、コンピュータ、テレビ、Web または電子メールで表示できるように最適化できます。作成したフリップブックは、マイビデオフォルダに出力して CD または VCD に書き込んだり、Adobe Premiere Elements に読み込んだりできます。フリップブックを携帯電話に書き出すこともできます。

フリップブックダイアログボックスでは画像を編集できないので、処理を開始する前にデザインやエフェクトを画像に追加しておきます。写真は、フォトブラウザに表示されている順序でフリップブックに配置されます。写真を別の順序で配置するには、その順序で写真を配置したアルバムを作成し、そのアルバムを選択してフリップブックを作成します。

1 フォトブラウザで、フリップブックに含める写真を選択します。

2 作成  ／詳細オプション／フリップブックを選択します。

3 次のいずれかのオプションを設定します。

再生スピード フリップブックの再生スピードをフレーム / 秒（FPS）で指定します。スライダを左に動かすと画像のコマ送りが遅くなり、右に動かすと速くなります。

再生順序を逆に指定 フリップブックの順序を逆にして、最後の画像から開始して最初の画像に向かって再生するようにします。

出力設定 ムービーのファイルサイズを指定します。ファイルサイズは、フリップブックの表示方法によって左右されます。フリップブックをコンピュータで表示するときは、Web で表示する場合とは異なる出力設定になります。詳細ボタンをクリックすると、選択した出力設定に関する詳細な情報が表示されます。

プレビューをループ 最後の画像が表示されたら、フリップブックの再生を再び開始します。

4「出力」をクリックし、フリップブックを保存します。ファイル名を入力し、「保存」をクリックします。

WMV ファイルが作成され、フォトブラウザに配置されます。

スライドショーのメニューを含む Video CD（VCD）の作成

スライドショーを Video CD（VCD）に書き込んで友人や家族と共有できます。VCD を作成するには、CD-RW ドライブまたは DVD-RW ドライブを用意し、CD-R ／ RW ディスクのみを使用する必要があります。VCD は、VCD 形式に対応した DVD プレイヤーを接続したテレビで視聴できます。または、CD または DVD ディスクドライブと、VCD 形式のファイルを再生するソフトウェアを備えたコンピュータで視聴することもできます。

Video CD ファイルは、特殊な設定の MPEG-1 形式でエンコードされます。Photoshop Elements では、2 段階の手順で、スライドショーから VCD ファイルを作成します。まず、VCD プロジェクトの各スライドショーを WMV ファイルとしてハードディスクに書き出します。次に、WMV ファイルを VCD 形式に変換し、変換後のファイルを、VCD ファイルの再生に必要なフォルダ構造で CD-R または CD-RW に書き込みます。

1 書き込み可能な CD を CD-RW または DVD-RW ドライブに挿入します。

2 写真整理モードで、1 つまたは複数のスライドショープロジェクトを選択するか、WMV ファイルを選択します。複数のスライドショーまたは WMV ファイルを選択するには、Ctrl キーを押しながら各スライドショーまたは WMV をクリックします。

3 作成 作成 ／詳細オプション／メニュー付き VCD をクリックします。

メニュー付き VCD を作成ダイアログボックスが開きます。

4 スライドショーを整理するには、次のいずれかの操作を行います。

- スライドショーを追加するには、「スライドショーを追加」ボタンをクリックし、追加するスライドショーを選択して「OK」をクリックします。
- スライドショーを移動するには、スライドショーエリア内の別の場所にスライドショーをドラッグします。
- スライドショーを削除するには、削除するスライドショーを選択し、「スライドショーを削除」ボタンをクリックします。

5 VCD を視聴する人が居住する地域に合わせて、「テレビ方式」から NTSC または PAL 設定を選択します。

6「書き込み」をクリックします。

Photoshop Elements によって、各スライドショーの WMV ファイルがハードディスクに書き込まれ、WMV ファイルがフォトブラウザに表示されます。CD-R または CD-RW を挿入していない場合は、挿入を求めるダイアログボックスが開きます。書き込みダイアログボックスが表示されます。

7 書き込み先ドライブと書き込み速度には初期設定の値が選択されていますが、いずれも変更可能です。「OK」をクリックして、VCD の書き込みを開始します。

VCD の書き込みに成功すると、ダイアログボックスが開いて完了を通知します。

8「OK」をクリックします。

関連項目

350 ページの「スライドショーの出力」

スライドショーの作成

スライドショー

スライドショーを使用すると、写真を楽しく共有することができます。Photoshop Elements では、スライドショーに音楽クリップやクリップアート、テキスト、ナレーションなどを入れてカスタマイズすることができます。PDF 形式の画像はスライドショーに表示されません。

スライドショーが完成したら、配信する方法を選択できます。PDF として保存し、WMV ファイルに変換して VCD に書き込んだり、ローカルに保存して Acrobat で印刷したりすることができます。システムに Adobe® Premiere® Elements® がインストールされている場合は、直接書き込んで高画質な DVD を作成することもできます。

スライドショーの作成

スライドショーは、スライドショーダイアログボックスを使用して作成します。画面の一番上のバーにあるフルスクリーンプレビュー表示  をクリックすると、スライドショーをいつでもプレビューできます。再生ボタンをクリックしてスライドショーをプレビューすることもできます。

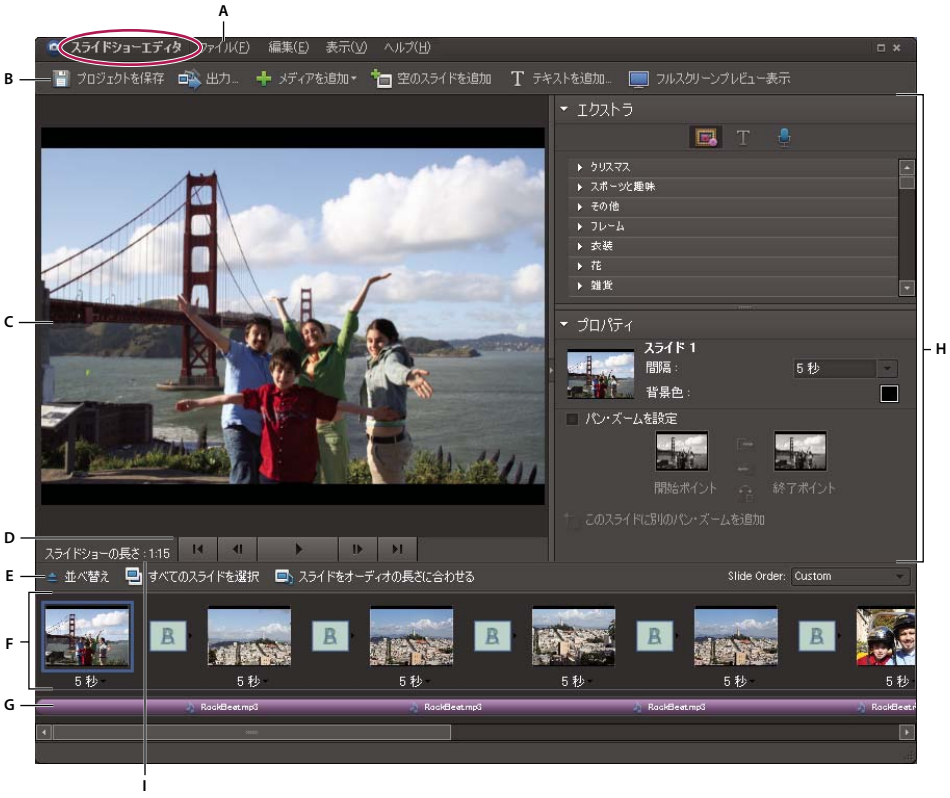
1 フォトブラウザで、スライドショーで使用する写真を選択します。

2「作成」タブ 

から「スライドショー」を選択します。

3 スライドショーの環境設定ダイアログボックスが表示されたら、初期設定をそのまま使用するか（ほとんどのオプションは後で変更できます）、オプションをカスタマイズします。「OK」をクリックし、スライドショーダイアログボックスを開きます。

スライドショーダイアログボックスには、スライドショーを作成するためのすべてのツールが用意されています。スライドショーで使用するように選択した写真は、画面の一番下に表示されます。



スライドショーダイアログボックス
A. ファイルメニュー **B.** ツールバー **C.** スライドプレビュー **D.** 再生コントロール **E.** 並べ替え **F.** ストーリーボード **G.** BGM ファイル名 **H.** パレットエリア **I.** スライドショーの合計時間

4 次のいずれかの操作を行って、スライドショーを編集します。

- スライドを並べ替えます。
- スライドの写真のサイズを変更します。
- 新しい空のスライドを追加します。例えば、空のスライドでタイトルページを作成できます。
- スライドを右クリックして「スライドを削除」をクリックすると、スライドショーから削除されます。
- 音楽クリップを追加します。
- スライドにクリップアートグラフィックや写真を追加します。
- スライドにテキストキャプションを追加します。
- スライドに動きを追加します。
- スライドにエフェクトを追加します。
- スライドの間の切り替え方法を追加したり、切り替え間隔を変更します。
- スライドにナレーションを追加します（コンピュータにマイクを接続する必要があります）。
- 各スライドの表示時間を調整します。

5「全画面をプレビュー表示」ボタンをクリックし、スライドショーをプレビューします。Esc キーを押すと、いつでもスライドショーの編集に戻ることができます。

6「プロジェクトを保存」ボタンをクリックし、スライドショーを保存します。スライドショーは定期的に保存することをお勧めします。

関連項目

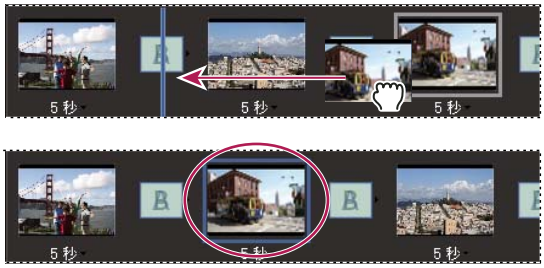
350 ページの「スライドショーの出力」

スライドの並べ替え

❖ 次のいずれかの操作を行います。

- ストーリーボード内でスライドを別の位置にドラッグします。
- 「並べ替え」ボタンをクリックします。ダイアログボックスで、スライドを並べ替えて「戻る」ボタンをクリックします。
- スライドの表示順メニューからいずれかのオプションを選択します。

最初のスライドを最後に移動するには、スライドショーエディタの最後に向かってスライドをドラッグし続け、画面をスクロールさせます。



スライドは、「並べ替え」機能を使用すると簡単に並べ替えることができます。

新しい空のスライドの追加

❖ 次のいずれかの操作を行います。

- 「空のスライドを追加」ボタン をクリックします。
- 編集／空のスライドを選択します。

スライドの編集と調整

スライドに簡単な編集を行う場合は、スライドショーダイアログボックスの機能を使用して自動調整できます。より高度な調整が必要な場合は、写真編集モードを使用して編集します。写真がスライドにうまく適合しない場合は、写真のサイズと位置を手動で調整できます。

1 スライドを選択し、メインプレビューウィンドウで写真をクリックします。

2 プロパティパレットで、次のいずれかの操作を行います。

- 写真のカラーバランスを自動的に編集するには、「自動スマート補正」ボタンをクリックします。
- 写真の赤目を除去するには、「自動赤目修正」ボタンをクリックします。
- より高度な編集が必要な場合は、「詳細編集」ボタンをクリックして、写真編集モードで写真を開きます。作業が完了したら、写真を保存して写真編集モードを終了し、スライドショーダイアログボックスに戻ります。
- 写真のサイズを調整するには、写真を選択した状態でサイズスライダをドラッグするか、写真のバウンディングボックスの境界線やコーナーをドラッグします。
- 写真をスライドのサイズに合わせて調整するには、「スライドに合わせ切り抜き」ボタンをクリックします。
- 写真全体を表示するには、「写真全体を表示」ボタンをクリックします。写真の周囲の余白の部分は、背景色で塗りつぶされます。背景色は「スライドショーの環境設定」で変更できます。

スライドショーへの音楽の追加

音楽を追加すると、より本格的なスライドショーを作成できます。音楽は、Photoshop Elements カタログまたはコンピュータの任意の場所から読み込むことができます。

❖ スライドショーダイアログボックスで、「メディアを追加」ボタンをクリックし、次のいずれかを選択します。

写真整理モードからオーディオを追加 カタログからオーディオクリップを追加できます。オーディオを追加ダイアログボックスで、「参照」ボタンをクリックします。クリップを選択して「OK」をクリックします。

注意：オーディオを追加ダイアログボックスでは、クリップを選択して再生ボタンをクリックすることで、追加する前にオーディオを試聴することができます。

フォルダからオーディオを追加 写真整理モードで管理されていないオーディオクリップを追加できます。オーディオファイルを選択ダイアログボックスで、オーディオファイルを探して選択し、「開く」ボタンをクリックします。この操作を行うと、写真整理モードにそのクリップが追加されます。

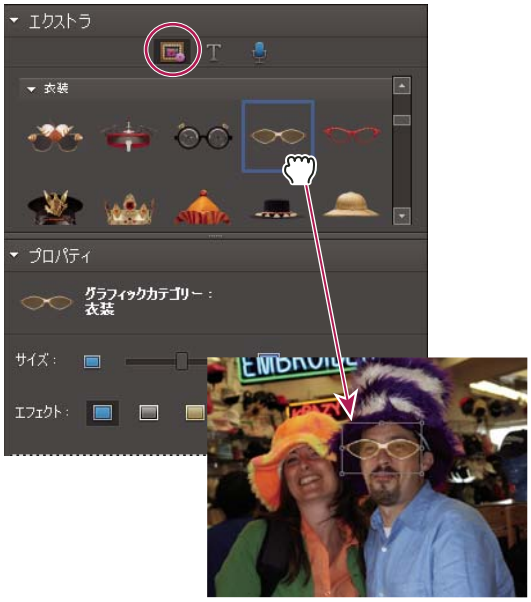
スライドショーの速度を音楽に合わせるには、「スライドをオーディオの長さに合わせる」ボタンをクリックします（各スライドの長さがフィルムストリップ内で更新されます）。



オーディオファイルをドラッグすると、そのスライドで再生が開始されます。

スライドへのクリップアートグラフィックの追加

スライドショーダイアログボックスのエクストラパレットで、スライドにクリップアートを追加できます。グラフィックはいくつでも追加できますが、グラフィックを多く使用するとパフォーマンスが低下します（ファイルサイズが大きくなるため）。



グラフィックをスライドへドラッグ

1 スライドショーダイアログボックスのエクストラパレットで、グラフィック をクリックします。

2 クリップアートを参照し、追加するグラフィックを選択します。グラフィックはカテゴリ別に配置され、初期設定ではエクストラパレットに表示されます。アートが表示されない場合は、カテゴリ名の左にある三角形 をクリックします。

3 スライドにグラフィックを配置するには、次のいずれかの操作を行います。

- クリップアートをスライドにドラッグします。
- クリップアートをダブルクリックします。
- クリップアートを右クリックし、コンテクストメニューで「選択したスライドに追加」を選択します。

4 グラフィックがスライドに表示されたら、次のいずれかの操作を行います。

- グラフィックのサイズを変更するには、バウンディングボックスのコーナーをドラッグします。
- グラフィックを移動するには、クリップの中心をクリックして別の場所にドラッグします。
- クリップアートの重なり順を変更するには、グラフィックをクリックし、編集／アレンジメニューからオプションを選択します。

スライドへのテキストの追加

スライドショーダイアログボックスのエクストラパレットで、スライドに追加するテキストのフォントスタイルを選択できます。



スライドへのテキストの追加

1 新しいテキストを追加するには、次のいずれかの操作を行います。

- プリセットテキストエフェクトのいずれかを使用するには、エクストラパレットでテキストをクリックし、テキストサンプルをスライドにドラッグします。
- シンプルなテキストを追加するには、「テキストを追加」ボタン T をクリックします。

2 サンプル表示されたテキストを変更する場合は、テキストをダブルクリックし、テキストを編集ダイアログボックスに入力して、「OK」をクリックします。

3 プロパティパレットで、次のいずれかのオプションを設定します。

注意：ここで指定したテキストプロパティが、テキストを追加する際の初期設定になります。

フォントファミリー テキストにフォントファミリーを適用します。ダイアログボックスの左側にあるメニューからフォントファミリーを選択します。

フォントサイズ テキストにフォントサイズを適用します。ダイアログボックスの右側にあるメニューからフォントサイズを選択します。

カラー テキストにカラーを適用します。スウォッチをクリックし、カラーピッカーダイアログボックスを使用してカラーを指定します。

不透明度 テキストの不透明度を指定します。テキストの下のスライドコンテンツが透けて見えるようにするには、不透明度を低くします。

テキストの左揃え テキストの各行を左端に揃えます。

テキストの中央揃え テキストの各行を中心に揃えます。

テキストの右揃え テキストの各行を右端に揃えます。

フォントスタイル 太字 T 、斜体 T 、下線 T 、打ち消し線 T などのフォントスタイルをテキストに適用します。スタイルアイコンをクリックすると、そのスタイルが適用されます。

ドロップシャドウ T テキストにドロップシャドウを追加し、テキストを立体的に見せます。

ドロップシャドウカラー ■ ドロップシャドウのカラーを変更します。

既存のテキストを編集するには、「テキストを編集」ボタンをクリックします。

スライドへのナレーションの追加

コンピュータにマイクが接続されている場合は、スライドにナレーションを録音できます。オーディオキャプションとして写真にナレーションを追加することもできます。



スライドへのナレーションの追加
A. 録音ボリュームレベル **B.** 録音ボタン **C.** 再生ボタン **D.** ナレーションの長さ **E.** 削除ボタン **F.** 開くボタン

1 スライドショーダイアログボックスのエクストラパレットで、ナレーション をクリックします。

2 ナレーションを録音するには、録音ボタン をクリックし、マイクに向かって発声します。

3 ナレーションを録音したら、次のいずれかの操作を行います。

- 再生ボタンをクリックし、録音したナレーションを試聴します。
- 削除ボタンをクリックし、「このナレーションを削除」を選択してもう一度やり直すか、「すべてのナレーションを削除」を選択して、スライドショーからすべてのナレーションを削除します。

4 既存のオーディオキャプションをナレーションとして使用するには、開くボタンをクリックし、次のいずれかのオプションを選択します。

既存のオーディオキャプションを使用 写真に添付されたオーディオキャプションを使用します。

参照 別のオーディオキャプションを検索して選択できます。

5「次のスライド」ボタンをクリックして、次のスライドのナレーションを録音します。

パンとズームの設定

スライドショーダイアログボックスで、各スライドのパン・ズームをカスタマイズできます。写真の特定の部分にバウンディングボックスを配置し、開始ポイントと終了ポイントを指定します。ボックスのサイズは変更可能です。ボックスを小さくすると、パン・ズームの効果が大きくなります。スライドに複数のパン・ズームの開始および終了ポイントを追加することもできます。この場合、前のパン・ズームの終了ポイントが、次のパン・ズームの開始ポイントになります。

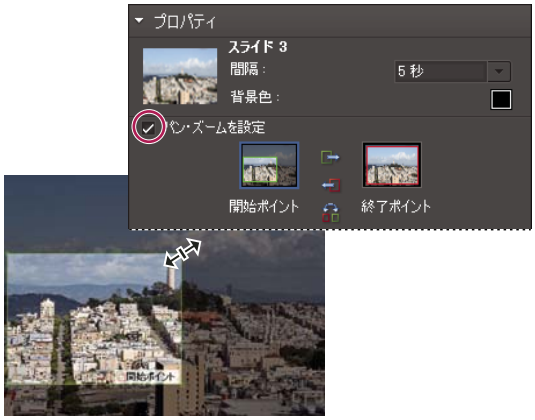
注意：パン・ズームをビデオクリップに適用せず、写真にだけ適用することもできます。

1 ストーリーボードで、パン・ズームを追加するスライドをクリックします。

2 スライドショーダイアログボックスのプロパティパレットで、「パン・ズームを設定」を選択します。

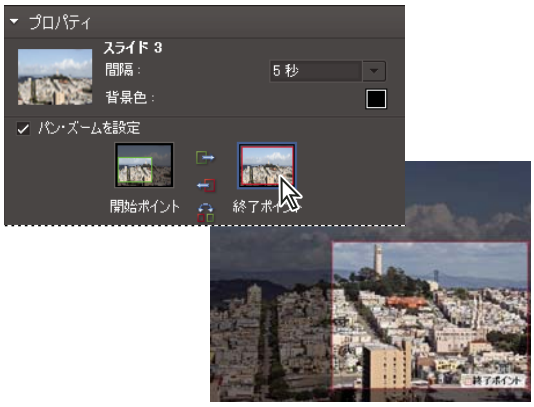
3 開始バウンディングボックスが緑色の枠で表示されます。メインプレビューウィンドウで、バウンディングボックスのコーナーをドラッグしてサイズを変更します。

4 開始ボックスを、パン・ズームを開始する部分にドラッグします。フォーカスする部分を囲むようにボックスのサイズを変更します。



パン・ズームを有効にし、開始ポイントを設定

5「終了ポイント」というラベルが付いているサムネールをクリックします。終了バウンディングボックスが赤色の枠で表示されます。メインプレビューエリアで、パン・ズームを終了させる部分を囲むように、ボックスを移動してサイズを変更します。

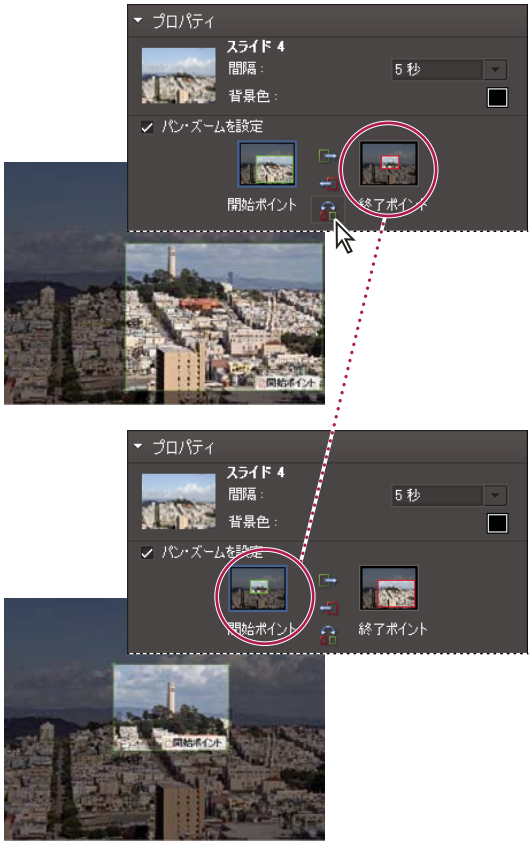


終了ポイントの選択

6 パン・ズームのエリアを追加するには、「このスライドに別のパン・ズームを追加」ボタンをクリックします。Photoshop Elements は、新しいスライドをリンクアイコン 付きでストーリーボードに追加し、パン・ズームが追加されていることを示します。前の終了ポイントと新しい開始ポイントはリンクされます（いずれかのポイントを編集すると、変更内容が両方のポイントに反映されます）。パン・ズームを終了させる部分を囲むように、新しい終了バウンディングボックスをドラッグします。

注意：追加したパン・ズームの開始ボックスを移動すると、前のパン・ズームの終了ボックスにも影響します。

7 開始ポイントと終了ポイントを入れ替えるには、ポイントを選択して、入れ替え をクリックします。同じスライドに開始ポイントと終了ポイントを配置するには、開始ポイントを終了ポイントにコピー をクリックするか、終了ポイントを開始ポイントにコピー をクリックします。



パンとズームのポイントの入れ替え（下が入れ替え後）

8 再生ボタンをクリックし、パンとズームをプレビューします。

パンとズームを追加すると、スライドが切り替わる前の、終了ポイントに置かれるフォーカスの時間が延長されます。

スライドへのエフェクトの追加

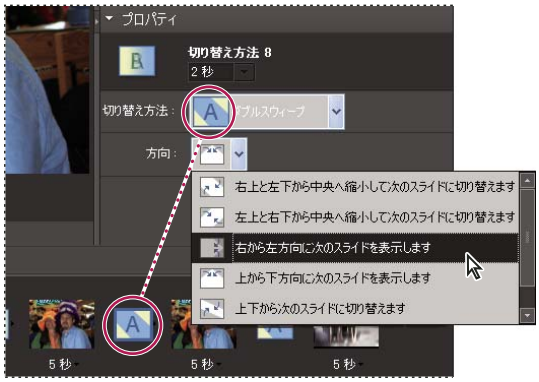
スライドショー内の写真に、モノクロやセピアなどのエフェクトを適用できます。

1 ストーリーボードで、スライドを選択します。メインプレビューウィンドウで写真をクリックします。

2 プロパティパレットで、モノクロ またはセピア アイコンをクリックし、写真にエフェクトを追加します。写真を元のカラーに戻すには、元の写真のカラー をクリックします。

切り替え方法の追加および編集

切り替え方法とは、スライドが次のスライドに変わるときの表示を変化させる効果です。Photoshop Elements では、様々な切り替え方法を選択できます。切り替え間隔は、個別のスライドまたはグループ単位で調整できます。切り替え方法のパターンは、スライド間のアイコンで表示されます。スライドショーを作成したときにスライドショー全体の切り替え方法を変更するには、ストーリーボードですべての切り替え部分を選択し、切り替え方法を選択するか、「スライドショーの環境設定」でオプションを設定します。



切り替え方法の変更

1 切り替え方法を変更するには、次のいずれかの操作を行います。

- 同じ切り替え方法をすべてのスライドに追加するには、編集／すべての切り替え方法を選択を選択します。プロパティパレットの切り替え方法メニューからオプションを選択します。
- 切り替え方法を個別に変更するには、2 つのスライドの間にある切り替えアイコンをクリックし、プロパティパレットの切り替え方法メニューからオプションを選択します（切り替えアイコンの右の三角形をクリックして変更することもできます）。

2 切り替え間隔を変更するには、次のいずれかの操作を行います。

- 切り替え間隔を個別に変更するには、2 つのスライドの間にある切り替えアイコンをクリックし、プロパティパレットの上部にあるメニューから間隔を選択します。
- すべての切り替え間隔を変更するには、編集／すべての切り替え方法を選択を選択します。プロパティパレットの複数の切り替え方法メニューから間隔を選択します。

スライドの表示時間の調整

❖ 次のいずれかの操作を行います。

- ストーリーボードのスライドの下にある表示時間の合計値をクリックし、表示されるメニューからいずれかのオプションを選択します。スライドを選択し、環境設定で表示時間を変更することもできます。
- スライドやスライドショーを最初に作成したときに、スライドショーの環境設定でスライド間隔の時間を設定します。
- スライドショーと音楽クリップの同期をとるには、「スライドをオーディオの長さに合わせる」 をクリックします。

カタログからスライドショーへの写真やビデオの追加

1 スライドショーダイアログボックスで、「メディアを追加」ボタンをクリックし、「写真整理モードから写真とビデオを追加」を選択します。

2 写真を追加ダイアログボックスで、次の中から 1 つまたは複数のオプションを選択して、目的の写真を表示します。

現在のブラウザ内の写真 フォトブラウザに現在表示されているすべての写真とビデオクリップを表示します。

カタログ全体 カタログにあるすべての写真とビデオクリップを表示します。

アルバム アルバムまたはアルバムグループにある写真とビデオクリップを表示します。

キーワード名札 名札、カテゴリまたはサブカテゴリに関連付けられている写真とビデオクリップを表示します。

重要度付きの写真を表示「お気に入り」名札の付いたアイテムのみを表示します。どの写真セットを選択した場合でも、そのセットでお気に入りに登録されている写真のみがダイアログボックスに表示されます。

「非表示」の写真を表示「非表示」名札の付いたアイテムを表示します

注意：写真は、フォトブラウザでの表示順序にかかわらず、古い順からプロジェクトに表示され、追加されます。ただし、アルバムは例外で、アルバムで指定された順序で表示されます。

3 アイテムの横にあるチェックボックスをオンにして、スライドショーに含めるアイテムを選択します。Ctrl+A キーを押すと（または「すべてを選択」ボタンをクリックすると）、表示されているすべてのアイテムを選択できます。Shift+Ctrl+A キーを押すと（または「すべてを選択解除」ボタンをクリックすると）、すべてのアイテムの選択を解除できます。

4 次のいずれかのオプションを選択します。

選択した写真を追加 選択した写真をプロジェクトに追加し、チェックボックスをリセットします。選択作業を続けられるように写真を追加ダイアログボックスは開いたままになります。

完了 選択した写真をプロジェクトに追加し、ダイアログボックスを閉じて、スライドショーダイアログボックスに戻ります。

新しいスライドショーを作成する場合は、最初に、プロジェクトで使用するすべての写真を集めたアルバムを作成することもできます。フォトブラウザにアルバムを表示して、簡単に写真を並べ替えたり、キャプションを編集したりできます。その後、「メディアを追加」ボタンを使用して、そのアルバムをプロジェクトに追加できます。

スライドショーの環境設定

1 スライドショーダイアログボックスで、編集／スライドショーの環境設定を選択します。

2 次のいずれかのオプションを設定し、「OK」をクリックします。

スライド間隔 各スライドの間隔の初期設定を指定します。

切り替え方法 スライドから次のスライドに切り替える方法を指定します。

切り替え間隔 切り替え時間の長さを設定します。切り替えの印象を強くする場合は、間隔を長くします。

背景色 各スライドの写真の周りに表示されるカラーの初期設定を指定します。

すべてのスライドにパン・ズームを適用 スライドショー内のすべてのスライドにランダムにパン・ズームを適用します。

写真のキャプションをテキストとして挿入 写真整理モードの写真に添付されているキャプションをスライドに追加します。

オーディオキャプションをナレーションとして挿入 フォトブラウザで写真用に作成したオーディオキャプションを追加します。

最後のスライドまでサウンドトラックを繰り返し スライドショーが終了するまで音楽を繰り返し再生します。

写真とスライドサイズの調整 写真をスライドに合わせて切り抜き、縦横比が異なる場合に写真に表示される黒い線を削除します。写真の向きに応じて、「横方向」または「縦方向」を選択します。

プレビューの再生オプション メニューから再生画質を選択します。「高画質」を選択すると、スライドショーの画質が高くなりますが、読み込みに時間がかかります。

新規スライドショーを作成するたびにこのダイアログボックスを表示 新しいスライドショーを作成するときは毎回環境設定ダイアログボックスを表示します。

スライドショーの出力

スライドショーの作成が完了したら、プロジェクトを配信できます。作成したスライドショーは、PDF やムービーファイル、ビデオ CD や DVD として出力したり、Windows Media Center Edition を搭載したコンピュータで再生したり、Adobe Premiere Elements でビデオプロジェクトとして使用することができます。

1 スライドショーダイアログボックスで、「出力」ボタン をクリックします。

2 次のいずれかを選択し、「OK」をクリックします。

ファイルとして保存 Web または電子メールで配信可能なファイルを生成するには、このオプションを選択します。これにより、スライドショーが PDF 形式またはムービーファイル形式（WMV）で保存されます。

PDF ファイルの場合は、スライドショーを見る環境に合わせてサイズオプションを選択します。

- 画面が小さいノート PC で見ることを想定して PDF を送信する場合は、スライドサイズを小さく設定します。
- 画面が大きいデスクトップコンピュータで見ることを想定して送信する場合は、大きいファイルサイズを選択します。
- スライドショーを最後まで再生したときに自動的に最初から再生する場合は、「ループ」を選択します。

- スライドショーを自動再生しない場合は、「マニュアル設定」を選択します。
- PDF の作成後にファイルを表示する場合は、「保存した後にスライドショーを表示」を選択します。

注意：スライドショーを PDF ファイルとして保存すると、一部のスライドショー機能が無効になります。パン・ズーム効果は、PDF ファイルでは表示されません。スライドにビデオクリップが含まれている場合は、クリップを除外してスライドが保存されます。また、PDF で保存すると、一部の切り替え方法が別の切り替え方法として表示されます（例えば、センターシェイプとクロックワイプは、PDF ファイルではフェードとして表示されます）。

ムービーファイルの場合は、ファイルを再生する環境に合わせてサイズオプションを選択します。

- 電子メールで見ることを想定してムービーファイルを送信する場合は、スライドサイズを小さく設定します。
- テレビで見ることを想定して送信する場合は、大きいファイルサイズを選択します。

ディスクに書き込み スライドショーを DVD または Video CD（VCD）に保存します。DVD には MPEG-2 圧縮形式で保存され、より高い画質を提供します。DVD に書き込めるのは、Adobe Premiere Elements がコンピュータにインストールされている場合のみです。

VCD は、大半のコンピュータの CD-ROM および DVD-ROM ドライブ（必要なプレーヤーソフトウェアがインストールされていることを前提とします）および一部の DVD プレーヤーで読み取ることができます。VCD には MPEG-1 圧縮形式で保存され、解像度は 352 x 240 ピクセルになります。テレビモニタで VCD を試聴するときは、352 x 240 ピクセルの画像が 720 x 480（NTSC）または 720 x 576（PAL）ピクセルの画面に合わせて拡大されます。このため、画質が低下し、圧縮によるブロックノイズやピクセルの粗さが拡大して表示されます。

テレビに出力 Windows Media Center Edition コンピュータを使用して TV でスライドショーを表示できます。このオプションを使用するには、Windows XP Media Center Edition コンピュータが必要です。

Premiere Elements へ送信 Adobe Premiere Elements がコンピュータにインストールされている場合に、写真整理モードで Adobe Premiere Elements へスライドショーを送信することができます。

関連項目

340 ページの「スライドショーの作成」

391 ページの「Microsoft Windows XP Media Center Edition 2005 コンピュータでの写真の表示」

DVD へのスライドショーの書き出し

Adobe Premiere Elements がインストールされている場合は、スライドショー作成の最後の手順で、スライドショーを Photoshop Elements から大半の DVD プレーヤーで再生できる高品質な DVD に書き出すことができます。

1 手順に従ってスライドショーエディタダイアログボックスを開き、スライドショーを作成します。340 ページの「スライドショーの作成」を参照してください。

2 スライドショーダイアログボックスで、「出力」ボタン をクリックします。

3「ディスクに書き込み」ボタン をクリックします。

4 書き込むディスクの種類として DVD を選択します。

5 DVD を再生する地域のテレビ標準規格（NTSC または PAL）を選択します。

6（オプション）別のスライドショーや WMV ファイルをディスクに保存するには、「追加で作成したスライドショーをディスクに保存」を選択します。

7「OK」をクリックします。

追加で作成したスライドショーを保存することを選択した場合は、メニュー付き DVD を作成ダイアログが開きます。

8 スライドショーを追加する場合は、次の操作を行った後に、「OK」をクリックします。

- リストからスライドショーを削除するには、削除するスライドショーを選択し、「スライドショーを削除」ボタンをクリックします。
- テレビ標準規格を変更するには、「テレビ方式」領域から NTSC または PAL のいずれかを選択します。
- DVD に書き込むスライドショーを並び替えるには、移動先の場所に画像をドラッグします。

9 新しい WMV ファイルを保存するフォルダを選択し、「OK」ボタンをクリックします。

Photoshop Elements によって、書き込むスライドショーごとに WMV（Windows Media Video）ファイルが作成されます（ダイアログボックスの「キャンセル」ボタンを押すと、いつでも処理を中断できます）。

Adobe Premiere Elements で、WMV ファイルがメディアパネルとシーン／タイムラインパネルに追加され、DVD ワークスペースが自動的に表示されます。この DVD ワークスペースで、メニューテンプレートの選択や、メニューボタンの追加やカスタマイズができます。

既存のスライドショーの DVD への書き込み

Adobe Premiere Elements がインストールされている場合、保存されているスライドショープロジェクトを Photoshop Elements から大半の DVD プレーヤーで再生できる高品質な DVD に直接書き込むことができます。

1 写真整理モードのフォトブラウザで、1 つまたは複数のスライドショープロジェクトを選択します。

2「作成」タブを選択し、詳細オプション／メニュー付き DVD を選択します。

3 DVD を再生する地域のテレビ方式（NTSC または PAL）を選択します。

4（オプション）別のスライドショープロジェクトや WMV ファイルをディスクに保存する場合は、「スライドショーを追加」ボタンをクリックし、スライドショーを選択してから「OK」をクリックします。

5 スライドショーを追加する場合は、次の操作を行った後に、「次へ」をクリックします。

- リストからスライドショーを削除するには、削除するスライドショーを選択し、「スライドショーを削除」ボタンをクリックします。
- DVD に書き込むスライドショーを並び替えるには、移動先の場所に画像をドラッグします。

6「次へ」をクリックします。

7 新しい WMV ファイルを保存するフォルダを選択し、「OK」ボタンをクリックします。

Photoshop Elements によって、書き込むスライドショーごとに WMV（Windows Media Video）ファイルが作成されます（ダイアログボックスの「キャンセル」ボタンを押すと、いつでも処理を中断できます）。

Adobe Premiere Elements で、WMV ファイルがメディアパネルとシーン／タイムラインパネルに追加され、DVD ワークスペースが自動的に表示されます。この DVD ワークスペースで、メニューテンプレートの選択や、メニューボタンの追加やカスタマイズができます。

Photoshop Elements スライドショーのビデオプロジェクトへの追加

Photoshop Elements では、作成した写真のスライドショーに音楽、切り替え方法、ナレーション、テキストなどを追加して、高度な作品に仕上げることができます。プロジェクトが完成したら、Adobe Premiere Elements に取り込んで、プロジェクトをムービーや DVD に組み入れることもできます。



Adobe Premiere Elements の「編集」タブのプロジェクトビュー、および シーンラインに表示されたスライドショー

1 スライドショーダイアログボックスで、「出力」ボタン をクリックします。

2「Premiere Elements へ送信」ボタン をクリックして、「OK」をクリックします。最初にプロジェクトを保存するかどうかを確認するメッセージが表示された場合は、「OK」をクリックし、プロジェクトの名前を入力して「保存」をクリックします。

ダイアログボックスが表示され、スライドショーが完成するまでの時間を確認できます。スライドショーは、写真整理モードのフォトブラウザの一番上に表示されます。Adobe Premiere Elements が起動している場合は、スライドショーが整理ビューに表示され、シーンラインまたはタイムラインにドラッグできます。

パノラマの合成

Photomerge Panorama の作成

「Photomerge Panorama」コマンドは、複数の写真を 1 枚の画像に結合します。例えば、一部を重ね合わせながら 5 枚に分けて撮影した高層建築物の写真を 1 枚のパノラマ写真に結合することができます。「Photomerge Panorama」コマンドを使用して、写真を水平方向にも垂直方向にも並べることができます。

Photomerge Panorama コンポジションを設定する際に、結合したい写真（ソースファイル）を指定すると、Photoshop Elements によってそれらのファイルが自動的に 1 枚のパノラマに結合されます。結合が完了した後も、必要に応じて、個々の写真の位置を変更することができます。



Photomerge Panorama を作成する

パノラマ写真の構成では、ソース写真が重要な役割を果たします。問題を避けるため、Photomerge Panorama に使用する写真を撮影する際は、次の指針に従ってください。

十分に画像を重ね合わせる 画像には、およそ 15 % ～ 40 % の重複部分が必要です。重複部分が十分でない場合、Photomerge Panorama で自動的にパノラマを合成できない場合があります。重複部分が 50 % 以上ある場合、写真の処理が困難になり、効果的な合成が実行できない場合があります。

同じレンズ焦点距離を使用する 写真を撮影する際に、カメラのズーム機能を使用しないでください。

カメラの高さを固定する Photomerge Panorama では、わずかな角度のズレは回転させて修正できますが、一定の角度を超えて写真が傾いていると、パノラマ写真の自動合成中にエラーが発生する場合があります。回転ヘッド付きの三脚を使用すると、カメラの位置決めと視点の固定に便利です。

高所からパノラマ風景の写真を撮影する場合、たいていの人は、ファインダを覗いて水平レベルを合わせる傾向があります。しかし、この方法を使用すると、画像間での角度のズレが顕著に現れます。このような状況で写真を撮影する場合は、三脚を使用してカメラの高さを固定するようにしてください。

同じ位置から撮影する 一連の写真を撮影する際、写真の視点を同じにするため、撮影する場所を変更しないようにしてください。光学ファインダを使用してカメラに目を近づけると、視点が固定されます。または、三脚を使用してカメラを同じ位置に固定するようにしてください。

歪曲効果を持つレンズは使用しない 魚眼レンズなど、画像を著しくゆがめるレンズを使用すると、Photomerge Panorama が正常に機能しない場合があります。

露光量を一定にする 一部の写真だけにフラッシュを使用することは避けてください。Photomerge Panorama の高度な合成機能によって、露光量が異なる場合でも均一化することができますが、露光量が大きく異なる場合は調整が困難になります。一部のデジタルカメラでは、写真を撮影するときに露光量の設定が自動的に変化する場合があります。すべての写真を同じ露光量で撮影できるように、カメラの設定を確認してください。

Photomerge Panorama コンポジションの作成

1 次のいずれかの操作を行います。

- 写真編集モードで、ファイル／新規／ Photomerge Panorama を選択します。
- 写真整理モードで、ファイル／新規／ Photomerge Panorama を選択します。

2 写真編集モードで 2 つ以上のファイルを選択した場合、「参照」ボタンをクリックして、Photomerge Panorama コンポジションの作成に使用したいソースファイルまたはフォルダに移動します。すべてのソースファイルを追加したら、「OK」をクリックして Photomerge Panorama コンポジションを作成します。ソースファイルが自動的に開き、結合処理が行われます。

コンポジションを自動的に結合できない場合は、スクリーンにメッセージが表示されます。ライトボックスからワークエリアに写真をドラッグし、それらを手動で結合することにより、Photomerge ダイアログボックス内でコンポジションを合成できます。

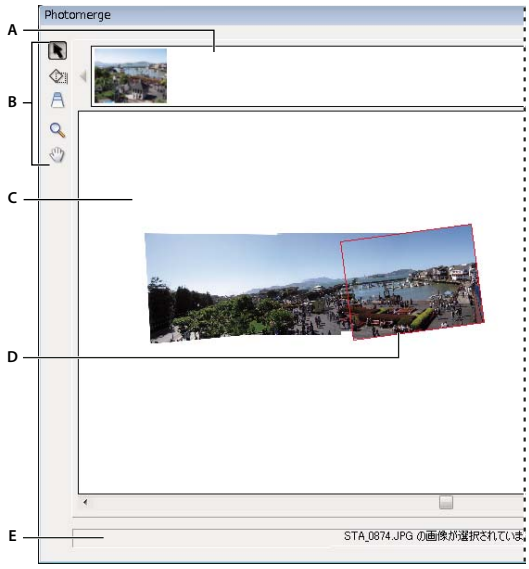
3 新しいパノラマ画像が Photomerge ダイアログボックスに表示された後でも、個々のソースファイルを編集して、ワークエリアの表示を変更することができます。画像の順序を並べ替える必要がある場合、ワークエリアで画像をドラッグして位置を変更するか、ライトボックス内で画像を並べ替えます（画像を自動配置しない場合は、「画像にスナップ」の選択を解除します）。

4 必要に応じて、コンポジションの視点の位置または合成に関する設定を調整します。

5「OK」をクリックして、新しいファイルにパノラマを生成します。

Photomerge ダイアログボックスの使用

Photomerge ダイアログボックスには、コンポジションを編集するためのツール、使用されていないソース画像を保存するためのライトボックス、コンポジションを結合するためのワークエリア、およびコンポジションを表示および編集するためのオプションが含まれています。ファイルの配置を見やすくするため、ズームインおよびズームアウトすることもできます。



Photomerge ダイアログボックス
A. ライトボックス **B.** ツール **C.** ワークエリア **D.** 選択された画像 **E.** ステータスバー

- 移動するには、手のひらツール を選択し、ワークエリアにドラッグします。または、ビューボックス（赤で囲んだ部分）またはナビゲータ内のスクロールバーをドラッグします。
- ズームするには、ズームインアイコン とズームアウトアイコン をクリックするか、ズームツール を使用します。Alt キーを押しながらズームツールを使用すると、ズームアウトします。
- 画像を回転するには、選択ツール を選択し、回転させる画像をクリックして、次に回転ツール を選択し、円を描くように画像をドラッグします。
- ライトボックスの画像を並べ替えるには、選択ツールを選択し、ライトボックス内で画像をドラッグします。
- コンポジションに画像を追加するには、選択ツールを選択し、ライトボックスからワークエリアに画像をドラッグします。
- コンポジションから画像を削除するには、選択ツールを選択し、ワークエリアからライトボックスに画像をドラッグします。

共通部分が検出されたときに、重複部分を持つ画像が自動的に配置されるようにするには、「画像にスナップ」を選択します。

視点の位置の変更

視点変更ツールは、視点を置く画像を選択することによって、Photomerge Panorama コンポジションの遠近感を変更します。

1 Photomerge ダイアログボックスの「設定」領域で「遠近法」を選択します。初期設定では、中央の画像に視点が設定されます（選択されると青色の境界が表示されます）。

2 視点変更ツール を選択し、ワークエリアで画像をクリックすると、その画像に視点が移動します。1 つのコンポジションに設定できる視点は 1 つだけです。

注意： Alt キーを押しながら画像の上にポインタを移動させると、写真の選択範囲の境界線を表示することができます。

3 必要に応じて、選択ツール を使用し、視点が設定されていない画像の位置を調整します。視点が設定されていない画像を選択すると、赤色の境界線が表示されます。

コンポジションに遠近法の補正を適用すると、視点が設定されていない画像は、視点が設定された画像にリンクされます。このリンクを解除するには、「位置の変更のみ」をクリックするか、ワークエリアで画像を分離するか、視点が設定された画像をライトボックスにドラッグします。リンクが解除されると、画像は元の形状に戻ります。

遠近法の補正は、視角の範囲がおよそ 120˚ 以内の場合に適用できます。コンポジションの視角が 120˚ よりも大きい場合は、「遠近法」オプションの選択を解除してください。

ゆがみとカラーの不整合の軽減

Photomerge Panorama コンポジションのゆがみを軽減するには、コンポジションオプションを使用します。

1 コンポジションオプションを選択します。

遠近感を補正 遠近法の補正を適用したときに発生する蝶ネクタイ状のゆがみを軽減します。遠近法の補正を適用するには、遠近法オプションを選択する必要があります。



遠近感の補正を適用する
A. 元の画像 **B.** 遠近感の補正を適用

2「プレビュー」をクリックします。

これらのオプションの効果は、プレビューモードおよび最終的に生成された画像にしか表示されません。

3 編集モードに戻るには、「プレビューの終了」をクリックします。

第 19 章：Web 用に最適化

Web 用に最適化すると、インターネットでの表示に最適になるように、画像の圧縮や表示オプションの設定が行われます。画像をインターネットで配信する場合、ファイルサイズは重要です。ダウンロード時間が極端に長くならない程度に小さく、カラーやディテールを十分に保持できる程度に大きくなくてはなりません。Web で使用されるグラフィックファイルには、主に GIF、JPEG、PNG の 3 つ形式が使用されています。

Photoshop Elements ヘルプのすべての内容を参照するには、「Web 上のページ」をクリックして LiveDocs にアクセスしてください。

画像の最適化

最適化

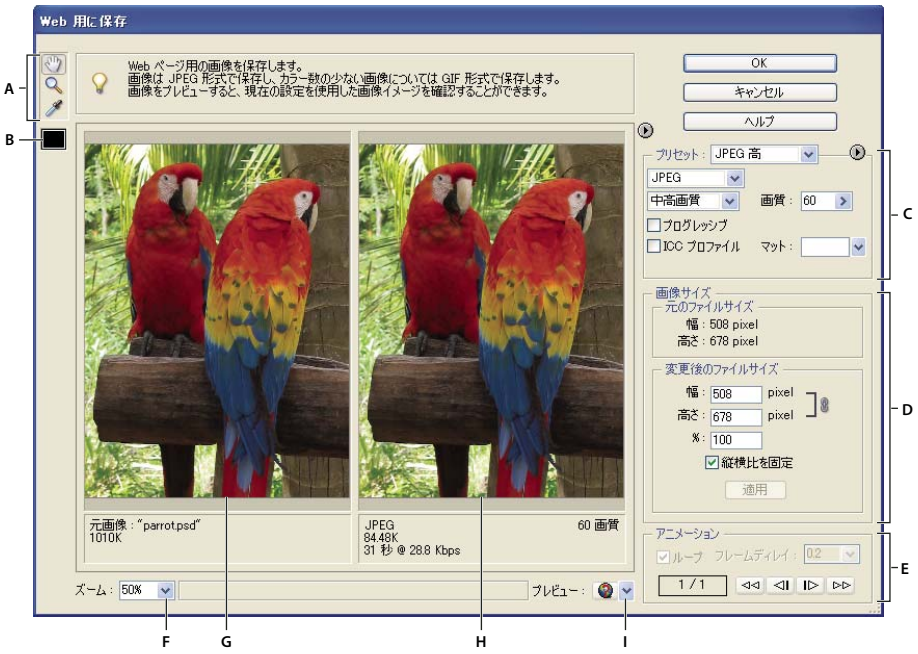
画像を Web で配信するときは、ファイルサイズを考慮する必要があります。ダウンロード時間が極端に長くならない程度に小さく、カラーやディテールを十分に保持できる程度に大きくなくてはなりません。

Web で使用されるグラフィックファイルには、主に GIF、JPEG、PNG の 3 つの形式が使用されています。次のいずれかの方法を使用して、画像をこれらの形式で最適化します。

- 画像を Adobe® GoLive® などの Web オーサリングアプリケーションで使用できるように最適化するには、「Web 用に保存」コマンドを使用します。Web 用に保存ダイアログボックスでは、画像を異なるファイル形式と異なる最適化設定でプレビューできます。透明部分やアニメーション設定も変更できます。
- 基本的な最適化を行う場合は、「別名で保存」コマンドを使用します。ファイル形式に応じて、画質、透明な背景またはマット処理、カラー表示、ダウンロード方法を指定できます。

Web 用に保存ダイアログボックスの使用

Web 用に保存ダイアログボックスを使用して、Web で共有する写真に対する異なる最適化オプションの効果をプレビューします。作業は簡単です。写真編集モードで、写真を開いて、ファイル／ Web 用に保存を選択します。ファイル形式メニューから形式を選択し（GIF、JPEG、PNG-8 または PNG-24）、必要に応じてオプションを設定します（ファイル形式メニューはプリセットメニューの下にあります）。ファイルのコピーが保存されるので、元の画像が上書きされることはありません。



Web 用に保存ダイアログボックス
A. ツールボックス **B.** スポイトツールカラー **C.** 最適化設定 **D.** 画像サイズ **E.** アニメーションオプション **F.** ズームレベルメニュー **G.** 元の画像 **H.** 最適化した画像 **I.** ブラウザプレビューメニュー

最適化オプションは、Web 用に保存ダイアログボックスの右側に表示されます。Web ファイル形式を選択するとともに、圧縮およびカラーオプションを選択したり、透明な背景またはマット処理を選択したり、画像のサイズを変更することができます。定義済みの設定を使用したり（プリセットメニューから形式を選択）、形式固有のオプションを選択して最適化を微調整することもできます。

画像ウィンドウには、元の画像（左）と最適化した画像のプレビュー（右）が表示されます。それぞれのウィンドウの下には、最適化の情報（現在の設定、最適化したファイルのサイズ、推定ダウンロード時間）が表示されます。調整を行うと、最適化した画像に新しい設定が反映され、画像の下の情報が変化します。

ダイアログボックスの左上隅には小さなツールボックスが表示されます。画像の別の部分を表示するには、手のひらツール を選択して画像をドラッグし、該当する部分が表示されるように移動します。画像をズームインするには、ズームツール を選択して表示領域内でクリックします。Alt キーを押しながらもう一度クリックすると、ズームアウトします（または、ダイアログボックスの下にある「ズーム」ボックスを使用します）。マットカラーを作成するには、スポイトツールカラーを使用します。

関連項目

368 ページの「Web ブラウザでの最適化画像のプレビュー」

369 ページの「カラー表示の相違のプレビュー」

368 ページの「推定ダウンロード時間の表示」

Web 用に最適化されたファイル形式

Web 用のファイルは 4 種類の形式から選択できます。Web 画像用の形式を選択するときは、次のガイドラインを参考にしてください。

JPEG ほとんどの写真の保存に最適な形式です。

PNG-24 JPEG と同様に、写真に適した形式です。画像に透明部分が含まれている場合のみ、JPEG ではなく PNG-24 を選択します（JPEG は透明ピクセルをサポートしません。透明部分はマットカラーで塗りつぶす必要があります）。PNG-24 ファイルは、同じ画像の JPEG ファイルよりサイズがはるかに大きくなります。

GIF GIF は、ラインアート、広いべた塗り部分と鮮明なディテール部分を含むイラストレーション、テキストなどに適した形式です。また、アニメーション画像を書き出す場合は、GIF を使用する必要があります。

PNG-8 PNG-8 は、あまり知られていませんが GIF と同等の形式で、GIF と同じ用途で使用します（アニメーションを除く）。

GIF および PNG-8 形式の画像（インデックスカラー画像と呼ばれる場合もあります）は、最大 256 色で表示することができます。画像をインデックスカラーに変換するために、Photoshop Elements はカラールックアップテーブルを作成します。元画像のカラーがカラールックアップテーブルに表示されていない場合は、テーブル内で最も近いカラーを使用するか、利用可能なカラーを用いてそのカラーをシミュレートします。

JPEG および PNG-24 ファイルは 24 ビットカラーをサポートし、最大 1600 万色で表示することができます。形式に応じて、画質、透明な背景またはマット処理、カラー表示、ブラウザが画像をダウンロードしているときの画像の表示方法を指定できます。

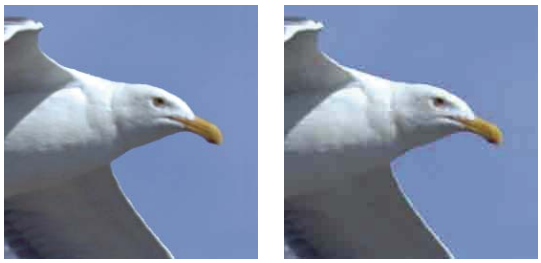
Web での画像の表示は、コンピュータプラットフォーム、オペレーティングシステム、モニタ、ブラウザで表示されるカラーによっても異なります。異なるブラウザやプラットフォームで画像をプレビューして、Web でどのように表示されるか確認することもできます。

JPEG 形式

JPEG 形式は 24 ビットカラーをサポートしているので、写真の明るさや色相のわずかな違いが保持されます。プログレッシブ JPEG ファイルは、フル解像度の画像をダウンロードしながら、低解像度の画像を Web ブラウザに表示します。

JPEG 画像圧縮は一部の画像データを破棄するので、非可逆圧縮方式と呼ばれます。画質設定を高くすると破棄されるデータが少なくなりますが、JPEG 圧縮形式では、特に活字やベクトルデータを含む画像の場合は、画像のシャープなディテールが必ず劣化します。

注意：画像を JPEG 形式で保存するたびに、斑点、波形のようなパターン、ブロック状の縞模様が生成されます。このため、JPEG ファイルとして保存する場合は、JPEG 形式で既に保存したファイルからではなく、常に元の画像から保存することをお勧めします。



元の画像（左）と最適化した低画質設定の JPEG（右）

JPEG 形式は透明ピクセルをサポートしていません。画像を JPEG ファイルとして保存すると、Web 用に保存ダイアログボックスで指定したマットカラーで透明ピクセルが塗りつぶされます。透明な背景の効果をシミュレートするには、マットカラーを Web ページの背景色と一致させます。画像に透明ピクセルがあり、Web ページの背景色がわからない場合、または背景がパターンの場合は、透明ピクセルをサポートする形式を使用します（GIF、PNG-8 または PNG-24）。

関連項目

365 ページの「マット処理した GIF 画像や PNG 画像の作成」

GIF 形式

GIF 形式は 8 ビットカラーを使用し、ラインアート、ロゴ、活字などのシャープなディテールを保持したまま、べた塗り部分を効率的に圧縮します。また、GIF 形式を使用すると、アニメーション画像を作成したり、画像の透明部分を保持することができます。GIF は、ほとんどのブラウザでサポートされます。

GIF 形式は、可逆圧縮方式の LZW 圧縮を使用します。ただし、GIF ファイルは 256 色に制限されるので、元の 24 ビット画像を 8 ビットの GIF として最適化すると、画像から一部のカラーが削除されます。



特定色域を使用した GIF 画像（左）と Web カラーを使用した GIF 画像（右）

GIF 画像内のカラー数を選択して、ブラウザでカラーをどのようにディザ処理するか制御できます。GIF は、透明な背景または背景のマット処理をサポートします。この場合、画像のエッジが Web ページの背景色とブレンドされます。

関連項目

365 ページの「GIF または PNG 画像での透明な背景の保持」

PNG-8 形式

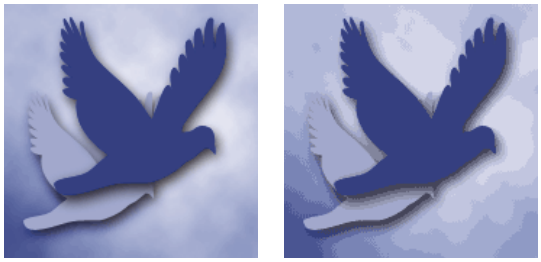
PNG-8 形式は、8 ビットカラーを使用します。GIF 形式と同様に、PNG-8 は、ラインアート、ロゴ、活字などのシャープなディテールを保持したまま、べた塗り部分を効率的に圧縮します。

PNG-8 は、ブラウザによってはサポートされていない場合があるので、画像を様々な人に配信するときは、この形式を避けることをお勧めします。

PNG-8 形式は GIF より優れた圧縮スキーマを使用しているので、PNG-8 ファイルのサイズは同じ画像の GIF ファイルより 10 %から 30%小さくなります（画像のカラーパターンによって異なります）。PNG-8 圧縮は可逆方式ですが、元の 24 ビット画像を 8 ビットの PNG 画像として最適化すると、画像から一部のカラーが削除される場合があります。

注意：一部の画像、特に単純なパターンと少ないカラーで構成された画像では、GIF 圧縮の方が PNG-8 圧縮より小さくなる場合があります。GIF 形式と PNG-8 形式で画像を最適化して、ファイルサイズを比較してください。

GIF 形式では、画像内のカラー数を選択して、ブラウザでカラーをどのようにディザ処理するか制御できます。PNG-8 形式 は、透明な背景または背景のマット処理をサポートします。この場合、画像のエッジが Web ページの背景色とブレンドされます。



ディザ処理していない 256 色の PNG-8 画像（左）とディザ処理した 16 色の PNG-8 画像（右）

関連項目

365 ページの「GIF または PNG 画像での透明な背景の保持」

PNG-24 形式

PNG-24 形式は、24 ビットカラーをサポートします。JPEG 形式と同様に、PNG-24 では、写真の明るさや色相のわずかな違いが保持されます。GIF および PNG-8 形式と同様に、PNG-24 は、ラインアート、ロゴ、活字などのシャープなディテールを保持します。

PNG-24 形式は、PNG-8 形式と同じ可逆圧縮方式を使用します。このため、PNG-24 ファイルは、通常、同じ画像の JPEG ファイルよりサイズがはるかに大きくなります。画像を様々な人に配信する場合は、PNG-24 形式を避けることをお勧めします。

透明な背景や背景のマット処理とともに、PNG-24 形式は複数の段階を持つ透明ピクセルをサポートします。不透明から完全な透明まで、最大 256 段階の透明ピクセルをサポートするので、画像のエッジを任意の背景色とスムーズにブレンドすることができます。ただし、複数の段階を持つ透明ピクセルをサポートしていないブラウザもあります。

関連項目

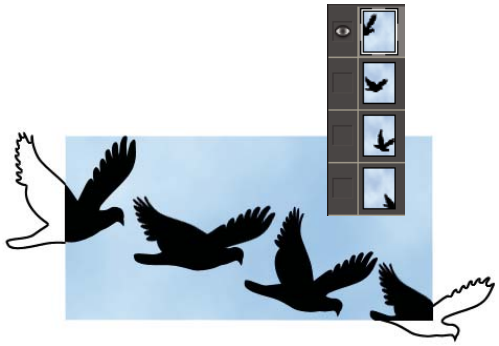
365 ページの「GIF または PNG 画像での透明な背景の保持」

アニメーション GIF

アニメーション GIF は、時間の経過に応じて連続した画像（フレーム）を表示することで、画像が動いているような効果を作成します。Photoshop Elements には、複数のレイヤーが含まれている画像から アニメーション GIF を作成するための強力で簡単な機能が用意されています。

アニメーション GIF ファイルを作成するには、レイヤーを操作します。それぞれのレイヤーは、Photoshop Elements が最適化したアニメーションを生成するときにフレームになります。アニメーション GIF は、写真編集モードで RGB カラードキュメントとして編集されます。

既存のアニメーション GIF ファイルは、写真編集モードで「開く」コマンドを使用して開くことができます。Photoshop Elements は、ファイル内の各フレームに対してレイヤーを作成します。ドキュメントウィンドウで特定のフレームを表示するには、レイヤーパレットでそのフレームのレイヤーを表示し、他のレイヤーを非表示にします。



別々のレイヤーの画像を組み合わせてアニメーションを作成することもできます。

関連項目

144 ページの「レイヤーについて」

369 ページの「アニメーションのプレビュー」

既定の最適化設定の適用

Web 用に保存ダイアログボックスの右上にあるプリセットメニューからあらかじめ定義された設定（プリセット）を選択することで、画像を Web 用にすばやく簡単に最適化できます。プリセットは、様々な種類の画像の最適化ニーズを満たすように定義されています。

各プリセットの名前から、そのプリセットが対象とするファイル形式と画質レベルがわかるようになっています。例えば、「JPEG 高」を選択すると、JPEG 形式の画像を高画質／低圧縮率で最適化します。「GIF 32 ディザ」を選択すると、GIF 形式の画像のカラー数を 32 色に減らし、ディザ処理を行って最適化します。

1 Web 用に保存ダイアログボックスで、プリセットメニューから設定名を選択し、「OK」をクリックします。

2 最適化ファイルを別名で保存ダイアログボックスで、ファイル名を入力して「保存」をクリックします。

注意：プリセットのオプションを変更した場合は、プリセットメニューに「カスタム」と表示されます。カスタム設定は保存できませんが、Web 用に保存ダイアログボックスを次に開いたときに現在の設定が表示されます。

JPEG 形式として最適化

JPEG は標準的な写真圧縮形式です。

1 写真編集モードで、画像を開いて、ファイル／ Web 用に保存を選択します。

2 最適化ファイル形式メニューで、「JPEG」を選択します。

3 特定のファイルサイズに最適化するには、プリセットメニューの右にある矢印 をクリックし、「ファイルサイズの最適化」をクリックします。「目標のファイルサイズ」テキストボックスにファイルサイズを入力し、「現在の設定」（現在の設定で最適化）または「GIF/JPEG を自動選択」（JPEG または GIF から最適な形式を自動的に選択）のいずれかを選択します。

4 次のいずれかの操作を行って、圧縮のレベルを指定します。

- 最適化ファイル形式メニューの下にあるポップアップメニューから画質オプション（低画質、中画質、高画質など）を選択します。
- 画質メニューにある矢印をクリックし、画質ポップアップスライダをドラッグします。
- 「画質」ボックスに 0 ～ 100 の値を入力します。

画質設定を高くすると、最適化した画像でディテールがより多く保持されますが、ファイルサイズは大きくなります。様々な画質設定で最適化した画像を表示して、画質とファイルサイズの最適なバランスを判断してください。

5「プログレッシブ」を選択すると、Web ブラウザで画像がプログレッシブに表示されます。つまり、最初は低解像度で表示され、ダウンロードが進むにつれて徐々に高解像度で表示されるようになります。

注意：プログレッシブ JPEG をサポートしていないブラウザもあります。

6 最適化した画像で元の画像の ICC プロファイルを保持するには、「ICC プロファイル」を選択します。

ICC プロファイルをカラー補正に使用しているブラウザもあります。画像の ICC プロファイルは、現在のカラー設定に依存します。

7 元の画像に透明部分が含まれる場合は、Web ページの背景と一致するマットカラーを選択します。元の画像の透明部分は、マットカラーで塗りつぶされます。

8 最適化した画像を保存するには、「OK」をクリックします。最適化ファイルを別名で保存ダイアログボックスで、ファイル名を入力して「保存」をクリックします。

関連項目

359 ページの「JPEG 形式」

253 ページの「カラーマネジメント」

GIF や PNG-8 形式として最適化

GIF は、広いべた塗り部分とラインアート、ロゴ、活字などの鮮明なディテールを含む画像向けの標準的な圧縮形式です。GIF 形式と同様に、PNG-8 は透明部分をサポートし、シャープなディテールを保持しながら塗りつぶし部分を効率よく圧縮します。ただし、PNG-8 ファイルの表示に対応していない Web ブラウザもあります。

1 写真編集モードで、画像を開いて、ファイル／ Web 用に保存を選択します。

2 最適化ファイル形式メニューで、「GIF」または「PNG-8」を選択します。

3 フル解像度の画像をダウンロードしているときに低解像度の画像を表示するには、「インターレース」を選択します。インターレースによりダウンロード時間は短くなるように感じられますが、ファイルサイズは大きくなります。

4 最適化ファイル形式メニューで、カラールックアップテーブルを生成するための減色アルゴリズムを選択します。

知覚的 人間の目による知覚度の高いカラーを優先したカスタムカラーテーブルを作成します。

特定 知覚的カラーテーブルとよく似ていますが、より広範囲を占めるカラーと Web カラーの保全を主体にしています。通常このカラーテーブルが、最もカラーの保全性に優れています（「特定」が初期設定です）。

割り付け 画像に最もよく使用されているスペクトルからカラーをサンプルしてカスタムカラーテーブルを作成します。例えば、グリーンとブルーの濃淡だけで構成される画像からはグリーンとブルーが主体のカラーテーブルが作成されます。多くの画像は、スペクトルの特定領域のカラーを集中的に使用しています。

制限（Web） Windows および Macintosh の 8 ビット（256 色）パレットと共通する標準の 216 色 Web セーフカラーテーブルを使用します。このオプションを選択すると、8 ビットカラーで画像が表示される場合に、表示される色にブラウザのディザ処理が実行されません。画像の色が 216 色未満の場合は、使用されていない色がテーブルから削除されます。

5 カラーパレットの最大カラー数を指定するには、カラーメニューから数値を選択してテキストボックスに値を入力するか、矢印をクリックしてカラー数を変更します。画像のカラー数がパレットより少ない場合は、カラーテーブルに画像のカラー数が反映され、カラー数が少なくなります。

6「制限（Web）」を選択して減色アルゴリズムを適用する場合は、カラーメニューで「自動」を選択できます。画像内のカラー頻度に基づいてカラーテーブルの最適なカラー数を自動的に決定する場合は、「自動」を選択します。

7「ディザ」テキストボックスにパーセント値を入力するか、ディザメニューの矢印をクリックして表示されるスライドをドラッグし、ディザ処理のパーセント値を選択します。

8 画像に透明部分が含まれる場合は、「透明部分」を選択して透明ピクセルを保持します。「透明部分」の選択を解除すると、完全な透明ピクセルと半透明なピクセルがマットカラーで塗りつぶされます。

9 アニメーション GIF を作成するには、「アニメーション」を選択します。

10 最適化した画像を保存するには、「OK」をクリックします。最適化ファイルを別名で保存ダイアログボックスで、ファイル名を入力して「保存」をクリックします。

関連項目

366 ページの「ディザ」

364 ページの「Web 画像の透明ピクセルとマット処理」

PNG-24 として最適化

PNG-24 形式は、写真の圧縮に適しています。ただし、PNG-24 ファイルは、通常、同じ画像の JPEG ファイルよりサイズがはるかに大きくなります。PNG-24 形式は、複数の段階の半透明ピクセルを含む画像を操作する場合のみ使用することをお勧めします。

1 写真編集モードで、画像を開いて、ファイル／ Web 用に保存を選択します。

2 最適化ファイル形式として「PNG-24」を選択します。

3 フル解像度の画像をダウンロードしているときにブラウザに表示する低解像度の画像を作成するには、「インターレース」を選択します。インターレースによりダウンロード時間は短くなるように感じられますが、ファイルサイズは大きくなります。

4 画像に透明部分が含まれる場合は、「透明部分」を選択して透明ピクセルを保持します。「透明部分」の選択を解除すると、完全な透明ピクセルと半透明なピクセルがマットカラーで塗りつぶされます。

5 最適化した画像を保存するには、「OK」をクリックします。最適化ファイルを別名で保存ダイアログボックスで、ファイル名を入力して「保存」をクリックします。

関連項目

365 ページの「GIF または PNG 画像での透明な背景の保持」

アニメーション GIF ファイルの作成

1 写真編集モードで、アニメーションの各フレームで表示する画像をレイヤーパレットの別々のレイヤーに配置します。例えば、まばたきのアニメーションを作成するには、開いている目の画像を 1 つのレイヤーに配置し、閉じている目の画像を別のレイヤーに配置します。

2 ファイル／ Web 用に保存を選択します。

注意：画像に複数のレイヤーが含まれている場合は、ファイル／別名で保存を選択し、「CompuServe GIF」形式を選択して「レイヤーをフレームとして保存」を選択することで、別名で保存ダイアログボックスから Web 用に保存ダイアログボックスを開くこともできます。

3 画像を GIF 形式で最適化します。

4「アニメーション」を選択します。

5 ダイアログボックスの「アニメーション」セクションで、その他のオプションを設定します。

ループ Web ブラウザでアニメーションを繰り返し再生します。

フレームディレイ Web ブラウザで各フレームを表示する秒数を指定します。少数の値を使用すると、1 秒未満の単位で指定できます。例えば、「0.5」と指定すると、0.5 秒のディレイになります。

関連項目

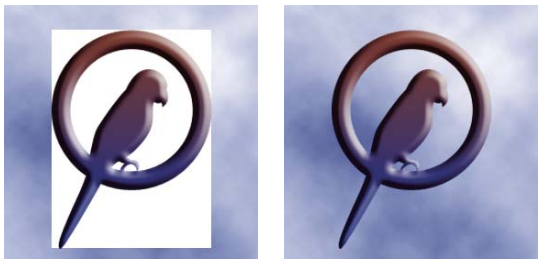
369 ページの「アニメーションのプレビュー」

144 ページの「レイヤーについて」

透明ピクセルとマットの使用

Web 画像の透明ピクセルとマット処理

透明ピクセルを使用すると、Web 用に長方形以外の画像を作成できます。GIF および PNG 形式でサポートされる透明な背景を使用すると、画像の透明ピクセルが保持され、画像の透明部分から Web ページの背景が透けて見えるようになります（JPEG 形式は透明部分をサポートしませんが、マットカラーを指定して、元の画像の透明部分の色をシミュレートすることができます）。

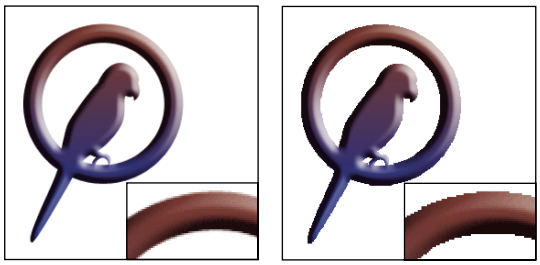


透明部分なしの Web ボタン（左）と透明部分ありの Web ボタン（右）

GIF、PNG、JPEG 形式でサポートされる背景マット処理では、Web ページの背景と一致するマットカラーで透明ピクセルを塗りつぶしたりブレンドすることで、透明部分の色をシミュレートします。背景マット処理は、Web ページの背景が単色で、その背景色がわかっているときに効果的です。

最適化した画像で透明な背景や背景マット処理を作成するには、まず透明部分を含む画像を用意する必要があります。透明部分は、新しいレイヤーを作成するときや、背景消しゴムツール、マジック消しゴムツール、マジック抽出ツールを使用して作成できます。

GIF または PNG-8 ファイルの作業では、透明部分にくっきりとした輪郭（ハードエッジ）を作成することができます。元の画像で透明度が 50 %を超えるすべてのピクセルは最適化した画像では完全な透明ピクセルになり、元の画像で不透明度が 50 %を超えるすべてのピクセルは最適化した画像では完全な不透明ピクセルになります。Web ページの背景色がわからない場合、または Web ページの背景にテクスチャやパターンが含まれている場合は、透明部分にハードエッジを適用します。ただし、ハードエッジを適用すると、画像の縁がギザギザに表示されることがあります。



透明部分にハードエッジを適用していない GIF（左）とハードエッジを適用した GIF（右）

関連項目

146 ページの「レイヤーの追加」

358 ページの「Web 用に最適化されたファイル形式」

GIF または PNG 画像での透明な背景の保持

GIF および PNG-8 形式は、1 段階のみの透明ピクセル（完全に透明なピクセルまたは完全に不透明なピクセル）をサポートしますが、半透明なピクセルはサポートしません（これに対して、PNG-24 形式は複数の段階を持つ透明ピクセルをサポートします。つまり、不透明から完全な透明まで、最大 256 段階の透明ピクセルを画像内で使用できます）。

1 写真編集モードで、透明部分を含む画像を開くか作成し、ファイル／ Web 用に保存を選択します。

2 Web 用に保存ダイアログボックスで、最適化ファイル形式として「GIF」、「PNG-8」または「PNG-24」を選択します。

3「透明部分」を選択します。

4 GIF 形式および PNG-8 形式の場合は、元の画像の半透明なピクセルの処理方法を指定します。これらのピクセルをマットカラーとブレンドするか、透明部分の輪郭をハードエッジにすることができます。

関連項目

359 ページの「GIF 形式」

360 ページの「PNG-8 形式」

360 ページの「PNG-24 形式」

マット処理した GIF 画像や PNG 画像の作成

画像を表示する Web ページの背景色がわかっているときは、マット機能を使用して、透明ピクセルを Web ページの背景と一致するマットカラーで塗りつぶしたり、ブレンドすることができます。

1 写真編集モードで、透明部分を含む画像を開くか作成し、ファイル／ Web 用に保存を選択します。

2 Web 用に保存ダイアログボックスで、最適化ファイル形式として「GIF」、「PNG-8」または「PNG-24」を選択します。

3 GIF および PNG-8 形式の場合は、次のいずれかの操作を行います。

- 完全に透明なピクセルを透明のまま保持し、半透明なピクセルをマットカラーとブレンドするには、「透明部分」を選択します。このオプションは、画像の背景とは異なる Web ページの背景にアンチエイリアスを適用した画像を配置したときに発生するハロー効果を防ぎます。また、透明部分のハードエッジがギザギザになるのを防ぐこともできます。
- 透明ピクセルをマットカラーで塗りつぶし、半透明なピクセルをマットカラーとブレンドするには、「透明部分」の選択を解除します。

4 マットメニューからカラーを選択します。

- スポイトツールカラー（スポイトツールサンプルボックスのカラーを使用する場合）
- 白、黒、その他（カラーピッカーを使用してカラーを選択する場合）

関連項目

359 ページの「GIF 形式」

360 ページの「PNG-8 形式」

360 ページの「PNG-24 形式」

GIF 形式や PNG-8 形式のファイルでのハードエッジ透明部分の作成

Web ページの背景色がわからない場合、または Web ページの背景にテクスチャやパターンが含まれている場合は、透明部分にハードエッジを適用します。ただし、ハードエッジを適用すると、画像の縁がギザギザに表示されることがあります。

1 写真編集モードで、透明部分を含む画像を開くか作成し、ファイル／ Web 用に保存を選択します。

2 Web 用に保存ダイアログボックスで、最適化ファイル形式として「GIF」または「PNG-8」を選択します。

3「透明部分」を選択します。

4 マットメニューから「なし」を選択します。

関連項目

359 ページの「GIF 形式」

360 ページの「PNG-8 形式」

マット処理した JPEG 画像の作成

JPEG 形式は透明部分をサポートしませんが、マットカラーを指定して、元の画像の透明部分の色をシミュレートすることができます。完全に透明なピクセルはマットカラーで塗りつぶされ、半透明なピクセルはマットカラーとブレンドされます。JPEG をマットカラーと一致する背景の Web ページに配置すると、画像が背景とブレンドされたように表示されます。

1 写真編集モードで、透明部分を含む画像を開くか作成し、ファイル／ Web 用に保存を選択します。

2 Web 用に保存ダイアログボックスで、最適化ファイル形式として「JPEG」を選択します。

3 マットメニューからカラーを選択します。「なし」、「スポイトツールカラー」（スポイトツールサンプルボックスのカラーを使用する場合）または「白」、「黒」、「その他」（カラーピッカーを使用してカラーを選択する場合）から選択できます。

「なし」を選択すると、白がマットカラーとして使用されます。

関連項目

359 ページの「JPEG 形式」

Web 画像のディザ

ディザ

ほとんどの Web 画像は 24 ビットカラー表示（1600 万色以上の表示）を使用して作成されていますが、8 ビットカラー表示（256 色のみの表示）のコンピュータで Web ページを見ているユーザもいます。このため、Web 画像には、一部のコンピュータでは表示できないカラーが含まれていることがよくあります。コンピュータは、ディザというテクニックを使用して、表示できないカラーをシミュレートします。ディザは、隣り合った異なるカラーのピクセルを使用して、別のカラーを作り出します。例えば、赤色と黄色をモザイクパターンでディザ処理すると、8 ビットカラーパレットに含まれていないオレンジ色のように見えます。



ディザ処理による連続階調のシミュレート

Web パレットのカラーを使用すると、256 色表示の Windows または Macintosh システムで表示してもディザ処理が発生しません。元の画像を作成するときに、カラーピッカーを使用して Web セーフカラーを選択することができます。

画像を最適化する場合、実行されるディザ処理は 2 種類あります。

アプリケーションのディザ処理 GIF および PNG-8 画像で、Photoshop Elements が現在のカラーテーブルにないカラーをシミュレートするときに実行されます。アプリケーションのディザ処理の場合、ディザ処理のパターンを選択して制御できます。また、テーブルにカラーを追加して、アプリケーションのディザ処理を回避することもできます。

ブラウザのディザ処理 8 ビットカラー（256 色モード）を使用して表示するときに、Web ブラウザが 8 ビットカラーパレットにないカラーをシミュレートするときに実行されます。ブラウザのディザ処理は、GIF、PNG または JPEG 画像で行われます。Photoshop Elements で、画像内の選択したカラーを Web セーフ カラーにシフトすることで、ブラウザのディザ処理の度合いを抑制できます。また、カラーピッカーでカラーを選択するときに、Web セーフカラーを指定することもできます。

アプリケーションのディザ処理は、GIF および PNG-8 画像でプレビューできます。単色が主体の画像では、ディザ処理を行わなくても正常に表示される場合があります。逆に、連続階調カラー（特に色のグラデーション）を含む画像の場合は、カラーバンディングを防ぐためにディザ処理が必要です。

関連項目

358 ページの「Web 用に最適化されたファイル形式」

291 ページの「Adobe カラーピッカーの使用」

362 ページの「GIF や PNG-8 形式として最適化」

Web 画像でのディザの制御

1 写真編集モードで、画像を開いて、ファイル／ Web 用に保存を選択します。

2 最適化設定を選択します。

3「ディザ」テキストボックスに値を入力するか、ディザメニューの矢印をクリックし、表示されるスライダをドラッグします。

4 ディザ処理のパーセント値によって、画像に適用されるディザ処理の度合いが制御されます。ディザ処理のパーセント値を高く設定すると、画像の色数が増え、ディテールが鮮明になりますが、ファイルサイズも大きくなります。最適な圧縮を行って最適な表示画質を得るには、必要なカラーディテールを再現するのに十分な最少のパーセント値を使用します。

ディザのプレビュー

ブラウザのディザ処理は、Photoshop Elements で直接プレビューするか、8 ビットカラー表示（256 色モード）を使用するブラウザでプレビューできます。

1 写真編集モードで、画像を開いて、ファイル／ Web 用に保存を選択します。

2 最適化設定を選択します。

3 ディザを Photoshop Elements でプレビューするには、Web 用に保存ダイアログボックスのドキュメントパネルメニューから「ブラウザディザ」を選択します（メニューを表示するには、最適化した画像の右上にある三角形 をクリックします）。

4 ディザをブラウザでプレビューするには、次の手順に従います。

- コンピュータのカラー表示を 8 ビットカラー（256 色）に設定します。カラー表示の変更方法については、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。
- Web 用に保存ダイアログボックスのプレビューメニューからブラウザを選択します。

関連項目

368 ページの「プレビューメニューへのブラウザの追加」

Web 画像のプレビュー

Web ブラウザでの最適化画像のプレビュー

最適化した画像は、システムにインストールされている任意の Web ブラウザでプレビューできます。ブラウザでプレビューすると、画像とともに、画像ファイルの種類、ピクセル数、ファイルサイズ、圧縮仕様、その他の HTML 情報が表示されます。

1 写真編集モードで、プレビューする画像を開きます。

2 ファイル／ Web 用に保存を選択し、最適化設定を適用します。

3 最適化した画像の右下にあるプレビューメニューからブラウザを選択するか、ブラウザアイコン をクリックして初期設定の Web ブラウザを起動します。

関連項目

357 ページの「Web 用に保存ダイアログボックスの使用」

プレビューメニューへのブラウザの追加

1 写真編集モードで、ファイル／ Web 用に保存を選択します。

2 プレビューメニューで下向きの矢印をクリックし、「リストの編集」を選択します。

3 ブラウザダイアログボックスで、「すべてを検索」をクリックします。インストールされているすべてのブラウザがダイアログボックスに表示されます。

4 ブラウザを選択して「追加」をクリックし、「OK」をクリックします。

推定ダウンロード時間の表示

1 写真編集モードで、画像を開いて、ファイル／ Web 用に保存を選択します。

2 最適化設定を選択します。

3 最適化した画像の右上にある三角形 をクリックし、ドキュメントパネルメニューを表示します。

4 モデム、ISDN、ケーブル、DSL などのインターネットアクセス速度を選択します。

5 インターネットアクセス速度を変更すると、最適化した画像の下に表示されている推定ダウンロード時間が更新されます。ダウンロード時間が長すぎると思われる場合は、Web 用に保存ダイアログボックスで、別の最適化設定を使用するか、画像サイズを変更します。

関連項目

357 ページの「最適化」

カラー表示の相違のプレビュー

Web 用に画像を最適化するときは、画像が様々なモニタで表示されることを考慮する必要があります。一般に、Windows システムでは Macintosh システムよりも画像が暗く表示されます。Web 用に保存ダイアログボックスで、プラットフォームごとの表示の違いをシミュレートできます。

1 写真編集モードで、画像を開いて、ファイル／ Web 用に保存を選択します。

2 最適化設定を選択します。

3 最適化した画像の右にある三角形 をクリックし、ドキュメントパネルメニューを表示します。

4 表示オプションを選択します。

補正されていないカラー カラー補正なしで画像を表示します（初期設定のオプション）。

標準 Windows カラー カラーを調整して、標準の Windows モニタでの表示をシミュレートします。

標準 Macintosh カラー カラーを調整して、標準の Macintosh® モニタでの表示をシミュレートします。

ドキュメント内のプロファイルを使用 画像にカラープロファイルが割り当てられている場合に、そのプロファイルを使用して画像を表示します。

注意：これらのプレビューオプションは、Web 用に保存ダイアログボックスの中でのみカラーを調整します。元の画像や最適化した画像のカラーは変更しません。

関連項目

357 ページの「最適化」

アニメーションのプレビュー

アニメーションは、Web 用に保存ダイアログボックスまたは Web ブラウザでプレビューできます。Web 用に保存ダイアログボックスは、静止画フレームとしてアニメーションを表示します。連続した時間の流れでフレームを表示するには、ブラウザでアニメーションをプレビューする必要があります。

1 写真編集モードで、アニメーション画像を設定し、ファイル／ Web 用に保存を選択します。

2 Web 用に保存ダイアログボックスでアニメーションをプレビューするには、次のいずれかの操作を行います。

- アニメーションの次のフレームを表示するには、次のフレームボタン をクリックします。
- アニメーションの 1 つ前のフレームを表示するには、前のフレームボタン をクリックします。
- アニメーションの最後のフレームを表示するには、最後のフレームボタン をクリックします。
- アニメーションの最初のフレームを表示するには、最初のフレームボタン をクリックします。

3 アニメーションを Web ブラウザでプレビューするには、次の操作を行います。

- 最適化した画像の右下にあるプレビューメニューからブラウザを選択するか、ブラウザアイコン をクリックして初期設定の Web ブラウザを起動します。
- アニメーションを停止したり、最初から再生するには、ブラウザの中止コマンド、更新コマンド、または再読み込みコマンドを使用します。

第 20 章：写真のプリントと配信

Photoshop Elements では、様々な方法で写真をプリントおよび配信することができます。写真は、Adobe Photoshop Services を通じてオンラインのプリント専門店でプリントしたり、ご家庭のプリンタでプリントすることができます写真を個別にプリントしたり、インデックスプリント（選択した各写真のサムネール）、ピクチャパッケージ（様々なサイズでプリントされた 1 つまたは複数の写真で構成されたページ）またはラベルをプリントしたり、T シャツに転写プリントすることもできます。また、Photoshop Elements では、インターネット経由で画像を配信したり、プリントを注文することもできます。

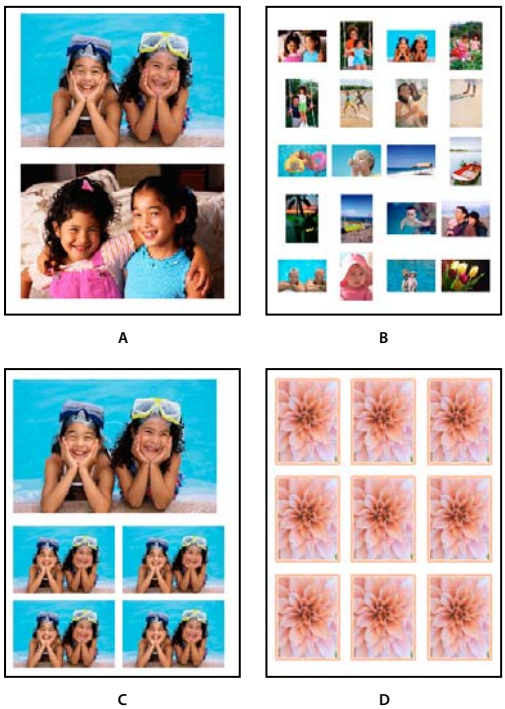
Photoshop Elements ヘルプのすべての内容を参照するには、「Web 上のページ」をクリックして LiveDocs にアクセスしてください。

写真のプリント

プリントの概要

Photoshop Elements では、様々な方法で写真をプリントすることができます。写真は、Adobe Photoshop Services を通じてオンラインのプリント専門店でプリントしたり、ご家庭のプリンタでプリントすることができます（写真整理モードで、プリント対象としてビデオクリップを選択することもできますが、最初のフレームのみがプリントされます）。写真を個別にプリントしたり、インデックスプリント（選択した各写真のサムネール）、ピクチャパッケージ（様々なサイズでプリントされた 1 つまたは複数の写真で構成されたページ）およびラベルをプリントできます。また、画像を左右に反転させて T シャツに転写プリントすることもできます。

フォトアルバム、カード、およびカレンダーなど、Photoshop Elements で作成したプロジェクトをプリントすることもできます。プロジェクトの種類によっては、オンラインプリントサービスから注文することができます。



様々なプリントオプション
A. 個別の写真 **B.** インデックスプリント **C.** ピクチャパッケージ **D.** ラベル

写真をプリントする前に、使用する用紙のサイズや向きなど、プリントジョブに関するいくつかの基本的な情報を Photoshop Elements に設定する必要があります。これらのオプションは用紙設定ダイアログボックスで設定します。また、環境設定ダイアログボックスで単位も指定する必要があります。

関連項目

380 ページの「ページおよびプリンタオプションの設定」

382 ページの「クイック配信パレットの使用」

写真編集モードでの写真のプリント

1 枚の写真は、写真編集モードでプリントできます。

1 プリントする写真を開きます。

2 ファイル／プリントを選択します。

3 プリントプレビューダイアログボックスで、目的のオプションを設定します。

4 ページプリントオプションを変更するには、「用紙設定」ボタンをクリックします。オプションを変更するまで、Photoshop Elements はプリントするたびにこれらのオプションを使用します（これらの設定は、写真編集モードからプリントする場合のみ適用されます）。

複数のプリンタを使用している場合は、プリンタを変更するたびにセットアップオプションを設定する必要があります。

5 プレビューしているページがプリントされます。プリントするページを選択するには、ナビゲーション矢印を使用します。複数のページをプリントするには、「複数画像をプリント」を選択します。

6「プリント」をクリックし、表示されるプリントダイアログボックスで、使用しているプリンタのオプションを設定します。これらのオプションは、使用しているプリンタのドライバによって異なります。

7「OK」をクリックします。

写真が特定のサイズでプリントされない場合は、プリントする前に、写真を目的のサイズに変更してみてください。

関連項目

375 ページの「複数写真のプリント」

380 ページの「ページおよびプリンタオプションの設定」

226 ページの「再サンプルを行わないプリントサイズと解像度の変更」

プリントプレビューオプション

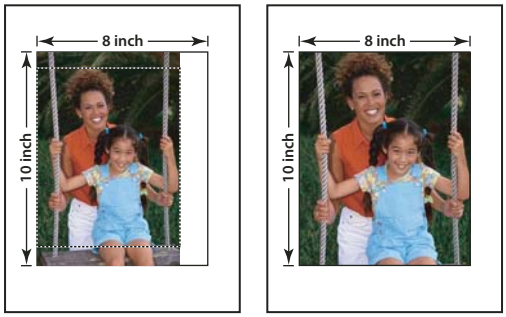
プリントサイズ プリントする画像のサイズを指定します。

- **実サイズ** ドキュメントサイズに基づいて画像のサイズを拡大・縮小します。ドキュメントサイズを確認するには、イメージ／サイズ変更／画像解像度を選択します。
- **既定のサイズ** プリントサイズメニューから選択したサイズ（5.3 cm x 7.1 cm、8.9 cm x 12.7 cm など）に基づいて、サイズが決定されます。
- **用紙サイズに合わせる** 用紙のプリント範囲に合わせて画像を拡大・縮小します。
- **カスタムサイズ** 実サイズで表示され、この状態から変更できます。「拡大・縮小したプリントサイズ」に新しいサイズを指定できます。

拡大・縮小したプリントサイズ「比率」、「高さ」、および「幅」テキストボックスに値を入力します。値を入力する前に、「カスタムサイズ」を選択する必要はありません。

位置 初期設定では、「画像を中央配置」が選択されています。この場合、用紙のプリント範囲の中央に画像が配置されます。画像の位置を変更するには、「画像を中央配置」を選択解除して、「上」および「左」テキストボックスに値を入力します。また、「画像を中央配置」が選択解除された状態で、プレビュー画像を別の位置にドラッグすることもできます。

プリントサイズの縦横比に合わせて切り抜く プリントサイズメニューで選択したサイズで写真がプリントされます。写真に完全に一致しないサイズを選択した場合、サイズに合わせて写真が拡大・縮小され、切り抜かれます。場合によっては、写真の縁に近いオブジェクトが切り落とされることがあります。プレビュー画像を参照して、選択したレイアウトで重要なオブジェクトが失われないことを確認してください（写真が期待どおりに表示されない場合は、プリントサイズメニューで大きなサイズを選択します）。



「プリントサイズの縦横比に合わせて切り抜く」を選択していない状態（左）と選択した状態（右）

バウンディングボックスを表示 プレビュー画像の周囲に、コーナーハンドルのあるバウンディングボックスが表示されます。コーナーハンドルを使用して、手動で画像を拡大・縮小することができます。

境界線 画像の周囲に枠線をプリントします。値を入力し、インチ、ミリ（mm）、またはポイントを選択して、枠線の太さを指定します。境界線の色を選択するには、「境界線の色を選択」ボックスをクリックします。境界線は、プリントされた画像にのみ表示されます。コンピュータ上の画像ファイルは変更されません。



枠線の色を選択するには、境界線の色を選択ボタンを選択します。

ファイル名 写真の上部にファイル名をプリントします。

キャプション 画像のファイル情報に埋め込まれているキャプションテキストをプリントします。キャプションは、常に 9 ポイントの Helvetica の標準フォントでプリントされます。

カラーマネジメント 画像のカラープロファイルを表示します。プリントのプロファイルを変更するには、次のオプションから選択します。

- **カラー処理** プリンタまたは Photoshop Elements のどちらでカラーを管理するかを選択できます。「カラーマネジメントなし」を選択することもできます。
- **プリンタプロファイル** 画像の色をプリンタのカラースペースに変換するためのカスタムプリンタプロファイルを設定したり、カラー変換をオフにします。お使いのプリンタと用紙の組み合わせ用の ICC プロファイルがある場合は、メニューからそれを選択します。必ずプリンタドライバのカラーマネジメントをオフにしてください。
- **マッチング方法** 特定の色がプリントカラースペースで利用できない場合に、画像のソースカラースペースからどのように色を変換するかを指定します。

背景 画像の周囲に背景色をプリントします。背景の色を選択するには、背景色を選択ボックスをクリックします。背景色は、プリントされた画像にのみ表示されます。コンピュータ上の画像ファイルは変更されません。

トンボをプリント 写真がトリミングされる場所を容易に確認できるようにコーナートンボ（写真の四隅のガイドライン）をプリントします。

画像を反転 画像を左右に反転させてプリントします。このオプションは、T シャツに転写プリントする場合に便利です。画像を反転させるには、「画像を反転」オプションを選択します。プリンタのドライバに画像を反転させるための独自の制御機能がある場合は、その機能と「画像を反転」のどちらを選択してもかまいませんが、両方は選択しないでください。両方とも選択すると、画像が 2 回反転されます。

プリントプレビューダイアログボックスでの画像の位置の変更

プリント前に写真の配置を変更できます。

❖ 写真編集モードでファイル／プリントを選択し、次のいずれかの操作を行います。

- 「画像を中央配置」を選択して、画像をプリント範囲の中央に配置します。「画像を中央配置」を選択できない場合は、「プリントサイズの縦横比に合わせて切り抜く」を選択解除します。
- 「画像を中央配置」を選択解除した状態で、バウンディングボックスを表示をクリックし、画像をプレビュー領域の別の位置にドラッグします。
- 「画像を中央配置」を選択解除した状態で、「上」と「左」に値を入力し、目的の位置に正確に画像を配置します。

プリントプレビューダイアログボックスでの画像の拡大・縮小

プリントプレビューダイアログボックスで画像を拡大・縮小すると、プリントされる画像のサイズと解像度が変更されます（画像のファイルサイズは変更されません）。

❖ 写真編集モードでファイル／プリントを選択し、次のいずれかの操作を行います。

- プリントサイズメニューからオプションを選択します。
- 「拡大・縮小したプリントサイズ」の「高さ」と「幅」に値を入力して、数値で画像を拡大・縮小します。サイズには制約があります。つまり、一方の長さを変更すると、それに比例してもう一方も変更されます。「比率」、「高さ」、および「幅」ボックスが利用できない場合は、「プリントサイズの縦横比に合わせて切り抜く」を選択解除します。
- 「バウンディングボックスを表示」が選択されていることを確認し、目的の比率になるまでプレビュー領域でバウンディングボックスのハンドルをドラッグします。
- 「比率」テキストボックスに拡大・縮小率を入力します。

写真編集モードでのマルチレイヤー画像のプリント

画像（PSD または TIFF）に複数のレイヤーが含まれている場合、レイヤーパレットを使用して一時的にレイヤーを非表示にして、それらがプリントされないようにすることができます。

1 スタンダード編集モードで、マルチレイヤー画像を開きます。

2 レイヤーパレットで、目のアイコン  をクリックして、レイヤーを非表示にします。

3 プリントするレイヤーのみを表示されている状態で、ファイル／プリントを選択します。プリントプレビューダイアログボックスが開き、サムネールプレビューに表示レイヤーのみが表示されます。

4 プリントオプションを設定して、プリントをクリックします。

関連項目

144 ページの「レイヤーについて」

写真整理モードでの写真のプリント

写真整理モードでは、写真をプリントダイアログボックスに、プリントする写真の一覧が表示され、中央のセクションにプリントプレビューが表示され、右側ではプリントジョブのオプションを設定できます。プリントオプションを変更すると、Photoshop Elements はプレビューを更新します。この処理には数秒かかり、プリントする写真の数によって時間は異なります。複数ページの写真をプリントしている場合、写真をプリントダイアログボックスに、ページがサムネールとして表示されます。ページを進めたり戻すには、ナビゲーションボタン を使用します。

1 フォトブラウザまたは日付表示で、写真またはビデオクリップを選択します。ビデオクリップを選択した場合、クリップの最初のフレームがプリントされます。

2 ファイル／プリントを選択します。

3 プリンタを選択メニューからプリンタを選択します。必要に応じて、プリンタの環境設定を表示ボタン をクリックして、プリンタオプションを設定します。また、「用紙設定」ボタンをクリックしてページプリントオプションを指定することもできます。

4 画像ファイルにプリンタがサポートしている PIM または Exif Print データが含まれている場合は、PIM または Exif Print を選択します。PIM または Exif Print と互換性のないプリンタでは、これらのオプションが無効になります。

注意：PIC をサポートしているプリンタを選択した場合、選択した写真をプリントダイアログボックスで、メディアの種類と用紙のサイズを選択したり、画像の向き指定したり、フチなしオプションを選択できます。PIC オプションが表示されるためには、お使いのコンピュータに PIC ライブラリがインストールされている必要があります。PIC は、通常、プリンタドライバとともにインストールされます。一部の Canon インクジェットプリンタで同様のサポートを利用できます。最新のプリンタドライバを使用していることを確認してください。

5 プリント形式を選択メニューからいずれかのオプションを選択します。

6 プリントサイズとオプションを選択メニューから、プリントサイズを選択します。

7（オプション）1 ページに複数の画像を収めることができるくらい小さいプリントサイズを選択した場合は、「1 ページに 1 枚の写真」を選択または選択解除します。



「1 ページに 1 枚の写真」を選択解除すると、1 ページに複数の写真をプリントできます。

8「各写真を n 枚プリント」テキストボックスに値を入力します。

9 個別の画像を、指定したプリントレイアウトに収める必要がある場合は、「プリントサイズに合わせて切り抜く」を選択します。画像が拡大・縮小され、必要に応じて、プリントレイアウトの縦横比と一致するように切り抜かれます。写真が切り抜かれないようにするには、このオプションを選択解除します。

10（オプション）追加の設定を変更するには「その他のオプション」ボタンをクリックします。

11「OK」をクリックします。

関連項目

380 ページの「プリントの単位の指定」

381 ページの「PRINT Image Matching と Exif Print」

写真整理モードからプリントする場合のその他のオプション

写真をプリントダイアログボックスで「その他のオプション」をクリックした場合、次の設定を変更することができます。

ラベル オプションを選択すると、日付、キャプション、ファイル名が各写真の下に表示されます。複数のオプションを選択できます。

画像を反転 T シャツに転写プリントする場合に使用します。プリンタのドライバに画像を反転させるための独自の制御機能がある場合は、このオプションの代わりにその機能を選択してもかまいませんが、両方は選択しないでください。両方とも選択すると、画像が 2 回反転されます。

トンボをプリント 写真を容易にトリミングできるようにコーナートンボ（写真の四隅のガイドライン）をプリントします。

最高プリント解像度 初期設定では、プリント速度を速めて必要なメモリ容量を削減できるように 220 ppi に設定されています。ただし、220 ppi では鮮明なプリントを得るのに不十分なこともあります。解像度が高い写真をプリントする場合は、220 ～ 600 dpi の値を指定してください。

枠線を追加「枠線の幅」テキストボックスに値を入力して、枠線の太さを指定します。値は、インチ（in）、センチ（cm）またはミリ（mm）で指定できます。画像の周囲にガイドを印刷する場合は、「トリミング用のガイドラインを追加」オプションを選択します。

カラーマネジメント プリントカラースペースメニューからプリンタプロファイルを選択します。プリントカラースペースメニューでは、画像の色をプリンタのカラースペースに変換するためのカスタムプリンタプロファイルを設定したり、カラー変換をオフにすることができます。お使いのプリンタと用紙の組み合わせ用の ICC プロファイルがある場合は、メニューからそれを選択します。必ずプリンタドライバのカラーマネジメントをオフにしてください。ソースカラースペースには、写真ファイルに埋め込まれているカラースペースが表示されます（選択した写真をプリントダイアログボックスのプリントプレビューは、カラー管理されておらず、プロファイルを選択したときに更新されません）。

複数写真のプリント

写真整理モードのプリントダイアログボックスを使用して、複数の写真をプリントできます。このダイアログボックスには写真編集モードのプリントダイアログボックスからアクセスできます。

1 次のいずれかの操作を行って、選択した写真をプリントダイアログボックスまたは写真をプリントダイアログボックスを開きます。

- フォトブラウザまたは日付表示で写真を選択し、ファイル／プリントを選択します。
- スタンダード編集、クイック補正、ガイド付き編集、または他のワークスペースでプリントする写真を開き、ファイル／複数写真を同時にプリントを選択します。

2 写真を追加するには、「追加」ボタン をクリックします。

3 プリントリストから写真を削除するには、そのサムネールを選択し、「削除」ボタン をクリックします。

4 プリント形式を選択メニューから「個別プリント」を選択します。

5 プリントサイズとオプションを選択メニューから、各写真のプリントサイズを選択します。次のページボタンと前のページボタンをクリックして、プリントジョブの各ページを確認します。

6 1 ページに 1 枚の写真のコピーを複数収めることができるプリント サイズを選択した場合、「1 ページに 1 枚の写真」を選択解除し、「各写真を n 枚プリント」テキストボックスに値を入力します。

7 写真をプリントレイアウトに収める必要がある場合は、「プリントサイズに合わせて切り抜く」を選択し、「OK」をクリックします。



プリントする写真の追加
A.「キーワード名札」などのオプションを選択し、選択範囲を絞ります。**B.** ボックスをクリックして、写真を選択します。**C.**「すべての選択」ボタンをクリックして、表示されているすべての画像を選択します。

選択した写真をプリントダイアログボックスを使用した写真の追加

選択した写真をプリントダイアログボックス内からプリントジョブに写真を追加できます。

1 選択した写真をプリントダイアログボックスで、「追加」ボタン をクリックします。

2 写真を追加ダイアログボックスで、次のいずれかを選択します。

現在のブラウザ内の写真 現在フォトブラウザに表示されている写真を表示します。

カタログ全体 カタログ内のすべての写真を表示します。

アルバム 特定のアルバムの写真を表示します。メニューを使用してアルバムを選択します。

キーワード名札 特定のキーワード名札の付いた写真を表示します。メニューを使用してキーワード名札を選択します。

重要度付きの写真を表示「お気に入り」名札の付いた写真のみを表示します。

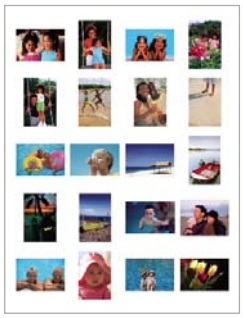
「非表示」の写真を表示「非表示」名札の付いた写真を表示します。

3 1 つ以上のサムネールまたは「すべてを表示」ボタンをクリックし、「選択した写真を追加」をクリックします。

4「完了」をクリックします。

インデックスプリント

インデックスプリントでは、1 枚のページに一連のサムネール画像を表示して、画像のグループを簡単にプレビューできます。



インデックスプリントのサンプル

1 次のいずれかの操作を行います。

- フォトブラウザで写真を選択し、ファイル／プリントを選択します。写真を選択しないと、Photoshop Elements によりフォトブラウザのすべての写真を使用するかどうかを尋ねるメッセージが表示されます。
- スタンダード編集またはクイック補正で写真を開き、ファイル／複数写真を同時にプリントを選択します。
- 日付表示で写真を選択し、ファイル／プリントを選択します。

2 プリントダイアログボックスで、プリンタを選択メニューからプリンタを選択します。必要に応じて、プリンタの環境設定を表示ボタン をクリックして、プリンタオプションを設定します。また、「用紙設定」ボタンをクリックしてページプリントオプションを指定することもできます。

注意：PIC をサポートしているプリンタを選択した場合、選択した写真をプリント（写真をプリント）ダイアログボックスで、メディアの種類と用紙のサイズやフチなしオプションを選択できます。画像の向きは、インデックスプリントのレイアウトによって決まります。PIC オプションが表示されるためには、お使いのコンピュータに PIC ライブラリがインストールされている必要があります。一部の Canon インクジェットプリンタで同様のサポートを利用できます。プリンタのマニュアルまたはプリンタメーカーの Web サイトを確認してください。

3 画像ファイルに、プリンタでサポートされている PRINT Image Matching（PIM）または Exif Print データが含まれている場合は、「PRINT Image Matching（PIM）」または「Exif Print」を選択します（381 ページの「PRINT Image Matching と Exif Print」を参照してください）。

4 プリント形式を選択メニューから「インデックスプリント」を選択します。プレビューレイアウトでは、写真をプリントダイアログボックスまたは選択した写真をプリントダイアログボックスの左側に表示されているすべての写真が自動的に使用されます。

5 写真を削除するには、そのサムネールを選択し、「削除」ボタン をクリックします。

6「列数」には、レイアウト内の列の数（1 ～ 9）を指定します。サムネールのサイズと行数が、選択内容に従って調整されます。写真をプリントダイアログボックスに表示されている写真の数が多すぎて 1 枚のページに表示できない場合、すべてを表示できるようにページが追加されます。

7 必要に応じて、レイアウトプレビューの下にあるナビゲーションボタン を使用して、ページを移動します。

8 各サムネールの下にラベルを追加するには、次のいずれかを選択します。

日付 画像に埋め込まれている日付をプリントします。

キャプション ファイルのメタデータに埋め込まれているキャプションテキストをプリントします。

ファイル名 画像のファイル名をプリントします。

ページ番号 複数のインデックスプリントをプリントする場合は、各ページの下部にページ番号をプリントします。

注意：用紙設定とレイアウトによっては、ラベルの文字列が切り捨てられることがあります。

9 カラーマネジメントを使用してプリントするには、「その他のオプション」をクリックし、プリントカラースペースメニューからプロファイルを選択します。

10「プリント」をクリックします。

ピクチャパッケージのプリント

ピクチャパッケージでは、従来の写真スタジオのように、1 枚のページに 1 枚以上の写真のコピーを何枚でも配置できます。様々なサイズおよび配置オプションから選択して、パッケージレイアウトをカスタマイズできます。



ピクチャパッケージには、様々なサイズのレイアウトが用意されています

1 次のいずれかの操作を行います。

- フォトブラウザで写真を選択し、ファイル／プリントを選択します。写真を選択しないと、Photoshop Elements によりフォトブラウザのすべての写真を使用するかどうかを尋ねるメッセージが表示されます。
- スタンダード編集またはクイック補正で写真を開き、ファイル／複数の写真を同時にプリントを選択します。
- 日付表示で写真を選択し、ファイル／プリントを選択します。

2 写真をプリントダイアログボックスで、プリンタを選択メニューからプリンタを選択します。必要に応じて、プリンタの環境設定を表示ボタン をクリックして、プリンタオプションを設定します。また、「用紙設定」ボタンをクリックしてページプリントオプションを指定することもできます。

注意：PIC をサポートしているプリンタを選択した場合、選択した写真をプリント（写真をプリント）ダイアログボックスで、メディアの種類と用紙のサイズやフチなしオプションを選択できます。画像の向きは、ピクチャパッケージのレイアウトによって決まります。PIC オプションが表示されるためには、お使いのコンピュータに PIC ライブラリがインストールされている必要があります。PIC は、通常、プリンタドライバとともにインストールされます。一部の Canon インクジェットプリンタで同様のサポートを利用できます。プリンタのマニュアルまたはプリンタメーカーの Web サイトを確認してください。

3 画像ファイルに、プリンタでサポートされている PRINT Image Matching（PIM）または Exif Print データが含まれている場合は、「PRINT Image Matching（PIM）」または「Exif Print」を選択します

4 プリント形式を選択メニューから「ピクチャパッケージ」を選択します。プレビューレイアウトでは、写真をプリントダイアログボックスの左側に表示されている最初の写真が自動的に使用されます。

5 レイアウトを選択メニューからレイアウトを選択します。

注意：画像は、選択したレイアウトに基づいて、プリント領域を最適にカバーする向きに設定されます。この機能は自動的に設定され、無効にすることはできません。レイアウトに配置された画像は回転できません。

6（オプション）フレームを選択メニューから枠線を選択します。ピクチャパッケージに選択できる枠線は 1 つだけです。

7 ダイアログボックスに表示されている画像を別々のページにプリントするには、「1 ページに 1 種類の写真」オプションをクリックします。レイアウトプレビューの下にあるナビゲーションボタン と を使用して、各レイアウトを表示できます。

8 レイアウトサイズに最適に収まるように写真を切り抜くには、「プリントサイズに合わせて切り抜く」をクリックします。

9 レイアウトの写真を置き換えるには、写真をプリントダイアログボックスの左側のリストからレイアウトプレビューの画像の上に画像をドラッグし、マウスボタンを放します。

注意：写真をプリントダイアログボックスに表示されていない写真を追加するには、「追加」ボタン をクリックし、写真を追加ダイアログボックスで必要な写真を選択します。「完了」をクリックすると、選択した写真が写真をプリントダイアログボックスのリストに追加されます。

10 レイアウトの画像を入れ替えるには、画像を別の画像の上にドラッグします。入れ替えた画像を元の画像に戻すには、画像を右クリックし、コンテクストメニューから「オリジナルに戻す」を選択します。

11 カラーマネジメントを使用してプリントするには、「その他のオプション」をクリックし、プリントカラースペースメニューからプロファイルを選択します。

12「プリント」をクリックします。

関連項目

255 ページの「カラーマネジメントの設定」

380 ページの「ページおよびプリンタオプションの設定」

381 ページの「PRINT Image Matching と Exif Print」

ラベルのプリント

お気に入りの写真をラベルにして、プリンタでプリントできます。Photoshop Elements により、市販のラベル用紙にプリントするためのグリッドに写真が並べられます。ラベル用紙を使用するようにプリンタを調整する必要があります。



ラベル用紙にプリントされたラベル

1 次のいずれかの操作を行います。

- フォトブラウザで写真を選択し、ファイル／プリントを選択します。写真を選択しないと、Photoshop Elements によりフォトブラウザのすべての写真を使用するかどうかを尋ねるメッセージが表示されます。
- スタンダード編集またはクイック補正で写真を開き、ファイル／複数写真を同時にプリントを選択します。
- 日付表示で写真を選択し、ファイル／プリントを選択します。

2 写真をプリントダイアログボックスで、プリンタを選択メニューからプリンタを選択します。必要に応じて、プリンタの環境設定を表示ボタン をクリックして、プリンタオプションを設定します。また、「用紙設定」ボタンをクリックしてページプリントオプションを指定することもできます。

注意：PIC をサポートしているプリンタを選択する場合は、選択した写真をプリント（写真をプリント）ダイアログボックスで、メディアの種類と用紙のサイズを選択できます。画像の向きはラベルレイアウトによって決まり、フチなしオプションの選択が解除されていることを確認します。一部の Canon インクジェットプリンタで同様のサポートを利用できます。

3 画像ファイルに、プリンタでサポートされている PRINT Image Matching（PIM）または Exif Print データが含まれている場合は、「PRINT Image Matching（PIM）」または「Exif Print」を選択します

4 プリント形式を選択メニューから「写真用ラベル」を選択します。写真をプリントダイアログボックスの左側のリストに表示されているすべての写真が、プレビューレイアウトに自動的に表示されます。

5 レイアウトを選択メニューからレイアウトを選択します。

6（オプション）ラベルレイアウトに写真を追加します。

7 ラベルレイアウトから写真を削除するには、左側のリストでそのサムネールを選択し、「削除」ボタン をクリックします。

8（オプション）次のいずれかを指定します。

- フレームを選択メニューを使用して、各ラベルの周囲にプリントする枠線を選択します。

- 「1 ページに 1 種類の写真」オプションをクリックして、ラベルの各ページに 1 つの画像のみを使用します。レイアウトプレビューの下にあるナビゲーションボタン と を使用して、各レイアウトを表示できます。
- プリント位置の調整コントロールを使用して、ラベルのシートとプリントされる画像の配置を調整します。「左」および「上」テキストボックスに正または負の値を入力します。負の値を入力すると、プリントされる画像が左または上に移動します。正の値を入力すると、プリントされる画像が右または下に移動します。位置は、0.1 ミリ間隔で調整されます。

ラベルを普通紙にプリントしてテストすることをお勧めします。ラベルシートの上に用紙を重ねて、画像とラベルが一致しているかどうかを確認してください。画像とラベルが一致していない場合は、プリント位置の調整コントロールを使用して調整します。例えば、ラベルが右に 1.5 ミリずれている場合は、「左」テキストボックスに -1.5 を入力します。

9 カラーマネジメントを使用してプリントするには、「その他のオプション」をクリックし、プリントカラースペースメニューからプロファイルを選択します。

10「プリント」をクリックします。

注意：プリンタにフチなしオプションがある場合は、このオプションがオフになっていることを確認します。

関連項目

255 ページの「カラーマネジメントの設定」

381 ページの「PRINT Image Matching と Exif Print」

375 ページの「複数写真のプリント」

プリントオプション

ページおよびプリンタオプションの設定

1 ファイル／用紙設定を選択します。スタンダード編集、クイック補正、またはガイド付き編集で用紙設定コマンドを使用するには、写真を開く必要があります。

注意：写真をプリント、選択した写真をプリント、またはプリントダイアログボックスで「用紙設定」ボタンをクリックすることもできます。

2 ページ設定ダイアログボックスで「プリンタの設定」ボタンをクリックして、「プリンタ名」メニューからプリンタを選択します。必要に応じて「プロパティ」ボタンをクリックし、レイアウトおよび用紙オプションを指定します。プリンタドライバのダイアログボックスを表示できる場合は、「詳細設定」ボタンをクリックして、他のプリンタオプションを設定できます。「詳細設定」ボタンとプリンタオプションを使用できるかどうかは、使用しているプリンタ、プリンタドライバ、Windows のバージョンによって異なります。「OK」をクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

注意：プリントする画像を拡大縮小する場合は、プリンタの詳細設定オプションではなく、プリントプレビューダイアログボックスの拡大縮小オプションを使用します。拡大縮小した画像のプレビューを確認できるので、プリントダイアログボックスを使用する方が便利です。また、プリンタの詳細設定オプションとプリントプレビューダイアログボックスの両方で拡大縮小オプションを設定しないでください。拡大縮小が 2 度適用され、最終的な画像が意図しないサイズになってしまう場合があります。

3 ページ設定ダイアログボックスで、用紙サイズや向きなどのオプションを指定し、「OK」をクリックします。

プリントの単位の指定

1 フォトブラウザまたは日付表示で、編集／環境設定／一般を選択します。

2 プリントサイズメニューから「inch」または「cm / mm」を選択します。この設定により、写真をプリントしたり切り抜いたりするときに選択できるサイズが決まります。「OK」をクリックします。

PRINT Image Matching と Exif Print

PRINT Image Matching（PIM）は、PRINT Image Matching 対応のデジタルカメラとプリンタを使用して、最高品質のプリントを出力する技術です。Epson® プリンタで、デジタルカメラがキャプチャした各画像のプリント固有情報を識別し、プリントの色、品質、およびディテールを高めることができます。

Exif 2.2（Exif Print）は、デジタルカメラによって保存された写真情報（Exif タグ）を使用します。この写真情報は、Epson の Exif 2.2（Exif Print）にも対応しています。Exif Print をサポートするプリンタであれば、これらの Exif タグを使用して、処理を最適化し、高品質のプリントを出力できます。詳しくは、プリンタのマニュアルを参照してください。

Photoshop Elements で PIM および Exif Print オプションを使用する場合は、次のガイドラインに留意してください。

- 複数の画像をプリントする際に PIM オプションを選択したが、PIM データが含まれているのは一部の画像のみの場合、オプションは PIM データを含む画像にのみ適用されます。
- 選択した写真をプリント（写真をプリント）ダイアログボックスのレイアウトプレビューでは、PIM または Exif Print データによるカラー品質の向上はプレビューできません。
- 一部のプリンタドライバは、PIM または Exif Print と互換性がなく、これらのオプションが無効になっている場合があります。
- Exif Print は、Epson デバイスがサポートする PIM のサブセットです。プリンタによっては、PIM と Exif Print 両方のオプションを選択して、プリントの品質をさらに高めることができます。

重要：Photoshop Elements を Windows Vista で実行する場合、一部の Epson プリンタは完全にサポートされません。Windows Vista と一緒にインストールした Epson プリンタドライバは、完全にはサポートされません。Epson から直接配布されたプリンタドライバの場合は、プリンタは Photoshop Elements でサポートされます。

オンラインサービスを利用した写真の配信

オンラインサービス

オンラインサービスでは、インターネット経由で画像を配信したり、プリントを注文することができます。プリント、フォトブック、グリーティングカードを注文するには、オンラインサービスに登録する必要があるため、通知メールを受け取るための有効な電子メールアドレスが必要です。サービスへの参加は無料ですが、注文の際はクレジットカード番号が必要になります。

カレンダーを作成する場合は、オンラインサービスの Web ページの説明に従いながら、写真の配置、画像へのキャプションの追加、ページ番号の挿入など、カレンダーを作成するプロセスを進めることができます。各アイテムの数や注文したアイテムの送付先も指定できます。カレンダーをすぐに注文しない場合は、オンラインサービスの Web サーバに保存して、いつでも注文できます。

利用できるオンラインサービスは、地域によって異なります。例えば、北米とアジアでは、オンライン注文サービスの内容が異なる場合があります。オンラインメニューには、その地域で使用できるサービスが反映され、新サービスが導入されると更新されます。

オンラインサービスのセットアップ

Photoshop Elements の Adobe Photoshop Services を使用して、画像とプロジェクトをオンラインのプリント専門店に送信できます。Adobe Photoshop Services は随時更新されます。環境設定に、新サービスをチェックするオプションがあります。

1 フォトブラウザまたは日付表示で、編集／環境設定／ Adobe パートナーサービスを選択します。

2 環境設定で次のオプションを設定します。

サービスを自動的に確認 オンラインサービスの更新を自動的にチェックします。提供されるサービスは、地域によって異なります。特別プロモーションに関する通知を受け取るには、「Adobe プロモーションの通知を表示」を選択します。

サービスアップデートの通知を表示 新しいサービスアップデートの通知を受け取ります。

Adobe プロモーションの通知を表示 Adobe プロモーションの通知を受け取ります。

製品サポートの通知を表示 製品サポートの通知を受け取ります。

他社からのサービスの通知を表示 他社が提供するサービスの通知を受け取ります。

国または地域 Adobe Photoshop Services から地域別のサービスを受け取れるよう、「選択」ボタンをクリックして現在の場所を指定します。

更新 新しいプリント、配信、およびダウンロードサービスを Photoshop Elements に追加します。新しいサービスが利用可能になると、ダイアログボックスには、専門店で利用できるサービスの種類とオプションが表示されます。

写真をオンラインプリントサービスの送付先にドロップした時にクイック配信プリント注文の概要を表示 クイック配信パレットを使用して、ワンステップで注文を完了できます。

アカウントを初期化 すべてのサービスについて保存されたアカウント情報を初期化できます。

オンラインサービスデータを消去 Adobe からのメッセージを削除します。

3 サービスの環境設定後、使用可能になった通知およびアップデートが表示されます。次のいずれかの操作を行います。

- ステータスバー（写真整理モードワークスペースの下部）の通知を表示ボタン をクリックして、お知らせ、新サービス、およびアップデートの完全なリストを表示します。通知ウィンドウで通知を選択し、「表示」ボタンをクリックするか、アップデートまたはサービスを選択して、「実行」ボタンをクリックします。
- 封筒のボタン をクリックし、写真整理モードワークスペースのステータスバーに表示された最新の発表、サービス、または更新にアクセスします。

注意：アップデートと通知を表示するには、インターネットに接続している必要があります。

関連項目

384 ページの「電子メールによる写真およびメディアファイルの送信」

43 ページの「カメラ内蔵携帯電話」

クイック配信パレットの使用

プリントをオンラインで注文するには、クイック配信パレットを使用するのが最も簡単な方法です。クイック配信パレットで送付先を作成し、その送付先に写真をドラッグするだけです。送付先の設定時に連絡先情報（名前、住所など）を入力するので、注文のたびにその情報を再入力する必要はありません。オンラインで写真を注文するには、インターネットに接続している必要があります。

1 フォトブラウザで写真を選択し、次のいずれかの操作を行います。

- クイック配信のパレットを初めて使用する場合は、「注文するにはここに写真をドラッグ」の場所に写真をドラッグします。新規オンラインプリントサービスの送付先ダイアログボックスのフォームにプリントの送付先を入力し、「OK」をクリックします。
- 送付先が設定済みの場合は、クイック配信パレットの送付先に写真をドラッグします。
- 新しい送付先を作成する場合は、クイック配信パレットの、オンラインプリントサービスの送付先を新規で作成ボタン をクリックし、送付先のフォームに入力し、「OK」をクリックします。作成後、パレットの新しい送付先に写真をドラッグします。

2 クイック配信パレットに、注文した写真の送付先が表示されます。ラベルには受取人の名前が表示されています。そのまま注文を完了するか、他の作業を続けるかを選択できます。

3 送付先情報を編集するには、送付先を編集ボタンをクリックし、情報を変更します。

4 注文を完了するには、「注文」をクリックします。プリント専門店にログオンし、画面の指示に従います。



プリントの注文
A. クイック配信パレットに写真をドラッグします。**B.** 送付先がまだ設定されていない場合は、送付先情報を入力するか、アドレス帳から送付先を選択します。**C.** 新しい写真注文送付先が表示されます。

オンラインプリントサービスへの写真の送信

1 プリントを注文するには、ファイル／プリント注文を選択します。

2 フォトプロジェクトを注文するには、「作成」タブからプリント可能なフォトプロジェクトオプションのいずれかを選択します。

注意：利用できるオンラインサービスは、地域によって異なります。オプションの一部は、アジア、ヨーロッパ、北米の各地域ごとに異なります。

3 画面の指示に従って、処理を完了します。

プリントの注文

Photoshop Elements では、プリント専門店でプリントを注文し、指定した送付先に郵送してもらうことができます。プリントを注文する前に、写真に必要な変更を加えてください。オンラインサービスの Web ページでは写真を補正できません。

1 フォトブラウザで、注文する写真を選択します。フォトプロジェクト（PSE 形式）はプリントとして注文できます。

2 次のいずれかの操作を行います。

- ファイル／プリント注文を選択します。
- 「配信」タブで、「プリント注文」をクリックします。
- 「作成」タブで、「詳細オプション」をクリックしてから、「プリント注文」をクリックします。

3 注文する各写真のサイズと数を指定し、「つぎへ」をクリックします。

4 次のいずれかの操作を行い、「つぎへ」をクリックします。

- プリントの送付先を選択します。既存の住所を使用または編集するか、新しい住所を追加するか、住所を取り込みます。
- プリントを受け取る店舗を選択します。

5 注文情報を確認し、必要に応じてプリントの送付先を追加します。

6 発送方法とクーポン情報を選択し、「次へ」をクリックします。

7 クレジットカード情報を入力します。「注文」をクリックします。

フォトグリーティングカードの注文

Photoshop Elements では、Adobe® Photoshop® Services を使用して、プリント専門店にグリーティングカードを注文し、指定した送付先に郵送してもらうことができます。選択したレイアウトによって、各ページに 1 枚以上の写真を載せることができます。カードを注文する前に、写真に必要な変更を加えてください。オンラインサービスの Web ページでは写真を補正できません。Kodak サービスは、日本語版では利用できません。

1 フォトブラウザで、使用する写真を選択します。グリーティングカードには、ビデオクリップ、プロジェクト、および PDF ファイルは使用できません。

2「作成」タブで、詳細オプション／ Order Kodak Photo Greeting Card を選択します。

3「Next」をクリックします（写真がアップロードされます）。アップロードを確認したら、「Next」をクリックします。

4 Kodak Photo Greeting Card のデザインを選択します。

5 目的の写真を選択します（この時点では、すでに Kodak にアップロードした写真を選択できます）。

6 グリーティングカード内で画像のプレビューを表示できます。別のカードを表示を選択すると、他のデザインのプレビューを表示できます。

7 Enter Message ウィンドウにメッセージを入力します。

8「Next」をクリックします（前に戻ってメッセージまたはデザインを変更するには、Edit This Card をクリックします）。

9 セットの数を指定して「Add to Cart」をクリックし、表示される手順に従い、注文を完了します。

オンライン配信サービスへの写真の送信

1 写真編集モード、または写真整理モードのフォトブラウザか日付表示で、「配信」タブ  をクリックします。

2「詳細オプション」をクリックし、ポップアップメニューからいずれかの写真配信サービスを選択します。

3 画面の指示に従って、写真をオンラインで配信します。

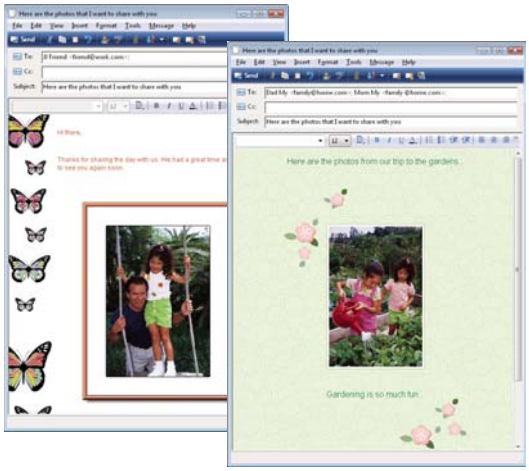
電子メールによる写真の配信

電子メールによる写真およびメディアファイルの送信

Photoshop Elements により、簡単に写真を電子メールで配信することができます。写真を電子メールに添付するか、フォトメールを使用して写真を電子メールに埋め込むことができます（プロジェクトを電子メールで送信する方法については、325 ページの「プロジェクト」を参照してください）。

次の方法で、ファイルを電子メールで配信できます（形式にかかわらず、すべての名札とメタデータが電子メールファイル内に維持されます）。

フォトメール ウィザードを使用して、写真を電子メールメッセージの本文に、カラフルなカスタムレイアウト（テンプレート）で埋め込むことができます。テンプレートのテーマの一覧から、様々な背景、フレーム、および枠線を選択できます。またウィザードでは、写真のサイズ、テンプレートの色、テキストの色とエフェクト、およびレイアウトも選択できます。オプションの選択が完了すると、Photoshop Elements はすべての画像を JPEG に変換して、電子メールを生成します。フォトメールは、Windows Mail、Outlook Express、または Adobe 電子メールサービスを通じて送信できます。



電子メールメッセージの本文に直接写真を表示

PDF スライドショー 1 つの PDF ファイルに画像とメディアファイルを組み合わせます。受信者は、無償配布の Adobe Reader を使用して PDF ファイルをスライドショーとして表示できます。

個別の添付ファイル 画像またはメディアファイルを個別の電子メール添付ファイルとして送信できます。写真のサイズを指定できます。また、画像が JPEG 以外の形式の場合は、JPEG 形式に変換することもできます。

ファイルを送信する前に、次の設定を行うことをお勧めします。

- 電子メールの環境設定を設定します。写真をすばやくダウンロードでき、オンライン表示で十分なディテールが維持されるように、画像サイズと圧縮設定を調整することができます。また、ファイルを電子メールに手動で添付できるように、指定したフォルダにファイルを保存することも選択できます。このオプションは、お使いの電子メールアプリケーションが自動電子メール添付機能をサポートしていない場合に便利です。
- アドレス帳を設定します。電子メールメッセージの送信先アドレスを事前に設定して、写真を配信した相手を管理することができます。アドレス帳の使用はオプションです。電子メールの送信先アドレスは、いつでも電子メールクライアントで設定できます。

電子メールの設定と作成が完了すれば、電子メールを送信して、写真やビデオを友人や家族と共有することができます。

関連項目

390 ページの「携帯電話への写真の配信」

383 ページの「オンラインプリントサービスへの写真の送信」

電子メールの環境設定

1 次のいずれかの操作を行います。

- フォトブラウザまたは日付表示で、編集／環境設定／配信を選択します。
- スタンダード編集またはクイック補正で、編集／環境設定／整理・配信を選択し、環境設定ダイアログボックスの左側で「配信」を選択します。

2 メールクライアントメニューから次のいずれかを選択し、「OK」をクリックします。

- Microsoft Outlook®。アプリケーションを初期設定のまま選択する場合。
- Outlook Express®。アプリケーションを初期設定のまま選択する場合。
- Adobe 電子メールサービス。Outlook または Outlook Express を使用せずに、Photoshop Elements から宛先に電子メールを直接送信する場合。

関連項目

381 ページの「オンラインサービスのセットアップ」

Adobe 電子メールサービスの設定

Yahoo メールなどの Web ベースの電子メールサービスを使用している場合は、Adobe 電子メールサービスを使用して、フォトメールを直接宛先に送信できます。Adobe 電子メールサービスを初めて使用するときは、電子メール認証のためのユーザ登録が必要です。Adobe 電子メールサービスを使用するには、有効な電子メールアドレスとインターネット接続が必要です。

1 編集／環境設定／配信を選択し、メールクライアントメニューから「Adobe 電子メールサービス」を選択します。

2 テキストボックスに名前と電子メールアドレスを入力します。

3「OK」をクリックします。

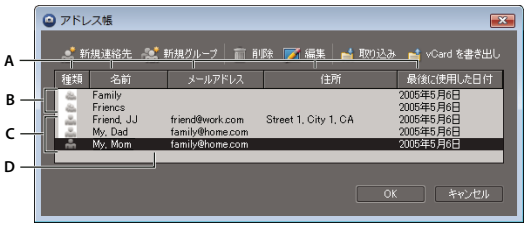
4 Adobe 電子メールサービスを初めて使用するときには、認証のための電子メールが環境設定ダイアログボックスに入力したアドレスに送信されます。電子メールの本文には、送信者認証コードが含まれています。コードの入力を求められたら、この認証コードをコピーし、ダイアログボックスに貼り付けて、「OK」をクリックします。

5 電子メールが認証されたら、「OK」をクリックします。これで、インターネットに接続しているときはいつでも、Photoshop Elements から電子メールを直接送信できます。

アドレス帳の使用

アドレス帳では、電子メールメッセージのアドレスを事前に指定できます。同じメンバーに頻繁に電子メールを送信する場合は、グループも設定できます。アドレス帳の使用は任意です。アドレス帳を使用しなくても、電子メールアプリケーションで電子メールアドレスを入力できます。

アドレス帳は、フォトブラウザまたは日付表示で編集／アドレス帳を選択して表示できます。



アドレス帳
A. カテゴリで並べ替えるには、その列見出しをクリック **B.** 連絡先グループ **C.** 連絡先 **D.** 連絡先をダブルクリックして連絡先を編集

アドレス帳への連絡先の追加

1 フォトブラウザまたは日付表示で、編集／アドレス帳を選択します。

2「新規連絡先」ボタン をクリックします。

3 連絡先の名前、電子メールアドレス、必要に応じて他の情報を入力し、「OK」をクリックします。

4「OK」をクリックして、アドレス帳を閉じます。

アドレス帳へのアドレスの取り込み

アドレスを入力する代わりに、Outlook または Outlook Express からアドレスを取り込むことができます。vCard ファイル（通常は送信者の連絡先情報を含む、電子メールの自動署名）からアドレスを取り込むこともできます。大量のアドレスを取り込む場合は、時間がかかることがあります。

1 フォトブラウザまたは日付表示で、編集／アドレス帳を選択します。

2「取り込み」をクリックします。

3 連絡先のソースを選択ダイアログボックスで、取り込む連絡先を管理しているアプリケーションを選択してから、「OK」をクリックします。

アドレス帳からの連絡先の削除

1 フォトブラウザまたは日付表示で、編集／アドレス帳を選択します。

2 リストで 1 つ以上の連絡先を選択し、「削除」ボタン、「OK」の順にクリックします。

アドレス帳の連絡先の編集

1 フォトブラウザまたは日付表示で、編集／アドレス帳を選択します。

2 連絡先を選択し、「編集」ボタン をクリック（または連絡先をダブルクリック）します。エントリを編集し、「OK」をクリックします。

アドレス帳の新規グループの作成

1 フォトブラウザまたは日付表示で、編集／アドレス帳を選択します。

2「新規グループ」ボタンをクリックします。

3「グループ名」テキストボックスにグループの名前を入力します。

4「連絡先」リストで連絡先を選択し、「追加」ボタンをクリックして「メンバー」リストに移動して、グループにメンバーを追加します。隣り合う連絡先を追加する場合は Shift キーを押しながら、離れた連絡先を追加する場合は Ctrl キーを押しながらクリックします。

5 グループから連絡先を削除するには、「メンバー」リストで 1 つ以上の連絡先を選択し、「削除」ボタンをクリックします。

6「OK」をクリックして、新規グループダイアログボックスを閉じます。グループ がアドレス帳に追加されます。

7「OK」をクリックします。

連絡先情報の vCard ファイルへの書き出し

1 フォトブラウザまたは日付表示で、編集／アドレス帳を選択します。連絡先をクリックして選択します。複数の連絡先を選択する場合は、Ctrl キーを押しながらクリックします。

2「vCard を書き出し」をクリックします。

3 フォルダの参照ダイアログボックスで、vCard ファイルの書き出し先を選択してから、「OK」をクリックします。

電子メールでの写真の送信

1 フォトブラウザまたは日付表示で写真を選択し、「配信」タブ をクリックし、「電子メールにファイルを添付」ボタンをクリックします。

注意：写真を初めて電子メールで送信する場合は、使用する電子メールサービスの確認が表示されます。選択内容を確認して、「OK」をクリックします。

2 電子メールにアイテムを追加するには、フォトブラウザでアイテムを選択し、追加ボタン をクリックします。

注意：また、「アイテム」リストでアイテムを選択し、削除ボタン をクリックして、アイテムを削除することもできます。

3 写真の最大サイズメニューからオプションを選択し、画質スライダをドラッグして画像の鮮明度を調整します。

4「次へ」をクリックします。

5「メッセージ」テキストボックスにメッセージを入力します。

6「宛先を選択」リストで名前をクリックして、電子メールの宛先を選択します（表示される名前は、アドレス帳から取得されます）。

注意：また、ここでは宛先を選択せずに、後で電子メールメッセージが表示されたときにアドレスを入力することもできます。

写真に名札が付いている場合は、写真を電子メールで送信するときにそれらが含まれます。Photoshop Elements を使用している受信者は、名札が付いている写真をカタログに取り込むことができます。お気に入りと非表示の名札は、写真を電子メールで送信したときに含まれません。

注意：今後も同じ設定を使用して電子メールで写真を送付することがある場合は、「クイック配信履歴として保存しますか？」オプションで「はい」を選択し、名前を入力します。配信履歴として保存すると、「配信」タブの「クイック配信履歴」ウィンドウに情報が表示されます。

7「次へ」をクリックします。

Photoshop Elements は、メッセージを生成して、配信環境設定で指定した電子メールアプリケーションを開きます。Photoshop Elements がお使いの電子メールアプリケーションをサポートしていない場合は、ファイルを手動で添付します。電子メールにファイルを添付する方法については、お使いの電子メールアプリケーションのヘルプを参照してください。

フォトメールを使用した写真の送信

フォトメールでは、電子メールの本文に写真が埋め込まれます。カラフルな背景パターンのテンプレートを使用して、電子メールをカスタマイズできます。他にも、写真のサイズや選択したテンプレートの色とスタイルを変えたり、複数の写真を送る場合に異なるレイアウトを設定したりするなど、レイアウトを変更できます。

1 次のいずれかの操作を行います。

- フォトブラウザまたは日付表示で写真を選択し、「配信」  をクリックしてから、「フォトメール」をクリックします。
- スタンダード編集またはクイック補正モードで、電子メールで送信する写真を開きます。ツールバーで「配信」  をクリックし、「フォトメール」をクリックします。

2 写真を初めて電子メールで送信する場合、使用する電子メールサービスの確認を求めるメッセージが表示されます。選択内容を確認して、「OK」をクリックします。

選択アイテムを電子メールに添付ダイアログボックスが表示されます。ダイアログボックスの左側には、電子メールで送信するように選択した写真が表示されます。

3 次のいずれかの操作を行って、電子メールの宛先を選択します。

- 「宛先を選択」リストから名前を選択します（表示される名前は、アドレス帳から取得されます）。
- アドレス帳に追加ボタンを選択して、アドレス帳に宛先を追加することもできます。「OK」をクリックすると、宛先が「宛先を選択」リストで選択された状態で表示されます。

4 テンプレートとレイアウトウィザードで、テンプレートのスタイルと背景を選択します。次に、「次のステップへ」をクリックして、レイアウトをカスタマイズします。

5「次へ」をクリックします。

Photoshop Elements により、初期設定の電子メールアプリケーションが開きます。

フォトメールのテンプレート設定のカスタマイズ

フォトメールの添付ファイルのテンプレートのレイアウトをカスタマイズできます。これらの設定は、後で再使用できるように自動的に保存されます。テンプレートとレイアウトウィザードでは、テンプレートのスタイル、写真のサイズ、枠線またはフレーム、背景、ドロップシャドウ、レイアウトを指定できます。

1 選択アイテムを電子メールに添付ダイアログボックスで、「ファイル形式」メニューから「フォトメール」を選択します。

2「次へ」をクリックします。

3 左側のリストからカテゴリーを選択し、サブメニューからテンプレートの種類を選択して、「次のステップへ」をクリックします。



テンプレートの選択

4 写真のサイズを選択します。選択したテンプレートに収まるように写真のサイズが変更されます。

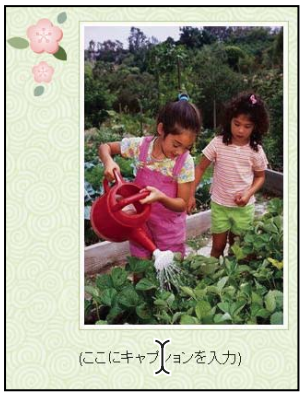


写真のサイズの選択

5 選択したテンプレートに基づいて、フレームまたは枠線のスタイル、ドロップシャドウ、背景色、背景など、他のレイアウトオプションを指定します。


新しい色の選択

6 テキストを追加するには、プレイスフォルダを選択し、メッセージを入力します。入力したら、フォントとフォントサイズを選択します。



キャプションの追加

携帯電話への写真の配信

携帯電話への写真とメディアファイルの送信

Photoshop Elements を使用して、写真とメディアファイルを携帯電話に送信できます。ファイルは、携帯電話の電子メールアドレスに送信され、受信後に携帯電話で表示できます。

注意：電子メールアドレスを持っている携帯電話でも、画像の添付ファイルを受け取れないことがあります。ファイルを受信および表示できるかどうかは、電話機、電話会社、およびユーザの料金プランやサービス契約などのいくつかの要因によって異なります。携帯電話にファイルを送信する前に、送信先の携帯電話が添付ファイルを受信できるかどうか確認してください。携帯電話への写真の送信方法については、携帯電話への写真の送信を参照してください。

送信する前に、送信先の携帯電話の電子メールアドレスをアドレス帳に追加する必要があります。

1 フォトブラウザまたは日付表示で 1 つまたは複数のファイルを選択します。

2 パレットエリアで「配信」タブ 配信 をクリックして、詳細オプションメニューから「携帯電話に電子メールを送信」を選択します。

3 宛先のリストから 1 つまたは複数の送信先を選択します。携帯電話の電子メールアドレスがアドレス帳に保存されている名前を選択できます。

4「次へ」をクリックして、画面の指示に従ってファイルの送信を完了します。送信先の電話会社と自分が使用している電子メールプログラムによっては、次の操作が必要な場合があります。

- 使用する電子メールサービスを確認します。
- 添付ファイルをサイズを指定します。
- 使用している電子メールプログラムに適切なコマンドを使用して、作成済みのメッセージを送信します。

関連項目

386 ページの「アドレス帳の使用」

携帯電話への写真の書き出し

1 電話機をコンピュータに接続します（手順については、携帯電話に付属のマニュアルを参照してください）。

2 写真整理モードで、書き出す写真を選択します。

3 ファイル／書き出し／携帯電話へを選択します。

Media Center コンピュータでの写真の表示と配信

Microsoft Windows XP Media Center Edition 2005 コンピュータでの写真の表示

Microsoft® Windows® XP® Media Center Edition 2005 がインストールされている場合、接続された標準またはハイビジョンテレビ、または Media Center Extender に接続した他の互換ディスプレイデバイスで写真を表示および配信することができます（詳しくは、コンピュータ、テレビ、または他のデバイスのマニュアルを参照してください）。

写真の表示やオプションの選択には、Media Center デバイスのリモコンを使用します。

注意：Photoshop Elements は Microsoft Windows XP Media Center Edition 2005 のみをサポートしています。

ファイアウォールおよびウィルス防御ソフトウェア

ファイアウォールまたはウィルス防御ソフトウェアをインストールしている場合、Media Center で Photoshop Elements を初めて開いたときに警告が表示されることがあります。このメッセージが表示されたら、AdobePhotoshopElementsMediaServer アプリケーションの実行を許可してください。この操作を行わないと、Media Center で Photoshop Elements を使用できません。

アプリケーションを有効にしたり、ブロックを解除したりする方法については、ファイアウォールまたはウィルス防御ソフトウェアの指示を参照してください。

Media Center コンピュータでの Photoshop Elements の使用

1 Media Center のリモコンの Media Center ボタンをクリックします。

2「他のプログラム」メニューを選択し、「Adobe Photoshop Elements」に移動して選択します。

Photoshop Elements Media Center のホームページが表示されます。

Media Center コンピュータでの写真の表示

Media Center 2005 では、Photoshop Elements カタログの写真を表示できます。写真は、日付（日付表示と同様）、キーワード名札、アルバム、スライドショー別に表示できます。

重要：MCE Extender または Intel® Viiv™ デジタルメディアアダプタを使用しているコンピュータで、写真またはビデオが黒いサムネールで表示される場合は、この既知の問題の解決方法を説明したお読みくださいファイルを参照してください。

1 Media Center で Photoshop Elements のホームページを開きます。

2 リモコンのナビゲーションボタンを使用して、「View Photos」を選択し、次の表示オプションを選択します。

すべての写真 カタログ全体のサムネールを表示できます。

再生 カタログ内のすべての写真のインスタントスライドショーを開始します。「設定」ページで切り替え方法、間隔、その他のプロパティを変更できます。

日付順 カレンダーが表示されます。カレンダーの表示では、1 重矢印ボタンを使用して 1 か月単位で前後に移動するか、2 重矢印ボタンを使用して 1 年単位で前後に移動します。特定の日付から写真を表示するには、「日付を設定」を選択し、写真のサムネールの日付を設定します。一定の日付範囲の写真を表示するには、「期間を設定」を選択し、写真のサムネールの開始日と終了日を設定します。

名札順 特定の名札の付いた写真を表示します。名札に移動し、リモコンの「OK」ボタンを押します。名札の左側に矢印がある場合は、その名札にサブカテゴリーの名札があります。サブカテゴリーの名札を表示する場合は、矢印をクリックします。

写真を名札順で表示する場合、「選択した名札」の下に名札名のリストが表示されます。リストから名札を消去するには、タグを選択し、「選択名札の解除」を選択します（この操作では、カタログから名札は消去されません）。

アルバム順 アルバムの写真を表示します。表示したいアルバムに移動し、リモコンの「OK」ボタンを押します。アルバムの左側に矢印がある場合、それはアルバムグループです。矢印をクリックして、グループのアルバムを表示します。

3 リモコンのナビゲーションキーを使用して、写真を表示します。写真をフルスクリーンで表示するには、写真に移動し、リモコンの「OK」ボタンを押します。

4 前のページに戻るには、リモコンの「戻る」ボタンを押します。ホームページに戻るには、「Home」をクリックします。

Media Center コンピュータでのスライドショーの表示と配信

Media Center 2005 では、Photoshop Elements で作成した WMV 形式のスライドショーを表示できます。

1 Photoshop Elements のホームページで、「スライドショー」ボタンをクリックします。作成したスライドショーのサムネールを表示する View Slide Shows ページが表示されます（「日付」ボタンをクリックして、特定の日付または範囲内の日付に作成されたスライドショーを表示および選択できます）。

2 スライドショーを再生するには、サムネールに移動し、「OK」をクリックします。スライドショーをフルスクリーンで表示するには、「OK」をもう一度クリックします。リモートコントロールの「戻る」ボタンを押すと、ウィンドウでのスライドショー表示に戻ります。

3 スライドショーを制御するには、リモートコントロールの「再生」、「一時停止」、「停止」、「早送り」、「巻戻し」、「リプレイ」ボタンを使用します。

Media Center コンピュータでの Photoshop Elements の設定

1 Photoshop Elements のホームページで「設定」をクリックします。

2 次の「General Settings」オプションを設定します。

ファイル名と写真のサムネイルを表示 写真またはスライドショーのサムネールを表示するときに、ファイル名を表示します。

スライドショーで写真のキャプションを表示 インスタントスライドショーで写真を表示するときに、写真のキャプション（フォトブラウザで設定）を表示します。

Choose Catalog 表示するカタログを指定します。複数の Photoshop Elements カタログがある場合は、表示したいカタログに移動し、「OK」を選択します。

最後に表示したリストを消去 最後に表示した写真のリストをホームページから消去します。

3 設定を適用するには、「完了」をクリックします。

4 次の「スライドショー」オプションを設定し、「完了」をクリックします。

スライド間隔 インスタントスライドショー中に各写真を画面に表示する時間を設定します。

切り替え方法 写真間の切り替え方法を指定します。

切り替え速度 写真間の切り替え速度を指定します。

写真の書き出し

フォトブラウザからの写真の書き出し

写真をフォルダに書き出してバックアップに使用したり、携帯電話に書き出して表示したりできます。写真を書き出しても、元の写真はカタログに保護されたまま残ります。書き出す写真のサイズやファイル形式は指定できます。

注意：写真を CD または DVD に書き出すには、適切なサードパーティ製のソフトウェアがコンピュータにインストールされている必要があります。

1 フォトブラウザで、書き出すアイテムを選択し、次のいずれかの操作を行います。プロジェクトを書き出すことはできません。

- アイテムをフォルダに書き出すには、ファイル／書き出し／新規ファイルへを選択します。

• アイテムをコンピュータに接続された携帯電話に書き出すには、ファイル／書き出し／携帯電話へを選択します。

2「新規ファイルへ」を選択した場合は、次のいずれかのオプションを選択します。

ファイル形式 書き出す写真のファイル形式を指定します。現在のファイル形式を維持する場合は、「オリジナル形式を使用」を選択します。

サイズと画質 ピクセル数、ファイルサイズ、圧縮方式および写真の画質を変更します。オリジナル形式を使用して書き出す場合は、元の画像のサイズを増やすことはできません。

ファイル保存先 書き出すファイルを保存するフォルダを指定します。別のフォルダまたはドライブを指定するには、「参照」をクリックします。

ファイル名 書き出すファイルの名前を指定します。写真の現在の名前を使用する場合は、「オリジナルの名前」を選択します。同じ名前にシーケンス番号を追加して書き出すには、「基本名」を選択して名前を入力します。保存先フォルダにファイル名が既に存在する場合は、既存のファイルを上書きしないように、書き出すファイルの名前が変更されます。

3「書き出し」をクリックします。

注意：写真をフォトブラウザからページレイアウト、文書作成アプリケーション、画像編集アプリケーション（Photoshop など）またはコンピュータのデスクトップにドラッグすると、写真を書き出すことができます。この方法では写真をすばやく簡単に書き出すことができますが、書き出されたファイルのサイズを指定することはできません。

写真のデスクトップの壁紙としての使用

1 つの写真または複数の写真をコンピュータの壁紙にすることができます。壁紙の画像は、いつでも簡単に切り替えることができます。Windows 標準のデスクトップパターンに戻すには、コントロールパネルを使用します。



画面に 4 つの画像を並べて表示したデスクトップの壁紙

1 フォトブラウザで、使用する写真を選択します。

2 編集／デスクトップの壁紙として設定を選択します。複数の写真を選択した場合は、写真が並べて表示されます。

注意：1 つまたは複数の写真から Windows XP のスクリーンセーバーを作成することもできます。使用する写真を選択して、それらを新しいフォルダに書き出します（新しいフォルダに「スクリーンセーバー」のような名前を指定します）。新しいフォルダにある写真を使用してスクリーンセーバーを作成するには、Windows XP のコントロールパネルの「画面」を使用します。Windows XP でスクリーンセーバーを作成する方法については、Windows XP のヘルプで「スクリーンセーバー」を検索して、該当する項目を参照してください。

関連項目

135 ページの「画像の保存とファイル形式」

第 21 章：ショートカットキー

写真整理モードでは、画面の操作や、写真の検索、表示および編集に、ショートカットキーを使用できます。写真編集モードでも、表示、選択、編集など、スタンダード編集モードの様々なツールを使用する際にショートカットを使用できます。

Photoshop Elements ヘルプのすべての内容を参照するには、「Web 上のページ」をクリックして LiveDocs にアクセスしてください。

写真整理モードのショートカット

ナビゲーション時に使用するキー

このリストには、主なショートカットだけを示します。他のショートカットは、メニューコマンドやツールヒントに表示されます。


コンテクストメニューを表示するには、パレット、ウィンドウまたは画像を右クリックします。

目的	ショートカット
選択対象を上下左右に移動	上向き矢印／下向き矢印／左向き矢印／右向き矢印
選択対象を変更せずに上に移動	Page Up
選択対象を変更せずに下に移動	Page Down
最初までスクロールし、最初のアイテムを選択（日付表示では、年表示、月表示または日表示の最初のアイテムを選択）	Home
最後までスクロールし、最後のアイテムを選択（日付表示では、年表示、月表示または日表示の最後のアイテムを選択）	End
連続する複数のアイテムを選択	Shift + 上向き矢印／下向き矢印／左向き矢印／右向き矢印
選択されている写真のフルサイズのサムネールを表示	Enter
コントロール間を移動	Tab
コントロールを選択	スペースバー

写真を表示する時に使用するキー（フォトブラウザ）

このリストには、主なショートカットだけを示します。他のショートカットは、メニューコマンドやツールヒントに表示されます。

目的	ショートカット
フルスクリーン表示	F11
写真を並べて比較	F12
フルスクリーン表示または写真を並べて比較を終了	Esc
フォトブラウザの表示を更新	F5
詳細の表示／非表示を切り替え	Ctrl+D
タイムグラフの表示／非表示を切り替え	Ctrl+L

目的	ショートカット
すべてのキーワード名札を折りたたむ	Ctrl+Alt+T
すべてのキーワード名札を展開	Ctrl+Alt+X
スタックの写真を展開	Ctrl+Alt+R

カレンダーの表示時に使用するキー（日付表示）

このリストには、主なショートカットだけを示します。他のショートカットは、メニューコマンドやツールヒントに表示されます。

目的	ショートカット
下位に移動（年 > 月 > 日）	+ または Shift+=
上位に移動（日 > 月 > 年）	– または Shift+_
選択した日の前の写真に移動	,（カンマ）
選択した日の次の写真に移動	.（ピリオド）
日表示で自動再生を開始	Enter
月表示または年表示から日表示に移動	Enter
カレンダーで次の年、月、日に移動	]
カレンダーで前の年、月、日に移動	[

写真の編集時に使用するキー（フォトブラウザ）

このリストには、主なショートカットだけを示します。他のショートカットは、メニューコマンドやツールヒントに表示されます。

目的	ショートカット
最後の操作を取り消し	Ctrl+Z
最後の操作をやり直し	Ctrl+Y
コピー	Ctrl+C
すべてを選択	Ctrl+A
選択を解除	Ctrl+Shift+A
左に 90 ° 回転	Ctrl+ 左向き矢印
右に 90 ° 回転	Ctrl+ 右向き矢印
写真編集モードで編集（スタンダード編集）	Ctrl+I
プロパティパレットを表示	Alt+Enter
写真の日時の調整	Ctrl+J
キャプションを追加	Ctrl+Shift+T
サムネールを更新	Ctrl+Shift+U
写真をデスクトップの壁紙として設定	Ctrl+Shift+W
カラー設定ダイアログボックスを開く	Ctrl+Alt+G
ズームイン	Ctrl+ +
ズームアウト	Ctrl+ -
OK	Enter
キャンセル	Esc

写真の検索時に使用するキー

このリストには、主なショートカットだけを示します。他のショートカットは、メニューコマンドやツールヒントに表示されます。

目的	ショートカット
期間を設定	Ctrl+Alt+F
期間を削除	Ctrl+Shift+F
キャプションまたはメモで検索	Ctrl+Shift+J
ファイル名で検索	Ctrl+Shift+K
日付または時間が不明な写真を検索	Ctrl+Shift+X
名札なしアイテムを検索	Ctrl+Shift+Q

写真編集モードのショートカット

画像の表示時に使用するキー（スタンダード編集）

このリストには、主なショートカットだけを示します。他のショートカットは、メニューコマンドやツールヒントに表示されます。

目的	ショートカット
開いているドキュメントを順に切り替え	Ctrl+Tab
開いているドキュメントを逆順に切り替え	Ctrl+Shift+Tab
画像をウィンドウサイズに合わせる	Ctrl+0（または手のひらツールをダブルクリック）
100 %拡大	Ctrl+Alt+0（またはズームツールをダブルクリック）
手のひらツールに切り替え（テキスト編集モードを除く）	スペースバー
ズームインツールに切り替え	Ctrl+ スペースバー
ズームアウトツールに切り替え	スペースバー + Alt
ズームの選択範囲の位置をドラッグして変更	スペースバーを押しながらドラッグ
画像内の特定の領域にズームイン	Ctrl キーを押しながらナビゲータパレットのプレビュー上をドラッグ
手のひらツールで画像をスクロール	ドラッグするか、ナビゲータパレットで表示領域ボックスをドラッグ
1 画面上または下にスクロール	Page Up または Page Down
10 単位上または下にスクロール	Shift+Page Up または Page Down
1 画面左または右にスクロール	Ctrl+Page Up または Page Down
10 単位左または右にスクロール	Ctrl+Shift+Page Up または Page Down
表示を左上または右下に移動	Home または End

ツールの選択時に使用するキー

このリストには、主なショートカットだけを示します。他のショートカットは、メニューコマンドやツールヒントに表示されます。

目的	ショートカット
ショートカットキーが同じツールを順に切り替え	Shift キーを押しながらショートカットキーを押す（一般環境設定の「ツールの変更に Shift キーを使用」の選択が必要）
入れ子になっているツールを順に切り替え	Alt キーを押しながらツールをクリック
移動ツール	V
ズームツール	Z
手のひらツール	H
スポイトツール	I
長方形選択ツール 楕円形選択ツール	M
なげなわツール マグネット選択ツール 多角形選択ツール	L
自動選択ツール	W
選択ブラシツール（またはクイック選択ツール）	A
横書き文字ツール 縦書き文字ツール 横書き文字マスクツール 縦書き文字マスクツール	T
切り抜きツール	C
型抜きツール	Q
角度補正ツール	P
赤目修正ツール	Y
スポット修復ブラシツール 修復ブラシツール	J
コピースタンプツール パターンスタンプツール	S
鉛筆ツール	N
消しゴムツール 背景消しゴムツール マジック消しゴムツール	E
ブラシツール 印象派ブラシツール 色の置き換えツール	B
塗りつぶしツール	K
グラデーションツール	G

目的	ショートカット
長方形ツール 角丸長方形ツール 楕円形ツール 多角形ツール ラインツール カスタムシェイプツール シェイプ選択ツール	U
ぼかしツール シャープツール 指先ツール	R
スポンジツール 覆い焼きツール 焼き込みツール	O
すべてのパレットの表示／非表示を切り替え（アートワーク・エフェクトパレットとレイヤーパレットを除く）	Tab
描画色と背景色を初期設定に戻す	D
描画色と背景色を入れ替え	X

オブジェクトの選択時と移動時に使用するキー

このリストには、主なショートカットだけを示します。他のショートカットは、メニューコマンドやツールヒントに表示されます。

目的	ショートカット
選択範囲の選択を解除	Ctrl+D
選択中に選択範囲の位置を変更	スペースバーを押しながらドラッグ
選択範囲に追加または選択範囲の一部を削除	任意の選択ツール + Shift または Alt キーを押しながらドラッグ
選択範囲の共通範囲を選択	任意の選択ツール + Shift+Alt キーを押しながらドラッグ
選択範囲を正方形または正円に固定（アクティブな選択範囲が他にない場合）	Shift キーを押しながらドラッグ
中心から選択範囲を描く（アクティブな選択範囲が他にない場合）	Alt キーを押しながらドラッグ
形状を固定し、中心から選択範囲を描く	Shift+Alt キーを押しながらドラッグ
移動ツールに切り替え	Ctrl（手のひらツールまたは任意のシェイプツールが選択されている場合を除く）
マグネット選択ツールから多角形選択ツールに切り替え	Alt キーを押しながらドラッグ
マグネット選択ツールまたは多角形選択ツールの最後のアンカーポイントを削除	Delete
マグネット選択ツールの操作を適用またはキャンセル	Enter または Esc
選択範囲のコピーを移動	移動ツール + Alt キーを押しながら選択範囲をドラッグ
選択範囲を 1 ピクセル移動	任意の選択範囲 + 右向き矢印、左向き矢印、上向き矢印または下向き矢印
選択アイテムを 1 ピクセル移動	移動ツール + 右向き矢印、左向き矢印、上向き矢印または下向き矢印
レイヤー上で何も選択されていないときにレイヤーを 1 ピクセル移動	Ctrl+ 右向き矢印、左向き矢印、上向き矢印または下向き矢印

目的	ショートカット
認識する幅を拡大または縮小	マグネット選択ツール +[または]
切り抜きを実行または終了	切り抜きツール +Enter または Esc
切り抜きシールドのオン／オフを切り替え	/（スラッシュ）

マジック抽出ダイアログボックス用のキー

このリストには、主なショートカットだけを示します。他のショートカットは、メニューコマンドやツールヒントに表示されます。

目的	ショートカット
描画ブラシ	B
角度補正ツール	P
ポイント消去	E
選択範囲追加ツール	A
選択範囲削除ツール	D
境界線修復ブラシツール	J
ズームツール	Z
手のひらツール	H

選択範囲を変形する時のキー

このリストには、主なショートカットだけを示します。他のショートカットは、メニューコマンドやツールヒントに表示されます。

目的	ショートカット
中心から変形または対称的に変形	Alt
形状を固定	Shift
変形	Ctrl
ゆがみ	Ctrl+Shift
遠近法を変更	Ctrl+Shift+Alt
適用	Enter
キャンセル	Esc または Ctrl+.（ピリオド）

ペイントおよびブラシ使用時のキー

このリストには、主なショートカットだけを示します。他のショートカットは、メニューコマンドやツールヒントに表示されます。

目的	ショートカット
スポイトツールに切り替え	任意のペイントツールまたはシェイプツール +Alt（印象派ブラシを除く）
背景色を選択	スポイトツール + Alt キーを押しながらクリック
不透明度、許容値または露光量を設定	任意のペイントツールまたは編集ツール + 数値キー（例えば 0 = 100 %、1 = 10 %、4 と 5 を続けて押した場合 = 45 %）
描画モードを順に切り替え	Shift+ +（プラス）または -（マイナス）
描画色または背景色で選択範囲またはレイヤーを塗りつぶし	Alt+Backspace または Ctrl+Backspace

目的	ショートカット
レイヤーの塗りつぶしダイアログボックスを表示	Shift+Backspace
透明ピクセルのロックのオン／オフを切り替え	/（スラッシュ）
ポイントを直線で結ぶ（直線を描く）	任意のペイントツール + Shift キーを押しながらクリック
ブラシを削除	Alt キーを押しながらブラシをクリック
ブラシサイズを減少または増加	[または]
ブラシのやわらかさまたは硬さを 25 % ずつ減少または増加	Shift+[または]
前または次のブラシサイズを選択	,（カンマ）または .（ピリオド）
最初または最後のブラシを選択	Shift+,（カンマ）または .（ピリオド）
ブラシに十字アイコンを表示	Shift+Caps Lock

テキスト使用時のキー

このリストには、主なショートカットだけを示します。他のショートカットは、メニューコマンドやツールヒントに表示されます。

目的	ショートカット
画像内でテキストを移動	テキストレイヤーを選択した状態で Ctrl キーを押しながら文字をドラッグ
1 つ左または右の文字、1 つ上または下の行、1 つ左または右の単語を選択	Shift+ 左向き矢印／右向き矢印、Shift+ 上向き矢印／下向き矢印、Ctrl+Shift+ 左向き矢印／上向き矢印
挿入ポイントからマウスをクリックしたポイントまでの文字を選択	Shift キーを押しながらクリック
1 つ左または右の文字、1 つ上または下の行、1 つ左または右の単語に移動	左向き矢印／右向き矢印、上向き矢印／下向き矢印、Ctrl+ 左向き矢印／右向き矢印
単語、行または段落を選択	ダブルクリック、3 回クリック、4 回クリック
バウンディングボックスのサイズを変更するときに、それに合わせて中のテキストを拡大・縮小および変形	Ctrl キーを押しながらバウンディングボックスのハンドルをドラッグ
左揃え、中央揃え、右揃え	横書き文字ツールまたは横書き文字マスクツール +Ctrl+Shift+L、C または R
上揃え、中央揃え、下揃え	縦書き文字ツールまたは縦書き文字マスクツール +Ctrl+Shift+L、C または R
初期設定のフォントスタイルに戻す	Ctrl+Shift+Y
下線のオン／オフを切り替え	Ctrl+Shift+U
打ち消し線のオン／オフを切り替え	Ctrl+Shift+/（スラッシュ）
選択されているテキストの文字サイズを 2 pt/px 縮小または拡大	Ctrl+Shift+< または >

レイヤーパレット使用時のキー

このリストには、主なショートカットだけを示します。他のショートカットは、メニューコマンドやツールヒントに表示されます。

目的	ショートカット
レイヤーオプションを設定	Alt キーを押しながら新規レイヤーを作成ボタンをクリック
確認メッセージを表示せずに削除	Alt キーを押しながらごみ箱ボタンをクリック
値を適用し、テキストボックスのアクティブ状態を維持	Shift+Enter
レイヤーの透明部分を選択範囲として読み込み	Ctrl キーを押しながらレイヤーサムネールをクリック

目的	ショートカット
現在の選択範囲に追加	Ctrl+Shift キーを押しながらレイヤーをクリック
現在の選択範囲から一部削除	Ctrl+Alt キーを押しながらレイヤーサムネールをクリック
現在の選択範囲との共通範囲を選択	Ctrl+Shift+Alt キーを押しながらレイヤーサムネールをクリック
すべての表示レイヤーを結合	Ctrl+Shift+E
新規レイヤー作成ダイアログを表示	Alt キーを押しながら新規レイヤーボタンをクリック
ターゲットレイヤーの下に新規レイヤーを作成	Ctrl キーを押しながら新規レイヤーボタンをクリック
一番下または一番上のレイヤーをアクティブ化	Shift+Alt+[または]
1 つ下または上のレイヤーを選択	Alt+[または]
ターゲットレイヤーを下または上に移動	Ctrl+[または]
すべての表示レイヤーのコピーをターゲットレイヤーに結合	Ctrl+Shift+Alt+E
下のレイヤーと結合	Ctrl+E
現在のレイヤーを下のレイヤーにコピー	Alt+ パレットのポップアップメニューの「下のレイヤーと結合」コマンド
すべての表示レイヤーをアクティブレイヤーにコピー	Alt+ パレットのポップアップメニューの「表示レイヤーを結合」コマンド
リンクしているすべての表示レイヤーをアクティブレイヤーにコピー	Alt+ パレットのポップアップメニューの「リンク部分を結合」コマンド
ターゲット以外の表示レイヤーの表示／非表示を切り替え	Alt キーを押しながら目のアイコンをクリック
ターゲットレイヤーの透明ピクセルのロックまたは最後に適用したロックのオン／オフを切り替え	/（スラッシュ）
レイヤープロパティを編集	レイヤーサムネールをダブルクリック
すべてのテキストを選択（文字ツールを一時的に選択）	テキストレイヤーのサムネールをダブルクリック
クリッピングマスクを作成	Alt キーを押しながら 2 つのレイヤーを分割する線をクリック
レイヤーの名前を変更	レイヤー名をダブルクリック

描画モード使用時のキー

このリストには、主なショートカットだけを示します。他のショートカットは、メニューコマンドやツールヒントに表示されます。

目的	ショートカット
描画モードを順に切り替え	Shift+ +（プラス）または -（マイナス）
通常	Shift+Alt+N
ディザ合成	Shift+Alt+I
背景	Shift+Alt+Q
消去	Shift+Alt+R
比較（暗）	Shift+Alt+K
乗算	Shift+Alt+M
焼き込みカラー	Shift+Alt+B
焼き込み（リニア）	Shift+Alt+A
比較（明）	Shift+Alt+G
スクリーン	Shift+Alt+S

目的	ショートカット
覆い焼きカラー	Shift+Alt+D
覆い焼き（リニア）	Shift+Alt+W
オーバーレイ	Shift+Alt+O
ソフトライト	Shift+Alt+F
ハードライト	Shift+Alt+H
ビビッドライト	Shift+Alt+V
リニアライト	Shift+Alt+J
ピンライト	Shift+Alt+Z
ハードミックス	Shift+Alt+L
差の絶対値	Shift+Alt+E
除外	Shift+Alt+X
色相	Shift+Alt+U
彩度	Shift+Alt+T
カラー	Shift+Alt+C
輝度	Shift+Alt+Y

情報パレット使用時のキー

このリストには、主なショートカットだけを示します。他のショートカットは、メニューコマンドやツールヒントに表示されます。

目的	ショートカット
色情報モードを変更	スポイトアイコンをクリック
単位を変更	十字アイコンをクリック

スウォッチパレット使用時のキー

このリストには、主なショートカットだけを示します。他のショートカットは、メニューコマンドやツールヒントに表示されます。

目的	ショートカット
描画色から新規スウォッチを作成	パレット内の空の領域をクリック
背景色を選択	Ctrl キーを押しながらスウォッチをクリック
カラーを削除	Alt キーを押しながらスウォッチをクリック

パレットの表示 / 非表示を切り替えるときに使用するキー（スタンダード編集）

このリストには、主なショートカットだけを示します。他のショートカットは、メニューコマンドやツールヒントに表示されます。

目的	ショートカット
ヘルプを開く	F1
コンテンツパレットの表示／非表示を切り替え	F7
情報パレットの表示／非表示を切り替え	F8
ヒストグラムパレットの表示／非表示を切り替え	F9

目的	ショートカット
ヒストリーパレットの表示／非表示を切り替え	F10
レイヤーパレットの表示／非表示を切り替え	F11
ナビゲータパレットの表示／非表示を切り替え	F12

フィルタギャラリー使用時のキー

このリストには、主なショートカットだけを示します。他のショートカットは、メニューコマンドやツールヒントに表示されます。

目的	ショートカット
選択されているフィルタの上に新しいフィルタを適用	Alt キーを押しながらフィルタをクリック
すべてのカテゴリーのフィルタの展開／折りたたみを切り替え	Alt キーを押しながら三角形をクリック
「キャンセル」ボタンを「すべてクリア」ボタンに変更	Ctrl
「キャンセル」ボタンを「初期化」ボタンに変更	Alt
取り消し、やり直し	Ctrl+Z
次のステップに進む	Ctrl+Shift+Z
前のステップに戻る	Ctrl+Alt+Z

ゆがみフィルタ使用時のキー

このリストには、主なショートカットだけを示します。他のショートカットは、メニューコマンドやツールヒントに表示されます。

目的	ショートカット
ワープツール	W
乱流ツール	A
渦ツール - 右回転	R
渦ツール - 左回転	L
縮小ツール	P
膨張ツール	B
ピクセル移動ツール	S
反射ツール	M
再構築ツール	E
ズームツール	Z
手のひらツール	H

Photomerge Panorama のショートカットキー

このリストには、主なショートカットだけを示します。他のショートカットは、メニューコマンドやツールヒントに表示されます。

目的	ショートカット
選択ツール	A
回転ツール	R
視点変更ツール（「遠近法」オプションが選択されている場合）	V

目的	ショートカット
ズームツール	Z
手のひらツールに切り替え	スペースバー
前のステップに戻る	Ctrl+Z
次のステップに進む	Ctrl+Shift+Z
選択されている画像を 1 ピクセル移動	右向き矢印、左向き矢印、上向き矢印または下向き矢印
「キャンセル」ボタンを「初期化」ボタンに変更	Alt
個々の画像の枠線を表示	Alt キーを押しながら画像上でポインタを移動

Camera Raw ダイアログボックス使用時のキー

このリストには、主なショートカットだけを示します。他のショートカットは、メニューコマンドやツールヒントに表示されます。

目的	ショートカット
プレビューでクリッピングされるハイライトを表示	Alt キーを押しながら露光量スライダまたは黒レベルスライダをドラッグ
Camera Raw ダイアログボックスで、「コピーを開く」ボタンを有効にする	Alt

第 22 章：用語集

この用語集は、Photoshop Elements やデジタル画像に関して使用される用語を説明しています。目的の用語がここにない場合は、用語をヘルプで検索して、機能固有の定義を参照してください。

Photoshop Elements ヘルプのすべての内容を参照するには、「Web 上のページ」をクリックして LiveDocs にアクセスしてください。

用語の定義の検索

❖ ヘルプの「目次」タブで「デジタル画像用語」の下の文字を展開します。文字の下に用語が見つからない場合は、「検索」ボックスに用語を入力してヘルプ全体から検索します。

デジタル画像用語

数字

16 ビットのグレースケール 様々な階調のグレーを含むことができる高ビット画像モード。Photoshop Elements では、統合された状態の 16 bit 画像がサポートされています（16 bit 画像のレイヤーはサポートされていません）。

1 インチあたりのインクドット数（dpi）プリンタ解像度の単位。dpi 設定値が大きいと、ディテールの緻密なプリントが出力されます（405 ページの「1 インチあたりのピクセル数（ppi）」も参照してください）。

1 インチあたりのピクセル数（ppi）カメラやコンピュータファイルに保存される画像解像度の単位。ppi 設定値が大きいと、ディテールが緻密で、ファイルサイズが大きい写真になります（405 ページの「1 インチあたりのインクドット数（dpi）」も参照してください）。

2 バイトフォント アジア系言語のフォントを表す用語。多くの場合、CJK（中国語、日本語、韓国語）フォントと呼ばれます。これらの文字を表すために 1 バイトではなく 2 バイトが必要です。

48 ビットの RGB カラー 1 つのチャンネルにつき多数のカラーを含むことができる高ビット画像モード。Photoshop Elements では、1 つのカラーチャンネルにつき 8 bit または 16 bit の画像がサポートされているので、RGB 画像の合計は、1 つのチャンネルあたりのビット数に応じて、24 bit または 48 bit になります。

A

ADM Adobe Dialog Manager の略。Photoshop Elements の多くのプラグインに必要なファイルです。

Adobe Color Engine 画面およびプリントに表示するカラーを管理します。1 つのカラースペースの色域を別のカラースペースの色域にマッピングするために使用されます。

Adobe RGB Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ 社）が作成した RGB カラースペースプロファイル。広い色域が提供されます（407 ページの「RGB」も参照してください）。

Adobe カラーピッカー Adobe アプリケーションで描画色または背景色を指定するために使用する組み込みユーティリティ。

Adobe フォトダウンローダ Photoshop Elements の機能の 1 つで、接続されたカードリーダ、カメラまたは携帯電話から写真を自動的に検索してダウンロードします。自動検出はカメラまたはカードリーダの環境設定で無効にできます。無効にしても、フォトブラウザで写真の取り込みのアイコンをクリックし、カメラ、携帯電話またはカードリーダの中から選択することで、手動でダウンローダにアクセスできます。

AGMLib Photoshop Elements に必要で、ともにインストールされる Adobe Graphics Manager ライブラリファイル。

B

bit/ チャンネル 1 つのチャンネルあたりのビット数。これにより、各カラーチャンネルが含むことができる階調数が決まります。

BMP Windows でビットマップファイルを保存する際に使用する標準ファイル形式。Windows では BMP ファイルをあらゆる種類のディスプレイデバイスで表示できます。

C

Camera Raw 形式 データをカメラセンサーでキャプチャしたとおり正確に記述する形式。カメラ内処理は適用されません。**RAW** 形式とも呼ばれます（この形式は、416 ページの「汎用フォーマット」とは異なります）。

CCITT Comité Consultatif International Téléphonique et Télégraphique の略。通信に関する規格を規定する団体です。現在は、ITU-T（International Telecommunications Union-Telecommunication Standardization sector の略）と呼ばれています。CCITT は白黒画像用の可逆圧縮方式の 1 つを開発しました。

CIE Commission Internationale de l'Éclairage の略。1930 年代初頭に色の国際的標準を規定した団体です。Lab カラーモデルは CIE によって開発されたものです。

CMap ファイル 日本語フォントなど、2 バイトフォントの文字セットにアクセスするために使用されるファイル。

CMYK シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックのこと。ほとんどのプリンタではこれらのインクを使用してカラー画像を作成します。Photoshop Elements では CMYK カラーモードはサポートされていませんが、ほとんどのデスクトッププリンタでは自動的に CMYK カラーモードに変換されます。

ColorSync Apple 社が提供するカラーマネジメントソフトウェア。

CoolType アドビ システムズ社が提供するフォント技術で、画面でのテキスト解像度を向上させます。

Cos オブジェクト Adobe PDF ファイルの内部部分の 1 つ。

E

EPS Encapsulated PostScript の略。イラスト作成アプリケーションおよび DTP アプリケーションで使用される画像を保存するために使用されるファイル形式です。

EPS PICT プレビュー Macintosh EPS ファイルに保存される低解像度スクリーンプレビュー。

EPS TIFF プレビュー EPS ファイルに保存される低解像度スクリーンプレビュー。

EPS ファイル Encapsulated PostScript ファイル。ベクトルデータとビットマップデータの両方のデータを扱うことができ、ほとんどのグラフィックアプリケーション、イラスト作成アプリケーション、DTP アプリケーションでサポートされているグラフィックファイル形式です。

EXIF Exchangeable Image File Format の略。カメラとソフトウェア間でのデータ交換を簡素化するための規格です。カメラモデル、写真の撮影日時、カメラ設定、シャッタースピードなどがデータに含まれることがあります。

F

FDF Adobe Acrobat PDF ファイルのコメントを含むファイル。Photoshop Elements では FDF ファイルは開けません。

G

GIF グラフィック画像ファイルの形式。ラインアートやテキストを含む、単一色の範囲が大きい画像に適したファイル形式。Web アニメーションは GIF 形式の画像で実行されます。

H

HSB 人間のカラーの知覚に基づき、色相、彩度および明度に従ってカラーを記述するカラーモード。

I

ICC International Color Consortium の略。ICC デバイスプロファイルは、スキャナ、モニタ、プリンタなどのデバイス間でカラーを正確に再現するための業界標準です（417 ページの「プロファイル」も参照してください）。

ICM Image Color Management の略。Windows に組み込みのカラーマネジメントシステムで、画像用およびスキャナやプリンタなどのデバイス用のカラープロファイルを使用します。Apple 社の Mac OS の ColorSync と同様のものです。

J

JPEG Joint Photographic Experts Group の略。コンピュータ画像ファイルの圧縮アルゴリズムを開発するための専門家委員会。また、JPEG アルゴリズムが適用されるグラフィックファイルのことも指します。JPEG 形式は、写真を Web 上で共有するために一般に使用される形式です。JPEG 2000 形式は JPEG 形式を改良したもので、透明部分をサポートしていますが、一部の画像には使用できません。

JPEG 圧縮 画像データおよびファイルサイズを縮小する非可逆圧縮方式（416 ページの「非可逆圧縮方式」も参照してください）。

L

LZW（Lemple-Zif-Welch）単一色の範囲が大きい画像の圧縮に特に適した可逆圧縮方式。

M

Microsoft パレットファイル 画像ファイルに添付されるカラーテーブル。

P

PDF（PDP）Portable Document Format の略。グラフィックや写真など、印刷されたドキュメントのエレメントを電子画像として取り込む Adobe ファイル形式の 1 つです。PDF ドキュメントは検索、ページ間移動、印刷および電子メール送信が可能です。PDF ファイルと PDP ファイルは同じものですが、PDF ファイルは Adobe Acrobat で開き、PDP ファイルは Adobe Photoshop Elements で開く点が異なります。

PICT Macintosh でデジタル画像を保存するためのファイル形式。

PixMap コンピュータのメモリに保存されるビットマップ画像。

PNG-24 Portable Network Graphics の略。24 ビットカラーをサポートしている画像形式。JPEG 形式と同様、PNG-24 では写真のディテールを保持します。JPEG とは異なり、256 段階の透明度をサポートしています。

PNG-8 Portable Network Graphics の略。8 ビットカラーを使用するビットマップ画像形式。GIF 形式と同様に、PNG-8 は、ラインアート、ロゴまたは活字のシャープなディテールを保持したまま、べた塗り部分を効率的に圧縮します。

PostScript アドビ システムズ社が開発したプログラミング言語で、印刷されるページや表示されるページ上のテキスト、グラフィックシェイプおよびサンプル画像の外観を記述したものです。

PSD Adobe Photoshop および Adobe Photoshop Elements の固有のファイル形式。

Q

QuickTime コンピュータでムービー、その他のマルチメディアファイルを表示できる、Apple 社のソフトウェア。

R

RAID Redundant Array of Independent Disks の略。パフォーマンスを向上させ、ハードウェアやソフトウェアの障害時に適切に対処できるようにするために、複数のドライブを同時に使用するディスクドライブの管理方法のことです。

RGB コンピュータディスプレイでカラーを表現するためのモデル。レッド、グリーン、ブルー（RGB）を様々な割合で組み合わせて、カラーを表現します。RGB モデルでは 256 x 256 x 256 色を表現できます。

RGB 作業用スペースプロファイル RGB 作業用スペースを定義するカラープロファイル。デジタルカメラ用のものやスキャナ用のものがあります。

RLE（Run Length Encoding）画像の各レイヤーの透明部分を圧縮するための可逆圧縮方式（410 ページの「可逆圧縮方式」も参照してください）。

S

Scitex ファイル 専用の Scitex システムで使用される高解像度ファイル。Photoshop Elements では、RGB カラーモードの Scitex ファイルを開くことができます。

sRGB 現在 Web の標準となっている RGB カラースペース。ほとんどのコンピュータのモニタで表示できるのは、sRGB カラースペースのカラーのみです（410 ページの「カラースペース」も参照してください）。

T

Targa（TGA）形式 Truevision のビデオボードを使用するシステムと互換性があるファイル形式。

TIFF Tagged Image File Format の略。印刷または配信用の画像に広く使用されているデジタル画像形式。TIFF 画像は可逆圧縮方式で圧縮できます。

TWAIN アプリケーションや、スキャナ、カメラなどのデバイスで、情報交換に使用されるプロトコル。

U

Unicode 文字 世界的に統一された文字コードの 1 つ。

V

VCD Video Compact Disc の略。MPEG 形式のオーディオおよびビデオを含む CD。VCD は DVD プレーヤーまたは CD プレーヤーで再生できます。Photoshop Elements で作成したメニューを VCD に組み込むことができます。

W

Web セーフカラー ブラウザやコンピュータプラットフォームに関係なく、Web 上で常に表示される 216 色のうちのいずれか。

Z

ZIP エンコーディング 単一色の範囲が大きい画像に最適な可逆圧縮方式。

あ

アーティファクト 不適切な設定または不完全な処理が原因で、デジタル画像に予期しない不要な変更が加えられること。ブルーミング、モアレ、シャープ、ノイズなどがあります。

アウトラインデータ PostScript フォントのアウトラインデータは、印刷時に使用されます。このデータはフォントのアウトラインファイルに保存されます。プリンタフォントと呼ばれることもあります。

赤目 カメラのフラッシュが被写体の網膜に反射して、被写体の目に赤い点が表示される現象。画像を取り込むときに自動的に取り除くか、赤目修正ツールを使用して取り除くことができます。

明るさの値 画像または選択範囲の明るさのこと。通常は 0（黒）～ 100 %（白）の範囲になります。

アクティブレイヤー レイヤーパレットで現在選択されているレイヤー。

浅浮彫り デジタル写真で、画像が背景の表面からやや盛り上がったように見える効果のこと。

圧縮 ビットマップ画像のファイルサイズを小さくする技術。

アニメーション GIF GIF 形式の一連の画像で、連続表示されたときに動いているという錯覚を生み出します。

アルバム 一緒に表示する写真を集めたもの。アルバム内の写真には異なるキーワード名札を付けることができます。アルバム内の各写真には番号が振られているので、ランク別に整理できます。アルバムは、フォトアルバムおよびスライドショーの写真を整理する場合に便利です。

アルファチャンネル 画像の特定の部分の操作、切り抜きおよび保護に使用するマスク。Photoshop Elements では、アルファチャンネルは「保存した選択範囲」と呼ばれます。アルファチャンネルを保存するには、選択範囲／選択範囲を保存を選択します。アルファチャンネルを読み込むには、選択範囲／選択範囲を読み込むを選択します。

アンシャープマスク 明るい領域と暗い領域の間のコントラストを強くすることで、画像のディテールをシャープにする技法（ややピンぼけのネガをオリジナルに重ねることでコントラストを強くするという、従来の写真技法に由来する名称です）。

アンチエイリアス 境界にあるピクセルのカラーを平均化して、デジタル画像の縁のギザギザを滑らかにすること。

い

色合い 白を追加することで彩度を減らし明るさを増やして作り出すカラーバリエーション。

色温度（1）暖色（レッド系）から寒色（ブルー系）までの連続体に沿ったカラーの位置のこと。（2）物体が特定の色で輝く前に吸収する必要がある熱の度数（ケルビン単位）のこと。様々な種類の光と同様、各カラーは色温度に関連付けられます。

色数 画像の各ピクセルを表示または印刷するために使用できるカラー情報の量を示します。色数が多いほど、デジタル画像で使用できるカラーが多くなり、カラー表現がより正確になります。

色分解 RGB カラーデータを印刷用の CMYK データに変換すること。

インターレース 画像ファイルが完全にダウンロードされるまでの間、ブラウザに画像のディテールを徐々に表示すること。

インターレースビデオ 初期のテレビ用に開発されたシステムで生成されるビデオで、標準のテレビディスプレイで現在でも使用されています。ビデオは 30 フレーム / 秒（NTSC の場合）または 25 フレーム / 秒（PAL の場合）で画面上に表示されます。各フレームは 2 つのインタレースフィールドに分割され、1/60 秒間表示されます。奇数のフィールドにはビデオフレームの奇数番号の走査線がすべて含まれ、偶数のフィールドには偶数番号の走査線が含まれます。人間の目は、2 つの連続したインタレースフィールドの情報を、1 つの統合フレームとして認識します（417 ページの「プログレッシブスキャン」も参照してください）。

インデックスカラー 最大 256 色のパレットの各カラーに割り当てられたインデックスをピクセル値に使用することによって表現されるカラー。

う

ウィザード 作成プロセスを最初から最後まで段階的に説明する Photoshop Elements のツール。作成プロセスの各段階で使用できる機能はすべて紹介されます。必要な機能はどれかを判断してから、次のステップに進みます。

埋め込まれたプロファイル 画像ファイルに常駐する ICC（カラー）プロファイル。このプロファイルにより、画像のカラーが正しく変換されるようになります（411 ページの「カラーマネジメント」も参照してください）。

え

エアブラシ 徐々に変化する色調を画像に適用することによって、従来のエアブラシのような効果を作り出せるブラシオプション。筆圧を強めると、ペイント量が増えます。このオプションを使用すると、スプレーペイントによる画像のような効果が生まれます。

エイリアシング 対角線、円弧などの縁に表示されるギザギザのこと。ピクセルがのこぎり状のパターンで並ぶことが原因で発生します。

エラー コマンドまたは操作の失敗を通知するシステムまたはアプリケーションのメッセージ。

エラーログ「複数ファイルをバッチ処理」コマンドの実行中にエラーが発生した場合に生成されるテキストファイル。

遠近法 写真を撮影する際の角度やレベルで、カメラの視野のことです。

演算コード化された JPEG JPEG ファイルの圧縮に使用されるファイル圧縮の種類の 1 つ。

お

覆い焼き 画像の一部を選択的に明るくすること。

オーディオキャプション 写真に追加するナレーション。

温度 カラーに関して使う場合は、特定の色を発光するときの物体の温度（ケルビン単位）のこと。様々な種類の光と同様、各カラーは色温度に関連付けられます。(412 ページの「黒体輻射」も参照してください)。

オンラインサービス インターネット経由で接続して注文を行うことができるサービスのこと。Photoshop Elements から直接オンラインサービスにアクセスして、プリント、フォトブック、カードなどを注文できます。さらに、オンライン配信サービスを使用して写真をオンラインで配信することもできます。

か

カードリーダ 写真、オーディオ、ビデオ、その他のデータを保存、アップロードまたはダウンロードするときに使用する持ち運び可能ハードウェア。カードリーダからデータを Photoshop Elements にダウンロードできます。

解析モジュール ベクトルデータをビットマップデータに変換するプラグイン。

解像度 画像の鮮明さやシャープさを表します。デジタル画像では、1 インチあたりのピクセル数（ppi）で表します（419 ページの「モニタ解像度」および 417 ページの「プリンタ解像度」も参照してください)。

解像度の非依存性 画像解像度を変更せずに画像のサイズを変更できます。一般的なビットマップ画像では、ピクセル解像度は固定されているので、画像を大きくすると、画質が低下します。これに対し、それぞれの解像度を使用すると、画像は、単純化するか印刷するまで、ピクセルにレンダリングされません。

可逆圧縮方式 データの損失により画質が低下することを避ける画像圧縮方式。可逆圧縮方式では通常、非可逆圧縮方式よりも低い圧縮率を使用します。

拡張モジュール パフォーマンスを向上させたり、機能を追加したりする、Photoshop Elements 用のプラグイン。

加算混合色 レッド、グリーン、ブルーのこと。人間の目は、これらの 3 色以外のすべてのカラーを、この 3 色を組み合わせたものとして知覚します。コンピュータのモニタでは、加算混合色以外のカラーを作成するために、これらの 3 色の光を組み合わせます。例えば、イエローを作成する場合、モニタはレッドとグリーンの光を組み合わせます。加算混合色を最大明度で相互に組み合わせると、ホワイトが作成されます（412 ページの「減算混合色」も参照してください)。

カスタムシェイプ オプションバーのカスタムシェイプメニューにあるシェイプの 1 つ。カスタムシェイプツールを選択すると、カスタムシェイプメニューが有効になります。

仮想記憶ディスク Photoshop Elements には独自の仮想メモリシステムがあり、空き領域があるディスクドライブまたはドライブパーティションを自動的に使用できます。操作を実行するのに十分なメモリがない場合は、仮想記憶ディスクを使用するように指定できます。

画像キャッシュ 仮想メモリとして使用されるハードディスク領域のセクション。画像キャッシュによって、画面での高解像度画像の再描画速度が向上します。

画像モード グレースケール、RGB など、画像のカラーモードのこと。

壁紙 Windows デスクトップ上にある 1 つまたは複数の背景画像。Photoshop Elements の作成ウィザードを使用して独自の壁紙を作成することができます。

カラーキャスト 写真に現れた不必要な色または予期しない色のこと。例えば、室内でフラッシュを使用せずに撮影した写真では黄色みが強くなります。

カラースペース 特定のデバイス向けまたは特定の目的のために設計されるカラーモード。例えば、Adobe RGB はアドビアプリケーションで使用されるカラースペースで、sRGB は大半のモニタで使用されるカラースペースです。画像のカラープロファイルと、画像が表示されるアプリケーションまたはデバイスのカラースペースとを一致させるようなカラーマネジメントでは、カラースペースは重要な役割を果たします。アドビアプリケーションで使用されるカラースペースは、作業用スペースと呼ばれることもあります。

カラー値 カラーコンポーネントから指定されたピクセルのカラーを数学的に記述したもの。

カラーチャンネル 画像内のすべてのカラーを作成する構成要素となるカラーのこと。通常は、レッド、グリーン、ブルー（RGB）です。

カラーテーブル 411 ページの「カラールックアップテーブル（CLUT）」を参照してください。

カラーのジッター ストロークのカラーを描画色と背景色の間でどのように変化させるかを設定します。設定する値が高いほど、変化の量は大きくなります

カラー範囲 デバイスが特定のカラースペースで再現できるカラーの範囲のこと。

カラーホイール 補色が正反対に位置するように円内に配置された、可視光線スペクトルにおけるカラーの表現のこと。

カラーマネジメント あるデバイスから別のデバイスに（カメラからコンピュータ、コンピュータからカメラなど）画像を移動したときに、カラーの一貫性を保つために使用されるシステム。

カラーモード カラーの構成要素を、カラーモデルのカラーチャンネルの数に基づいて、どのように組み合わせるかを決定します。カラーモードには、グレースケール（1 チャンネル）、RGB（3 チャンネル）、CMYK（4 チャンネル）などがあります。Photoshop Elements では、モノクロ 2 階調、グレースケール、インデックスおよび RGB の各カラーモードがサポートされています。

カラーモデル カラーの構成要素を指定するために使用されるシステム。主なカラーモデルは RGB、CMYK および HSB です。

カラールックアップテーブル（CLUT） ビット数が不足していてすべてのカラーを表すことができない場合に、カラーのインデックスを作成したりカラーを参照したりするために使用されるシステム。

環境光 カメラのフラッシュで強化されていない、写真の撮影時に現存する照明効果のこと。

寒色 スペクトルの青系統の色域にあるカラー。

カンバス 画像ウィンドウ内にある、既存の画像の周りのワークスペース。レイヤーデータは、カンバスの外側に位置することがありますが、画像が統合されるとカンバスにクリップされます。カンバスのサイズおよびカラーを変更するには、イメージ／サイズ変更／カンバスサイズを選択します。

ガンマ調整 画像の中間調を暗くまたは明るくすることで生じるコントラストのこと。ガンマを調整するときは、ハイライトとシャドウに実質的な影響を与えないようにして中間調の明るさを変更します。

関連付け アプリケーションに関連していること（「ファイル関連付け」とも呼ばれます）。ファイル形式ごとに関連付けられたアプリケーションがあります。例えば、PSD ファイルは Photoshop および Photoshop Elements に関連付けられています。アプリケーションが関連付けられていないファイルを開こうとすると、警告が表示されます。

き

キーワード名札 写真を整理するために使用するラベル。人、場所、行事などの内容を表す独自の名札を作成します。1 枚の写真に複数のキーワード名札を適用することもできます。名札を適用したら、名札を検索して写真を簡単に見つけることができます。

擬似フォント 使用できないフォントの外観を擬似的に表す、コンピュータによって作成されるフォント。

輝度 明るさのこと。理論的には、RGB 値の最高値と最低値を足して 2 で割った値。

逆光 被写体の背後にある光源から放射される光のこと。

キャッシュファイル 仮想メモリとして使用されるファイル。キャッシュファイルによって、Photoshop Elements の処理速度が向上します。

キャプション 写真に付けられたテキストまたは音声のメモ。フォトブラウザでオーディオキャプションを追加するには、コンピュータのマイクを使用するか、オーディオファイルを読み込みます。テキストキャプションを追加するには、フォトブラウザのプロパティパレットまたはスタンダード編集のファイル情報ダイアログボックスのキャプションフィールドにテキストを入力します。

境界をぼかす 選択範囲のエッジをぼかすこと。

許容値 一部のツールの動作を適用する精度を表す値。許容値は、ツールによって処理される隣接ピクセル間の値の差を記述するものです。許容値を高く設定すると、許容値を低く設定した場合よりも変更されたり選択されたりするピクセルが多くなります。

許容量 自動選択ツールおよび「色の置き換え」コマンドで許容される値の設定。選択範囲に含める近似色の範囲を設定します。「許容値」を参照してください。

切り替え 2 枚の写真の間に適用される効果。スライドショーの場合は、写真が次の写真に替わるときに視覚的にどのように表現するかに影響します。例えば、写真をフェードで切り替えて、写真をフェードアウトさせながら、次の写真をフェードインさせることができます。

切り抜き 構図を改善するため、または画像の周りに枠を作成するために、画像の一部をトリミングすること。

く

クイックマスク Photoshop のクイックマスクモードで作成されたマスクチャンネル。Photoshop Elements にはクイックマスクモードがないので、Photoshop 画像のすべてのチャンネルが統合されます。

組み文字 414 ページの「縦中横」を参照してください。

クラッキング 古い絵画に見られる非常に細い表面のひび割れや、写真画像で表面をひび割れたように見せるために使用される効果のこと。

グラデーション ブラックとホワイトを含む、隣り合った 2 つのカラー間で滑らかな移行を実現する複数の方法のいずれか。

クリップボード「カット」または「コピー」コマンドで保存されたデータを一時的に保持する領域。

クリップボード上のパスデータ クリップボード上に保存されたベクトルパスのデータ。ベクトルパスは、テキストレイヤー、シェイプレイヤーなどのベクトルデータで使用されます。

グレー作業用スペースプロファイル 一定のカラー設定でグレースケール画像を表示および印刷する最適な方法を決定する既定のプロファイル。

グレースケール ブラック、ホワイト、グレーの階調のみを含む単一チャンネルの画像。ビット数によっては、グレースケール画像で様々な階調のグレーを再現できます。

け

蛍光体 CRT モニタの内部に塗布されている物質。電気的な刺激に反応して発光し、画面上での発色に影響を与えます。時間の経過によって蛍光体が劣化するため、モニタのキャリブレーションまたはプロファイルの再作成が必要になります。

減算混合色 シアン、マゼンタ、イエローのこと。理論上は、これらの 3 色の色素を同量ずつ組み合わせると、黒になります。プリンタではこれらのカラーを様々な割合で組み合わせて、印刷可能なすべてのカラーを表現します。加算混合色は光のカラーを組み合わせるために使用されるのに対して、減算混合色はインクのカラーを組み合わせるために使用されます（410 ページの「加算混合色」も参照します）。

こ

黒体輻射 まったく熱を持たないときは黒で、熱せられると様々な色で輝き始める理論物質。色温度（ケルビン単位）が上昇するにつれ、色が赤（温度が最低）から白（温度が最高）に変わりながら輝き始めます（409 ページの「色温度」も参照してください）。

コピー コピースタンプツールを使用してペイントすること。コピースタンプツールを使用してペイントする前に、アクティブレイヤー上にサンプルポイントを設定する必要があります。

コマンド 目的の操作を実行するために選択するメニュー項目のこと。

コンテンツレイヤー 画像、テキストまたはオブジェクトを含む、Photoshop Elements のレイヤー。

コントラスト 画像内の明るい領域と暗い領域の明るさの差のこと。コントラストによって、画像のシェード数が決まります。

さ

再サンプル 画像のピクセル数を変更して、解像度を変更すること。ダウンサンプルはピクセル数を減らすことで、アップサンプルはピクセル数を増やすことです。

彩度 カラーの純度や度合い。最も彩度が高いカラーはグレーを含んでいません。彩度コントロールを使用して、カラーをより鮮やかにしたり（追加する黒または白を少なくする）、より地味にしたり（追加する黒または白を多くする）します。

差分 JPEG ファイル 特定の JPEG ファイルで使用される符号化法の一種。Photoshop Elements では差分 JPEG ファイルはサポートされていません。

サムネール 画像を縮小し低解像度で表示したもの。編集対象の写真を見つけやすいように、写真のサムネールが表示されます。

散布 ブラシマークをどのようにストロークに散布するかを定義します。

散布の間隔 ブラシストロークに適用されるエレメント間の間隔を定義します。

サンプル 描画ツールやペイントツールで使用するために、スポイトツールを使用してカラーを選択すること。

し

シェイプレイヤー ベクトルベースのシェイプを含むレイヤー（419 ページの「レイヤー」も参照してください）。

色域 デバイスで再現できるカラーの範囲のこと（410 ページの「カラースペース」も参照してください）。

色相 オブジェクトが反射または発光したカラー。通常の使い方では、色相は、カラーをレッド、ブルー、イエローなど、「あるカラーのカラー」として識別できるプロパティです。

色調補正 シャドウ、ハイライト、中間調という画像の色調に対して行われる補正のこと。ハイライトとシャドウの値を調整して色調範囲を拡大したり、シャドウとハイライトの値に影響を与えずに中間調の明るさを調整したりできます。

色度 413 ページの「彩度」を参照してください。

ジッター ブラシストロークのランダム度を指定します。

自動レベル補正 カラーの自動補正のコマンド。

シャープ 写真編集プログラムで、被写体のエッジのディテールを強調するあらゆる機能。シャープは多くの場合、カメラ内処理の一環として適用されますが、Camera Raw ファイル画像には適用されません（409 ページの「アンシャープマスク」も参照してください）。

シャープによるハロー効果 シャープを適用しすぎることで発生する、エッジの周囲に明るいリングや線として現れるアーティファクトのこと。（408 ページの「アーティファクト」も参照してください）。

シャドウ 画像内の最も暗いエレメントであり、暗い部分で認識可能なディテールの度合い（415 ページの「ハイライト」も参照してください）。

出力可能な文字 印刷可能なテキストオブジェクト。

照度 写真の被写体に当たる光の程度を表します。

シルエット 明るい部分を背景にした輪郭内の暗い部分。

す

スウォッチ スウォッチパレット内から選択可能な既定のカラー。Photoshop Elements ではスウォッチを最大 8190 色、読み込めます。

スキャン CCD（Charged Couple Device）などのセンサーが受光して、スライドやプリントなどの目に見える画像をデジタル画像に変換するプロセスのこと。

スクリーン解像度 モニタで使用されるピクセルグリッドの寸法。

スタック 1 つの写真の下にまとめてグループ化される複数の写真。同じ被写体を撮影した複数の写真でフォトブラウザをいっぱいにしたくない場合は、スタックを作成できます。

ストローク（1）「境界線を描く」コマンド、描画ツール、ペイントツールまたは選択ツールを使用して、画像または画像の一部の周囲に作成するアウトラインのこと。（2）ペイントツールまたは描画ツールのどちらかで、特にブラシを使用して作成する線の特性。

スポットカラーチャンネル Pantone カラーなどのスポットカラーを含む Photoshop チャンネルのこと。Photoshop Elements ではスポットカラーチャンネルはサポートされていません。

スムージング 周囲のピクセルの値を平均化して、コントラストを弱めて、ソフトなぼかし効果を生む技法。

スライス 機能に応じて分割された、画像の一部。Photoshop で使用されます。Photoshop Elements ではスライスはサポートされていません。

せ

セピアプリント 茶色のトーンの写真。写真編集プログラムでは、特殊な効果を適用して、このアンティーク風の見た目を表現します。

選択範囲 レイヤーへの複製、カラー補正、削除、回転など、あらゆる操作の対象として選択された画像の部分。選択範囲は、選択範囲の境界線内に含まれるすべてのピクセルを全選択または部分選択したもので構成されます。

選択モジュール Photoshop Elements で選択範囲を指定することを可能にするプラグイン。例えば、TextureSelect プラグインは、マジック選択ブラシツールおよびマジック抽出で使用されます。

鮮明度 画像のディテールのシャープさまたは鮮明さのこと。

た

ターゲットカラー 写真を補正するときに、ハイライト、中間調のグレーおよびシャドウに指定するカラー。

ターゲットチャンネル Photoshop のチャンネルパレットで選択されたチャンネル。Photoshop Elements にはチャンネルパレットはありません。

ターゲットパス Photoshop のパスパレットで選択されたパス。Photoshop Elements にはパスパレットはありません。

ターゲットレイヤー レイヤーパレットで選択されたレイヤー。

縦中横 縦書き行にレイアウトされた横書き文字のブロック。

縦横比 画像の幅と高さの比率。画像がページまたはモニタにどのように収まるかを決定するために使用されます。

ダブルトーン 2 つのカスタムインキを使用する、2 色グレースケールファイル。Photoshop Elements ではダブルトーンファイルはサポートされていません。

単一チャンネルの画像 モノクロ 2 階調モード画像、グレースケール画像、インデックスカラー画像など、1 つのチャンネルを含む画像。

暖色 赤系統の色域にあるカラー。熱を連想させるイエロー、オレンジなどが含まれます。

ち

チャンネル 画像内のカラーデータを記述するための構成概念。白黒のグレースケール画像には 1 つのチャンネル、RGB 画像には 3 つのチャンネル、CMYK 画像には 4 つのチャンネルがあります。通常、チャンネルではレッド、グリーンまたはブルーのいずれかを記述し、これらの 3 色を混合してすべてのカラーを作成します。

中間調 最も明るいハイライトと最も暗いシャドウの間に収まる領域。

調整レイヤー ピクセル値を永続的に変更することなく、画像にカラー補正と色調補正を適用できるレイヤー。カラー補正と色調補正を試すには、調整レイヤーを使用します。調整レイヤーは、そのレイヤーより下のレイヤーが透けて見えるベールのようなものです（419 ページの「レイヤー」も参照してください）。

ちりめんじわ フィルム感光剤が高温から低温に急激に変化する（高温の現像液から低温の定着液に移す）ことで発生する、従来の写真効果。写真画像の線のパターンがランダムに表現され、クラッキングよりも粗くなります。

て

ディザ 利用できる複数のカラーを使用することにより、利用できないカラーに近い状態を表すこと。利用できないカラーを再現しようとすると、隣接ピクセルのカラーが変更されます。

データ書き出しモジュール Photoshop Elements から異なるファイル形式の画像を書き出すことを可能にするプラグイン。

テキストレイヤー ベクトルベースのテキストを含むレイヤー。

デジタルカメラ コンピュータが処理可能なビット単位の情報を持つピクセルで構成された画像データを記録するカメラ。

点描 非常に小さな点で描画されていて、距離を置くと個々の点が識別できなくなるような画法。目で見ると、これらの点が結合されて知覚色になります。

と

統合 表示されているすべてのレイヤーを背景レイヤーに結合して、ファイルサイズを小さくすること。

透明 デジタル写真で、画像または画像レイヤーの透明部分をサポートする機能。一部の画像形式では透明部分はサポートされていません。

トリミング Photoshop の「トリミング」コマンドを使用して、画像からピクセルを削除すること。Photoshop Elements には「トリミング」コマンドはありません。

ドロップレット ドロップレットアイコンにドラッグした画像をバッチ処理する小型のアプリケーション。Photoshop Elements ではドロップレットはサポートされていません。

な

長さがゼロの画像 サイズが指定されていない画像のこと。

に

入力モジュールのインターフェイス デジタルカメラまたはスキャナからの写真の取り込みを可能にするプラグイン。

ぬ

塗りつぶしレイヤー 交換可能な属性としてべた塗り、パターンまたはグラデーションが含まれるタイプのレイヤー。

の

ノイズ 干渉またはカメラのエラーが原因で発生するアーティファクトのこと。多くの場合、ノイズは予期しない色の不要なピクセルや、一般に「粒子の粗い」外観として現れます。特定の圧縮方式によってノイズが増幅されることがあります。

ノイズグラデーション 指定したカラー範囲内でランダムに分布したカラーを含むグラデーションのこと。

ノート注釈 Photoshop ファイルに追加されるメモ。Photoshop Elements では、ノート注釈の表示および削除は可能ですが、追加はできません。

は

バージョンセット 写真編集モードで編集内容を保存するときに自動的にまとめてグループ化される、編集されたバージョンの写真。Photoshop Elements の初期設定では、写真編集モードで写真を編集すると、編集したバージョンが先頭の写真として保存され、オリジナルの写真と以前に編集したバージョンの写真がその下にグループ化されます。バージョンセット内の写真はいつでも表示したりグループを解除したりできます。

ハーフトーン 写真でグレーの階調を擬似的に表現する、大きさの一定しないドットで構成されるモノクロ画像。PostScript プリンタで写真を再現する場合および出版物を印刷する場合に使用されます。

背景レイヤー 画像の一番下にあるレイヤー。通常は画像データを含んでいます。背景レイヤーは常にロックされています。背景レイヤーの重なり順、描画モード、不透明度を変更するには、まず通常のレイヤーに変換する必要があります。

ハイライト 画像内の最も明るい要素（413 ページの「シャドウ」も参照してください）。

ハイライトとシャドウ 画像内の最も明るいカラーと最も暗いカラー。

バウンディングボックス 画像、シェイプまたはテキストの周囲にある長方形の枠線。ドラッグして回転させたりサイズ変更したりできます。

白色点 白を表現するために使用する基準点。この基準点を使用して、画像内の他のすべてのカラーを計算します。

パターン Photoshop Elements に組み込まれている既定のパターン、または自分で作成するパターン。パターンは、塗りつぶしレイヤー、「塗りつぶし」コマンド、パターンスタンプツールまたは塗りつぶしツールで使用できます。

バッチ処理 ファイルのグループに対して 1 つまたは複数の作業を同時に処理すること。

パノラマ 被写体を広い視野で見ること。通常は、個別に撮影したショットを部分的に重ね合わせて、1 つの画像に合成して作成した風景を指します。

幅がゼロの画像 サイズが指定されていない画像のこと。

パン 一定の時間内に、写真のフォーカスをある被写体または領域から別の被写体または領域に変更すること。例えば、Photoshop Elements スライドショーで、パンの開始位置を写真内のある顔に、パンの終了位置を別の顔に設定すると、写真から動画を作成できます。また、一定の時間内に写真のズームインまたはズームアウトを行うこともできます。例えば、写真内のある顔のクローズアップから始めて、写真全体を表示するようにズームアウトできます。

汎用フォーマット 科学分野で使用されるファイル形式など、文書化されていない形式で保存された画像を収容することを目的とする形式（この形式は、406 ページの「Camera Raw 形式」とは異なります）。

ひ

非可逆圧縮方式 画像データの一部が失われるような圧縮率を使用する画像圧縮方式。

ピクセル デジタル画像を構成する、四角形の基本データ単位。アンチエイリアスが適用されていないピクセルのエッジは、のこぎり状のパターンになることがあります（416 ページの「ビットマップ画像」も参照してください）。

ピクセル寸法 画像の幅と高さのピクセル数。これは、写真の画像データの量の単位であり、印刷するときやモニタに表示するときの物理的なサイズではありません。

ヒストグラム デジタル画像を構成するピクセル値の分布を示す棒グラフ。横軸はレベルを 0（最も暗い）～ 255（最も明るい）の範囲で示し、縦軸は各レベルのピクセル数を示します。

ヒストリー画像 ヒストリーパレットに表示される画像のヒストリー。

ビット数 画像のピクセルを表すために使用されるカラーの数。1 bit 画像はモノクロです。8 bit 画像は 256 色または 256 階調のグレーになります。16 bit 画像は 65,536 色になります。

ビットマップ画像 コンピュータメモリ内のピクセルの行と列で構成される画像。「ラスター画像」とも呼ばれます。ビットマップファイル形式には、BMP、GIF、JPEG、PSD、PICT および TIFF があります（418 ページの「ベクトル画像」も参照してください）。

ビデオモニタ ビデオモニタでは、プログレッシブスキャン方式を使用して画像を表示します（これとは対照に、テレビでは、インターレースフィールドを使用します）。

ビネット 画像のエッジが徐々にフェードアウトする効果。

非フリンジピクセル アンチエイリアス処理された選択範囲で 50 %以上選択されているピクセル。

描画モード ペイントツールまたは編集ツールでの操作を画像内のピクセルにどのように合成するかを調節する機能。合成色が基本色（元のカラー）に適用されて、新しい色である結果色が作成されます。レイヤーに適用された描画モードは、レイヤーのピクセルをその下のレイヤーのピクセルとどのように合成するかを決定します。

ふ

ファイル関連付け Photoshop Elements の内部エンジンの 1 つで、アプリケーションで異なるファイル形式を認識する、変更する、開くことを可能にします。

ファイル形式モジュール Photoshop Elements で異なるファイル形式を開くことを可能にするプラグイン。

ファイルの末尾 ファイル内の読み取り可能なコードの最後の行。「予期せずにファイルの末尾に達しました」のようなエラーが表示された場合は、作業中のファイルが破損していることを示します。

フィルタ 画像の見せ方を変えるための、あらかじめ用意されている方法。例えば、見た目をモザイクのように変える、独自の照明効果を追加する、ゆがみを適用するなどが可能です。

フィルタモジュール Photoshop Elements とともにインストールされ、フィルタメニューに表示されるフィルタプラグイン。

フェード ペイントツールで使用するときは、ペイント流量がフェードしてなくなるまでのステップ数を制御します。

フォールオフ量 光源から届くときの光の減少量のこと。色相・彩度ダイアログボックスでは、近似色間の切り替えの長さも示します。

フォント 共通の太さや幅、スタイルを共用する文字、数字、句読点および記号のセット。例えば、Times Italic があります。

フォントサーバ Photoshop Elements の内部エンジンの 1 つで、アプリケーションでのフォントの使用および表示を可能にします。

フォントスタイル フォントファミリーに属する個々のフォントのバリエーション。フォントスタイルには斜体、標準、太字があります。

フォントファミリー 名前は同じだがスタイルが異なるフォントを集めたもの。例えば、Times Italic、Times Bold、Times Bold Italic はすべて同じフォントファミリーに属します。

複数ファイルの名前を変更 複数のファイルの名前を自動的に同時に変更できます。「複数ファイルをバッチ処理」コマンドで使用できます。

復帰 画像を最後に保存した状態に戻すコマンド。

不透明 透明の反対。不透明なテキスト、シェイプまたはレイヤーを通して下にある画像を見ることはできません。

不透明度 光を遮断する度合いのこと。レイヤー、フィルタおよびエフェクトの不透明度を変更して、下にある画像がさらに透けて見えるようにする（または見えないようにする）ことができます。

太字スタイル 太字スタイルが含まれていないフォントファミリーに太字効果を適用できるようにする文字スタイル。

プラグインモジュール アドビ製品に機能を追加するために、アドビ システムズ社やサードパーティが開発した小型のソフトウェアプログラム。

ブラシの種類 ブラシツールのスタイル。ブラシ、印象派ブラシまたはエアブラシのいずれかになります。

ブラシプリセット サイズ、太さなどがあらかじめ設定されたブラシ。Photoshop Elements には、様々なブラシプリセットが組み込まれており、自由に選択できます。また、独自のブラシプリセットを作成することもできます。Photoshop Elements では、ブラシプリセットを最大 8000 件作成できます。

プリンタ解像度 プリンタが画像の細部を表現する能力を示すデータの密度。1 インチあたりのインクドット数（dpi）で表します。通常、インクジェットプリンタで高画質の写真をプリントする場合、解像度が 240 dpi であれば十分な品質を得られます（410 ページの「解像度」および 419 ページの「モニタ解像度」も参照してください）。

プリンタプロファイル プリンタでのカラーの再現方法を定義するプロファイル。

ブルーミング カメラの（ピクセルに対応する）1 つのセンサーから隣接したセンサーへのカラー情報のオーバーフローが原因で発生するアーティファクトのこと。ブルーミングによって、ストリーク、ハロー効果、ディテールの損失が発生することがあります（408 ページの「アーティファクト」も参照してください）。

フレームレイヤー 画像にマスクを適用するレイヤー。フレームレイヤーは画像に接し、画像に使用したものと同じ方法でサイズ変更、回転または位置変更できます。

プログレッシブスキャン 毎秒 60 のビデオフレームを左から右に描画する画面上に画像を表示するプロセスのこと。プログレッシブスキャンでは、インターレースビデオよりもちらつきの少ない鮮明な画像が再現されます。

プロジェクト Photoshop Elements で写真を使用して作成する成果物のこと。スライドショー、アルバムページ、グリーティングカード、カレンダーなどを作成できます。

プロファイル デバイス、アプリケーションまたは写真ファイルのカラースペースに関する情報。ICC デバイスカラープロファイルでは、画像のカラーデータを変換できるので、カラーが特定のデバイス上で正確に再現されるようになります（411 ページの「カラーマネジメント」も参照してください）。

へ

ベースライン JPEG JPEG ファイル用の標準圧縮方式。ベースライン JPEG ファイルは、Web 上では一行づつ渡されるように表示されます。

ベクトル画像 画像エレメントを描画するための幾何学公式を組み込む形式で保存された、ライン、シェイプ、その他のグラフィック画像のコンポーネント。このため、グラフィックの拡大縮小時に画質が低下することがなく、出力の線がギザギザになることもありません。Adobe Illustrator はベクトル画像用プログラムです。

ベベル 画像またはテキストの全体または一部の周囲を押し出すまたは押し下げる効果のこと。ベベルを使用すると、対象の境界線の内側および外側のエッジにハイライトとシャドウを適用して、3 次元の奥行きのような効果を出します。

変形 拡大・縮小、ゆがみ、自由な形への伸縮、回転を行うことや、レイヤー、選択範囲またはシェイプの遠近法を変更すること。

変形バウンディングボックス 変形コマンドを使用して変更している画像の部分を囲むボックス。

ほ

ポイント 文字の初期設定単位。例えば、Times Roman Regular の 12 ポイントなどです。

ぼかし 画像または画像の一部のディテールを柔らかい印象にすること。

ぼかし（ガウス）色調とカラーを円錐形に分布させて適用する、柔らかな印象を与える効果のこと。

補色 組み合わせたときに白色光になる 2 つの光のカラー、または組み合わせたときに黒になる 2 つのインクのカラーのこと。補色はカラーホイールで向き合っている色です。

ポスタリゼーション 画像の連続階調の数を減らすこと。ポスタリゼーションを適用すると、画像が平面的になり、アニメのようになります。この効果は意図的に適用する場合もありますが、過度の圧縮によって発生することもあります。

ホットスポット すべてのディテールが失われる程度まで光が集中する領域のこと。つまり、白で塗りつぶされる領域のことです。

ホワイトバランス 白熱灯、蛍光灯、太陽光などの光源の違いにより同一のカラーが異なって表現されるのを補正する機能のこと。

ま

マット処理 Web ページに表示される画像の透明部分をシミュレートするための方法。透明部分がサポートされていない場合は、背景と一致するマットカラーを指定して、透明部分をシミュレートできます。

マルチプルマスター カスタマイズ可能な Type 1 フォントで、太さ、幅、スタイル、オプティカルサイズなどの様々な特徴を持つ書体が含まれています。

め

明度 画像の相対的な明るさまたは暗さのこと。カラーの強度を決定します。また、カラーの相対的な明るさまたは暗さを示すこともあります（411 ページの「輝度」も参照してください）。

メゾティント 表面の粗い金属版から作成されたエッチングに見られる光と影のパターンをシミュレートする効果。

も

モアレ 画像に現れる、波紋柄に似た波打った縞模様のこと。モアレは、カメラで画像のディテールを取り込めないために発生するアーティファクトであることがあります。

文字組み 日本語文字の句読点、記号、数字の間の間隔を定義するシステム。

文字スタイル 417 ページの「フォントスタイル」を参照してください。

文字マスク 文字の形状をした選択範囲。

文字レイヤー ベクトルベースのテキストを含むレイヤー（419 ページの「レイヤー」も参照してください）。

モニタ解像度 ピクセル単位で表される、モニタの解像度。画面に表示される画像のサイズは、画像のピクセル数、モニタのサイズおよびモニタ解像度によって決まります（410 ページの「解像度」および 417 ページの「プリンタ解像度」も参照してください）。

や

焼き込み 画像の一部を選択的に暗くすること。

ゆ

ゆがみ 画像のコンテンツが垂直軸または水平軸に対して偏向すること。ゆがみは、カメラのアーティファクトの場合や、意図的に適用された効果の場合があります。

ら

ラスター画像 416 ページの「ビットマップ画像」を参照してください。

ラスタライザ テキストなどのベクトルデータをビットマップデータに変換する Photoshop Elements のエンジン。

ラスタライズ テキストレイヤー、シェイプレイヤー、べた塗りレイヤー、グラデーションレイヤーまたはパターン塗りつぶしレイヤーを通常の画像レイヤーに変換すること。フィルタを適用したりペイントツールを使用したりする前に、このようなレイヤータイプをラスタライズする必要があります。

れ

レイヤー 複数の画像を重ねるためや組み合わせるために使用するメカニズム。レイヤーは、重ねたり並べ替えたりできる、透明なシートのようなものです。通常の画像レイヤーのほかに、特殊なレイヤーもあります（415 ページの「塗りつぶしレイヤー」および 414 ページの「調整レイヤー」を参照してください）。

レイヤーグループ Photoshop 画像とともに保存されたレイヤーを集めたもの。Photoshop Elements でレイヤーグループを含むファイルを開いても、セット内の個々のレイヤーは読み取り専用フォルダに表示されません。Photoshop Elements でレイヤーグループを編集するには、最初にレイヤーをラスタライズする必要があります。

レイヤーマスク 調整レイヤー内の保護された領域。マスクの下の領域は編集できません。

レベル補正 カラーと色調を補正するための機能。レベル補正では、最大限の色調範囲を使用するようにシャドウ値とハイライト値を設定したり、中間調のみを調整したり、カラーキャスト（色かぶり）を補正したりできます。

レンダリング シェイプレイヤー、テキストレイヤーなどのベクトルレイヤーを通常のレイヤーに変換すること。ベクトルレイヤーを通常のレイヤーに変換するには、レイヤー／レイヤーをラスタライズを選択します。

連文字 414 ページの「縦中横」を参照してください。

ろ

露光量 写真の撮影時の光量を表します。デジタル写真は、露出不足の場合は暗くなりすぎ、露出オーバーの場合は明るくなりすぎます。

露出不足の画像 光が弱い状態またはカメラの設定が不適切な状態で撮影されたために、暗くなりすぎている画像。

ロックしているファイル 読み取り専用として設定されているファイル。フォトブラウザでは、ロックしているファイルには鍵のアイコンが表示されます。

ロックしているレイヤー レイヤーパレット内の、鍵のアイコンが適用されているレイヤー。ロックしているレイヤーを変更することはできません。背景レイヤーは常にロックされています。

わ

ワープ 画像（多くの場合テキスト）を様々な形状に合わせるために変形させること。例えば、1 行のテキストを円弧や波形の形状に変形させることができます。

索引

数字

1 インチあたりのインクドット数（dpi）、定義 405
1 インチあたりのピクセル数（ppi）、定義 405
16 ビットまたは 48 ビットのグレースケール、定義 405
2 階調化フィルタ 216
2 バイトフォント、定義 405
3D トランスフォームフィルタ 244, 276

A

Adobe Color Engine、定義 405
Adobe Dialog Manager（ADM）、定義 405
Adobe Photoshop Elements
　Adobe Premiere Elements のワークエリアと並べて配置 27
　終了 14
　新機能 3, 4
Adobe Photoshop Services
　オンラインサービスの使用 381
Adobe Premiere Elements
　Photoshop Elements のワークエリアと並べて配置 27
Adobe カラーピッカー
　説明 291
　定義 405
Adobe フォトダウンローダ
　定義 405
AGMLib、定義 405

B

bit/ チャンネル、定義 406
BMP、定義 406

C

Camera Raw ファイル
　カスタムカメラ設定 170
　画像オプション 170
　カラーの補正 193
　色調調整コントロール 172
　シャープ 168
　処理 167
　説明 166
　他のファイル形式で保存 169
　ヒストグラムと RGB 値 170
　プレビューオプション 169
　ホワイトバランス 170
CCITT グループ、定義 406
CD
　ジャケット、作成 330, 331
　ラベル、作成 330, 331
CIE、定義 406
CMap ファイル、定義 406
CMYK、定義 406
ColorSync、定義 406
CoolType、定義 406
Cos オブジェクト、定義 406

D

Digimarc の透かし
　検出 284
　説明 119
　フィルタ 284
DVD
　ジャケット、作成 330, 331
　ラベル、作成 330, 331
DVD に書き込み
　コンピュータから 103
　スライドショー 351, 352

E

EPS
　使用 128
　定義 406
　ファイル、定義 406
　プレビュー（PICT および TIFF）、定義 406
Exchangeable Image File Format、定義 406
Extensible Metadata Platform（XMP）、説明 120

F

FDF、定義 406
Flash フォトギャラリー 335

G

GIF 形式
　最適化 358, 362
　説明 359
　定義 406
　透明部分のハードエッジ 366
　透明部分の保持 365
　保存 137
　マット処理 365

H
HSB（色相、彩度、明度）
カラーモデル 247
定義 406

I
ICC、定義 407

J
JPEG 圧縮、定義 407
JPEG 形式
形式を指定して最適化 362
最適化 358
説明 359
定義 407
保存 138
マット処理 366

L
LZW、定義 407

N
NTSC カラーフィルタ 282

P
PDF ファイル
定義 407
開く 128
Photo Creations 形式
定義 136
ファイルの保存 135
Photomerge Panorama
コマンド 354
作成 354
視点の位置の変更 355
説明 353
ダイアログボックス 354
ゆがみとカラーの不整合の軽減 356
Photoshop Elements
「Adobe Photoshop Elements」を参照
Photoshop EPS 形式、保存 139
Photoshop PDF 形式、保存 139
PICT、定義 407
PNG 形式
定義 407
保存 140
マット処理 365
PNG-24 形式
形式を指定して最適化 363
最適化 358
説明 360
PNG-8 形式
形式を指定して最適化 362
最適化 358
説明 360
透明部分のハードエッジ 366
透明部分の保持 365
PostScript、定義 407
PSD、定義 407
PSE、フォトプロジェクト形式 326

Q
QR コード
作成 122
説明 122
内容の表示 123

R
RLE（run length encoding）、定義 408
RGB
カラーモデル 247
定義 407
モード 248

S
Scitex ファイル、定義 408
sRGB、定義 408

T
Targa（TGA）形式、定義 408
TIFF 形式
定義 408
ファイル保存オプション 140
保存 140
TWAIN、定義 408

V
VCD
定義 408

W
Web ギャラリー 337
Web セーフカラー
定義 408
使用 288
Web 用に最適化 357

Web 用に保存 357
WMV 形式 351, 352

X

XMP、説明 120

Z

ZIP エンコーディング、定義 408

あ

アーティファクト、定義 408
アートワークとエフェクト
　シェイプの追加 257, 261
　視覚効果の追加 259
　説明 256
　テキストの追加 260
　背景の追加 258
アートワークパネル、使用 256
アイテムの種類
　指定 49
　表示 49
赤目
　スタンダード編集での除去 228
　定義 408
赤目修正ツール 228
明るさ
　値の定義 408
　コントラスト 203
　シャドウ 201
　定義 418
　レベル補正ダイアログボックス 200
明るさ・コントラストコマンド 203
明るさの最小値フィルタ 283
明るさの最大値フィルタ 283
明るさの中間値フィルタ 274
アクティブレイヤー、定義 408
浅浮彫り
　定義 408
　フィルタ 278
圧縮、定義 408
アドレス帳
　新規グループの作成 387
　説明 386
　連絡先の削除 387
　連絡先の追加 386
　連絡先の編集 387
アニメーション GIF
　作成 363
　説明 361
　定義 408
アニメーションギャラリー 337
アニメーション、プレビュー 369
アプリケーションの終了 14
アプリケーションのディザ処理 366
網目フィルタ 269
粗いパステル画フィルタ 267
粗描きフィルタ 267
アルバム
　アイコンの変更 81
　アイテムの順序の変更 82
　同じキーワード名札を持つ写真で作成 84
　環境設定 75
　結合 81
　構造の書き出し 79
　構造の取り込み 79
　削除 82
　作成 76
　写真にキーワード名札を適用 83
　写真の検索 93
　写真の削除 80
　写真の追加 77
　写真の表示 77
　整理 83
　選択 77
　定義 408
　編集 80
アルバムグループ
　削除 82
　作成 76
　整理 83
　説明 75
アルバムパレット
　環境設定 75
　使用 75
アルバムページ
　作成 331
　説明 329
アルバムを結合するコマンド 81
アルファチャンネル、定義 409
アンシャープマスク
　説明 239
　定義 409
　適用 239
アンチエイリアス
　選択範囲でオンにする 186
　選択範囲内 186
　定義 409

い
位置を一致コマンド 133
一般環境設定、表示の設定 46
移動
　CD または DVD への写真 103
　カタログ内のファイル 102
移動コマンド 102
移動ツール
　オプション 188
　使用 188
　選択範囲の移動 187
　選択範囲のコピー 189
イベントアイコン 59
イベントを編集ダイアログボックス 60
色合い、定義 409
色鉛筆フィルタ 266
色温度、定義 409
色数、定義 409
色の置き換えコマンド 211
色の置き換えツール 232
色分解、定義 409
インク画（外形）フィルタ 269
印刷
　商業印刷用のターゲット値、説明 218
　ターゲット値 219
　ターゲット値、設定 218
印象派ブラシツール 294
インターレース解除フィルタ 282
インターレース、定義 409
インタラクティブギャラリー 337
インデックスカラー
　RGB またはグレースケールからの変換 251
　説明 248
　定義 409
インデックスカラーコマンド 251
インデックスカラーテーブル
　既定 253
　透明部分 253
　編集 252
　保存または読み込み 253
インデックスプリント 376

う
ウィザード、定義 409
ウィンドウ
　同じ画像を複数開く 133
　拡大 131
　サイズ変更 132
　タイル 133
　閉じる 134
ウォーターペーパーフィルタ 280
渦巻きフィルタ 273
海の波紋フィルタ 271
埋め込まれたプロファイル、定義 409

え
エアブラシ、定義 409
エイリアシング、定義 409
エッジの強調フィルタ 269
エッジの光彩フィルタ 281
エッジのポスタリゼーションフィルタ 267
エッジをソフトにする 232
エフェクト
　説明 259
　適用 259
　パフォーマンスの向上 265
遠近法
　定義 409
　適用 243
演算コード化された JPEG、定義 409
鉛筆ツール 293
円、描画 321
エンボスフィルタ 280

お
覆い焼きツール 203
覆い焼き、定義 410
オーディオ
　音楽のスライドショーへの追加 343
　再生 118
　写真への追加 117
　スライドショーへのナレーションの追加 346
　フルスクリーン表示 53
オーディオキャプション
　再生 118
　定義 410
　フォトブラウザ 50
置き換えフィルタ
　説明 269
　適用 270
お気に入り名札
　写真の検索 89
押し出しフィルタ
　説明 280
　適用 280
オフラインの写真の環境設定 41
お読みくださいファイル 1
オリジナルに戻すコマンド 111
温度、定義 410

オンラインサービス
環境設定 381
写真の送信 384
使用 381
説明 381
定義 410
オンライン配信コマンド 384

か

カードリーダ
環境設定 35
写真のダウンロード 31
写真の取り込み 31
定義 410
解像度
説明 225
定義 410
変更 226
解像度の非依存性、定義 410
階調の反転フィルタ
説明 215
適用 215
回転
自由 241
設定パーセント値 240
書き出し
アルバム構造 79
キーワード名札 74
フォトブラウザからの写真の書き出し 392
可逆圧縮方式、定義 410
拡散フィルタ 280
拡大
サイズ変更 132
表示 131
拡大・縮小
シェイプ 242
写真 242
選択範囲 242
プリントプレビューダイアログボックス 373
レイヤー 242
拡張または縮小コマンド 184
重なり順、レイヤー内での変更 153
重ねたウィンドウ 133
重ねる、マジック抽出の使用 180
加算混合色、定義 410
画質調整コマンド 197
カスタムシェイプ、定義 410
カスタムフィルタ
説明 283
適用 283
カスタムブラシの作成 301
風フィルタ 281
画像
「写真」も参照
シャープ 237
統合 155
開く 126
プロジェクト内の画像 332
画像解像度コマンド 226
仮想記憶ディスク
説明 25
定義 410
変更 25
画像キャッシュ、定義 410
画像サイズ 225
画像内のカラーの置き換え 232
画像の角度の補正
1 つの画像に対する処理 223
複数画像を分割して設定 224
画像の鮮明度 414
画像モード
使用 248
定義 410
画像を明るく 203
画像を暗く 203
傾いた写真
角度補正 223
複数のスキャンした写真の角度補正と分離 224
カタログ
CD、DVD、ハードディスクにバックアップを作成 100
アイテムの削除 104
以前のバージョンに復元 99
コピー 98
作成 98
修復 99
初期設定フォルダの指定 102
説明 96
追加として開く 100
ファイルの移動 102
含まれる情報 97
命名 98
カタログから削除コマンド 104
カットアウトフィルタ 266
カテゴリー
新しいキーワード名札の作成 69
削除 73
整理 72
説明 63
編集 71

壁紙
定義 410
デスクトップの壁紙の作成 393
カメラ
環境設定 35
写真の削除 32
写真のダウンロード 31
写真の取り込み 31
ゆがみ、補正 233
カラー
Camera Raw 193
HSB モデル 247
RGB モード 248
RGB モデル 247
Web セーフカラー 288
インデックスカラーモード 248
置き換え 211
画像モード 248
クイック補正での補正 193
グレースケールへの追加 213
グレースケールモード 248
最適化した画像のカラー 369
彩度と色相の補正 208
スウォッチパレット 290
スウォッチパレットから選択 290
スタンダード編集での補正 193, 196
スライドのカラーの変更 348
説明 247
テキスト 316
肌色の補正 210
描画色と背景色 285, 289
補正 193
マネジメント 253
モノクロ 2 階調モード 248
モノクロへの変換 211, 213
カラーカーブ、補正 207
カラーカーブを補正コマンド 207
カラーキャスト
除去 206
定義 410
補正 204
レベル補正を使用した調整 200, 206
カラースペース、定義 410
カラー設定コマンド 255
カラー値、定義 410
カラーチャンネル、定義 410
カラーテーブル
使用 248
定義 411
カラーのジッター、定義 411
カラーハーフトーンフィルタ
説明 275
適用 275
カラー範囲、定義 411
カラーホイール
説明 248
定義 411
カラーマネジメント
作業 255
設定 255
説明 253
定義 411
デバイスプロファイル 254
カラーモード、定義 411
カラーモデル、定義 411
カラーを削除コマンド 213
ガラスフィルタ 270
カレンダー
環境設定 60
日付表示 56
環境光、定義 411
環境設定
一般 132, 134
オンラインサービス 381
カレンダー 60
完了した操作の警告 18
グリッド 135
写真の表示の設定 47
スライドショー 350
単位・定規 316
取り込み 29
ファイルの保存 141
寒色、定義 411
カンバス
サイズ変更 222
定義 411
ガンマ調整、定義 411
管理、カラー 253
管理対象ファイルと管理対象フォルダ 38
完了した操作の警告 18
関連付けられたアプリケーション、定義 411

き

キーボードショートカット
写真編集モード 396
キーワード名札
アイコンの変更 71
アルバム内の写真に適用 83
アルバムの作成 84

顔の検索 66
書き出し 74
カテゴリーおよびサブカテゴリーの削除 73
カテゴリーと初期設定 63
カテゴリーまたはサブカテゴリーの作成 69
環境設定 75
キーワード名札の情報をファイルに書き込み 74
キーワード名札パネルでの選択 68
作成 64, 69
サブカテゴリーへの変更 73
写真から削除 73
写真に適用 65, 66
写真を検索 68, 88
整理 72
説明 63
定義 411
取り込み 30, 74
ファイル情報ダイアログボックスでの表示 120
フォルダ毎表示で付ける 48
フォルダ名で作成 69
フォルダ名の名札を自動的に追加 48
編集 71
キーワード名札情報をファイルに書き出しコマンド 74
キーワード名札とアルバムコマンド 75
キーワード名札パレット
アイテムの選択 68
環境設定 75
使用 63
ぎざぎざのエッジフィルタ 280
擬似フォント、定義 411
輝度、定義 411
機能
新機能 3, 4
機能、Photoshop Elements の新機能 3
逆光、定義 411
逆光フィルタ 276
キャッシュファイル、定義 411
キャプション
オーディオ 117
オーディオの再生 118
追加 116
定義 411
日付表示での編集 59
キャプションを追加コマンド 116, 117
ギャラリー
Web 337
アニメーション 337
インタラクティブ 337
キャンセル、操作 23
球面フィルタ
説明 272
適用 272
境界線コマンド 185
境界線（輪郭）303
境界をぼかす
定義 411
境界をぼかすコマンド 187
共有、ファイル
Photoshop Elements と Adobe Premiere Elements 間の共有 26
例 26
極座標フィルタ 272
許容値、定義 411
許容量、定義 411
切り替え
定義 412
切り替え方法
スライドショー 348
切り抜き
コマンド 221
ツール 220
定義 412
近似色を選択コマンド 185

く

クイック補正
赤目の除去 228
画像の表示 131
カラー 193
カラーの補正 193
自動補正コマンド 197
写真の編集 193
組み文字、定義 412
雲模様 1 フィルタ 276
雲模様 2 フィルタ 276
クラッキング、定義 412
クラッキングフィルタ 281
グラデーション
説明 305
定義 307, 412
テキストへの適用 307
適用 306
透明部分の指定 308
ノイズ 309
グラデーションマップフィルタ
説明 214
適用 214
グラフィックペンフィルタ 279

グリーティングカード
作成 331
説明 330
グリッド
設定の変更 135
説明 134
クリッピンググループ
作成 162
説明 161
レイヤーの解除 162
レイヤーのグループ解除 163
クリップボード
解放 24
定義 412
パスデータの定義 412
グループ
「スタック」を参照
グレースケール
カラーの追加 213
説明 248
定義 412
モノクロ 2 階調モードへの変換 250
グレースケールコマンド 250
クレヨンのコンテ画フィルタ 279
クロムフィルタ 279

け
蛍光体、定義 412
形式
PSE 326
携帯電話
写真の送信、Photoshop Elements のヘルプを参照
写真の送信 390
写真の取り込み 43
消しゴムツール 295
結合部分をコピーコマンド 189
検索
アルバム 93
アルバムに含まれないファイル 93
お気に入り名札の使用 89
キーワード名札の使用 88
キーワード名札の付いていないアイテム 89
キャプションまたはメモを使用 91
検索バーの使用 87
写真整理モードでのファイルの検索 85
写真の除外 90
タイムグラフの使用 86
日時が不明なファイル 95
ファイル名の使用 91
メタデータ 94
メディアの種類 93
履歴 95
類似するアイテム 89
類似する写真 91
検索バー 87
減算混合色、定義 412
原点、定規 134

こ
光彩拡散フィルタ 269
合成、マジック抽出ツール 180
黒体輻射、定義 412
こするフィルタ 267
コピー
CD または DVD 103
写真の領域 230
選択範囲 189
コピースタンプツール 230
コピー、定義 412
コピーフィルタ 279
コマンド
コンテクストメニューの使用 14
定義 412
コメントアイコン 59
コメント、日付表示 59
コンテクストメニュー 14
コンテンツレイヤー、定義 412
コントラスト
調整 203
定義 412

さ
再サンプル
画像 227
定義 412
サイズ変更
自動 132
ズーム中 132
プリント 226
再選択コマンド 182
最適化
GIF 362
JPEG 362
PNG-24 363
PNG-8 362
Web 用に保存ダイアログボックス 357
画像のプレビュー 368
カラーのプレビュー 369
説明 357
ダウンロード時間 368

ファイル形式 358
プリセット 361
彩度
色相を含めた補正 208
調整スライダ 209
定義 413
特定の領域の補正 211
変更 208
再リンク
自動再リンクの解除 124
見つからないファイル 123, 124
再リンクコマンド 124
削除
カタログまたはハードディスクからのアイテム 104
カメラ内のアイテム 32
写真の一部 220
レイヤー 150
サブカテゴリー
新しいキーワード名札の作成 71
キーワード名札への変更 73
削除 73
整理 72
編集 71
サブフォルダ
写真のダウンロード時に作成 32
差分 JPEG ファイル、定義 413
サムネール
更新 116
サイズの調整 49
詳細の表示 50
定義 413
サムネールを更新コマンド 116
左右に並べて表示
使用 53
説明 52
散布、定義 413
サンプル
定義 413
レイヤー 150

し

シアーフィルタ
説明 272
適用 272
シェイプ
移動 323
円 321
カスタムシェイプ 322
角丸長方形 321
カラー 324
正方形 321
説明 320
選択 323
楕円 321
多辺 321
長方形 321
複数作成 323
変形 323
ライン 322
レイヤースタイル 324
シェイプレイヤー
説明 320
定義 413
ラスタライズ 150
色域、定義 413
色相
調整スライダ 209
定義 413
変更 208
補正 208
色相・彩度コマンド 208, 209
色調範囲、調整 200
色調補正、定義 413
色度、定義 413
ジグザグフィルタ
説明 273
適用 273
時刻
写真の詳細情報の編集 50
日時の変更 115
システム要件 1
ジッター、定義 413
視点の位置の変更 355
自動赤目修正コマンド 61
自動カラー補正コマンド 60
自動コントラストコマンド 61
自動シャープコマンド 61, 238
自動処理
バッチ処理 130
複数画像のレイアウト 376
自動スマート補正コマンド 60
自動選択ツール
オプション 178
使用 178
自動的に写真をスタックコマンド 106
自動補正（輝度）61
自動補正コマンド 197
自動補正、コントラスト 61
自動補正、写真 60

自動レベル補正コマンド 61
自動レベル補正、定義 413
シャープ
アンシャープマスク 239
画像 237
自動 238
正確 238
ツール 238
定義 413
ハロー効果、定義 413
ヒント 237
シャープコマンド 238
シャープツール 238
写真
100 %で表示 132
CD または DVD へのコピー 103
アルバム内の検索 93
アルバムの表示 77
以前のヒストリー画像に復帰 24
オーディオの追加 117
同じものを複数回開く 133
オリジナルに戻す 111
カタログ 96
カタログからの削除 104
カタログ内の移動 102
カメラから削除 32
画面に合わせる 132
キャプションの追加 116
キャプションまたはメモによる検索 91
携帯電話への送信 390
検索結果からの除外 90
サムネールの更新 116
自動赤目修正 61
自動カラー補正 60
自動コントラスト 61
自動シャープ補正 61
自動的にスタック 106
自動補正 60
自動レベル補正 61
スタックおよびスタック解除 106
スタックからの削除 107
スタックでのグループ化 105
スタックでの編集 108
スタック内のすべてを展開 107
スタック内のすべてを表示 107
ダウンロード時にサブフォルダを作成 32
ダウンロード時にファイル名を変更 32
電子メールで送信 384, 387
名前の変更 114
日時の変更 115
バージョンセットからの削除 112
バージョンセットでの編集 112
バージョンセット内のすべての写真の表示 111
バージョンセットの先頭の指定 111
ファイル名による検索 91
フォトメールで送信 388
複数のアルバムに追加 78
複数のウィンドウを開く 133
複製 114
プリントする写真の追加 375
プリントプレビューダイアログボックスでの拡大・縮小 373
プロジェクトでの検索 92
プロジェクト内の写真 332
プロジェクト内の写真の位置およびサイズの調整 333
プロジェクト内の写真の置き換えまたは削除 334
プロジェクト内の写真の回転 334
マルチレイヤー画像のプリント 373
メタデータによる検索 94
メモの追加 117
履歴による検索 95
類似する写真の検索 91
写真から顔を検出して名札付けコマンド 66
写真整理モード
規定 26
写真のプリント 374
説明 11
タスクエリア 11, 21
パレット 21
ファイルの検索 85
フォトブラウザ 45
写真の取り込み
携帯電話から 43
写真の反転
自動 240
手動 241
写真編集モード
規定 26
写真のプリント 371
説明 11, 12
パレット 19
プロジェクトエリア 22
写真を並べて比較
「左右に並べて表示」を参照
シャドウ
明るさ 201
説明 200
ツールで調整 203

ハイライト 201
レベル補正を使用した調整 201
シャドウ・ハイライトコマンド 201
修正
赤目 228
修復、カタログ 99
修復ブラシ 229
自由変形 243
定規
設定の変更 134
説明 134
照度、定義 413
情報コマンド 120
情報パレット
カラーモードの設定 121
単位の設定 121
ファイル情報の表示 121
照明効果フィルタ
説明 276
調整 278
適用 276
ショートカット
コンテクストメニュー 14
ショートカットキー、説明 14
リスト 396
ショートカットキー
写真整理モード 394
除外コマンド 90
除去
赤目 228
写真のオブジェクト 229, 230
シルエット、定義 413
新機能 3, 4

す

水彩画フィルタ 267
水晶フィルタ 275
スウォッチ、定義 413
スウォッチパレット 290
スウォッチライブラリ
カスタム 291
初期設定 291
ズーム
サイズ変更 132
写真編集モード 131
スライドショー 346
スキャナの環境設定 37
スキャンした写真を分割コマンド 224
スキャン、定義 413
スクリーン解像度、定義 413
スクロールフィルタ 283
スタートアップスクリーン 11
スタック
自動的に写真をスタック 106
写真の削除 107
写真のスタック 106
写真の編集 108
すべての写真の表示 107
説明 105
先頭の写真の指定 108
定義 413
スタック内の写真を表示コマンド 107, 108
スタックの写真を展開コマンド 107
スタンダード編集
画像の表示 131
カラーの補正 193, 196
自動補正コマンド 197
説明 12
ワークフロー 196
スタンプフィルタ 279
ステータスバー
説明 11
ファイル情報の表示 121, 123
ステンドグラスフィルタ 282
ストローク（暗）フィルタ 269
ストローク（スプレー）フィルタ 269
ストローク、定義 413
ストローク（斜め）フィルタ 269
すべてのキーワード名札を折りたたむコマンド 64
すべてのキーワード名札を展開コマンド 64
すべてのツールを初期化コマンド 18
すべてを選択コマンド 182
スポイトツール 289
スポットカラーチャンネル、定義 414
スポット修復ブラシ 229
スポンジツール 211
スポンジフィルタ 267
墨絵フィルタ 269
スムージング、定義 414
スライドショー
Adobe Premiere Elements への出力 350
CD または DVD への書き込み 350
DVD に書き込み 351, 352
PDF への出力 350
音楽の追加 343
カラーエフェクトの追加 348
空のスライドの追加 342
間隔の調整 349
環境設定 350

切り替え方法 348
グラフィックの追加 343
作成 340
写真の追加 349
ズーム 346
スライドのサイズ変更 342
スライドの並べ替え 342
スライドの編集 342
説明 340
テキストの追加 344
ナレーションの追加 346
パン 346
ビデオにカスタマイズ 352
フルスクリーン表示 53
スライドショーエディタ 340
スライドショーの環境設定ダイアログボックス 352

せ

正方形、描画 321
整理
アルバム 75
キーワード名札 63
整理エリア
説明 11
石膏フィルタ 279
セピアプリント、定義 414
選択
重なっている領域 183
最後に指定した選択範囲の再選択 182
説明 174
フォトブラウザのアイテム 50
マジック選択ブラシツール 178
マジック抽出 180
レイヤー上のすべてのピクセル 182
選択した写真をスタックコマンド 106
選択ツール 175
選択範囲
新しい選択範囲の境界線で囲む 184
アンチエイリアス 186
一部削除 183
移動ツールで移動 187
移動ツールでコピー 189
拡張または縮小 184
重なっている領域の選択 183
境界線、移動 183
境界をぼかすコマンド 187
近似色の領域の追加 185
コピー 188, 189
再選択 182
削除 182
新規に保存 190
選択解除 182
追加 183
ツールを使用したぼかし 187
定義 414
反転 183
表示 / 非表示 182
ペースト 189
別の選択範囲にペースト 189
保存した選択範囲の削除 191
保存した選択範囲の編集 191
保存した選択範囲の読み込み 191
選択範囲コマンド 182
選択範囲内へペーストコマンド 190
選択範囲を拡張コマンド 185
選択範囲を削除コマンド 191
選択範囲を反転コマンド 183
選択範囲を保存コマンド 191
選択範囲を読み込むコマンド 191
選択ブラシツール
オプション 180
使用 179
選択を解除コマンド 50, 182
先頭の写真として設定コマンド 108
鮮明度（画像）、定義 414

そ

操作、取り消しまたはやり直し 24
ソラリゼーションフィルタ 281

た

ターゲットカラー、定義 414
ターゲット値
設定 218, 219
プリント 218
ターゲットチャンネル、定義 414
ターゲットレイヤー、定義 414
ダイアログボックス、ポップアップスライダの使用 19
タイムグラフ
写真の表示と検索 86
説明 86
ダウンサンプル、画像 227
ダウンロード、写真 31
楕円形選択ツール
オプション 175
使用 175
楕円、描画 321

多角形選択ツール
オプション 177
使用 176
タスクエリア
アルバム 76
キーワード名札 63
写真整理モード 11, 21
ダスト＆スクラッチフィルタ 274
縦書き文字ツール 313
縦書き文字マスクツール 317
縦中横
使用 319
定義 414
縦横比、定義 414
ダブルトーン、定義 414
単位
プリント 380
単一チャンネルの画像、定義 414
暖色、定義 414
段落文字 313

ち

チェッカーパターンのグリッドのカスタマイズ 157
チェックフォルダ 38
チャンネル、定義 414
中間調、定義 414
調整レイヤー
結合 160
作成 158
説明 158
定義 414
編集 160
長方形選択ツール
オプション 175
使用 175
長方形選択ツールおよび楕円形選択ツール、オプション 175
長方形、描画 321
チョーク・木炭画フィルタ 278
ちりめんじわ、定義 414
ちりめんじわフィルタ 279

つ

ツール
個々のツール名を参照
オプション 17
環境設定 17
ツールボックス
説明 15
ツールの選択 16
ツールを初期化コマンド 18
月ボタン（日付表示）57
つまむフィルタ
説明 271
適用 271

て

ディザ
制御 367
説明 366
定義 414
プレビュー 367
データ書き出しモジュール、定義 414
テキスト
「文字」も参照
スライドショーへの追加 344
向き 318
ワープ 318
ワープの解除 318
テキストレイヤー
定義 415
ラスタライズ 150
テクスチャ効果フィルタ 278
テクスチャライザフィルタ 282
デジタルカメラ、定義 415
デジタルカメラまたはカードリーダの環境設定 35
デジタル作品 335
デスクトップの壁紙、作成 393
デスクトップの壁紙として設定コマンド 393
電子メール
環境設定 385
最適化 357
写真の送信 384, 387
フォトメールによる写真の送信 388
点描、定義 415
点描フィルタ 275
テンプレート
メタデータ 122

と

統合
定義 415
レイヤー 155
透明
定義 415
透明部分
Photoshop Elements のヘルプを参照
JPEG ファイル 366
説明 364
ハードエッジ 366

保持 365
マット処理 365
透明部分のグリッドのカスタマイズ 157
閉じる
アプリケーション 14
写真編集モードでのウィンドウ 134
ファイル 130
ドライブラシフィルタ 266
取り消し、ヒストリーパレット 23
取り込み
アルバムの構造 79
環境設定 29
キーワード名札 74
添付されたキーワード名札 30
取り込み、写真
カードリーダから 31
カメラから 31
検索結果から 39
コンピュータから 102
説明 28
ダウンロード 31
チェックフォルダから 38
ビデオから 42
ファイルやフォルダから 39
ファイルをダウンロードするための基本手順 28
トリミング、定義 415
塗料フィルタ 266

な

長さまたは幅がゼロの画像、定義 415
なげなわツール
オプション 177
使用 176
マグネット選択ツールへの切り替え 177
ナビゲータパレット
ズーム 131
説明 133
名札なしアイテムの検索コマンド 89
名前の変更
ファイル 114
レイヤー 149
滑らかにコマンド 185
並べ替え、フォトブラウザのファイル 49
並べたウィンドウ 133

に

日時を変更コマンド 50, 115
日本語テキスト
オプション 318
縦中横 319
文字間隔 319
文字組み 319
入力モジュールのインターフェイス、定義 415

ぬ

塗りつぶしツール 302
塗りつぶしレイヤー
画像レイヤーへの変換 150
使用 159
タイプの変更 160
調整レイヤーとして 158
定義 415
塗りつぶしまたはパターンの適用 302
編集 160

ね

ネオン光彩フィルタ 266
年ボタン（日付表示） 57

の

ノイズグラデーション、定義 415
ノイズ、定義 415
ノイズを加えるフィルタ 274
ノイズを低減フィルタ 274
ノート用紙フィルタ 279

は

バージョンセット
3GPP ムービーを含む 110
写真の削除 112
写真の編集 112
すべての写真の表示 111
説明 109
先頭の写真の指定 111
定義 415
バージョンセット内のオリジナルの削除 112
保存 110
バージョンセット内のアイテムを展開コマンド 111
ハーフトーン、定義 415
ハーフトーンパターンフィルタ 279
背景消しゴムツール 297
背景色 285, 289, 290
背景レイヤー
説明 144
通常のレイヤーへの変換 148
定義 415
ハイパスフィルタ 282
ハイライト
シャドウ 201
ツールで調整 203

定義 415
レベル補正を使用した調整 200
バウンディングボックス、定義 415
白色点、定義 416
波形フィルタ
説明 273
適用 273
パターン
作成 305
説明 303
定義 416
プリセット 305
パターンスタンプツール 304
肌色、カラーの補正 210
肌色を補正コマンド 210
バックアップ、カタログ
CD、DVD、またはハードディスク 100
バッチコマンド 130
バッチ処理
説明 130
定義 416
パッチワークフィルタ 282
はねフィルタ 269
パノラマ
作成 354
説明 353
定義 416
パフォーマンス、フィルタとエフェクト 265
波紋フィルタ 272
パレット
写真整理モードでの利用 21
写真編集モードでの利用 19
説明 18
パレットエリア 19
メニュー 18
パレットエリア 19
パレットナイフフィルタ 267
パン
スライドショー 346
定義 416
汎用フォーマット、定義 416

ひ

非可逆圧縮方式、定義 416
ピクセル
定義 416
不要なピクセルの削除 185
ヒストグラム
使用 199
説明 198
定義 416
ヒストリー画像、定義 416
ヒストリーパレット
使用 23
ヒストリー画像の削除 24
メモリの解放 24
筆圧感知タブレット 301
日付
ファイルの変更 115
フォトブラウザでの変更 50
日付（新しい順）コマンド 49
日付表示
イベントの追加 59
環境設定 60
キャプションの追加 59
コメントの追加 59
新規イベントの環境設定 60
新規イベントの作成 59
説明 56
日付が不明な写真の表示 58
表示される写真の変更 58
日付表示ボタン 11
日付不明アイコン 58
ビット数、定義 416
ビットマップ画像、定義 416
ビデオ
3GPP ムービーを含むバージョンセット 110
写真の取り込み 42
表示 51
ビデオウィンドウ 51
ビネット、定義 416
非フリンジピクセル、定義 416
日ボタン（日付表示）57
描画
1 つのレイヤーに複数のシェイプ 323
円または楕円 321
カスタムシェイプ 322
多角形 321
長方形 321
ライン 322
描画色 285, 289, 290
描画モード
指定 157
説明 286
定義 416

表示
100 %での写真 132
ウィンドウでの移動 133
同じ画像の複数のウィンドウ 133
画面に合わせる 132
環境設定 46
クイック補正での写真 131
左右に並べて表示の写真 52
スタック内の写真 107
スタンダード編集での写真 131
タイムグラフを使用した写真の表示 86
並べたウィンドウ 133
バージョンセット内の写真 111
日付表示の写真 56
ビデオ 51
プリントサイズ 226
フルスクリーン表示の写真 52
表示アイテム（表示）コマンド 49
表示サイズを一致コマンド 133
表示の更新コマンド 49
表示の縮小 131
開く
EPS ファイル 128
PDF ファイル 128
同じ画像の複数のウィンドウ 133
最近使用したファイル 127
ファイル 126

ふ

ファイバーフィルタ 276
ファイル
「写真」も参照
Camera Raw 166
カタログの環境設定 102
最適化された形式 358
自動再リンクの解除 124
ダウンロード時に名前を変更 32
見つからないファイルへの再リンクの設定 124
見つからないファイルへの注意と対応 123
ファイル圧縮、説明 140
ファイル共有
アプリケーション間でドラッグ 352
ファイル形式 27, 135
ファイル情報
カタログ 97
サムネールの更新 116
写真整理モードのプロパティパレット 119
写真編集モードでの表示 121
情報パレット 120
説明 119
ファイル情報ダイアログボックスで追加 120
ファイル情報ダイアログボックス
メタデータテンプレート 120, 122
メタデータの追加または表示 120
メタデータの読み込み 122
ファイルの環境設定
オフラインのメディア 41
代用ファイルサイズ 41
ファイルの検索
アルバム 93
アルバム外 93
一致しないアイテム 89
一致するアイテム 89
キーワード名札の使用 89
キャプションの使用 91
検索結果 88
検索バーの使用 87
重要度の使用 89
除外コマンドの使用 90
タイムグラフの使用 86
名札の付いていない写真 89
日時が不明なファイル 95
日付表示 57
ファイル名 91
プロジェクト 92
方法 85
メタデータ 94
メディアの種類 93
メモの使用 91
履歴 95
類似するアイテム 89
類似する色や見た目 91
ファイル名
説明 113
名前の変更 114
複製バージョン 114
ファイル名変更コマンド 114
ファイルを検索
キーワード名札の使用 68
ファンクションキー 402
フィルタ
個々のフィルタ名を参照
カスタム 283
カテゴリー 263
ギャラリー 264
視覚効果の作成上のヒント 261
使用上のヒント 261
説明 261

定義 416
適用 262
テクスチャオプション 265
パフォーマンスの向上 265
プラグイン 283
フィルタギャラリーダイアログボックス 264
フェード、定義 417
フォールオフ量、定義 417
フォトギャラリー 335
フォトグリーティングカード 384
フォトコラージュ、作成 331
フォトブック
作成 331
説明 329
フォトブラウザ
アイテムの選択 50
アイテムの選択解除 50
アイテムの並べ方メニュー 47
環境設定 46
サムネールのサイズ変更 49
サムネールの詳細の表示 50
写真の詳細情報の編集 50
説明 11, 45
取り込み順ビュー 47
日付（新しい順）表示 49
日付（古い順）表示 49
表示の環境設定 46
ファイルの並べ替え 49
フォルダ毎表示 47
フォトブラウザでの表示
環境設定 47
フォトプロジェクト
Photoshop CS3 での編集 334
説明 326
ダイアログボックスの使用 327
フォトメール
写真の送信 388
説明 384
テンプレートのカスタマイズ 388
フォルダ毎表示
キーワード名札の適用 69
説明 47, 48
フォルダ毎表示（並べ替え）コマンド 47
フォント
インストール 1
カラー 316
サイズ 316
選択 316
定義 417
復元、カタログ 99
複製コマンド 114
複製、写真 114
復帰
以前のヒストリー画像 24
保存したバージョン 24
不透明、定義 417
不透明度
オプション 156
定義 417
レイヤー内で指定 156
太字スタイル、定義 417
不要なピクセル、削除 185
ブラウザ
ディザ 366
プレビュー 368
プレビュー用ブラウザの選択 368
プラグイン
Photoshop Elements での使用 25
インストール 26
ブラシツール
説明 292
描画モード 286
ブラシの各オプション 298
ブラシプリセット、定義 417
ブラシライブラリ
ブラシの削除 300
ブラシの追加 300
プリセット
最適化 361
説明 309
名前の変更 312
ポップアップパレット 310
プリセットマネージャ
説明 311
プリセット名の変更 312
ライブラリの置き換え 312
ライブラリのサブセットの保存 312
ライブラリの初期設定への復元 312
ライブラリの読み込み 311
プリンタ解像度 225
プリンタプロファイル、定義 417
プリント
PIC サポート 374
インデックスプリント 376
オプション 380
画像の拡大・縮小 373
サイズの変更 226
写真整理モードから 374
写真編集モードから 371

ターゲット値とプリセット値の設定 218
単位 380
プリントする写真の追加 375
プリントプレビューダイアログボックスでの拡大・縮小 373
マルチレイヤー画像 373
ラベル 379
プリントプロジェクト、注文 382
ブルーミング、定義 417
フルスクリーン画像、表示 51
フルスクリーンで写真を表示コマンド 53
フルスクリーン表示
使用 53
説明 52
日付表示からの表示 56
フルスクリーンプレビュー表示コマンド 352
フレームレイヤー、定義 417
フレスコフィルタ 266
プレビュー
アニメーション 369
最適化画像 368
最適化した画像のカラー 369
スライドショー 352
ぶれフィルタ 275
プログレッシブスキャン、定義 417
プロジェクト
CD または DVD ジャケット 330
CD または DVD ラベル 330
VCD メニュー 339
Web ギャラリー 337
新しいページの追加 332
アニメーションギャラリーとインタラクティブギャラリー 337
アルバムページ 329
グリーティングカード 330
写真の位置およびサイズの調整 333
写真の置き換えまたは削除 334
写真の回転 334
写真の追加 332
説明 325
タイプの識別 326
定義 417
デジタル 335
デスクトップの壁紙 393
フォトギャラリー 335
フォトグリーティングカード 384
フォトコラージュ 329
フォトブック 329
フリップブック 338
プリント用途 325
プリントをオンラインで注文 383
プロジェクト内の写真の検索 92
保存したプロジェクトの検索 325
保存したプロジェクトを開く 326
プロジェクトエリア 22
プロジェクトの注文
フォトグリーティングカード 384
プリント 383
プロパティパレット 119
プロファイル、カラーマネジメント 254
プロファイル、定義 417
分割フィルタ 281

へ

平均化（イコライズ）フィルタ
説明 213
適用 213
ペイント
印象派ブラシツール 285
説明 285
描画モード 286
ブラシツール 285
ページオプション、設定 380
ベースライン JPEG、定義 418
ベクトル画像
シェイプの作成 320
定義 418
ベベル、定義 418
変形
写真 243
選択範囲 243
レイヤー 243
変形、定義 418
編集
写真整理モードでの環境設定 123
写真編集モード 12
ファイルの命名 113
文字（テキスト）315

ほ

ポイント、定義 418
ぼかし
既存の選択範囲 187
説明 187
選択ツール 187
ぼかし（移動）フィルタ 268
ぼかし（ガウス）、定義 418
ぼかし（ガウス）フィルタ 268
ぼかし（強）フィルタ 268
ぼかし（詳細）フィルタ 268

ぼかしツール 232
ぼかし、定義 418
ぼかしフィルタ 268
ぼかし（放射状）フィルタ 268
補色、定義 418
ポスタリゼーション、定義 418
ポスタリゼーションフィルタ
　説明 215
　適用 215
補正
　大きなしみ 229
　スポット修復ブラシを使った小さなしみの補正 229
保存
　オプション 137
　写真編集モード 137
　説明 135
　バージョン 113
　バージョンセット 110
　ファイル名 113
保存したバージョンに復帰コマンド 24
ホットスポット、定義 418
ポップアップパレット
　説明 309
　表示の変更 311
　プリセットでの使用 310
ホワイトバランス
　Camera Raw ファイル 170
　定義 418

ま

マグネット選択ツール
　オプション 177
　使用 177
　なげなわツールへの切り替え 177
マジック消しゴムツール 296
マジック選択ブラシツール 178
マジック抽出 180
マスク 317
マット
　Photoshop Elements のヘルプを参照
　JPEG ファイルでの処理 366
　処理 365
　説明 364
マット処理
　定義 418

み

見つからないファイル 123

む

ムービー
　「ビデオ」を参照

め

命名
　ダウンロード時にファイル名を変更 32
　ファイルの編集 113
　ファイル名の変更 114
メゾティント、定義 418
メゾティントフィルタ 275
メタデータ
　検索 94
　説明 119
　ファイル情報ダイアログボックス 120
　ファイルの読み込み 122
　プロパティパレット 119
メタデータテンプレート
　削除 122
　説明 120
　保存 122
メディアファイル
　「写真」を参照
メニューバー、写真整理モード 11
メモ、ファイルに追加 117
メモリ
　クリップボードからの解放 24
　ヒストリーパレットからの解放 24
面を刻むフィルタ 275

も

モアレ、定義 418
木炭画フィルタ 278
モザイクタイルフィルタ 282
モザイクフィルタ 275
文字
　カラー 316
　サイズの選択 316
　整列 315
　選択 315
　縦中横 319
　ツール 313
　ツールオプション 314
　日本語テキストオプション 318
　日本語テキストの文字間隔 319
　入力 313
　フォントの選択 316
　編集 315
　マスク 317
　文字組み 319

文字組み
使用 319
定義 418
文字スタイル、定義 418
文字詰め 319
文字マスク、定義 418
モニタ解像度
拡大・縮小 225
定義 419
モノクロ 213
モノクロ 2 階調カラーモード
グレースケールへの変換 250
グレースケールまたは RGB からの変換 250
説明 248
モノクロ 2 階調コマンド 250
モノクロバリエーション 211, 213
モノクロバリエーションコマンド 211

や
焼き込みツール 203
焼き込み、定義 419
矢印、描画 322
やり直し、操作 23

ゆ
ユーザ定義イベントを追加コマンド 59
ゆがみ
シェイプ 242
写真 242
選択範囲 242
定義 419
レイヤー 242
ゆがみフィルタ
説明 270
適用 270
ゆがみ、レンズ補正 233
指先ツール 295

よ
要件、システム 1
用語集 405
用紙設定コマンド 380
横書き文字ツール 313
横書き文字マスクツール 317
読み込み
「取り込み、写真」も参照
説明 28
メタデータテンプレート 122

ら
ライブラリ
置き換え 312
サブセットの保存 312
初期設定の復元 312
読み込み 311
ライン、描画 322
ラスター画像、定義 419
ラスタライズ、レイヤー
定義 419
変換 150
ラップフィルタ 267
ラベル、プリント 379

り
粒状フィルタ 281
粒状フィルムフィルタ 266
輪郭以外をぼかすフィルタ 274
輪郭検出フィルタ 281
輪郭のトレースフィルタ 281

れ
レイヤー
重なり順の変更 153
画像間のコピー 152
画像内で複製 151
画像内にコピー 188
画像への追加 146
結合 154
削除 150
サンプル 150
すべてのピクセルの選択 182
選択 148
定義 419
名前変更 149
背景レイヤーへの変換 148
非表示と表示の切り替え 149
描画モードの指定 157
不透明度の指定 156
不透明部分の選択 157
別の画像に複製 151
別のレイヤーに結合 155
別のレイヤーの一部から作成 147
ラスタライズ 150
リンクおよびリンク解除 153
ロックおよびロック解除 149
レイヤーグループ
説明 146
定義 419
ラスタライズ 150

レイヤー上のオブジェクト、移動 152
レイヤースタイル
　拡大・縮小 165
　削除 165
　シェイプへの適用 324
　設定のコピー 165
　設定の編集 165
　説明 163
　適用 164
　表示と非表示 164
レイヤーの結合 154
レイヤーのサムネール
　サイズ変更 149
　非表示 149
レイヤーの描画オプション 156
レイヤーの不透明度オプション 156
レイヤーパレット、説明 145
レイヤーマスク
　調整レイヤーでの使用 160
　調整レイヤーでの編集 160
　定義 419
　塗りつぶしレイヤーでの使用 160
　塗りつぶしレイヤーでの編集 160
レベル
　説明 200
レベル補正
　カラーキャストの除去 206
　シャドウと明るさの調整 201
　定義 419
レベル補正コマンド 201
レンズフィルタ
　説明 216
　適用 217
レンダリング、定義 419
連文字、定義 419

ろ

露光量、定義 419
露出不足の画像、定義 419
ロックされているレイヤー
　定義 419
　ロック 149
ロックしているファイル、定義 419

わ

ワークスペース
　写真整理モード 11
　写真編集モード 12
　スタートアップスクリーン 11
　説明 11, 15
　複数のアプリケーションの配置 27
ワープ
　定義 419
　テキスト 318
ワープの解除
　テキスト 318